

全員協議会提出議題

日時 令和5年10月20日（金）

午前9時30分

1 報告事項

(1) 令和4年度厚木市民実感度調査結果について（資料1）

【企画政策課】

(2) 令和5年度施策評価結果について（資料2）

【企画政策課】

(3) 令和5年度事務事業評価結果について（資料3）

【行政経営課】

(4) 工事請負契約の締結について（資料4）

【契約検査課】

令和 4 年度厚木市民実感度調査結果について（概要）

1 調査の目的

本調査は、市の施策や事業に関する市民の実感度及び重要度の調査、集計及び分析を行うことにより、今後の市政運営及び第 10 次厚木市総合計画の進行管理の基礎資料等とすることを目的とする。

2 調査項目

(1) 実感度・重要度【6分野 77項目】

分野	設問
①安心政策（命、財産を守り抜くまち）	9項目
②輝き政策（支えあい、生き生きと暮らせるまち）	17項目
③成長政策（夢や希望を持ち、自己実現ができるまち）	14項目
④発展政策（人が集い、交流し、新たな価値を生むまち）	21項目
⑤潤い政策（環境に優しく、自然と共生するまち）	10項目
⑥共創政策（市民と共に確かな成長を創り出すまち）	6項目
合計	77項目

(2) 行動変容（市の施策による市民の行動の変化）【6分野 27項目】

分野	設問
①安心政策（命、財産を守り抜くまち）	5項目
②輝き政策（支えあい、生き生きと暮らせるまち）	6項目
③成長政策（夢や希望を持ち、自己実現ができるまち）	8項目
④発展政策（人が集い、交流し、新たな価値を生むまち）	3項目
⑤潤い政策（環境に優しく、自然と共生するまち）	3項目
⑥共創政策（市民と共に確かな成長を創り出すまち）	2項目
合計	27項目

(3) 幸福度（市民がどの程度幸せと感じているか）

3 調査対象

厚木市在住の満 18 歳以上の男女 5,000 人（外国人住民を含む。）

※ 住民基本台帳を基に無作為抽出

4 調査期間

令和 5 年 1 月 31 日（火）～ 2 月 20 日（月）21 日間

5 回収結果

2,167 人（回収率 43.3%）

【内訳】男性 914 人、女性 1,092 人、その他 2 人、答えたくない 32 人、無回答 127 人

6 調査結果（総括から抜粋）

- (1) 実感度について
 - ・ 調査項目全 77 項目について、実感している人の割合は、前年度調査と比較して 12 項目において上昇し、65 項目が低下した。
 - ・ 『実感している人の割合が高い』項目は、「日常生活に必要な施設が身近にある」「消防・救急・救助体制の充実」「子育てサービスの充実」の順となっており、市民の日常生活に身近な取組に対して評価されているものと考えられる。
 - ・ 『実感していない人の割合が高い』項目は、「中心市街地のにぎわい」「住環境の整備の取組」「先端技術産業の推進」の順となっている。
 - ・ 前年度調査と比較し、実感度が最も上昇した項目は「市内に利用したい店舗がある」（3.8 ポイント増）で、最も低下した項目は「防犯の取組」「親と子の健康づくりの取組」（8.0 ポイント減）となった。
- (2) 市民ニーズについて
 - ・ 『市民ニーズが高い（重要度に対し実感度が低い）』項目は、「防犯の取組」「災害に備えたハード整備」「安心・安全に通行できる道路環境」「地域防災力向上の取組」「災害対応力の強化の取組」の順となっている。
- (3) 行動変容について
 - ・ 調査項目全 27 項目の実績値については、前年度調査と比較して 18 項目において上昇し、9 項目が低下した。
 - ・ 実績値が高い項目は、「資源の分別を意識している」「健康増進のために取り組んでいることがある」「防犯等の対策について心掛けていることがある」の順となっており、実績値が低い項目は、「市内で文化芸術に親しんでいる」「図書館を利用している」「運動やスポーツを週 3 回以上行っている」の順となっている。
 - ・ 前年度調査と比較し、実績値が最も上昇した項目は「市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした」（9.9 ポイント増）で、最も低下した項目は「厚木の郷土文化に興味がある」（4.5 ポイント減）となった。
- (4) 幸福度について
 - ・ 前年度調査と比較し、「とても幸せ」「幸せ」の合計は横ばいとなり、「あまり幸せではない」「幸せではない」の合計は 0.1 ポイント増加した。
 - ・ 「とても幸せ」「幸せ」「ふつう」と回答した人の合計は 94.2% となり、前年度調査と比較し横ばいとなった。
- (5) 実感度調査の結果を踏まえた施策の展開について
 - ・ 実感度については、調査項目全 77 項目中、65 項目において低下が見られたことから、施策の成果と課題について分析を重ね、効果的な事業を展開していく必要がある。一方、12 項目で実感度が上昇しているため、市の施策に対して市民が一定の評価をしていることがうかがえる。
 - ・ 市民ニーズが高い「防犯の取組」「災害に備えたハード整備」「安心・安全に通行できる道路環境」等については、施策の効果を十分に検証し、更なる積極的な事業推進を図る必要がある。
 - ・ 行動変容については、調査項目全 27 項目中、前年度調査と比較して 18 項目において実績値の上昇が見られたことで、市の施策に対して市民の行動に変化があったことがうかがえる。一方、9 項目で実績値が低下しているため、回答者の属性等について分析を重ね、施策による市民の行動の変化を促すような取組を進める必要がある。

【77項目別 実感度 の結果】

基本政策	項目	n	令和4年度	令和3年度	前年度比較	比較順位	
			実感度 (%)	実感度 (%)			
安心政策	災害に備えたハード整備	(924)	38.1	40.3	▲ 2.2	39	
	災害対応力の強化の取組	(953)	44.0	44.4	▲ 0.4	16	
	地域防災力向上の取組	(930)	35.4	34.3	▲ 1.1	7	
	消防・救急・救助体制の充実	(921)	70.1	69.1	▲ 1.0	9	
	応急手当の普及	(879)	45.4	49.1	▲ 3.7	51	
	火災予防の取組	(905)	52.2	54.8	▲ 2.6	43	
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	(954)	37.0	41.6	▲ 4.6	61	
	交通安全の取組	(974)	37.6	42.8	▲ 5.2	64	
	防犯の取組	(961)	30.2	38.2	▲ 8.0	76	
	安心政策 平均値			43.3	46.1	▲ 2.8	⑥
輝き政策	地域福祉活動の推進	(932)	46.7	50.3	▲ 3.6	48	
	高齢者、障がい者の就労・生きがいのづくりに対する支援	(900)	37.0	43.3	▲ 6.3	70	
	高齢者福祉施設の整備などの充実	(885)	39.1	44.6	▲ 5.5	66	
	高齢者に対する支援の充実	(884)	39.7	45.3	▲ 5.6	67	
	障がい者に対する支援の充実	(831)	34.2	38.6	▲ 4.4	58	
	包括的な支援体制の充実	(861)	34.7	38.2	▲ 3.5	47	
	子育てサービスの充実	(735)	64.0	68.2	▲ 4.2	56	
	保育と幼児教育の充実	(708)	50.7	57.5	▲ 6.8	74	
	親と子の健康づくりの取組	(692)	48.8	56.8	▲ 8.0	76	
	休日・夜間医療体制の充実	(921)	54.0	54.3	▲ 0.3	14	
	市立病院の救急医療体制の充実	(879)	50.3	49.9	▲ 0.4	10	
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	(874)	42.6	42.5	▲ 0.1	12	
	健康づくりの取組	(978)	63.8	61.7	▲ 2.1	3	
	介護予防と認知症に対する取組	(870)	28.4	28.9	▲ 0.5	18	
	互いの違いを尊重できるまちづくり	(870)	31.7	29.8	▲ 1.9	4	
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	(876)	29.7	30.1	▲ 0.4	16	
	平和についての啓発の推進	(849)	18.9	20.9	▲ 2.0	34	
	輝き政策 平均値			42.0	44.8	▲ 2.8	⑤
	成長政策	子どもたちが自ら課題に取り組む	(651)	33.2	34.7	▲ 1.5	28
		教育支援体制の充実	(649)	29.1	36.6	▲ 7.5	75
安全な教育環境の整備		(659)	38.7	45.3	▲ 6.6	73	
子どもたちが安心して共に学べる取組		(631)	33.1	39.2	▲ 6.1	69	
社会教育の取組		(736)	28.2	33.2	▲ 5.0	63	
家庭・地域・学校の協働の推進		(726)	32.0	36.8	▲ 4.8	62	
生涯学習活動の支援や環境の整備		(763)	29.9	33.3	▲ 3.4	46	
青少年の健全育成の取組		(718)	32.3	34.6	▲ 2.3	40	
文化芸術に親しむ機会の提供		(940)	42.9	41.3	▲ 1.6	6	
郷土文化の継承と発展の取組		(906)	36.1	37.8	▲ 1.7	33	
あつぎ郷土博物館の取組		(854)	37.4	43.8	▲ 6.4	72	
運動・スポーツ活動の機会提供		(939)	51.0	51.2	▲ 0.2	13	
競技力を向上するための取組		(878)	33.8	32.7	▲ 1.1	7	
スポーツ施設の充実		(930)	39.9	41.2	▲ 1.3	26	
成長政策 平均値			35.5	38.7	▲ 3.2	①	

基本政策	項目	n	令和4年度	令和3年度	前年度比較	比較順位	
			実感度 (%)	実感度 (%)			
安心政策	日常生活に必要な施設が身近にある	(1,037)	75.4	75.1	▲ 0.3	11	
	安心・安全に通行できる道路環境	(1,007)	46.8	47.6	▲ 0.8	21	
	日常生活における移動がスムーズ	(1,022)	59.3	56.9	▲ 2.4	2	
	住環境の整備の取組	(843)	16.4	18.5	▲ 2.1	35	
	中心市街地の整備	(979)	42.7	46.5	▲ 3.8	53	
	中心市街地のにぎわい	(987)	31.2	29.3	▲ 1.9	4	
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	(908)	48.4	52.8	▲ 4.4	58	
	景観が守られている	(962)	44.5	48.1	▲ 3.6	48	
	新たな産業拠点の創出	(878)	32.4	34.0	▲ 1.6	30	
	市内に利用したい店舗がある	(996)	46.4	42.6	▲ 3.8	1	
	創業支援や中小企業支援の充実	(736)	19.2	22.8	▲ 3.6	48	
	企業誘致の推進	(756)	24.5	26.6	▲ 2.1	35	
	先端技術産業の推進	(742)	20.9	22.0	▲ 1.1	24	
	就労支援と勤労者への支援の充実	(858)	23.2	29.2	▲ 6.0	68	
	発展政策	広域の観光に対する取組	(941)	47.2	48.1	▲ 0.9	22
観光資源の活性化		(945)	42.2	43.6	▲ 1.4	27	
観光情報の発信の充実		(947)	32.3	36.6	▲ 4.3	57	
本市の魅力発信		(937)	38.5	44.8	▲ 6.3	70	
定住促進の取組		(771)	22.1	24.2	▲ 2.1	35	
農地有効利用の取組		(751)	23.7	29.1	▲ 5.4	65	
地産地消の推進		(850)	40.1	43.8	▲ 3.7	51	
発展政策 平均値			37.0	39.2	▲ 2.2	③	
潤い政策		環境教育や環境学習の取組	(804)	24.7	25.7	▲ 1.0	23
		再生可能エネルギーの普及	(842)	20.8	23.3	▲ 2.5	41
		省エネの取組	(872)	24.0	24.6	▲ 0.6	19
		ごみの減量化、資源化の推進	(977)	57.4	57.7	▲ 0.3	14
		生物多様性の普及や保全	(789)	22.0	23.6	▲ 1.6	30
		里山里山の保全や活用	(797)	25.6	28.1	▲ 2.5	41
		山林の再生の推進	(776)	20.9	22.0	▲ 1.1	24
	緑豊かな生活環境	(1,023)	61.1	62.6	▲ 1.5	28	
	清潔で快適な生活環境	(1,008)	59.9	62.0	▲ 2.1	35	
	親しみやすい水辺空間	(941)	44.2	45.8	▲ 1.6	30	
潤い政策 平均値			36.1	37.5	▲ 1.4	④	
共創政策	協働によるまちづくり	(896)	42.3	46.4	▲ 4.1	55	
	必要な行政情報の発信	(912)	63.1	63.7	▲ 0.6	19	
	変化やニーズに対応した行政運営	(812)	29.5	33.9	▲ 4.4	58	
	公共施設の老朽化に対する取組	(809)	36.5	39.7	▲ 3.2	45	
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	(796)	24.0	26.9	▲ 2.9	44	
	国内友好都市との交流	(795)	27.9	31.9	▲ 4.0	54	
共創政策 平均値			37.2	40.4	▲ 3.2	①	
平均値			38.5	41.0	▲ 2.5	—	

(※1) 「比較順位」は、「前年度比較」の大きい順に第1位～第77位の順位を示す。
 なお、網かけは、「比較順位」の上位5位までの項目を示す。

【77項目別 重要度の結果】

基本政策	項目	n	令和4年度重要度(%)	令和3年度重要度(%)	前年度比較	比較順位
安心政策	災害に備えたハード整備	(935)	92.5	92.2	0.3	34
	災害対応力の強化の取組	(946)	90.4	92.4	▲ 2.0	66
	地域防災力向上の取組	(933)	88.9	88.6	0.3	34
	消防・救急・救助体制の充実	(902)	95.8	94.9	0.9	21
	応急手当の普及	(886)	91.1	91.8	▲ 0.7	51
	火災予防の取組	(890)	89.8	89.7	0.1	40
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	(929)	90.9	89.2	1.7	11
	交通安全の取組	(945)	90.0	89.2	0.8	24
	防犯の取組	(941)	92.9	91.9	1.0	18
	安心政策 平均値		91.4	91.1	0.3	⑥
輝き政策	地域福祉活動の推進	(889)	89.4	90.3	▲ 0.9	57
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	(879)	88.3	89.0	▲ 0.7	51
	高齢者福祉施設の整備などの充実	(868)	89.3	88.3	1.0	18
	高齢者に対する支援の充実	(870)	88.6	88.1	0.5	31
	障がい者に対する支援の充実	(844)	88.9	87.3	1.6	13
	包括的な支援体制の充実	(859)	89.1	88.9	0.2	36
	子育てサービスの充実	(763)	90.8	90.2	0.6	28
	保育と幼児教育の充実	(742)	90.2	89.0	1.2	16
	親と子の健康づくりの取組	(734)	87.9	88.5	▲ 0.6	48
	休日・夜間医療体制の充実	(927)	92.6	92.2	0.4	32
	市立病院の救急医療体制の充実	(921)	91.2	91.4	▲ 0.2	45
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	(910)	86.9	86.9	0.0	41
	健康づくりの取組	(956)	84.3	85.5	▲ 1.2	59
	介護予防と認知症に対する取組	(922)	84.5	86.5	▲ 2.0	66
	互いの違いを尊重できるまちづくり	(893)	74.5	73.8	0.7	26
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	(897)	81.5	83.1	▲ 1.6	62
	平和についての啓発の推進	(880)	72.9	72.9	0.0	41
	輝き政策 平均値		86.5	86.6	▲ 0.1	⑤
	成長政策	子どもたちが自ら課題に取り組む	(720)	86.8	87.5	▲ 0.7
教育支援体制の充実		(717)	87.1	85.4	1.7	11
安全な教育環境の整備		(723)	87.7	87.1	0.6	28
子どもたちが安心して共に学べる取組		(699)	83.8	84.4	▲ 0.6	48
社会教育の取組		(762)	76.5	76.3	0.2	36
家庭・地域・学校の協働の推進		(755)	76.5	77.1	▲ 0.6	48
生涯学習活動の支援や環境の整備		(778)	76.7	79.2	▲ 2.5	68
青少年の健全育成の取組		(754)	72.0	75.9	▲ 3.9	76
文化芸術に親しむ機会の提供		(910)	61.4	61.2	0.2	36
郷土文化の継承と発展の取組		(902)	58.9	59.6	▲ 0.7	51
あつぎ郷土博物館の取組		(866)	51.8	55.1	▲ 3.3	72
運動・スポーツ活動の機会提供		(920)	75.4	72.8	2.6	7
競技力を向上するための取組		(890)	62.9	62.0	0.9	21
スポーツ施設の充実		(917)	71.2	71.2	0.0	41
成長政策 平均値		73.5	73.9	▲ 0.4	③	

基本政策	項目	n	令和4年度重要度(%)	令和3年度重要度(%)	前年度比較	比較順位
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	(934)	93.7	93.7	0.0	41
	安心・安全に通行できる道路環境	(926)	94.8	95.1	▲ 0.3	46
	日常生活における移動がスムーズ	(928)	93.3	94.0	▲ 0.7	51
	住環境の整備の取組	(840)	84.0	81.3	2.7	6
	中心市街地の整備	(893)	85.7	84.4	1.3	15
	中心市街地のにぎわい	(890)	81.5	78.6	2.9	5
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	(882)	75.6	78.6	▲ 3.0	71
	景観が守られている	(924)	79.3	81.1	▲ 1.8	64
	新たな産業拠点の創出	(860)	73.3	74.8	▲ 1.5	61
	市内に利用したい店舗がある	(909)	85.7	84.7	1.0	18
	創業支援や中小企業支援の充実	(756)	78.3	74.2	4.1	1
	企業誘致の推進	(766)	77.3	73.2	4.1	1
	先端技術産業の推進	(753)	67.3	64.3	3.0	4
	就労支援と勤労者への支援の充実	(854)	81.1	84.4	▲ 3.3	72
広域の観光に対する取組	(916)	71.7	69.1	2.6	7	
観光資源の活性化	(915)	73.2	71.2	2.0	10	
観光情報の発信の充実	(914)	70.2	71.6	▲ 1.4	60	
本市の魅力発信	(873)	79.5	78.7	0.8	24	
定住促進の取組	(777)	72.7	70.5	2.2	9	
農地有効利用の取組	(781)	67.3	66.6	0.7	26	
地産地消の推進	(846)	73.3	73.6	▲ 0.3	46	
発展政策 平均値		79.0	78.3	0.7	④	
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	(842)	75.5	80.3	▲ 4.8	77
	再生可能エネルギーの普及	(868)	79.5	81.3	▲ 1.8	64
	省エネの取組	(879)	77.1	79.6	▲ 2.5	68
	ごみの減量化、資源化の推進	(918)	90.2	90.0	0.2	36
	生物多様性の普及や保全	(829)	69.1	72.9	▲ 3.8	75
	里地里山の保全や活用	(835)	73.7	75.4	▲ 1.7	63
	山林の再生の推進	(826)	75.2	77.8	▲ 2.6	70
	緑豊かな生活環境	(928)	90.0	88.5	1.5	14
	清潔で快適な生活環境	(921)	89.9	89.5	0.4	32
	親しみやすい水辺空間	(882)	76.0	75.1	0.9	21
	潤い政策 平均値		79.6	81.0	▲ 1.4	②
共創政策	協働によるまちづくり	(847)	79.1	75.4	3.7	3
	必要な行政情報の発信	(846)	85.0	83.8	1.2	16
	変化やニーズに対応した行政運営	(779)	85.3	86.1	▲ 0.8	56
	公共施設の老朽化に対する取組	(785)	82.6	82.0	0.6	28
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	(829)	74.6	75.6	▲ 1.0	58
	国内友好都市との交流	(813)	57.5	60.9	▲ 3.4	74
共創政策 平均値		77.4	77.3	0.1	①	
平均値		81.1	81.1	0.0	-	

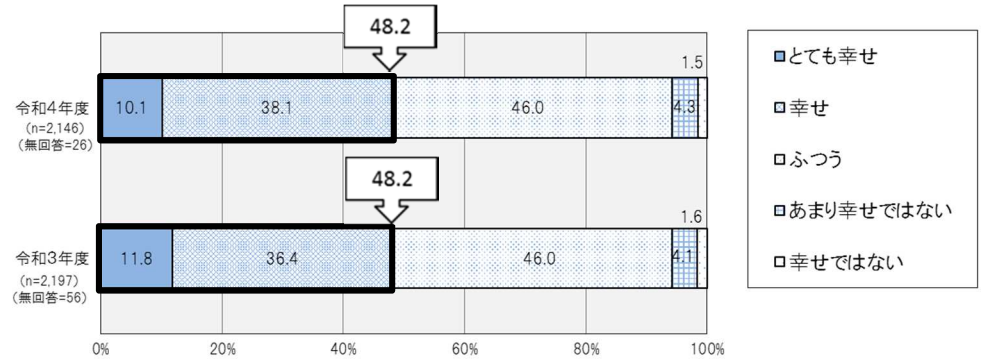
(※1) 「比較順位」は、「前年度比較」の大きい順に第1位～第77位の順位を示す。
 なお、網かけは、「比較順位」の上位5位までの項目を示す。

【27項目別 行動変容の結果】

基本政策	項目名 (～市民の割合)	令和4年度 実績値 (%)	令和3年度 実績値 (%)	前年度比較	比較順位	
						n
安心政策	災害に備えていることがある (A:問2)	(1,068)	89.0	89.9	▲ 0.9	20
	AEDや心臓マッサージの方法を知っている (B:問2)	(1,043)	62.2	61.9	0.3	15
	消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている (B:問3)	(1,052)	79.5	79.4	0.1	17
	自転車の安全のために心掛けていることがある (A:問3)	(893)	57.3	60.8	▲ 3.5	26
	防犯等の対策について心掛けていることがある (A:問4)	(1,065)	89.6	89.5	0.1	17
安心政策 平均値			75.5	76.3	▲ 0.8	②
輝き政策	地域の人の関わりがあると思う (B:問4)	(1,054)	57.3	55.2	2.1	9
	生きがいを持って生活を送っている (B:問5)	(1,028)	76.0	75.2	0.8	11
	子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる (B:問6)	(650)	60.5	62.8	▲ 2.3	23
	健康増進のために取り組んでいることがある (A:問5)	(1,043)	91.5	92.8	▲ 1.3	22
	健康診断やがん検診、人間ドックを受けた (A:問6)	(1,038)	81.3	80.3	1.0	10
認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある (A:問7)	(1,027)	81.9	79.4	2.5	6	
輝き政策 平均値			74.7	74.3	0.4	④
成長政策	子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う (B:問7)	(685)	67.4	69.8	▲ 2.4	24
	公民館を利用している (B:問8)	(1,015)	31.8	29.4	2.4	7
	地域や学校の行事に参加又は協力している (B:問9)	(1,005)	38.7	35.2	3.5	2
	生涯学習活動を行っている (B:問10)	(964)	54.1	50.7	3.4	3
	図書館を利用している (B:問11)	(989)	24.3	23.7	0.6	12
	市内で文化芸術に親しんでいる (A:問8)	(1,035)	19.4	16.4	3.0	5
	厚木の郷土文化に興味がある (A:問9)	(1,023)	52.5	57.0	▲ 4.5	27
運動やスポーツを週3回以上行っている (A:問10)	(1,041)	29.3	27.1	2.2	8	
成長政策 平均値			39.7	38.7	1.0	②
発展政策	主に利用する店舗が市内にあると回答した (B:問12)	(906)	86.3	86.7	▲ 0.4	19
	市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした (A:問11)	(1,042)	32.0	22.1	9.9	1
	地元の農産物を購入した (A:問12)	(1,047)	78.8	78.2	0.6	12
発展政策 平均値			65.7	62.3	3.4	⑥
潤い政策	地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある (A:問13)	(1,019)	78.8	78.6	0.2	16
	ごみの減量を意識している (B:問13)	(1,007)	70.9	70.5	0.4	14
	資源の分別を意識している (B:問14)	(1,019)	96.7	97.8	▲ 1.1	21
潤い政策 平均値			82.1	82.3	▲ 0.2	④
共創政策	自治会やボランティア・NPO等の活動に参加している (B:問15)	(998)	41.8	38.5	3.3	4
	必要な行政情報を入手できている (B:問16)	(929)	77.1	80.0	▲ 2.9	25
共創政策 平均値			59.4	59.2	0.2	①
平均値			63.2	62.6	0.6	-

(※1) Aは調査票Aの設問を、Bは調査票Bの設問を示す。
(※2) 網かけは、「比較順位」は、「前年度比較」の大きい順に第1位～第27位の順位を示す。
なお、網かけは、「比較順位」の上位5位までの項目を示す。

【幸福度の結果】



令和4年度厚木市民実感度調査結果（主な調査結果一覧）

※調査結果の値の高い（低い）順に5項目を記載

【実感度】

実感度が高い項目	割合
日常生活に必要な施設が身近にある	75.4%
消防・救急・救助体制の充実	70.1%
子育てサービスの充実	64.0%
健康づくりの取組	63.8%
必要な行政情報の発信	63.1%

実感度が低い項目	割合
住環境の整備の取組	16.4%
平和についての啓発の推進	18.9%
創業支援や中小企業支援の充実	19.2%
再生可能エネルギーの普及	20.8%
山林の再生の推進	20.9%
先端技術産業の推進	20.9%

実感していない人の割合が高い項目	割合
中心市街地のにぎわい	45.0%
住環境の整備の取組	43.0%
先端技術産業の推進	42.4%
企業誘致の推進	36.7%
定住促進の取組	34.8%

実感していない人の割合が低い項目	割合
消防・救急・救助体制の充実	4.3%
子育てサービスの充実	7.2%
保育と幼児教育の充実	10.6%
親と子の健康づくりの取組	10.7%
健康づくりの取組	12.1%

■令和3年度との比較

実感度が上昇した項目	R4	R3	増減
市内に利用したい店舗がある	46.4%	42.6%	3.8
日常生活における移動がスムーズ	59.3%	56.9%	2.4
健康づくりの取組	63.8%	61.7%	2.1
互いの違いを尊重できるまちづくり	31.7%	29.8%	1.9
中心市街地のにぎわい	31.2%	29.3%	1.9

実感度が低下した項目	R4	R3	増減
防犯の取組	30.2%	38.2%	▲ 8.0
親と子の健康づくりの取組	48.8%	56.8%	▲ 8.0
教育支援体制の充実	29.1%	36.6%	▲ 7.5
保育と幼児教育の充実	50.7%	57.5%	▲ 6.8
安全な教育環境の整備	38.7%	45.3%	▲ 6.6

実感していない人の割合が上昇した項目	R4	R3	増減
住環境の整備の取組	43.0%	35.9%	7.1
農地有効利用の取組	29.3%	22.5%	6.8
防犯の取組	33.0%	26.8%	6.2
企業誘致の推進	36.7%	31.6%	5.1
国内友好都市との交流	30.6%	25.6%	5.0
教育支援体制の充実	20.5%	15.5%	5.0

実感していない人の割合が低下した項目	R4	R3	増減
日常生活における移動がスムーズ	21.3%	24.9%	▲ 3.6
市立病院の救急医療体制の充実	12.8%	15.6%	▲ 2.8
休日・夜間医療体制の充実	16.2%	18.2%	▲ 2.0
応急手当の普及	13.7%	15.6%	▲ 1.9
公共施設の老朽化に対する取組	25.3%	27.0%	▲ 1.7

【行動変容】

行動変容の実績値が高い項目	割合
資源の分別を意識している	96.7%
健康増進のために取り組んでいることがある	91.5%
防犯等の対策について心掛けていることがある	89.6%
災害に備えていることがある	89.0%
主に利用する店舗が市内にあると回答した	86.3%

行動変容の実績値が低い項目	割合
市内で文化芸術に親しんでいる	19.4%
市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした	24.3%
図書館を利用している	29.3%
運動やスポーツを週3回以上行っている	31.8%
公民館を利用している	32.0%

【重要度】

重要度が高い項目	割合
消防・救急・救助体制の充実	95.8%
安心・安全に通行できる道路環境	94.8%
日常生活に必要な施設が身近にある	93.7%
日常生活における移動がスムーズ	93.3%
防犯の取組	92.9%

重要度が低い項目	割合
あつぎ郷土博物館の取組	51.8%
国内友好都市との交流	57.5%
郷土文化の継承と発展の取組	58.9%
文化芸術に親しむ機会の提供	61.4%
競技力を向上するための取組	62.9%

重要視していない人の割合が高い項目	割合
国内友好都市との交流	9.5%
あつぎ郷土博物館の取組	9.3%
郷土文化の継承と発展の取組	8.1%
文化芸術に親しむ機会の提供	7.1%
先端技術産業の推進	6.4%

重要視していない人の割合が低い項目	割合
防犯の取組	0.4%
消防・救急・救助体制の充実	0.5%
休日・夜間医療体制の充実	0.6%
教育支援体制の充実	0.7%
安全な教育環境の整備	0.7%
健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	0.7%
地域福祉活動の推進	0.7%
安心・安全に通行できる道路環境	0.7%

■令和3年度との比較

重要度が上昇した項目	R4	R3	増減
創業支援や中小企業支援の充実	78.3%	74.2%	4.1
企業誘致の推進	77.3%	73.2%	4.1
協働によるまちづくり	79.1%	75.4%	3.7
先端技術産業の推進	67.3%	64.3%	3.0
中心市街地のにぎわい	81.5%	78.6%	2.9

重要度が低下した項目	R4	R3	増減
環境教育や環境学習の取組	75.5%	80.3%	▲ 4.8
青少年の健全育成の取組	72.0%	75.9%	▲ 3.9
生物多様性の普及や保全	69.1%	72.9%	▲ 3.8
国内友好都市との交流	57.5%	60.9%	▲ 3.4
あつぎ郷土博物館の取組	51.8%	55.1%	▲ 3.3
就労支援と勤労者への支援の充実	81.1%	84.4%	▲ 3.3

重要視していない人の割合が上昇した項目	R4	R3	増減
観光資源の活性化	4.5%	2.6%	1.9
里地里山の保全や活用	3.6%	1.8%	1.8
山林の再生の推進	3.4%	1.8%	1.6
広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	3.5%	2.2%	1.3
先端技術産業の推進	6.4%	5.2%	1.2

重要視していない人の割合が低下した項目	R4	R3	増減
社会教育の取組	1.7%	4.1%	▲ 2.4
平和についての啓発の推進	4.4%	6.5%	▲ 2.1
定住促進の取組	4.0%	5.6%	▲ 1.6
親しみやすい水辺空間	3.2%	4.8%	▲ 1.6
教育支援体制の充実	0.7%	2.1%	▲ 1.4

■令和3年度との比較

行動変容の実績値が上昇した項目	R4	R3	増減
市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした	32.0%	22.1%	9.9
地域や学校の行事に参加又は協力している	38.7%	35.2%	3.5
生涯学習活動を行っている	54.1%	50.7%	3.4
自治会やボランティア・NPO等の活動に参加している	41.8%	38.5%	3.3
市内で文化芸術に親しんでいる	19.4%	16.4%	3.0

行動変容の実績値が低下した項目	R4	R3	増減
厚木の郷土文化に興味がある	52.5%	57.0%	▲ 4.5
自転車の安全のために心掛けていることがある	57.3%	60.8%	▲ 3.5
必要な行政情報を入手できている	77.1%	80.0%	▲ 2.9
子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う	67.4%	69.8%	▲ 2.4
子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がある	60.5%	62.8%	▲ 2.3

令和4年度 厚木市民実感度調査報告書

厚木市

目次

1	調査の概要.....	1
1-1	調査の目的.....	1
1-2	調査の概要.....	1
	(1) 調査項目.....	1
	(2) 調査設計.....	2
	(3) 回収結果.....	2
1-3	報告書の見方.....	2
1-4	各設問の標本誤差.....	3
2	調査結果.....	4
2-1	回答者の属性.....	4
	(1) 性別.....	4
	(2) 年代.....	5
	(3) 家族構成.....	5
	(4) 居住地区.....	8
	(5) 居住年数.....	9
2-2	項目別実感度・重要度、幸福度.....	10
	(1) 市の施策に対する実感度（A・B：問1）.....	10
	(2) 市の施策に対する重要度（A・B：問1）.....	24
	(3) 実感度と重要度の関係.....	38
	(4) 項目別ニーズ得点.....	42

(5) 前年度調査との比較	45
(6) 幸福度 (A：問 15、B：問 18、図表 17)	52
2-3 行動変容 (市の施策による市民の行動の変化)	54
2-3-1 安心政策	56
2-3-2 輝き政策	66
2-3-3 成長政策	78
2-3-4 発展政策	94
2-3-5 潤い政策	102
2-3-6 共創政策	108
3 総括	114
4 調査票様式	118
4-1 調査票 A	118
4-2 調査票 B	129
< 参考資料 >	140

1 調査の概要

1-1 調査の目的

本調査は、市の施策や事業に関する市民の実感度及び重要度の調査、集計及び分析を行うことにより、今後の市政運営及び第10次厚木市総合計画（以下「総合計画」という。）の進行管理の基礎資料等とすることを目的とする。

1-2 調査の概要

(1) 調査項目

ア 項目別実感度・重要度

分野	調査票 A	調査票 B
① 安心政策（命、財産を守り抜くまち）	6 項目	3 項目
② 輝き政策（支えあい、生き生きと暮らせるまち）	8 項目	9 項目
③ 成長政策（夢や希望を持ち、自己実現ができるまち）	6 項目	8 項目
④ 発展政策（人が集い、交流し、新たな価値を生むまち）	9 項目	12 項目
⑤ 潤い政策（環境に優しく、自然と共生するまち）	6 項目	4 項目
⑥ 共創政策（市民と共に確かな成長を創り出すまち）	2 項目	4 項目
合計	37 項目	40 項目

※分野については、総合計画に定めた六つのまちづくりのビジョン（基本政策）別に分類した。

イ 行動変容（市の施策による市民の行動の変化）

分野	調査票 A	調査票 B
① 安心政策（命、財産を守り抜くまち）	3 項目	2 項目
② 輝き政策（支えあい、生き生きと暮らせるまち）	3 項目	3 項目
③ 成長政策（夢や希望を持ち、自己実現ができるまち）	3 項目	5 項目
④ 発展政策（人が集い、交流し、新たな価値を生むまち）	2 項目	1 項目
⑤ 潤い政策（環境に優しく、自然と共生するまち）	1 項目	2 項目
⑥ 共創政策（市民と共に確かな成長を創り出すまち）	- 項目	2 項目
合計	12 項目	15 項目

ウ 幸福度（市民がどの程度幸せと感じているか）

(2) 調査設計

- ア 調査地域 厚木市全域
- イ 調査対象 厚木市在住の満 18 歳以上の男女（外国人住民を含む。）
- ウ 調査対象者数 5,000 人
- エ 抽出方法 住民基本台帳を基に無作為抽出
(年代及び居住地区は、全体の構成比に基づく。)
- オ 調査方法 「調査票 A」、「調査票 B」に分け、それぞれ 2,500 人に郵送配布し、
郵送又はインターネット回答
- カ 調査期間 令和 5 年 1 月 31 日(火)から 2 月 20 日(月)まで

(3) 回収結果

有効回収数及び回収率は次のとおり

- ア 有効回収数 2,167 人（調査票 A：1,091 人、調査票 B：1,076 人）
- イ 回収率 43.3%（調査票 A：43.6%、調査票 B：43.0%）

1-3 報告書の見方

- (1) 図表中の「n」(Number of Cases の略)は、各設問の回答者数のことである。
なお、質問内容について、身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は無回答であり、「n」には含めない。
- (2) 集計は、小数点第 2 位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が 100.0% ちょうどにならない場合がある。
- (3) 回答の比率 (%) は、各設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0% を超えることがある。
- (4) 本報告書における令和 3 年度の結果については、「令和 3 年度市民実感度調査（以下「前年度調査」という。）」の結果を使用している。

1-4 各設問の標本誤差

標本誤差は、次式で統計学的に得られ、①比率算出の基数(n)、②回答の比率(p)によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

(注) $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$

N=母集団数 192,361 人
 ※令和4年12月1日現在の18歳以上の住民基本台帳人口
 n=比率算出の基数(回答者数)
 p=回答の比率(%)

今回の調査結果の標本誤差は、次表のようになる。(この表の計算式の信頼度は95.0%)

n \ p	回答比率				
	90%または10%	80%または20%	70%または30%	60%または40%	50%
2,167	±1.26	±1.67	±1.92	±2.05	±2.09
2,000	±1.31	±1.74	±2.00	±2.14	±2.18
1,500	±1.51	±2.02	±2.31	±2.47	±2.52
1,000	±1.85	±2.47	±2.83	±3.03	±3.09
500	±2.63	±3.50	±4.01	±4.29	±4.38
100	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

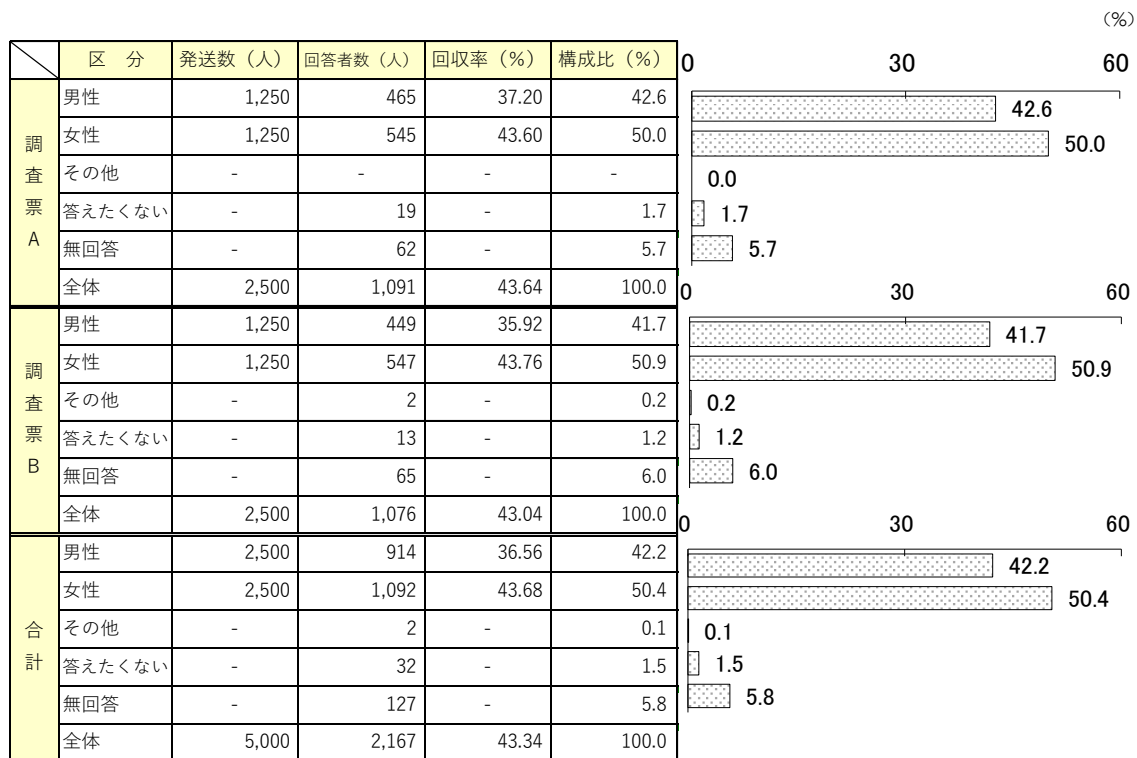
※例えば、ある質問の回答者数が2,167人で、「そう思う」の回答比率が20.0%だった場合、信頼度が95%の回答比率に対する標本誤差は、上記表の通り±1.67であり、その質問に対する18歳以上の厚木市在住者全体の回答比率は、18.33%～21.67%の範囲にあると考えられる。

2 調査結果

2-1 回答者の属性

※ 調査対象者の抽出条件とした項目については、発送数を参考に掲載している。

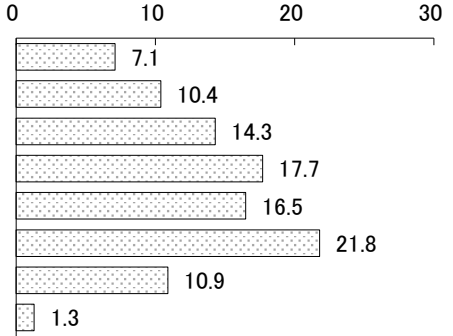
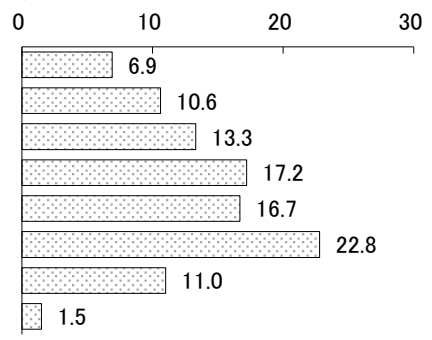
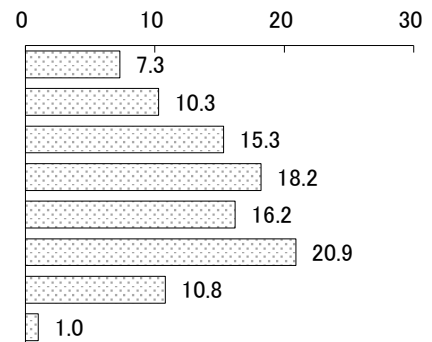
(1) 性別



(2) 年代

(%)

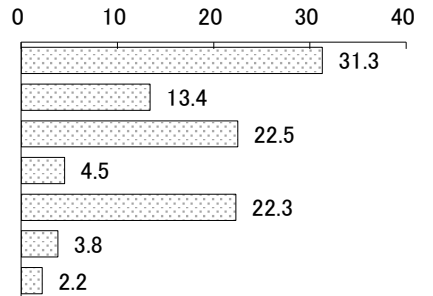
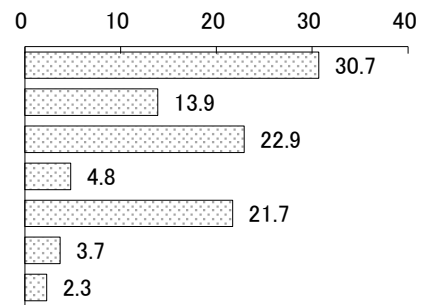
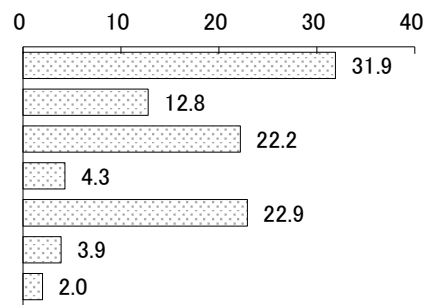
	区分	発送数(人)	回答者数(人)	回収率(%)	構成比(%)
調査票 A	10代・20代	392	79	20.15	7.3
	30代	340	112	32.94	10.3
	40代	424	167	39.39	15.3
	50代	448	199	44.42	18.2
	60代	318	177	55.66	16.2
	70代	362	228	62.98	20.9
	80代以上	216	118	54.63	10.8
	無回答	-	11	-	1.0
	全体	2,500	1,091	43.64	100.0
調査票 B	10代・20代	392	74	18.88	6.9
	30代	336	114	33.93	10.6
	40代	428	143	33.41	13.3
	50代	446	185	41.48	17.2
	60代	318	180	56.60	16.7
	70代	364	245	67.31	22.8
	80代以上	216	119	55.09	11.0
	無回答	-	16	-	1.5
	全体	2,500	1,076	43.04	100.0
合計	10代・20代	784	153	24.81	7.1
	30代	676	226	31.75	10.4
	40代	852	310	41.79	14.3
	50代	894	384	42.32	17.7
	60代	636	357	55.17	16.5
	70代	726	473	64.29	21.8
	80代以上	432	237	56.48	10.9
	無回答	-	27	-	1.3
	全体	5,000	2,167	43.34	100.0



(3) 家族構成

(%)

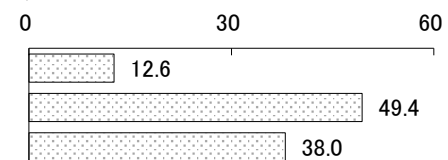
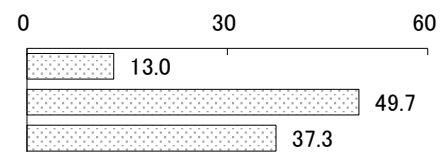
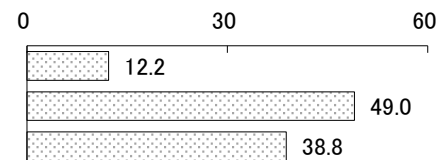
	区 分	回答者数 (人)	構成比 (%)
調査票 A	夫婦	348	31.9
	親子 (親との二世代)	140	12.8
	親子 (子との二世代)	242	22.2
	親子孫 (三世代)	47	4.3
	一人暮らし	250	22.9
	その他	42	3.9
	無回答	22	2.0
	全体	1,091	100.0
調査票 B	夫婦	330	30.7
	親子 (親との二世代)	150	13.9
	親子 (子との二世代)	246	22.9
	親子孫 (三世代)	52	4.8
	一人暮らし	233	21.7
	その他	40	3.7
	無回答	25	2.3
	全体	1,076	100.0
合計	夫婦	678	31.3
	親子 (親との二世代)	290	13.4
	親子 (子との二世代)	488	22.5
	親子孫 (三世代)	99	4.5
	一人暮らし	483	22.3
	その他	82	3.8
	無回答	47	2.2
	全体	2,167	100.0



ア 家族の中に中学生以下の子どもがいる世帯

(%)

	区 分	回答者数 (人)	構成比 (%)
調査票 A	いる世帯	133	12.2
	いない世帯	535	49.0
	無回答	423	38.8
	全体	1,091	100.0
調査票 B	いる世帯	140	13.0
	いない世帯	535	49.7
	無回答	401	37.3
	全体	1,076	100.0
合計	いる世帯	273	12.6
	いない世帯	1,070	49.4
	無回答	824	38.0
	全体	2,167	100.0



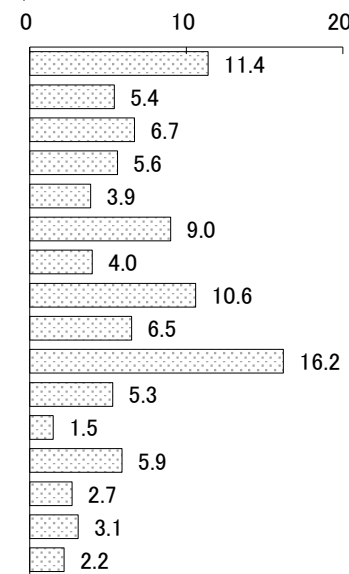
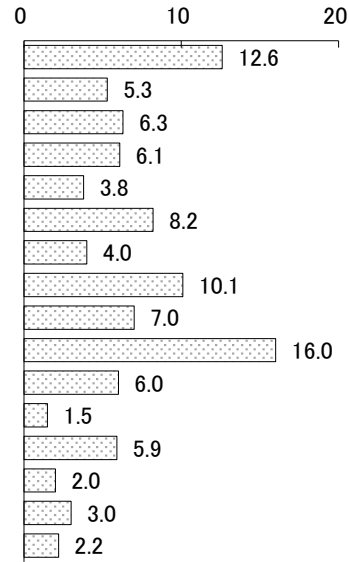
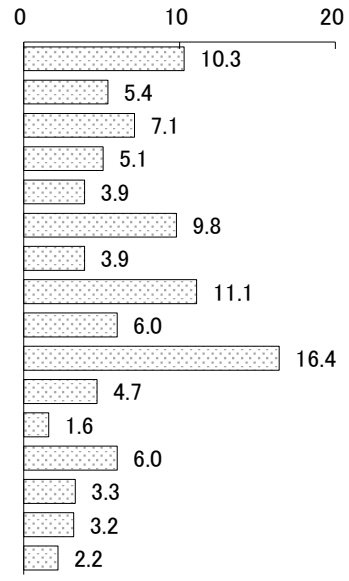
イ 家族の中に65歳以上の方がいる世帯（本人を含む。）

	区 分	回答者数 (人)	構成比 (%)	(%)
調査票 A	いる世帯	347	31.8	31.8
	いない世帯	378	34.6	34.6
	無回答	366	33.6	33.6
	全体	1,091	100.0	
調査票 B	いる世帯	388	36.1	36.1
	いない世帯	348	32.3	32.3
	無回答	340	31.6	31.6
	全体	1,076	100.0	
合計	いる世帯	735	33.9	33.9
	いない世帯	726	33.5	33.5
	無回答	706	32.6	32.6
	全体	2,167	100.0	

(4) 居住地区

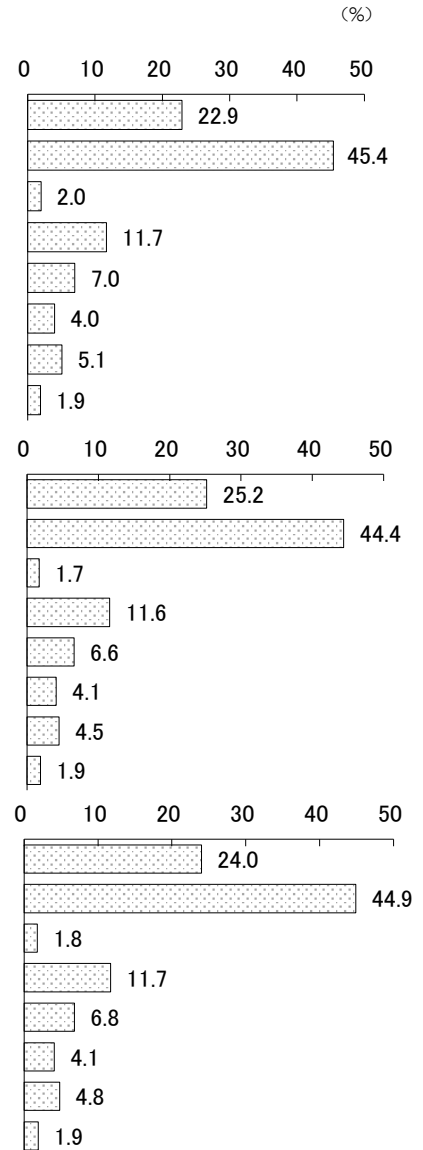
(%)

	区 分	発送数 (人)	回答者数 (人)	回収率 (%)	構成比 (%)
調査票 A	厚木北	276	112	40.58	10.3
	厚木南	124	59	47.58	5.4
	依知北	211	77	36.49	7.1
	依知南	145	56	38.62	5.1
	睦合北	119	43	36.13	3.9
	睦合南	224	107	47.77	9.8
	睦合西	109	43	39.45	3.9
	荻野	278	121	43.53	11.1
	小鮎	152	65	42.76	6.0
	南毛利	421	179	42.52	16.4
	南毛利南	124	51	41.13	4.7
	玉川	37	17	45.95	1.6
	相川	157	66	42.04	6.0
	緑ヶ丘	57	36	63.16	3.3
	森の里	66	35	53.03	3.2
	無回答	-	24	-	2.2
	全体	2,500	1,091	43.64	100.0
	調査票 B	厚木北	271	136	50.18
厚木南		122	57	46.72	5.3
依知北		210	68	32.38	6.3
依知南		147	66	44.90	6.1
睦合北		114	41	35.96	3.8
睦合南		228	88	38.60	8.2
睦合西		110	43	39.09	4.0
荻野		280	109	38.93	10.1
小鮎		149	75	50.34	7.0
南毛利		427	172	40.28	16.0
南毛利南		126	64	50.79	6.0
玉川		34	16	47.06	1.5
相川		162	63	38.89	5.9
緑ヶ丘		54	22	40.74	2.0
森の里		66	32	48.48	3.0
無回答		-	24	-	2.2
全体		2,500	1,076	43.04	100.0
合計		厚木北	547	248	45.34
	厚木南	246	116	47.15	5.4
	依知北	421	145	34.44	6.7
	依知南	292	122	41.78	5.6
	睦合北	233	84	36.05	3.9
	睦合南	452	195	43.14	9.0
	睦合西	219	86	39.27	4.0
	荻野	558	230	41.22	10.6
	小鮎	301	140	46.51	6.5
	南毛利	848	351	41.39	16.2
	南毛利南	250	115	46.00	5.3
	玉川	71	33	46.48	1.5
	相川	319	129	40.44	5.9
	緑ヶ丘	111	58	52.25	2.7
	森の里	132	67	50.76	3.1
	無回答	-	48	-	2.2
	全体	5,000	2,167	43.34	100.0



(5) 居住年数

	区 分	回答者数 (人)	構成比 (%)
調査票 A	20年以上 (生まれてからずっと)	250	22.9
	20年以上 (転入して以来)	495	45.4
	10～19年 (生まれてからずっと)	22	2.0
	10～19年 (転入して以来)	128	11.7
	5～9年	76	7.0
	3～4年	44	4.0
	2年以下	55	5.1
	無回答	21	1.9
	全体	1,091	100.0
調査票 B	20年以上 (生まれてからずっと)	271	25.2
	20年以上 (転入して以来)	478	44.4
	10～19年 (生まれてからずっと)	18	1.7
	10～19年 (転入して以来)	125	11.6
	5～9年	71	6.6
	3～4年	44	4.1
	2年以下	48	4.5
	無回答	21	1.9
	全体	1,076	100.0
合計	20年以上 (生まれてからずっと)	521	24.0
	20年以上 (転入して以来)	973	44.9
	10～19年 (生まれてからずっと)	40	1.8
	10～19年 (転入して以来)	253	11.7
	5～9年	147	6.8
	3～4年	88	4.1
	2年以下	103	4.8
	無回答	42	1.9
	全体	2,167	100.0



2-2 項目別実感度・重要度、幸福度

(1) 市の施策に対する実感度 (A・B:問1)

ア 基本政策別の傾向 (図表1、図表2)

(ア) 実感している人の割合 (「そう思う」と「ややそう思う」の合計) が高い政策

- ① 安心政策 (平均値 43.3%)
- ② 輝き政策 (平均値 42.0%)
- ③ 共創政策 (平均値 37.3%)

(イ) 実感していない人の割合 (「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計) が高い政策

- ① 発展政策 (平均値 30.0%)
- ② 潤い政策 (平均値 26.3%)
- ③ 共創政策 (平均値 24.6%)

イ 77項目別の傾向

(ア) 実感している人の割合が高い項目 (図表3)

- ① 日常生活に必要な施設が身近にある (75.4%)
- ② 消防・救急・救助体制の充実 (70.1%)
- ③ 子育てサービスの充実 (64.0%)
- ④ 健康づくりの取組 (63.8%)
- ⑤ 必要な行政情報の発信 (63.1%)

(イ) 実感している人の割合が低い項目 (図表3)

- ① 住環境の整備の取組 (16.4%)
- ② 平和についての啓発の推進 (18.9%)
- ③ 創業支援や中小企業支援の充実 (19.2%)
- ④ 再生可能エネルギーの普及 (20.8%)
- ⑤ 山林の再生の推進 (20.9%)
- ⑤ 先端技術産業の推進 (20.9%)

(ウ) 実感していない人の割合が高い項目 (図表4)

- ① 中心市街地のにぎわい (45.0%)
- ② 住環境の整備の取組 (43.0%)
- ③ 先端技術産業の推進 (42.4%)
- ④ 企業誘致の推進 (36.7%)
- ⑤ 定住促進の取組 (34.8%)

(エ) 実感していない人の割合が低い項目 (図表4)

- ① 消防・救急・救助体制の充実 (4.3%)
- ② 子育てサービスの充実 (7.2%)
- ③ 保育と幼児教育の充実 (10.6%)
- ④ 親と子の健康づくりの取組 (10.7%)
- ⑤ 健康づくりの取組 (12.1%)

ウ 無回答者の割合

(ア) 無回答者の割合が高い政策 (図表 5)

- ① 成長政策 (平均値 27.5%)
- ② 共創政策 (平均値 22.6%)
- ③ 輝き政策 (平均値 21.0%)

(イ) 無回答者の割合が低い政策 (図表 5)

- ① 安心政策 (平均値 14.1%)
- ② 発展政策 (平均値 17.1%)
- ③ 潤い政策 (平均値 18.6%)

(ウ) 無回答者の割合が高い項目 (図表 6)

- ① 子どもたちが安心して共に学べる取組 (41.4%)
- ② 教育支援体制の充実 (39.7%)
- ③ 子どもたちが自ら課題に取り組む (39.5%)
- ④ 安全な教育環境の整備 (38.8%)
- ⑤ 親と子の健康づくりの取組 (35.7%)

(エ) 無回答者の割合が低い項目 (図表 6)

- ① 日常生活に必要な施設が身近にある (3.6%)
- ② 緑豊かな生活環境 (4.9%)
- ③ 日常生活における移動がスムーズ (5.0%)
- ④ 清潔で快適な生活環境 (6.3%)
- ⑤ 安心・安全に通行できる道路環境 (6.4%)

図表1 実感度（基本政策別・項目別一覧表）1/2

（単位：％）

基本政策	項目	n	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	そうあまり 思わない	そう思わない	実感している ※1	実感していない ※2	R4年度目標値	実感度順位 ※3
			(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(A+B)	(D+E)		
安心政策	災害に備えたハード整備	(924)	4.8	33.3	36.3	21.3	4.3	38.1	25.6	42.2	36
	災害対応力の強化の取組	(953)	7.1	36.9	31.2	18.9	5.9	44.0	24.8	53.1	24
	地域防災力向上の取組	(930)	5.6	29.8	34.1	23.8	6.8	35.4	30.6	41.6	43
	消防・救急・救助体制の充実	(921)	24.8	45.3	25.6	3.9	0.4	70.1	4.3	72.3	2
	応急手当の普及	(879)	10.8	34.6	40.8	11.9	1.8	45.4	13.7	50.0	21
	火災予防の取組	(905)	13.9	38.3	34.4	11.6	1.8	52.2	13.4	54.7	11
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	(954)	6.5	30.5	38.6	19.5	4.9	37.0	24.4	46.0	39
	交通安全の取組	(974)	7.5	30.1	33.6	22.7	6.2	37.6	28.9	44.4	37
	防犯の取組	(961)	5.3	24.9	36.8	25.4	7.6	30.2	33.0	42.5	55
	安心政策 平均値			9.6	33.7	34.6	17.7	4.4	43.3	22.1	-
輝き政策	地域福祉活動の推進	(932)	11.4	35.3	33.2	17.1	3.1	46.7	20.2	52.0	19
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	(900)	7.3	29.7	38.8	19.1	5.1	37.0	24.2	42.0	39
	高齢者福祉施設の整備などの充実	(885)	9.5	29.6	40.2	16.7	4.0	39.1	20.7	45.8	33
	高齢者に対する支援の充実	(884)	10.2	29.5	39.6	16.4	4.3	39.7	20.7	46.0	32
	障がい者に対する支援の充実	(831)	8.3	25.9	44.3	16.2	5.3	34.2	21.5	40.0	45
	包括的な支援体制の充実	(861)	8.9	25.8	40.1	19.5	5.7	34.7	25.2	40.5	44
	子育てサービスの充実	(735)	24.1	39.9	28.8	5.0	2.2	64.0	7.2	66.4	3
	保育と幼児教育の充実	(708)	15.1	35.6	38.7	8.2	2.4	50.7	10.6	55.2	13
	親と子の健康づくりの取組	(692)	14.6	34.2	40.5	8.1	2.6	48.8	10.7	52.5	15
	休日・夜間医療体制の充実	(921)	13.5	40.5	29.9	12.7	3.5	54.0	16.2	57.0	10
	市立病院の救急医療体制の充実	(879)	15.5	34.8	37.0	8.8	4.0	50.3	12.8	53.0	14
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	(874)	11.7	30.9	39.0	14.6	3.8	42.6	18.4	42.5	27
	健康づくりの取組	(978)	19.0	44.8	24.1	9.4	2.7	63.8	12.1	68.0	4
	介護予防と認知症に対する取組	(870)	5.2	23.2	45.4	19.7	6.6	28.4	26.3	34.0	60
	互いの違いを尊重できるまちづくり	(870)	4.8	26.9	46.9	15.9	5.5	31.7	21.4	28.0	53
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	(876)	4.6	25.1	43.5	20.8	6.1	29.7	26.9	28.0	57
平和についての啓発の推進	(849)	3.2	15.7	50.1	21.4	9.7	18.9	31.1	24.0	76	
輝き政策 平均値			11.0	31.0	38.8	14.7	4.5	42.0	19.2	-	②
成長政策	子どもたちが自ら課題に取り組む	(651)	6.5	26.7	48.8	14.9	3.1	33.2	18.0	30.0	47
	教育支援体制の充実	(649)	5.5	23.6	50.4	16.2	4.3	29.1	20.5	31.0	59
	安全な教育環境の整備	(659)	9.3	29.4	46.9	11.2	3.2	38.7	14.4	38.1	34
	子どもたちが安心して共に学べる取組	(631)	7.4	25.7	51.5	11.7	3.6	33.1	15.3	30.0	48
	社会教育の取組	(736)	4.3	23.9	48.9	18.9	3.9	28.2	22.8	28.0	61
	家庭・地域・学校の協働の推進	(726)	5.8	26.2	44.5	19.0	4.5	32.0	23.5	35.0	52
	生涯学習活動の支援や環境の整備	(763)	4.6	25.3	43.6	21.0	5.5	29.9	26.5	32.0	56
	青少年の健全育成の取組	(718)	6.4	25.9	42.6	19.2	5.8	32.3	25.0	35.0	50
	文化芸術に親しむ機会の提供	(940)	9.6	33.3	34.1	17.4	5.5	42.9	22.9	42.0	25
	郷土文化の継承と発展の取組	(906)	6.7	29.4	40.7	17.8	5.4	36.1	23.2	39.5	42
	あつぎ郷土博物館の取組	(854)	7.7	29.7	38.9	17.4	6.2	37.4	23.6	40.0	38
	運動・スポーツ活動の機会提供	(939)	13.8	37.2	29.2	16.9	2.9	51.0	19.8	52.0	12
	競技力を向上するための取組	(878)	6.6	27.2	41.3	20.5	4.3	33.8	24.8	33.0	46
	スポーツ施設の充実	(930)	9.0	30.9	31.2	22.4	6.6	39.9	29.0	44.0	31
成長政策 平均値			7.4	28.2	42.3	17.5	4.6	35.6	22.1	-	⑥

図表1 実感度（基本政策別・項目別一覧表）2/2

（単位：％）

基本政策	項目	n	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	そうあまり 思わない	そう思わない	実感している ※1	実感していない ※2	R 4 年度 目標 値	実 感 度 順 位 ※3
			(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(A+B)	(D+E)		
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	(1,037)	44.3	31.1	9.2	9.5	6.1	75.4	15.6	76.2	1
	安心・安全に通行できる道路環境	(1,007)	13.9	32.9	22.6	21.4	9.2	46.8	30.6	41.0	18
	日常生活における移動がスムーズ	(1,022)	24.2	35.1	19.4	13.8	7.5	59.3	21.3	56.4	8
	住環境の整備の取組	(843)	3.8	12.6	40.7	28.6	14.4	16.4	43.0	29.0	77
	中心市街地の整備	(979)	9.7	33.0	24.6	23.0	9.7	42.7	32.7	47.0	26
	中心市街地のにぎわい	(987)	7.6	23.6	23.8	28.8	16.2	31.2	45.0	35.0	54
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	(908)	11.6	36.8	29.8	15.9	5.9	48.4	21.8	57.0	16
	景観が守られている	(962)	9.9	34.6	32.4	17.4	5.7	44.5	23.1	47.3	22
	新たな産業拠点の創出	(878)	7.3	25.1	36.0	21.4	10.3	32.4	31.7	30.0	49
	市内に利用したい店舗がある	(996)	14.7	31.7	20.9	22.8	9.9	46.4	32.7	44.0	20
	創業支援や中小企業支援の充実	(736)	4.1	15.1	48.6	25.0	7.2	19.2	32.2	21.0	75
	企業誘致の推進	(756)	5.7	18.8	38.8	25.1	11.6	24.5	36.7	27.0	65
	先端技術産業の推進	(742)	5.0	15.9	36.7	30.7	11.7	20.9	42.4	22.5	72
	就労支援と勤労者への支援の充実	(858)	4.3	18.9	48.8	21.4	6.5	23.2	27.9	26.0	69
	広域の観光に対する取組	(941)	9.9	37.3	31.3	16.7	4.8	47.2	21.5	46.0	17
	観光資源の活性化	(945)	8.0	34.2	33.3	18.8	5.6	42.2	24.4	44.0	29
	観光情報の発信の充実	(947)	6.5	25.8	36.4	24.2	7.1	32.3	31.3	41.0	50
	本市の魅力発信	(937)	6.8	31.7	29.1	23.7	8.6	38.5	32.3	44.8	35
	定住促進の取組	(771)	4.8	17.3	43.2	24.3	10.5	22.1	34.8	34.0	70
	農地有効利用の取組	(751)	4.3	19.4	47.0	19.7	9.6	23.7	29.3	23.0	68
地産地消の推進	(850)	7.9	32.2	39.6	15.3	4.9	40.1	20.2	42.0	30	
発展政策 平均値			10.2	26.8	33.0	21.3	8.7	37.0	30.0	-	④
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	(804)	4.7	20.0	51.2	19.3	4.7	24.7	24.0	32.0	64
	再生可能エネルギーの普及	(842)	3.2	17.6	46.7	24.1	8.4	20.8	32.5	25.0	74
	省エネの取組	(872)	4.6	19.4	43.2	25.3	7.5	24.0	32.8	30.0	66
	ごみの減量化、資源化の推進	(977)	16.7	40.7	25.2	13.2	4.2	57.4	17.4	65.0	9
	生物多様性の普及や保全	(789)	4.1	17.9	48.5	21.9	7.6	22.0	29.5	27.0	71
	里地里山の保全や活用	(797)	5.0	20.6	44.5	21.7	8.2	25.6	29.9	32.0	63
	山林の再生の推進	(776)	4.1	16.8	45.0	25.4	8.8	20.9	34.2	27.0	72
	緑豊かな生活環境	(1,023)	22.3	38.8	18.5	12.9	7.5	61.1	20.4	63.8	6
	清潔で快適な生活環境	(1,008)	18.8	41.1	25.1	10.8	4.3	59.9	15.1	62.0	7
	親しみやすい水辺空間	(941)	13.0	31.2	28.4	19.7	7.8	44.2	27.5	45.1	23
潤い政策 平均値			9.7	26.4	37.6	19.4	6.9	36.1	26.3	-	⑤
共創政策	協働によるまちづくり	(896)	8.5	33.8	36.6	15.8	5.2	42.3	21.0	42.9	28
	必要な行政情報の発信	(912)	16.2	46.9	23.0	10.2	3.6	63.1	13.8	59.5	5
	変化やニーズに対応した行政運営	(812)	5.2	24.3	44.5	18.7	7.4	29.5	26.1	36.7	58
	公共施設の老朽化に対する取組	(809)	8.2	28.3	38.2	18.4	6.9	36.5	25.3	36.7	41
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	(796)	4.8	19.2	45.1	23.4	7.5	24.0	30.9	34.3	66
	国内友好都市との交流	(795)	4.8	23.1	41.5	22.3	8.3	27.9	30.6	38.0	62
共創政策 平均値			8.0	29.3	38.2	18.1	6.5	37.3	24.6	-	③
平均値			9.5	28.9	37.2	18.2	6.1	38.5	24.4	-	-

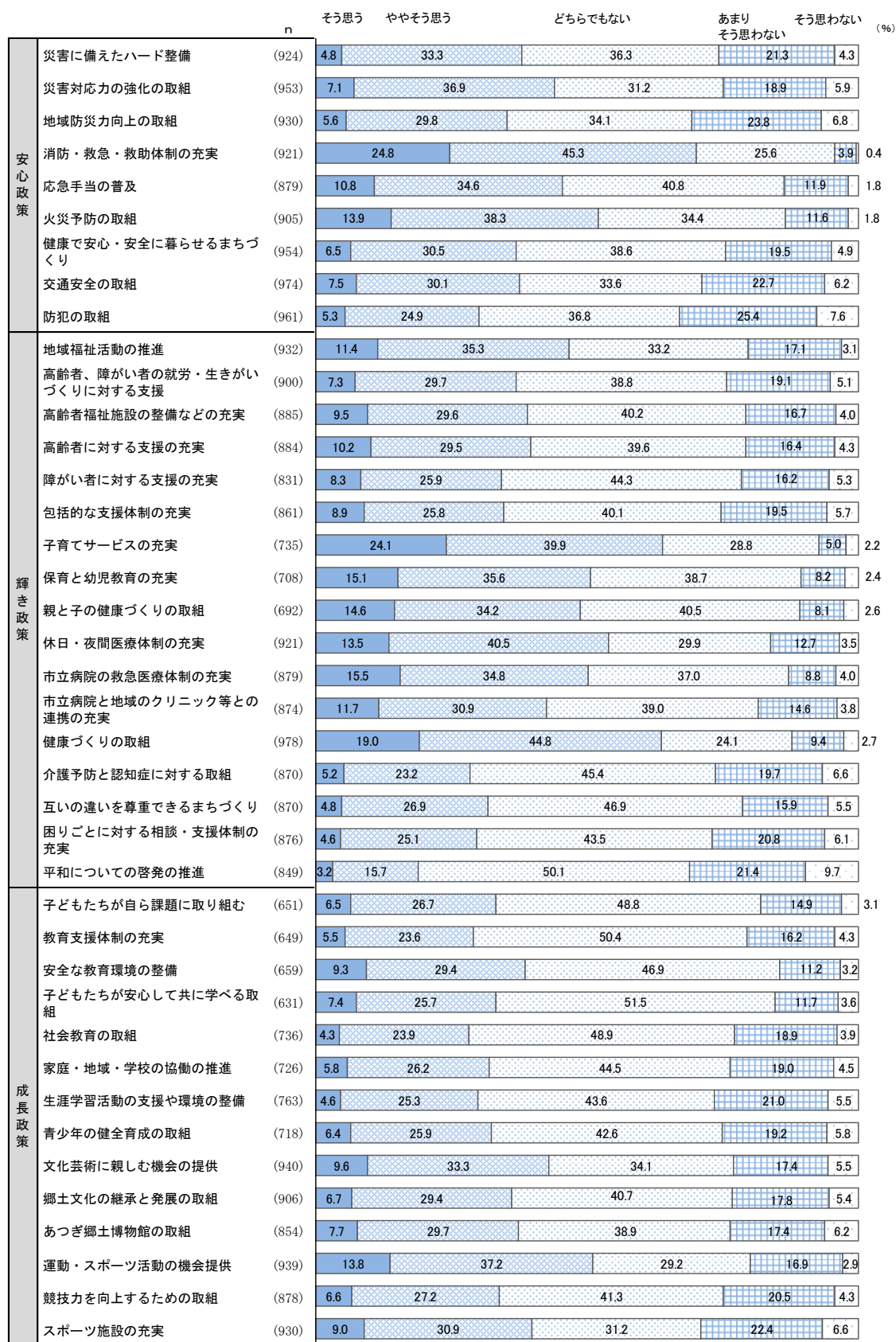
(※1) 「実感している人の割合」は、「そう思う」と「ややそう思う」の合計を示す。

(※2) 「実感していない人の割合」は、「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計を示す。

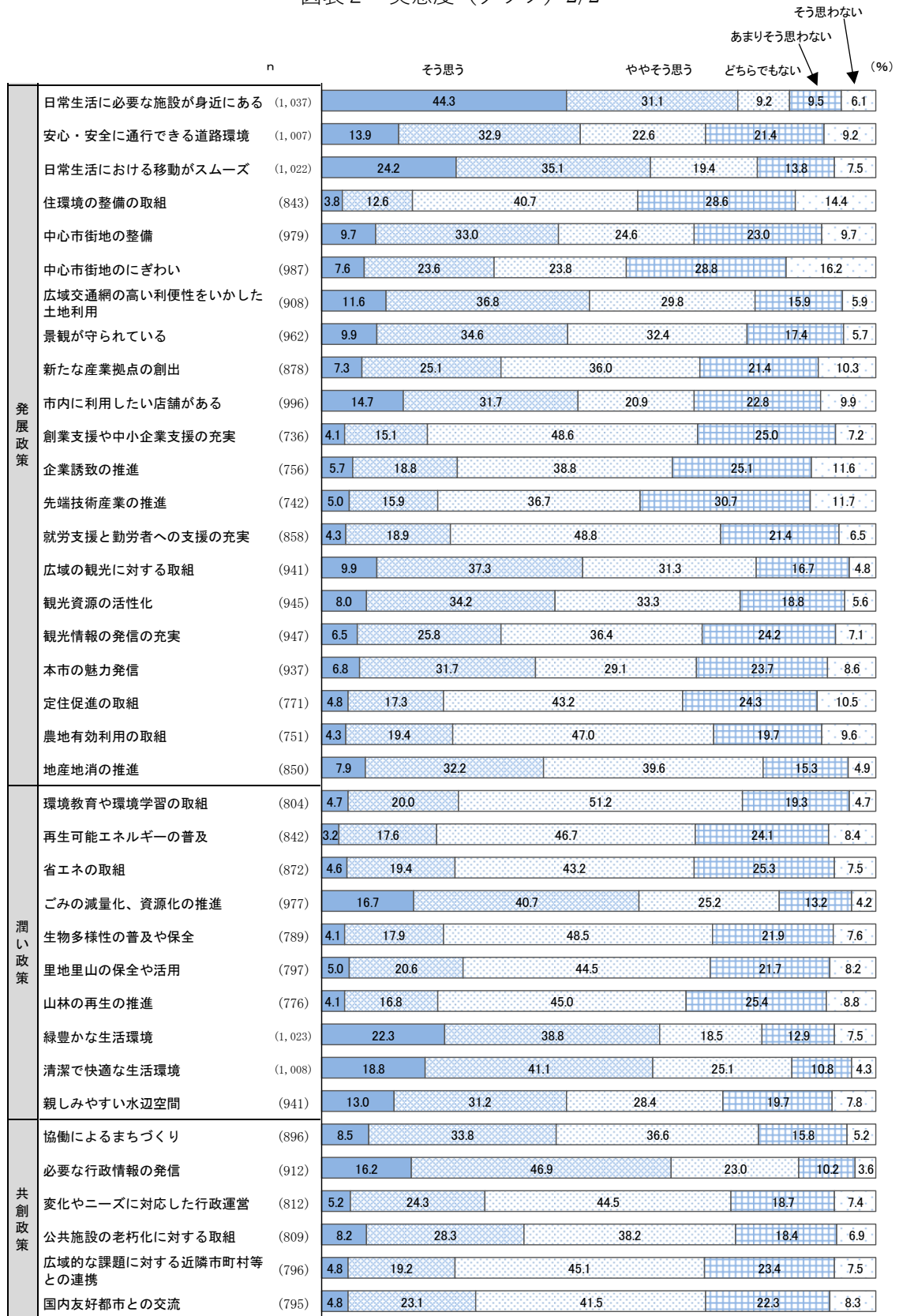
(※3) 「実感度順位」は、「実感している人の割合」の大きい順に第1位～第77位の順位を示す。

なお、網かけは、「実感度順位」の上位5位までの項目を示す。

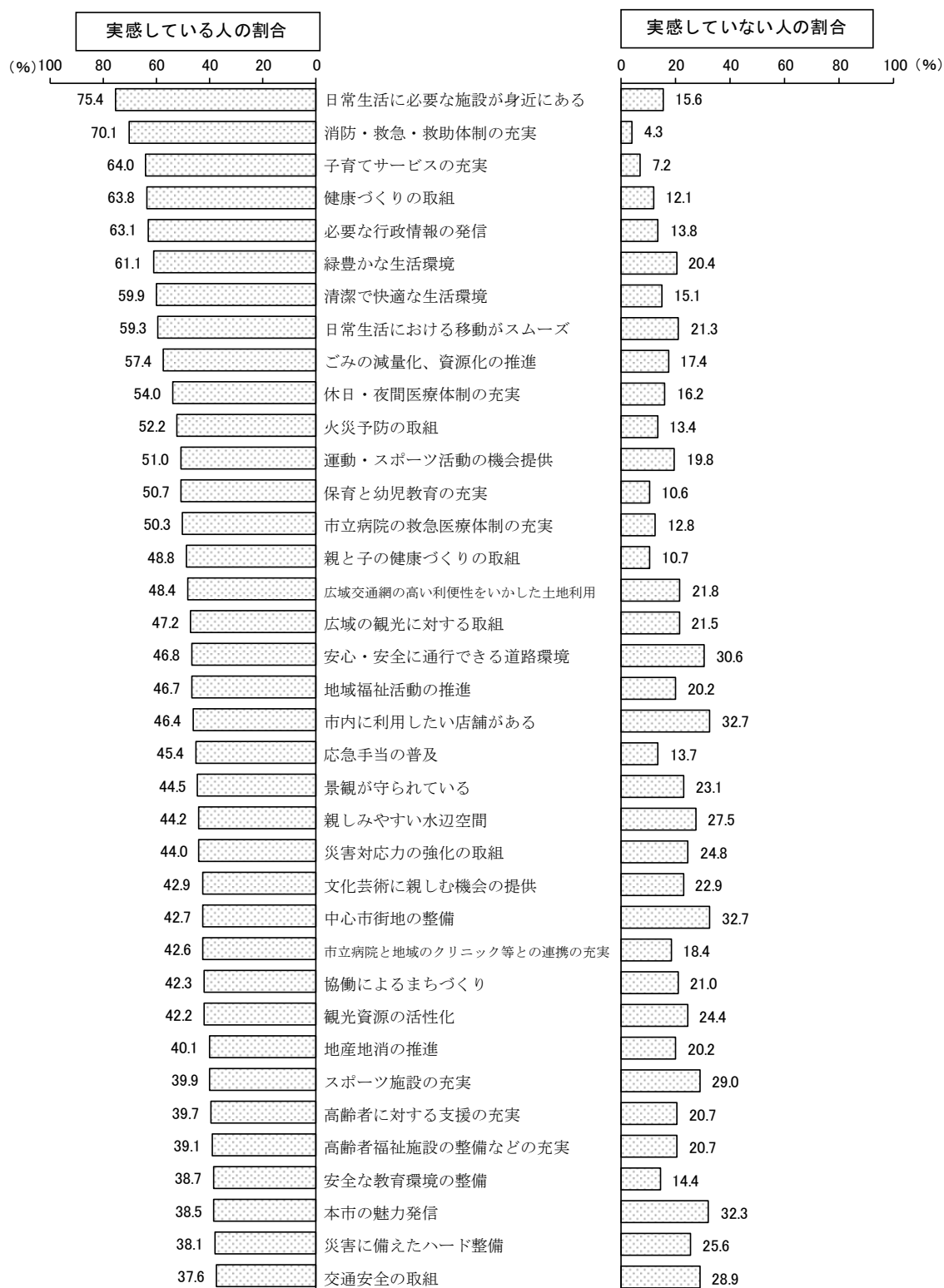
図表2 実感度（グラフ）1/2



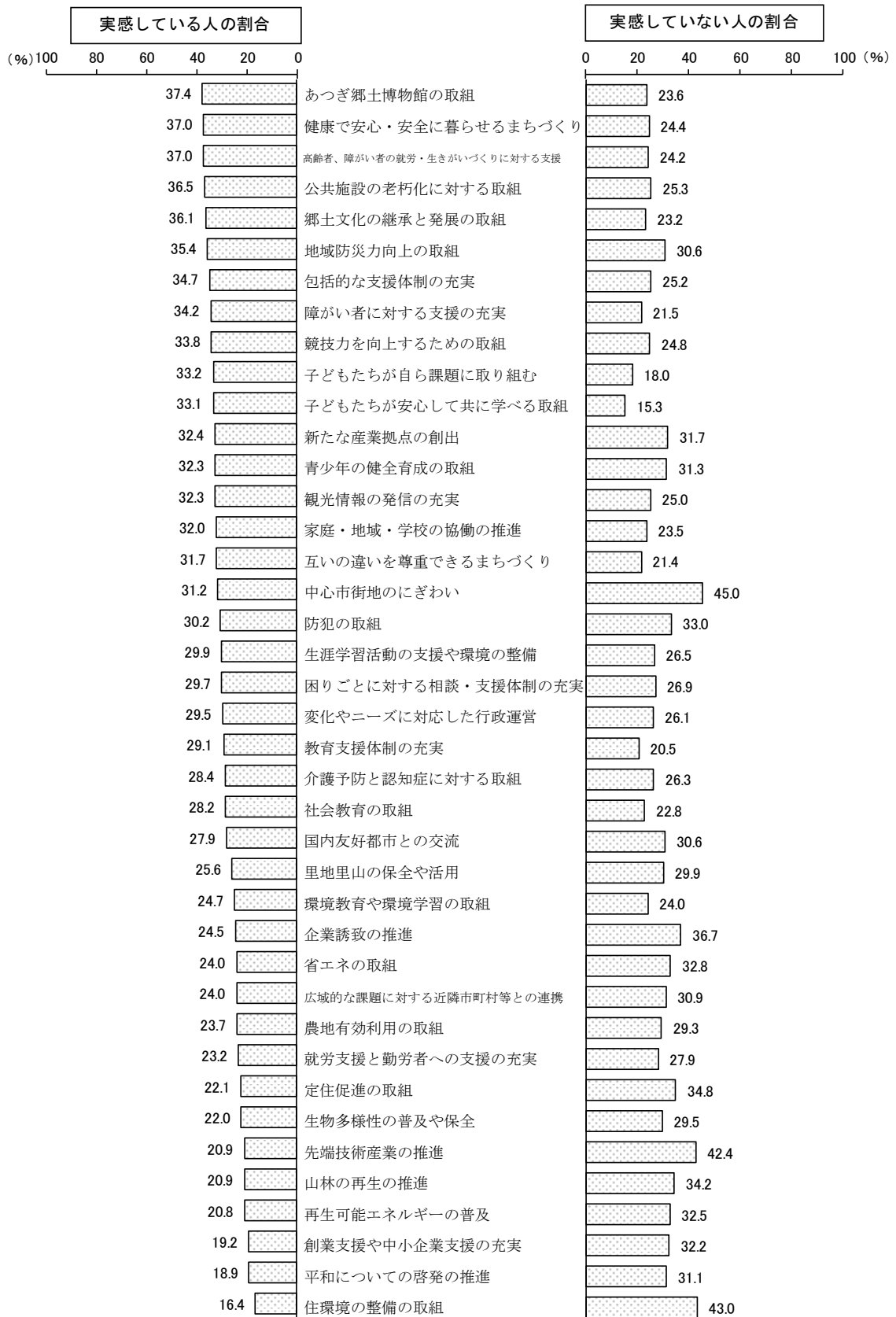
図表2 実感度（グラフ）2/2



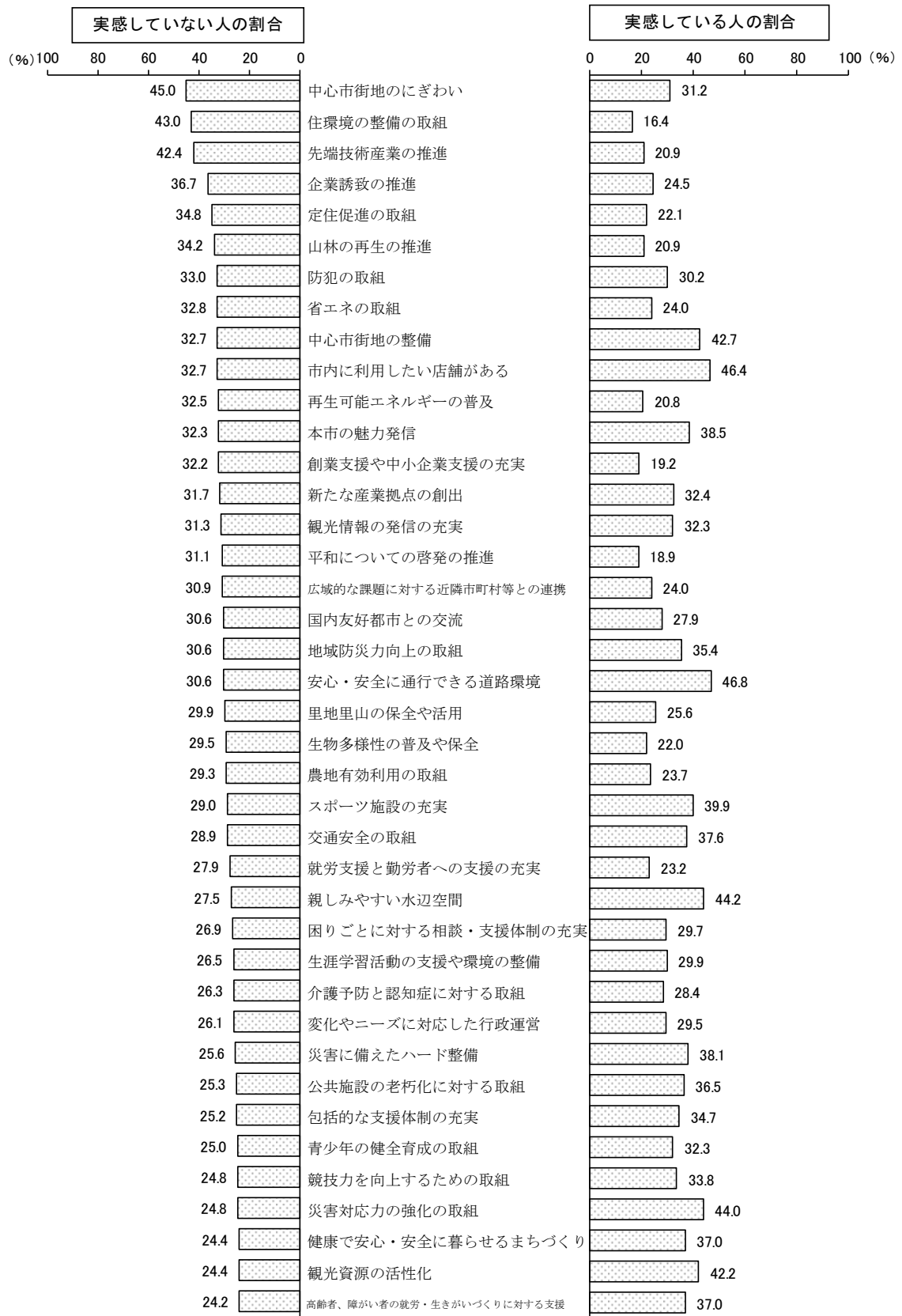
図表3 実感度（実感している人の割合が高い順）1/2



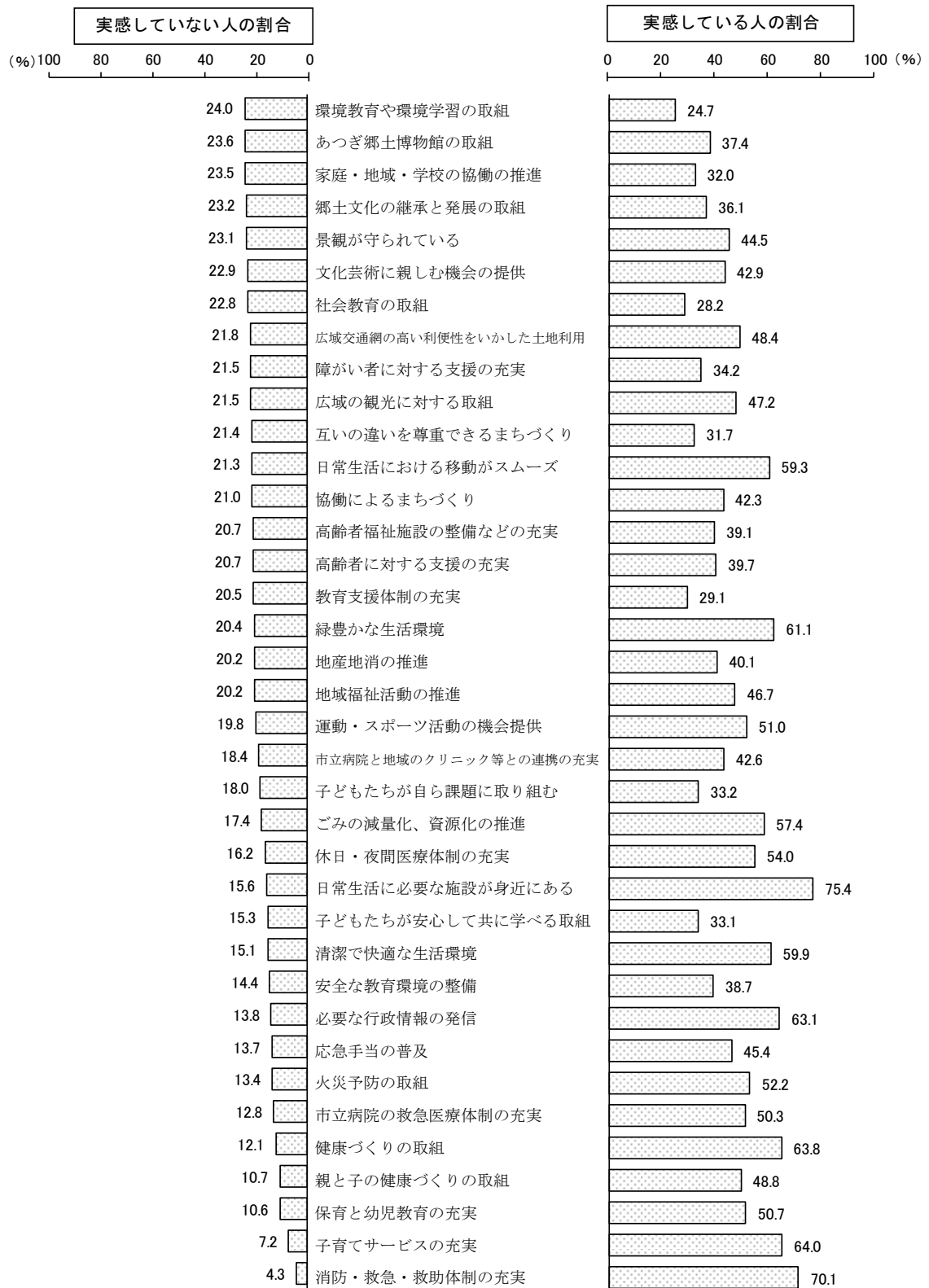
図表3 実感度（実感している人の割合が高い順）2/2



図表4 実感度（実感していない人の割合が高い順）1/2



図表4 実感度（実感していない人の割合が高い順）2/2



図表5 実感度（基本政策別・無回答者の割合）1/2

基本政策	項目	回答者数	無回答者数	合計	割合 無回答者の	無回答順位
		n (人) (A)	(人) (B)	(人) (A+B)	※1 (%)	※2
安心政策	災害に備えたハード整備	924	167	1,091	15.3	50
	災害対応力の強化の取組	953	138	1,091	12.6	62
	地域防災力向上の取組	930	161	1,091	14.8	52
	消防・救急・救助体制の充実	921	155	1,076	14.4	54
	応急手当の普及	879	197	1,076	18.3	41
	火災予防の取組	905	171	1,076	15.9	48
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	954	137	1,091	12.6	62
	交通安全の取組	974	117	1,091	10.7	67
	防犯の取組	961	130	1,091	11.9	65
安心政策 平均値		933	153	1,086	14.1	⑥
輝き政策	地域福祉活動の推進	932	144	1,076	13.4	58
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	900	176	1,076	16.4	47
	高齢者福祉施設の整備などの充実	885	191	1,076	17.8	42
	高齢者に対する支援の充実	884	192	1,076	17.8	42
	障がい者に対する支援の充実	831	245	1,076	22.8	25
	包括的な支援体制の充実	861	215	1,076	20.0	35
	子育てサービスの充実	735	341	1,076	31.7	9
	保育と幼児教育の充実	708	368	1,076	34.2	6
	親と子の健康づくりの取組	692	384	1,076	35.7	5
	休日・夜間医療体制の充実	921	170	1,091	15.6	49
	市立病院の救急医療体制の充実	879	212	1,091	19.4	40
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	874	217	1,091	19.9	36
	健康づくりの取組	978	113	1,091	10.4	68
	介護予防と認知症に対する取組	870	221	1,091	20.3	32
	互いの違いを尊重できるまちづくり	870	221	1,091	20.3	32
困りごとに対する相談・支援体制の充実	876	215	1,091	19.7	37	
平和についての啓発の推進	849	242	1,091	22.2	27	
輝き政策 平均値		856	228	1,083	21.0	③
成長政策	子どもたちが自ら課題に取り組む	651	425	1,076	39.5	3
	教育支援体制の充実	649	427	1,076	39.7	2
	安全な教育環境の整備	659	417	1,076	38.8	4
	子どもたちが安心して共に学べる取組	631	445	1,076	41.4	1
	社会教育の取組	736	340	1,076	31.6	10
	家庭・地域・学校の協働の推進	726	350	1,076	32.5	8
	生涯学習活動の支援や環境の整備	763	313	1,076	29.1	15
	青少年の健全育成の取組	718	358	1,076	33.3	7
	文化芸術に親しむ機会の提供	940	151	1,091	13.8	56
	郷土文化の継承と発展の取組	906	185	1,091	17.0	44
	あつぎ郷土博物館の取組	854	237	1,091	21.7	29
	運動・スポーツ活動の機会提供	939	152	1,091	13.9	55
	競技力を向上するための取組	878	213	1,091	19.5	38
	スポーツ施設の充実	930	161	1,091	14.8	52
成長政策 平均値		784	298	1,082	27.5	①

図表5 実感度（基本政策別・無回答者の割合）2/2

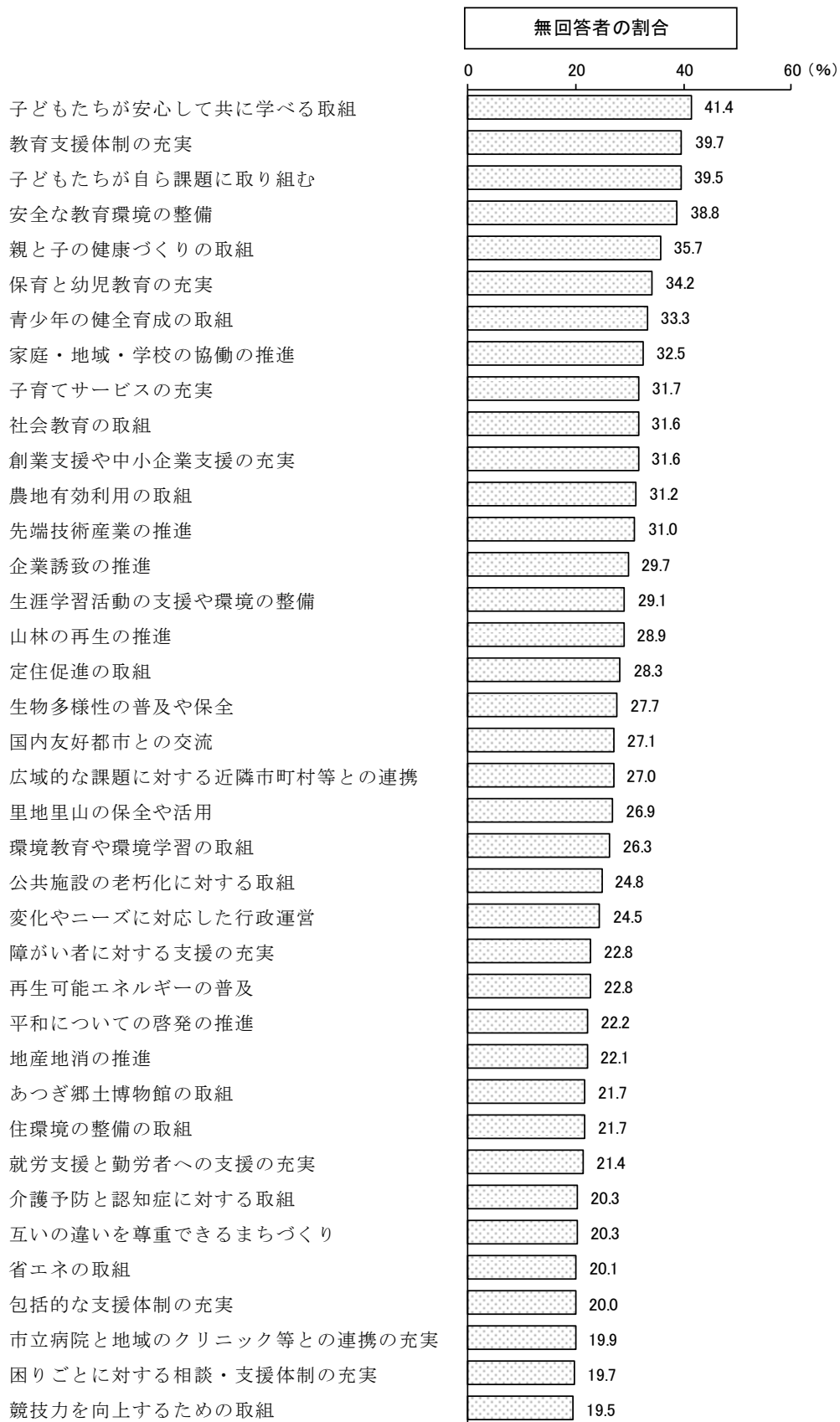
基本政策	項目	回答者数	無回答者数	合計	割無回答者の割合	無回答順位
		n (人) (A)	(人) (B)	(人) (A+B)	※1 (%)	※2
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	1,037	39	1,076	3.6	77
	安心・安全に通行できる道路環境	1,007	69	1,076	6.4	73
	日常生活における移動がスムーズ	1,022	54	1,076	5.0	75
	住環境の整備の取組	843	233	1,076	21.7	29
	中心市街地の整備	979	97	1,076	9.0	70
	中心市街地のにぎわい	987	89	1,076	8.3	71
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	908	183	1,091	16.8	45
	景観が守られている	962	129	1,091	11.8	66
	新たな産業拠点の創出	878	213	1,091	19.5	38
	市内に利用したい店舗がある	996	80	1,076	7.4	72
	創業支援や中小企業支援の充実	736	340	1,076	31.6	10
	企業誘致の推進	756	320	1,076	29.7	14
	先端技術産業の推進	742	334	1,076	31.0	13
	就労支援と勤労者への支援の充実	858	233	1,091	21.4	31
	広域の観光に対する取組	941	150	1,091	13.7	57
	観光資源の活性化	945	146	1,091	13.4	58
	観光情報の発信の充実	947	144	1,091	13.2	60
	本市の魅力発信	937	139	1,076	12.9	61
	定住促進の取組	771	305	1,076	28.3	17
	農地有効利用の取組	751	340	1,091	31.2	12
地産地消の推進	850	241	1,091	22.1	28	
発展政策 平均値		898	185	1,083	17.1	⑤
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	804	287	1,091	26.3	22
	再生可能エネルギーの普及	842	249	1,091	22.8	25
	省エネの取組	872	219	1,091	20.1	34
	ごみの減量化、資源化の推進	977	99	1,076	9.2	69
	生物多様性の普及や保全	789	302	1,091	27.7	18
	里地里山の保全や活用	797	294	1,091	26.9	21
	山林の再生の推進	776	315	1,091	28.9	16
	緑豊かな生活環境	1,023	53	1,076	4.9	76
	清潔で快適な生活環境	1,008	68	1,076	6.3	74
	親しみやすい水辺空間	941	135	1,076	12.5	64
潤い政策 平均値		883	202	1,085	18.6	④
共創政策	協働によるまちづくり	896	180	1,076	16.7	46
	必要な行政情報の発信	912	164	1,076	15.2	51
	変化やニーズに対応した行政運営	812	264	1,076	24.5	24
	公共施設の老朽化に対する取組	809	267	1,076	24.8	23
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	796	295	1,091	27.0	20
	国内友好都市との交流	795	296	1,091	27.1	19
共創政策 平均値		837	244	1,081	22.6	②
平均値		865	218	1,083	20.1	-

(※1) 「無回答者の割合」は、「合計」に対する「無回答者数」の割合を示す。

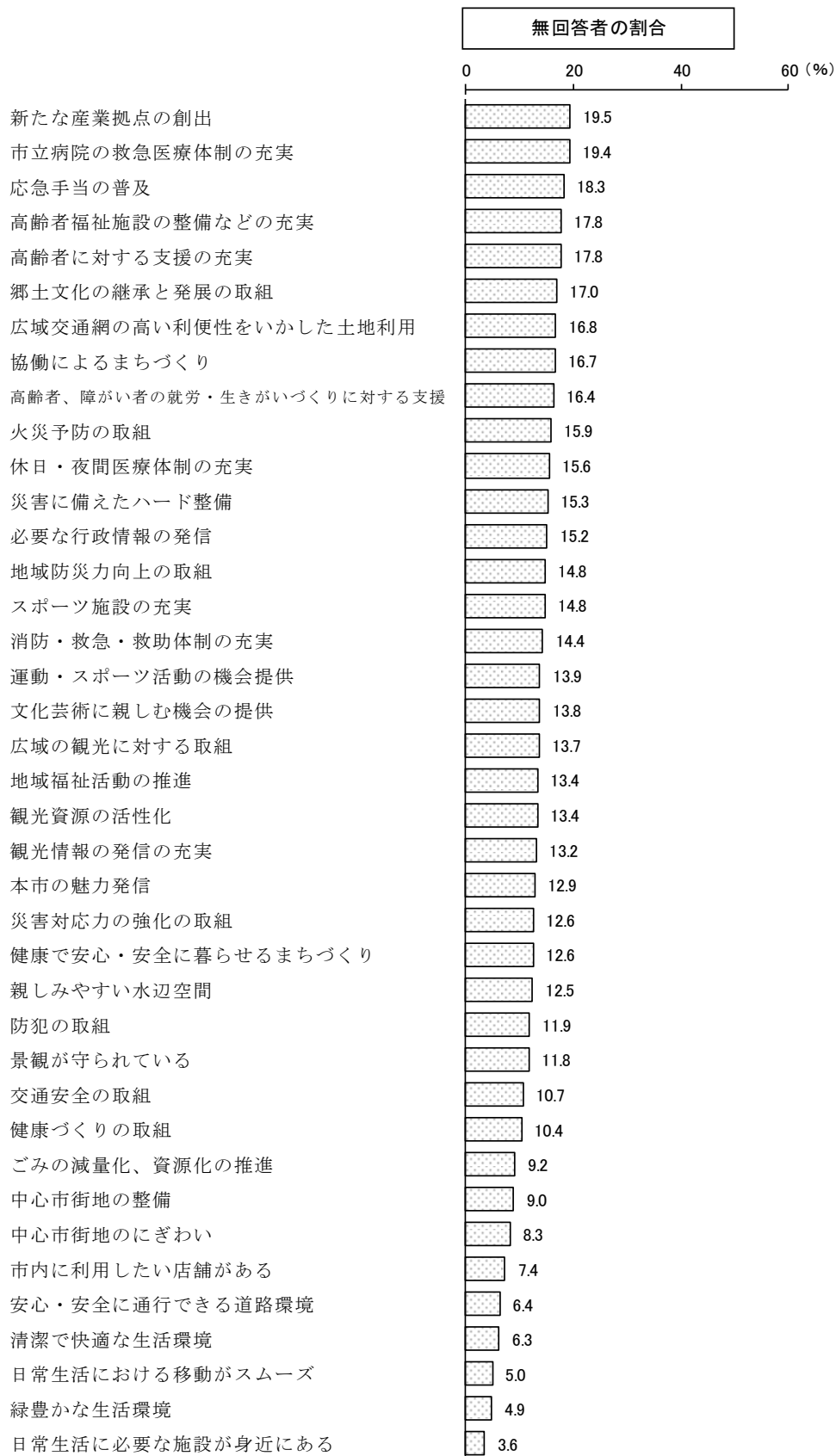
(※2) 「無回答順位」は、「無回答者の割合」の大きい順に第1位～第77位の順位を示す。

なお、網かけは、「無回答順位」の上位5位までの項目を示す。

図表6 実感度（無回答者の割合が高い順）1/2



図表6 実感度（無回答者の割合が高い順）2/2



(2) 市の施策に対する重要度 (A・B:問1)

ア 基本政策別の傾向 (図表7、図表8)

(ア) 重要視している人の割合 (「重要である」と「やや重要である」の合計) が高い政策

- ① 安心政策 (平均値 91.4%)
- ② 輝き政策 (平均値 86.5%)
- ③ 潤い政策 (平均値 79.6%)

(イ) 重要視していない人の割合 (「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計) が高い政策

- ① 成長政策 (平均値 3.8%)
- ① 共創政策 (平均値 3.8%)
- ③ 発展政策 (平均値 3.2%)

イ 77項目別の傾向

(ア) 重要視している人の割合が高い項目 (図表9)

- ① 消防・救急・救助体制の充実 (95.8%)
- ② 安心・安全に通行できる道路環境 (94.8%)
- ③ 日常生活に必要な施設が身近にある (93.7%)
- ④ 日常生活における移動がスムーズ (93.3%)
- ⑤ 防犯の取組 (92.9%)

(イ) 重要視している人の割合が低い項目 (図表9)

- ① あつぎ郷土博物館の取組 (51.8%)
- ② 国内友好都市との交流 (57.5%)
- ③ 郷土文化の継承と発展の取組 (58.9%)
- ④ 文化芸術に親しむ機会の提供 (61.4%)
- ⑤ 競技力を向上するための取組 (62.9%)

(ウ) 重要視していない人の割合が高い項目 (図表10)

- ① 国内友好都市との交流 (9.5%)
- ② あつぎ郷土博物館の取組 (9.3%)
- ③ 郷土文化の継承と発展の取組 (8.1%)
- ④ 文化芸術に親しむ機会の提供 (7.1%)
- ⑤ 先端技術産業の推進 (6.4%)

(エ) 重要視していない人の割合が低い項目 (図表10)

- ① 防犯の取組 (0.4%)
- ② 消防・救急・救助体制の充実 (0.5%)
- ③ 休日・夜間医療体制の充実 (0.6%)
- ④ 教育支援体制の充実 (0.7%)
- ④ 安全な教育環境の整備 (0.7%)
- ④ 地域福祉活動の推進 (0.7%)
- ④ 健康で安心・安全に暮らせるまちづくり (0.7%)
- ④ 安心・安全に通行できる道路環境 (0.7%)

ウ 無回答者の割合

(ア) 無回答者の割合が高い政策 (図表 11)

- ① 成長政策 (平均値 25.3%)
- ② 共創政策 (平均値 24.5%)
- ③ 発展政策 (平均値 20.2%)

(イ) 無回答者の割合が低い政策 (図表 11)

- ① 安心政策 (平均値 15.0%)
- ② 潤い政策 (平均値 19.6%)
- ③ 輝き政策 (平均値 19.9%)

(ウ) 無回答者の割合が高い項目 (図表 12)

- ① 子どもたちが安心して共に学べる取組 (35.0%)
- ② 教育支援体制の充実 (33.4%)
- ③ 子どもたちが自ら課題に取り組む (33.1%)
- ④ 安全な教育環境の整備 (32.8%)
- ⑤ 親と子の健康づくりの取組 (31.8%)

(エ) 無回答者の割合が低い項目 (図表 12)

- ① 健康づくりの取組 (12.4%)
- ② 日常生活に必要な施設が身近にある (13.2%)
- ③ 災害対応力の強化の取組 (13.3%)
- ④ 交通安全の取組 (13.4%)
- ⑤ 防犯の取組 (13.7%)

図表7 重要度（基本政策別・項目別一覧表）1/2

（単位：％）

基本政策	項目	n	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない	重要視している※1	重要視していない※2	重要度順位※3
			(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(A+B)	(D+E)	
安心政策	災害に備えたハード整備	(935)	71.3	21.2	6.1	1.2	0.2	92.5	1.4	7
	災害対応力の強化の取組	(946)	65.3	25.1	8.6	0.6	0.4	90.4	1.0	12
	地域防災力向上の取組	(933)	60.8	28.1	9.0	1.5	0.6	88.9	2.1	22
	消防・救急・救助体制の充実	(902)	83.4	12.4	3.7	0.4	0.1	95.8	0.5	1
	応急手当の普及	(886)	65.5	25.6	8.0	0.8	0.1	91.1	0.9	9
	火災予防の取組	(890)	62.7	27.1	8.7	1.2	0.3	89.8	1.5	18
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	(929)	58.6	32.3	8.4	0.4	0.3	90.9	0.7	10
	交通安全の取組	(945)	58.4	31.6	8.4	1.1	0.5	90.0	1.6	15
	防犯の取組	(941)	69.0	23.9	6.7	0.2	0.2	92.9	0.4	5
安心政策 平均値			66.1	25.3	7.5	0.8	0.3	91.4	1.1	①
輝き政策	地域福祉活動の推進	(889)	54.9	34.5	9.9	0.6	0.1	89.4	0.7	19
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	(879)	53.7	34.6	10.2	1.0	0.5	88.3	1.5	25
	高齢者福祉施設の整備などの充実	(868)	58.8	30.5	9.1	1.4	0.2	89.3	1.6	20
	高齢者に対する支援の充実	(870)	56.9	31.7	9.7	1.5	0.2	88.6	1.7	24
	障がい者に対する支援の充実	(844)	58.3	30.6	9.7	1.1	0.4	88.9	1.5	22
	包括的な支援体制の充実	(859)	61.7	27.4	9.9	0.8	0.2	89.1	1.0	21
	子育てサービスの充実	(763)	65.1	25.7	7.7	0.9	0.5	90.8	1.4	11
	保育と幼児教育の充実	(742)	63.1	27.1	8.9	0.7	0.3	90.2	1.0	13
	親と子の健康づくりの取組	(734)	58.3	29.6	10.4	1.2	0.5	87.9	1.7	26
	休日・夜間医療体制の充実	(927)	66.7	25.9	6.8	0.3	0.3	92.6	0.6	6
	市立病院の救急医療体制の充実	(921)	64.2	27.0	7.9	0.7	0.2	91.2	0.9	8
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	(910)	57.6	29.3	12.2	0.5	0.3	86.9	0.8	29
	健康づくりの取組	(956)	50.2	34.1	14.2	1.2	0.3	84.3	1.5	36
	介護予防と認知症に対する取組	(922)	54.2	30.3	13.7	1.3	0.5	84.5	1.8	35
	互いの違いを尊重できるまちづくり	(893)	36.2	38.3	19.7	3.9	1.9	74.5	5.8	59
困りごとに対する相談・支援体制の充実	(897)	45.4	36.1	16.2	1.4	0.9	81.5	2.3	40	
平和についての啓発の推進	(880)	40.3	32.6	22.7	3.0	1.4	72.9	4.4	64	
輝き政策 平均値			55.6	30.9	11.7	1.3	0.5	86.5	1.8	②
成長政策	子どもたちが自ら課題に取り組む	(720)	54.0	32.8	12.1	0.7	0.4	86.8	1.1	30
	教育支援体制の充実	(717)	56.6	30.5	12.1	0.4	0.3	87.1	0.7	28
	安全な教育環境の整備	(723)	57.7	30.0	11.6	0.4	0.3	87.7	0.7	27
	子どもたちが安心して共に学べる取組	(699)	54.2	29.6	14.6	1.0	0.6	83.8	1.6	38
	社会教育の取組	(762)	33.7	42.8	21.8	1.4	0.3	76.5	1.7	51
	家庭・地域・学校の協働の推進	(755)	35.8	40.7	21.5	1.9	0.3	76.5	2.2	51
	生涯学習活動の支援や環境の整備	(778)	36.5	40.2	20.8	2.2	0.3	76.7	2.5	50
	青少年の健全育成の取組	(754)	35.4	36.6	24.5	2.4	1.1	72.0	3.5	66
	文化芸術に親しむ機会の提供	(910)	21.6	39.8	31.4	5.6	1.5	61.4	7.1	74
	郷土文化の継承と発展の取組	(902)	20.2	38.7	33.0	6.3	1.8	58.9	8.1	75
	あつぎ郷土博物館の取組	(866)	16.9	34.9	39.0	6.5	2.8	51.8	9.3	77
	運動・スポーツ活動の機会提供	(920)	29.7	45.7	20.2	2.6	1.8	75.4	4.4	56
	競技力を向上するための取組	(890)	22.6	40.3	30.8	4.0	2.2	62.9	6.2	73
スポーツ施設の充実	(917)	28.8	42.4	24.4	2.7	1.6	71.2	4.3	68	
成長政策 平均値			36.0	37.5	22.7	2.7	1.1	73.5	3.8	⑥

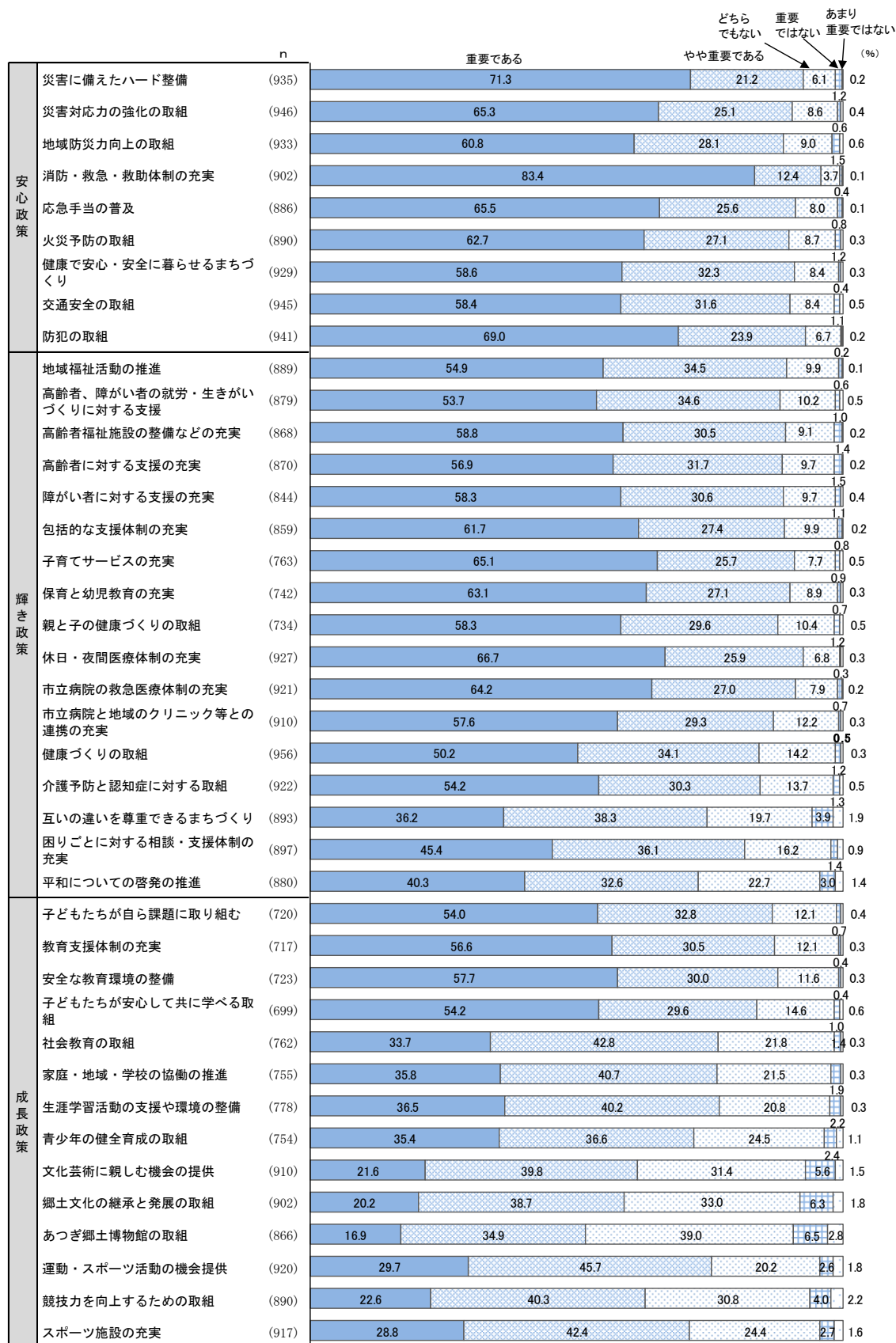
図表7 重要度（基本政策別・項目別一覧表）2/2

（単位：％）

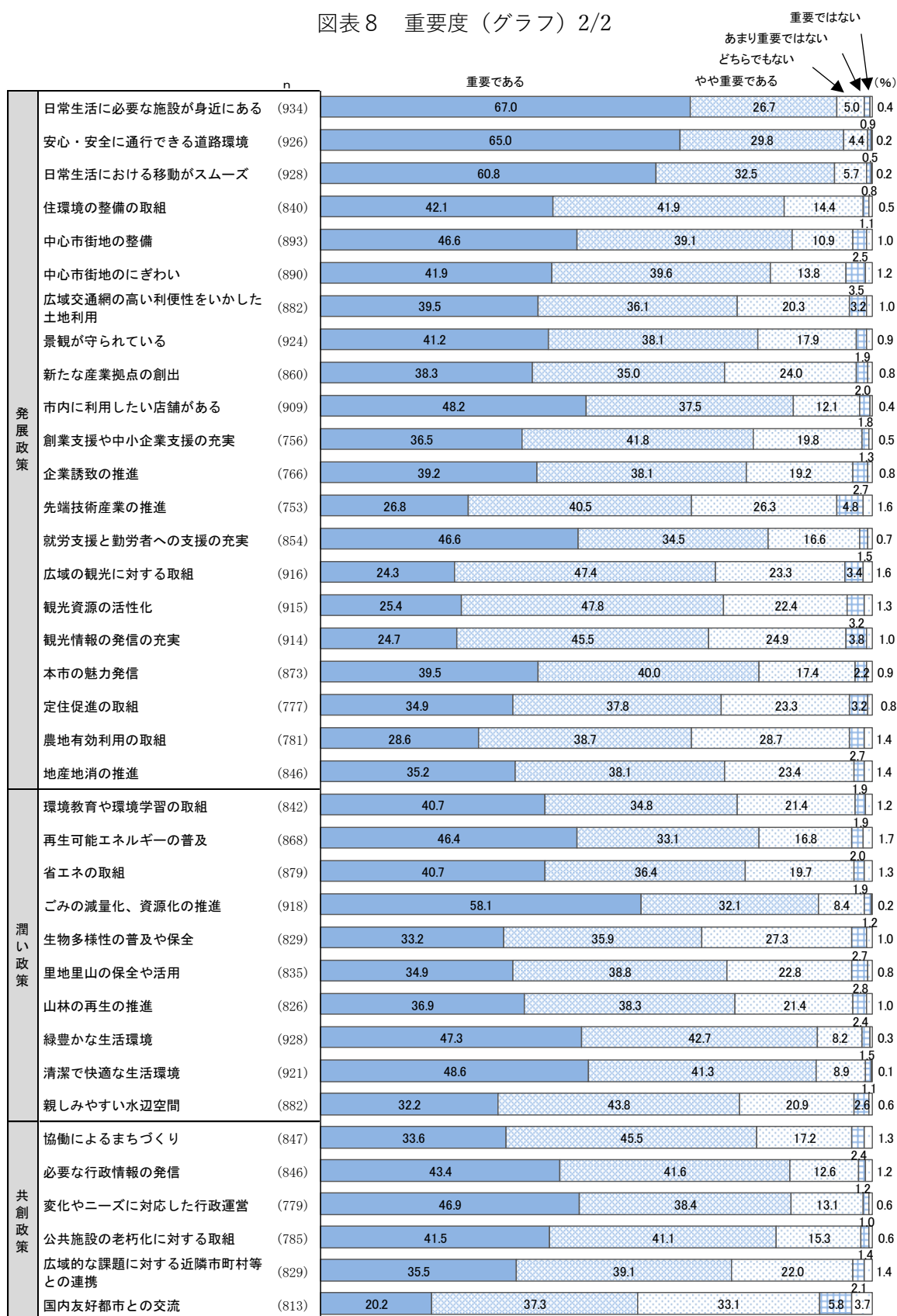
基本政策	項目	n	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない	重要視している	重要視していない	重要度順位
			(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	※1 (A+B)	※2 (D+E)	※3
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	(934)	67.0	26.7	5.0	0.9	0.4	93.7	1.3	3
	安心・安全に通行できる道路環境	(926)	65.0	29.8	4.4	0.5	0.2	94.8	0.7	2
	日常生活における移動がスムーズ	(928)	60.8	32.5	5.7	0.8	0.2	93.3	1.0	4
	住環境の整備の取組	(840)	42.1	41.9	14.4	1.1	0.5	84.0	1.6	37
	中心市街地の整備	(893)	46.6	39.1	10.9	2.5	1.0	85.7	3.5	31
	中心市街地のにぎわい	(890)	41.9	39.6	13.8	3.5	1.2	81.5	4.7	40
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	(882)	39.5	36.1	20.3	3.2	1.0	75.6	4.2	54
	景観が守られている	(924)	41.2	38.1	17.9	1.9	0.9	79.3	2.8	45
	新たな産業拠点の創出	(860)	38.3	35.0	24.0	2.0	0.8	73.3	2.8	61
	市内に利用したい店舗がある	(909)	48.2	37.5	12.1	1.8	0.4	85.7	2.2	31
	創業支援や中小企業支援の充実	(756)	36.5	41.8	19.8	1.3	0.5	78.3	1.8	47
	企業誘致の推進	(766)	39.2	38.1	19.2	2.7	0.8	77.3	3.5	48
	先端技術産業の推進	(753)	26.8	40.5	26.3	4.8	1.6	67.3	6.4	71
	就労支援と勤労者への支援の充実	(854)	46.6	34.5	16.6	1.5	0.7	81.1	2.2	42
	広域の観光に対する取組	(916)	24.3	47.4	23.3	3.4	1.6	71.7	5.0	67
	観光資源の活性化	(915)	25.4	47.8	22.4	3.2	1.3	73.2	4.5	63
	観光情報の発信の充実	(914)	24.7	45.5	24.9	3.8	1.0	70.2	4.8	69
	本市の魅力発信	(873)	39.5	40.0	17.4	2.2	0.9	79.5	3.1	43
	定住促進の取組	(777)	34.9	37.8	23.3	3.2	0.8	72.7	4.0	65
	農地有効利用の取組	(781)	28.6	38.7	28.7	2.7	1.4	67.3	4.1	71
地産地消の推進	(846)	35.2	38.1	23.4	1.9	1.4	73.3	3.3	61	
発展政策 平均値			40.6	38.4	17.8	2.3	0.9	79.0	3.2	④
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	(842)	40.7	34.8	21.4	1.9	1.2	75.5	3.1	55
	再生可能エネルギーの普及	(868)	46.4	33.1	16.8	2.0	1.7	79.5	3.7	43
	省エネの取組	(879)	40.7	36.4	19.7	1.9	1.3	77.1	3.2	49
	ごみの減量化、資源化の推進	(918)	58.1	32.1	8.4	1.2	0.2	90.2	1.4	13
	生物多様性の普及や保全	(829)	33.2	35.9	27.3	2.7	1.0	69.1	3.7	70
	里地里山の保全や活用	(835)	34.9	38.8	22.8	2.8	0.8	73.7	3.6	60
	山林の再生の推進	(826)	36.9	38.3	21.4	2.4	1.0	75.2	3.4	57
	緑豊かな生活環境	(928)	47.3	42.7	8.2	1.5	0.3	90.0	1.8	15
	清潔で快適な生活環境	(921)	48.6	41.3	8.9	1.1	0.1	89.9	1.2	17
	親しみやすい水辺空間	(882)	32.2	43.8	20.9	2.6	0.6	76.0	3.2	53
潤い政策 平均値			41.9	37.7	17.6	2.0	0.8	79.6	2.8	③
共創政策	協働によるまちづくり	(847)	33.6	45.5	17.2	2.4	1.3	79.1	3.7	46
	必要な行政情報の発信	(846)	43.4	41.6	12.6	1.2	1.2	85.0	2.4	34
	変化やニーズに対応した行政運営	(779)	46.9	38.4	13.1	1.0	0.6	85.3	1.6	33
	公共施設の老朽化に対する取組	(785)	41.5	41.1	15.3	1.4	0.6	82.6	2.0	39
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	(829)	35.5	39.1	22.0	2.1	1.4	74.6	3.5	58
	国内友好都市との交流	(813)	20.2	37.3	33.1	5.8	3.7	57.5	9.5	76
共創政策 平均値			36.9	40.5	18.9	2.3	1.5	77.4	3.8	⑤
平均値			45.9	35.1	16.2	1.9	0.8	81.1	2.8	-

(※1) 「重要視している人の割合」は、「重要である」と「やや重要である」の合計を示す。
(※2) 「重要視していない人の割合」は、「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計を示す。
(※3) 「重要度順位」は、「重要視している人の割合」の大きい順に第1位～第77位の順位を示す。
なお、網かけは、「重要度順位」の上位5位までの項目を示す。

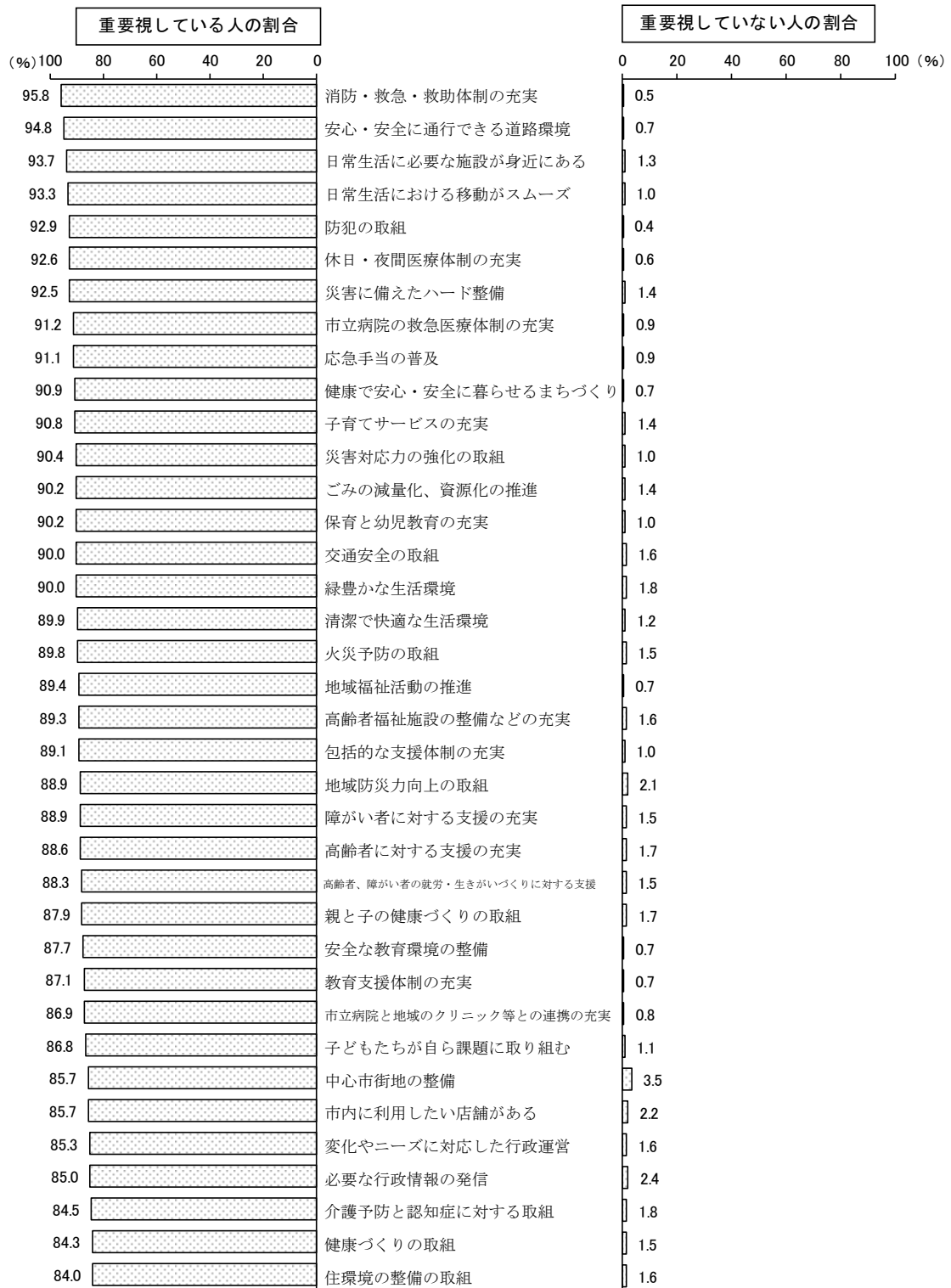
図表8 重要度（グラフ）1/2



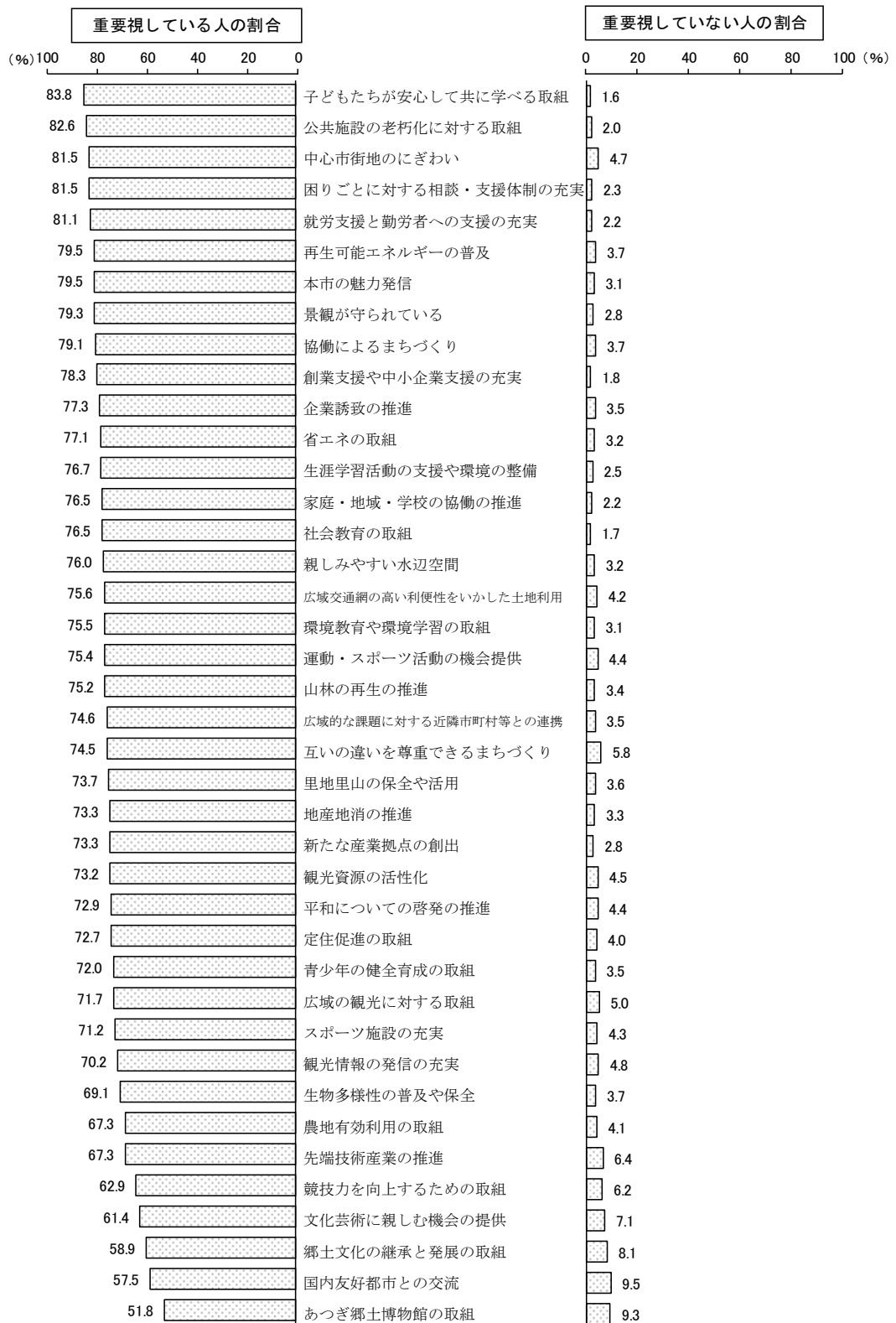
図表8 重要度（グラフ）2/2



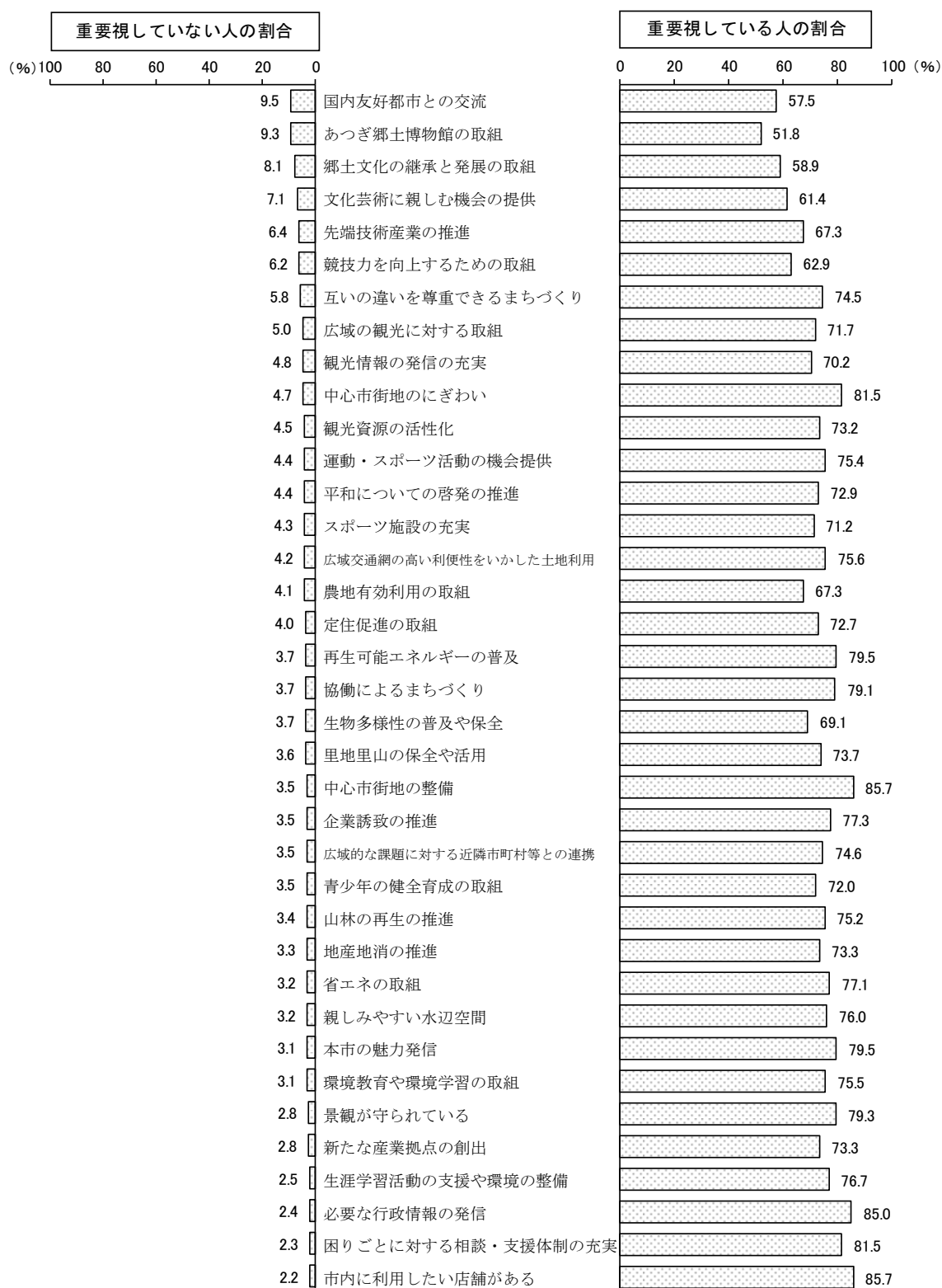
図表9 重要度（重要視している人の割合が高い順）1/2



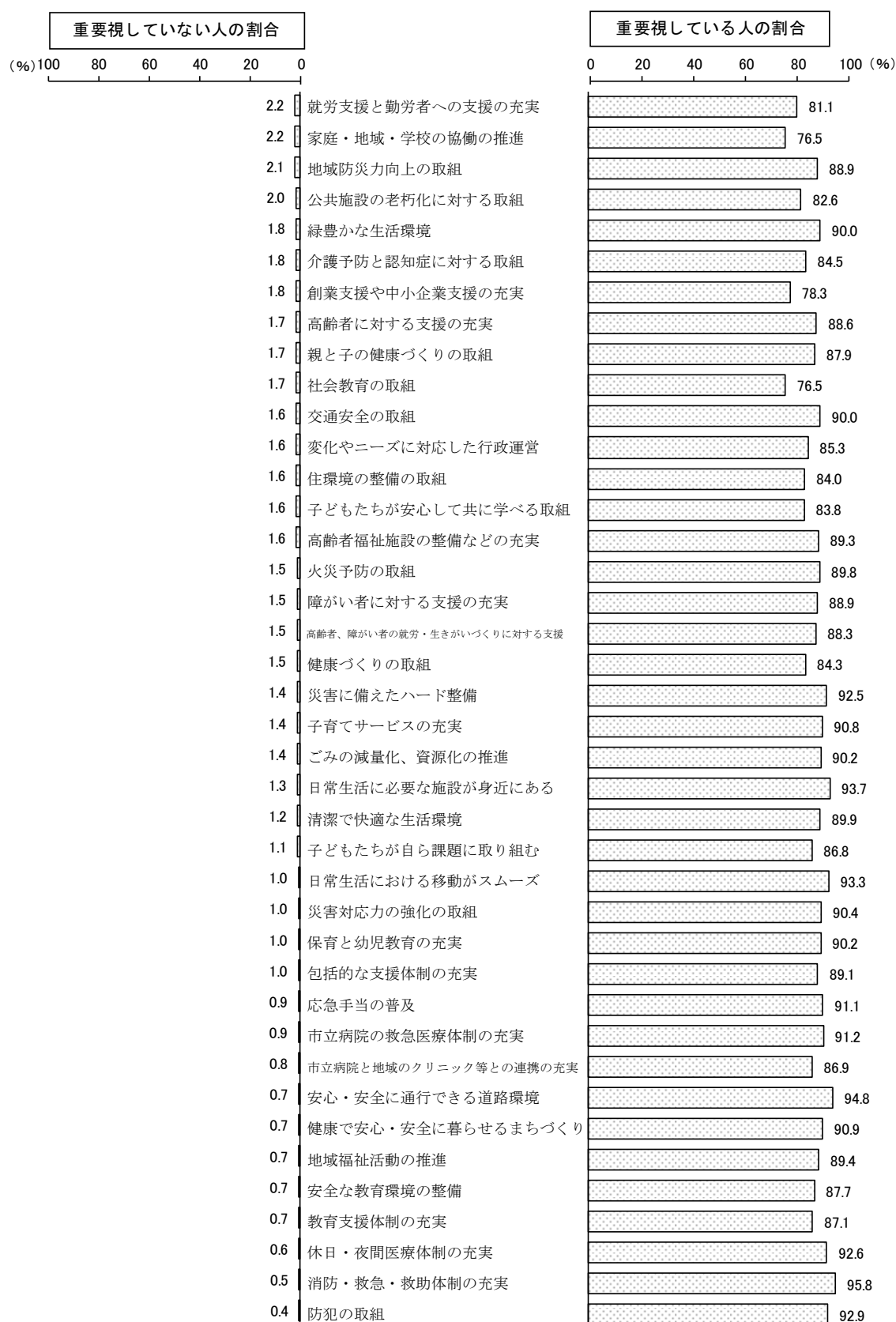
図表9 重要度（重要視している人の割合が高い順）2/2



図表 10 重要度（重要視していない人の割合が高い順） 1/2



図表 10 重要度（重要視していない人の割合が高い順） 2/2



図表 11 重要度（基本政策別・無回答者の割合）1/2

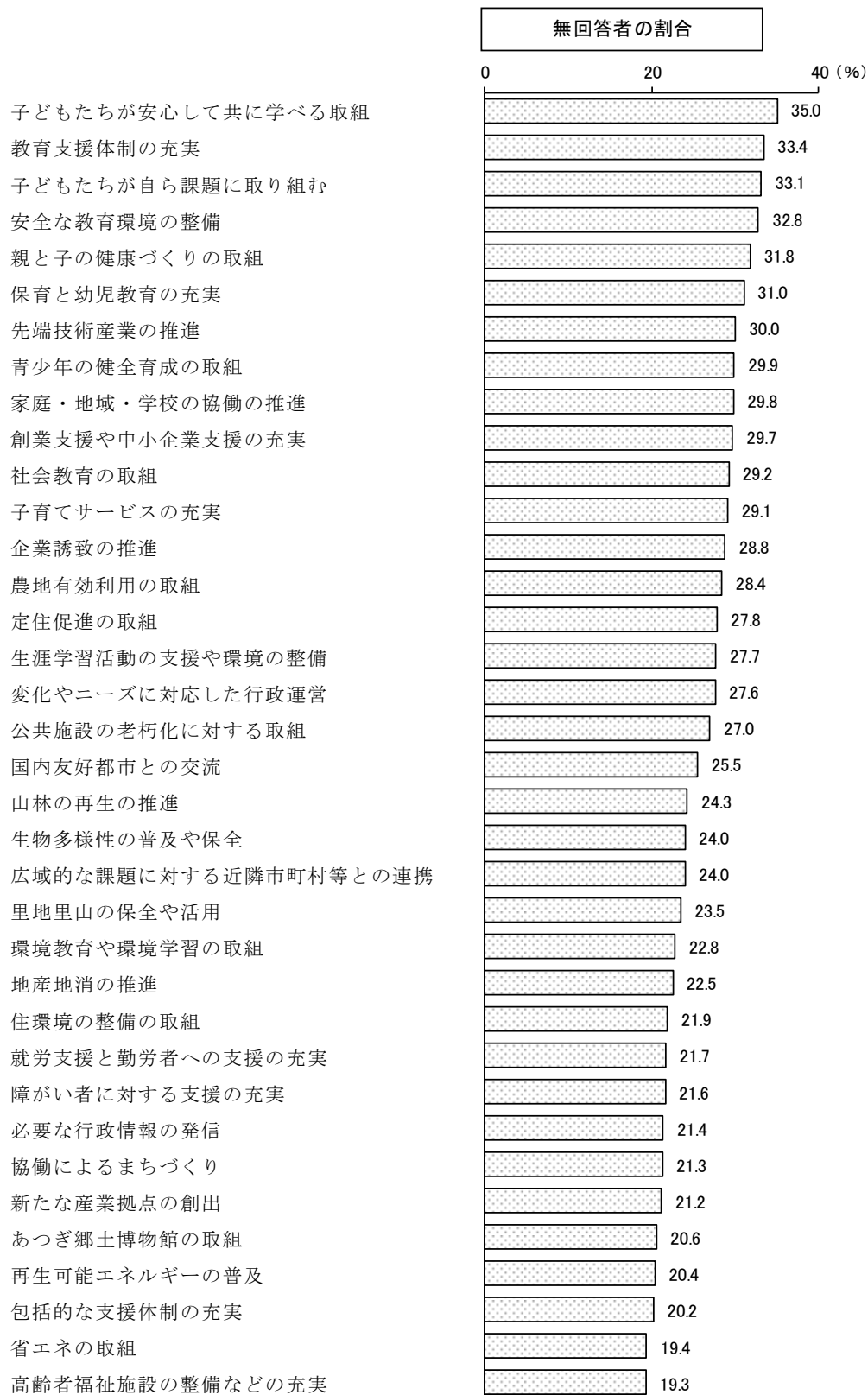
基本政策	項目	回答者数	無回答者数	合計	割無回答者の	無回答順位
		n (人) (A)	(人) (B)	(人) (A+B)	※1 (%)	※2
安心政策	災害に備えたハード整備	935	156	1,091	14.3	69
	災害対応力の強化の取組	946	145	1,091	13.3	75
	地域防災力向上の取組	933	158	1,091	14.5	67
	消防・救急・救助体制の充実	902	174	1,076	16.2	54
	応急手当の普及	886	190	1,076	17.7	46
	火災予防の取組	890	186	1,076	17.3	48
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	929	162	1,091	14.8	65
	交通安全の取組	945	146	1,091	13.4	74
	防犯の取組	941	150	1,091	13.7	73
安心政策 平均値		923	163	1,086	15.0	⑥
輝き政策	地域福祉活動の推進	889	187	1,076	17.4	47
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	879	197	1,076	18.3	42
	高齢者福祉施設の整備などの充実	868	208	1,076	19.3	36
	高齢者に対する支援の充実	870	206	1,076	19.1	39
	障がい者に対する支援の充実	844	232	1,076	21.6	28
	包括的な支援体制の充実	859	217	1,076	20.2	34
	子育てサービスの充実	763	313	1,076	29.1	12
	保育と幼児教育の充実	742	334	1,076	31.0	6
	親と子の健康づくりの取組	734	342	1,076	31.8	5
	休日・夜間医療体制の充実	927	164	1,091	15.0	64
	市立病院の救急医療体制の充実	921	170	1,091	15.6	60
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	910	181	1,091	16.6	52
	健康づくりの取組	956	135	1,091	12.4	77
	介護予防と認知症に対する取組	922	169	1,091	15.5	61
互いの違いを尊重できるまちづくり	893	198	1,091	18.1	43	
困りごとに対する相談・支援体制の充実	897	194	1,091	17.8	45	
平和についての啓発の推進	880	211	1,091	19.3	36	
輝き政策 平均値		868	215	1,083	19.9	④
成長政策	子どもたちが自ら課題に取り組む	720	356	1,076	33.1	3
	教育支援体制の充実	717	359	1,076	33.4	2
	安全な教育環境の整備	723	353	1,076	32.8	4
	子どもたちが安心して共に学べる取組	699	377	1,076	35.0	1
	社会教育の取組	762	314	1,076	29.2	11
	家庭・地域・学校の協働の推進	755	321	1,076	29.8	9
	生涯学習活動の支援や環境の整備	778	298	1,076	27.7	16
	青少年の健全育成の取組	754	322	1,076	29.9	8
	文化芸術に親しむ機会の提供	910	181	1,091	16.6	52
	郷土文化の継承と発展の取組	902	189	1,091	17.3	48
	あつぎ郷土博物館の取組	866	225	1,091	20.6	32
	運動・スポーツ活動の機会提供	920	171	1,091	15.7	59
	競技力を向上するための取組	890	201	1,091	18.4	41
	スポーツ施設の充実	917	174	1,091	15.9	58
成長政策 平均値		808	274	1,083	25.3	①

図表 11 重要度（基本政策別・無回答者の割合） 2/2

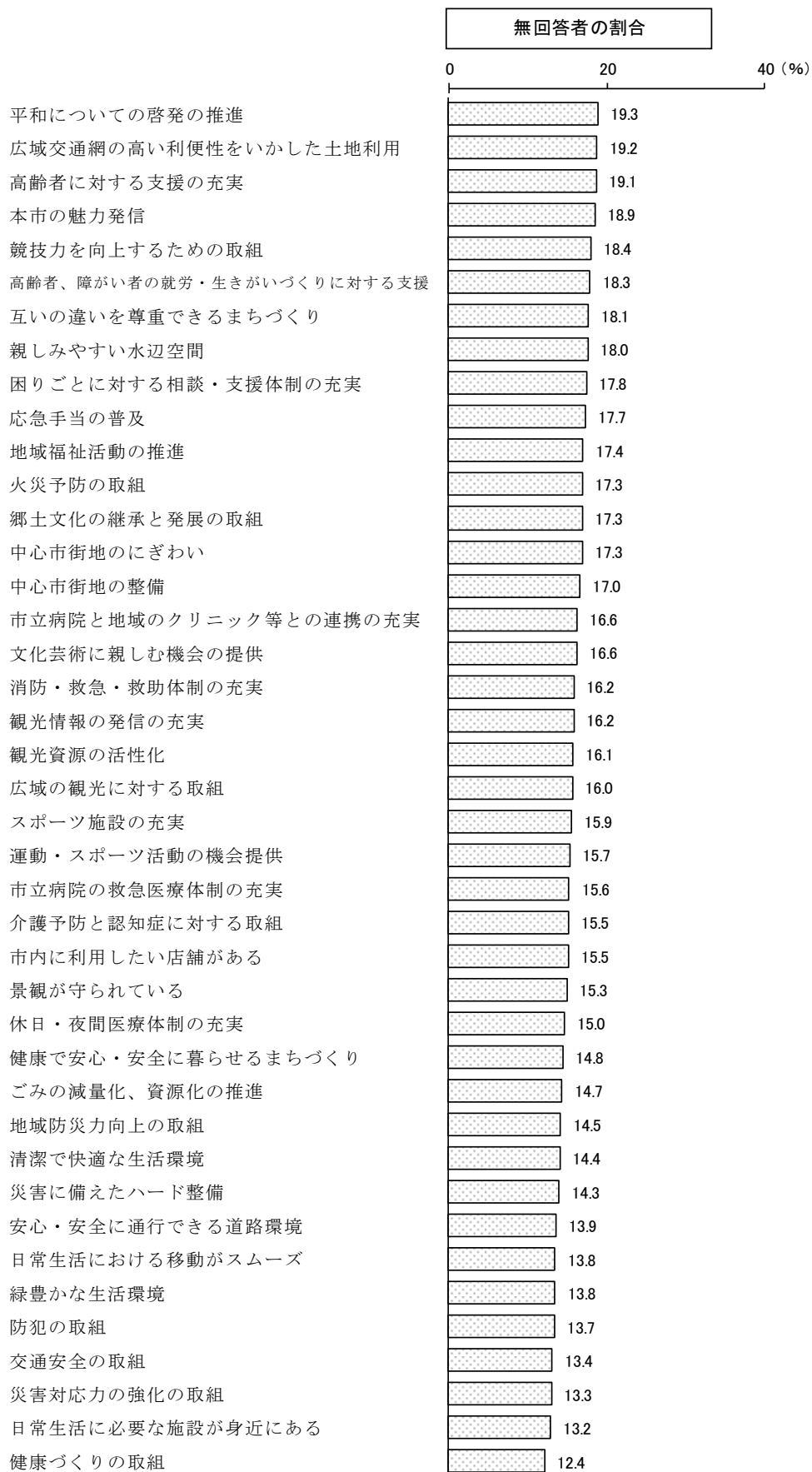
基本政策	項目	回答者数	無回答者数	合計	割合	無回答者の割合
		n (人) (A)	(人) (B)	(人) (A+B)	※1 (%)	※2
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	934	142	1,076	13.2	76
	安心・安全に通行できる道路環境	926	150	1,076	13.9	70
	日常生活における移動がスムーズ	928	148	1,076	13.8	71
	住環境の整備の取組	840	236	1,076	21.9	26
	中心市街地の整備	893	183	1,076	17.0	51
	中心市街地のにぎわい	890	186	1,076	17.3	48
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	882	209	1,091	19.2	38
	景観が守られている	924	167	1,091	15.3	63
	新たな産業拠点の創出	860	231	1,091	21.2	31
	市内に利用したい店舗がある	909	167	1,076	15.5	61
	創業支援や中小企業支援の充実	756	320	1,076	29.7	10
	企業誘致の推進	766	310	1,076	28.8	13
	先端技術産業の推進	753	323	1,076	30.0	7
	就労支援と勤労者への支援の充実	854	237	1,091	21.7	27
	広域の観光に対する取組	916	175	1,091	16.0	57
	観光資源の活性化	915	176	1,091	16.1	56
	観光情報の発信の充実	914	177	1,091	16.2	54
	本市の魅力発信	873	203	1,076	18.9	40
	定住促進の取組	777	299	1,076	27.8	15
	農地有効利用の取組	781	310	1,091	28.4	14
地産地消の推進	846	245	1,091	22.5	25	
発展政策 平均値		864	219	1,083	20.2	③
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	842	249	1,091	22.8	24
	再生可能エネルギーの普及	868	223	1,091	20.4	33
	省エネの取組	879	212	1,091	19.4	35
	ごみの減量化、資源化の推進	918	158	1,076	14.7	66
	生物多様性の普及や保全	829	262	1,091	24.0	21
	里地里山の保全や活用	835	256	1,091	23.5	23
	山林の再生の推進	826	265	1,091	24.3	20
	緑豊かな生活環境	928	148	1,076	13.8	71
	清潔で快適な生活環境	921	155	1,076	14.4	68
	親しみやすい水辺空間	882	194	1,076	18.0	44
潤い政策 平均値		873	212	1,085	19.6	⑤
共創政策	協働によるまちづくり	847	229	1,076	21.3	30
	必要な行政情報の発信	846	230	1,076	21.4	29
	変化やニーズに対応した行政運営	779	297	1,076	27.6	17
	公共施設の老朽化に対する取組	785	291	1,076	27.0	18
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	829	262	1,091	24.0	21
	国内友好都市との交流	813	278	1,091	25.5	19
共創政策 平均値		817	265	1,081	24.5	②
平均値		859	224	1,083	20.7	-

(※1) 「無回答者の割合」は、「合計」に対する「無回答者数」の割合を示す。
(※2) 「無回答順位」は、「無回答者の割合」の大きい順に第1位～第77位の順位を示す。
なお、網かけは、「無回答順位」の上位5位までの項目を示す。

図表 12 重要度（無回答者の割合が高い順）1/2



図表 12 重要度（無回答者の割合が高い順） 2/2



(3) 実感度と重要度の関係

ア 各分類の意味づけ

実感度と重要度の関係を分析するため、77項目の実感度と重要度をスコア化し、それらを基に各項目をⅠからⅣに分類する。(図表13)

分類	実感度	重要度
Ⅰ	高い	高い
Ⅱ	低い	高い
Ⅲ	高い	低い
Ⅳ	低い	低い

(ア) 分類Ⅰ (重点維持項目)

全取組のうち、相対的に実感度が高く、重要度も高い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、市民ニーズに即した取組ができていると考えられる。現在の水準を維持しつつ、引き続き重点的に取り組む必要がある。

(イ) 分類Ⅱ (重点改善項目)

全取組のうち、相対的に実感度が低く、重要度が高い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、市民ニーズがあるにもかかわらず、その期待に答えられていない取組であると考えられる。取組の必要性が認識されているものの、取組の向上や改善に対する市民ニーズが高い項目とも言え、市民ニーズを的確に捉え、重点的に改善を図っていく必要がある。

(ウ) 分類Ⅲ (維持項目)

全取組のうち、相対的に実感度が高く、重要度が低い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、必要性の認識は低いものの、成果は実感している取組であると考えられる。着実に取組を進めるとともに、取組の重要性の認識を深めていただく必要がある。また、市民ニーズを上回る行政サービスを提供している可能性についても検証する必要がある。

(エ) 分類Ⅳ (改善項目)

全取組のうち、相対的に実感度が低く、重要度も低い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、取組の向上や改善に対する一定のニーズはあるものの、その必要性の認識は低い取組であると考えられる。取組の重要性を更に認知していただくとともに、取組の方向性の改善を検討する必要がある。

また、市民の関心度が低い取組であることから、取組によっては行政で対応すべきかを検証する必要がある。

イ スコア化の方法

スコア化に当たっては、平均する各項目の条件の差異を考慮に入れ、対応する重み(大小)をつけてから平均する加重平均により、次のとおり計算を行う。

■項目のスコア化

$$\text{実感度} = \frac{\text{「そう思う」} \times 2 \text{点} + \text{「ややそう思う」} \times 1 \text{点} + \text{「どちらでもない」} \times 0 \text{点} + \text{「あまりそう思わない」} \times (-1 \text{点}) + \text{「そう思わない」} \times (-2 \text{点})}{\text{回答者数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\text{「重要」} \times 2 \text{点} + \text{「やや重要」} \times 1 \text{点} + \text{「どちらでもない」} \times 0 \text{点} + \text{「あまり重要ではない」} \times (-1 \text{点}) + \text{「重要ではない」} \times (-2 \text{点})}{\text{回答者数}}$$

(例)「災害対応力の強化の取組」の実感度に関して、この設問の回答者数は 953 人で、そのうち、「そう思う」が 68 人、「ややそう思う」が 352 人、「どちらでもない」が 297 人、「あまりそう思わない」が 180 人、「そう思わない」が 56 人であったことから、計算式は、

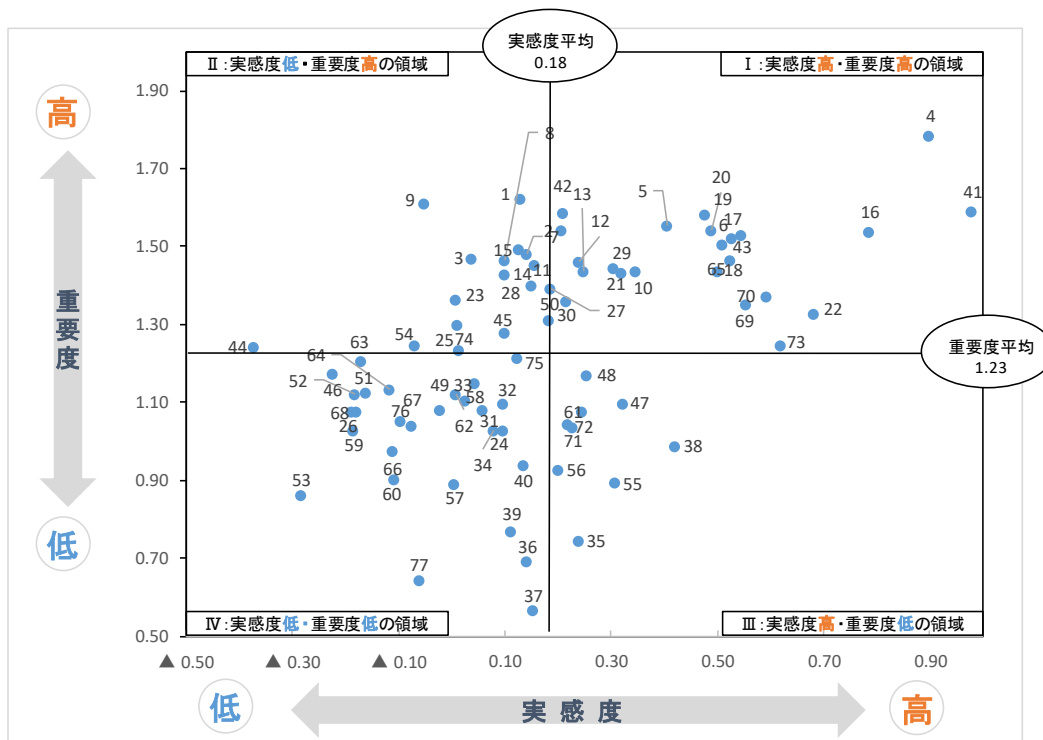
$$\frac{(68 \text{人} \times 2 \text{点}) + (352 \text{人} \times 1 \text{点}) + (297 \text{人} \times 0 \text{点}) + (180 \text{人} \times (-1 \text{点})) + (56 \text{人} \times (-2 \text{点}))}{953 \text{人}}$$

≒0.21 となり、「災害対応力の強化の取組」の実感度のスコアは、0.21 となる。

■各施策の分類

- ・上記の方法で算出したスコアを基に、実感度のスコアを横軸、重要度のスコアを縦軸として分布図を作成し、各項目を分類した。(図表 13)
- ・2本の補助軸は、実感度及び重要度の全項目の平均値を示したものである。

図表 13 各項目のスコア化による分類 1/2



分類	番号	項目	実感度	重要度
I 実感度:高い 重要度:高い	2	災害対応力の強化の取組	0.21	1.54
	4	消防・救急・救助体制の充実	0.90	1.78
	5	応急手当の普及	0.41	1.56
	6	火災予防の取組	0.51	1.51
	10	地域福祉活動の推進	0.35	1.44
	12	高齢者福祉施設の整備などの充実	0.24	1.46
	13	高齢者に対する支援の充実	0.25	1.44
	16	子育てサービスの充実	0.79	1.54
	17	保育と幼児教育の充実	0.53	1.52
	18	親と子の健康づくりの取組	0.50	1.44
	19	休日・夜間医療体制の充実	0.48	1.58
	20	市立病院の救急医療体制の充実	0.49	1.54
	21	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	0.32	1.43
	22	健康づくりの取組	0.68	1.33
	27	子どもたちが自ら課題に取り組む	0.19	1.39
	29	安全な教育環境の整備	0.30	1.44
	30	子どもたちが安心して共に学べる取組	0.22	1.36
	41	日常生活に必要な施設が身近にある	0.98	1.59
	42	安心・安全に通行できる道路環境	0.21	1.59
	43	日常生活における移動がスムーズ	0.55	1.53
	50	市内に利用したい店舗がある	0.18	1.31
	65	ごみの減量化、資源化の推進	0.53	1.47
	69	緑豊かな生活環境	0.55	1.35
	70	清潔で快適な生活環境	0.59	1.37
	73	必要な行政情報の発信	0.62	1.25

図表 13 各項目のスコア化による分類 2/2

分類	番号	項目	実感度	重要度
Ⅱ 実感度:低い 重要度:高い	1	災害に備えたハード整備	0.13	1.62
	3	地域防災力向上の取組	0.04	1.47
	7	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	0.14	1.48
	8	交通安全の取組	0.10	1.46
	9	防犯の取組	▲ 0.05	1.61
	11	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	0.15	1.40
	14	障がい者に対する支援の充実	0.16	1.45
	15	包括的な支援体制の充実	0.13	1.49
	23	介護予防と認知症に対する取組	0.01	1.36
	25	困りごとに対する相談・支援体制の充実	0.01	1.24
	28	教育支援体制の充実	0.10	1.43
	44	住環境の整備の取組	▲ 0.37	1.24
	45	中心市街地の整備	0.10	1.28
	54	就労支援と勤労者への支援の充実	▲ 0.07	1.25
74	変化やニーズに対応した行政運営	0.01	1.30	
Ⅲ 実感度:高い 重要度:低い	35	文化芸術に親しむ機会の提供	0.24	0.74
	38	運動・スポーツ活動の機会提供	0.42	0.99
	47	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	0.32	1.10
	48	景観が守られている	0.26	1.17
	55	広域の観光に対する取組	0.31	0.89
	56	観光資源の活性化	0.20	0.93
	61	地産地消の推進	0.23	1.04
	71	親しみやすい水辺空間	0.22	1.04
	72	協働によるまちづくり	0.24	1.08
Ⅳ 実感度:低い 重要度:低い	24	互いの違いを尊重できるまちづくり	0.10	1.03
	26	平和についての啓発の推進	▲ 0.19	1.08
	31	社会教育の取組	0.06	1.08
	32	家庭・地域・学校の協働の推進	0.10	1.10
	33	生涯学習活動の支援や環境の整備	0.02	1.11
	34	青少年の健全育成の取組	0.08	1.03
	36	郷土文化の継承と発展の取組	0.14	0.69
	37	あつぎ郷土博物館の取組	0.15	0.57
	39	競技力を向上するための取組	0.11	0.77
	40	スポーツ施設の充実	0.13	0.94
	46	中心市街地のにぎわい	▲ 0.22	1.17
	49	新たな産業拠点の創出	▲ 0.02	1.08
	51	創業支援や中小企業支援の充実	▲ 0.16	1.12
	52	企業誘致の推進	▲ 0.18	1.12
	53	先端技術産業の推進	▲ 0.28	0.86
	57	観光情報の発信の充実	0.01	0.89
	58	本市の魅力発信	0.04	1.15
	59	定住促進の取組	▲ 0.18	1.03
	60	農地有効利用の取組	▲ 0.11	0.90
	62	環境教育や環境学習の取組	0.01	1.12
	63	再生可能エネルギーの普及	▲ 0.17	1.21
	64	省エネの取組	▲ 0.12	1.13
	66	生物多様性の普及や保全	▲ 0.11	0.98
67	里地里山の保全や活用	▲ 0.07	1.04	
68	山林の再生の推進	▲ 0.18	1.08	
75	公共施設の老朽化に対する取組	0.12	1.22	
76	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	▲ 0.10	1.05	
77	国内友好都市との交流	▲ 0.06	0.64	
平均値			0.18	1.23

(注) 網かけは、実感度又は重要度の平均値を下回っている項目を示す。

(4) 項目別ニーズ得点

今後重点的な取組が必要と思われる項目を抽出するため、77 項目についてニーズ得点を求める。(図表 14)

重要度が高く、実感度が低くなるほど高得点となることから得点の高い項目ほど、その施策に対する市民ニーズが相対的に高いと考えることができる。

項目別のニーズ得点は、次のとおりである。

- ・ ニーズ得点 = 各項目の【重要度 (加重平均)】 × (3 - 【実感度 (加重平均)】)
- ・ なお、(3 - 【実感度 (加重平均)】) は実感していない度合を意味し、ニーズ得点の範囲は -10~10 点となる。
- ・ 例：「災害に備えたハード整備」のニーズ得点 = 1.62 × (3 - 0.13) ≒ 4.65

図表 14 ニーズ得点 1/2

基本政策	項目	令和4年度		令和3年度		前年度比較 (A-B)
		ニーズ得点 (A)	順位	ニーズ得点 (B)	順位	
安心政策	災害に備えたハード整備	4.65	2	4.54	1	0.11
	災害対応力の強化の取組	4.30	5	4.35	4	▲ 0.06
	地域防災力向上の取組	4.35	4	4.34	5	0.01
	消防・救急・救助体制の充実	3.74	31	3.69	31	0.05
	応急手当の普及	4.04	13	3.98	11	0.06
	火災予防の取組	3.76	28	3.71	28	0.05
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	4.23	7	4.06	8	0.18
	交通安全の取組	4.23	7	4.06	8	0.18
	防犯の取組	4.91	1	4.39	3	0.52
輝き政策	地域福祉活動の推進	3.82	25	3.73	26	0.08
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	3.99	15	3.93	14	0.06
	高齢者福祉施設の整備などの充実	4.03	14	3.81	23	0.22
	高齢者に対する支援の充実	3.96	17	3.86	21	0.10
	障がい者に対する支援の充実	4.12	11	4.02	10	0.10
	包括的な支援体制の充実	4.28	6	4.17	6	0.10
	子育てサービスの充実	3.40	43	3.24	47	0.17
	保育と幼児教育の充実	3.75	29	3.52	37	0.23
	親と子の健康づくりの取組	3.60	36	3.44	40	0.16
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	3.98	16	3.97	13	0.01
	休日・夜間医療体制の充実	3.87	21	3.98	11	▲ 0.11
	市立病院の救急医療体制の充実	3.83	24	3.81	23	0.03
	健康づくりの取組	3.09	57	3.14	54	▲ 0.05
	介護予防と認知症に対する取組	4.07	12	4.13	7	▲ 0.06
	互いの違いを尊重できるまちづくり	2.99	60	2.97	61	0.02
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	3.71	32	3.70	30	0.01
	平和についての啓発の推進	3.45	41	3.32	43	0.13

図表 14 ニーズ得点 2/2

基本政策	項目	令和4年度		令和3年度		前年度比較 (A-B)
		ニーズ得点 (A)	順位	ニーズ得点 (B)	順位	
成長政策	子どもたちが自ら課題に取り組む	3.91	18	3.89	18	0.01
	教育支援体制の充実	4.15	10	3.81	22	0.34
	安全な教育環境の整備	3.89	19	3.76	25	0.13
	子どもたちが安心して共に学べる取組	3.78	26	3.62	35	0.16
	社会教育の取組	3.18	56	2.98	59	0.19
	家庭・地域・学校の協働の推進	3.19	54	3.16	52	0.03
	生涯学習活動の支援や環境の整備	3.31	46	3.23	48	0.08
	青少年の健全育成の取組	3.01	59	3.06	56	▲ 0.06
	文化芸術に親しむ機会の提供	2.04	74	2.07	75	▲ 0.03
	郷土文化の継承と発展の取組	1.97	75	1.97	76	▲ 0.00
	あつぎ郷土博物館の取組	1.62	77	1.67	77	▲ 0.04
	運動・スポーツ活動の機会提供	2.55	71	2.48	71	0.07
	競技力を向上するための取組	2.23	73	2.21	73	0.01
	スポーツ施設の充実	2.70	68	2.69	67	0.01
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	3.21	52	3.25	46	▲ 0.04
	安心・安全に通行人ができる道路環境	4.44	3	4.50	2	▲ 0.06
	日常生活における移動がスムーズ	3.75	29	3.91	16	▲ 0.16
	住環境の整備の取組	4.18	9	3.89	19	0.29
	中心市街地の整備	3.71	32	3.52	38	0.20
	中心市街地のにぎわい	3.77	27	3.71	29	0.06
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	2.95	63	2.87	63	0.08
	景観が守られている	3.21	52	3.17	51	0.03
	新たな産業拠点の創出	3.26	50	3.06	57	0.20
	市内に利用したい店舗がある	3.69	34	3.69	32	0.00
	創業支援や中小企業支援の充実	3.54	38	3.30	44	0.24
	企業誘致の推進	3.56	37	3.21	50	0.35
	先端技術産業の推進	2.82	66	2.76	65	0.07
	就労支援と勤労者への支援の充実	3.84	22	3.91	15	▲ 0.07
	広域の観光に対する取組	2.39	72	2.31	72	0.08
	観光資源の活性化	2.60	70	2.49	70	0.11
	観光情報の発信の充実	2.66	69	2.67	69	▲ 0.01
	本市の魅力発信	3.40	43	3.14	53	0.27
	定住促進の取組	3.28	49	3.05	58	0.22
	農地有効利用の取組	2.80	67	2.69	68	0.11
地産地消の推進	2.88	65	2.85	64	0.03	
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	3.35	45	3.62	34	▲ 0.28
	再生可能エネルギーの普及	3.84	22	3.87	20	▲ 0.03
	省エネの取組	3.53	39	3.72	27	▲ 0.20
	ごみの減量化、資源化の推進	3.63	35	3.63	33	0.00
	生物多様性の普及や保全	3.05	58	3.13	55	▲ 0.08
	里地里山の保全や活用	3.19	54	3.23	49	▲ 0.04
	山林の再生の推進	3.43	42	3.54	36	▲ 0.10
	緑豊かな生活環境	3.31	46	3.26	45	0.05
	清潔で快適な生活環境	3.30	48	3.36	42	▲ 0.06
	親しみやすい水辺空間	2.89	64	2.94	62	▲ 0.05
共創政策	協働によるまちづくり	2.98	61	2.75	66	0.23
	必要な行政情報の発信	2.98	61	2.98	60	▲ 0.01
	変化やニーズに対応した行政運営	3.89	19	3.90	17	▲ 0.01
	公共施設の老朽化に対する取組	3.51	40	3.48	39	0.04
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	3.26	50	3.37	41	▲ 0.12
国内友好都市との交流	1.96	76	2.12	74	▲ 0.16	

(注1) 順位は、ニーズ得点の大きい順に第1位～第77位の順位を示す。

(注2) 網かけは、令和4年度順位の上位5位までの項目を示す。

(5) 前年度調査との比較

ア 実感度の比較 (図表 15)

前年度調査と比較すると、77 項目中 12 項目において、実感している人の割合(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)が上昇し、65 項目が低下した。

(ア) 前年度調査と比較し、実感している人の割合が上昇した主な項目

- ① 市内に利用したい店舗がある (+3.8 ポイント)
- ② 日常生活における移動がスムーズ (+2.4 ポイント)
- ③ 健康づくりの取組 (+2.1 ポイント)
- ④ 互いの違いを尊重できるまちづくり (+1.9 ポイント)
- ④ 中心市街地のにぎわい (+1.9 ポイント)

(イ) 前年度調査と比較し、実感している人の割合が低下した主な項目

- ① 防犯の取組 (▲8.0 ポイント)
- ① 親と子の健康づくりの取組 (▲8.0 ポイント)
- ③ 教育支援体制の充実 (▲7.5 ポイント)
- ④ 保育と幼児教育の充実 (▲6.8 ポイント)
- ⑤ 安全な教育環境の整備 (▲6.6 ポイント)

図表 15 実感度（前年度との比較） 1/2

基本政策	項目	n	令和4年度	令和3年度	前年度比較	比較順位
			実感度(%)	実感度(%)		
安心政策	災害に備えたハード整備	(924)	38.1	40.3	▲ 2.2	39
	災害対応力の強化の取組	(953)	44.0	44.4	▲ 0.4	16
	地域防災力向上の取組	(930)	35.4	34.3	▲ 1.1	7
	消防・救急・救助体制の充実	(921)	70.1	69.1	▲ 1.0	9
	応急手当の普及	(879)	45.4	49.1	▲ 3.7	51
	火災予防の取組	(905)	52.2	54.8	▲ 2.6	43
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	(954)	37.0	41.6	▲ 4.6	61
	交通安全の取組	(974)	37.6	42.8	▲ 5.2	64
	防犯の取組	(961)	30.2	38.2	▲ 8.0	76
安心政策 平均値			43.3	46.1	▲ 2.8	⑥
輝き政策	地域福祉活動の推進	(932)	46.7	50.3	▲ 3.6	48
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	(900)	37.0	43.3	▲ 6.3	70
	高齢者福祉施設の整備などの充実	(885)	39.1	44.6	▲ 5.5	66
	高齢者に対する支援の充実	(884)	39.7	45.3	▲ 5.6	67
	障がい者に対する支援の充実	(831)	34.2	38.6	▲ 4.4	58
	包括的な支援体制の充実	(861)	34.7	38.2	▲ 3.5	47
	子育てサービスの充実	(735)	64.0	68.2	▲ 4.2	56
	保育と幼児教育の充実	(708)	50.7	57.5	▲ 6.8	74
	親と子の健康づくりの取組	(692)	48.8	56.8	▲ 8.0	76
	休日・夜間医療体制の充実	(921)	54.0	54.3	▲ 0.3	14
	市立病院の救急医療体制の充実	(879)	50.3	49.9	▲ 0.4	10
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	(874)	42.6	42.5	▲ 0.1	12
	健康づくりの取組	(978)	63.8	61.7	▲ 2.1	3
	介護予防と認知症に対する取組	(870)	28.4	28.9	▲ 0.5	18
	互いの違いを尊重できるまちづくり	(870)	31.7	29.8	▲ 1.9	4
困りごとに対する相談・支援体制の充実	(876)	29.7	30.1	▲ 0.4	16	
平和についての啓発の推進	(849)	18.9	20.9	▲ 2.0	34	
輝き政策 平均値			42.0	44.8	▲ 2.8	⑤
成長政策	子どもたちが自ら課題に取り組む	(651)	33.2	34.7	▲ 1.5	28
	教育支援体制の充実	(649)	29.1	36.6	▲ 7.5	75
	安全な教育環境の整備	(659)	38.7	45.3	▲ 6.6	73
	子どもたちが安心して共に学べる取組	(631)	33.1	39.2	▲ 6.1	69
	社会教育の取組	(736)	28.2	33.2	▲ 5.0	63
	家庭・地域・学校の協働の推進	(726)	32.0	36.8	▲ 4.8	62
	生涯学習活動の支援や環境の整備	(763)	29.9	33.3	▲ 3.4	46
	青少年の健全育成の取組	(718)	32.3	34.6	▲ 2.3	40
	文化芸術に親しむ機会の提供	(940)	42.9	41.3	▲ 1.6	6
	郷土文化の継承と発展の取組	(906)	36.1	37.8	▲ 1.7	33
	あつぎ郷土博物館の取組	(854)	37.4	43.8	▲ 6.4	72
	運動・スポーツ活動の機会提供	(939)	51.0	51.2	▲ 0.2	13
	競技力を向上するための取組	(878)	33.8	32.7	▲ 1.1	7
	スポーツ施設の充実	(930)	39.9	41.2	▲ 1.3	26
成長政策 平均値			35.5	38.7	▲ 3.2	①

図表 15 実感度（前年度との比較）2/2

基本政策	項目	令和4年度 実感度(%)	令和3年度 実感度(%)	前年度比較	比較順位 ※1	
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	(1,037)	75.4	75.1	0.3	11
	安心・安全に通行できる道路環境	(1,007)	46.8	47.6	▲ 0.8	21
	日常生活における移動がスムーズ	(1,022)	59.3	56.9	2.4	2
	住環境の整備の取組	(843)	16.4	18.5	▲ 2.1	35
	中心市街地の整備	(979)	42.7	46.5	▲ 3.8	53
	中心市街地のにぎわい	(987)	31.2	29.3	1.9	4
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	(908)	48.4	52.8	▲ 4.4	58
	景観が守られている	(962)	44.5	48.1	▲ 3.6	48
	新たな産業拠点の創出	(878)	32.4	34.0	▲ 1.6	30
	市内に利用したい店舗がある	(996)	46.4	42.6	3.8	1
	創業支援や中小企業支援の充実	(736)	19.2	22.8	▲ 3.6	48
	企業誘致の推進	(756)	24.5	26.6	▲ 2.1	35
	先端技術産業の推進	(742)	20.9	22.0	▲ 1.1	24
	就労支援と勤労者への支援の充実	(858)	23.2	29.2	▲ 6.0	68
	広域の観光に対する取組	(941)	47.2	48.1	▲ 0.9	22
	観光資源の活性化	(945)	42.2	43.6	▲ 1.4	27
	観光情報の発信の充実	(947)	32.3	36.6	▲ 4.3	57
	本市の魅力発信	(937)	38.5	44.8	▲ 6.3	70
	定住促進の取組	(771)	22.1	24.2	▲ 2.1	35
	農地有効利用の取組	(751)	23.7	29.1	▲ 5.4	65
地産地消の推進	(850)	40.1	43.8	▲ 3.7	51	
発展政策 平均値			37.0	39.2	▲ 2.2	③
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	(804)	24.7	25.7	▲ 1.0	23
	再生可能エネルギーの普及	(842)	20.8	23.3	▲ 2.5	41
	省エネの取組	(872)	24.0	24.6	▲ 0.6	19
	ごみの減量化、資源化の推進	(977)	57.4	57.7	▲ 0.3	14
	生物多様性の普及や保全	(789)	22.0	23.6	▲ 1.6	30
	里地里山の保全や活用	(797)	25.6	28.1	▲ 2.5	41
	山林の再生の推進	(776)	20.9	22.0	▲ 1.1	24
	緑豊かな生活環境	(1,023)	61.1	62.6	▲ 1.5	28
	清潔で快適な生活環境	(1,008)	59.9	62.0	▲ 2.1	35
	親しみやすい水辺空間	(941)	44.2	45.8	▲ 1.6	30
潤い政策 平均値			36.1	37.5	▲ 1.4	④
共創政策	協働によるまちづくり	(896)	42.3	46.4	▲ 4.1	55
	必要な行政情報の発信	(912)	63.1	63.7	▲ 0.6	19
	変化やニーズに対応した行政運営	(812)	29.5	33.9	▲ 4.4	58
	公共施設の老朽化に対する取組	(809)	36.5	39.7	▲ 3.2	45
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	(796)	24.0	26.9	▲ 2.9	44
国内友好都市との交流	(795)	27.9	31.9	▲ 4.0	54	
共創政策 平均値			37.2	40.4	▲ 3.2	①
平均値			38.5	41.0	▲ 2.5	—

(※1) 「比較順位」は、「前年度比較」の大きい順に第1位～第77位の順位を示す。
 なお、網かけは、「比較順位」の上位5位までの項目を示す。

イ 重要度の比較（図表 16）

前年度調査と比較すると、77 項目中 40 項目において、重要視している人の割合（「重要である」と「やや重要である」の合計）が上昇し、4 項目が横ばい、33 項目が低下した。

（ア）前年度調査と比較し、重要視している人の割合が上昇した主な項目

- ① 創業支援や中小企業支援の充実（+4.1 ポイント）
- ① 企業誘致の推進（+4.1 ポイント）
- ③ 協働によるまちづくり（+3.7 ポイント）
- ④ 先端技術産業の推進（+3.0 ポイント）
- ⑤ 中心市街地のにぎわい（+2.9 ポイント）

（イ）前年度調査と比較し、重要視している人の割合が低下した主な項目

- ① 環境教育や環境学習の取組（▲4.8 ポイント）
- ② 青少年の健全育成の取組（▲3.9 ポイント）
- ③ 生物多様性の普及や保全（▲3.8 ポイント）
- ④ 国内友好都市との交流（▲3.4 ポイント）
- ⑤ あつぎ郷土博物館の取組（▲3.3 ポイント）
- ⑤ 就労支援と勤労者への支援の充実（▲3.3 ポイント）

図表 16 重要度（前年度との比較）1/2

基本政策	項目	令和4年度 重要度(%)	令和3年度 重要度(%)	前年度比較	比較順位 ※1
安心政策	災害に備えたハード整備 (935)	92.5	92.2	0.3	34
	災害対応力の強化の取組 (946)	90.4	92.4	▲ 2.0	66
	地域防災力向上の取組 (933)	88.9	88.6	0.3	34
	消防・救急・救助体制の充実 (902)	95.8	94.9	0.9	21
	応急手当の普及 (886)	91.1	91.8	▲ 0.7	51
	火災予防の取組 (890)	89.8	89.7	0.1	40
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり (929)	90.9	89.2	1.7	11
	交通安全の取組 (945)	90.0	89.2	0.8	24
	防犯の取組 (941)	92.9	91.9	1.0	18
安心政策 平均値		91.4	91.1	0.3	⑥
輝き政策	地域福祉活動の推進 (889)	89.4	90.3	▲ 0.9	57
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援 (879)	88.3	89.0	▲ 0.7	51
	高齢者福祉施設の整備などの充実 (868)	89.3	88.3	1.0	18
	高齢者に対する支援の充実 (870)	88.6	88.1	0.5	31
	障がい者に対する支援の充実 (844)	88.9	87.3	1.6	13
	包括的な支援体制の充実 (859)	89.1	88.9	0.2	36
	子育てサービスの充実 (763)	90.8	90.2	0.6	28
	保育と幼児教育の充実 (742)	90.2	89.0	1.2	16
	親と子の健康づくりの取組 (734)	87.9	88.5	▲ 0.6	48
	休日・夜間医療体制の充実 (927)	92.6	92.2	0.4	32
	市立病院の救急医療体制の充実 (921)	91.2	91.4	▲ 0.2	45
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実 (910)	86.9	86.9	0.0	41
	健康づくりの取組 (956)	84.3	85.5	▲ 1.2	59
	介護予防と認知症に対する取組 (922)	84.5	86.5	▲ 2.0	66
	互いの違いを尊重できるまちづくり (893)	74.5	73.8	0.7	26
困りごとに対する相談・支援体制の充実 (897)	81.5	83.1	▲ 1.6	62	
平和についての啓発の推進 (880)	72.9	72.9	0.0	41	
輝き政策 平均値		86.5	86.6	▲ 0.1	⑤
成長政策	子どもたちが自ら課題に取り組む (720)	86.8	87.5	▲ 0.7	51
	教育支援体制の充実 (717)	87.1	85.4	1.7	11
	安全な教育環境の整備 (723)	87.7	87.1	0.6	28
	子どもたちが安心して共に学べる取組 (699)	83.8	84.4	▲ 0.6	48
	社会教育の取組 (762)	76.5	76.3	0.2	36
	家庭・地域・学校の協働の推進 (755)	76.5	77.1	▲ 0.6	48
	生涯学習活動の支援や環境の整備 (778)	76.7	79.2	▲ 2.5	68
	青少年の健全育成の取組 (754)	72.0	75.9	▲ 3.9	76
	文化芸術に親しむ機会の提供 (910)	61.4	61.2	0.2	36
	郷土文化の継承と発展の取組 (902)	58.9	59.6	▲ 0.7	51
	あつぎ郷土博物館の取組 (866)	51.8	55.1	▲ 3.3	72
	運動・スポーツ活動の機会提供 (920)	75.4	72.8	2.6	7
	競技力を向上するための取組 (890)	62.9	62.0	0.9	21
	スポーツ施設の充実 (917)	71.2	71.2	0.0	41
成長政策 平均値		73.5	73.9	▲ 0.4	③

図表 16 重要度（前年度との比較）2/2

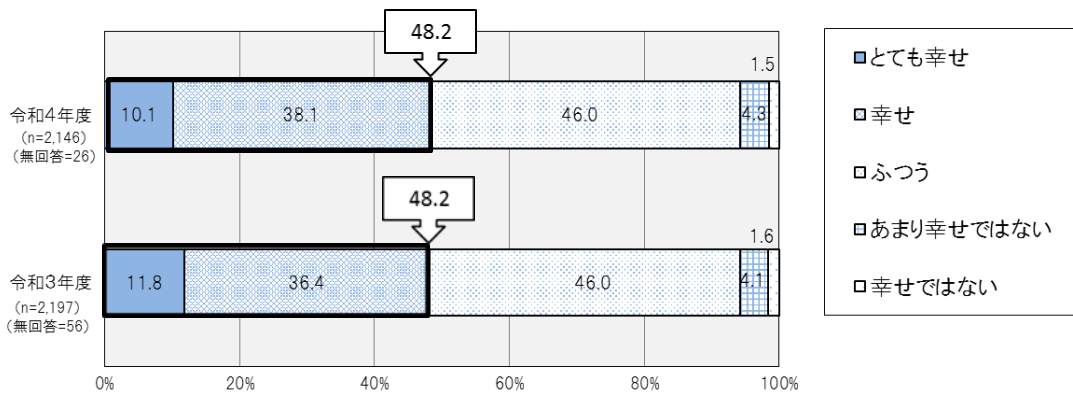
基本政策	項目	令和4年度 重要度(%)	令和3年度 重要度(%)	前年度比較	比較順位 ※1	
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	(934)	93.7	93.7	0.0	41
	安心・安全に通行できる道路環境	(926)	94.8	95.1	▲ 0.3	46
	日常生活における移動がスムーズ	(928)	93.3	94.0	▲ 0.7	51
	住環境の整備の取組	(840)	84.0	81.3	2.7	6
	中心市街地の整備	(893)	85.7	84.4	1.3	15
	中心市街地のにぎわい	(890)	81.5	78.6	2.9	5
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	(882)	75.6	78.6	▲ 3.0	71
	景観が守られている	(924)	79.3	81.1	▲ 1.8	64
	新たな産業拠点の創出	(860)	73.3	74.8	▲ 1.5	61
	市内に利用したい店舗がある	(909)	85.7	84.7	1.0	18
	創業支援や中小企業支援の充実	(756)	78.3	74.2	4.1	1
	企業誘致の推進	(766)	77.3	73.2	4.1	1
	先端技術産業の推進	(753)	67.3	64.3	3.0	4
	就労支援と勤労者への支援の充実	(854)	81.1	84.4	▲ 3.3	72
	広域の観光に対する取組	(916)	71.7	69.1	2.6	7
	観光資源の活性化	(915)	73.2	71.2	2.0	10
	観光情報の発信の充実	(914)	70.2	71.6	▲ 1.4	60
	本市の魅力発信	(873)	79.5	78.7	0.8	24
	定住促進の取組	(777)	72.7	70.5	2.2	9
	農地有効利用の取組	(781)	67.3	66.6	0.7	26
地産地消の推進	(846)	73.3	73.6	▲ 0.3	46	
発展政策 平均値			79.0	78.3	0.7	④
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	(842)	75.5	80.3	▲ 4.8	77
	再生可能エネルギーの普及	(868)	79.5	81.3	▲ 1.8	64
	省エネの取組	(879)	77.1	79.6	▲ 2.5	68
	ごみの減量化、資源化の推進	(918)	90.2	90.0	0.2	36
	生物多様性の普及や保全	(829)	69.1	72.9	▲ 3.8	75
	里地里山の保全や活用	(835)	73.7	75.4	▲ 1.7	63
	山林の再生の推進	(826)	75.2	77.8	▲ 2.6	70
	緑豊かな生活環境	(928)	90.0	88.5	1.5	14
	清潔で快適な生活環境	(921)	89.9	89.5	0.4	32
	親しみやすい水辺空間	(882)	76.0	75.1	0.9	21
潤い政策 平均値			79.6	81.0	▲ 1.4	②
共創政策	協働によるまちづくり	(847)	79.1	75.4	3.7	3
	必要な行政情報の発信	(846)	85.0	83.8	1.2	16
	変化やニーズに対応した行政運営	(779)	85.3	86.1	▲ 0.8	56
	公共施設の老朽化に対する取組	(785)	82.6	82.0	0.6	28
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	(829)	74.6	75.6	▲ 1.0	58
国内友好都市との交流	(813)	57.5	60.9	▲ 3.4	74	
共創政策 平均値			77.4	77.3	0.1	①
平均値			81.1	81.1	0.0	—

(※1) 「比較順位」は、「前年度比較」の大きい順に第1位～第77位の順位を示す。
 なお、網かけは、「比較順位」の上位5位までの項目を示す。

(6) 幸福度 (A : 問 15、B : 問 18、図表 17)

- ・幸福度については、「とても幸せ」(10.1%)、「幸せ」(38.1%) の合計が 48.2% という結果となり、前年度調査の同率となった。
- ・「あまり幸せではない」(4.3%)、「幸せではない」(1.5%) の合計が 5.8% という結果となり、前年度調査の 5.7% と比較して、0.1 ポイント増加した。
- ・各調査票の属性別集計 (クロス集計) は次ページのとおり。

図表 17 幸福度 (調査票 A、B を合計して算出)



以降掲載するクロス集計において、以下の通り属性別の最大値、最小値を示す。

- 橙色の網掛け：属性別の最大値
- 水色の網掛け：属性別の最小値

(回答が「はい」「いいえ」のみの設問については、上記の限りではない。)

【クロス集計】

		n	とても 幸せ	幸 せ	ふ つ う	あ ま り 幸 せ で は な い	幸 せ で は な い	
調査票 A	全体	1,080	9.6	40.7	43.3	4.6	1.7	
	性別							
		男性	464	8.2	38.6	45.5	5.4	2.4
		女性	542	11.3	42.8	41.3	3.7	0.9
	年齢別	10代	9	22.2	44.4	33.3	0.0	0.0
		20代	70	10.0	45.7	42.9	1.4	0.0
		30代	111	9.9	48.6	34.2	7.2	0.0
		40代	166	12.0	38.0	42.2	5.4	2.4
		50代	199	8.5	37.2	43.2	6.5	4.5
		60代	176	7.4	39.8	47.2	4.5	1.1
		70代	228	10.1	43.0	42.1	3.9	0.9
		80代以上	117	9.4	38.5	49.6	1.7	0.9
	世帯構成別	夫婦	347	10.1	40.3	44.7	4.3	0.6
		親子（親との二世帯）	140	10.0	38.6	45.0	4.3	2.1
		親子（子との二世帯）	241	12.9	44.0	38.2	2.9	2.1
		親子孫（三世帯）	47	10.6	42.6	42.6	2.1	2.1
		一人暮らし	249	6.4	41.0	45.0	5.6	2.0
		その他	42	7.1	35.7	38.1	14.3	4.8
	居住年数別	20年以上（転入なし）	249	12.4	39.0	43.0	4.8	0.8
		20年以上（転入あり）	493	8.3	42.2	44.4	4.3	0.8
		10～19年（転入なし）	22	18.2	27.3	45.5	4.5	4.5
		10～19年（転入あり）	128	8.6	44.5	36.7	4.7	5.5
		5～9年	76	11.8	32.9	46.1	6.6	2.6
		3～4年	44	9.1	45.5	40.9	4.5	0.0
		2年以下	55	7.3	45.5	41.8	1.8	3.6
	居住地区別	厚木北	112	6.3	52.7	37.5	2.7	0.9
厚木南		59	11.9	37.3	47.5	3.4	0.0	
依知北		76	1.3	27.6	56.6	6.6	7.9	
依知南		56	14.3	19.6	53.6	10.7	1.8	
睦合北		43	4.7	48.8	39.5	7.0	0.0	
睦合南		107	8.4	53.3	37.4	0.9	0.0	
睦合西		43	16.3	39.5	41.9	2.3	0.0	
荻野		121	9.1	38.8	43.8	5.8	2.5	
小鮎		65	13.8	36.9	40.0	6.2	3.1	
南毛利		177	12.4	41.8	40.1	4.5	1.1	
南毛利南		51	9.8	41.2	43.1	5.9	0.0	
玉川		17	5.9	29.4	58.8	5.9	0.0	
相川		66	16.7	31.8	43.9	4.5	3.0	
緑ヶ丘		36	5.6	52.8	41.7	0.0	0.0	
森の里		34	5.9	55.9	35.3	2.9	0.0	
全体		1,066	10.5	35.4	48.7	4.0	1.4	
調査票 B	性別							
		男性	447	8.1	36.2	50.8	3.1	1.8
		女性	546	12.6	35.0	46.7	4.8	0.9
	年齢別	10代	8	25.0	12.5	62.5	0.0	0.0
		20代	66	13.6	39.4	47.0	0.0	0.0
		30代	114	14.0	38.6	42.1	4.4	0.9
		40代	143	7.0	35.0	51.7	3.5	2.8
		50代	184	12.0	34.8	42.9	7.6	2.7
		60代	179	12.8	35.2	46.4	3.9	1.7
		70代	245	6.9	36.3	53.1	3.3	0.4
		80代以上	117	10.3	31.6	54.7	3.4	0.0
	世帯構成別	夫婦	328	10.7	39.0	46.0	3.7	0.6
		親子（親との二世帯）	150	12.7	27.3	53.3	5.3	1.3
		親子（子との二世帯）	245	14.7	36.3	44.5	3.3	1.2
		親子孫（三世帯）	52	7.7	44.2	44.2	1.9	1.9
		一人暮らし	233	6.4	30.9	55.4	4.7	2.6
		その他	40	2.5	42.5	47.5	7.5	0.0
	居住年数別	20年以上（転入なし）	269	12.6	34.9	46.8	4.1	1.5
		20年以上（転入あり）	476	10.3	35.9	49.2	4.0	0.6
		10～19年（転入なし）	18	16.7	27.8	44.4	0.0	11.1
		10～19年（転入あり）	125	9.6	35.2	49.6	2.4	3.2
		5～9年	71	9.9	35.2	52.1	1.4	1.4
		3～4年	44	2.3	34.1	50.0	11.4	2.3
		2年以下	48	8.3	39.6	45.8	6.3	0.0
	居住地区別	厚木北	136	7.4	39.7	50.7	1.5	0.7
		厚木南	56	5.4	48.2	46.4	0.0	0.0
依知北		68	10.3	30.9	50.0	5.9	2.9	
依知南		66	7.6	22.7	66.7	3.0	0.0	
睦合北		41	14.6	29.3	53.7	2.4	0.0	
睦合南		87	10.3	43.7	40.2	4.6	1.1	
睦合西		42	11.9	19.0	61.9	4.8	2.4	
荻野		109	6.4	40.4	44.0	5.5	3.7	
小鮎		74	9.5	33.8	51.4	4.1	1.4	
南毛利		172	14.5	33.1	48.3	2.9	1.2	
南毛利南		64	9.4	34.4	51.6	4.7	0.0	
玉川		15	26.7	46.7	20.0	6.7	0.0	
相川		63	12.7	27.0	52.4	4.8	3.2	
緑ヶ丘		22	4.5	45.5	31.8	18.2	0.0	
森の里		32	21.9	40.6	37.5	0.0	0.0	

2-3 行動変容（市の施策による市民の行動の変化）

（1）基本政策別の傾向（図表 18）

- ア 行動変容の実績値が高い政策
 - ① 潤い政策（平均値 82.1%）
 - ② 安心政策（平均値 75.5%）
 - ③ 輝き政策（平均値 74.7%）
- イ 行動変容の実績値が低い政策
 - ① 成長政策（平均値 39.7%）
 - ② 共創政策（平均値 59.4%）
 - ③ 発展政策（平均値 65.7%）

（2）27 項目別の傾向（図表 18）

- ア 行動変容の実績値が高い項目
 - ① 資源の分別を意識している（96.7%）
 - ② 健康増進のために取り組んでいることがある（91.5%）
 - ③ 防犯等の対策について心掛けていることがある（89.6%）
 - ④ 災害に備えていることがある（89.0%）
 - ⑤ 主に利用する店舗が市内にあると回答した（86.3%）
- イ 行動変容の実績値が低い項目
 - ① 市内で文化芸術に親しんでいる（19.4%）
 - ② 図書館を利用している（24.3%）
 - ③ 運動やスポーツを週3回以上行っている（29.3%）
 - ④ 公民館を利用している（31.8%）
 - ⑤ 市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした（32.0%）

（3）前年度調査との比較（図表 18）

- ア 前年度調査と比較し、行動変容の実績値が上昇した主な項目
 - ① 市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした（+9.9 ポイント）
 - ② 地域や学校の行事に参加又は協力している（+3.5 ポイント）
 - ③ 生涯学習活動を行っている（+3.4 ポイント）
 - ④ 自治会やボランティア・NPO等の活動に参加している（+3.3 ポイント）
 - ⑤ 市内で文化芸術に親しんでいる（+3.1 ポイント）
- イ 前年度調査と比較し、行動変容の実績値が低下した主な項目
 - ① 厚木の郷土文化に興味がある（▲4.5 ポイント）
 - ② 自転車の安全のために心掛けていることがある（▲3.5 ポイント）
 - ③ 必要な行政情報を入手できている（▲2.9 ポイント）
 - ④ 子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う（▲2.4 ポイント）
 - ⑤ 子育てに困ったときに、気軽に相談できる相手がいる（▲2.3 ポイント）

図表 18 行動変容（基本政策別・項目別一覧表）

（単位：％）

基本政策	項目名 （～市民の割合）	n	令和4年度目標値	令和4年度実績値	実績値順位	令和3年度実績値	前年度比較	比較順位
				(A)		(B)	(A-B)	
安心政策	災害に備えていることがある（A：問2）	(1,068)	87.5	89.0	4	89.9	▲ 0.9	20
	AEDや心臓マッサージの方法を知っている（B：問2）	(1,043)	63.1	62.2	15	61.9	0.3	15
	消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている（B：問3）	(1,052)	80.3	79.5	8	79.4	0.1	17
	自転車の安全のために心掛けていることがある（A：問3）	(893)	57.2	57.3	17	60.8	▲ 3.5	26
	防犯等の対策について心掛けていることがある（A：問4）	(1,065)	92.0	89.6	3	89.5	0.1	17
安心政策 平均値			-	75.5	②	76.3	▲ 0.8	②
輝き政策	地域のひととの関わりがあると思う（B：問4）	(1,054)	57.0	57.3	17	55.2	2.1	9
	生きがいを持って生活を送っている（B：問5）	(1,028)	76.0	76.0	12	75.2	0.8	11
	子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる（B：問6）	(650)	56.3	60.5	16	62.8	▲ 2.3	23
	健康増進のために取り組んでいることがある（A：問5）	(1,043)	91.5	91.5	2	92.8	▲ 1.3	22
	健康診断やがん検診、人間ドックを受けた（A：問6）	(1,038)	82.0	81.3	7	80.3	1.0	10
	認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある（A：問7）	(1,027)	79.1	81.9	6	79.4	2.5	6
輝き政策 平均値			-	74.7	③	74.3	0.4	④
成長政策	子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う（B：問7）	(685)	63.0	67.4	14	69.8	▲ 2.4	23
	公民館を利用している（B：問8）	(1,015)	29.6	31.8	24	29.4	2.4	7
	地域や学校の行事に参加又は協力している（B：問9）	(1,005)	36.0	38.7	22	35.2	3.5	2
	生涯学習活動を行っている（B：問10）	(964)	43.0	54.1	19	50.7	3.4	3
	図書館を利用している（B：問11）	(989)	24.0	24.3	26	23.7	0.6	12
	市内で文化芸術に親しんでいる（A：問8）	(1,035)	20.0	19.4	27	16.4	3.0	5
	厚木の郷土文化に興味がある（A：問9）	(1,023)	51.0	52.5	20	57.0	▲ 4.5	27
	運動やスポーツを週3回以上行っている（A：問10）	(1,041)	36.0	29.3	25	27.1	2.2	8
成長政策 平均値			-	39.7	⑥	38.7	1.0	②
発展政策	主に利用する店舗が市内にあると回答した（B：問12）	(906)	86.3	86.3	5	86.7	▲ 0.4	19
	市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした（A：問11）	(1,042)	32.0	32.0	23	22.1	9.9	1
	地元の農産物を購入した（A：問12）	(1,047)	80.0	78.8	9	78.2	0.6	12
発展政策 平均値			-	65.7	④	62.3	3.4	⑥
潤い政策	地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある（A：問13）	(1,019)	80.0	78.8	9	78.6	0.2	16
	ごみの減量を意識している（B：問13）	(1,007)	73.0	70.9	13	70.5	0.4	14
	資源の分別を意識している（B：問14）	(1,019)	98.2	96.7	1	97.8	▲ 1.1	21
潤い政策 平均値			-	82.1	①	82.3	▲ 0.2	④
共創政策	自治会やボランティア・NPO等の活動に参加している（B：問15）	(998)	36.3	41.8	21	38.5	3.3	4
	必要な行政情報を入手できている（B：問16）	(929)	73.5	77.1	11	80.0	▲ 2.9	25
共創政策 平均値			-	59.4	⑤	59.2	0.2	①
平均値			-	63.2	-	62.6	0.6	-

（※1）Aは調査票Aの設問を、Bは調査票Bの設問を示す。

（※2）網かけは、「実績値順位」または「比較順位」の上位5位までの項目を示す。

2-3-1 安心政策

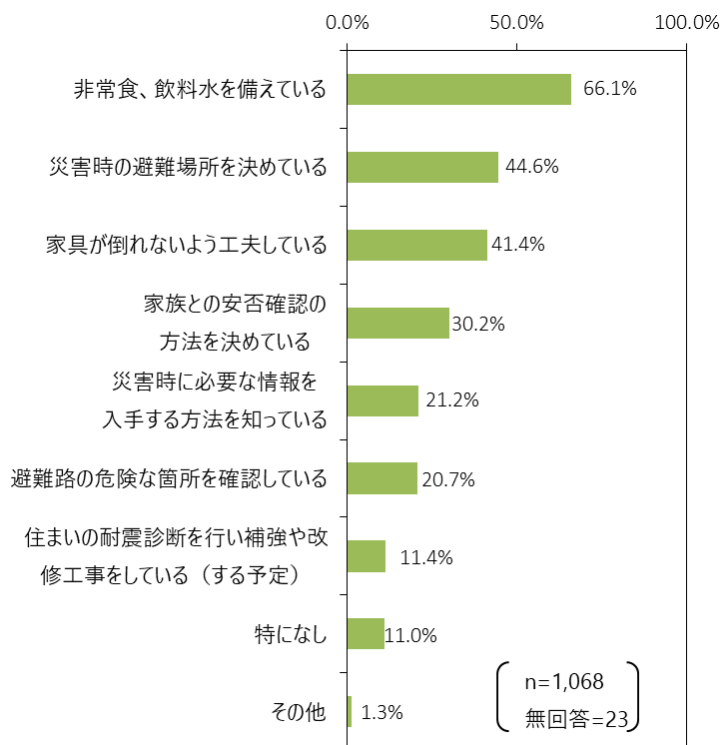
地震や風水害などの災害に備えていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(A：問2)

地震や風水害などの災害に備えていることがある市民の割合は 89.0%となっており、項目としては、その他を除くと「非常食、飲料水を備えている」が 66.1%で最も高く、「特になし」が 11.0%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「非常食、飲料水を備えている」を性別で見ると、女性(71.7%)が男性(59.9%)より 11.8 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70代(69.6%)が最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(子との二世帯)(74.2%)が最も高くなっており、居住年数別で見ると、20年以上(転入あり)(69.9%)が最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合西(75.6%)が最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せ(77.9%)が最も高くなっている。

「特になし」を性別で見ると、男性(15.0%)が女性(7.9%)より 7.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20代(14.5%)が最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他(17.1%)が最も高くなっており、居住年数別で見ると、5～9年(20.0%)が最も高くなっている。居住地区別で見ると、依知南(21.8%)が最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

	n	非常食、飲料水を備えている	家具が倒れないよう工夫している	住まいの耐震診断を行い補強や改修工事を行っている(する予定)	避難路の危険な箇所を確認している	災害時の避難場所を決めている	家族との安否確認の方法を決めている	災害時に必要な情報を入手する方法を知っている	その他	特になし	
全体	1,068	66.1	41.4	11.4	20.7	44.6	30.2	21.2	1.3	11.0	
性別	男性	461	59.9	39.7	10.6	19.7	42.3	27.5	21.9	1.7	15.0
	女性	534	71.7	42.7	12.9	21.2	46.8	32.6	20.2	0.9	7.9
年齢別	10代	9	66.7	22.2	0.0	33.3	55.6	44.4	11.1	0.0	11.1
	20代	69	60.9	31.9	2.9	14.5	37.7	34.8	21.7	2.9	14.5
	30代	111	68.5	29.7	9.0	16.2	36.0	23.4	18.0	1.8	11.7
	40代	165	67.3	38.8	11.5	21.8	36.4	27.9	20.6	1.8	10.3
	50代	196	66.8	39.3	7.1	15.3	38.8	28.6	18.9	2.0	12.2
	60代	172	64.0	47.1	13.4	25.0	48.3	29.1	22.7	0.0	12.2
	70代	224	69.6	47.3	14.3	24.1	55.4	35.7	25.4	1.3	7.6
80代以上	114	62.3	47.4	19.3	23.7	51.8	31.6	18.4	0.0	11.4	
世帯構成別	夫婦	339	70.8	45.1	13.9	23.0	48.1	35.1	20.9	0.0	8.6
	親子(親との二世帯)	137	59.1	32.1	7.3	10.2	34.3	27.7	19.0	2.9	15.3
	親子(子との二世帯)	240	74.2	45.8	13.3	21.7	47.9	33.3	22.9	1.7	7.1
	親子孫(三世帯)	46	71.7	45.7	26.1	23.9	65.2	28.3	30.4	0.0	2.2
	一人暮らし	246	56.9	37.4	6.1	21.1	39.0	23.2	19.1	1.6	16.7
その他	41	65.9	34.1	12.2	24.4	41.5	29.3	24.4	2.4	17.1	
居住年数別	20年以上(転入なし)	247	65.6	45.3	16.6	24.7	47.8	31.2	25.9	0.4	10.5
	20年以上(転入あり)	485	69.9	47.0	12.2	21.9	48.9	32.4	19.6	1.0	8.9
	10~19年(転入なし)	21	52.4	23.8	9.5	14.3	42.9	47.6	14.3	0.0	9.5
	10~19年(転入あり)	126	61.9	35.7	7.9	18.3	41.3	33.3	27.8	1.6	9.5
	5~9年	75	58.7	26.7	8.0	17.3	28.0	20.0	16.0	4.0	20.0
	3~4年	43	67.4	20.9	9.3	7.0	32.6	14.0	14.0	0.0	14.0
2年以下	54	66.7	29.6	0.0	18.5	35.2	25.9	14.8	5.6	16.7	
居住地区別	厚木北	111	69.4	37.8	9.0	15.3	36.0	27.9	19.8	0.9	11.7
	厚木南	56	69.6	42.9	14.3	23.2	44.6	26.8	25.0	0.0	7.1
	依知北	75	57.3	40.0	4.0	13.3	34.7	26.7	13.3	0.0	20.0
	依知南	55	67.3	29.1	10.9	21.8	40.0	29.1	23.6	1.8	21.8
	睦合北	43	60.5	37.2	16.3	14.0	37.2	20.9	18.6	2.3	14.0
	睦合南	105	65.7	49.5	15.2	22.9	48.6	39.0	19.0	1.0	6.7
	睦合西	41	75.6	39.0	14.6	34.1	43.9	24.4	14.6	0.0	9.8
	荻野	121	69.4	39.7	9.1	20.7	47.1	28.1	20.7	0.0	9.1
	小鮎	64	62.5	42.2	6.3	18.8	40.6	31.3	25.0	3.1	14.1
	南毛利	172	69.8	41.9	14.0	18.6	55.2	30.8	22.7	1.7	5.8
	南毛利南	51	68.6	58.8	15.7	35.3	52.9	43.1	37.3	2.0	5.9
	玉川	17	47.1	29.4	11.8	35.3	29.4	23.5	23.5	0.0	17.6
	相川	66	65.2	39.4	16.7	16.7	34.8	22.7	16.7	4.5	13.6
	緑ヶ丘	36	55.6	36.1	5.6	19.4	47.2	36.1	8.3	0.0	16.7
森の里	35	68.6	42.9	5.7	28.6	57.1	37.1	31.4	0.0	5.7	
幸福度別	とても幸せ	104	77.9	50.0	16.3	22.1	53.8	36.5	24.0	1.0	4.8
	幸せ	433	73.0	44.8	15.0	23.1	51.7	32.1	24.2	0.5	7.6
	ふつう	456	59.9	37.3	7.9	19.3	38.4	27.4	18.2	1.8	14.9
	あまり幸せではない	49	55.1	34.7	8.2	18.4	28.6	34.7	20.4	4.1	10.2
	幸せではない	17	35.3	35.3	0.0	0.0	17.6	11.8	11.8	5.9	29.4

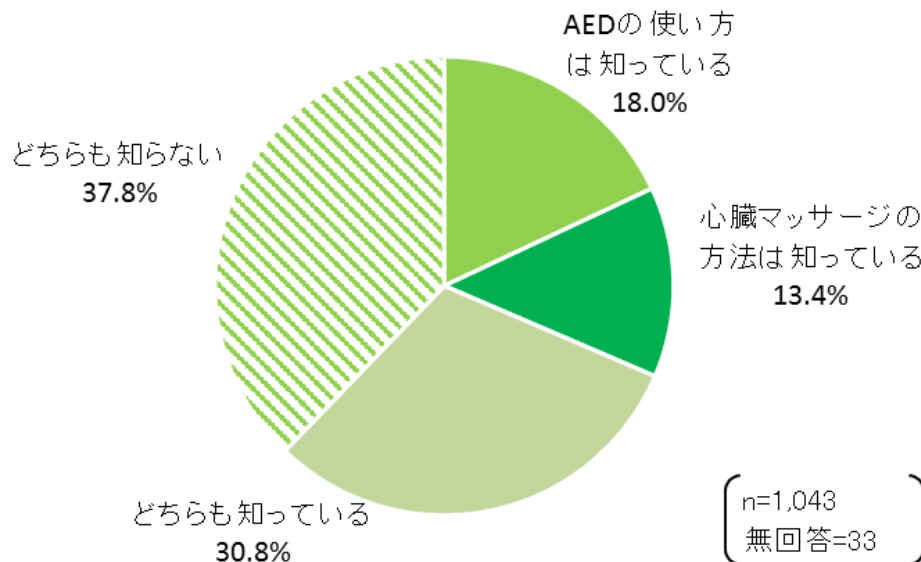
AED の使い方や心臓マッサージの方法を知っていますか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。(B:問2)

AED の使い方や心臓マッサージの方法を知っている市民の割合は 62.2%となっている。項目別では「どちらも知らない」が 37.8%で最も高く、「心臓マッサージの方法は知っている」が 13.4%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「どちらも知らない」を性別で見ると、女性(41.1%)が男性(33.0%)より 8.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 60.2%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（親との二世帯）が 43.2%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19（転入なし）が 44.4%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合西が 51.2%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 46.7%で最も高くなっている。

「心臓マッサージの方法は知っている」を性別で見ると、男性(13.3%)が女性(12.7%)より 0.6 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 17.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世帯）が 22.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 17.4%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、依知北が 18.2%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	A E D の 使 い 方 は 知 っ て い る	心 臓 マ ッ サ ー ジ の 方 法 は 知 っ て い る	ど ち ら も 知 っ て い る	ど ち ら も 知 ら な い
全体		1,043	18.0	13.4	30.8	37.8
性別	男性	443	19.2	13.3	34.5	33.0
	女性	528	16.9	12.7	29.4	41.1
年齢別	10代	8	25.0	0.0	62.5	12.5
	20代	66	16.7	9.1	62.1	12.1
	30代	113	23.0	11.5	38.1	27.4
	40代	142	19.7	12.7	31.7	35.9
	50代	183	19.1	12.0	33.9	35.0
	60代	178	15.7	12.4	32.0	39.9
	70代	232	18.5	17.7	22.4	41.4
	80代以上	108	10.2	14.8	14.8	60.2
世帯構成別	夫婦	318	19.8	11.9	31.1	37.1
	親子（親との二世代）	148	16.9	9.5	30.4	43.2
	親子（子との二世代）	242	16.9	16.1	32.2	34.7
	親子孫（三世代）	50	18.0	22.0	30.0	30.0
	一人暮らし	224	17.4	13.4	29.9	39.3
	その他	40	12.5	15.0	35.0	37.5
居住年数別	20年以上（転入なし）	264	18.2	13.6	29.9	38.3
	20年以上（転入あり）	464	15.7	14.4	26.7	43.1
	10～19年（転入なし）	18	22.2	0.0	33.3	44.4
	10～19年（転入あり）	123	17.9	10.6	35.0	36.6
	5～9年	69	26.1	13.0	33.3	27.5
	3～4年	42	26.2	9.5	47.6	16.7
	2年以下	46	19.6	17.4	54.3	8.7
居住地区別	厚木北	132	22.7	9.8	29.5	37.9
	厚木南	56	19.6	16.1	23.2	41.1
	依知北	66	25.8	18.2	21.2	34.8
	依知南	64	14.1	17.2	28.1	40.6
	睦合北	39	12.8	7.7	43.6	35.9
	睦合南	84	20.2	14.3	35.7	29.8
	睦合西	43	11.6	11.6	25.6	51.2
	荻野	105	14.3	15.2	28.6	41.9
	小鮎	73	12.3	12.3	30.1	45.2
	南毛利	168	20.2	12.5	36.9	30.4
	南毛利南	64	23.4	17.2	23.4	35.9
	玉川	16	18.8	12.5	37.5	31.3
	相川	62	16.1	16.1	30.6	37.1
	緑ヶ丘	20	15.0	5.0	40.0	40.0
森の里	30	3.3	13.3	43.3	40.0	
幸福度別	とても幸せ	111	16.2	12.6	35.1	36.0
	幸せ	366	20.2	15.3	34.2	30.3
	ふつう	504	16.9	11.9	28.0	43.3
	あまり幸せではない	40	17.5	17.5	32.5	32.5
	幸せではない	15	20.0	13.3	20.0	46.7

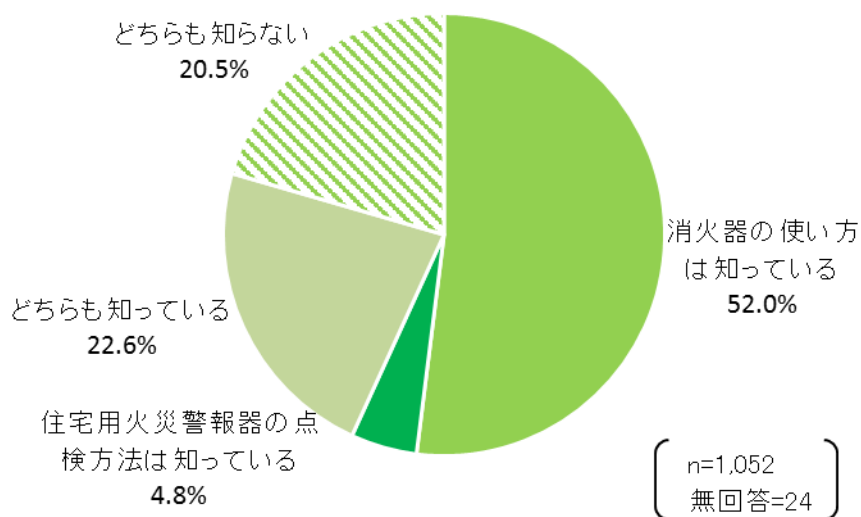
消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っていますか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。(B:問3)

消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている市民の割合は 79.5%となっており、項目としては「消火器の使い方は知っている」が 52.0%で最も高く、「住宅用火災警報器の点検方法は知っている」が 4.8%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「消火器の使い方は知っている」を性別で見ると、男性(52.0%)が女性(50.8%)より 1.2ポイント高くなっており、年齢別で見ると、60代が 57.1%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫(三世代)が 60.8%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19年(転入なし)が 55.6%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、依知南が 61.9%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 56.3%で最も高くなっている。

「住宅用火災警報器の点検方法は知っている」を性別で見ると、女性(6.0%)が男性(4.1%)より 1.9ポイント高くなっており、年齢別で見ると、30代が 8.8%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(子との二世帯)が 5.8%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19年(転入あり)が 8.1%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ヶ丘が 22.7%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	消火器の使い方は知っている	住宅用火災警報器の点検方法は知っている	どちらも知っている	どちらも知らない
全体		1,052	52.0	4.8	22.6	20.5
性別	男性	444	52.0	4.1	29.7	14.2
	女性	535	50.8	6.0	16.8	26.4
年齢別	10代	8	50.0	0.0	25.0	25.0
	20代	66	48.5	4.5	13.6	33.3
	30代	113	48.7	8.8	15.9	26.5
	40代	143	46.9	5.6	20.3	27.3
	50代	184	53.8	3.3	23.4	19.6
	60代	177	57.1	5.1	24.3	13.6
	70代	236	54.7	4.2	26.3	14.8
	80代以上	112	45.5	3.6	26.8	24.1
世帯構成別	夫婦	322	55.9	5.3	24.5	14.3
	親子（親との二世帯）	150	48.7	4.7	20.0	26.7
	親子（子との二世帯）	240	46.7	5.8	22.1	25.4
	親子孫（三世帯）	51	60.8	2.0	15.7	21.6
	一人暮らし	228	51.8	3.9	23.7	20.6
	その他	40	52.5	5.0	22.5	20.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	268	49.3	4.5	22.4	23.9
	20年以上（転入あり）	465	54.4	4.7	23.4	17.4
	10～19年（転入なし）	18	55.6	5.6	16.7	22.2
	10～19年（転入あり）	124	49.2	8.1	22.6	20.2
	5～9年	68	51.5	5.9	22.1	20.6
	3～4年	43	44.2	0.0	27.9	27.9
	2年以下	48	54.2	4.2	14.6	27.1
居住地区別	厚木北	132	55.3	3.0	21.2	20.5
	厚木南	55	45.5	5.5	21.8	27.3
	依知北	68	61.8	2.9	19.1	16.2
	依知南	63	61.9	4.8	14.3	19.0
	睦合北	40	60.0	5.0	22.5	12.5
	睦合南	87	55.2	4.6	26.4	13.8
	睦合西	42	50.0	2.4	26.2	21.4
	荻野	106	48.1	9.4	24.5	17.9
	小鮎	74	43.2	2.7	25.7	28.4
	南毛利	169	50.9	3.0	22.5	23.7
	南毛利南	62	58.1	11.3	11.3	19.4
	玉川	16	31.3	0.0	43.8	25.0
	相川	63	54.0	1.6	25.4	19.0
	緑ヶ丘	22	31.8	22.7	31.8	13.6
森の里	31	41.9	0.0	25.8	32.3	
幸福度別	とても幸せ	112	56.3	4.5	21.4	17.9
	幸せ	369	52.6	6.2	21.4	19.8
	ふつう	507	52.7	4.3	22.7	20.3
	あまり幸せではない	42	40.5	0.0	31.0	28.6
	幸せではない	15	33.3	6.7	26.7	33.3

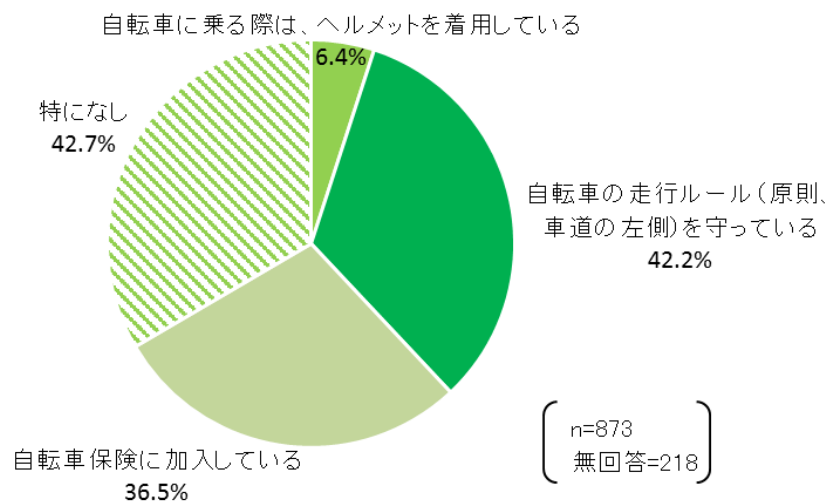
自転車の安全のために心掛けていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(A：問3)

自転車の安全のために心掛けていることがある市民の割合は 57.3%となっており、項目としては「特になし」が 42.7%で最も高く、「自転車に乗る際は、ヘルメットを着用している」が 6.4%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「特になし」を性別で見ると、男性(45.9%)が女性(39.2%)より 6.7 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、50代が 52.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 51.8%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、5～9年が 50.7%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 63.6%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 66.7%で最も高くなっている。

「自転車に乗る際は、ヘルメットを着用している」を性別で見ると、女性(7.5%)が男性(5.3%)より 2.2 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、30代が 15.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(子との二世帯)が 12.4%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19年(転入なし)が 11.1%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、小鮎が 13.2%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	着用している 自転車に乗る際は、 ヘルメットを	自転車の走行ルール (原則、車道の 左側)を守っている	自転車保険に加入している	特になし
全体		873	6.4	42.2	36.5	42.7
性別	男性	414	5.3	40.3	33.6	45.9
	女性	401	7.5	44.9	39.7	39.2
年齢別	10代	9	11.1	66.7	55.6	33.3
	20代	66	4.5	56.1	33.3	28.8
	30代	107	15.0	48.6	41.1	38.3
	40代	148	8.8	45.3	45.9	34.5
	50代	175	4.6	30.3	32.0	52.0
	60代	129	2.3	48.8	48.1	37.2
	70代	157	3.2	35.7	28.7	49.0
世帯構成別	80代以上	75	9.3	44.0	21.3	50.7
	夫婦	255	5.5	41.2	38.8	39.2
	親子(親との二世帯)	119	2.5	37.0	30.3	47.9
	親子(子との二世帯)	210	12.4	45.7	46.2	35.7
	親子孫(三世帯)	40	10.0	60.0	47.5	22.5
	一人暮らし	197	2.5	41.1	27.9	51.8
	その他	36	8.3	41.7	30.6	50.0
居住年数別	20年以上(転入なし)	205	6.3	44.4	35.1	43.4
	20年以上(転入あり)	366	4.4	40.7	37.4	42.9
	10～19年(転入なし)	18	11.1	44.4	33.3	44.4
	10～19年(転入あり)	113	8.8	46.9	41.6	33.6
	5～9年	67	9.0	38.8	31.3	50.7
	3～4年	39	10.3	41.0	41.0	43.6
	2年以下	50	10.0	48.0	36.0	34.0
居住地区別	厚木北	88	4.5	44.3	37.5	44.3
	厚木南	51	0.0	43.1	45.1	41.2
	依知北	61	8.2	36.1	26.2	54.1
	依知南	46	8.7	39.1	28.3	58.7
	睦合北	32	0.0	31.3	37.5	46.9
	睦合南	83	2.4	53.0	36.1	33.7
	睦合西	38	7.9	36.8	42.1	44.7
	荻野	92	12.0	38.0	35.9	46.7
	小鮎	53	13.2	30.2	35.8	47.2
	南毛利	147	6.8	45.6	45.6	36.7
	南毛利南	44	4.5	45.5	43.2	31.8
	玉川	11	0.0	27.3	9.1	63.6
	相川	56	7.1	48.2	23.2	41.1
	緑ヶ丘	32	6.3	53.1	40.6	25.0
森の里	25	8.0	44.0	32.0	40.0	
幸福度別	とても幸せ	89	11.2	53.9	42.7	31.5
	幸せ	341	8.2	45.7	41.1	37.2
	ふつう	375	4.3	40.0	34.1	46.7
	あまり幸せではない	43	2.3	23.3	23.3	60.5
	幸せではない	18	5.6	22.2	5.6	66.7

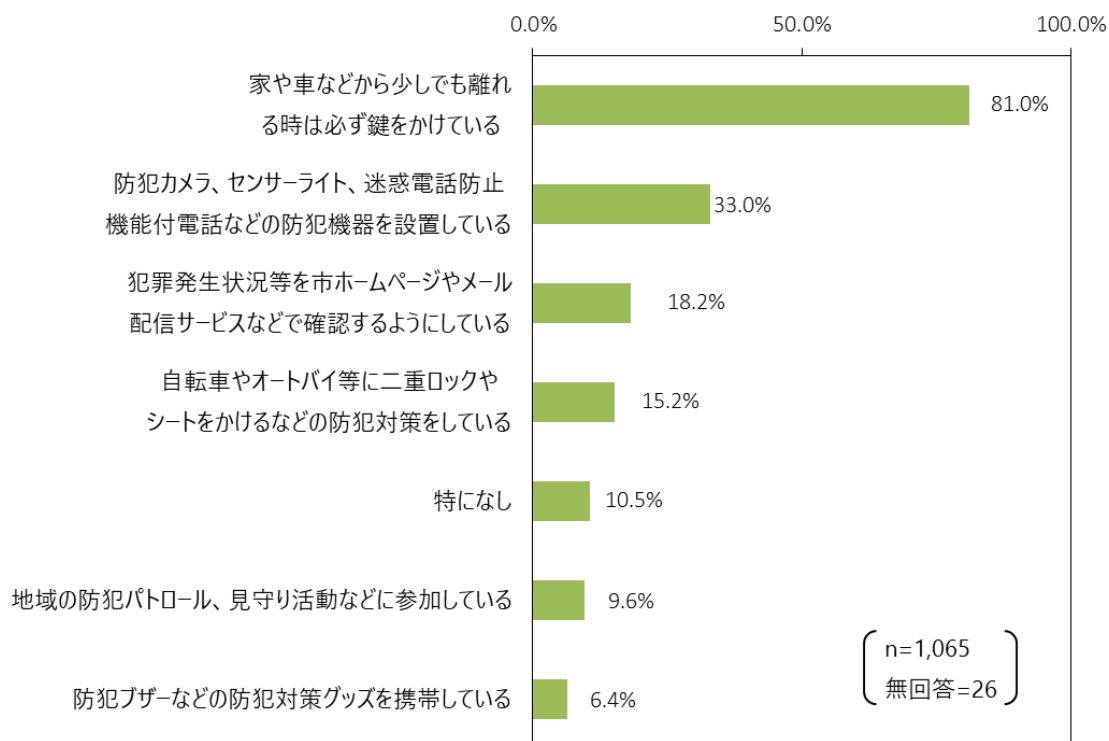
防犯等の対策について心掛けていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(A：問4)

防犯等の対策について心掛けていることがある市民の割合は 89.6%となっており、項目としては「家や車などから少しでも離れる時は必ず鍵をかけている」が 81.0%で最も高く、「防犯ブザーなどの防犯対策グッズを携帯している」が 6.4%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「家や車などから少しでも離れる時は必ず鍵をかけている」を性別で見ると、女性(85.5%)が男性(76.4%)より 9.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 84.2%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(親との二世帯)が 85.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4 年が 85.7%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 91.4%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 84.6%で最も高くなっている。

「防犯ブザーなどの防犯対策グッズを携帯している」を性別で見ると、女性(7.4%)が男性(4.3%)より 3.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、40 代が 12.2%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫(三世帯)が 13.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年(転入あり)が 9.5%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ヶ丘が 14.3%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	防犯ブザーなどの防犯対策グッズを携帯している	防犯カメラ、センサーライト、迷惑電話防止機能付電話などの防犯機器を設置している	犯罪発生状況等を市ホームページやメール配信サービスなどで確認するようにしている	家や車などから少しでも離れる時は必ず鍵をかけている	自転車やオートバイ等に二重ロックやシートをかけるなどの防犯対策をしている	地域の防犯パトロール、見守り活動などに参加している	特になし
全体		1,065	6.4	33.0	18.2	81.0	15.2	9.6	10.5
性別	男性	461	4.3	30.6	14.3	76.4	16.5	10.4	12.4
	女性	530	7.4	34.7	21.9	85.5	13.8	8.3	8.5
年齢別	10代	9	0.0	22.2	11.1	77.8	0.0	0.0	22.2
	20代	68	4.4	17.6	11.8	75.0	7.4	1.5	16.2
	30代	111	9.0	18.0	15.3	82.0	16.2	4.5	12.6
	40代	164	12.2	31.1	20.7	80.5	20.1	3.7	11.6
	50代	198	4.0	38.9	23.7	78.3	15.2	6.6	12.6
	60代	169	5.9	33.7	20.1	84.0	16.0	14.8	7.1
	70代	224	5.4	38.4	16.1	81.7	13.8	12.9	8.0
	80代以上	114	4.4	37.7	12.3	84.2	12.3	12.3	8.8
世帯構成別	夫婦	343	5.5	36.2	16.6	83.1	16.6	10.2	7.0
	親子（親との二世帯）	135	3.0	38.5	23.7	85.9	13.3	6.7	8.9
	親子（子との二世帯）	237	11.0	34.2	23.6	79.7	17.7	11.4	12.2
	親子孫（三世帯）	46	13.0	37.0	17.4	76.1	23.9	17.4	4.3
	一人暮らし	243	2.9	25.1	12.3	80.2	9.1	4.9	14.0
	その他	42	11.9	28.6	16.7	69.0	19.0	4.8	19.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	249	8.0	38.6	22.5	81.1	16.1	14.1	9.6
	20年以上（転入あり）	483	5.8	37.3	18.4	83.6	14.3	8.7	8.3
	10～19年（転入なし）	21	4.8	23.8	33.3	76.2	9.5	4.8	14.3
	10～19年（転入あり）	126	9.5	32.5	19.0	81.0	20.6	7.1	9.5
	5～9年	74	8.1	23.0	13.5	74.3	13.5	5.4	13.5
	3～4年	42	0.0	14.3	7.1	85.7	14.3	2.4	9.5
	2年以下	53	1.9	3.8	5.7	69.8	7.5	1.9	26.4
居住地区別	厚木北	110	2.7	22.7	15.5	79.1	10.0	1.8	13.6
	厚木南	58	6.9	31.0	19.0	67.2	13.8	8.6	19.0
	依知北	76	6.6	31.6	13.2	81.6	17.1	6.6	7.9
	依知南	55	3.6	36.4	20.0	78.2	23.6	5.5	16.4
	睦合北	41	7.3	39.0	19.5	80.5	9.8	14.6	12.2
	睦合南	106	2.8	25.5	21.7	80.2	17.9	8.5	12.3
	睦合西	41	12.2	24.4	17.1	85.4	17.1	7.3	7.3
	荻野	119	10.1	42.0	22.7	79.8	11.8	10.9	9.2
	小鮎	63	7.9	36.5	22.2	74.6	14.3	17.5	9.5
	南毛利	173	3.5	39.3	16.2	85.0	17.3	6.9	7.5
	南毛利南	51	9.8	33.3	23.5	86.3	29.4	19.6	2.0
	玉川	17	0.0	47.1	11.8	82.4	11.8	11.8	11.8
	相川	65	9.2	21.5	12.3	80.0	4.6	1.5	16.9
	緑ヶ丘	35	14.3	34.3	11.4	88.6	11.4	5.7	8.6
	森の里	35	8.6	37.1	20.0	91.4	5.7	22.9	2.9
幸福度別	とても幸せ	104	6.7	41.3	26.9	84.6	20.2	9.6	5.8
	幸せ	429	7.5	34.0	19.1	82.8	18.6	10.0	8.6
	ふつう	455	5.5	30.5	15.6	78.9	10.5	8.4	13.0
	あまり幸せではない	50	6.0	30.0	16.0	78.0	16.0	4.0	14.0
	幸せではない	18	5.6	33.3	11.1	77.8	5.6	0.0	16.7

2-3-2 輝き政策

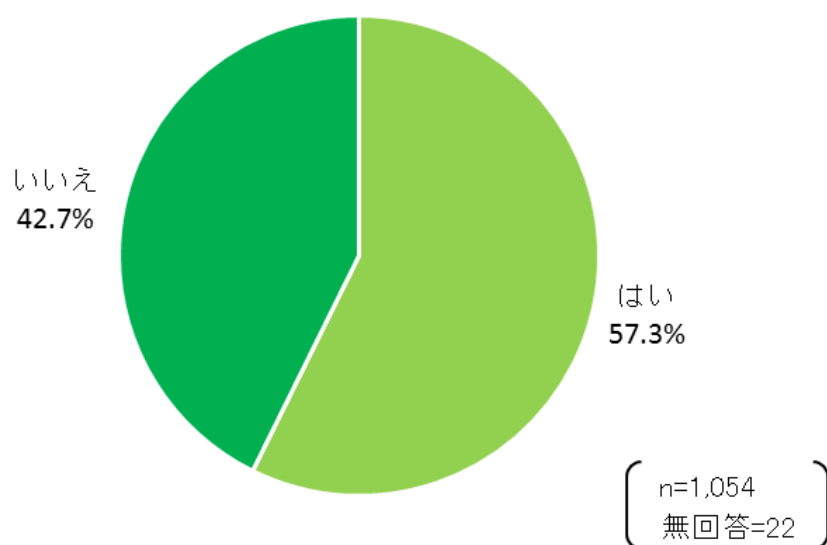
地域の人と日常生活で関わりがありますか。(B:問4)

地域の人と日常生活で関わりがあると思う市民の割合は、「はい」が 57.3%となっており、「いいえ」が 42.7%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(60.4%)が男性(54.3%)より 6.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 73.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫(三世代)が 74.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上(転入あり)が 65.7%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 81.3%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 71.2%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(45.7%)が女性(39.6%)より 6.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、30 代が 62.3%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 57.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 85.1%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、依知南が 56.9%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		1,054	57.3	42.7
性別	男性	444	54.3	45.7
	女性	538	60.4	39.6
年齢別	10代	8	50.0	50.0
	20代	66	37.9	62.1
	30代	114	37.7	62.3
	40代	142	47.9	52.1
	50代	181	55.2	44.8
	60代	176	59.1	40.9
	70代	240	69.2	30.8
	80代以上	115	73.9	26.1
世帯構成別	夫婦	320	62.8	37.2
	親子（親との二世代）	149	55.0	45.0
	親子（子との二世代）	244	60.2	39.8
	親子孫（三世代）	51	74.5	25.5
	一人暮らし	230	43.0	57.0
	その他	39	56.4	43.6
居住年数別	20年以上（転入なし）	269	60.2	39.8
	20年以上（転入あり）	469	65.7	34.3
	10～19年（転入なし）	18	44.4	55.6
	10～19年（転入あり）	123	48.8	51.2
	5～9年	67	44.8	55.2
	3～4年	44	40.9	59.1
	2年以下	47	14.9	85.1
居住地区別	厚木北	134	47.8	52.2
	厚木南	56	46.4	53.6
	依知北	68	61.8	38.2
	依知南	65	43.1	56.9
	睦合北	41	70.7	29.3
	睦合南	87	59.8	40.2
	睦合西	41	56.1	43.9
	荻野	107	57.0	43.0
	小鮎	73	63.0	37.0
	南毛利	168	58.3	41.7
	南毛利南	62	64.5	35.5
	玉川	16	81.3	18.8
	相川	63	57.1	42.9
	緑ヶ丘	22	63.6	36.4
	森の里	31	61.3	38.7
幸福度別	とても幸せ	111	71.2	28.8
	幸せ	369	63.4	36.6
	ふつう	510	50.4	49.6
	あまり幸せではない	42	61.9	38.1
	幸せではない	15	13.3	86.7

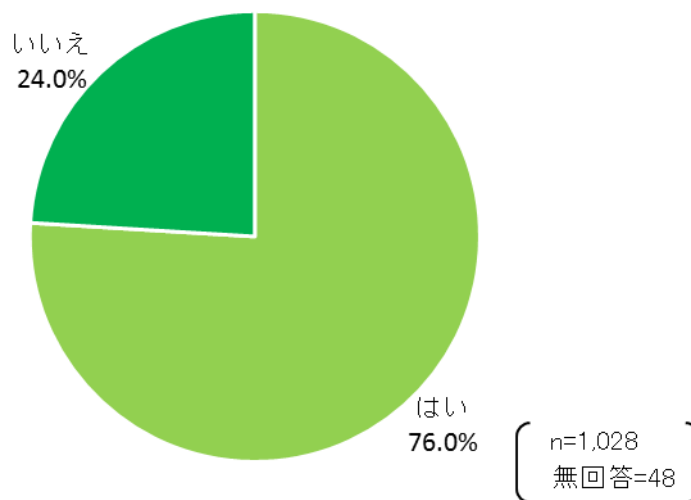
生きがいを持って生活を送っていますか。(B：問5)

生きがいを持って生活を送っている市民の割合は、「はい」が76.0%となっており、「いいえ」が24.0%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(77.5%)が男性(75.6%)より1.9ポイント、高くなっており、年齢別で見ると、10代が87.5%となり、最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫(三世代)が82.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2年以下が88.6%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が87.5%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが95.5%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(24.4%)が女性(22.5%)より1.9ポイント、高くなっており、年齢別で見ると、40代が28.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(親との二世帯)が32.4%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4年が27.3%と最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ヶ丘が33.3%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		1,028	76.0	24.0
性別	男性	427	75.6	24.4
	女性	529	77.5	22.5
年齢別	10代	8	87.5	12.5
	20代	66	81.8	18.2
	30代	114	74.6	25.4
	40代	142	71.1	28.9
	50代	177	72.9	27.1
	60代	173	72.3	27.7
	70代	229	79.5	20.5
	80代以上	106	82.1	17.9
世帯構成別	夫婦	308	80.2	19.8
	親子（親との二世代）	145	67.6	32.4
	親子（子との二世代）	237	81.0	19.0
	親子孫（三世代）	50	82.0	18.0
	一人暮らし	227	69.2	30.8
	その他	39	71.8	28.2
居住年数別	20年以上（転入なし）	262	74.8	25.2
	20年以上（転入あり）	458	77.3	22.7
	10～19年（転入なし）	18	77.8	22.2
	10～19年（転入あり）	116	73.3	26.7
	5～9年	68	73.5	26.5
	3～4年	44	72.7	27.3
	2年以下	44	88.6	11.4
居住地区別	厚木北	130	74.6	25.4
	厚木南	54	74.1	25.9
	依知北	66	74.2	25.8
	依知南	62	71.0	29.0
	睦合北	39	82.1	17.9
	睦合南	85	69.4	30.6
	睦合西	41	78.0	22.0
	荻野	105	79.0	21.0
	小鮎	70	75.7	24.3
	南毛利	165	77.6	22.4
	南毛利南	62	82.3	17.7
	玉川	16	87.5	12.5
	相川	61	68.9	31.1
	緑ヶ丘	21	66.7	33.3
	森の里	30	86.7	13.3
	幸福度別	とても幸せ	111	95.5
幸せ		364	88.7	11.3
ふつう		491	66.8	33.2
あまり幸せではない		41	39.0	61.0
幸せではない		15	20.0	80.0

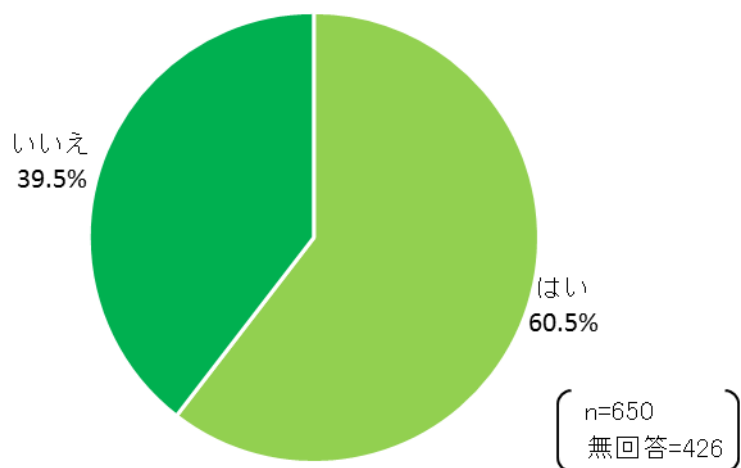
子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がありますか。(B：問6)

子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる市民の割合は、「はい」が60.5%となっており、「いいえ」が39.5%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(72.4%)が男性(47.5%)より24.9ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10代が80.0%で、最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(子との二世帯)が73.4%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20年以上(転入あり)が64.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ヶ丘が76.9%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが84.0%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(52.5%)が女性(27.6%)より24.9ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80代が50.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが66.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4年と2年以下が同率で51.5%と最も高くなっている。居住地区別で見ると、厚木南が51.6%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		650	60.5	39.5
性別	男性	284	47.5	52.5
	女性	326	72.4	27.6
年齢別	10代	5	80.0	20.0
	20代	52	61.5	38.5
	30代	101	64.4	35.6
	40代	111	66.7	33.3
	50代	133	56.4	43.6
	60代	116	56.9	43.1
	70代	97	59.8	40.2
	80代以上	30	50.0	50.0
世帯構成別	夫婦	171	64.3	35.7
	親子（親との二世代）	96	60.4	39.6
	親子（子との二世代）	188	73.4	26.6
	親子孫（三世代）	41	73.2	26.8
	一人暮らし	118	33.1	66.9
	その他	25	40.0	60.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	168	61.3	38.7
	20年以上（転入あり）	255	64.3	35.7
	10～19年（転入なし）	14	57.1	42.9
	10～19年（転入あり）	82	58.5	41.5
	5～9年	55	58.2	41.8
	3～4年	33	48.5	51.5
	2年以下	33	48.5	51.5
居住地区別	厚木北	79	54.4	45.6
	厚木南	31	48.4	51.6
	依知北	40	60.0	40.0
	依知南	40	57.5	42.5
	睦合北	26	73.1	26.9
	睦合南	52	50.0	50.0
	睦合西	28	60.7	39.3
	荻野	63	68.3	31.7
	小鮎	44	70.5	29.5
	南毛利	109	58.7	41.3
	南毛利南	38	68.4	31.6
	玉川	9	55.6	44.4
	相川	48	56.3	43.8
	緑ヶ丘	13	76.9	23.1
	森の里	20	65.0	35.0
	幸福度別	とても幸せ	81	84.0
幸せ		230	69.1	30.9
ふつう		305	50.5	49.5
あまり幸せではない		24	50.0	50.0
幸せではない		10	0.0	100.0

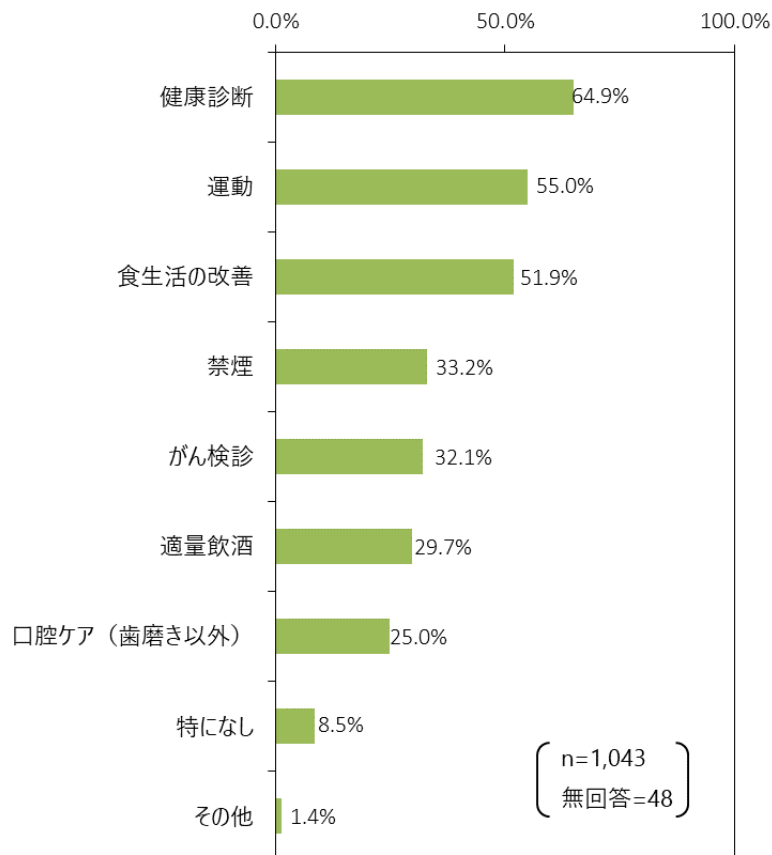
健康増進のために取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(A：問5)

健康増進のために取り組んでいることがある市民の割合は 91.5%となっており、項目としては、その他を除くと「健康診断」が 64.9%で最も高く、「特になし」が 8.5%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「健康診断」を性別で見ると、女性(68.2%)が男性(61.4%)より 6.8 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、60代が 72.6%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 72.8%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20年以上(転入なし)が 70.4%と最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 75.0%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 73.3%で最も高くなっている。

「特になし」を性別で見ると、男性(8.4%)が女性(8.7%)より 0.3 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10代が 22.2%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫(三世代)が 19.1%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19年(転入なし)が 25.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合北が 17.1%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	食生活の改善	運動	禁煙	適量飲酒	(口腔ケア以外)	健康診断	がん検診	その他	特になし
全体		1,043	51.9	55.0	33.2	29.7	25.0	64.9	32.1	1.4	8.5
性別	男性	446	48.0	59.6	41.9	33.4	17.9	61.4	24.0	1.6	8.7
	女性	522	55.4	51.5	26.8	25.9	29.5	68.2	39.1	1.1	8.4
年齢別	10代	9	22.2	66.7	22.2	22.2	0.0	22.2	11.1	0.0	22.2
	20代	69	49.3	47.8	33.3	36.2	23.2	49.3	10.1	2.9	15.9
	30代	109	45.0	45.0	29.4	36.7	22.9	56.9	22.0	1.8	13.8
	40代	164	50.0	45.7	29.9	20.1	19.5	63.4	28.7	1.2	11.6
	50代	193	58.5	52.8	22.8	23.8	26.4	68.9	30.1	1.0	8.3
	60代	168	52.4	60.1	36.3	32.7	24.4	72.6	33.9	1.2	6.5
	70代	215	54.4	68.8	44.2	34.4	30.7	67.4	44.7	1.4	1.9
	80代以上	107	49.5	53.3	37.4	31.8	24.3	65.4	41.1	1.9	9.3
世帯構成別	夫婦	331	58.9	62.5	40.5	34.7	27.2	72.8	38.1	1.8	2.7
	親子(親との二世帯)	134	48.5	49.3	29.1	25.4	16.4	59.0	24.6	1.5	11.9
	親子(子との二世帯)	235	48.9	53.6	34.0	29.8	27.2	65.1	37.4	0.9	10.2
	親子孫(三世帯)	47	38.3	46.8	31.9	34.0	19.1	57.4	27.7	2.1	19.1
	一人暮らし	237	50.2	54.4	28.3	26.2	27.0	61.2	27.0	0.8	10.5
	その他	40	55.0	37.5	20.0	30.0	17.5	57.5	20.0	0.0	10.0
居住年数別	20年以上(転入なし)	243	51.0	54.7	30.5	30.5	25.9	70.4	35.0	1.2	8.6
	20年以上(転入あり)	469	53.9	57.1	35.8	30.5	25.6	68.0	36.5	2.1	5.8
	10~19年(転入なし)	20	30.0	35.0	30.0	25.0	15.0	45.0	20.0	5.0	25.0
	10~19年(転入あり)	126	49.2	61.9	36.5	34.9	26.2	59.5	28.6	0.0	9.5
	5~9年	75	57.3	50.7	30.7	24.0	16.0	53.3	21.3	0.0	14.7
	3~4年	40	52.5	42.5	30.0	22.5	30.0	67.5	25.0	0.0	10.0
	2年以下	54	50.0	50.0	24.1	29.6	24.1	50.0	18.5	1.9	13.0
居住地区別	厚木北	110	54.5	50.9	30.0	31.8	31.8	63.6	30.9	2.7	9.1
	厚木南	57	50.9	54.4	35.1	31.6	19.3	61.4	28.1	1.8	8.8
	依知北	71	46.5	43.7	29.6	19.7	22.5	64.8	22.5	0.0	15.5
	依知南	55	49.1	49.1	36.4	30.9	32.7	58.2	29.1	0.0	10.9
	睦合北	41	39.0	56.1	34.1	24.4	19.5	68.3	29.3	2.4	17.1
	睦合南	101	53.5	60.4	35.6	31.7	20.8	57.4	33.7	0.0	5.0
	睦合西	40	55.0	57.5	32.5	27.5	22.5	67.5	30.0	5.0	2.5
	荻野	118	59.3	55.1	33.1	33.1	28.0	67.8	41.5	1.7	6.8
	小鮎	60	61.7	48.3	28.3	31.7	23.3	63.3	25.0	1.7	11.7
	南毛利	171	51.5	62.0	39.2	28.7	24.6	65.5	35.1	1.2	7.6
	南毛利南	50	60.0	54.0	48.0	40.0	30.0	74.0	46.0	2.0	2.0
	玉川	16	56.3	81.3	37.5	37.5	31.3	75.0	31.3	0.0	6.3
	相川	64	40.6	59.4	28.1	21.9	20.3	71.9	28.1	0.0	4.7
	緑ヶ丘	35	34.3	37.1	22.9	31.4	20.0	65.7	28.6	5.7	11.4
	森の里	33	63.6	66.7	24.2	33.3	15.2	69.7	33.3	0.0	9.1
幸福度別	とても幸せ	101	61.4	69.3	41.6	31.7	31.7	73.3	44.6	1.0	3.0
	幸せ	423	53.7	61.5	35.7	34.3	28.8	70.4	35.0	1.2	6.9
	ふつう	450	50.2	48.7	31.6	26.2	20.2	59.8	27.8	1.8	9.8
	あまり幸せではない	45	40.0	35.6	17.8	26.7	24.4	60.0	26.7	2.2	8.9
	幸せではない	16	31.3	43.8	18.8	18.8	6.3	25.0	18.8	0.0	43.8

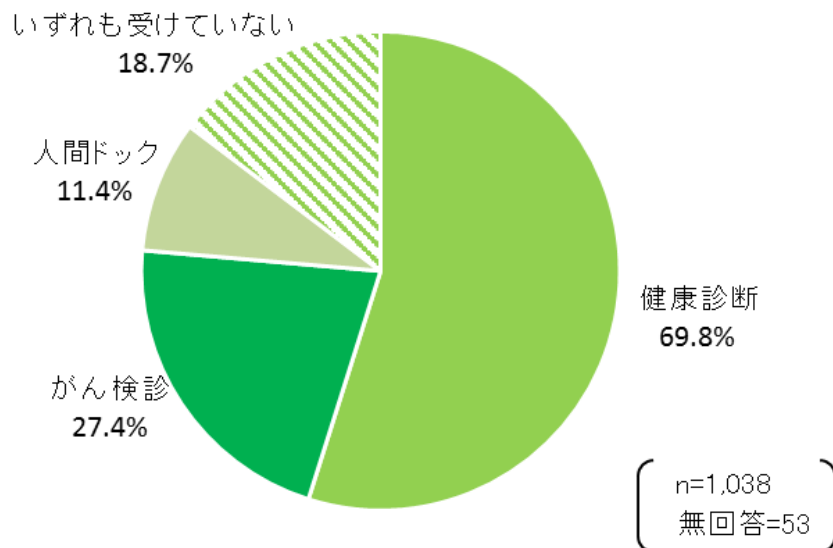
過去1年間に、健康診断やがん検診、人間ドックを受けましたか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(A：問6)

過去1年間に、健康診断やがん検診、人間ドックを受けた市民の割合は、81.3%となっており、項目としては「健康診断」が69.8%で最も高く、「人間ドック」が11.4%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「健康診断」を性別で見ると、男性(70.3%)が女性(69.4%)より0.9ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20代が79.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(三世代)が72.3%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3~4年が78.6%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、相川が82.5%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが72.3%で最も高くなっている。

「人間ドック」を性別で見ると、男性(15.1%)が女性(8.9%)より6.2ポイント高くなっており、年齢別で見ると、50代と60代が同率で16.1%と最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(子との二世代)が14.8%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20年以上(転入なし)が13.6%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が21.2%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	健康診断	がん検診	人間ドック	いずれも受けていない
全体		1,038	69.8	27.4	11.4	18.7
性別	男性	445	70.3	19.1	15.1	17.1
	女性	519	69.4	33.7	8.9	19.7
年齢別	10代	9	55.6	0.0	0.0	44.4
	20代	69	79.7	7.2	0.0	18.8
	30代	110	67.3	18.2	10.9	21.8
	40代	165	65.5	26.1	13.9	20.6
	50代	192	70.8	26.0	16.1	13.0
	60代	168	71.4	30.4	16.1	17.3
	70代	209	67.9	34.4	9.6	19.6
世帯構成別	80代以上	107	72.9	37.4	4.7	20.6
	夫婦	325	71.1	31.1	12.6	15.4
	親子（親との二世帯）	135	71.9	19.3	5.9	20.0
	親子（子との二世帯）	236	66.1	32.2	14.8	19.5
	親子孫（三世帯）	47	72.3	29.8	10.6	19.1
居住年数別	一人暮らし	236	70.3	22.9	11.4	19.9
	その他	41	68.3	17.1	4.9	24.4
	20年以上（転入なし）	242	71.5	29.8	13.6	15.3
	20年以上（転入あり）	461	68.1	31.7	13.0	18.9
	10～19年（転入なし）	20	65.0	15.0	0.0	30.0
	10～19年（転入あり）	127	69.3	22.8	7.1	22.8
	5～9年	76	67.1	23.7	11.8	19.7
居住地区別	3～4年	42	78.6	14.3	9.5	14.3
	2年以下	54	77.8	9.3	5.6	16.7
	厚木北	108	71.3	30.6	12.0	16.7
	厚木南	57	59.6	26.3	21.1	24.6
	依知北	73	67.1	21.9	5.5	23.3
	依知南	54	66.7	20.4	7.4	25.9
	睦合北	43	74.4	25.6	4.7	18.6
	睦合南	97	74.2	24.7	9.3	16.5
	睦合西	40	62.5	20.0	12.5	25.0
	荻野	118	71.2	36.4	9.3	18.6
	小鮎	61	67.2	16.4	13.1	18.0
	南毛利	170	68.8	30.0	12.9	18.2
	南毛利南	50	70.0	34.0	20.0	8.0
	玉川	16	68.8	25.0	6.3	18.8
	相川	63	82.5	23.8	9.5	9.5
	緑ヶ丘	35	68.6	28.6	11.4	25.7
森の里	33	69.7	33.3	21.2	12.1	
幸福度別	とても幸せ	101	72.3	35.6	10.9	15.8
	幸せ	418	70.6	28.7	12.0	17.0
	ふつう	448	69.6	25.0	10.9	19.4
	あまり幸せではない	46	67.4	21.7	17.4	21.7
	幸せではない	17	52.9	17.6	0.0	41.2

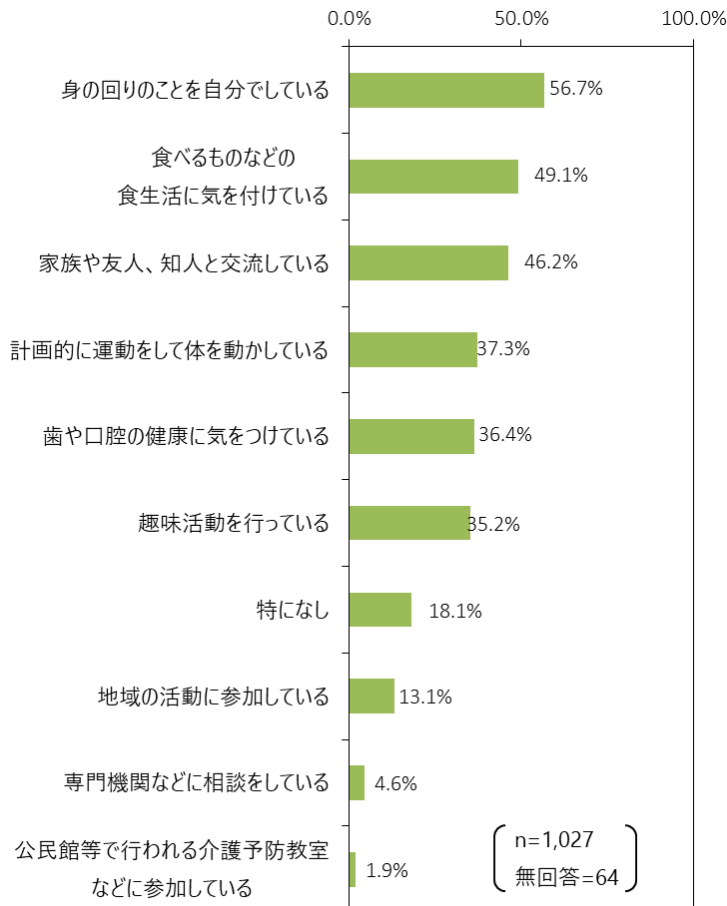
認知症や寝たきりにならないように、取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(A：問7)

認知症や寝たきりにならないように、取り組んでいることがある市民の割合は 81.9%となっており、項目としては「身の回りのことを自分でしている」が 56.7%で最も高く、「公民館等で行われる介護予防教室などに参加している」が 1.9%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「身の回りのことを自分でしている」を性別で見ると、女性(61.8%)が男性(49.5%)より 12.3 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 73.4%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 63.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 62.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合西が 67.5%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 60.2%で最も高くなっている。

「公民館等で行われる介護予防教室などに参加している」を性別で見ると、女性(2.9%)が男性(0.7%)より 2.2 ポイント、高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 4.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 3.4%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入なし）と 3～4 年が同率で 2.5%と最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 6.3%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

	n	公民館等 に参加して いる	室的に 行われる 介護予 防	計画的に 運動をし て体を動 かし	食べるも のなどの 食生活に 気を	付けてい る	趣味活 動を行っ ている	歯や口 腔の健康 に気をつ けてい	専門機 関などに 相談をし ている	身の回 りのこと を自分で してい	家族や 友人、知 人と交流 してい	地域の 活動に 参加して いる	特にな し
全体	1,027	1.9	37.3	49.1	35.2	36.4	4.6	56.7	46.2	13.1	18.1		
性別	男性	436	0.7	38.1	42.9	33.5	28.2	5.0	49.5	33.7	13.5	22.2	
	女性	518	2.9	35.7	52.7	37.1	43.6	3.9	61.8	57.1	12.4	15.1	
年齢別	10代	9	0.0	33.3	22.2	44.4	22.2	0.0	33.3	44.4	0.0	33.3	
	20代	66	0.0	24.2	27.3	45.5	13.6	1.5	40.9	39.4	1.5	30.3	
	30代	106	0.0	21.7	38.7	28.3	26.4	0.9	37.7	31.1	6.6	31.1	
	40代	159	0.0	23.9	36.5	31.4	27.7	1.3	42.8	38.4	5.7	31.4	
	50代	188	1.1	33.5	43.1	31.4	36.2	3.2	46.8	40.4	6.4	19.7	
	60代	168	1.2	45.2	55.4	39.9	42.3	4.2	69.0	53.6	16.1	8.9	
	70代	213	4.7	52.1	66.2	38.5	47.4	7.0	72.3	56.3	25.8	8.5	
	80代以上	109	4.6	46.8	60.6	33.9	44.0	13.8	73.4	56.0	22.0	8.3	
世帯構成別	夫婦	325	1.5	46.2	58.2	36.3	38.8	6.8	59.7	52.6	15.7	12.0	
	親子（親との二世帯）	133	1.5	24.1	37.6	33.8	31.6	2.3	40.6	33.1	6.8	27.1	
	親子（子との二世帯）	231	0.9	36.4	48.1	33.8	39.4	4.8	55.8	49.4	16.0	17.3	
	親子孫（三世帯）	46	2.2	30.4	37.0	37.0	28.3	4.3	54.3	45.7	19.6	28.3	
	一人暮らし	233	3.4	38.6	48.5	37.8	37.3	3.4	63.5	43.3	11.6	18.5	
	その他	41	0.0	19.5	36.6	26.8	22.0	2.4	48.8	41.5	2.4	29.3	
居住年数別	20年以上（転入なし）	240	2.5	38.3	52.9	41.3	36.7	4.2	57.1	48.8	17.9	17.5	
	20年以上（転入あり）	463	2.2	42.3	53.1	35.0	41.0	6.0	62.0	51.2	14.9	12.5	
	10～19年（転入なし）	20	0.0	20.0	30.0	25.0	20.0	5.0	45.0	40.0	10.0	40.0	
	10～19年（転入あり）	124	0.8	35.5	46.8	33.1	33.9	3.2	49.2	34.7	8.1	25.8	
	5～9年	73	1.4	28.8	39.7	28.8	21.9	2.7	47.9	37.0	11.0	23.3	
	3～4年	40	2.5	25.0	40.0	27.5	45.0	2.5	50.0	52.5	5.0	20.0	
	2年以下	51	0.0	27.5	31.4	35.3	21.6	2.0	45.1	31.4	2.0	35.3	
居住地区別	厚木北	106	2.8	34.9	49.1	31.1	40.6	5.7	54.7	43.4	2.8	25.5	
	厚木南	56	3.6	32.1	50.0	28.6	26.8	3.6	46.4	42.9	16.1	25.0	
	依知北	71	1.4	25.4	36.6	29.6	29.6	4.2	50.7	42.3	7.0	19.7	
	依知南	54	1.9	35.2	48.1	31.5	35.2	7.4	64.8	38.9	7.4	16.7	
	睦合北	42	0.0	42.9	57.1	31.0	38.1	2.4	64.3	54.8	19.0	14.3	
	睦合南	96	2.1	34.4	51.0	39.6	32.3	9.4	56.3	47.9	14.6	24.0	
	睦合西	40	5.0	37.5	55.0	32.5	47.5	7.5	67.5	57.5	17.5	10.0	
	荻野	118	1.7	38.1	49.2	38.1	39.0	5.1	52.5	41.5	13.6	17.8	
	小鮎	59	0.0	39.0	42.4	42.4	35.6	5.1	59.3	52.5	11.9	22.0	
	南毛利	168	2.4	42.3	47.6	31.0	38.7	3.0	57.1	48.2	14.3	16.1	
	南毛利南	50	0.0	46.0	66.0	38.0	34.0	4.0	60.0	50.0	26.0	8.0	
	玉川	16	6.3	62.5	62.5	56.3	50.0	6.3	62.5	50.0	31.3	6.3	
	相川	62	0.0	41.9	38.7	40.3	35.5	1.6	59.7	43.5	12.9	16.1	
	緑ヶ丘	35	0.0	20.0	54.3	37.1	20.0	0.0	51.4	42.9	17.1	14.3	
	森の里	33	3.0	39.4	54.5	54.5	45.5	3.0	54.5	48.5	12.1	12.1	
幸福度別	とても幸せ	98	2.0	44.9	56.1	48.0	43.9	8.2	60.2	65.3	22.4	11.2	
	幸せ	414	2.7	42.8	54.3	40.6	42.3	4.3	57.2	51.4	16.4	15.9	
	ふつう	445	1.3	32.4	44.3	28.8	30.1	4.0	57.1	40.7	9.7	20.4	
	あまり幸せではない	46	0.0	23.9	39.1	21.7	32.6	6.5	41.3	21.7	4.3	30.4	
	幸せではない	16	0.0	31.3	31.3	31.3	25.0	0.0	43.8	6.3	0.0	25.0	

2-3-3 成長政策

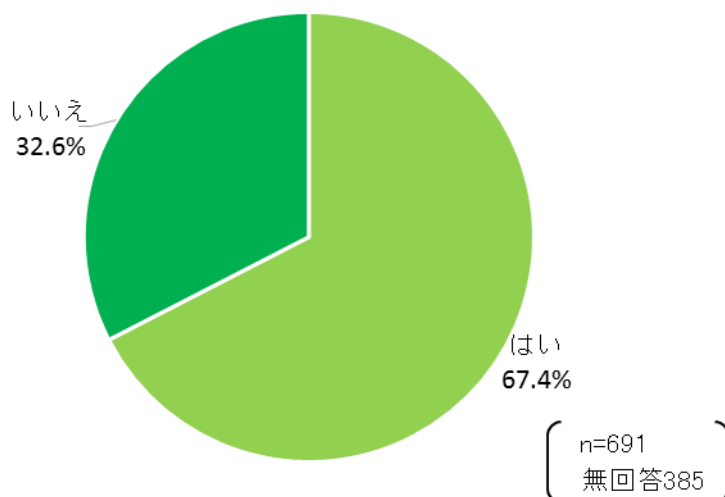
子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思いますか。(B：問7)

子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う市民の割合は、「はい」が67.4%となっており、「いいえ」が32.6%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(75.5%)が男性(60.2%)より15.3ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10代が80.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(子と二世帯)が83.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20年以上(転入あり)が69.1%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が77.3%で最も高くなっている。幸福度別で見ると、とても幸せが87.8%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(39.8%)が女性(24.5%)より15.3ポイント高くなっており、年齢別で見ると、60代が38.3%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしとその他が同率で53.8%と最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4年が46.9%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、南毛利南が43.5%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		691	67.4	32.6
性別	男性	304	60.2	39.8
	女性	339	75.5	24.5
年齢別	10代	5	80.0	20.0
	20代	52	63.5	36.5
	30代	99	74.7	25.3
	40代	107	74.8	25.2
	50代	131	64.9	35.1
	60代	120	61.7	38.3
	70代	117	65.8	34.2
	80代以上	54	64.8	35.2
世帯構成別	夫婦	194	66.0	34.0
	親子（親との二世代）	100	69.0	31.0
	親子（子との二世代）	188	83.0	17.0
	親子孫（三世代）	41	78.0	22.0
	一人暮らし	130	46.2	53.8
	その他	26	46.2	53.8
居住年数別	20年以上（転入なし）	186	68.8	31.2
	20年以上（転入あり）	285	69.1	30.9
	10～19年（転入なし）	15	60.0	40.0
	10～19年（転入あり）	79	67.1	32.9
	5～9年	51	68.6	31.4
	3～4年	32	53.1	46.9
	2年以下	34	61.8	38.2
居住地区別	厚木北	84	64.3	35.7
	厚木南	30	66.7	33.3
	依知北	42	57.1	42.9
	依知南	41	65.9	34.1
	睦合北	31	71.0	29.0
	睦合南	55	60.0	40.0
	睦合西	29	69.0	31.0
	荻野	70	68.6	31.4
	小鮎	45	71.1	28.9
	南毛利	111	71.2	28.8
	南毛利南	46	56.5	43.5
	玉川	12	75.0	25.0
	相川	47	76.6	23.4
	緑ヶ丘	15	73.3	26.7
	森の里	22	77.3	22.7
	幸福度別	とても幸せ	82	87.8
幸せ		249	74.3	25.7
ふつう		319	58.9	41.1
あまり幸せではない		28	60.7	39.3
幸せではない		10	20.0	80.0

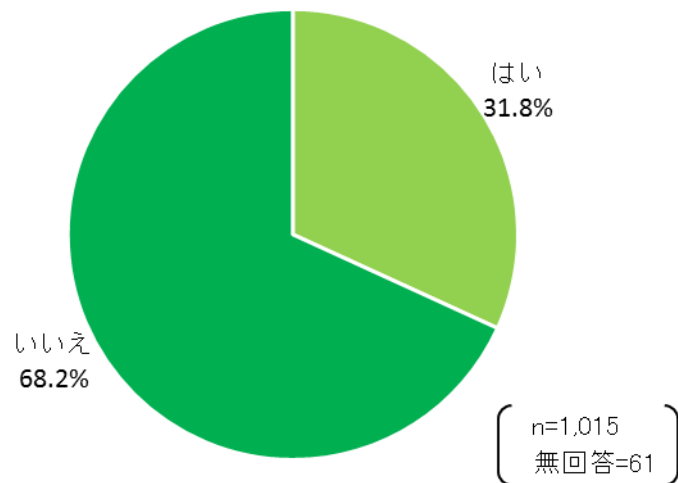
過去1年間に、行事や貸館で公民館を利用しましたか。(B:問8)

過去1年間に、行事や貸館で公民館を利用した市民の割合は、「はい」が31.8%となっており、「いいえ」が68.2%と高くなっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(34.3%)が男性(29.4%)より4.9ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70代が49.3%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が37.1%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19年(転入なし)が38.9%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合北が46.3%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが48.6%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(70.6%)が女性(65.7%)より4.9ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20代が83.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が78.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2年以下が91.1%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ヶ丘が81.0%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		1,015	31.8	68.2
性別	男性	432	29.4	70.6
	女性	519	34.3	65.7
年齢別	10代	7	42.9	57.1
	20代	62	16.1	83.9
	30代	111	30.6	69.4
	40代	142	25.4	74.6
	50代	179	24.6	75.4
	60代	174	27.0	73.0
	70代	229	49.3	50.7
	80代以上	98	32.7	67.3
世帯構成別	夫婦	307	37.1	62.9
	親子（親との二世帯）	145	22.1	77.9
	親子（子との二世帯）	241	36.5	63.5
	親子孫（三世帯）	50	34.0	66.0
	一人暮らし	216	28.2	71.8
	その他	38	21.1	78.9
居住年数別	20年以上（転入なし）	260	34.2	65.8
	20年以上（転入あり）	449	36.1	63.9
	10～19年（転入なし）	18	38.9	61.1
	10～19年（転入あり）	115	24.3	75.7
	5～9年	68	29.4	70.6
	3～4年	43	16.3	83.7
	2年以下	45	8.9	91.1
居住地区別	厚木北	132	26.5	73.5
	厚木南	55	30.9	69.1
	依知北	62	32.3	67.7
	依知南	60	26.7	73.3
	睦合北	41	46.3	53.7
	睦合南	86	32.6	67.4
	睦合西	41	31.7	68.3
	荻野	102	32.4	67.6
	小鮎	72	33.3	66.7
	南毛利	159	32.7	67.3
	南毛利南	59	39.0	61.0
	玉川	14	28.6	71.4
	相川	60	30.0	70.0
	緑ヶ丘	21	19.0	81.0
	森の里	31	38.7	61.3
	幸福度別	とても幸せ	109	48.6
幸せ		359	39.6	60.4
ふつう		487	23.0	77.0
あまり幸せではない		39	28.2	71.8
幸せではない		15	6.7	93.3

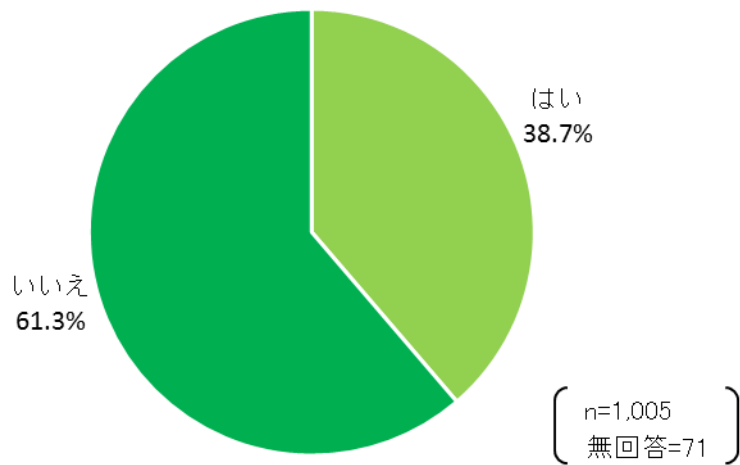
過去1年間に、地域や学校の行事に参加又は協力しましたか。(B:問9)

過去1年間に、地域や学校の行事に参加又は協力した市民の割合は、「はい」が38.7%となっており、「いいえ」が61.3%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(41.0%)が男性(36.8%)より4.2ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70代が47.1%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫(三世帯)が61.7%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10~19年(転入あり)が46.5%と最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が66.7%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが50.9%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(63.2%)が女性(59.0%)より4.2ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20代が79.4%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが75.6%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2年以下が86.7%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、厚木北が76.3%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		1,005	38.7	61.3
性別	男性	427	36.8	63.2
	女性	515	41.0	59.0
年齢別	10代	7	42.9	57.1
	20代	63	20.6	79.4
	30代	111	45.0	55.0
	40代	140	44.3	55.7
	50代	180	40.6	59.4
	60代	171	26.9	73.1
	70代	223	47.1	52.9
	80代以上	97	32.0	68.0
世帯構成別	夫婦	304	39.5	60.5
	親子（親との二世帯）	140	27.9	72.1
	親子（子との二世帯）	239	54.4	45.6
	親子孫（三世帯）	47	61.7	38.3
	一人暮らし	217	24.4	75.6
	その他	39	30.8	69.2
居住年数別	20年以上（転入なし）	258	42.2	57.8
	20年以上（転入あり）	441	37.6	62.4
	10～19年（転入なし）	18	38.9	61.1
	10～19年（転入あり）	114	46.5	53.5
	5～9年	68	41.2	58.8
	3～4年	43	27.9	72.1
	2年以下	45	13.3	86.7
居住地区別	厚木北	131	23.7	76.3
	厚木南	54	25.9	74.1
	依知北	63	41.3	58.7
	依知南	58	37.9	62.1
	睦合北	39	51.3	48.7
	睦合南	84	39.3	60.7
	睦合西	40	35.0	65.0
	荻野	102	41.2	58.8
	小鮎	69	44.9	55.1
	南毛利	158	34.8	65.2
	南毛利南	59	44.1	55.9
	玉川	15	66.7	33.3
	相川	61	42.6	57.4
	緑ヶ丘	21	42.9	57.1
	森の里	31	64.5	35.5
	幸福度別	とても幸せ	108	50.9
幸せ		356	44.7	55.3
ふつう		480	32.5	67.5
あまり幸せではない		40	35.0	65.0
幸せではない		15	6.7	93.3

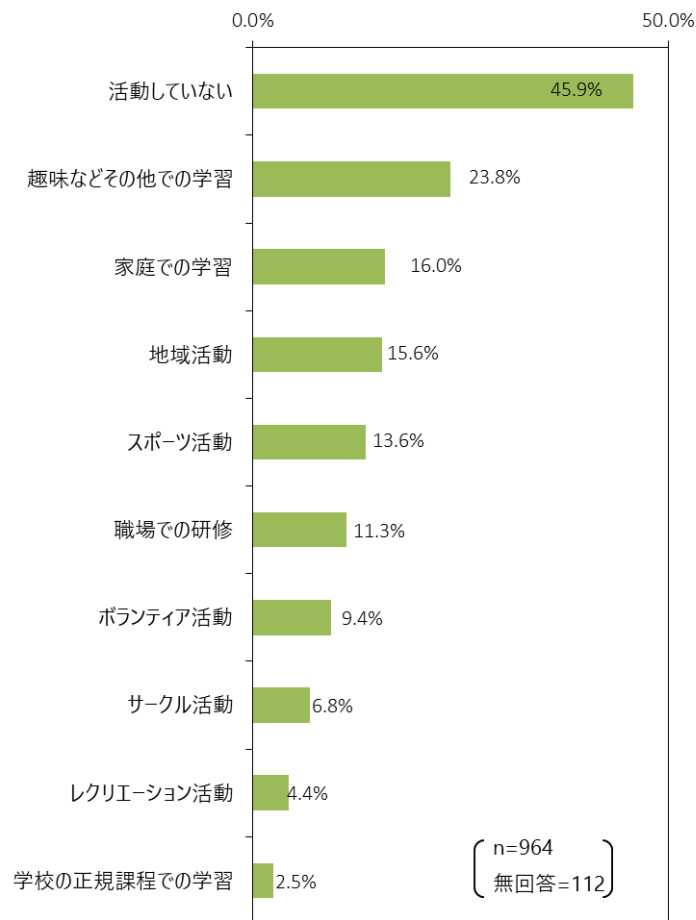
過去1年間に、生涯学習活動をしましたか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(B:問10)

過去1年間に、生涯学習活動を行った市民の割合は54.1%となっている。項目別では「活動していない」が45.9%で最も高く、「学校の正規課程での学習」が2.5%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「活動していない」を性別で見ると、女性(45.7%)が男性(45.5%)より0.2ポイント高くなっており、年齢別で見ると、60代が53.1%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(親との二世帯)が56.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2年以下が57.4%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合西が56.8%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが85.7%で最も高くなっている。

「学校の正規課程での学習」を性別で見ると、女性(2.6%)が男性(2.5%)より0.1ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10代が71.4%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(親との二世帯)が9.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19年(転入なし)が11.1%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合北が8.3%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

	n	学校の正規課程での学習	家庭での学習	地域活動	ボランティア活動	職場での研修	サークル活動	スポーツ活動	レクリエーション活動	趣味などその他の学習	活動していない	
全体	964	2.5	16.0	15.6	9.4	11.3	6.8	13.6	4.4	23.8	45.9	
性別	男性	402	2.5	15.2	17.9	12.7	11.2	4.0	15.9	4.7	24.9	45.5
	女性	503	2.6	17.3	13.9	7.0	12.1	9.5	11.5	4.0	23.3	45.7
年齢別	10代	7	71.4	57.1	0.0	28.6	14.3	14.3	0.0	57.1	0.0	
	20代	62	11.3	27.4	8.1	1.6	30.6	6.5	11.3	1.6	32.3	45.2
	30代	110	6.4	20.9	9.1	2.7	19.1	4.5	9.1	4.5	27.3	47.3
	40代	136	2.2	22.1	11.8	6.6	10.3	1.5	10.3	4.4	16.9	52.9
	50代	175	1.1	14.3	16.6	8.6	20.6	4.6	17.1	4.0	20.6	47.4
	60代	162	0.0	9.9	11.1	10.5	6.2	8.0	12.3	5.6	21.6	53.1
	70代	210	0.0	12.4	21.0	15.2	3.3	11.9	15.7	3.8	27.6	39.5
	80代以上	89	0.0	12.4	28.1	12.4	0.0	7.9	15.7	6.7	24.7	38.2
世帯構成別	夫婦	289	0.3	15.2	19.4	12.8	8.3	9.7	13.1	4.5	24.9	43.3
	親子（親との二世帯）	137	9.5	16.1	4.4	3.6	11.7	3.6	9.5	2.2	20.4	56.9
	親子（子との二世帯）	224	1.3	18.3	17.9	12.1	12.5	7.1	13.8	4.9	24.1	41.1
	親子孫（三世帯）	47	2.1	14.9	31.9	6.4	14.9	2.1	25.5	12.8	8.5	46.8
	一人暮らし	214	2.8	15.0	9.3	6.5	13.6	6.5	14.5	2.8	28.5	47.2
	その他	36	0.0	13.9	27.8	8.3	11.1	2.8	11.1	8.3	19.4	52.8
居住年数別	20年以上（転入なし）	246	2.8	13.0	19.1	10.2	11.4	7.3	14.6	3.7	21.1	46.7
	20年以上（転入あり）	419	0.7	15.5	16.0	10.7	9.3	8.4	12.4	4.1	24.1	44.6
	10～19年（転入なし）	18	11.1	27.8	0.0	16.7	16.7	11.1	16.7	0.0	16.7	44.4
	10～19年（転入あり）	110	1.8	16.4	15.5	6.4	12.7	5.5	14.5	5.5	21.8	48.2
	5～9年	67	4.5	20.9	11.9	6.0	10.4	3.0	17.9	9.0	28.4	43.3
	3～4年	42	9.5	19.0	4.8	4.8	14.3	2.4	9.5	0.0	35.7	47.6
	2年以下	47	6.4	19.1	8.5	4.3	25.5	0.0	10.6	6.4	27.7	57.4
居住地区別	厚木北	127	1.6	16.5	9.4	5.5	13.4	5.5	11.0	3.9	27.6	49.6
	厚木南	53	0.0	15.1	7.5	9.4	9.4	3.8	17.0	1.9	20.8	49.1
	依知北	60	1.7	16.7	23.3	10.0	10.0	11.7	16.7	3.3	25.0	45.0
	依知南	57	3.5	17.5	14.0	5.3	14.0	3.5	10.5	7.0	15.8	56.1
	睦合北	36	8.3	11.1	13.9	5.6	8.3	16.7	16.7	8.3	16.7	47.2
	睦合南	78	0.0	12.8	16.7	11.5	14.1	7.7	15.4	1.3	23.1	42.3
	睦合西	37	2.7	10.8	16.2	2.7	16.2	8.1	13.5	5.4	13.5	56.8
	荻野	96	5.2	15.6	14.6	9.4	9.4	7.3	15.6	4.2	33.3	42.7
	小鮎	70	1.4	11.4	17.1	7.1	8.6	5.7	12.9	5.7	21.4	45.7
	南毛利	154	1.3	21.4	18.8	15.6	12.3	7.8	12.3	6.5	23.4	42.9
	南毛利南	58	3.4	19.0	13.8	10.3	15.5	1.7	13.8	3.4	29.3	39.7
	玉川	16	0.0	0.0	37.5	18.8	0.0	0.0	18.8	0.0	25.0	31.3
	相川	57	1.8	14.0	19.3	8.8	8.8	1.8	10.5	1.8	12.3	56.1
	緑ヶ丘	19	5.3	21.1	10.5	0.0	10.5	21.1	5.3	0.0	26.3	47.4
森の里	27	7.4	18.5	14.8	11.1	7.4	3.7	14.8	11.1	37.0	37.0	
幸福度別	とても幸せ	103	4.9	30.1	24.3	19.4	13.6	8.7	22.3	11.7	32.0	32.0
	幸せ	347	1.2	17.3	19.3	11.0	13.5	8.1	16.1	6.1	26.5	38.9
	ふつう	456	2.9	12.3	11.0	5.9	9.2	5.5	10.1	1.3	20.4	53.7
	あまり幸せではない	38	5.3	13.2	15.8	7.9	13.2	7.9	13.2	7.9	28.9	44.7
	幸せではない	14	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	85.7	

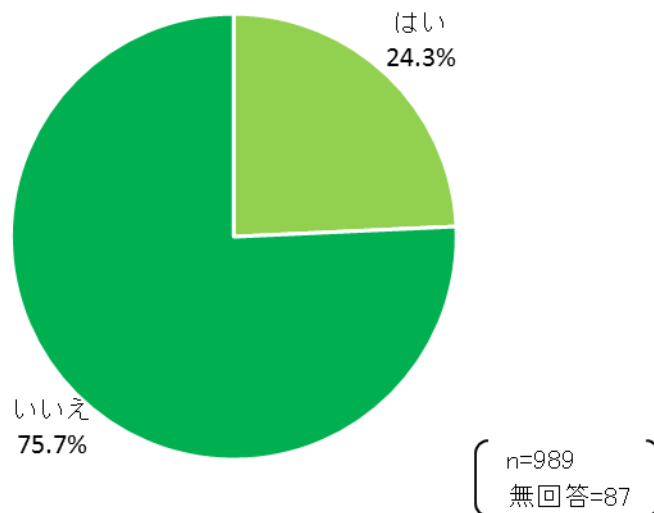
過去1年間に、行事や貸出で中央図書館、移動図書館、公民館図書室、予約搬送サービスのいずれかを利用しましたか。(B:問11)

過去1年間に、行事や貸出で中央図書館、移動図書館、公民館図書室、予約搬送サービスのいずれかを利用した市民の割合は、「はい」が24.3%となっており、「いいえ」が75.7%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(26.7%)が男性(22.3%)より4.4ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20代が42.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(子との二世代)が28.3%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10~19年(転入なし)が50.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、南毛利南が35.6%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが34.0%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(77.7%)が女性(73.3%)より4.4ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20代が86.4%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、そのほか(単身)が91.4%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2年以下が81.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が93.3%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		989	24.3	75.7
性別	男性	417	22.3	77.7
	女性	509	26.7	73.3
年齢別	10代	7	42.9	57.1
	20代	66	13.6	86.4
	30代	111	21.6	78.4
	40代	137	29.2	70.8
	50代	178	27.0	73.0
	60代	167	22.8	77.2
	70代	216	25.9	74.1
	80代以上	94	21.3	78.7
世帯構成別	夫婦	301	24.9	75.1
	親子（親との二世帯）	140	22.1	77.9
	親子（子との二世帯）	230	28.3	71.7
	親子孫（三世帯）	47	19.1	80.9
	一人暮らし	219	25.1	74.9
	その他	35	8.6	91.4
居住年数別	20年以上（転入なし）	253	22.1	77.9
	20年以上（転入あり）	430	24.4	75.6
	10～19年（転入なし）	18	50.0	50.0
	10～19年（転入あり）	116	23.3	76.7
	5～9年	68	30.9	69.1
	3～4年	41	22.0	78.0
	2年以下	48	18.8	81.3
居住地区別	厚木北	125	25.6	74.4
	厚木南	54	29.6	70.4
	依知北	65	18.5	81.5
	依知南	63	22.2	77.8
	睦合北	39	25.6	74.4
	睦合南	78	21.8	78.2
	睦合西	41	29.3	70.7
	荻野	97	25.8	74.2
	小鮎	72	19.4	80.6
	南毛利	157	21.0	79.0
	南毛利南	59	35.6	64.4
	玉川	15	6.7	93.3
	相川	58	24.1	75.9
	緑ヶ丘	19	21.1	78.9
	森の里	26	34.6	65.4
	幸福度別	とても幸せ	106	34.0
幸せ		351	28.8	71.2
ふつう		471	18.7	81.3
あまり幸せではない		41	24.4	75.6
幸せではない		14	21.4	78.6

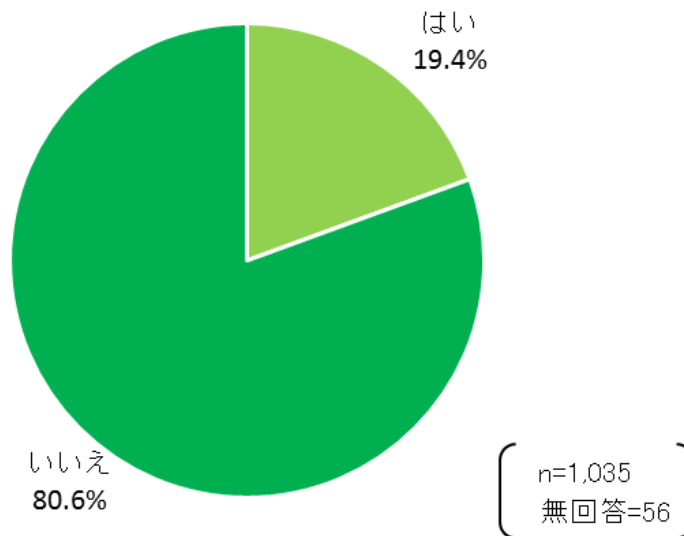
過去1年間に、市内で文化芸術に触れましたか。(A：問8)

過去1年間に、市内で文化芸術に触れた市民の割合は、「はい」が19.4%となっており、「いいえ」が80.6%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(22.8%)が男性(15.1%)より7.7ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70代が25.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(子と二世帯)が22.3%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3~4年が23.8%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、南毛利南が32.0%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せが26.0%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(84.9%)が女性(77.2%)より7.7ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10代が88.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が85.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2年以下が85.2%と最も高くなっている。居住地区別で見ると、小鮎が91.7%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		1,035	19.4	80.6
性別	男性	444	15.1	84.9
	女性	518	22.8	77.2
年齢別	10代	9	11.1	88.9
	20代	69	18.8	81.2
	30代	110	15.5	84.5
	40代	163	20.2	79.8
	50代	193	11.9	88.1
	60代	169	21.9	78.1
	70代	212	25.9	74.1
	80代以上	101	19.8	80.2
世帯構成別	夫婦	328	18.9	81.1
	親子（親との二世代）	134	17.9	82.1
	親子（子との二世代）	233	22.3	77.7
	親子孫（三世代）	45	22.2	77.8
	一人暮らし	236	18.2	81.8
	その他	40	15.0	85.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	239	18.4	81.6
	20年以上（転入あり）	465	20.2	79.8
	10～19年（転入なし）	20	15.0	85.0
	10～19年（転入あり）	123	22.0	78.0
	5～9年	76	17.1	82.9
	3～4年	42	23.8	76.2
	2年以下	54	14.8	85.2
居住地区別	厚木北	108	27.8	72.2
	厚木南	58	22.4	77.6
	依知北	72	9.7	90.3
	依知南	55	14.5	85.5
	睦合北	42	31.0	69.0
	睦合南	99	21.2	78.8
	睦合西	39	12.8	87.2
	荻野	116	13.8	86.2
	小鮎	60	8.3	91.7
	南毛利	169	23.7	76.3
	南毛利南	50	32.0	68.0
	玉川	16	18.8	81.3
	相川	64	12.5	87.5
	緑ヶ丘	35	25.7	74.3
	森の里	32	15.6	84.4
	幸福度別	とても幸せ	102	20.6
幸せ		415	26.0	74.0
ふつう		448	15.0	85.0
あまり幸せではない		45	6.7	93.3
幸せではない		17	5.9	94.1

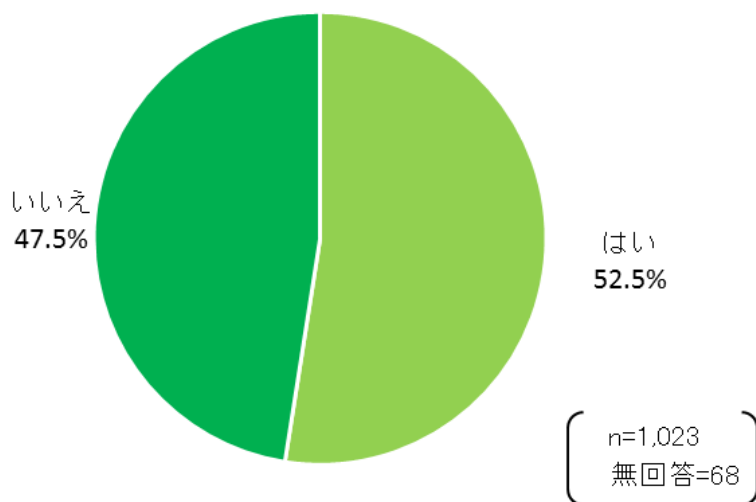
厚木の郷土文化に興味がありますか。(A：問9)

厚木の郷土文化に興味がある市民の割合は、「はい」が52.5%となっており、「いいえ」が47.5%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、男性(53.5%)が女性(52.0%)より1.5ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70代が61.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫(三世帯)が59.1%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19年(転入あり)が58.9%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が86.7%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが67.3%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、女性(48.0%)が男性(46.5%)より1.5ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10代が77.8%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(親との二世帯)が56.8%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19年以上(転入なし)が72.2%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、依知北が65.7%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		1,023	52.5	47.5
性別	男性	441	53.5	46.5
	女性	510	52.0	48.0
年齢別	10代	9	22.2	77.8
	20代	69	44.9	55.1
	30代	109	48.6	51.4
	40代	162	48.1	51.9
	50代	191	48.7	51.3
	60代	165	54.5	45.5
	70代	205	61.0	39.0
	80代以上	104	59.6	40.4
世帯構成別	夫婦	322	55.3	44.7
	親子（親との二世代）	132	43.2	56.8
	親子（子との二世代）	232	52.6	47.4
	親子孫（三世代）	44	59.1	40.9
	一人暮らし	234	54.3	45.7
	その他	41	53.7	46.3
居住年数別	20年以上（転入なし）	240	55.0	45.0
	20年以上（転入あり）	456	52.6	47.4
	10～19年（転入なし）	18	27.8	72.2
	10～19年（転入あり）	124	58.9	41.1
	5～9年	75	57.3	42.7
	3～4年	41	36.6	63.4
	2年以下	53	41.5	58.5
居住地区別	厚木北	109	61.5	38.5
	厚木南	58	50.0	50.0
	依知北	70	34.3	65.7
	依知南	55	54.5	45.5
	睦合北	41	56.1	43.9
	睦合南	95	48.4	51.6
	睦合西	40	45.0	55.0
	荻野	117	47.0	53.0
	小鮎	60	58.3	41.7
	南毛利	165	58.2	41.8
	南毛利南	50	62.0	38.0
	玉川	15	86.7	13.3
	相川	61	45.9	54.1
	緑ヶ丘	35	51.4	48.6
	森の里	33	45.5	54.5
	幸福度別	とても幸せ	101	67.3
幸せ		414	61.4	38.6
ふつう		438	43.6	56.4
あまり幸せではない		45	35.6	64.4
幸せではない		17	23.5	76.5

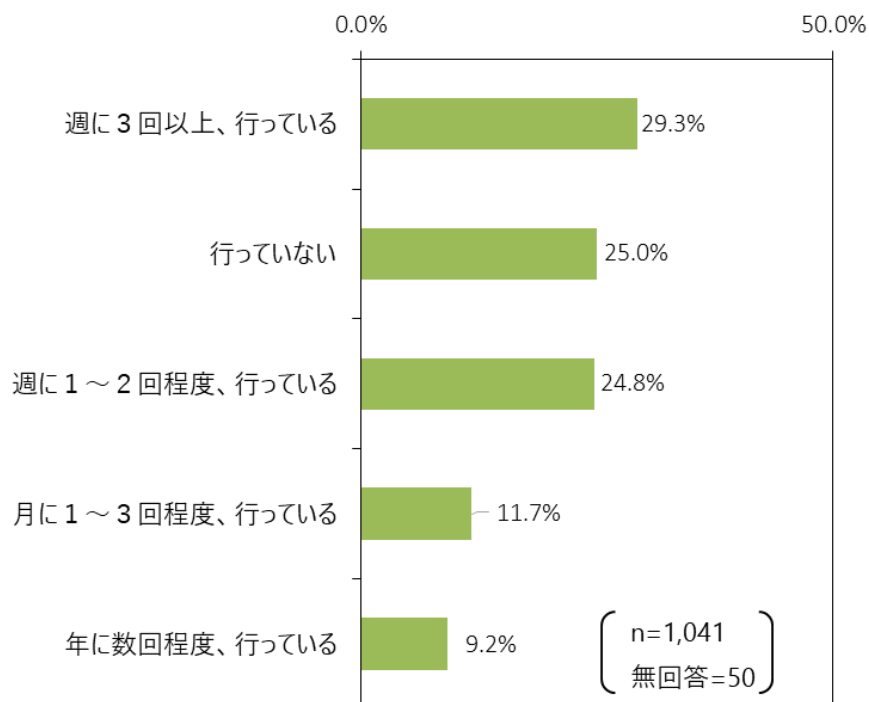
運動・スポーツをどの程度、行っていますか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。(A：問10)

運動・スポーツを行っている市民の割合は75.0%となっており、項目としては「週に3回以上、行っている」が29.3%で最も高くなっており、「年に数回程度、行っている」が9.2%と最も低くなっている。

【クロス集計】

「週に3回以上、行っている」を性別で見ると、女性(29.1%)が男性(28.4%)より0.7ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70代が43.1%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が33.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4年が33.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が56.3%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが45.5%で最も高くなっている。

「年に数回程度、行っている」を性別で見ると、男性(11.1%)が女性(7.8%)より3.3ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20代と30代が同率で14.5%と最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が22.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19年(転入なし)が21.1%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、小鮎が18.0%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	る週に3回以上、行っている	て週に1〜2回程度、行っている	て月に1〜3回程度、行っている	る年に数回程度、行っている	行っていない
全体		1,041	29.3	24.8	11.7	9.2	25.0
性別	男性	443	28.4	26.6	12.9	11.1	21.0
	女性	525	29.1	24.0	10.7	7.8	28.4
年齢別	10代	9	33.3	33.3	11.1	0.0	22.2
	20代	69	29.0	24.6	17.4	14.5	14.5
	30代	110	15.5	27.3	14.5	14.5	28.2
	40代	165	26.1	23.0	13.9	11.5	25.5
	50代	193	21.8	25.4	14.0	9.3	29.5
	60代	169	30.2	26.6	10.7	8.3	24.3
	70代	211	43.1	24.2	8.1	4.7	19.9
	80代以上	106	34.9	22.6	5.7	6.6	30.2
世帯構成別	夫婦	327	33.9	28.1	11.0	7.6	19.3
	親子（親との二世帯）	133	25.6	22.6	10.5	12.8	28.6
	親子（子との二世帯）	236	27.1	24.2	14.4	8.1	26.3
	親子孫（三世帯）	46	26.1	19.6	15.2	8.7	30.4
	一人暮らし	239	31.0	25.5	10.5	7.5	25.5
	その他	41	17.1	17.1	9.8	22.0	34.1
居住年数別	20年以上（転入なし）	242	28.5	24.8	11.2	8.7	26.9
	20年以上（転入あり）	466	32.0	24.0	9.9	8.8	25.3
	10～19年（転入なし）	19	26.3	10.5	5.3	21.1	36.8
	10～19年（転入あり）	126	28.6	29.4	15.9	7.1	19.0
	5～9年	76	22.4	25.0	13.2	15.8	23.7
	3～4年	42	33.3	26.2	9.5	7.1	23.8
	2年以下	54	22.2	25.9	22.2	7.4	22.2
居住地区別	厚木北	109	26.6	31.2	15.6	4.6	22.0
	厚木南	58	24.1	29.3	12.1	10.3	24.1
	依知北	72	22.2	22.2	13.9	9.7	31.9
	依知南	55	25.5	23.6	1.8	12.7	36.4
	睦合北	41	29.3	26.8	7.3	4.9	31.7
	睦合南	101	22.8	22.8	16.8	10.9	26.7
	睦合西	40	35.0	22.5	15.0	5.0	22.5
	荻野	117	29.1	26.5	10.3	8.5	25.6
	小鮎	61	21.3	21.3	6.6	18.0	32.8
	南毛利	168	32.1	27.4	10.1	8.9	21.4
	南毛利南	50	36.0	24.0	16.0	6.0	18.0
	玉川	16	56.3	18.8	12.5	0.0	12.5
	相川	64	39.1	21.9	9.4	7.8	21.9
	緑ヶ丘	35	28.6	17.1	22.9	8.6	22.9
	森の里	33	42.4	24.2	6.1	15.2	12.1
幸福度別	とても幸せ	101	45.5	21.8	9.9	5.0	17.8
	幸せ	419	32.0	28.2	13.8	8.6	17.4
	ふつう	451	24.6	24.4	10.6	10.2	30.2
	あまり幸せではない	45	22.2	11.1	6.7	13.3	46.7
	幸せではない	17	23.5	5.9	11.8	5.9	52.9

2-3-4 発展政策

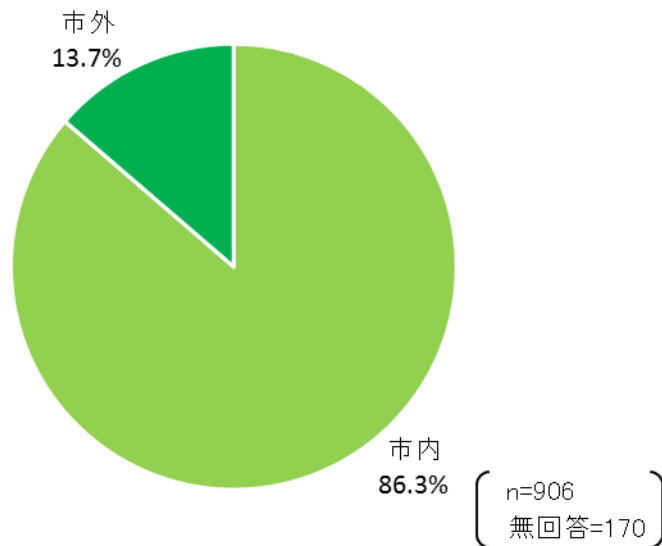
主に利用する店舗の所在地はどこですか。(B：問12)

主に利用する店舗の所在地については、「市内」が86.3%となっており、「市外」が13.7%となっている。

【クロス集計】

「市内」を性別で見ると、女性(86.9%)が男性(85.9%)より1.0ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80代以上が94.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが90.1%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、5～9年が90.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、厚木南が100.0%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せが91.0%で最も高くなっている。

「市外」を性別で見ると、男性(14.1%)が女性(13.1%)より1.0ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10代が25.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が23.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2年以下が20.9%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、依知北が45.2%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	市内	市外
全体		906	86.3	13.7
性別	男性	382	85.9	14.1
	女性	465	86.9	13.1
年齢別	10代	8	75.0	25.0
	20代	62	75.8	24.2
	30代	108	85.2	14.8
	40代	132	81.8	18.2
	50代	163	85.3	14.7
	60代	155	88.4	11.6
	70代	185	89.7	10.3
	80代以上	83	94.0	6.0
世帯構成別	夫婦	266	87.2	12.8
	親子（親との二世代）	131	80.9	19.1
	親子（子との二世代）	216	86.1	13.9
	親子孫（三世代）	42	85.7	14.3
	一人暮らし	202	90.1	9.9
	その他	34	76.5	23.5
居住年数別	20年以上（転入なし）	225	85.8	14.2
	20年以上（転入あり）	391	87.0	13.0
	10～19年（転入なし）	18	88.9	11.1
	10～19年（転入あり）	112	83.9	16.1
	5～9年	62	90.3	9.7
	3～4年	41	85.4	14.6
	2年以下	43	79.1	20.9
	居住地区別	厚木北	121	90.9
	厚木南	47	100.0	0.0
	依知北	62	54.8	45.2
	依知南	56	69.6	30.4
	睦合北	33	78.8	21.2
	睦合南	71	91.5	8.5
	睦合西	38	97.4	2.6
	荻野	92	89.1	10.9
	小鮎	62	88.7	11.3
	南毛利	146	92.5	7.5
	南毛利南	54	83.3	16.7
	玉川	12	83.3	16.7
	相川	54	77.8	22.2
	緑ヶ丘	16	93.8	6.3
	森の里	24	95.8	4.2
幸福度別	とても幸せ	95	87.4	12.6
	幸せ	323	91.0	9.0
	ふつう	434	84.1	15.9
	あまり幸せではない	36	69.4	30.6
	幸せではない	13	76.9	23.1

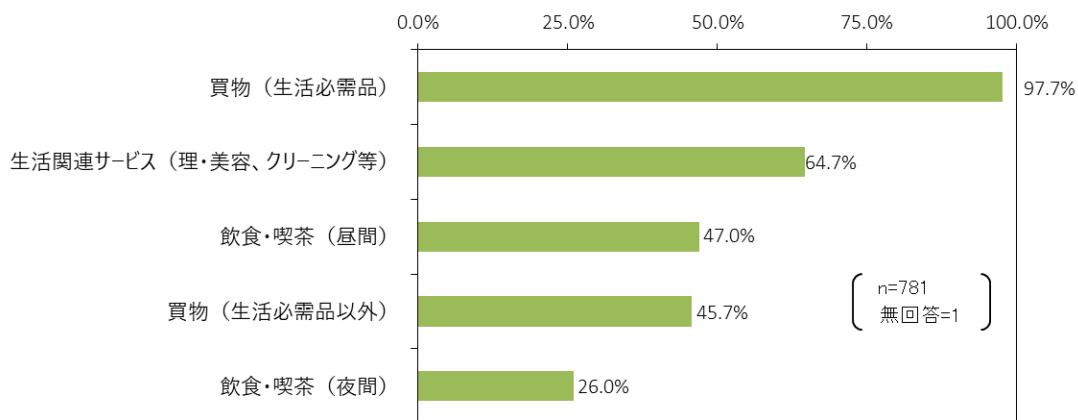
市内の店舗に行く場合、その目的は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(B:問12-1)

「市内の店舗を主に利用する」と答えた人のうち、市内の店舗に行く場合の目的は、「買物（生活必需品）」が97.7%で最も高く、「飲食・喫茶（夜間）」が26.0%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「買物（生活必需品）」を性別で見ると、女性(99.0%)が男性(96.0%)より3.0ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70代が99.4%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が100.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19年（転入なし）が100.0%と最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合北、小鮎、玉川、緑ヶ丘及び森の里が同率で100.0%と最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが100.0%と最も高くなっている。

「飲食・喫茶（夜間）」を性別で見ると、男性(26.6%)が女性(26.0%)より0.6ポイント高くなっており、年齢別で見ると、40代が38.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、そのほか38.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、5～9年が44.6%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が34.8%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	買物 (生活必需品)	買物 (生活必需品以外)	飲食・喫茶 (昼間)	飲食・喫茶 (夜間)	生活関連サービス (理・美容、クリーニング等)
全体		781	97.7	45.7	47.0	26.0	64.7
性別	男性	327	96.0	46.5	41.9	26.6	59.9
	女性	404	99.0	45.3	52.5	26.0	70.3
年齢別	10代	6	83.3	50.0	50.0	16.7	50.0
	20代	47	95.7	44.7	46.8	34.0	55.3
	30代	92	98.9	45.7	55.4	38.0	62.0
	40代	108	96.3	38.9	46.3	38.9	56.5
	50代	139	96.4	47.5	48.9	37.4	66.9
	60代	137	97.8	47.4	46.0	22.6	67.9
	70代	165	99.4	46.1	43.6	10.3	69.1
	80代以上	78	98.7	47.4	47.4	10.3	66.7
世帯構成別	夫婦	231	99.1	50.2	52.4	23.8	69.3
	親子(親との二世帯)	106	94.3	47.2	46.2	28.3	58.5
	親子(子との二世帯)	186	97.8	39.8	47.8	26.3	67.2
	親子孫(三世帯)	36	100.0	33.3	44.4	22.2	47.2
	一人暮らし	182	97.3	44.0	40.7	26.9	63.2
	その他	26	96.2	61.5	57.7	38.5	65.4
居住年数別	20年以上(転入なし)	192	97.9	43.8	45.8	26.6	65.1
	20年以上(転入あり)	340	99.4	46.2	45.6	20.0	67.9
	10~19年(転入なし)	16	100.0	31.3	43.8	31.3	68.8
	10~19年(転入あり)	94	92.6	46.8	55.3	30.9	60.6
	5~9年	56	96.4	53.6	51.8	44.6	62.5
	3~4年	35	97.1	54.3	62.9	42.9	68.6
	2年以下	34	94.1	32.4	32.4	23.5	38.2
居住地区別	厚木北	110	97.3	40.0	47.3	33.6	70.0
	厚木南	47	97.9	40.4	48.9	34.0	66.0
	依知北	34	94.1	44.1	32.4	17.6	44.1
	依知南	39	94.9	43.6	48.7	25.6	53.8
	睦合北	26	100.0	57.7	42.3	15.4	42.3
	睦合南	65	98.5	44.6	58.5	21.5	69.2
	睦合西	37	94.6	56.8	35.1	13.5	73.0
	狹野	81	97.5	40.7	43.2	22.2	56.8
	小鮎	55	100.0	43.6	41.8	27.3	63.6
	南毛利	135	98.5	53.3	48.1	28.9	67.4
	南毛利南	45	97.8	44.4	48.9	22.2	66.7
	玉川	10	100.0	30.0	40.0	20.0	80.0
	相川	42	95.2	33.3	50.0	28.6	64.3
	緑ヶ丘	15	100.0	53.3	53.3	13.3	86.7
森の里	23	100.0	56.5	60.9	34.8	69.6	
幸福度別	とても幸せ	83	98.8	54.2	57.8	24.1	73.5
	幸せ	294	98.6	50.7	51.4	32.7	68.7
	ふつう	364	97.0	38.7	41.2	20.9	59.1
	あまり幸せではない	25	92.0	60.0	52.0	24.0	76.0
	幸せではない	10	100.0	40.0	40.0	40.0	50.0

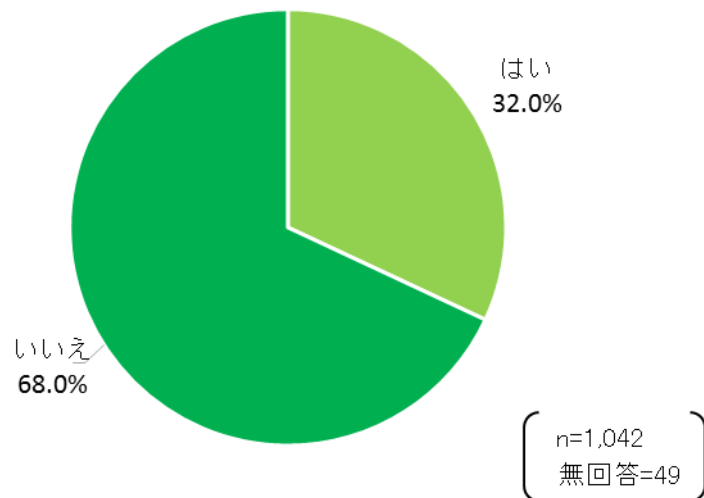
過去1年間に、市内の観光スポットへの訪問やイベント参加をしましたか。(A:問11)

過去1年間に、市内の観光スポットへの訪問やイベント参加をした市民の割合は、「はい」が32.0%となっており、「いいえ」が68.0%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、男性(32.9%)が女性(30.6%)より2.3ポイント高くなっており、年齢別で見ると、30代が36.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(子と二世帯)が35.3%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10~19年(転入あり)が36.8%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が46.7%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが47.5%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(69.4%)が女性(67.1%)より2.3ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80代以上が73.6%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫(三世帯)が69.6%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3~4年が72.1%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、依知南が83.0%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		1,042	32.0	68.0
性別	男性	445	30.6	69.4
	女性	523	32.9	67.1
年齢別	10代	9	33.3	66.7
	20代	69	31.9	68.1
	30代	111	36.9	63.1
	40代	165	33.9	66.1
	50代	192	26.6	73.4
	60代	168	34.5	65.5
	70代	213	33.8	66.2
	80代以上	106	26.4	73.6
世帯構成別	夫婦	326	34.4	65.6
	親子（親との二世代）	134	30.6	69.4
	親子（子との二世代）	235	35.3	64.7
	親子孫（三世代）	46	30.4	69.6
	一人暮らし	241	27.8	72.2
	その他	41	31.7	68.3
居住年数別	20年以上（転入なし）	241	31.5	68.5
	20年以上（転入あり）	467	31.0	69.0
	10～19年（転入なし）	20	30.0	70.0
	10～19年（転入あり）	125	36.8	63.2
	5～9年	76	34.2	65.8
	3～4年	43	27.9	72.1
	2年以下	54	35.2	64.8
居住地区別	厚木北	110	43.6	56.4
	厚木南	58	29.3	70.7
	依知北	71	19.7	80.3
	依知南	53	17.0	83.0
	睦合北	43	41.9	58.1
	睦合南	101	33.7	66.3
	睦合西	41	26.8	73.2
	荻野	117	32.5	67.5
	小鮎	61	31.1	68.9
	南毛利	170	38.2	61.8
	南毛利南	50	30.0	70.0
	玉川	15	46.7	53.3
	相川	64	20.3	79.7
	緑ヶ丘	35	37.1	62.9
	森の里	33	27.3	72.7
幸福度別	とても幸せ	101	47.5	52.5
	幸せ	419	40.6	59.4
	ふつう	452	22.8	77.2
	あまり幸せではない	45	17.8	82.2
	幸せではない	17	5.9	94.1

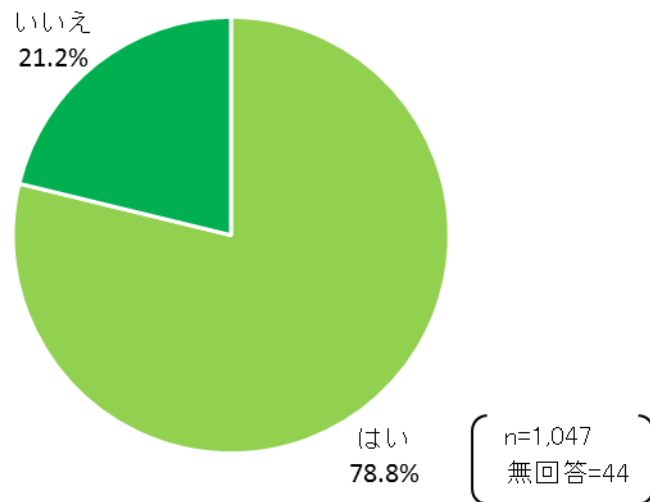
過去1年間に、直売所・スーパー等で地元の農産物を購入しましたか。(A:問12)

過去1年間に、直売所・スーパー等で地元の農産物を購入した市民の割合は、「はい」が78.8%となっており、「いいえ」が21.2%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(83.9%)が男性(73.3%)より10.6ポイント高くなっており、年齢別で見ると、60代が88.2%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が85.8%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20年以上(転入あり)が81.9%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、荻野及び南毛利南が同率で88.0%と最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが82.2%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(26.7%)が女性(16.1%)より10.6ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10代が77.8%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(親との二世帯)が30.6%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10~19年(転入なし)が45.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合南が31.4%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		1,047	78.8	21.2
性別	男性	446	73.3	26.7
	女性	527	83.9	16.1
年齢別	10代	9	22.2	77.8
	20代	69	59.4	40.6
	30代	110	72.7	27.3
	40代	165	77.6	22.4
	50代	193	76.2	23.8
	60代	169	88.2	11.8
	70代	215	86.0	14.0
	80代以上	108	80.6	19.4
世帯構成別	夫婦	331	85.8	14.2
	親子（親との二世代）	134	69.4	30.6
	親子（子との二世代）	236	82.2	17.8
	親子孫（三世代）	46	73.9	26.1
	一人暮らし	241	73.9	26.1
	その他	40	72.5	27.5
居住年数別	20年以上（転入なし）	244	78.7	21.3
	20年以上（転入あり）	470	81.9	18.1
	10～19年（転入なし）	20	55.0	45.0
	10～19年（転入あり）	125	77.6	22.4
	5～9年	75	76.0	24.0
	3～4年	43	76.7	23.3
	2年以下	54	68.5	31.5
居住地区別	厚木北	110	79.1	20.9
	厚木南	57	77.2	22.8
	依知北	72	70.8	29.2
	依知南	55	70.9	29.1
	睦合北	43	81.4	18.6
	睦合南	102	68.6	31.4
	睦合西	41	75.6	24.4
	荻野	117	88.0	12.0
	小鮎	61	78.7	21.3
	南毛利	171	84.2	15.8
	南毛利南	50	88.0	12.0
	玉川	16	81.3	18.8
	相川	63	79.4	20.6
	緑ヶ丘	35	71.4	28.6
	森の里	33	75.8	24.2
	幸福度別	とても幸せ	101	82.2
幸せ		424	79.7	20.3
ふつう		452	79.2	20.8
あまり幸せではない		45	64.4	35.6
幸せではない		17	58.8	41.2

2-3-5 潤い政策

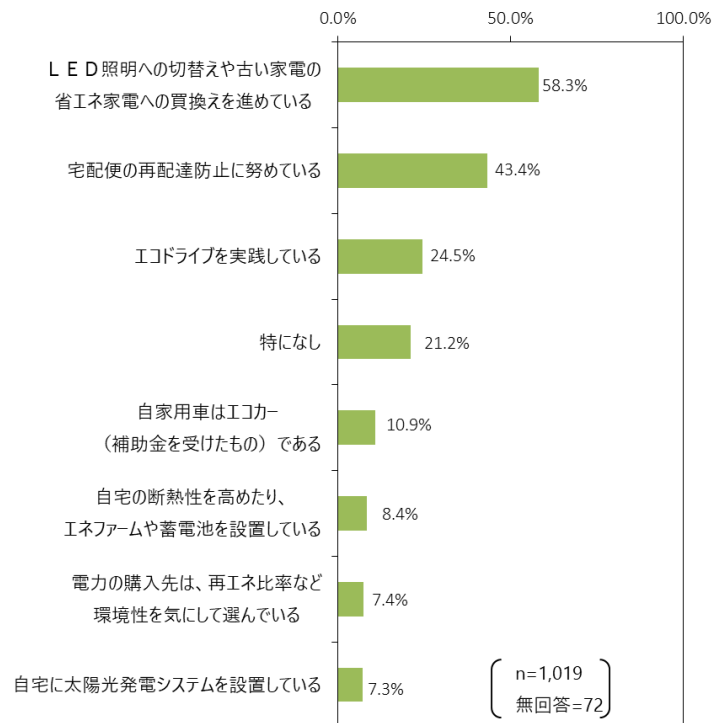
地球温暖化を緩和するために取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(A：問13)

地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある市民の割合は 78.8%となっており、項目としては「LED照明への切替えや古い家電の省エネ家電への買換えを進めている」が 58.3%で最も高く、「自宅に太陽光発電システムを設置している」が 7.3%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「LED照明への切替えや古い家電の省エネ家電への買換えを進めている」を性別で見ると、女性(58.7%)が男性(57.1%)より 1.6 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、60代が 72.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 66.2%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20年以上（転入あり）が 67.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 80.0%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 64.7%で最も高くなっている。

「自宅に太陽光発電システムを設置している」を性別で見ると、男性(8.0%)が女性(6.2%)より 1.8 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70代が 9.6%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 12.8%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20年以上（転入なし）が 11.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合北が 12.5%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	自宅に太陽光発電システムを設置している	自宅の断熱性を高めたり、エネファームや蓄電池を設置している	LED照明への切替えや古い家電の省エネ家電への買換えを進めている	電力の購入先は、再エネ比率など環境性を気にして選んでいる	自家用車はエコカー（補助金を受けたもの）である	エコドライブを実践している	宅配便の再配達防止に努めている	特になし
全体		1,019	7.3	8.4	58.3	7.4	10.9	24.5	43.4	21.2
性別	男性	438	8.0	7.5	57.1	5.9	11.9	29.5	38.6	23.1
	女性	513	6.2	9.2	58.7	8.2	9.7	21.1	47.8	19.5
年齢別	10代	9	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9
	20代	67	7.5	0.0	25.4	1.5	6.0	17.9	26.9	43.3
	30代	109	3.7	5.5	43.1	0.9	8.3	22.0	45.0	25.7
	40代	162	9.3	11.7	48.8	5.6	8.6	29.0	46.9	24.1
	50代	190	8.9	10.0	63.2	5.8	11.1	23.7	50.5	16.8
	60代	166	5.4	10.2	72.9	9.0	16.9	31.9	37.3	13.9
	70代	208	9.6	10.1	71.6	13.5	12.5	26.0	47.1	13.5
	80代以上	101	4.0	4.0	56.4	8.9	8.9	12.9	40.6	26.7
世帯構成別	夫婦	325	6.2	8.0	66.2	9.5	14.2	27.7	41.5	16.6
	親子（親との二世帯）	133	10.5	7.5	47.4	7.5	12.0	21.1	40.6	30.8
	親子（子との二世帯）	228	12.7	12.3	63.6	4.4	11.8	30.7	49.6	15.8
	親子孫（三世帯）	47	12.8	8.5	59.6	12.8	8.5	21.3	38.3	21.3
	一人暮らし	230	2.2	7.8	50.0	6.5	6.5	19.6	43.0	24.8
その他	39	0.0	0.0	48.7	2.6	7.7	15.4	43.6	30.8	
居住年数別	20年以上（転入なし）	237	11.0	10.5	61.6	5.9	11.4	30.4	42.2	19.0
	20年以上（転入あり）	459	6.5	8.3	67.3	11.3	12.4	25.5	46.4	15.0
	10～19年（転入なし）	19	0.0	0.0	26.3	10.5	10.5	21.1	15.8	57.9
	10～19年（転入あり）	122	4.9	10.7	56.6	2.5	12.3	23.8	41.8	23.0
	5～9年	75	9.3	6.7	42.7	1.3	5.3	13.3	44.0	34.7
	3～4年	41	4.9	12.2	29.3	2.4	2.4	7.3	43.9	41.5
	2年以下	52	3.8	0.0	28.8	1.9	7.7	25.0	38.5	28.8
居住地区別	厚木北	109	1.8	6.4	58.7	10.1	10.1	22.0	45.0	23.9
	厚木南	56	7.1	16.1	55.4	8.9	7.1	16.1	48.2	26.8
	依知北	71	5.6	2.8	50.7	8.5	11.3	14.1	40.8	28.2
	依知南	54	5.6	5.6	55.6	5.6	7.4	22.2	40.7	22.2
	睦合北	40	12.5	10.0	62.5	7.5	15.0	25.0	27.5	20.0
	睦合南	98	8.2	6.1	57.1	8.2	8.2	16.3	29.6	24.5
	睦合西	40	7.5	12.5	60.0	0.0	15.0	32.5	45.0	22.5
	荻野	114	12.3	8.8	58.8	6.1	12.3	24.6	50.0	15.8
	小鮎	61	8.2	6.6	57.4	6.6	16.4	32.8	49.2	24.6
	南毛利	166	6.6	9.0	59.6	7.2	7.8	23.5	43.4	18.7
	南毛利南	50	6.0	6.0	72.0	14.0	16.0	40.0	48.0	12.0
	玉川	15	6.7	13.3	80.0	13.3	20.0	26.7	33.3	13.3
	相川	61	8.2	11.5	50.8	4.9	16.4	32.8	45.9	21.3
	緑ヶ丘	34	5.9	11.8	55.9	5.9	5.9	32.4	38.2	26.5
	森の里	31	9.7	16.1	64.5	0.0	9.7	25.8	64.5	9.7
幸福度別	とても幸せ	101	10.9	11.9	61.4	6.9	17.8	32.7	42.6	21.8
	幸せ	414	8.7	10.6	62.8	7.5	9.7	27.3	45.4	18.1
	ふつう	436	6.0	6.0	53.7	8.0	10.3	20.0	41.5	23.2
	あまり幸せではない	45	2.2	6.7	55.6	4.4	13.3	26.7	46.7	22.2
	幸せではない	17	0.0	5.9	64.7	0.0	11.8	23.5	47.1	29.4

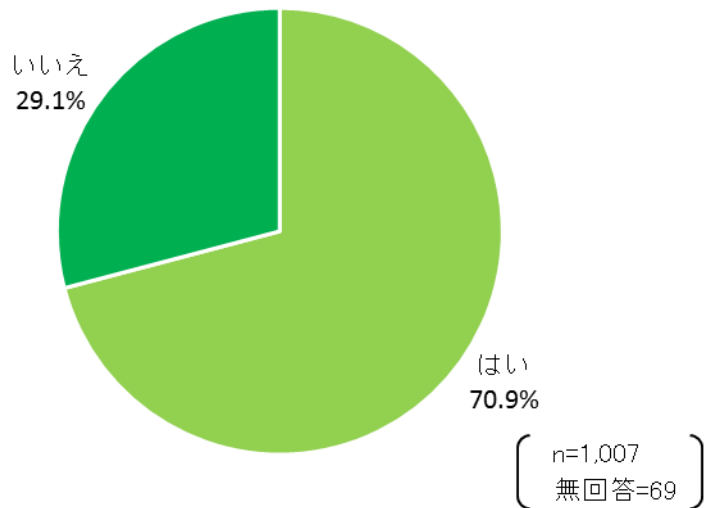
ごみの減量ができていますか。(B：問13)

ごみの減量を意識している市民の割合は、「はい」が70.9%となっており、「いいえ」が29.1%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(72.1%)が男性(68.7%)より3.4ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70代が85.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が76.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20年以上(転入あり)が79.6%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、依知南が81.3%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが76.9%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(31.3%)が女性(27.9%)より3.4ポイント高くなっており、年齢別で見ると、30代が56.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫(三世代)が37.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4年が43.2%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、南毛利南が38.6%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		1,007	70.9	29.1
性別	男性	419	68.7	31.3
	女性	519	72.1	27.9
年齢別	10代	8	75.0	25.0
	20代	65	60.0	40.0
	30代	109	43.1	56.9
	40代	138	60.1	39.9
	50代	180	67.2	32.8
	60代	165	77.6	22.4
	70代	223	85.7	14.3
	80代以上	106	83.0	17.0
世帯構成別	夫婦	306	76.5	23.5
	親子（親との二世代）	142	67.6	32.4
	親子（子との二世代）	232	65.5	34.5
	親子孫（三世代）	48	62.5	37.5
	一人暮らし	225	72.4	27.6
	その他	37	73.0	27.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	256	66.8	33.2
	20年以上（転入あり）	442	79.6	20.4
	10～19年（転入なし）	18	72.2	27.8
	10～19年（転入あり）	117	59.8	40.2
	5～9年	69	63.8	36.2
	3～4年	44	56.8	43.2
	2年以下	46	58.7	41.3
居住地区別	厚木北	128	64.1	35.9
	厚木南	52	67.3	32.7
	依知北	65	70.8	29.2
	依知南	64	81.3	18.8
	睦合北	38	71.1	28.9
	睦合南	82	72.0	28.0
	睦合西	41	65.9	34.1
	荻野	100	79.0	21.0
	小鮎	74	71.6	28.4
	南毛利	160	71.9	28.1
	南毛利南	57	61.4	38.6
	玉川	16	75.0	25.0
	相川	60	66.7	33.3
	緑ヶ丘	19	78.9	21.1
	森の里	30	70.0	30.0
	幸福度別	とても幸せ	108	76.9
幸せ		356	71.3	28.7
ふつう		482	70.1	29.9
あまり幸せではない		41	73.2	26.8
幸せではない		14	35.7	64.3

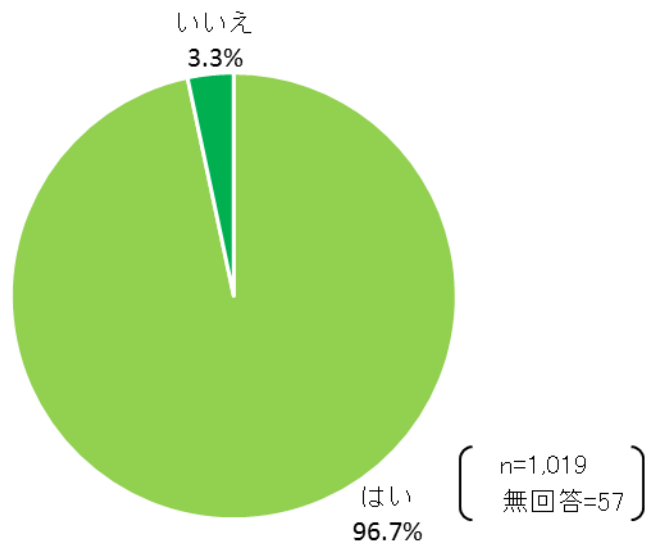
資源の分別ができていますか。(B：問 14)

資源の分別を意識している市民の割合は、「はい」が 96.7%となっており、「いいえ」が 3.3%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性（97.5%）が男性（95.1%）より 2.4 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 100.0%となっている。世帯構成別で見ると、親子（子との二世代）が 98.7%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 100.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、南毛利南と緑ヶ丘が同率で 100.0%と最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 98.2%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性（4.9%）が女性（2.5%）より 2.4 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、30 代が 7.2%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 5.4%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年が 7.6%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、依知北が 7.6%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		1,019	96.7	3.3
性別	男性	425	95.1	4.9
	女性	524	97.5	2.5
年齢別	10代	8	100.0	0.0
	20代	65	95.4	4.6
	30代	111	92.8	7.2
	40代	139	93.5	6.5
	50代	181	97.2	2.8
	60代	169	98.2	1.8
	70代	225	98.2	1.8
	80代以上	108	98.1	1.9
世帯構成別	夫婦	311	96.8	3.2
	親子（親との二世代）	143	95.1	4.9
	親子（子との二世代）	235	98.7	1.3
	親子孫（三世代）	48	95.8	4.2
	一人暮らし	226	95.6	4.4
	その他	37	94.6	5.4
居住年数別	20年以上（転入なし）	258	96.1	3.9
	20年以上（転入あり）	447	98.0	2.0
	10～19年（転入なし）	18	100.0	0.0
	10～19年（転入あり）	119	92.4	7.6
	5～9年	69	97.1	2.9
	3～4年	44	95.5	4.5
	2年以下	48	95.8	4.2
居住地区別	厚木北	130	96.9	3.1
	厚木南	53	92.5	7.5
	依知北	66	92.4	7.6
	依知南	64	95.3	4.7
	睦合北	39	94.9	5.1
	睦合南	82	96.3	3.7
	睦合西	42	97.6	2.4
	荻野	102	98.0	2.0
	小鮎	74	97.3	2.7
	南毛利	161	98.1	1.9
	南毛利南	60	100.0	0.0
	玉川	16	93.8	6.3
	相川	60	96.7	3.3
	緑ヶ丘	19	100.0	0.0
	森の里	30	93.3	6.7
	幸福度別	とても幸せ	109	98.2
幸せ		360	96.4	3.6
ふつう		488	96.5	3.5
あまり幸せではない		42	97.6	2.4
幸せではない		14	92.9	7.1

2-3-6 共創政策

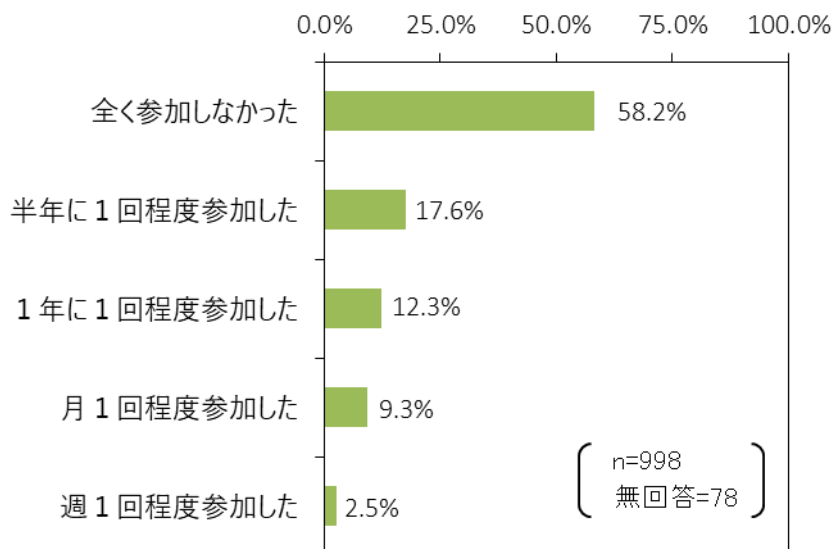
過去1年間に、自治会やボランティア・NPO等の活動に参加しましたか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。(B:問15)

過去1年間に、自治会やボランティア・NPO等の活動に参加した市民の割合は41.8%となっており、項目別では「全く参加しなかった」が58.2%で最も高く、「週1回程度参加した」が2.5%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「全く参加しなかった」を性別で見ると、女性(59.9%)が男性(56.3%)より3.6ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20代が84.8%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが71.2%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2年以下が91.5%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、厚木北が76.9%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが100.0%で最も高くなっている。

「週1回程度参加した」を性別で見ると、男性(2.6%)が女性(2.3%)より0.3ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70代が5.5%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が3.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20年以上(転入あり)が3.5%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合北が5.3%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	週 1 回 程 度 参 加 し た	月 1 回 程 度 参 加 し た	半 年 に 1 回 程 度 参 加 し た	1 年 に 1 回 程 度 参 加 し た	全 く 参 加 し な か っ た
全体		998	2.5	9.3	17.6	12.3	58.2
性別	男性	419	2.6	12.4	18.4	10.3	56.3
	女性	514	2.3	6.6	16.7	14.4	59.9
年齢別	10代	8	0.0	25.0	12.5	0.0	62.5
	20代	66	1.5	6.1	1.5	6.1	84.8
	30代	111	0.0	1.8	10.8	13.5	73.9
	40代	139	0.7	2.9	20.1	13.7	62.6
	50代	178	1.1	7.3	20.2	10.7	60.7
	60代	168	3.6	9.5	17.9	12.5	56.5
	70代	219	5.5	16.0	22.4	13.7	42.5
	80代以上	98	3.1	16.3	14.3	14.3	52.0
世帯構成別	夫婦	305	3.0	13.1	20.7	12.1	51.1
	親子（親との二世帯）	142	1.4	5.6	14.8	11.3	66.9
	親子（子との二世帯）	229	2.6	10.9	18.8	13.1	54.6
	親子孫（三世帯）	48	2.1	8.3	27.1	25.0	37.5
	一人暮らし	222	2.3	5.4	10.4	10.8	71.2
	その他	36	2.8	8.3	16.7	8.3	63.9
居住年数別	20年以上（転入なし）	255	2.7	12.2	18.4	14.5	52.2
	20年以上（転入あり）	432	3.5	11.8	19.0	13.7	52.1
	10～19年（転入なし）	18	0.0	0.0	16.7	16.7	66.7
	10～19年（転入あり）	118	1.7	4.2	19.5	9.3	65.3
	5～9年	68	1.5	1.5	13.2	13.2	70.6
	3～4年	44	0.0	4.5	9.1	2.3	84.1
	2年以下	47	0.0	0.0	4.3	4.3	91.5
居住地区別	厚木北	130	2.3	6.2	8.5	6.2	76.9
	厚木南	53	0.0	9.4	11.3	5.7	73.6
	依知北	67	3.0	3.0	11.9	22.4	59.7
	依知南	62	1.6	9.7	12.9	6.5	69.4
	睦合北	38	5.3	5.3	28.9	13.2	47.4
	睦合南	77	3.9	11.7	15.6	11.7	57.1
	睦合西	42	2.4	9.5	4.8	26.2	57.1
	荻野	100	1.0	12.0	26.0	7.0	54.0
	小鮎	72	4.2	12.5	20.8	12.5	50.0
	南毛利	159	1.9	11.3	15.1	15.1	56.6
	南毛利南	58	3.4	3.4	32.8	13.8	46.6
	玉川	15	0.0	20.0	33.3	33.3	13.3
	相川	57	3.5	8.8	15.8	14.0	57.9
	緑ヶ丘	19	0.0	15.8	15.8	10.5	57.9
	森の里	30	3.3	6.7	40.0	13.3	36.7
幸福度別	とても幸せ	107	7.5	12.1	21.5	14.0	44.9
	幸せ	350	3.1	10.9	21.1	12.0	52.9
	ふつう	480	1.3	7.1	15.0	12.3	64.4
	あまり幸せではない	42	0.0	14.3	11.9	14.3	59.5
	幸せではない	13	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

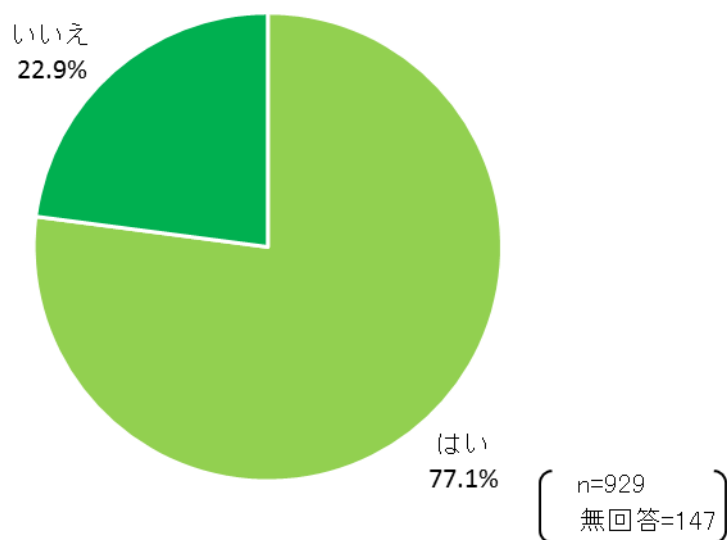
必要な行政情報は入手できていますか。(B：問16)

必要な行政情報を入手できている市民の割合は、「はい」が77.1%となっており、「いいえ」が22.9%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(78.8%)が男性(75.2%)より3.6ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70代が86.4%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫(三世帯)が86.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20年以上(転入あり)が83.7%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ヶ丘が100.0%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが87.1%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(24.8%)が女性(21.2%)より3.6ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20代が48.3%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(親との二世帯)が33.6%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4年が51.2%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、依知北が35.0%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		929	77.1	22.9
性別	男性	395	75.2	24.8
	女性	481	78.8	21.2
年齢別	10代	8	62.5	37.5
	20代	60	51.7	48.3
	30代	112	58.0	42.0
	40代	135	74.8	25.2
	50代	171	81.3	18.7
	60代	154	82.5	17.5
	70代	198	86.4	13.6
	80代以上	82	82.9	17.1
世帯構成別	夫婦	277	81.9	18.1
	親子（親との二世代）	131	66.4	33.6
	親子（子との二世代）	224	80.4	19.6
	親子孫（三世代）	43	86.0	14.0
	一人暮らし	207	71.0	29.0
	その他	34	73.5	26.5
居住年数別	20年以上（転入なし）	235	78.3	21.7
	20年以上（転入あり）	404	83.7	16.3
	10～19年（転入なし）	18	83.3	16.7
	10～19年（転入あり）	112	74.1	25.9
	5～9年	63	66.7	33.3
	3～4年	41	48.8	51.2
	2年以下	43	53.5	46.5
居住地区別	厚木北	123	70.7	29.3
	厚木南	50	80.0	20.0
	依知北	60	65.0	35.0
	依知南	58	79.3	20.7
	睦合北	36	80.6	19.4
	睦合南	74	75.7	24.3
	睦合西	39	69.2	30.8
	荻野	91	74.7	25.3
	小鮎	66	81.8	18.2
	南毛利	146	76.0	24.0
	南毛利南	52	94.2	5.8
	玉川	15	93.3	6.7
	相川	55	74.5	25.5
	緑ヶ丘	15	100.0	0.0
	森の里	29	75.9	24.1
	幸福度別	とても幸せ	101	87.1
幸せ		326	82.5	17.5
ふつう		448	71.4	28.6
あまり幸せではない		36	75.0	25.0
幸せではない		14	57.1	42.9

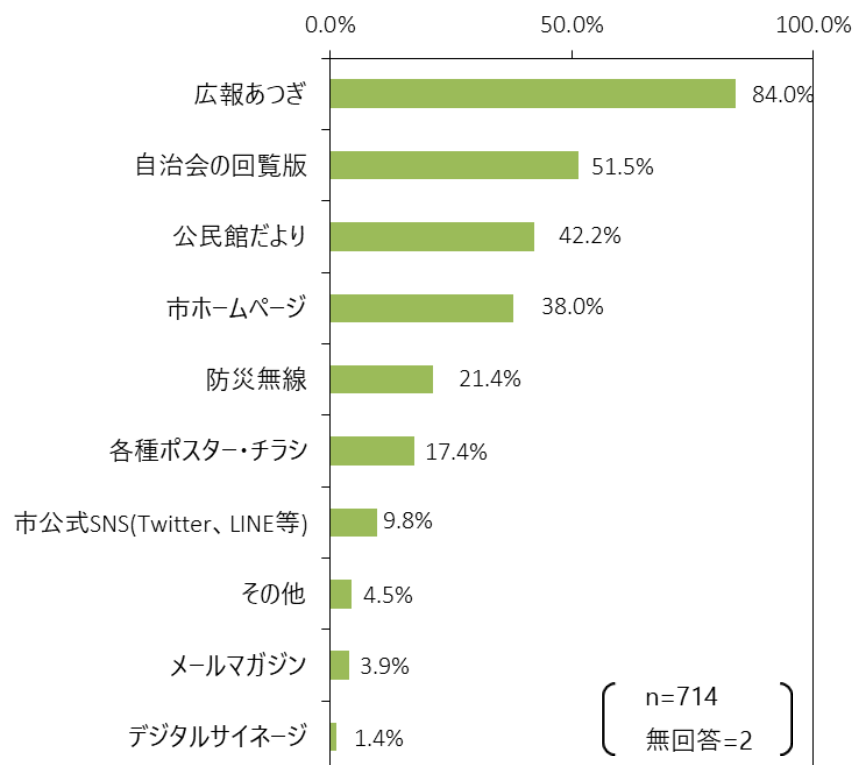
どのような情報媒体から入手していますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(B：問 16-1)

「必要な行政情報は入手できている」と答えた人のうち、どのような情報媒体から入手しているかについては、「広報あつぎ」が84.0%で最も高く、「デジタルサイネージ」が1.4%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「広報あつぎ」を性別で見ると、女性(86.0%)が男性(83.4%)より 2.6 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 97.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 91.2%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 89.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 95.5%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 89.8%で最も高くなっている。

「デジタルサイネージ」を性別で見ると、男性(2.4%)が女性(0.8%)より 1.6 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、50 代が 3.6%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 5.4%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 13.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 4.5%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

	n	広報あつぎ	公民館だより	市ホームページ	市公式SNS (LINE等) (Twitter、	デジタルサイネージ	防災無線	自治会の回覧版	各種ポスター・チラシ	メールマガジン	その他	
全体	714	84.0	42.2	38.0	9.8	1.4	21.4	51.5	17.4	3.9	4.5	
性別	男性	296	83.4	41.9	44.3	6.1	2.4	24.0	48.3	15.2	3.0	5.1
	女性	378	86.0	43.1	34.1	12.4	0.8	19.8	54.5	19.3	4.0	4.0
年齢別	10代	5	80.0	60.0	40.0	0.0	0.0	40.0	80.0	20.0	0.0	0.0
	20代	31	54.8	9.7	51.6	9.7	0.0	6.5	16.1	22.6	0.0	6.5
	30代	64	65.6	18.8	53.1	14.1	3.1	9.4	21.9	14.1	3.1	7.8
	40代	101	80.2	30.7	44.6	12.9	1.0	9.9	34.7	14.9	6.9	5.0
	50代	139	82.7	33.8	48.2	13.7	3.6	20.1	49.6	14.4	5.0	5.0
	60代	127	87.4	43.3	36.2	10.2	1.6	22.8	49.6	15.7	0.8	3.9
	70代	171	92.4	60.8	28.1	6.4	0.0	32.2	74.3	22.8	4.1	4.1
80代以上	67	97.0	62.7	13.4	3.0	0.0	28.4	68.7	13.4	1.5	0.0	
世帯構成別	夫婦	226	91.2	53.1	37.2	9.7	0.9	28.8	61.9	17.3	2.2	3.5
	親子(親との二世帯)	86	77.9	32.6	40.7	11.6	1.2	11.6	41.9	10.5	2.3	5.8
	親子(子との二世帯)	180	86.1	41.7	35.0	12.2	1.7	17.8	55.6	20.0	4.4	5.0
	親子孫(三世帯)	37	86.5	51.4	48.6	8.1	5.4	29.7	70.3	13.5	8.1	5.4
	一人暮らし	147	74.8	29.3	36.7	8.2	1.4	20.4	32.7	18.4	3.4	3.4
その他	25	80.0	40.0	48.0	4.0	0.0	12.0	44.0	12.0	8.0	8.0	
居住年数別	20年以上(転入なし)	183	83.1	46.4	36.1	14.2	1.1	21.3	48.6	19.7	2.2	2.2
	20年以上(転入あり)	337	89.0	48.4	33.5	8.3	0.9	24.3	62.0	15.1	3.3	5.6
	10~19年(転入なし)	15	73.3	33.3	53.3	6.7	13.3	13.3	40.0	13.3	0.0	6.7
	10~19年(転入あり)	83	85.5	34.9	43.4	6.0	2.4	22.9	44.6	19.3	6.0	4.8
	5~9年	42	73.8	28.6	42.9	4.8	2.4	9.5	33.3	21.4	9.5	4.8
	3~4年	20	70.0	5.0	60.0	15.0	0.0	10.0	25.0	10.0	5.0	5.0
	2年以下	23	47.8	0.0	60.9	21.7	0.0	13.0	0.0	13.0	0.0	0.0
居住地区別	厚木北	87	81.6	28.7	39.1	10.3	1.1	20.7	29.9	21.8	1.1	5.7
	厚木南	40	87.5	25.0	37.5	12.5	0.0	25.0	42.5	20.0	2.5	7.5
	依知北	39	79.5	46.2	38.5	7.7	0.0	25.6	64.1	12.8	7.7	5.1
	依知南	45	80.0	42.2	22.2	8.9	0.0	13.3	44.4	8.9	4.4	11.1
	睦合北	29	75.9	34.5	44.8	10.3	0.0	17.2	44.8	6.9	0.0	0.0
	睦合南	56	82.1	46.4	41.1	3.6	1.8	26.8	51.8	14.3	7.1	3.6
	睦合西	27	88.9	33.3	44.4	7.4	3.7	18.5	48.1	18.5	11.1	0.0
	荻野	68	83.8	42.6	35.3	8.8	1.5	16.2	48.5	13.2	2.9	0.0
	小鮎	54	90.7	64.8	29.6	7.4	1.9	22.2	61.1	22.2	0.0	5.6
	南毛利	110	85.5	36.4	48.2	14.5	0.9	22.7	57.3	16.4	4.5	4.5
	南毛利南	49	83.7	51.0	36.7	6.1	4.1	20.4	57.1	18.4	4.1	6.1
	玉川	14	85.7	64.3	21.4	14.3	0.0	50.0	92.9	14.3	0.0	7.1
	相川	41	82.9	43.9	34.1	12.2	2.4	19.5	56.1	17.1	4.9	0.0
	緑ヶ丘	15	86.7	60.0	46.7	13.3	0.0	13.3	66.7	33.3	0.0	6.7
森の里	22	95.5	59.1	31.8	9.1	4.5	31.8	63.6	31.8	0.0	4.5	
幸福度別	とても幸せ	88	89.8	58.0	40.9	13.6	3.4	28.4	67.0	21.6	4.5	4.5
	幸せ	269	83.3	40.9	45.0	12.6	1.5	21.2	52.4	17.5	4.8	4.5
	ふつう	318	83.3	39.3	30.8	6.3	0.9	20.1	47.5	15.4	2.2	4.4
	あまり幸せではない	27	85.2	40.7	44.4	11.1	0.0	18.5	55.6	22.2	7.4	7.4
幸せではない	8	62.5	12.5	37.5	12.5	0.0	25.0	0.0	25.0	12.5	0.0	

3 総括

(1) 実感度について（調査項目 77 項目）

- ・調査項目全 77 項目について、実感している人の割合は、前年度調査と比較して 12 項目において上昇し、65 項目が低下した。
- ・『実感している人の割合が高い』項目は、「日常生活に必要な施設が身近にある」「消防・救急・救助体制の充実」「子育てサービスの充実」の順となっており、市民の日常生活に身近な取組に対して評価されているものと考えられる。
- ・『実感していない人の割合が高い』項目は、「中心市街地のにぎわい」「住環境の整備の取組」「先端技術産業の推進」の順となっている。
- ・前年度調査と比較し、実感度が最も上昇した項目は「市内に利用したい店舗がある」(3.8 ポイント増)で、最も低下した項目は「防犯の取組」、「親と子の健康づくりの取組」(8.0 ポイント減)となった。
- ・『無回答の割合が高い』項目は、「子どもたちが安心して共に学べる取組」「教育支援体制の充実」「子どもたちが自ら課題に取り組む」の順となっており、子育てに関係のない人が無回答とした傾向になったものと考えられる。
- ・『無回答の割合が低い』項目は、「日常生活に必要な施設が身近にある」「緑豊かな生活環境」「日常生活における移動がスムーズ」の順となっており、日常生活に身近な項目は無回答の割合が低い傾向になったものと考えられる。

(2) 重要度について（調査項目 77 項目）

- ・調査項目全 77 項目について、重要視している人の割合は、前年度調査と比較して 40 項目において上昇し、4 項目が横ばい、33 項目が低下した。
- ・『重要視している人の割合が高い』項目は、「消防・救急・救助体制の充実」「安心・安全に通行できる道路環境」「日常生活に必要な施設が身近にある」の順となっており、これらの項目は、実感度も高い項目となっており、生活の中で身近な課題を重要視しているものと考えられる。
- ・『重要視していない人の割合が高い』項目は、「国内友好都市との交流」「あつぎ郷土博物館の取組」「郷土文化の継承と発展の取組」の順となっている。
- ・前年度調査と比較し、重要度が最も上昇した項目は「創業支援や中小企業支援の充実」、「企業誘致が進んでいる」(4.1 ポイント増)で、最も低下した項目は「環境教育や環境学習の取組」(4.8 ポイント減)となった。
- ・「無回答の割合が高い」項目は、「子どもたちが安心して共に学べる取組」「教育支援体制の充実」「子どもたちが自ら課題に取り組む」の順となっており、子育てに関係のない人が無回答とした傾向になったものと考えられる。
- ・「無回答の割合が低い」項目は、「健康づくりの取組」「日常生活に必要な施設が身近にある」「災害対応力の強化の取組」の順となっており、生活に身近な項目は無回答の割合が低い傾向になったものと考えられる。

(3) 実感度と重要度の関係について

- ・調査項目全 77 項目のうち、相対的に実感度が高く、重要度も高い分類Ⅰに分類される項目については、「災害対応力の強化の取組」のほか 24 項目となっている。
- ・相対的に実感度が低く、重要度が高い分類である分類Ⅱに分類される項目については、「災害に備えたハード整備」のほか 14 項目となっている。
- ・相対的に実感度が高く、重要度が低い分類である分類Ⅲに分類される項目については、「文化芸術に親しむ機会の提供」のほか 8 項目となっている。
- ・相対的に実感度が低く、重要度も低い分類である分類Ⅳに分類される項目については、「互いの違いを尊重できるまちづくり」のほか 27 項目となっている。

(4) 市民ニーズについて

- ・『市民ニーズが高い（重要度に対し実感度が低い）』項目は、「防犯の取組」「災害に備えたハード整備」「安心・安全に通行できる道路環境」「地域防災力向上の取組」「災害対応力の強化の取組」の順となっている。

(5) 行動変容について（調査項目 27 項目）

- ・調査項目全 27 項目の実績値については、前年度調査と比較して 18 項目において上昇し、9 項目が低下した。
- ・実績値が高い項目は、「資源の分別を意識している」「健康増進のために取り組んでいることがある」「防犯等の対策について心掛けていることがある」の順となっており、実績値が低い項目は、「市内で文化芸術に親しんでいる」「図書館を利用している」「運動やスポーツを週 3 回以上行っている」の順となっている。
- ・前年度調査と比較し、実績値が最も上昇した項目は「市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした」（9.9 ポイント増）で、最も低下した項目は「厚木の郷土文化に興味がある」（4.5 ポイント減）となった。

(6) 幸福度について

- ・前年度調査と比較し、「とても幸せ」「幸せ」の合計は横ばいとなり、「あまり幸せではない」「幸せではない」の合計は 0.1 ポイント増加した。
- ・「とても幸せ」「幸せ」「ふつう」と回答した人の合計は 94.2%となり、前年度調査と比較し横ばいとなった。

(7) 実感度調査の結果を踏まえた施策の展開について

- ・実感度については、調査項目全 77 項目中、65 項目において実感度の低下が見られたことから、施策の成果と課題について分析を重ね、効果的な事業を展開していく必要がある。一方、12 項目で実感度が上昇しているため、市の施策に対して市民が一定の評価をしていることがうかがえる。

・重要度については、調査項目全 77 項目中、重要視している人の割合は、前年度調査と比較して 40 項目において上昇しており、各施策に市民の関心が高まっていることから、市民ニーズを的確に捉えた施策を推進する必要がある。

・実感度と重要度の関係については、調査項目全 77 項目のうち、相対的に実感度が高く、重要度も高い分類である分類Ⅰに分類される「災害対応力の強化の取組」のほか 24 項目については、市民ニーズに即した取組を引き続き重点的に取り組む必要がある。また、相対的に実感度が低く、重要度が高い分類である分類Ⅱに分類される「災害に備えたハード整備」のほか 14 項目については、市民ニーズを的確に捉え、重点的に改善を図っていく必要がある。

・市民ニーズが高い「防犯の取組」「災害に備えたハード整備」「安心・安全に通行できる道路環境」等については、施策の効果を十分に検証し、更なる積極的な事業推進を図る必要がある。

・行動変容については、調査項目全 27 項目中、前年度調査と比較して 18 項目において実感度の上昇が見られたことで、市の施策に対して市民の行動に変化があったことがうかがえる。一方、9 項目で実績値が低下しているため、回答者の属性等について分析を重ね、施策による市民の行動の変化を促すような取組を進める必要がある。

4 調査票様式

4-1 調査票 A

◆ 市の取組に対する皆様の実感・重要度についてお聞きします。

問1 市のまちづくりの取組状況に対する、現在の実感について、お考えに該当する番号に1つ○をつけてください。

また、それぞれの取組の今後の重要度について、お考えに該当する番号に1つ○をつけてください。

★質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
回答例	1	②	3	4	5	①	2	3	4	5
① 急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進められている。										
1 災害に強いまちの実現について										
① 急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域の防災力向上の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「災害に強いまちの実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度					
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	あまり	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり	重要ではない
2 セーフコミュニティの推進について											
① 事故やけがなどがなく健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
② 交通安全の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
③ 防犯の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
「セーフコミュニティの推進」について、ご意見がありましたら記入してください。											
3 健康寿命延伸の推進について											
① メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
② 市立病院の救急医療体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
③ 市立病院と地域のクリニック等との連携が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
④ 検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
⑤ 介護予防と認知症に対する取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
「健康寿命延伸の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。											

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
4 多様性の尊重と平和都市の推進について										
① 国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 困りごとに対する相談・支援体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 平和についての啓発が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「多様性の尊重と平和都市の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										
5 文化芸術の振興について										
① 文化芸術に親しむ機会が提供されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 郷土文化の継承と発展が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ あつぎ郷土博物館の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「文化芸術の振興」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
6 生涯スポーツの振興について										
① 運動・スポーツ活動の機会が提供されている。 (「運動・スポーツ」には、散歩や階段昇降、サイクリング、キャンプ、釣りなどのレクリエーションやレジャー、健康の維持増進のために行う身体活動も含みます。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ スポーツ施設が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「生涯スポーツの振興」について、ご意見がありましたら記入してください。										
7 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現について										
① 広域交通網(新たなインターチェンジ周辺)の高い利便性をいかした土地利用(都市基盤整備)が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 山地、河川、市街地などの景観が守られている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 新たな産業拠点の創出が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「地域の個性をいかした魅力あるまちの実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
8 安心して働くことができるまちの実現について										
① 就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「安心して働くことができるまちの実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										
9 観光の振興について										
① 大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 観光情報の発信が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「観光の振興」について、ご意見がありましたら記入してください。										
10 農業・林業・水産業の振興について										
① 農地の貸し借りの奨励や新規就農者支援など、農地有効利用の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 地産地消が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「農業・林業・水産業の振興」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
11 地球温暖化対策の推進について										
① 環境教育や環境学習の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 再生可能エネルギーの普及が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 公共交通機関の利用啓発など、省エネの取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「地球温暖化対策の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										
12 自然との共生の推進について										
① 生物多様性の普及や保全が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 里地里山の保全や活用が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 森林整備など、山林の再生が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「自然との共生の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										
13 都市間連携の推進について										
① 防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 国内友好都市との交流が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「都市間連携の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										

◆ 災害への対策・セーフコミュニティについてお聞きします。

問2 地震や風水害などの災害に備えていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1 非常食、飲料水を備えている 2 家具が倒れないよう工夫している 3 住まいの耐震診断を行い補強や改修工事をしている (する予定) 4 避難路の危険な箇所を確認している 5 災害時の避難場所を決めている 6 家族との安否確認の方法を決めている 7 災害時に必要な情報を入手する方法を知っている 8 その他 	9 特になし
--	--------

問3 自転車の安全のために心掛けていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1 自転車に乗る際は、ヘルメットを着用している 2 自転車の走行ルール（原則、車道の左側）を守っている 3 自転車保険に加入している 	4 特になし
--	--------

問4 防犯等の対策について心掛けていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1 防犯ブザーなどの防犯対策グッズを携帯している 2 防犯カメラ、センサーライト、迷惑電話防止機能付電話などの防犯機器を設置している 3 犯罪発生状況等を市ホームページやメール配信サービスなどで確認するようにしている 4 家や車などから少しでも離れる時は必ず鍵をかけている 5 自転車やオートバイ等に二重ロックやシートをかけるなどの防犯対策をしている 6 地域の防犯パトロール、見守り活動などに参加している 	7 特になし
--	--------

◆ 健康づくりについてお聞きします。

問5 健康増進のために取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1 食生活の改善	9 特になし
2 運動	
3 禁煙	
4 適量飲酒	
5 口腔ケア（歯磨き以外）	
6 健康診断	
7 がん検診	
8 その他	

問6 過去1年間に、健康診断やがん検診、人間ドックを受けましたか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1 健康診断	4 いずれも受けていない
2 がん検診	
3 人間ドック	

問7 認知症や寝たきりにならないように、取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1 公民館等で行われる介護予防教室などに参加している	6 専門機関などに相談をしている	10 特になし
2 計画的に運動をして体を動かしている	7 身の回りのことを自分でしている	
3 食べるものなどの食生活に気をつけている	8 家族や友人、知人と交流している	
4 趣味活動を行っている	9 地域の活動に参加している	
5 歯や口腔の健康に気をつけている		

◆ 文化芸術・スポーツ活動についてお聞きします。

問8 過去1年間に、市内で文化芸術に触れましたか。

※文化芸術：芸術（文学、音楽、美術など）、メディア芸術、伝統芸能、芸能、生活文化（茶道、華道、書道など）、国民娯楽（囲碁、将棋など）など

1 はい	2 いいえ
------	-------

問9 厚木の郷土文化に興味がありますか。

※郷土文化：歴史、古墳などの遺跡、郷土芸能、自然など

1 はい	2 いいえ
------	-------

問10 運動・スポーツをどの程度、行っていますか。(運動には、散歩や階段昇降、サイクリング、キャンプ、釣りなどのレクリエーションやレジャー、健康の維持増進のために行う身体活動も含まれます。)次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

1 週に3回以上、行っている	5 行っていない
2 週に1~2回程度、行っている	
3 月に1~3回程度、行っている	
4 年に数回程度、行っている	

◆ 産業の振興についてお聞きします。

問11 過去1年間に、市内の観光スポットへの訪問やイベント参加をしましたか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

問12 過去1年間に、直売所・スーパー等で地元の農産物を購入しましたか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

◆ 環境への配慮についてお聞きします。

問13 地球温暖化を緩和するために取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1 自宅に太陽光発電システムを設置している	8 特になし
2 自宅の断熱性を高めたり、エネファームや蓄電池を設置している	
3 LED照明への切替えや古い家電の省エネ家電への買換えを進めている	
4 電力の購入先は、再エネ比率など環境性を気にして選んでいる	
5 自家用車はエコカー(補助金を受けたもの)である	
6 エコドライブを実践している	
7 宅配便の再配達防止に努めている	

問15 厚木市で暮らすあなたはどの程度幸せですか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

1 とても幸せ	2 幸せ	3 ふつう
4 あまり幸せではない	5 幸せではない	

◆ 今後の厚木市のまちづくりに関して、ご意見がありましたら記入してください。

御協力いただき、誠にありがとうございました。

4-2 調査票 B

◆ 市の取組に対する皆様の実感・重要度についてお聞きします。

問1 市のまちづくりの取組状況に対する現在の実感について、お考えに該当する番号に1つ○をつけてください。

また、それぞれの取組の今後の重要度について、お考えに該当する番号に1つ○をつけてください。

★質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
回答例	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
① 消防・救急・救助体制が充実している。										
	消防等の体制はやや充実していると思う					消防等の体制が充実していることは重要だと思う				
1 消防力の充実・強化について										
① 消防・救急・救助体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 応急手当の普及に向けた取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 火災予防の啓発など、火災予防の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「消防力の充実・強化」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
2 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現について										
① 見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 高齢者に対する福祉サービスや支援が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 障がい者に対する福祉サービスや支援が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										
3 子育て環境の充実について										
① 子育てサービスが充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 保育と幼児教育の提供体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「子育て環境の充実」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
4 学校教育の充実について										
① 子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 安全な教育環境の整備が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「学校教育の充実」について、ご意見がありましたら記入してください。										
5 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進について										
① 地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 家庭・地域・学校の協働が推進されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
6 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進について										
① 日常生活に必要な施設(スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など)が身近にある。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 通勤や買物など日常生活における移動がスムーズにできている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 空き家の対策など住環境の整備の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										
7 魅力ある中心市街地等の形成について										
① 中心市街地(まちなか)の整備が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 中心市街地(まちなか)のにぎわいを感じる。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「魅力ある中心市街地等の形成」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
8 産業・商業の振興について										
① 商店街など、市内に利用したい店舗がある。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 創業支援や中小企業支援が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 企業誘致が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「産業・商業の振興」について、ご意見がありましたら記入してください。										
9 シティプロモーションと定住促進について										
① あつぎの魅力が市内外に発信されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「シティプロモーションと定住促進」について、ご意見がありましたら記入してください。										
10 未来へつなげる循環型都市の実現について										
① ごみの減量化・資源化が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「未来へつなげる循環型都市の実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
11 緑豊かで美しいまちの実現について										
① 身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「緑豊かで美しいまちの実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										
12 河川と共生するまちの実現について										
① 親しみやすい水辺空間が整っている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「河川と共生するまちの実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										
13 市民参加・市民協働の推進について										
① 自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 市の情報媒体(広報あつぎや市ホームページ、デジタルサイネージなど)から、必要な行政情報が発信されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「市民参加・市民協働の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
14 行財政改革の推進について										
① 社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「行財政改革の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										

◆ 救急・火災予防についてお聞きします。

問2 AEDの使い方や心臓マッサージの方法を知っていますか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|------------------|
| 1 | AEDの使い方は知っている |
| 2 | 心臓マッサージの方法は知っている |
| 3 | どちらも知っている |
| 4 | どちらも知らない |

問3 消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っていますか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | 消火器の使い方は知っている |
| 2 | 住宅用火災警報器の点検方法は知っている |
| 3 | どちらも知っている |
| 4 | どちらも知らない |

◆ 地域福祉・生きがいづくりについてお聞きします。

問4 地域の人と日常生活で関わりがありますか。

1 はい 2 いいえ

問5 生きがいを持って生活を送っていますか。

1 はい 2 いいえ

◆ 子育てについてお聞きします。

問6 子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がありますか。

1 はい 2 いいえ

◆ 子どもの教育についてお聞きします。

問7 子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思いますか。

1 はい 2 いいえ

◆ 生涯学習についてお聞きします。

問8 過去1年間に、行事や貸館で公民館を利用しましたか。

1 はい 2 いいえ

問9 過去1年間に、地域や学校の行事に参加又は協力しましたか。

1 はい 2 いいえ

問10 過去1年間に、生涯学習活動をしましたか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

※生涯学習：生涯の様々な場や機会において、自由に学習機会を選択して行う活動

- | | |
|---------------|------------|
| 1 学校の正規課程での学習 | 10 活動していない |
| 2 家庭での学習 | |
| 3 地域活動 | |
| 4 ボランティア活動 | |
| 5 職場での研修 | |
| 6 サークル活動 | |
| 7 スポーツ活動 | |
| 8 レクリエーション活動 | |
| 9 趣味などその他での学習 | |

問11 過去1年間に、行事や貸出で中央図書館、移動図書館、公民館図書室、予約搬送サービスのいずれかを利用しましたか。

※公民館図書室：依知北・睦合北・小鮎・荻野・森の里・玉川・相川・睦合西・南毛利公民館で実施

※予約搬送サービス：依知南・睦合南・緑ヶ丘・愛甲公民館、上荻野分館及び愛甲石田駅連絡所で実施

1 はい	2 いいえ
------	-------

◆ 商業の振興についてお聞きします。

問12 主に利用する店舗の所在地はどこですか。

1 市内 ⇒問12-1へ	2 市外 ⇒問13へ
--------------	------------

問12-1 市内の店舗に行く場合、その目的は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1 買物（生活必需品）
2 買物（生活必需品以外）
3 飲食・喫茶（昼間）
4 飲食・喫茶（夜間）
5 生活関連サービス（理・美容、クリーニング等）

◆ ごみの減量・資源化についてお聞きします。

問13 ごみの減量ができていますか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

問14 資源の分別ができていますか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

◆ 市民活動についてお聞きします。

問15 過去1年間に、自治会やボランティア・NPO等の活動に参加しましたか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

1 週1回程度参加した	5 全く参加しなかった
2 月1回程度参加した	
3 半年に1回程度参加した	
4 1年に1回程度参加した	

◆ 行政情報の入手についてお聞きします。

問 1 6 必要な行政情報は入手できていますか。

1 はい ⇒問 1 6 - 1 へ

2 いいえ ⇒問 1 7 へ

問 1 6 - 1 どのような情報媒体から入手していますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 広報あつぎ
- 2 公民館だより
- 3 市ホームページ
- 4 市公式 SNS(Twitter、LINE 等)
- 5 デジタルサイネージ
- 6 防災無線
- 7 自治会の回覧板
- 8 各種ポスター・チラシ
- 9 メールマガジン
- 10 その他

◆ あなた自身のことについてお聞きします。

問 1 7 あなた自身のことについて伺います。該当する数字に○をつけてください。

(1)性別	1 男性	2 女性	3 その他	4 答えたくない
(2)年齢	1 10代	2 20代	3 30代	4 40代
	5 50代	6 60代	7 70代	8 80代以上
(3)世帯構成	* ご本人を基準に選んでください。			
	1 夫婦	2 親子 (親との二世帯)	3 親子 (子との二世帯)	
	4 親子 (三世帯)	5 一人暮らし	6 その他	
	ア ご家族の中に中学生以下のお子様はいますか。			
	1 いる	2 いない		
	イ ご家族の中に65歳以上の方はいますか。(ご本人を含みます。)			
	1 いる	2 いない		
(4)厚木市での居住年数	1 20年以上 (生まれてからずっと)	2 20年以上 (転入して以来)		
	3 10～19年 (生まれてからずっと)	4 10～19年 (転入して以来)		
	5 5～9年	6 3～4年	7 2年以下	
(5)お住まいの地区	1 厚木北	松枝、元町、東町、厚木町、寿町、吾妻町、水引、栄町、中町、田村町		
	2 厚木南	幸町、泉町、旭町、南町		
	3 依知北	上依知、猿ヶ島、山際、下川入		

4 依知南	関口、中依知、下依知、金田
5 睦合北	三田、三田南、棚沢
6 睦合南	妻田、妻田北、妻田南、妻田東、妻田西
7 睦合西	林、及川、王子1丁目
8 荻野	上荻野、まつかけ台、みはる野、中荻野、下荻野、鳶尾
9 小鮎	飯山、飯山南、上古沢、下古沢、宮の里
10 南毛利	戸室、恩名、温水、温水西、愛名、長谷、毛利台
11 南毛利南	船子、愛甲、愛甲東、愛甲西
12 玉川	小野、七沢、岡津古久
13 相川	岡田、酒井、戸田、下津古久、上落合、長沼
14 緑ヶ丘	緑ヶ丘、王子2丁目、王子3丁目
15 森の里	

問18 厚木市で暮らすあなたはどの程度幸せですか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

1 とても幸せ	2 幸せ	3 ふつう
4 あまり幸せではない	5 幸せではない	

◆ 今後の厚木市のまちづくりに関して、ご意見がありましたら記入してください。

御協力いただき、誠にありがとうございました。

< 参考資料 >

設問一覧及び略称の表記

No	設問名（～と思う市民の割合）	略称 ※
1	急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいる	災害に備えたハード整備
2	災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいる	災害対応力の強化の取組
3	自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいる	地域防災力向上の取組
4	消防・救急・救助体制が充実している	消防・救急・救助体制の充実
5	応急手当の普及に向けた取組が進んでいる	応急手当の普及
6	火災予防の啓発など、火災予防の取組が進んでいる	火災予防の取組
7	事故やけがなどがなく健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されている	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり
8	交通安全の取組が進んでいる	交通安全の取組
9	防犯の取組が進んでいる	防犯の取組
10	見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいる	地域福祉活動の推進
11	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進んでいる	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援
12	高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実している	高齢者福祉施設の整備などの充実
13	高齢者に対する福祉サービスや支援が充実している	高齢者に対する支援の充実
14	障がい者に対する福祉サービスや支援が充実している	障がい者に対する支援の充実
15	支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実している	包括的な支援体制の充実
16	子育てサービスが充実している	子育てサービスの充実
17	保育と幼児教育の提供体制が充実している	保育と幼児教育の充実
18	母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進んでいる	親と子の健康づくりの取組
19	メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実している	休日・夜間医療体制の充実
20	市立病院の救急医療体制が充実している	市立病院の救急医療体制の充実
21	市立病院と地域のクリニック等との連携が充実している	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実
22	検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進んでいる	健康づくりの取組
23	介護予防と認知症に対する取組が進んでいる	介護予防と認知症に対する取組
24	国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいる	互いの違いを尊重できるまちづくり
25	困りごとに対する相談・支援体制が充実している	困りごとに対する相談・支援体制の充実
26	平和についての啓発が進んでいる	平和についての啓発の推進
27	子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっている	子どもたちが自ら課題に取り組む
28	教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実している	教育支援体制の充実
29	安全な教育環境の整備が進んでいる	安全な教育環境の整備
30	人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進んでいる	子どもたちが安心して共に学べる取組
31	地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進んでいる	社会教育の取組
32	家庭・地域・学校の協働が推進されている	家庭・地域・学校の協働の推進
33	生涯学習活動の支援や気軽に活動できる学習環境の整備が進んでいる	生涯学習活動の支援や環境の整備
34	青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が進んでいる	青少年の健全育成の取組
35	文化芸術に親しむ機会が提供されている	文化芸術に親しむ機会の提供
36	郷土文化の継承と発展の取組が進んでいる	郷土文化の継承と発展の取組
37	あつぎ郷土博物館の取組が進んでいる	あつぎ郷土博物館の取組

38	運動・スポーツ活動の機会が提供されている	運動・スポーツ活動の機会提供
39	スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実している	競技力を向上するための取組
40	スポーツ施設が充実している	スポーツ施設の充実
41	日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にある	日常生活に必要な施設が身近にある
42	安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいる	安心・安全に通行できる道路環境
43	通勤や買い物など日常生活における移動がスムーズにできている	日常生活における移動がスムーズ
44	空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいる	住環境の整備の取組
45	中心市街地の整備が進んでいる	中心市街地の整備
46	中心市街地ののにぎわいを感じている	中心市街地ののにぎわい
47	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用が進められている	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用
48	山地、河川、市街地などの景観が守られている	景観が守られている
49	新たな産業拠点の創出が進んでいる	新たな産業拠点の創出
50	商店街など、市内に利用したい店舗がある	市内に利用したい店舗がある
51	創業支援や中小企業支援が充実している	創業支援や中小企業支援の充実
52	企業誘致が進んでいる	企業誘致の推進
53	様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られている	先端技術産業の推進
54	就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援と勤労者への支援が充実している	就労支援と勤労者への支援の充実
55	大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進んでいる	広域の観光に対する取組
56	温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られている	観光資源の活性化
57	観光情報の発信が充実している	観光情報の発信の充実
58	本市の魅力が市内外に発信されている	本市の魅力発信
59	親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいる	定住促進の取組
60	農地の貸し借りの奨励や新規就農者支援など、農地有効利用の取組が進んでいる	農地有効利用の取組
61	地産地消が進んでいる	地産地消の推進
62	環境教育や環境学習の取組が進んでいる	環境教育や環境学習の取組
63	再生可能エネルギーの普及が進んでいる	再生可能エネルギーの普及
64	公共交通機関の利用啓発など、省エネの取組が進んでいる	省エネの取組
65	ごみの減量化、資源化が進んでいる	ごみの減量化、資源化の推進
66	生物多様性の普及や保全が進んでいる	生物多様性の普及や保全
67	里地里山の保全や活用が進んでいる	里地里山の保全や活用
68	森林整備など山林の再生が進んでいる	山林の再生の推進
69	身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っている	緑豊かな生活環境
70	地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っている	清潔で快適な生活環境
71	親しみやすい水辺空間が整っている	親しみやすい水辺空間
72	自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいる	協働によるまちづくり
73	市の情報媒体から必要な行政情報が発信されている	必要な行政情報の発信
74	社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われている	変化やニーズに対応した行政運営
75	小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進んでいる	公共施設の老朽化に対する取組
76	防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進んでいる	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携
77	国内友好都市との交流が進んでいる	国内友好都市との交流

※報告書の本文や図表中では、設問名を略称で表記している。

令和5年度施策評価結果について（概要）

1 目的

- (1) 第10次厚木市総合計画の進行管理
- (2) 市民に対する説明責任（アカウンタビリティ）
- (3) 効率的で質の高い施策の実現
 - ア 施策の目標等の共有化・職員の意識改革
 - イ 事務事業（実施計画事業）の効果的・効率的な推進

2 評価対象

第10次厚木市総合計画第1期基本計画に位置付ける27の基本施策

【対象年度：令和4年度】

3 評価方法

第10次厚木市総合計画第1期基本計画の施策の達成目標に位置付ける「代表となる指標」、
「市民実感度」及び第1期実施計画事業に位置付ける「事業指標」の目標値に対する達成率を点数化し、各基本施策の総合得点を4段階の評価区分で評価する。また、厚木市総合計画審議会からの意見を踏まえ、総合的な評価を行っている。

総合得点	評価区分
90点以上	A 順調
80点以上 90点未満	B おおむね順調
60点以上 80点未満	C やや遅れ
60点未満	D 遅れ

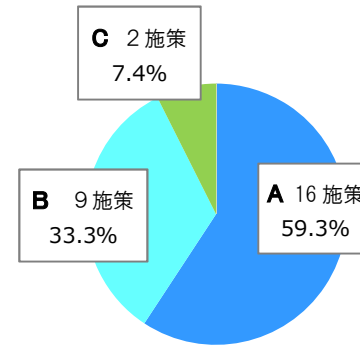
4 評価者

厚木市行政評価委員会（庁内組織）

5 評価結果の活用

評価結果は、実施計画の着実な推進や今後の政策立案に活用するとともに、部・課等のマネジメントツール、総合計画の進行管理及び予算編成等の資料として活用する。

6 総合評価区分による評価結果



基本政策	年度	A	B	C	D	Aの割合
1 安心政策（3施策）	R5	2	1	0	0	66.7%
	R4	3	0	0	0	100.0%
2 輝き政策（4施策）	R5	3	0	1	0	75.0%
	R4	4	0	0	0	100.0%
3 成長政策（4施策）	R5	2	2	0	0	50.0%
	R4	4	0	0	0	100.0%
4 発展政策（8施策）	R5	5	3	0	0	62.5%
	R4	6	1	1	0	75.0%
5 潤い政策（5施策）	R5	2	3	0	0	40.0%
	R4	5	0	0	0	100.0%
6 共創政策（3施策）	R5	2	0	1	0	66.7%
	R4	3	0	0	0	100.0%
全施策（27施策）	R5	16	9	2	0	59.3%
	R4	25	1	1	0	92.6%

7 行政評価委員会及び総合計画審議会における評価結果（総論）

(1) 行政評価委員会

令和4年度を対象とした令和5年度施策評価については、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の縮小・中止などがあったが、年間を通して緊急事態宣言等が発出されなかったため、新型コロナウイルス感染症による影響を除外せずに評価を行った。

この結果、27の基本施策のうち、16施策において総合評価A（順調）、9施策において総合評価B（おおむね順調）、2施策において総合評価C（やや遅れ）となり、令和4年度の施策評価結果と比較すると、総合評価Aが9施策減少、総合評価Bが8施策増加、総合評価Cが1施策増加し、全体の評価結果は低下しているが、新型コロナウイルス感染症の影響が残っている中で、施策全体の9割以上において、「順調」又は「おおむね順調」となったことは、計画どおりの成果を挙げることができたものと評価する。

しかしながら、市民実感度については、令和3年度結果と比較すると、77項目中、65項目において低下しているため、総合計画審議会からの指摘のとおり、市民の皆様が真に求めているものを的確に把握し、それらを事業に反映して取り組むとともに、取組の成果を市民の皆様が身近に感じていただけるように、情報発信をより一層行う必要がある。

また、近年のコロナ禍を踏まえ、工夫を凝らしながら取組を進めてきたが、目標値を達成することができなかった施策・事業については、課題を抽出し十分に検討するとともに、施策の方向に即した取組を着実に進めなければならない。

第2期実施計画の策定に当たっては、将来にわたって魅力あふれるまちであり続けるため、市民ニーズや社会経済環境の変化などの課題への対応とともに、計画の実効性を一層高める取組を推進する必要がある。特に、都市間連携による「強いエリア」「魅力あるエリア」の創造と、本市の可能性を磨き上げていく厚木の魅力創造に向けて、施策横断的に取り組むことが求められる。

(2) 総合計画審議会

令和4年度を対象とした令和5年度の施策評価は、総合評価Aが16施策、総合評価Bが9施策、総合評価Cが2施策と、9割以上の施策において「順調」又は「おおむね順調」という結果になり、個別課題はあるものの計画どおりに進捗したものと考える。

しかし、令和4年度の施策評価結果と比較すると、総合評価Aが9施策減少、総合評価Bが8施策増加、総合評価Cが1施策増加し、全体の評価結果は低下している。

この結果を真摯に受け止め、進捗の芳しくない事業については、しっかりと検証する必要がある。しかしながら、低下した要因の多くは、令和4年度は年間を通して新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等が発出されなかったため、新型コロナウイルス感染症による影響を除外せずに評価を行った結果によるものと考察される。また、令和3年度と比較して実績値が上昇している指標があるなど、新型コロナウイルス感染症の影響が残っている中で創意工夫を凝らしながら事業を進めたことは評価できる。

市民実感性については、令和3年度結果と比較すると、全体的に低下しているため、市民ニーズに即した事業に取り組むとともに、市民の皆様に取り組の成果を実感してもらえるよう、更なる情報発信に努められたい。

これまで、新型コロナウイルス感染症の影響により、一定の制約の中で事業を進める必要があったことから、施策の進捗について正確に評価することが難しい状況であった。今後、コロナ禍で浮き彫りとなった課題を十分に検証し、より一層施策の推進を図る取組が求められる。

第2期実施計画の策定に当たっては、施策の成果をより明確に把握することができる指標を設定するなど、適切な進行管理が行え、確実な施策の推進が図られる計画となるよう、十分に検討を行われたい。

【点数化の方法】

ア 代表となる指標 [配点:50点]

第10次厚木市総合計画第1期基本計画の各基本施策に位置付ける「代表となる指標」の令和4年度の目標値に対する達成率を点数化する。	
達成率(%)×50点	【例】達成率100%の場合 100%×50点=50点 達成率50%の場合 50%×50点=25点 達成率0%の場合 0%×50点=0点

イ 市民実感性 [配点:30点]

第10次厚木市総合計画第1期基本計画の各基本施策に位置付ける「市民実感性」の令和4年度の目標値に対する達成率を点数化する。	
達成率(%)×30点	【例】達成率100%の場合 100%×30点=30点 達成率50%の場合 50%×30点=15点 達成率0%の場合 0%×30点=0点

ウ 実施計画事業指標 [配点:20点]

第10次厚木市総合計画第1期実施計画の各事業に位置付ける指標の令和4年度の目標値に対する達成率を点数化する。	
達成率(%)×20点	【例】達成率100%の場合 100%×20点=20点 達成率50%の場合 50%×20点=10点 達成率0%の場合 0%×20点=0点

【基本施策別の評価結果】

基本政策	基本施策	令和5年度結果		令和4年度結果	
		総合得点	総合評価	総合得点	総合評価
1 安心政策	1 災害に強いまちの実現	90.9	A	96.3	A
	2 消防力の充実・強化	93.3	A	98.8	A
	3 セーフコミュニティの推進	85.2	B	95.8	A
2 輝き政策	1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	91.0	A	97.5	A
	2 子育て環境の充実	95.8	A	98.3	A
	3 健康寿命延伸の推進	90.6	A	97.3	A
	4 多様性の尊重と平和都市の推進	75.5	C	93.3	A
3 成長政策	1 学校教育の充実	96.9	A	98.1	A
	2 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	92.9	A	98.3	A
	3 文化芸術の振興	83.4	B	99.4	A
	4 生涯スポーツの振興	88.5	B	90.0	A
4 発展政策	1 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	85.9	B	89.7	B
	2 魅力ある中心市街地等の形成	85.3	B	93.9	A
	3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	97.9	A	99.3	A
	4 産業・商業の振興			77.3	C
	5 安心して働くことができるまちの実現	93.5	A	100.0	A
	6 観光の振興	90.3	A	98.4	A
	7 シティプロモーションと定住促進	86.5	B	94.9	A
	8 農業・林業・水産業の振興	96.2	A	98.9	A
5 潤い政策	1 地球温暖化対策の推進	88.4	B	98.1	A
	2 未来へつなげる循環型都市の実現	95.5	A	97.9	A
	3 自然との共生の推進	85.1	B	98.3	A
	4 緑豊かで美しいまちの実現	92.5	A	97.1	A
	5 河川と共生するまちの実現	83.6	B	92.4	A
6 共創政策	1 市民参加・市民協働の推進	96.6	A	99.9	A
	2 行財政改革の推進	93.8	A	97.7	A
	3 都市間連携の推進	75.7	C	97.0	A

■ : 令和4年度と比較し総合評価結果が低下した施策
■ : 令和4年度と比較し総合評価結果が上昇した施策

**令和5年度
施策評価結果報告書**
(対象年度 令和4年度)

第10次
**厚木市
総合計画**

令和5年10月

厚 木 市

目次

1	令和5年度施策評価について	1
1	1 目的	
2	2 評価対象	
3	3 評価方法	
4	4 評価者	
5	5 評価結果の活用	
2	実感度と重要度の関係について	3
1	1 実感度と重要度の関係	
2	2 各分類の意味付け	
3	3 スコア化の方法	
4	4 令和4年度市民実感度調査結果に基づく分類	
3	令和5年度施策評価結果（総論）	6
4	令和5年度施策評価結果	8
1	1 全体の評価結果	
2	2 基本政策別の評価結果	
3	3 基本施策別の評価結果	
5	第10次総合計画第1期基本計画指標達成状況	9
1	1 代表となる指標	9
2	2 市民実感度	13
6	施策評価シート	15
	施策評価シートの見方	16
1	1 命、財産を守り抜くまち（安心政策）	19
1	1 災害に強いまちの実現	20
2	2 消防力の充実・強化	26
3	3 セーフコミュニティの推進	32
2	2 支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）	37
1	1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	38
2	2 子育て環境の充実	46
3	3 健康寿命延伸の推進	52
4	4 多様性の尊重と平和都市の推進	58

3	夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）	65
1	学校教育の充実	66
2	地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	72
3	文化芸術の振興	78
4	生涯スポーツの振興	82
4	人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）	87
1	誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	88
2	魅力ある中心市街地等の形成	94
3	地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	98
4	産業・商業の振興	104
5	安心して働くことができるまちの実現	110
6	観光の振興	114
7	シティプロモーションと定住促進	120
8	農業・林業・水産業の振興	124
5	環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）	131
1	地球温暖化対策の推進	132
2	未来へつなげる循環型都市の実現	138
3	自然との共生の推進	144
4	緑豊かで美しいまちの実現	148
5	河川と共生するまちの実現	152
6	市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）	157
1	市民参加・市民協働の推進	158
2	行財政改革の推進	164
3	都市間連携の推進	170

1 令和5年度施策評価について

1 目的

(1) 第10次厚木市総合計画の進行管理

本市の行政運営を総合的かつ計画的に進めるための最高指針である第10次厚木市総合計画の目標に対する達成状況などについて検証を行い、より一層の市民満足度の向上や効果的・効率的な行政運営を推進する。

(2) 市民に対する説明責任(アカウンタビリティ)

施策の達成状況や今後の方向性を公表し、市民の皆様との共有を図ることにより、透明性の高い信頼される市政運営を推進する。

(3) 効率的で質の高い施策の実現

ア 施策の目標等の共有化・職員の意識改革

本市の現状を認識し、施策評価を通じて施策の目標や課題を共有することで、職員一人一人が目指すべき方向性を意識し、事務事業の改善や新たな政策立案につなげる。

イ 事務事業(実施計画事業)の効果的・効率的な推進

施策を構成する事務事業(実施計画事業)について、効果的な事業展開が図られているかを評価することにより、より一層の市民満足度の向上や効果的・効率的な施策の推進を図る。

2 評価対象

第10次厚木市総合計画第1期基本計画に位置付ける27の基本施策

【対象年度:令和4年度】

3 評価方法

第10次厚木市総合計画第1期基本計画の施策の達成目標に位置付ける「代表となる指標」、「市民実感度」及び第1期実施計画事業に位置付ける「事業指標」の目標値に対する達成率を点数化し、各基本施策の総合得点を4段階の評価区分で評価する。また、厚木市総合計画審議会からの意見を踏まえ、総合的な評価を行う。

(1) 点数化の方法

ア 代表となる指標 [配点:50点]

第10次厚木市総合計画第1期基本計画の各基本施策に位置付ける「代表となる指標」の令和4年度の目標値に対する達成率を点数化する。

達成率(%)×50点	【例】 達成率 100%の場合 100%×50点=50点 達成率 50%の場合 50%×50点=25点 達成率 0%の場合 0%×50点=0点
------------	---

イ 市民実感度 [配点:30点]

第10次厚木市総合計画第1期基本計画の各基本施策に位置付ける「市民実感度」の令和4年度の目標値に対する達成率を点数化する。

達成率(%)×30点	【例】 達成率 100%の場合 100%×30点=30点 達成率 50%の場合 50%×30点=15点 達成率 0%の場合 0%×30点=0点
------------	---

ウ 実施計画事業指標 [配点:20点]

第10次厚木市総合計画第1期実施計画の各事業に位置付ける指標の令和4年度の目標値に対する達成率を点数化する。

達成率(%)×20点	【例】 達成率 100%の場合 100%×20点=20点 達成率 50%の場合 50%×20点=10点 達成率 0%の場合 0%×20点=0点
------------	---

(2) 総合評価区分

総合得点	評価区分	
90 点以上	A	順調
80 点以上 90 点未満	B	おおむね順調
60 点以上 80 点未満	C	やや遅れ
60 点未満	D	遅れ

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響について

令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標もあったが、年間を通じて緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が発出されなかったため、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標についても、評価対象から除外せず、総合得点を算出する。

4 評価者

厚木市行政評価委員会

5 評価結果の活用

評価結果は、実施計画の着実な推進や今後の政策立案に活用するとともに、部・課等のマネジメントツール、総合計画の進行管理及び予算編成等の資料として活用する。

2 実感度と重要度の関係について

1 実感度と重要度の関係

市民実感度調査では、市の取組に対する実感度と併せて、その取組がどのくらい重要と考えているか、重要度についても調査している。

施策の推進に当たっては、市民の皆様が評価した実感度と重要度の関係を考慮する必要があることから、77項目の実感度と重要度の結果をスコア化し、それらを基に各取組をⅠからⅣに分類する。

分類	実感度	重要度
Ⅰ	高い	高い
Ⅱ	低い	高い
Ⅲ	高い	低い
Ⅳ	低い	低い

2 各分類の意味付け

実感度と重要度の関係を用いた各分類の一般的な意味付けは次のとおりである。

(1) 分類Ⅰ（重点維持項目）

全取組のうち、相対的に実感度が高く、重要度も高い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、市民ニーズに即した取組ができていると考えられる。現在の水準を維持しつつ、引き続き重点的に取り組む必要がある。

(2) 分類Ⅱ（重点改善項目）

全取組のうち、相対的に実感度が低く、重要度が高い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、市民ニーズがあるにもかかわらず、その期待に応えられていない取組であると考えられる。取組の必要性が認識されているものの、取組の向上や改善に対する市民ニーズが高い項目とも言え、市民ニーズを的確に捉え、重点的に改善を図っていく必要がある。

(3) 分類Ⅲ（維持項目）

全取組のうち、相対的に実感度が高く、重要度が低い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、必要性の認識は低いものの、成果は実感している取組であると考えられる。着実に取組を進めるとともに、取組の重要性の認識を深めていただく必要がある。また、市民ニーズを上回る行政サービスを提供している可能性についても検証する必要がある。

(4) 分類Ⅳ（改善項目）

全取組のうち、相対的に実感度が低く、重要度も低い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、取組の向上や改善に対する一定のニーズはあるものの、その必要性の認識は低い取組であると考えられる。取組の重要性を更に認知していただくとともに、取組の方向性の改善を検討する必要がある。

また、市民の関心度が低い取組であることから、取組によっては行政で対応すべきかを検証する必要がある。

3 スコア化の方法

スコア化に当たっては、平均する各項目の条件の差異を考慮に入れ、対応する重み(大小)をつけてから平均する加重平均により、次のとおりの計算を行う。

■項目のスコア化

$$\text{実感度} = \frac{\begin{aligned} & \text{「そう思う」} \times 2 \text{点} + \text{「ややそう思う」} \times 1 \text{点} + \text{「どちらでもない」} \times 0 \text{点} \\ & + \text{「あまりそう思わない」} \times (-1 \text{点}) + \text{「そう思わない」} \times (-2 \text{点}) \end{aligned}}{\text{有効回収数} - \text{無回答}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\begin{aligned} & \text{「重要」} \times 2 \text{点} + \text{「やや重要」} \times 1 \text{点} + \text{「どちらでもない」} \times 0 \text{点} \\ & + \text{「あまり重要でない」} \times (-1 \text{点}) + \text{「重要でない」} \times (-2 \text{点}) \end{aligned}}{\text{有効回収数} - \text{無回答}}$$

(例)「急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいる」の実感度に関して、有効回収数は 1,091 人で、そのうち、「そう思う」が 44 人、「ややそう思う」が 308 人、「どちらでもない」が 335 人、「あまりそう思わない」が 197 人、「そう思わない」が 40 人、「無回答」が 167 人であった場合、

計算式は、

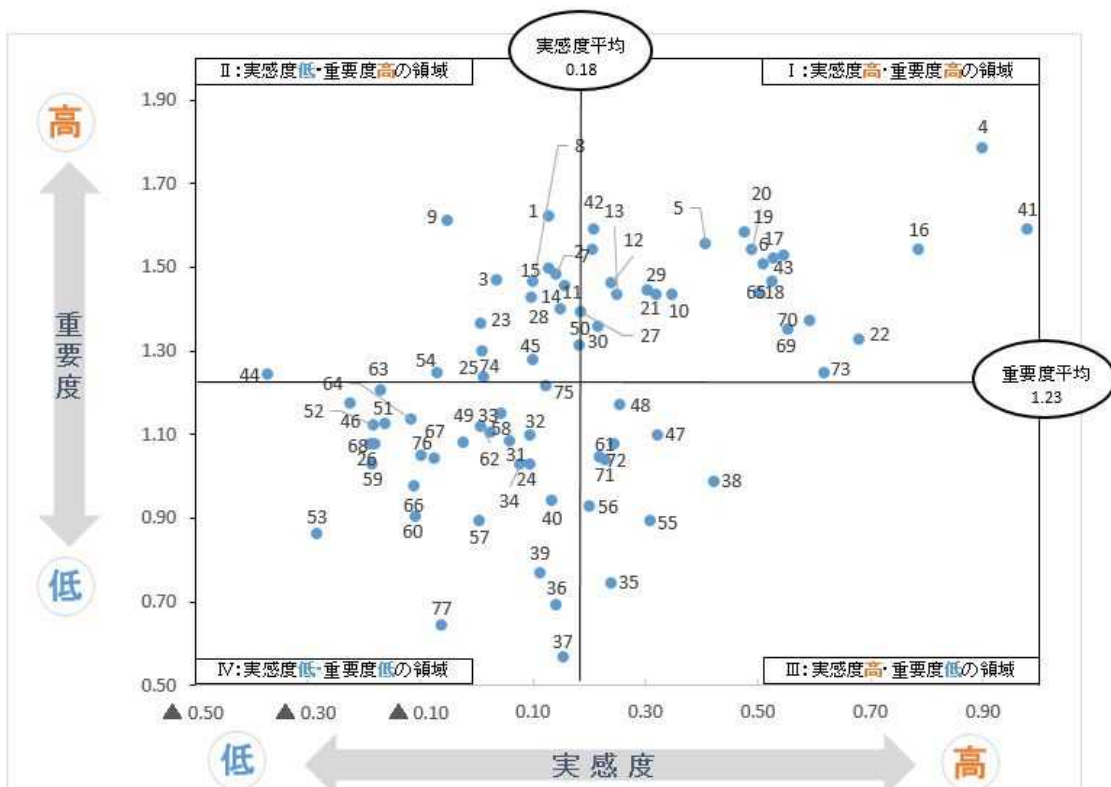
$$\frac{(44 \text{人} \times 2 \text{点}) + (308 \text{人} \times 1 \text{点}) + (335 \text{人} \times 0 \text{点}) + (197 \text{人} \times (-1 \text{点})) + (40 \text{人} \times (-2 \text{点}))}{1,091 \text{人} - 167 \text{人}}$$

≒0.13 となり、「急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいる」の実感度のスコアは、0.13 となる。

■各施策の分類

- ・上記の方法で算出したスコアを基に、実感度のスコアを横軸、重要度のスコアを縦軸として分布図を作成し、各項目进行分类する。
- ・2本の補助軸は、実感度及び重要度の全項目の平均値を示したものである。

4 令和4年度市民実感度調査結果に基づく分類



分類	番号	項目(～と思う市民の割合)	実感度	重要度	分類	番号	項目(～と思う市民の割合)	実感度	重要度	
I 実感度：高い 重要度：高い	2	災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいる	0.21	1.54	III 実感度：高い 重要度：低い	35	文化芸術に親しむ機会が提供されている	0.24	0.74	
	4	消防・救急・救助体制が充実している	0.90	1.78		38	運動・スポーツ活動の機会が提供されている	0.42	0.99	
	5	応急手当の普及に向けた取組が進んでいる	0.41	1.56		47	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用が進められている	0.32	1.10	
	6	火災予防の啓発など、火災予防の取組が進んでいる	0.51	1.51		48	山地、河川、市街地などの景観が守られている	0.26	1.17	
	10	見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいる	0.35	1.44		55	大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進んでいる	0.31	0.89	
	12	高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実している	0.24	1.46		56	温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られている	0.20	0.93	
	13	高齢者に対する福祉サービスや支援が充実している	0.25	1.44		61	地産地消が進んでいる	0.23	1.04	
	16	子育てサービスが充実している	0.79	1.54		71	親しみやすい水辺空間が整っている	0.22	1.04	
	17	保育と幼児教育の提供体制が充実している	0.53	1.52		72	自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいる	0.24	1.08	
	18	母子保健など、親子の健康づくりの取組が進んでいる	0.50	1.44		IV 実感度：低い 重要度：低い	24	国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいる	0.10	1.03
	19	メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実している	0.48	1.58			26	平和についての啓発が進んでいる	▲ 0.19	1.08
	20	市立病院の救急医療体制が充実している	0.49	1.54	31		地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進んでいる	0.06	1.08	
	21	市立病院と地域のクリニック等との連携が充実している	0.32	1.43	32		家庭・地域・学校の協働が推進されている	0.10	1.10	
	22	検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進んでいる	0.68	1.33	33		生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進んでいる	0.02	1.11	
	27	子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっている	0.19	1.39	34		青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が充実している	0.08	1.03	
	29	安全な教育環境の整備が進んでいる	0.30	1.44	36		郷土文化の継承と発展の取組が進んでいる	0.14	0.69	
	30	人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進んでいる	0.22	1.36	37		あつぎ郷土博物館の取組が進んでいる	0.15	0.57	
	41	日常生活に必要な施設(スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など)が身近にある	0.98	1.59	39		スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実している	0.11	0.77	
	42	安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいる	0.21	1.59	40		スポーツ施設が充実している	0.13	0.94	
	43	通勤や買物など日常生活における移動がスムーズにできている	0.55	1.53	46		中心市街地のにぎわいを感じている	▲ 0.22	1.17	
	50	商店街など、市内に利用したい店舗がある	0.18	1.31	49	新たな産業拠点の創出が進んでいる	▲ 0.02	1.08		
	65	ごみの減量化・資源化が進んでいる	0.53	1.47	51	創業支援や中小企業支援が充実している	▲ 0.16	1.12		
69	身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っている	0.55	1.35	52	企業誘致が進んでいる	▲ 0.18	1.12			
70	地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っている	0.59	1.37	53	様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られている	▲ 0.28	0.86			
73	市の情報媒体から必要な行政情報が発信されている	0.62	1.25	57	観光情報の発信が充実している	0.01	0.89			
II 実感度：低い 重要度：高い	1	急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいる	0.13	1.62	58	本市の魅力が市内外に発信されている	0.04	1.15		
	3	自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいる	0.04	1.47	59	親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいる	▲ 0.18	1.03		
	7	事故やけがなどが無い健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されている	0.14	1.48	60	農地の貸し借りの奨励や新規就農者支援など、農地有効利用の取組が進んでいる	▲ 0.11	0.90		
	8	交通安全の取組が進んでいる	0.10	1.46	62	環境教育や環境学習の取組が進んでいる	0.01	1.12		
	9	防犯の取組が進んでいる	▲ 0.05	1.61	63	再生可能エネルギーの普及が進んでいる	▲ 0.17	1.21		
	11	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進んでいる	0.15	1.40	64	公共交通機関の利用啓発など、省エネの取組が進んでいる	▲ 0.12	1.13		
	14	障がい者に対する福祉サービスや支援が充実している	0.16	1.45	66	生物多様性の普及や保全が進んでいる	▲ 0.11	0.98		
	15	支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実している	0.13	1.49	67	里地里山の保全や活用が進んでいる	▲ 0.07	1.04		
	23	介護予防と認知症に対する取組が進んでいる	0.01	1.36	68	森林整備など山林の再生が進んでいる	▲ 0.18	1.08		
	25	困りごとに対する相談・支援体制が充実している	0.01	1.24	75	小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進んでいる	0.12	1.22		
	28	教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実している	0.10	1.43	76	防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進んでいる	▲ 0.10	1.05		
	44	空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいる	▲ 0.37	1.24	77	国内友好都市との交流が進んでいる	▲ 0.06	0.64		
	45	中心市街地の整備が進んでいる	0.10	1.28						
	54	就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実している	▲ 0.07	1.25						
	74	社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われている	0.01	1.30						
							平均値	0.18	1.23	

(注) 網かけは、実感度又は重要度の平均値を下回っている項目を示す。

3 令和5年度施策評価結果（総論）

【総合評価】

令和4年度を対象とした令和5年度施策評価については、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の縮小・中止などがあったが、年間を通して緊急事態宣言等が発出されなかったため、新型コロナウイルス感染症による影響を除外せずに評価を行った。

この結果、27の基本施策のうち、16施策において総合評価A（順調）、9施策において総合評価B（おおむね順調）、2施策において総合評価C（やや遅れ）となり、令和4年度の施策評価結果と比較すると、総合評価Aが9施策減少、総合評価Bが8施策増加、総合評価Cが1施策増加し、全体の評価結果は低下しているが、新型コロナウイルス感染症の影響が残っている中で、施策全体の9割以上において、「順調」又は「おおむね順調」となったことは、計画どおりの成果を挙げることができたものと評価する。

しかしながら、市民実感度については、令和3年度結果と比較すると、77項目中、65項目において低下しているため、総合計画審議会からの指摘のとおり、市民の皆様が真に求めているものを的確に把握し、それらを事業に反映して取り組むとともに、取組の成果を市民の皆様が身近に感じていただけるように、情報発信をより一層行う必要がある。

また、近年のコロナ禍を踏まえ、工夫を凝らしながら取組を進めてきたが、目標値を達成することができなかった施策・事業については、課題を抽出し十分に検討するとともに、施策の方向に即した取組を着実に進めなければならない。

第2期実施計画の策定に当たっては、将来にわたって魅力あふれるまちであり続けるため、市民ニーズや社会経済環境の変化などの課題への対応とともに、計画の実効性を一層高める取組を推進する必要がある。特に、都市間連携による「強いエリア」「魅力あるエリア」の創造と、本市の可能性を磨き上げていく厚木の魅力創造に向けて、施策横断的に取り組むことが求められる。

【総合計画審議会からの意見】

令和4年度を対象とした令和5年度の施策評価は、総合評価Aが16施策、総合評価Bが9施策、総合評価Cが2施策と、9割以上の施策において「順調」又は「おおむね順調」という結果になり、個別課題はあるものの計画どおりに進捗したものと考える。

しかし、令和4年度の施策評価結果と比較すると、総合評価Aが9施策減少、総合評価Bが8施策増加、総合評価Cが1施策増加し、全体の評価結果は低下している。

この結果を真摯に受け止め、進捗の芳しくない事業については、しっかりと検証する必要がある。しかしながら、低下した要因の多くは、令和4年度は年間を通して新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等が発出されなかったため、新型コロナウイルス感染症による影響を除外せずに評価を行った結果によるものと考察される。また、令和3年度と比較して実績値が上昇している指標があるなど、新型コロナウイルス感染症の影響が残っている中で創意工夫を凝らしながら事業を進めたことは評価できる。

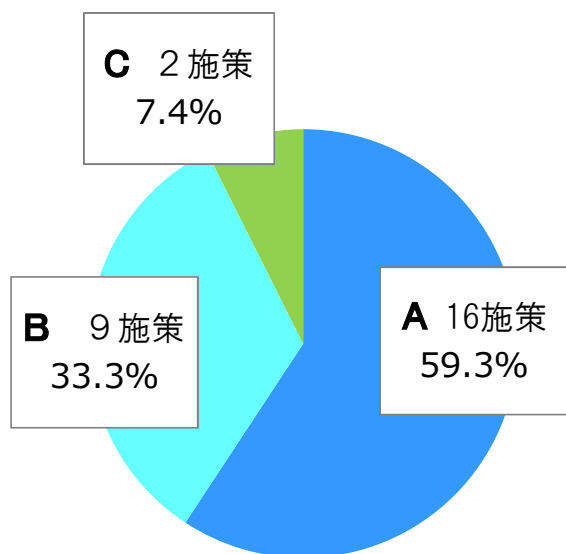
市民実感度については、令和3年度結果と比較すると、全体的に低下しているため、市民ニーズに即した事業に取り組むとともに、市民の皆様が取組の成果を実感してもらえよう、更なる情報発信に努められたい。

これまで、新型コロナウイルス感染症の影響により、一定の制約の中で事業を進める必要があったことから、施策の進捗について正確に評価することが難しい状況であった。今後、コロナ禍で浮き彫りとなった課題を十分に検証し、より一層施策の推進を図る取組が求められる。

第2期実施計画の策定に当たっては、施策の成果をより明確に把握することができ指標を設定するなど、適切な進行管理が行え、確実な施策の推進が図られる計画となるよう、十分に検討を行われたい。

4 令和5年度施策評価結果

1 全体の評価結果



2 基本政策別の評価結果

基本政策	年度	A	B	C	D	Aの割合
1 安心政策 (3 施策)	R5	2	1	0	0	66.7%
	R4	3	0	0	0	100.0%
2 輝き政策 (4 施策)	R5	3	0	1	0	75.0%
	R4	4	0	0	0	100.0%
3 成長政策 (4 施策)	R5	2	2	0	0	50.0%
	R4	4	0	0	0	100.0%
4 発展政策 (8 施策)	R5	5	3	0	0	62.5%
	R4	6	1	1	0	75.0%
5 潤い政策 (5 施策)	R5	2	3	0	0	40.0%
	R4	5	0	0	0	100.0%
6 共創政策 (3 施策)	R5	2	0	1	0	66.7%
	R4	3	0	0	0	100.0%
全施策 (27 施策)	R5	16	9	2	0	59.3%
	R4	25	1	1	0	92.6%

3 基本施策別の評価結果

基本政策	基本施策	令和5年度結果		令和4年度結果	
		総合得点	総合評価	総合得点	総合評価
1 安心政策	1 災害に強いまちの実現	90.9	A	96.3	A
	2 消防力の充実・強化	93.3	A	98.8	A
	3 セーフコミュニティの推進	85.2	B	95.8	A
2 輝き政策	1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	91.0	A	97.5	A
	2 子育て環境の充実	95.8	A	98.3	A
	3 健康寿命延伸の推進	90.6	A	97.3	A
	4 多様性の尊重と平和都市の推進	75.5	C	93.3	A
3 成長政策	1 学校教育の充実	96.9	A	98.1	A
	2 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	92.9	A	98.3	A
	3 文化芸術の振興	83.4	B	99.4	A
	4 生涯スポーツの振興	88.5	B	90.0	A
4 発展政策	1 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	85.9	B	89.7	B
	2 魅力ある中心市街地等の形成	85.3	B	93.9	A
	3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	97.9	A	99.3	A
	4 産業・商業の振興	91.3	A	77.3	C
	5 安心して働くことができるまちの実現	93.5	A	100.0	A
	6 観光の振興	90.3	A	98.4	A
	7 シティプロモーションと定住促進	86.5	B	94.9	A
	8 農業・林業・水産業の振興	96.2	A	98.9	A
5 潤い政策	1 地球温暖化対策の推進	88.4	B	98.1	A
	2 未来へつなげる循環型都市の実現	95.5	A	97.9	A
	3 自然との共生の推進	85.1	B	98.3	A
	4 緑豊かで美しいまちの実現	92.5	A	97.1	A
	5 河川と共生するまちの実現	83.6	B	92.4	A
6 共創政策	1 市民参加・市民協働の推進	96.6	A	99.9	A
	2 行財政改革の推進	93.8	A	97.7	A
	3 都市間連携の推進	75.7	C	97.0	A

■ : 令和4年度と比較し総合評価結果が低下した施策
 □ : 令和4年度と比較し総合評価結果が上昇した施策

5 第10次総合計画第1期基本計画 指標達成状況

1 代表となる指標

- ・ 目標値を達成した指標は、110指標中56指標（全体の50.9%）となっています。（前回は59指標達成）
- ・ 目標値に対する達成率（上限を100.0%とした場合の達成率）の平均値は、91.6%となっており、前年度96.6%より5%低くなっています。
- ・ 目標値に対する達成率（上限を100.0%としない場合の達成率）が最も高い指標は、「市内障害福祉サービス事業所の地域生活支援拠点の登録数」（525.0%）となっています。
- ・ 目標値に対する達成率が最も低い指標は、「民間団体等による国際交流活動に対する補助金交付件数」（20.0%）となっています。

※ 達成率（%）のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率

基本政策	基本施策	代表となる指標	把握・算出方法等	単位	目標値	実績値	達成率（%） [項目ごと]	達成率（%） [基本施策ごと]
1 安心政策	1 災害に強いまちの実現	災害に備えていることがある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	87.5	89.0	100.0 (101.7)	100.0 (115.9)
		住宅の耐震化率	厚木市耐震改修促進計画に基づいて算出	%	92.1	92.9	100.0 (100.9)	
		災害応急対策等に関する協定の締結数	-	件	127	139	100.0 (109.4)	
		市民防災研修会における防災に対する意識高揚度	市民防災研修会アンケート	%	60.0	91.0	100.0 (151.7)	
	2 消防力の充実・強化	出火率（人口1万人当たりの出火件数）	人口1万人当たりの出火件数	件	2.4	2.6	92.3	97.5 (98.5)
		AEDの使い方や心臓マッサージの方法を知っている市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	63.1	62.2	98.6	
		市民による応急手当の実施率	救急現場での応急手当の実施率	%	66.5	69.1	100.0 (103.9)	
		消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	80.3	79.5	99.0	
	3 セーフコミュニティの推進	セーフコミュニティに関する研修会等参加者のセーフコミュニティに対する意識高揚度	セーフコミュニティ研修会アンケート	%	93.6	92.0	98.3	90.1 (93.5)
		自転車の安全のために心掛けていることがある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	57.2	57.3	100.0 (100.2)	
		交通事故発生件数（暦年）	警察統計	件	742	617	100.0 (120.3)	
		防犯などの対策について心掛けていることがある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	92.0	89.6	97.4	
		刑法犯認知件数（暦年）	警察からの情報提供	件	810	1,102	73.5	
		特殊詐欺被害件数（暦年）	警察からの情報提供	件	27	38	71.1	
	2 輝き政策	1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	地域のひととの関わりがあると思う市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	57.0	57.3	100.0 (100.5)
生きがいを持って生活を送っている市民の割合			市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	76.0	76.0	100.0	
ケアプラン点検の実施事業所数			第8期計画に基づいて算出	事業所	50	50	100.0	
介護職の人材支援を受けて市内事業所に就労した人数			第8期計画に基づいて算出	人	32	43	100.0 (134.4)	
地域住民による助け合い活動団体数			実績に基づいて算出	団体	9	12	100.0 (133.3)	
市内障害福祉サービス事業所の地域生活支援拠点の登録数			登録事業所の計上	か所	8	42	100.0 (525.0)	
地域福祉コーディネーターの活動件数			実績に基づいて算出	件	2,100	1,422	67.7	
2 子育て環境の充実		子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	56.3	60.5	100.0 (107.5)	100.0 (102.5)
		保育施設等入所率	保育所等の入所児童数	%	100.0	100.0	100.0	
		妊娠届出率（妊娠11週以下）	母子健康手帳交付の集計結果	%	85.0	84.9	99.9	

基本政策	基本施策	代表となる指標	把握・算出方法等	単位	目標値	実績値	達成率(%) [項目ごと]	達成率(%) [基本施策ごと]
2 輝き政策	3 健康寿命延伸の推進	市立病院の紹介率	紹介患者数÷初診患者数×100	%	77.5	85.9	100.0 (110.8)	96.2 (102.5)
		市立病院の逆紹介率	逆紹介患者数÷初診患者数×100	%	62.5	82.3	100.0 (131.7)	
		健康増進のために取り組んでいることがある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	91.5	91.5	100.0	
		健康診断やがん検診、人間ドックを受けた市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	82.0	82.0	100.0	
		特定健康診査の受診率	法定報告値	%	39.0	30.6	78.5	
		長寿健康診査等の受診率	受診者数÷被保険者数×100	%	41.1	37.3	90.8	
		認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	79.1	81.9	100.0 (103.5)	
	高齢者のうち、介護を必要とする人(要介護・要支援認定者)の割合	第8期計画に基づいて算出	%	15.2	15.9	100.0 (104.6)		
	4 多様性の尊重と平和都市の推進	人権講座参加者の人権意識高揚度	ヒューマンライツフェスタ、ヒューマンレッジ、こども人権教室参加者等アンケート結果	%	86.4	86.2	99.8	62.6
		民間団体等による国際交流活動に対する補助金交付件数	交付実績	件	5	1	20.0	
		海外友好都市等との交流活動件数	民間交流を除く交流活動実績	件	19	12	63.2	
		日本語教室参加者数	日本語教室参加者数	人	5,500	2479	45.1	
		児童虐待相談に対し速やかに(48時間以内)対応できた件数の割合	近隣通報など、原則48時間以内の子どもの安全確認が求められる事案に対して、実際に48時間以内の子どもの安全確認ができた件数の割合	%	100.0	99.0	99.0	
平和のための展示会参加者数		実績に基づいて算出	人	550	265	48.2		
3 成長政策	1 学校教育の充実	全国学力・学習状況調査の全国の平均正答率に対する本市の達成率	全国学力・学習状況調査結果	%	97.0	97.1	100.0 (100.1)	97.5 (98.9)
		ICTを活用して授業を行った教員の割合	教員へのICT活用等に関する調査結果	%	100.0	91.7	91.7	
		校舎の外壁、屋上などの長寿命化改修率	校舎の外壁、屋根・屋上の長寿命化改修率の平均値(外壁改修率+屋根・屋上改修率)÷2	%	62.8	60.1	95.7	
		子どもたちの心に思いやりの気持ちがあると思う市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	63.0	67.4	100.0 (107.0)	
		全国学力・学習状況調査の思いやりに関する設問に肯定的に回答した児童・生徒の割合	全国学力・学習状況調査結果	%	88.0	88.2	100.0 (100.2)	
	2 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	公民館を利用している市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	29.6	31.8	100.0 (107.4)	96.1 (101.4)
		公民館での学級・講座参加者の満足度	参加者アンケート結果	%	71.1	69.7	98.0	
		地域や学校の行事に参加又は協力している市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	36.0	38.7	100.0 (107.5)	
		家庭教育支援事業に参加した保護者の家庭教育への有効度	参加者アンケート結果	%	97.5	97.1	99.6	
		生涯学習活動を行っている市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	43.0	54.1	100.0 (125.8)	
		図書館を利用している市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	24.0	24.3	100.0 (101.3)	
		図書館の貸出者数	貸出実績から集計	人	420,000	383,050	91.2	
		青少年健全育成団体が行った事業の参加率	青少年健全育成団体が行った事業の参加率	%	55.0	44.0	80.0	

基本政策	基本施策	代表となる指標	把握・算出方法等	単位	目標値	実績値	達成率(%) [項目ごと]	達成率(%) [基本施策ごと]	
3 成長政策	3 文化芸術の振興	市内で文化芸術に親しんでいる市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	20.0	19.4	97.0	81.8 (82.4)	
		文化芸術事業の参加者数	各事業の出展者数、出演者数、参加者数の合計値	人	5,000	2,720	54.4		
		厚木の郷土文化に興味がある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	51.0	52.5	100.0 (102.9)		
		あつぎ郷土博物館の講座及び展示における満足度	講座及び展示アンケートにおける満足度平均	%	92.0	89.9	97.7		
		郷土芸能の公演及び体験講座の参加者数	参加者数をカウント	人	8,650	5,172	59.8		
	4 生涯スポーツの振興	4 生涯スポーツの振興	運動やスポーツを週3回以上行っている市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	36.0	29.3	81.4	81.8
スポーツ指導者養成研修等参加者数			研修会等の参加者数	人	1,110	901	81.2		
公共スポーツ施設の利用者数			公共施設予約システム等による把握	人	1,620,000	1,343,542	82.9		
4 発展政策	1 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率	全人口に対するスーパーマーケット及びドラッグストアから800m圏に居住する人口の割合	%	80.6	80.4	99.8	85.6 (130.0)	
		幹線市道（1・2級市道）の整備延長（累計）	整備延長	m	353	219	62.0		
		公共交通の徒歩圏人口カバー率	全人口に対する公共交通カバー圏域（1日30本以上のバスが運行するバス停から300m圏と鉄道駅800m圏）に居住する人口の割合	%	85.1	85.5	100.0 (100.5)		
		路線バスの利用者数（1日当たり）	路線バスの利用者数	人	70,000	46,400	66.3		
		管理不全であるため、助言等が必要な空き家数	現地調査等	戸	90	28	100.0 (321.4)		
	2 魅力ある中心市街地等の形成	2 魅力ある中心市街地等の形成	中心市街地の歩行者数	中心市街地の代表6地点の通行量	人	110,500	94,327	85.4	81.4
			中心市街地の活性化イベント数	中心市街地の商店街及び市が行う中心市街地活性化イベントの合計数	件	44	34	77.3	
	3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	森の里東土地区画整理事業の産業用地創出面積	事業による産業用地創出面積（累計）	ha	15.2	15.2	100.0	100.0
			酒井土地区画整理事業の産業用地創出面積	事業による産業用地創出面積（累計）	ha	-	-	-	
	4 産業・商業の振興	4 産業・商業の振興	主に利用する店舗が市内にあると回答した市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	86.3	86.3	100.0	91.4 (99.7)
			本市の支援策により創業した人数	あつぎ起業スクールを修了した者で、起業の連絡があった者の数	人	3	4	100.0 (133.3)	
			中小企業資金融資利子補給金交付件数	中小企業資金融資利子補給金交付件数	件	1,240	811	65.4	
			企業立地件数	企業立地件数	件	9	9	100.0	
	5 安心して働くことができるまちの実現	5 安心して働くことができるまちの実現	障害者雇用奨励交付金交付件数	障がい者雇用奨励金交付実績	件	41	39	95.1	97.4 (116.5)
			勤労者生活資金融資件数	中央労働金庫厚木支店からの月別報告により把握	件	40	63	100.0 (157.5)	
			中小企業退職金等共済掛金補助金交付事業者数	中小企業退職金等共済掛金補助金交付件数	社	100	97	97.0	
	6 観光の振興	6 観光の振興	市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	32.0	32.0	100.0	93.2 (165.9)
			観光消費額（年間）	入込観光客調査	億円	182	145	79.7	
			厚木市観光協会ホームページのアクセス件数	厚木市観光協会ホームページ	件	32,000	101,795	100.0 (318.1)	
7 シティプロモーションと定住促進	7 シティプロモーションと定住促進	あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じることができた」と思う事業参加者の割合	あつぎの魅力創造・交流事業に係る参加者アンケート結果	%	90.0	98.4	100.0 (109.3)	98.0 (102.9)	
		ホストタウン交流事業参加者数	各事業の参加者数	人	380	357	93.9		
		転入者数（定住促進住宅取得支援事業等による転入者数）	事業による転入者数	人	356	376	100.0 (105.6)		

基本政策	基本施策	代表となる指標	把握・算出方法等	単位	目標値	実績値	達成率(%) [項目ごと]	達成率(%) [基本施策ごと]
4 発展政策	8 農業・林業・水産業の振興	認定新規就農者数（累計）	青年等就農計画の認定者数（累計）	人	36	38	100.0 (105.6)	99.6 (112.2)
		地元の農産物を購入した市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	80.0	78.8	98.5	
		有害鳥獣による農作物被害額減少率（平成18年度の被害額を基準とする。）	$100 - (\text{毎年度の被害率} \div \text{H18: 基準年度被害額}) \times 100$	%	80.0	96.6	100.0 (120.8)	
		間伐材の搬出量	間伐材の搬出量	m	800	990	100.0 (123.8)	
5 潤い政策	1 地球温暖化対策の推進	地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	80.0	78.8	98.5	99.5 (127.0)
		市内再生可能エネルギー出力量	資源エネルギー庁公開データ	MW	38	48	100.0 (126.3)	
		市内温室効果ガス排出量推計削減率（平成25年度比）	環境省公開データ	%	12.8	20.0	100.0 (156.3)	
	2 未来へつなげる循環型都市の実現	ごみの減量を意識している市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	73.0	70.9	97.1	98.8 (99.6)
		資源の分別を意識している市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	98.2	96.7	98.5	
		一人1日当たりの家庭系ごみの排出量	$\text{家庭系ごみ総排出量} \div 365 (\text{うるう年は} 366) \div \text{人口}$	g	410	412	99.5	
		事業系ごみの排出量	事業系ごみ総排出量	t	16,797	16,290	100.0 (103.1)	
	3 自然との共生の推進	里地里山活動認定の対象面積	市の認定協定面積	ha	6.2	6.7	100.0 (108.1)	95.2 (99.2)
		森林ボランティア会員人数	実績人数	人	31	28	90.3	
	4 緑豊かで美しいまちの実現	市民一人当たりの公園及び緑地面積	$\text{公園及び緑地面積} \div \text{人口}$	m ² /人	8.17	8.19	100.0 (100.2)	88.4 (92.7)
		地域美化清掃の実施件数	実施件数	件	252	164	65.1	
		不法投棄件数	処理件数	件	525	466	100.0 (112.7)	
5 河川と共生するまちの実現	BOD（生物化学的酸素要求量）の環境基準達成率	$\text{達成した地点} \div \text{水質調査をした地点}$	%	92.0	92.1	100.0 (100.1)	83.4 (83.4)	
	親水広場を活用した環境学習の実施回数	実施回数	回	3	2	66.7		
6 共創政策	1 市民参加・市民協働の推進	市民対話等要望対応率	自治会長とのフリートーク対応率	%	82.0	72.7	88.7	96.5 (109.0)
		自治会やボランティア・NPO等の活動に参加している市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	36.3	41.8	100.0 (115.2)	
		市内で活動する市民活動団体数	市民活動団体登録団体数及び市内に主たる事務所があるNPO法人数の合計値	団体	217	204	94.0	
		必要な行政情報を入手できている市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	73.5	77.1	100.0 (104.9)	
		公式SNSの利用登録者数	SNSの利用登録者数の集計	人	45,000	64,042	100.0 (142.3)	
	2 行財政改革の推進	第7次行政改革の推進度	大綱実施計画の代表となる指標を80%以上達成した指標の数	%	100.0	83.6	83.6	94.5 (94.6)
		市税収納率	市税の対調定収納率	%	98.90	98.95	100.0 (100.1)	
		公共施設個別施設計画に基づく第1期短期再編プログラムの進捗率	令和8年度までの対象施設の更新件数	%	31.8	31.8	100.0	
	3 都市間連携の推進	都市間連携の実施件数	庁内照会による	件	51	50	98.0	74.3
		民間団体による国内友好都市との交流活動に対する補助金交付件数	交流活動実績	件	2	1	50.0	
国内友好都市との交流活動件数		民間交流を除く交流活動実績	件	24	18	75.0		

2 市民実感度

- ・市民実感度の平均値は、38.5%となっており、前年度41.0%より2.5%低くなっています。
- ・市民実感度が最も高い項目は、「『日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にある』と思う市民の割合」（75.4%）となっています。
- ・市民実感度が最も低い項目は、「『空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいる』と思う市民の割合」（16.4%）となっています。
- ・目標値を達成した項目は、77項目中16項目（全体の20.8%）となっています。
- ・目標値に対する達成率（上限を100.0%とした場合の達成率）の平均値は、90.3%となっています。
- ・目標値に対する達成率（上限を100.0%としない場合の達成率）が最も高い項目は、「『安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいる』と思う市民の割合」（114.1%）
- ・目標値に対する達成率が最も低い項目は、「『空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいる』と思う市民の割合」（56.6%）となっています。

※ 達成率（%）のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率

基本政策	基本施策	項目（～と思う市民の割合）	目標値（%）	実績値（%）	達成率（%） [項目ごと]	達成率（%） [基本施策ごと]
1 安心政策	1 災害に強いまちの実現	急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいる	42.2	38.1	90.3	86.1
		災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいる	53.1	44.0	82.9	
		自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいる	41.6	35.4	85.1	
	2 消防力の充実・強化	消防・救急・救助体制が充実している	72.3	70.1	97.0	94.4
		応急手当の普及に向けた取組が進んでいる	50.0	45.4	90.8	
		火災予防の啓発など、火災予防の取組が進んでいる	54.7	52.2	95.4	
	3 セーフコミュニティの推進	事故やけがなどがなく健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されている	46.0	37.0	80.4	78.7
		交通安全の取組が進んでいる	44.4	37.6	84.7	
		防犯の取組が進んでいる	42.5	30.2	71.1	
2 輝き政策	1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいる	52.0	46.7	89.8	86.8
		高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進んでいる	42.0	37.0	88.1	
		高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実している	45.8	39.1	85.4	
		高齢者に対する福祉サービスや支援が充実している	46.0	39.7	86.3	
		障がい者に対する福祉サービスや支援が充実している	40.0	34.2	85.5	
		支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実している	40.5	34.7	85.7	
	2 子育て環境の充実	子育てサービスが充実している	66.4	64.0	96.4	93.7
		保育と幼児教育の提供体制が充実している	55.2	50.7	91.8	
		母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進んでいる	52.5	48.8	93.0	
	3 健康寿命延伸の推進	メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実している	57.0	54.0	94.7	93.4 (93.4)
		市立病院の救急医療体制が充実している	53.0	50.3	94.9	
		市立病院と地域のクリニック等との連携が充実している	42.5	42.6	100.0 (100.2)	
		検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進んでいる	68.0	63.8	93.8	
		介護予防と認知症に対する取組が進んでいる	34.0	28.4	83.5	
	4 多様性の尊重と平和都市の推進	国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいる	28.0	31.7	100.0 (113.2)	92.9 (99.4)
		困りごとに対する相談・支援体制が充実している	28.0	29.7	100.0 (106.1)	
		平和についての啓発が進んでいる	24.0	18.9	78.8	
	3 成長政策	1 学校教育の充実	子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっている	30.0	33.2	100.0 (110.7)
教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実している			31.0	29.1	93.9	
安全な教育環境の整備が進んでいる			38.1	38.7	100.0 (101.6)	
人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進んでいる			30.0	33.1	100.0 (110.3)	
2 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進		地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進んでいる	28.0	28.2	100.0 (100.7)	94.3 (94.5)
		家庭・地域・学校の協働が推進されている	35.0	32.0	91.4	
		生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進んでいる	32.0	29.9	93.4	
		青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が充実している	35.0	32.3	92.3	

基本政策	基本施策	項目（～と思う市民の割合）	目標値（％）	実績値（％）	達成率（％） [項目ごと]	達成率（％） [基本施策ごと]	
3 成長政策	3 文化芸術の振興	文化芸術に親しむ機会が提供されている	42.0	42.9	100.0 (102.1)	95.0 (95.7)	
		郷土文化の継承と発展の取組が進んでいる	39.5	36.1	91.4		
		あつぎ郷土博物館の取組が進んでいる	40.0	37.4	93.5		
	4 生涯スポーツの振興	4 生涯スポーツの振興	運動・スポーツ活動の機会が提供されている	52.0	51.0	98.1	96.3 (97.1)
			スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実している	33.0	33.8	100.0 (102.4)	
			スポーツ施設が充実している	44.0	39.9	90.7	
4 発展政策	1 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にある	76.2	75.4	99.0	88.9 (93.7)	
		安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいる	41.0	46.8	100.0 (114.1)		
		通勤や買物など日常生活における移動がスムーズにできている	56.4	59.3	100.0 (105.1)		
		空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいる	29.0	16.4	56.6		
	2 魅力ある中心市街地等の形成	2 魅力ある中心市街地等の形成	中心市街地の整備が進んでいる	47.0	42.7	90.9	90.0
			中心市街地のにぎわいを感じている	35.0	31.2	89.1	
	3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用が進められている	57.0	48.4	84.9	93.0 (95.7)
			山地、河川、市街地などの景観が守られている	47.3	44.5	94.1	
			新たな産業拠点の創出が進んでいる	30.0	32.4	100.0 (108.0)	
	4 産業・商業の振興	4 産業・商業の振興	商店街など、市内に利用したい店舗がある	44.0	46.4	100.0 (105.5)	93.8 (95.1)
			創業支援や中小企業支援が充実している	21.0	19.2	91.4	
			企業誘致が進んでいる	27.0	24.5	90.7	
			様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られている	22.5	20.9	92.9	
	5 安心して働くことができるまちの実現	5 安心して働くことができるまちの実現	就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実している	26.0	23.2	89.2	89.2
	6 観光の振興	6 観光の振興	大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進んでいる	46.0	47.2	100.0 (102.6)	91.6 (92.4)
			温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られている	44.0	42.2	95.9	
			観光情報の発信が充実している	41.0	32.3	78.8	
	4 発展政策	7 シティプロモーションと定住促進	本市の魅力が市内外に発信されている	44.8	38.5	85.9	75.5
親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいる			34.0	22.1	65.0		
8 農業・林業・水産業の振興		8 農業・林業・水産業の振興	農地の貸し借りの奨励や新規就農者支援など、農地有効利用の取組が進んでいる	23.0	23.7	100.0 (103.0)	97.8 (99.3)
地産地消が進んでいる	42.0	40.1	95.5				
5 潤い政策	1 地球温暖化対策の推進	環境教育や環境学習の取組が進んでいる	32.0	24.7	77.2	80.1	
		再生可能エネルギーの普及が進んでいる	25.0	20.8	83.2		
		公共交通機関の利用啓発など、省エネの取組が進んでいる	30.0	24.0	80.0		
	2 未来へつなげる循環型都市の実現	2 未来へつなげる循環型都市の実現	ごみの減量化・資源化が進んでいる	65.0	57.4	88.3	88.3
	3 自然との共生の推進	3 自然との共生の推進	生物多様性の普及や保全が進んでいる	27.0	22.0	81.5	79.6
			里地里山の保全や活用が進んでいる	32.0	25.6	80.0	
			森林整備など山林の再生が進んでいる	27.0	20.9	77.4	
	4 緑豊かで美しいまちの実現	4 緑豊かで美しいまちの実現	身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っている	63.8	61.1	95.8	96.2
			地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っている	62.0	59.9	96.6	
5 河川と共生するまちの実現	5 河川と共生するまちの実現	親しみやすい水辺空間が整っている	45.1	44.2	98.0	98.0	
6 共創政策	1 市民参加・市民協働の推進	自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいる	42.9	42.3	98.6	99.3 (102.4)	
		市の情報媒体から必要な行政情報が発信されている	59.5	63.1	100.0 (106.1)		
	2 行財政改革の推進	2 行財政改革の推進	社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われている	36.7	29.5	80.4	90.0
			小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進んでいる	36.7	36.5	99.5	
	3 都市間連携の推進	3 都市間連携の推進	防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進んでいる	34.3	24.0	70.0	71.7
			国内友好都市との交流が進んでいる	38.0	27.9	73.4	

6 施策評価シート

施策評価シートの見方

まちづくりのビジョン (基本政策)		1 命、財産を守り抜くまち（安心政策）	
基本施策		1 災害に強いまちの実現	
目指す姿		<ul style="list-style-type: none"> ・災害に備えたハード整備など、防災・減災対策が進んでいます。 ・防災・減災への意識が高まり、一人一人が日頃から災害への備えを行っています。 ・災害発生時には、市民一人一人が役割を果たし、迅速な対応が実現されています。 	
<p>代表となる指標、市民実感度、実施計画事業指標の合計得点</p>		<p>総合得点による4段階の評価区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A 順調 総合得点90点以上 ・B おおむね順調 総合得点80点以上90点未満 ・C やや遅れ 総合得点60点以上80点未満 ・D 遅れ 総合得点60点未満 	
③+④+⑤		総合評価	成果と課題
90.9 /100		A 順調	<p>災害に強いまちの実現に向けて、地震等に対する防災計画の策定や風水害等の災害に備えた整備を始め、市民の防災意識向上のための取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、地域防災力の強化については、地域の自主防災隊や避難所運営委員会によって活動に差があるなどの課題があるため、避難所運営訓練をモデル地区で実施し、各地区へ情報提供をするなどの取組を推進する必要がある。</p> <p>また、三つの市民実感度については、重要度が高い分類ⅠとⅡに該当していることから、市民ニーズを把握し、防災・減災の取組を行う必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
災害に備えていることがある市民の割合	87.5%	89.0%	100.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
住宅の耐震化率	92.1%	92.9%	100.0%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
災害応急対策等に関する協定の締結数	127件	139件	100.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
市民防災研修会における防災に対する意識高揚度	60.0%	91.0%	100.0%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
			代表となる指標 達成率平均
			100.0%
			代表となる指標 得点⑧
			50.0

基本施策の代表的な取組に関する指標の目標値に対する達成状況を点数化（達成率の上限は100.0%）

達成率平均
× 配点50点で算出

令和5年2月に実施した市民実感度調査により把握した「市民実感度」の目標値に対する達成状況を点数化（達成率の上限は100.0%）

◆市民実感度 【配点：30点】

（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいると思う市民の割合	42.2%	38.1%	90.3%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいると思う市民の割合	53.1%	44.0%	82.9%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいると思う市民の割合	41.6%	35.4%	85.1%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
	R4目標値	R4実績値	達成率
	R4目標値	R4実績値	達成率

基本施策を構成する実施計画事業に位置付ける指標の目標値に対する達成状況を点数化（達成率の上限は100.0%）

※ 指標の詳細については、別添「実施計画取組実績」を参照

達成率平均 × 配点30点で算出

市民実感度 達成率平均	86.1%
市民実感度 得点⑧	25.8

◆実施計画事業指標 【配点：20点】 （各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 災害に強い社会基盤の整備	1	急傾斜地安全対策事業	100.0%
	2	準用河川安全対策事業	0.0%
	3	公共下水道浸水対策事業【公共下水道事業会計】	100.0%
	4	公共下水道厚木排水区浸水被害軽減事業【公共下水道事業会計】	100.0%
	5	厚木駅周辺地域都市再生安全確保計画改定事業	-
	6	無電柱化推進計画策定事業	-
	7	防災都市づくり計画策定事業	100.0%
	8	木造住宅耐震改修促進事業費補助事業	70.0%
	9	沿道建築物耐震促進事業費補助事業	0.0%
	10	耐震改修促進計画改定事業	100.0%
	11	宅地耐震化推進事業	100.0%
	12	災害拠点病院整備事業【病院事業会計】	100.0%
② 災害対応力の強化	13	建築確認台帳等電子化事業	100.0%
	14	総合防災訓練等事業	53.3%
	15	地区別防災マップ作成事業	-
	16	オールハザードマップ等作成事業	-
	17	新型防災ラジオ整備事業	100.0%
	18	地域防災計画改定事業	100.0%
③ 地域防災組織の強化	19	風水害等対策事業	75.0%
	20	風水害等対策事業【公共下水道事業会計】	25.0%
	21	地域防災力強化事業	61.7%

実施計画事業指標 達成率平均	75.6%
実施計画事業指標 得点⑨	15.1

達成率平均 × 配点20点で算出

「施策の方向」別に位置付けている代表となる指標、市民実感度、実施計画事業

施策の方向	
① 災害に強い社会基盤の整備	
土砂崩れ対策、河川の洪水対策や下水道による浸水対策などにより、地震、風水害時のリスク軽減に向けた。促進の普及啓発を進め、必要な水準を満たさない建物の耐震化を支援します。	

代表となる指標								
指標①								
住宅の耐震化率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	91.1	92.1	93.0	94.0	95.0	96.0
実績値	%	89.8	92.7	92.9				
達成率		-	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	41.5	42.2	42.9	43.6	44.3	45.0
実績値	%	40.8	40.3	38.1				
達成率		-	97.1	90.3				
【参考】実感度と重要度の関係性		II	II	II				

市民実感度 達成率
90.3%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 急傾斜地安全対策事業	100.0%	A
② 準用河川安全対策事業	0.0%	D
③ 公共下水道浸水対策事業【公共下水道事業会計】	100.0%	A
④ 公共下水道厚木排水区浸水被害軽減事業【公共下水道事業会計】	100.0%	A
⑤ 本厚木駅周辺地域都市再生安全確保計画改定事業	-	-
⑥ 無電柱化推進計画策定事業	-	-
⑦ 防災都市づくり計画策定事業	100.0%	A
⑧ 木造住宅耐震改修促進事業費補助事業	70.0%	C
⑨ 沿道建築物耐震促進事業費補助事業	0.0%	D
⑩ 耐震改修促進計画改定事業	100.0%	A
⑪ 宅地耐震化推進事業	100.0%	A
⑫ 災害拠点病院整備事業【病院事業会計】	100.0%	A
⑬ 建築確認台帳等電子化事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
79.1%

市民実感度調査で調査した「実感度」と「重要度」の関係性を4つに分類

- ・I 重点維持項目(実感度:高い・重要度:高い)
- ・II 重点改善項目(実感度:低い・重要度:高い)
- ・III 維持項目(実感度:高い、重要度:低い)
- ・IV 改善項目(実感度:低い、重要度:低い)

実施計画事業指標の目標値に対する達成率を、施策貢献度としてAからDまでの4段階に区分

- ・A 達成率90%以上
- ・B 達成率80%以上90%未満
- ・C 達成率60%以上80%未満
- ・D 達成率60%未満

1 命、財産を守り抜くまち (安心政策)

基本施策	総合得点	評価区分
1 災害に強いまちの実現	90.9	A 順調
2 消防力の充実・強化	93.3	A 順調
3 セーフコミュニティの推進	85.2	B おおむね順調

総合評価
<p>安心政策は、2つの基本施策で順調に進捗しているが、基本施策3『セーフコミュニティの推進』については、前年度と比較して総合評価がAからBに下がっており、市民実感度の3項目全てで前年度結果と比較して実績値が低くなっていることに加え、代表となる指標「刑法犯認知件数」及び「特殊詐欺被害件数」の実績値が増加していることから、防犯対策に係る様々な取組を一層強化するほか、事故やけがの予防対策に係る市民向け研修の充実を図る必要がある。</p> <p>基本施策1『災害に強いまちの実現』については、市民実感度「自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいる」の実績値は前年度結果と比較して1.1ポイント上昇しているが、目標値を達成していないため、引き続き防災・減災への取組を推進するとともに、市民の皆様へ情報の周知や啓発を行い、意識高揚を図る必要がある。</p> <p>また、目標値を達成していない施策・事業については、課題の整理や現状分析等を行い、市民の皆様の命、財産を守り抜くまちの実現に向けて、着実に取組を進めること。</p>

総合計画審議会からの意見
<p>2施策が総合評価A、1施策が総合評価Bとなり、おおむね計画どおりに進捗したことは評価するが、基本施策3「セーフコミュニティの推進」については、代表となる指標「刑法犯認知件数」及び「特殊詐欺被害件数」の実績値が増加していることから、安心・安全に暮らせるまちの実現に向け、引き続き、防犯意識の向上に取り組むとともに、新たな犯罪への対応など、防犯に対する施策の推進をより一層図られたい。</p>

まちづくりのビジョン (基本政策)	1 命、財産を守り抜くまち（安心政策）
基本施策	1 災害に強いまちの実現
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に備えたハード整備など、防災・減災対策が進んでいます。 ・防災・減災への意識が高まり、一人一人が日頃から災害への備えを行っています。 ・災害発生時には、市民・事業者・行政が一体となって、自助・共助・公助の連携が更に進んでいます。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地震や風水害に備えた防災インフラの整備及び耐震化の普及啓発を進めます。 ・市民が「自分の命は自分が守る」という防災意識を持ち、必要な準備を行うことができるよう、情報の周知や啓発を行うとともに、災害時においても必要な医療が受けられるよう、体制の整備を進めます。 ・自主防災組織への支援や避難所機能強化等を通じて、地域防災力の強化を図ります。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
90.9 /100	A 順調	<p>災害に強いまちの実現に向けて、地震等に対する防災計画の策定や風水害等の災害に備えた整備を始め、市民の防災意識向上のための取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、地域防災力の強化については、地域の自主防災隊や避難所運営委員会によって活動に差があるなどの課題があるため、避難所運営訓練をモデル地区で実施し、各地区へ情報提供をするなどの取組を推進する必要がある。</p> <p>また、三つの市民実感度については、重要度が高い分類ⅠとⅡに該当していることから、市民ニーズを把握し、防災・減災の取組を行う必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
災害に備えていることがある市民の割合	87.5%	89.0%	100.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
住宅の耐震化率	92.1%	92.9%	100.0%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
災害応急対策等に関する協定の締結数	127件	139件	100.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
市民防災研修会における防災に対する意識高揚度	60.0%	91.0%	100.0%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
100.0%

代表となる指標 得点④
50.0

◆市民実感度 【配点：30点】

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいると思う市民の割合	42.2%	38.1%	90.3%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいると思う市民の割合	53.1%	44.0%	82.9%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいると思う市民の割合	41.6%	35.4%	85.1%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
86.1%

市民実感度 得点 [Ⓐ]
25.8

◆実施計画事業指標 【配点：20点】

(各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値)

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 災害に強い社会基盤の整備	1	急傾斜地安全対策事業	100.0%
	2	準用河川安全対策事業	0.0%
	3	公共下水道浸水対策事業【公共下水道事業会計】	100.0%
	4	公共下水道厚木排水区浸水被害軽減事業【公共下水道事業会計】	100.0%
	5	本厚木駅周辺地域都市再生安全確保計画改定事業	-
	6	無電柱化推進計画策定事業	-
	7	防災都市づくり計画策定事業	100.0%
	8	木造住宅耐震改修促進事業費補助事業	70.0%
	9	沿道建築物耐震促進事業費補助事業	0.0%
	10	耐震改修促進計画改定事業	100.0%
	11	宅地耐震化推進事業	100.0%
	12	災害拠点病院整備事業【病院事業会計】	100.0%
	13	建築確認台帳等電子化事業	100.0%
② 災害対応力の強化	14	総合防災訓練等事業	53.3%
	15	地区別防災マップ作成事業	-
	16	オールハザードマップ等作成事業	-
	17	新型防災ラジオ整備事業	100.0%
	18	地域防災計画改定事業	100.0%
	19	風水害等対策事業	75.0%
	20	風水害等対策事業【公共下水道事業会計】	25.0%
③ 地域防災組織の強化	21	地域防災力強化事業	61.7%

実施計画事業指標 達成率平均
75.6%

実施計画事業指標 得点 [Ⓒ]
15.1

施策の方向	
① 災害に強い社会基盤の整備	
<p>急傾斜地の土砂崩れ対策、河川の洪水対策や下水道による浸水対策などにより、地震、風水害時のリスク軽減に向けた取組を行います。</p> <p>また、耐震化促進の普及啓発を進め、必要な水準を満たさない建物の耐震化を支援します。</p>	

代表となる指標								
指標①								
住宅の耐震化率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	91.1	92.1	94.1	94.9	95.8	96.7
実績値	%	89.8	92.7	92.9				
達成率		-	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	41.5	42.2	42.9	43.6	44.3	45.0
実績値	%	40.8	40.3	38.1				
達成率		-	97.1	90.3				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ				

市民実感度 達成率
90.3%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 急傾斜地安全対策事業	100.0%	A
② 準用河川安全対策事業	0.0%	D
③ 公共下水道浸水対策事業【公共下水道事業会計】	100.0%	A
④ 公共下水道厚木排水区浸水被害軽減事業【公共下水道事業会計】	100.0%	A
⑤ 本厚木駅周辺地域都市再生安全確保計画改定事業	-	-
⑥ 無電柱化推進計画策定事業	-	-
⑦ 防災都市づくり計画策定事業	100.0%	A
⑧ 木造住宅耐震改修促進事業費補助事業	70.0%	C
⑨ 沿道建築物耐震促進事業費補助事業	0.0%	D
⑩ 耐震改修促進計画改定事業	100.0%	A
⑪ 宅地耐震化推進事業	100.0%	A
⑫ 災害拠点病院整備事業【病院事業会計】	100.0%	A
⑬ 建築確認台帳等電子化事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
79.1%

施策の方向								
② 災害対応力の強化								
<p>「自分の命は自分で守る」という防災意識を啓発するため、防災訓練を実施するとともに、地区別防災マップやオールハザードマップの活用を図り、指定避難所などを周知します。</p> <p>また、市立病院等との連携により、災害時に継続して医療を提供できるよう医療体制の確保に努めます。</p>								

代表となる指標								
指標①								
災害に備えていることがある市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	86.9	87.5	94.0	96.0	98.0	100.0
実績値	%	86.3	89.9	89.0				
達成率		-	100.0	100.0				
指標②								
災害応急対策等に関する協定の締結数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	124	127	145	150	155	160
実績値	件	121	134	139				
達成率	%	-	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率平均
100.0%

市民実感度								
指標①								
災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	51.5	53.1	54.9	56.6	58.3	60.0
実績値	%	49.8	44.4	44.0				
達成率		-	86.2	82.9				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	II	I				

市民実感度 達成率
82.9%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 総合防災訓練等事業	53.3%	D
② 地区別防災マップ作成事業	-	-
③ オールハザードマップ等作成事業	-	-
④ 新型防災ラジオ整備事業	100.0%	A
⑤ 地域防災計画改定事業	100.0%	A
⑥ 風水害等対策事業	75.0%	C
⑥ 風水害等対策事業【公共下水道事業会計】	25.0%	D

実施計画事業 達成率平均
70.7%

施策の方向
③ 地域防災組織の強化
<p>自主防災組織の支援や避難所の機能強化と運営支援などを通じて、地域における防災対応力を強化します。</p>

代表となる指標								
指標①								
市民防災研修会における防災に対する意識高揚度								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	55.0	60.0	95.0	95.0	95.0	95.0
実績値	%	－	0.0	91.0				
達成率		－	0.0	100.0				

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	39.5	41.6	46.7	45.8	47.9	50.0
実績値	%	37.3	34.3	35.4				
達成率		－	86.8	85.1				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ				

市民実感度 達成率
85.1%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 地域防災力強化事業	61.7%	C

実施計画事業 達成率
61.7%

まちづくりのビジョン (基本政策)	1 命、財産を守り抜くまち（安心政策）
基本施策	2 消防力の充実・強化
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑多様化、大規模化する災害に、迅速かつ的確に対応した消防体制が充実しています。 ・市民の応急処置への対応力向上と医療機関との連携の強化により、救急体制が充実し、救命率の向上が図られています。 ・防火意識が高まり、防火対策が推進されています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑多様化、大規模化する災害に、迅速かつ的確に対応するため、消防庁舎の整備、消防組織体制の見直し及び地域防災の要である消防団との連携強化を図ります。 ・応急手当の普及啓発、救急高度化の推進及び医療機関との連携による救急体制の充実を図ります。 ・火災のないまちを目指し、地域や事業者と連携した地域ぐるみの火災予防対策に取り組めます。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
93.3 /100	A 順調	<p>消防力の充実・強化に向け、消防施設の再整備や資器材整備のほか、応急手当の普及啓発や防火意識啓発の取組などが成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、達成率の低い消防車両や消防水利の整備については、災害対応に欠かせないものであることから、計画的に取り組む必要がある。</p> <p>また、三つの市民実感度については、市民実感度と重要度が高い分類Ⅰに該当しているが、目標値を達成していないことから、より効果的な取組や情報発信の手法を検討し、引き続き、消防力の充実・強化を図っていく必要がある。</p>

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
出火率（人口1万人当たりの出火件数）	2.4件	2.6件	92.3%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
AEDの使い方や心臓マッサージの方法を知っている市民の割合	63.1%	62.2%	98.6%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
市民による応急手当の実施率	66.5%	69.1%	100.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている市民の割合	80.3%	79.5%	99.0%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
97.5%

代表となる指標 得点①
48.7

◆市民実感度 【配点：30点】

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
消防・救急・救助体制が充実していると思う市民の割合	72.3%	70.1%	97.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
応急手当の普及に向けた取組が進んでいると思う市民の割合	50.0%	45.4%	90.8%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
火災予防の啓発など、火災予防の取組が進んでいると思う市民の割合	54.7%	52.2%	95.4%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
94.4%
市民実感度 得点 ^㊸
28.3

◆実施計画事業指標 【配点：20点】

(各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値)

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 消防体制の充実	1	消防庁舎整備事業	100.0%
	2	消防団施設整備事業	100.0%
	3	高機能消防指令センター整備事業	-
	4	消防車両整備事業	70.0%
	5	消防水利整備事業	0.0%
	6	消防資器材整備事業	100.0%
	7	消防団活性化事業	92.1%
② 救急体制の充実	8	救急推進事業	100.0%
③ 火災予防対策の推進	9	防火意識啓発事業	93.4%

実施計画事業指標 達成率平均
81.9%
実施計画事業指標 得点 ^㊹
16.3

施策の方向								
① 消防体制の充実								
<p>消防拠点施設や消防資機材等の整備を始め、消防団員確保と活動環境の充実を図るとともに、消防広域応援体制を推進し、消防力を強化します。</p>								

代表となる指標								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	—	—	—	—	—	—
実績値	—	—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—

代表となる指標 達成率
—

市民実感度								
指標①								
消防・救急・救助体制が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	71.5	72.3	73.0	73.8	74.6	75.4
実績値	%	70.7	69.1	70.1				
達成率		—	96.6	97.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I				

市民実感度 達成率
97.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 消防庁舎整備事業	100.0%	A
② 消防団施設整備事業	100.0%	A
③ 高機能消防指令センター整備事業	—	—
④ 消防車両整備事業	70.0%	C
⑤ 消防水利整備事業	0.0%	D
⑥ 消防資器材整備事業	100.0%	A
⑦ 消防団活性化事業	92.1%	A

実施計画事業 達成率平均
77.0%

施策の方向
② 救急体制の充実
<p>市民協働による応急救護体制を強化するため、幅広く救命講習会を開催し、応急手当の普及啓発を推進します。また、医療機関との連携を更に強化し、救命率の向上を図ります。</p>

代表となる指標								
指標①								
AEDの使い方や心臓マッサージの方法を知っている市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	61.9	63.1	64.4	65.6	66.9	68.1
実績値	%	60.7	61.9	62.2				
達成率		-	100.0	98.6				
指標②								
市民による応急手当の実施率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	66.5	66.5	66.5	66.5	66.5	66.5
実績値	%	61.2	66.3	69.1				
達成率		-	99.7	100.0				

代表となる指標 達成率平均
99.3%

市民実感度								
指標①								
応急手当の普及に向けた取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	48.8	50.0	51.3	52.5	53.8	55.0
実績値	%	47.5	49.1	45.4				
達成率		-	100.0	90.8				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I				

市民実感度 達成率
90.8%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 救急推進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率
100.0%

施策の方向
③ 火災予防対策の推進
<p>地域や事業所における防火意識の普及啓発を推進するとともに、立入検査等を強化し、地域と連携した火災予防対策に取り組めます。</p>

代表となる指標								
指標①								
出火率（人口1万人当たりの出火件数）								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	件	-	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.3
実績値		2.4	2.4	2.6				
達成率		%	-	100.0	92.3			
指標②								
消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	79.9	80.3	80.8	81.3	81.7	82.2
実績値		79.4	79.4	79.5				
達成率		-	99.4	99.0				

代表となる指標 達成率平均
95.7%

市民実感度								
指標①								
火災予防の啓発など、火災予防の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	53.3	54.7	56.1	57.5	58.9	60.3
実績値		51.9	54.8	52.2				
達成率		-	100.0	95.4				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I				

市民実感度 達成率
95.4%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 防火意識啓発事業	93.4%	A

実施計画事業 達成率
93.4%

まちづくりのビジョン (基本政策)	1 命、財産を守り抜くまち（安心政策）
基本施策	3 セーフコミュニティの推進
目指す姿	「事故やけがは、偶然の結果ではなく、予防できる」というセーフコミュニティの理念の下、地域住民などとの協働により、誰もがいつまでも安心・安全で健康に暮らせるまちが実現されています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・市民・関係団体・行政などが連携・協働し、セーフコミュニティの認証指標やセーフコミュニティ推進条例に基づき、誰もが健康で安心して安全に暮らすことができるまちづくりを進めます。 ・交通安全の啓発活動や、放置自転車の対策に取り組みます。 ・街頭犯罪の未然防止及び犯罪の抑制を図るため、市民協働による防犯パトロールなどの防犯活動を行うとともに、消費者トラブルの早期解決・防止に向け、消費生活相談や啓発活動を実施します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
85.2 /100	B おおむね順調	<p>セーフコミュニティの推進に向け、セーフコミュニティや交通安全の啓発活動を始め、消費者トラブルの防止に向けた様々な取組などが成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、刑法犯認知件数や特殊詐欺被害件数の増加が見られるため、防犯に対する取組を一層推進するとともに、駅周辺の良い生活環境を保持するため、増加する放置自転車への対策を強化する必要がある。</p> <p>また、三つの市民実感度については、いずれも達成率が低いことから、市民が主体的に事故やけがの予防対策に取り組むことができる研修会メニューの充実を図るとともに、交通安全の取組や防犯対策を実感できるより効果的な事業を展開する必要がある。</p>

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
セーフコミュニティに関する研修会等参加者のセーフコミュニティに対する意識高揚度	93.6%	92.0%	98.3%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
自転車の安全のために心掛けていることがある市民の割合	57.2%	57.3%	100.0%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
交通事故発生件数（暦年）	742件	617件	100.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
防犯などの対策について心掛けていることがある市民の割合	92.0%	89.6%	97.4%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
刑法犯認知件数（暦年）	810件	1102件	73.5%
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
特殊詐欺被害件数（暦年）	27件	38件	71.1%
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
90.1%

代表となる指標 得点①
45.0

◆市民実感度 【配点：30点】

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
事故やけがなどがなく健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	46.0%	37.0%	80.4%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
交通安全の取組が進んでいると思う市民の割合	44.4%	37.6%	84.7%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
防犯の取組が進んでいると思う市民の割合	42.5%	30.2%	71.1%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
78.7%

市民実感度 得点 [Ⓐ]
23.6

◆実施計画事業指標 【配点：20点】

(各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値)

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① セーフコミュニティの取組の推進	1	セーフコミュニティ推進事業	79.9%
	2	地域セーフコミュニティ活動推進事業	99.2%
② 交通安全対策の強化	3	交通安全対策事業	100.0%
	4	自転車安全促進事業	97.9%
	5	放置自転車対策事業	74.7%
③ 防犯に対する取組の推進	6	防犯対策事業	81.5%
	7	安心・安全対策整備事業	76.8%
	8	本厚木駅周辺環境浄化対策事業	54.3%
	9	振り込め詐欺等防止装置購入費補助事業	71.1%
	10	消費生活相談・消費者意識啓発事業	96.4%

実施計画事業指標 達成率平均
83.2%

実施計画事業指標 得点 [Ⓒ]
16.6

施策の方向								
① セーフコミュニティの取組の推進								
セーフコミュニティの理念の下、市民や関係団体など、安全の向上を担う様々な組織と連携・協働し、事故やけがなどのデータの収集と科学的な分析を行い、根拠に基づいた対策を実施します。								

代表となる指標								
指標①								
セーフコミュニティに関する研修会等参加者のセーフコミュニティに対する意識高揚度								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	92.7	93.6	94.5	95.4	96.4	97.4
実績値	%	86.5	94.1	92.0				
達成率		-	100.0	98.3				

代表となる指標 達成率
98.3%

市民実感度								
指標①								
事故やけがなどが無い健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	43.9	46.0	48.1	50.2	52.3	54.4
実績値	%	41.8	41.6	37.0				
達成率		-	94.8	80.4				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	II				

市民実感度 達成率
80.4%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① セーフコミュニティ推進事業	79.9%	C
② 地域セーフコミュニティ活動推進事業	99.2%	A

実施計画事業 達成率平均
89.6%

施策の方向	
② 交通安全対策の強化	
<p>地域と行政などとの協働により、市内の主要道路における交通指導や駅周辺などでの啓発キャンペーンを実施します。</p> <p>また、放置自転車の指導・整理や自転車などの駐車場の拡充などにより、通行の安全確保を図ります。</p>	

代表となる指標								
指標①								
自転車の安全のために心掛けていることがある市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	55.2	57.2	63.4	64.8	66.2	67.6
実績値	%	53.2	60.8	57.3				
達成率		-	100.0	100.0				
指標②								
交通事故発生件数（暦年）								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	777	742	603	587	571	555
実績値	件	852	711	617				
達成率	%	-	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率平均
100.0%

市民実感度								
指標①								
交通安全の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	42.4	44.4	46.4	48.4	50.4	52.4
実績値	%	40.4	42.8	37.6				
達成率		-	100.0	84.7				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ				

市民実感度 達成率
84.7%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 交通安全対策事業	100.0%	A
② 自転車安全促進事業	97.9%	A
③ 放置自転車対策事業	74.7%	C

実施計画事業 達成率平均
90.9%

施策の方向

③ 防犯に対する取組の推進

市民協働による防犯活動の充実を図ります。
 また、特殊詐欺の情報の周知などに取り組むとともに、警察と連携して特殊詐欺被害の未然防止に努めます。
 さらに、消費者トラブルの早期解決を図るとともに、悪質商法などに関する効果的な啓発活動の展開を図り、消費者被害の未然防止に努めます。

代表となる指標

指標①

防犯などの対策について心掛けていることがある市民の割合

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0	96.0
実績値	%	90.1	89.5	89.6				
達成率		-	98.4	97.4				

指標②

刑法犯認知件数（暦年）

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	900	810	729	656	590	531
実績値	件	1,259	1,131	1,102				
達成率	%	-	79.6	73.5				

指標③

特殊詐欺被害件数（暦年）

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	30	27	19	16	13	10
実績値	件	31	10	38				
達成率	%	-	100.0	71.1				

代表となる指標
達成率平均

80.7%

市民実感度

指標①

防犯の取組が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	40.0	42.5	45.0	47.5	50.0	52.5
実績値	%	36.8	38.2	30.2				
達成率		-	95.5	71.1				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ				

市民実感度
達成率

71.1%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 防犯対策事業	81.5%	B
② 安心・安全対策整備事業	76.8%	C
③ 本厚木駅周辺環境浄化対策事業	54.3%	D
④ 振り込め詐欺等防止装置購入費補助事業	71.1%	C
⑤ 消費生活相談・消費者意識啓発事業	96.4%	A

実施計画事業
達成率平均

76.0%

2 支え合い、生き生きと暮らせるまち (輝き政策)

基本施策	総合得点	評価区分
1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	91.0	A 順調
2 子育て環境の充実	95.8	A 順調
3 健康寿命延伸の推進	90.6	A 順調
4 多様性の尊重と平和都市の推進	75.5	C やや遅れ

総合評価
<p>輝き政策は、3つの基本施策で順調に進捗しているが、基本施策4『多様性の尊重と平和都市の推進』については、主に国際交流や多文化共生に関する取組の実績値が、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことにより、施策全体でやや遅れとなったため、コロナ禍で浮かび上がった課題を分析し、事業の在り方を検討する必要がある。</p> <p>基本施策1『住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現』については、市民実感度の6項目において実績値が前年度を全て下回り、高齢者等に対する福祉サービスを実感している割合が低いため、各種福祉サービスや包括的な支援サービスの充実に向け、取り組んでいくとともに、より一層事業の周知を図る必要がある。</p> <p>また、目標値を達成していない施策・事業については、課題の整理や現状分析等を行い、市民の皆様が支え合い、生き生きと暮らせるまちの実現に向けて、着実に取組を進めること。</p>

総合計画審議会からの意見
<p>3施策が総合評価A、1施策が総合評価Cとなり、おおむね計画どおりに進捗したことは評価する。基本施策4「多様性の尊重と平和都市の推進」については、代表となる指標「民間団体等による国際交流活動に対する補助金交付件数」や「日本語教室参加者数」などの目標値に対する達成率が新型コロナウイルス感染症の影響で低くなっているが、令和3年度と比較して実績値は増加しているため、引き続き、取組の重要性を周知するとともに、更なる施策の推進を図られたい。</p>

まちづくりのビジョン (基本政策)	2 支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）
基本施策	1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現
目指す姿	誰もが、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる社会が実現されています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「見守り、つながり、支え合い、一人一人が尊重される地域づくり」を進め、助け合える関係を構築します。 ・高齢者の生きがいや就労機会の創出の取組を進め、社会参加の機会を提供します。 ・介護老人保健施設などの整備や人材確保など、ニーズに対応した高齢者福祉サービス提供体制を整備します。 ・高齢者が可能な限り自立した生活を送ることができるよう、生活支援の取組を進めます。 ・障がい者が自立して生活できるよう、また、サービスを必要とする人に質の高いサービスを提供できるよう、サービス内容の充実や人材の確保に取り組みます。 ・医療、介護、福祉等の連携による包括的な支援体制の構築を図ります。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
91.0 /100	A 順調	<p>住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現に向け、高齢者の外出支援を始めとした高齢者福祉サービスの充実や障がい者が自立して生活できる環境づくりに向けた取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、六つの市民実感度については、いずれも目標値を達成しておらず、重要度も高いことから、地域福祉活動の推進や各種福祉サービスの充実、包括的な支援体制の構築に向け、より一層取り組んでいく必要がある。</p> <p>また、介護職への人材確保や人材支援を継続し、適切なサービスを提供し続けられる体制の確保に努め、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる社会の実現を目指す必要がある。</p>

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
地域の人との関わりがあると思う市民の割合	57.0%	57.3%	100.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
生きがいを持って生活を送っている市民の割合	76.0%	76.0%	100.0%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
ケアプラン点検の実施事業所数	50事業所	50事業所	100.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
介護職の人材支援を受けて市内事業所に就労した人数	32人	43人	100.0%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
地域住民による助け合い活動団体数	9団体	12団体	100.0%
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
市内障害福祉サービス事業所の地域生活支援拠点の登録数	8か所	42か所	100.0%
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
地域福祉コーディネーターの活動件数	2100件	1422件	67.7%
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
95.4%

代表となる指標 得点①
47.7

◆市民実感度 【配点：30点】

（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいると思う市民の割合	52.0%	46.7%	89.8%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進んでいると思う市民の割合	42.0%	37.0%	88.1%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実していると思う市民の割合	45.8%	39.1%	85.4%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
高齢者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合	46.0%	39.7%	86.3%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
障がい者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合	40.0%	34.2%	85.5%
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実していると思う市民の割合	40.5%	34.7%	85.7%

市民実感度 達成率平均
86.8%

市民実感度 得点 [Ⓐ]
26.0

◆実施計画事業指標 【配点：20点】

（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 地域福祉活動の推進	1	地域福祉推進事業	89.8%
	2	エイジレス・ライフ応援事業	57.1%
② 就労・生きがいづくりの推進	3	老人クラブ指導育成事業	88.5%
	4	高齢者生きがい就労事業	83.2%
	5	障がい者就労施設等共同受注窓口事業補助事業	76.1%
③ 福祉サービス提供体制の充実	6	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期）策定事業	100.0%
	7	介護職人材確保支援事業	100.0%
	8	特別養護老人ホーム建設事業補助事業	-
④ 高齢者福祉サービスの充実	9	在宅福祉推進事業（在宅サービス事業）	74.5%
	10	介護支援事業（高齢者支援）【介護保険事業特別会計】	54.2%
	11	高齢者外出支援事業	100.0%
	12	敬老事業	81.1%
	13	要介護・高齢者等歯科診療事業	100.0%
	14	要介護・高齢者等歯科診療設備整備事業	100.0%
⑤ 障がい者福祉サービスの充実	15	障害者地域生活支援事業（福祉サービス）	94.7%
	16	児童発達支援事業	100.0%
	17	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	100.0%
	18	障害者医療費助成事業	100.0%
	19	障害者福祉手当等給付事業	95.4%
	20	障害福祉サービス開設準備・運営経費補助事業	100.0%
	21	障がい者歯科診療運営費補助事業	92.5%
	22	学校等訪問看護支援事業費	100.0%
⑥ 包括的な支援体制の充実	23	在宅医療・介護・生活支援推進事業【介護保険事業特別会計】	100.0%
	24	地域包括支援センター運営事業【介護保険事業特別会計】	100.0%
	25	社会福祉団体等助成事業	67.7%
	26	生活困窮者自立支援事業	62.0%
	27	高齢者の尊厳保持支援事業	100.0%
	28	重層的支援体制整備事業	17.5%

実施計画事業指標 達成率平均
86.5%

実施計画事業指標 得点 [Ⓒ]
17.3

施策の方向								
① 地域福祉活動の推進								
<p>地域において、日頃から適度な距離感を持った、住民同士のゆるやかな見守り活動を通じて、困ったときに助け合える、「見守り、つながり、支え合い、一人一人が尊重される地域づくり」を進めます。</p>								

代表となる指標								
指標①								
地域の人のとの関わりがあると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	56.0	57.0	59.0	60.5	62.0	63.5
実績値	%	53.9	55.2	57.3				
達成率		-	98.6	100.0				
指標②								
地域住民による助け合い活動団体数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	8	9	15	18	22	25
実績値	団体	7	7	12				
達成率	%	-	87.5	100.0				

代表となる指標 達成率平均
100.0%

市民実感度								
指標①								
見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	50.0	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0
実績値	%	48.0	50.3	46.7				
達成率		-	100.0	89.8				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I				

市民実感度 達成率
89.8%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 地域福祉推進事業	89.8%	B

実施計画事業 達成率
89.8%

施策の方向	
② 就労・生きがいづくりの推進	
<p>高齢者の外出を促進するとともに、地域における交流の場を整備し、社会参加の機会の拡大を通じて、いつまでも生きがいを持てるよう支援します。</p> <p>また、高齢者が培った豊かな知見や経験をいかせる場づくりを支援し、高齢者の就労機会の確保を図ります。</p>	

代表となる指標								
指標①								
生きがいを持って生活を送っている市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	75.0	76.0	77.0	78.0	79.0	80.0
実績値	%	74.6	75.2	76.0				
達成率		-	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	40.0	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0
実績値	%	39.6	43.3	37.0				
達成率		-	100.0	88.1				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	II				

市民実感度 達成率
88.1%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① エイジレス・ライフ応援事業	57.1%	D
② 老人クラブ指導育成事業	88.5%	B
③ 高齢者生きがい就労事業	83.2%	B
④ 障がい者就労施設等共同受注窓口事業補助事業	76.1%	C

実施計画事業 達成率平均
76.2%

施策の方向
③ 福祉サービス提供体制の充実
<p>要介護者などが、自宅で日常生活を維持するために、身体状況などに応じて作成された介護支援計画（ケアプラン）に基づき、必要なサービスが受けられるよう、サービス必要量の確保に努めます。 また、在宅サービスの要望を基本とした上で、必要に応じた施設整備を行います。</p>

代表となる指標								
指標①								
介護職の人材支援を受けて市内事業所に就労した人数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	人	-	28	32	45	47	49	52
実績値		20	39	43				
達成率		%	-	100.0	100.0			

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	44.6	45.8	47.0	48.2	49.4	50.6
実績値		43.4	44.6	39.1				
達成率		-	100.0	85.4				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I				

市民実感度 達成率
85.4%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期）策定事業	100.0%	A
② 介護職人材確保支援事業	100.0%	A
③ 特別養護老人ホーム建設事業補助事業	-	-

実施計画事業 達成率平均
100.0%

施策の方向	
④ 高齢者福祉サービスの充実	
<p>ひとり暮らし高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、可能な限り自立した生活を送るための在宅支援サービスを提供します。</p> <p>また、高齢者の外出機会を拡大するため、バス交通費に対する一部助成を行うなど、高齢者福祉サービスを提供します。</p>	

代表となる指標								
指標①								
ケアプラン点検の実施事業所数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	事業所	-	50	50	50	50	50	50
実績値		35	50	50				
達成率	%	-	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
高齢者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	45.0	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0
実績値		44.3	45.3	39.7				
達成率		-	100.0	86.3				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I				

市民実感度 達成率
86.3%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 在宅福祉推進事業（在宅サービス事業）	74.5%	C
② 介護支援事業（高齢者支援）【介護保険事業特別会計】	54.2%	D
③ 高齢者外出支援事業	100.0%	A
④ 敬老事業	81.1%	B
⑤ 要介護・高齢者等歯科診療事業	100.0%	A
⑥ 要介護・高齢者等歯科診療設備整備事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
85.0%

施策の方向	
⑤ 障がい者福祉サービスの充実	
<p>福祉施設や医療機関などとの連携により、障がいの特性に応じた必要なサービスの提供の充実を図るとともに、地域や社会活動への参加を促進し、生きがいを持った自分らしい生活を支援します。 また、障がいに対する理解を深める機会を提供し、啓発を進めます。</p>	

代表となる指標								
指標①								
市内障害福祉サービス事業所の地域生活支援拠点の登録数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	か所	-	6	8	10	48	51	54
実績値		5	38	42				
達成率	%	-	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
障がい者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	37.0	40.0	43.0	46.0	49.0	52.0
実績値		36.4	38.6	34.2				
達成率		-	100.0	85.5				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	II	II				

市民実感度 達成率
85.5%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 障害者地域生活支援事業（福祉サービス）	94.7%	A
② 児童発達支援事業	100.0%	A
③ 軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	100.0%	A
④ 障害者医療費助成事業	100.0%	A
⑤ 障害者福祉手当等給付事業	95.4%	A
⑥ 障害福祉サービス開設準備・運営経費補助事業	100.0%	A
⑦ 障がい者歯科診療運営費補助事業	92.5%	A
⑧ 学校等訪問看護支援事業費	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
97.8%

施策の方向

⑥ 包括的な支援体制の充実

地域包括支援センターや障がい者相談支援センターを中心に、それぞれが地域の実態や課題について把握するとともに、関係機関などとの連携による分野横断的な相談体制の充実を図ります。

代表となる指標

指標①

地域福祉コーディネーターの活動件数

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値	－	1,800	2,100	2,300	2,500	2,700
実績値	件	1,752	1,532	1,422				
達成率	%	－	85.1	67.7				

代表となる指標
達成率

67.7%

市民実感度

指標①

支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実していると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		目標値	－	38.0	40.5	43.0	45.5	48.0
実績値	%	35.4	38.2	34.7				
達成率		－	100.0	85.7				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ				

市民実感度
達成率

85.7%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 在宅医療・介護・生活支援推進事業【介護保険事業特別会計】	100.0%	A
② 地域包括支援センター運営事業【介護保険事業特別会計】	100.0%	A
③ 社会福祉団体等助成事業	67.7%	C
④ 生活困窮者自立支援事業	62.0%	C
⑤ 高齢者の尊厳保持支援事業	100.0%	A
⑥ 重層的支援体制整備事業	17.5%	D

実施計画事業
達成率平均

74.5%

まちづくりのビジョン (基本政策)	2 支え合い、生き生きと暮らせるまち (輝き政策)
基本施策	2 子育て環境の充実
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが健やかで心豊かに成長できる環境が整っています。 地域全体で子どもと子育て家庭を支える体制が整い、保護者が子育てに伴う誇りと喜びを実感できる社会が実現されています。 子どもたちの育つ力を応援するため、保育・幼児教育ニーズに対応したサービスが提供されています。 保健・医療支援が充実し、安心して子どもを産み育てることができる環境が整っています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭に対する経済的な負担軽減などの子育てサービスを充実させるとともに、地域全体での子育てを推進するため、地域、関係機関などとの連携を深め、子育て支援体制の充実を図ります。 保育所などの機能充実や保育・幼児教育内容の充実を図るとともに、人材確保に努め、保育・幼児教育の提供体制の充実を図ります。 保健、福祉などの分野が連携した総合的な健康づくりや育児に関する不安・悩みの軽減を図り、親と子の健康づくりを推進します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
95.8 /100	A 順調	<p>子育て環境の充実に向け、子育て家庭に対する経済的支援を始め、子育て家庭の状況に合わせた支援や親子の健康を保持・増進する取組などが成果指標の高い達成率につながっており、施策を順調に推進することができた。</p> <p>しかしながら、保育・幼児教育の提供体制の充実に必要な幼稚園教諭・保育士の人材確保や共働き子育て家庭をサポートする幼稚園送迎ステーション事業の登録者数が目標値を達成しておらず、効果的なPRを含めた方策を検討する必要がある。</p> <p>また、三つの市民実感度については、重要度と実感度が高い分類Ⅰに該当していることから、引き続き、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに取り組む必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる市民の割合	56.3%	60.5%	100.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
保育施設等入所率	100.0%	100.0%	100.0%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
妊娠届出率（妊娠11週以下）	85.0%	84.9%	99.9%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
100.0%

代表となる指標 得点④
50.0

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
子育てサービスが充実していると思う市民の割合	66.4%	64.0%	96.4%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
保育と幼児教育の提供体制が充実していると思う市民の割合	55.2%	50.7%	91.8%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進んでいると思う市民の割合	52.5%	48.8%	93.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
93.7%

市民実感度 得点 [Ⓐ]
28.1

◆実施計画事業指標 [配点：20点]

(各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値)

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 子育てサービスの充実	1	子育て支援事業	83.0%
	2	母子家庭等支援事業	97.5%
	3	コミュニティ保育推進事業補助事業	66.7%
	4	子育てリフレッシュ事業	100.0%
	5	あつぎ子ども未来プラン(第4期)策定事業	-
	6	子育て日常生活支援事業	100.0%
② 保育・幼児教育等の提供体制の充実	7	保育内容充実事業	90.3%
	8	民間保育施設整備事業	-
	9	市立保育所整備事業	-
	10	子ども・子育て支援新制度事業	100.0%
	11	私立幼稚園就園奨励事業	92.9%
	12	放課後子ども教室推進事業	100.0%
	13	放課後児童対策事業	97.5%
	14	幼稚園送迎ステーション事業	66.3%
	15	幼稚園教諭確保助成事業	36.7%
	16	保育士確保助成事業	62.2%
③ 親と子の健康づくりの推進	17	療育支援事業	95.1%
	18	子ども医療費助成事業	96.6%
	19	不妊治療費助成事業	100.0%
	20	ひとり親家庭等医療費助成事業	100.0%
	21	予防接種事業	100.0%
	22	母子保健衛生事業	100.0%

実施計画事業指標 達成率平均
88.7%

実施計画事業指標 得点 [Ⓒ]
17.7

施策の方向	
① 子育てサービスの充実	
<p>ライフスタイルの変化などによる保育ニーズの多様化に対応した子育てサービスを提供するとともに、家庭や子どもの状況に合わせ、適切な支援を実施します。 また、地域における子育て支援体制の充実を図り、地域力を活用した子育て支援を促進します。</p>	

代表となる指標								
指標①								
子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	56.1	56.3	65.6	67.0	68.4	69.8
実績値	%	55.9	62.8	60.5				
達成率		-	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
子育てサービスが充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	66.2	66.4	66.6	66.8	67.0	67.2
実績値	%	66.0	68.2	64.0				
達成率		-	100.0	96.4				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I				

市民実感度 達成率
96.4%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 子育て支援事業	83.0%	B
② 母子家庭等支援事業	97.5%	A
③ コミュニティ保育推進事業補助事業	66.7%	C
④ 子育てリフレッシュ事業	100.0%	A
⑤ あつぎ子ども未来プラン（第4期）策定事業	-	-
⑥ 子育て日常生活支援事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
89.4%

施策の方向
② 保育・幼児教育等の提供体制の充実
<p>保育所の機能充実や、認定こども園、幼稚園、保育所などの保育・教育内容の充実を図るとともに、担い手となる教育・保育従事者の確保に取り組みます。</p>

代表となる指標								
指標①								
保育施設等入所率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	%	99.9	100.0	100.0				
達成率		-	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
保育と幼児教育の提供体制が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	54.8	55.2	55.6	56.0	56.4	56.8
実績値	%	54.4	57.5	50.7				
達成率		-	100.0	91.8				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I				

市民実感度 達成率
91.8%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 保育内容充実事業	90.3%	A
② 民間保育施設整備事業	-	-
③ 市立保育所整備事業	-	-
④ 子ども・子育て支援新制度事業	100.0%	A
⑤ 私立幼稚園就園奨励事業	92.9%	A
⑥ 放課後子ども教室推進事業	100.0%	A
⑦ 放課後児童対策事業	97.5%	A
⑧ 幼稚園送迎ステーション事業	66.3%	C
⑨ 幼稚園教諭確保助成事業	36.7%	D
⑩ 保育士確保助成事業	62.2%	C

実施計画事業 達成率平均
80.7%

施策の方向	
③ 親と子の健康づくりの推進	
<p>子どものライフステージに応じて、保健、福祉などの分野が連携した、総合的な健康づくりに取り組みます。また、保護者の育児に関する悩みや不安の軽減を図るとともに、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を提供します。</p> <p>さらに、療育を必要とする子どもとその保護者に対する療育支援を推進します。</p>	

代表となる指標								
指標①								
妊娠届出率（妊娠11週以下）								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	85.0	85.0	90.0	91.0	92.0	93.5
実績値	%	80.9	87.6	84.9				
達成率		－	100.0	99.9				

代表となる指標 達成率
99.9%

市民実感度								
指標①								
母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	52.0	52.5	53.0	53.5	54.0	54.5
実績値	%	51.3	56.8	48.8				
達成率		－	100.0	93.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I				

市民実感度 達成率
93.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 療育支援事業	95.1%	A
② 子ども医療費助成事業	96.6%	A
③ 不妊治療費助成事業	100.0%	A
④ ひとり親家庭等医療費助成事業	100.0%	A
⑤ 予防接種事業	100.0%	A
⑥ 母子保健衛生事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
98.6%

まちづくりのビジョン (基本政策)	2 支え合い、生き生きと暮らせるまち (輝き政策)
基本施策	3 健康寿命延伸の推進
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療の提供体制が整い、安心して医療機関を受診できる体制づくりが進んでいます。 ・予防的観点から、ライフステージに応じた健康づくりの取組が進み、健康寿命が延伸されています。 ・介護予防の取組が進み、健康寿命が延伸されるとともに、認知症に対する理解が広まり、高齢者やその家族を支える体制が整っています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな感染症を始め、あらゆる医療ニーズに対応するため、市立病院など地域医療支援病院と地域の医療機関等との連携により、医療体制の更なる充実を図ります。 ・健康診査受診率の向上を図るとともに、保健、栄養指導、健康講座等による健康管理意識の高揚により、健康づくりを進めます。 ・要介護状態になることを予防するため、介護予防ケアマネジメントを実施するとともに、医療や福祉サービスと連携した認知症対策を進めます。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
90.6 /100	A 順調	<p>健康寿命延伸の推進に向け、地域の医療機関との連携強化や生活習慣病等の予防・早期発見と重症化を予防する取組、健康診査受診率の向上などが成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、一般介護事業及び介護支援事業は目標値を達成したが、市民実感度「介護予防と認知症に対する取組が進んでいると思う市民の割合」は低いことから、引き続き、市民に施策の効果を実感していただけるよう積極的に取組を周知する必要がある。</p> <p>さらに、市立病院については、新型コロナウイルス感染症への対応を行いながらの運用だったが、過去最高の救急搬送件数となり、今後も引き続き、二次救急医療機関として、救急受入体制をより強化していく必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
市立病院の紹介率	77.5%	85.9%	100.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
市立病院の逆紹介率	62.5%	82.3%	100.0%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
健康増進のために取り組んでいることがある市民の割合	91.5%	91.5%	100.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
健康診断やがん検診、人間ドックを受けた市民の割合	82.0%	82.0%	100.0%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
特定健康診査の受診率	39.0%	30.6%	78.5%
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
長寿健康診査等の受診率	41.1%	37.3%	90.8%
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある市民の割合	79.1%	81.9%	100.0%
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率
高齢者のうち、介護を必要とする人（要介護・要支援認定者）の割合	15.2%	15.9%	100.0%

代表となる指標 達成率平均
96.2%

代表となる指標 得点④
48.1

◆市民実感度 【配点：30点】

（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実していると思う市民の割合	57.0%	54.0%	94.7%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
市立病院の救急医療体制が充実していると思う市民の割合	53.0%	50.3%	94.9%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
市立病院と地域のクリニック等との連携が充実していると思う市民の割合	42.5%	42.6%	100.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進んでいると思う市民の割合	68.0%	63.8%	93.8%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
介護予防と認知症に対する取組が進んでいると思う市民の割合	34.0%	28.4%	83.5%
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
93.4%
市民実感度 得点 [Ⓐ]
28.0

◆実施計画事業指標 【配点：20点】

（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 地域医療体制の充実	1	看護職等人材確保支援事業	57.3%
	2	救急医療事業	76.5%
	3	市立病院運営事業	91.4%
② 心と体の健康づくりの推進	4	データヘルス計画推進事業【国民健康保険事業特別会計】	100.0%
	5	健康増進事業	78.3%
	6	（再掲）予防接種事業	100.0%
	7	長寿健康診査等事業【後期高齢者医療事業特別会計】	90.8%
	8	特定健康診査等事業【国民健康保険事業特別会計】	78.5%
	9	未病施策事業	30.3%
	10	健康スイミング事業	0.0%
	11	健康づくり事業	58.7%
③ 介護予防と認知症に対する取組の推進	12	介護予防・生活支援サービス事業【介護保険事業特別会計】	55.1%
	13	一般介護予防事業【介護保険事業特別会計】	100.0%
	14	介護支援事業（認知症サポーター養成）【介護保険事業特別会計】	100.0%
	15	認知症総合支援事業【介護保険事業特別会計】	72.5%

実施計画事業指標 達成率平均
72.6%
実施計画事業指標 得点 [Ⓒ]
14.5

施策の方向								
① 地域医療体制の充実								
<p>医療需要の増大に対応するため、保健師や看護師等の医療人材の確保、定着を図り、医療体制を強化します。 また、休日・夜間における救急医療体制の確保、健康相談や医療機関情報の提供の充実を図るとともに、市立病院と地域の医療機関等との連携を図ります。</p>								

代表となる指標								
指標①								
市立病院の紹介率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	75.0	77.5	79.5	80.0	81.0	82.0
実績値	%	71.2	77.8	85.9				
達成率		-	100.0	100.0				
指標②								
市立病院の逆紹介率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	60.0	62.5	82.5	85.0	87.5	90.0
実績値	%	60.9	76.7	82.3				
達成率		-	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率平均
100.0%

市民実感度								
指標①								
メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	56.5	57.0	57.5	58.0	58.5	59.0
実績値	%	56.0	54.3	54.0				
達成率		-	96.1	94.7				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I				
指標②								
市立病院の救急医療体制が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	51.5	53.0	54.5	56.0	57.5	59.0
実績値	%	50.2	49.9	50.3				
達成率		-	96.9	94.9				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I				
指標③								
市立病院と地域のクリニック等との連携が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	41.0	42.5	44.0	45.5	47.0	48.5
実績値	%	39.6	42.5	42.6				
達成率		-	100.0	100.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I				

市民実感度 達成率平均
96.5%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 看護職等人材確保支援事業	57.3%	D
② 救急医療事業	76.5%	C
③ 市立病院運営事業	91.4%	A

実施計画事業 達成率平均
75.1%

施策の方向	
② 心と体の健康づくりの推進	
<p>各種検診等に対する周知や積極的受診勧奨により、受診率の向上を図り、疾病の早期発見・早期治療に取り組むとともに、健康管理に関する情報提供等により健康課題に関する認知度、意識の高揚を図り、生活習慣病の発症、重症化の予防を推進します。</p> <p>また、生涯にわたり心身ともに健康に過ごせるよう、運動等の身体を動かす機会の提供や心と体の健康相談を実施します。</p>	

代表となる指標								
指標①								
健康増進のために取り組んでいることがある市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	91.0	91.5	92.0	92.5	93.0	93.5
実績値	%	90.0	92.8	91.5				
達成率		-	100.0	100.0				
指標②								
健康診断やがん検診、人間ドックを受けた市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	86.0
実績値	%	80.0	80.3	82.0				
達成率		-	99.1	100.0				
指標③								
特定健康診査の受診率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	38.0	39.0	40.0	41.0	42.0	43.0
実績値	%	36.3	32.7	30.6				
達成率		-	86.1	78.5				
指標④								
長寿健康診査等の受診率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	41.0	41.1	41.2	41.3	41.4	41.5
実績値	%	39.5	36.5	37.3				
達成率		-	89.0	90.8				

代表となる指標 達成率平均
92.3%

市民実感度								
指標①								
検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	66.0	68.0	70.0	72.0	74.0	76.0
実績値	%	64.1	61.7	63.8				
達成率		-	93.5	93.8				
【参考】実感度と重要度の関係性								
		I	I	I				

市民実感度 達成率
93.8%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① データヘルス計画推進事業【国民健康保険事業特別会計】	100.0%	A
② 健康増進事業	78.3%	C
③ (再掲) 予防接種事業	100.0%	A
④ 長寿健康診査等事業【後期高齢者医療事業特別会計】	90.8%	A
⑤ 特定健康診査等事業【国民健康保険事業特別会計】	78.5%	C
⑥ 未病施策事業	30.3%	D
⑦ 健康スイミング事業	0.0%	D
⑧ 健康づくり事業	58.7%	D

実施計画事業 達成率平均
67.1%

施策の方向								
③ 介護予防と認知症に対する取組の推進								
<p>要支援者等の多様な生活支援ニーズに対応した介護サービスの提供を行うとともに、要介護状態等になることを予防するため、介護予防ケアマネジメントを実施します。 また、医療や福祉サービスと連携した認知症に対する総合的な支援を行います。</p>								

代表となる指標								
指標①								
認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	79.0	79.1	79.2	79.3	79.4	79.5
実績値	%	78.9	79.4	81.9				
達成率		-	100.0	100.0				
指標②								
高齢者のうち、介護を必要とする人（要介護・要支援認定者）の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	14.8	15.2	15.9	17.3	18.0	18.7
実績値	%	14.3	15.3	15.9				
達成率		-	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率平均
100.0%

市民実感度								
指標①								
介護予防と認知症に対する取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	32.5	34.0	36.0	37.0	38.0	40.0
実績値	%	31.2	28.9	28.4				
達成率		-	88.9	83.5				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ				

市民実感度 達成率
83.5%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 介護予防・生活支援サービス事業【介護保険事業特別会計】	55.1%	D
② 一般介護予防事業【介護保険事業特別会計】	100.0%	A
③ 介護支援事業（認知症サポーター養成）【介護保険事業特別会計】	100.0%	A
④ 認知症総合支援事業【介護保険事業特別会計】	72.5%	C

実施計画事業 達成率平均
81.9%

まちづくりのビジョン (基本政策)	2 支え合い、生き生きと暮らせるまち (輝き政策)
基本施策	4 多様性の尊重と平和都市の推進
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢、性別、国籍、心身の特性、考え方などにかかわらず、一人一人が互いの存在を尊重できるまちが実現されています。 ・虐待、DVなどについての相談・支援体制が充実しています。 ・戦争の悲惨さと平和の尊さについて理解が深まっています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・互いを尊重し合えるよう、多様性、多文化共生についての啓発を推進します。 ・被害者、相談者の立場に立ったきめ細かな支援を行うため、関係機関相互の連携強化を図り、情報共有や支援体制を充実させます。 ・平和について理解を深めるための取組を推進します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
75.5 /100	C やや遅れ	<p>多様性の尊重と平和都市の推進に向け、相談・支援体制の充実を図るための関係機関相互の連携強化を始め、人権教育や児童虐待・DV対策に係る取組の達成率は高かったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、海外友好都市等を始めとする国際交流や多文化共生に関する取組が影響を受けたことから、やや遅れている結果となった。</p> <p>今後については、より多くの市民に国際交流の機会が提供できるよう、オンライン交流などを積極的に増やしていくとともに、交流の機会が減っている友好都市との交流方法について検討する必要がある。</p> <p>また、平和都市の推進については、戦争を知らない世代が増えてくる中、平和への理解を深め、平和への意識を後世につないでいく必要があることから、若い世代が参加できる事業運営方法を検討する必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
人権講座参加者の人権意識高揚度	86.4%	86.2%	99.8%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
民間団体等による国際交流活動に対する補助金交付件数	5件	1件	20.0%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
海外友好都市等との交流活動件数	19件	12件	63.2%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
日本語教室参加者数	5500人	2479人	45.1%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
児童虐待相談に対し速やかに(48時間以内)対応できた件数の割合	100.0%	99.0%	99.0%
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
平和のための展示会参加者数	550人	265人	48.2%
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
62.6%

代表となる指標 得点①
31.3

施策の方向								
① 多様性に対する理解の促進								
<p>人権について正しく理解し、性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、相互に尊重し行動できるよう、市民、地域、学校、事業者等と協働、連携しながら、ライフステージに合わせた人権教育・啓発を推進します。</p>								

代表となる指標								
指標①								
人権講座参加者の人権意識高揚度								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	86.3	86.4	94.0	94.5	95.0	95.5
実績値	%	86.2	92.9	86.2				
達成率		-	100.0	99.8				

代表となる指標 達成率
99.8%

市民実感度								
指標①								
国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	27.5	28.0	28.5	29.0	29.5	30.0
実績値	%	26.7	29.8	31.7				
達成率		-	100.0	100.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 人権啓発推進事業	81.1%	B
② 人権教育・啓発推進事業	99.8%	A
③ 男女共同参画推進事業	83.1%	B
④ 障害者地域生活支援事業（障がい者理解促進）	56.9%	D

実施計画事業 達成率平均
80.2%

施策の方向
② 多文化共生の推進
<p>国籍に関係なく、地域の構成員として共に生活できるよう、必要な情報を提供し、日常生活を支援するとともに、関係機関との連携、海外友好都市等との交流を進め、国際理解や多様な価値観への理解を促進します。</p>

代表となる指標								
指標①								
民間団体等による国際交流活動に対する補助金交付件数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	件	-	4	5	6	7	8	8
実績値		3	0	1				
達成率		%	-	0.0	20.0			
指標②								
海外友好都市等との交流活動件数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	件	-	18	19	19	20	20	21
実績値		12	2	12				
達成率		%	-	11.1	63.2			
指標③								
日本語教室参加者数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	人	-	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
実績値		5,179	208	2,479				
達成率		%	-	3.8	45.1			

代表となる指標 達成率平均
42.8%

市民実感度								
指標①								
国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいると思う市民の割合（再掲）								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	27.5	28.0	28.5	29.0	29.5	30.0
実績値		26.7	29.8	31.7				
達成率		-	100.0	100.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 多文化共生交流事業	45.1%	D
② 国際交流推進事業	54.2%	D

実施計画事業 達成率平均
-

施策の方向
③ 相談・支援体制の充実
<p>人権侵害やその脅威・不安等について、気軽に相談できるよう、相談窓口の周知を図るとともに、相談体制の充実に努めます。また、複雑化、多様化する人権問題に総合的かつ迅速に対応できるよう、国、県等の関係機関・相談支援機関や各種団体との連携強化を図ります。</p>

代表となる指標								
指標①								
児童虐待相談に対し速やかに（48時間以内）対応できた件数の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	%	73.7	75.0	99.0				
達成率		－	75.0	99.0				

代表となる指標 達成率
99.0%

市民実感度								
指標①								
困りごとに対する相談・支援体制が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	27.5	28.0	28.5	29.0	29.5	30.0
実績値	%	27.1	30.1	29.7				
達成率		－	100.0	100.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ				

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 女性のための相談事業	100.0%	A
② 市民相談事業	100.0%	A
③ 児童虐待・DV対策事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

施策の方向
④ 平和都市の推進
<p>「国際平和と核兵器廃絶を求める都市宣言“あつぎ”」を広く周知するとともに、戦争を知らない世代が、興味や関心を持てる方法で、平和への理解を促進します。</p>

代表となる指標								
指標①								
平和のための展示会参加者数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	530	550	570	590	610	630
実績値	人	509	0	265				
達成率	%	-	0.0	48.2				

代表となる指標 達成率
48.2%

市民実感度								
指標①								
平和についての啓発が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	20.0	24.0	28.0	32.0	36.0	40.0
実績値	%	17.5	20.9	18.9				
達成率		-	100.0	78.8				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
78.8%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 平和都市推進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率
100.0%

3 夢や希望を持ち、自己実現ができるまち (成長政策)

基本施策	総合得点	評価区分
1 学校教育の充実	97.1	A 順調
2 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	92.9	A 順調
3 文化芸術の振興	83.4	B おおむね順調
4 生涯スポーツの振興	88.5	B おおむね順調

総合評価

成長政策は、2つの基本施策で順調に進捗しているが、基本施策3『文化芸術の振興』及び基本施策4『生涯スポーツの振興』については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う事業の中止や縮小により、総合評価がAからBに下がっている。多くの市民の皆様が文化芸術やスポーツに親しんでもらえるよう、オンラインを活用した事業開催など様々な手法の検討や各種取組に係る発信強化を行う必要がある。

基本施策3の市民実感度「あつぎ郷土博物館の取組が進んでいると思う市民の割合」の実績値が前年度より6.4ポイント低下していることに加え、実施計画事業「あつぎ郷土博物館活動推進事業」の達成率が59.3%となっていることから、事業の充実とともに、ホームページやSNS等の情報ツールを活用し、日頃の研究や活動を幅広く周知する必要がある。

また、目標値を達成していない施策・事業については、課題の整理や現状分析等を行い、市民の皆様が夢や希望を持ち、自己実現ができるまちの実現に向け、着実に取組を進めること。

総合計画審議会からの意見

2施策が総合評価A、2施策が総合評価Bとなり、おおむね計画どおりに進捗したことは評価するが、基本施策3「文化芸術の振興」及び基本施策4「生涯スポーツの振興」については、新型コロナウイルス感染症の影響で事業の中止や縮小により評価が低くなっている。今後、市民生活がコロナ禍前に戻る事が予測されるため、市民ニーズを的確にとらえ、効果的な事業の実施に取り組まれない。

まちづくりのビジョン (基本政策)	3 夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	1 学校教育の充実
目指す姿	子ども一人一人が伸び伸びと学び、自分の進みたい道を選択するために必要な学力及び心身を育むことができる教育環境が整備されています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの社会の変化に対応できるよう、生きる力を育みます。 ・教職員の資質、能力、指導力を一層向上させるため、研究・研修等により教育環境の充実に図ります。 ・安心・安全で快適な教育環境の確保を図ります。 ・様々な課題や困難を抱える子どもと保護者に対し、状況に応じた相談・支援体制を充実させます。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
97.1 /100	A 順調	<p>学校教育の充実に向け、学力及び心身を育むことができる教育環境の整備のほか、学校施設の予防保全の取組や学校給食施設の整備・供用開始などの安心・安全な教育環境の確保に向けた取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。</p> <p>市民実感度「教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実していると思う市民の割合」については、重要度は高く実感度が低い分類Ⅱに該当するため、本市の特性や課題に合致した質の高い研修を提供するなど、教職員及び各種支援員の資質向上につながる取組が必要である。</p> <p>また、将来にわたって子どもたちが充実した教育環境で学ぶことができるよう、市立小・中学校の適正規模・適正配置の取組を進めており、引き続き保護者や地域住民の方の考えを丁寧に聞きながら、選択すべき方を整理していく必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
全国学力・学習状況調査の全国の平均正答率に対する本市の達成度	97.0%	97.1%	100.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
ICTを活用して授業を行った教員の割合	100.0%	91.7%	91.7%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
校舎の外壁、屋上などの長寿命化改修率	62.8%	60.1%	95.7%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う市民の割合	63.0%	67.4%	100.0%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
全国学力・学習状況調査の思いやりに関する設問に肯定的に回答した児童・生徒の割合	88.0%	88.2%	100.0%
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
97.5%

代表となる指標 得点①
48.7

◆市民実感度 【配点：30点】

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっていると思う市民の割合	30.0%	33.2%	100.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実していると思う市民の割合	31.0%	29.1%	93.9%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
安全な教育環境の整備が進んでいると思う市民の割合	38.1%	38.7%	100.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進んでいると思う市民の割合	30.0%	33.1%	100.0%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
98.5%

市民実感度 得点 ^㊸
29.5

◆実施計画事業指標 【配点：20点】

(各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値)

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 自立につながる生きる力の育成	1	小・中学校ICT化推進事業	100.0%
	2	小学校児童支援推進事業	100.0%
	3	中学校少人数学級実施事業	100.0%
	4	小・中学校保護者負担軽減事業	97.8%
	5	SEL教育基金事業	99.2%
	6	英語教育推進事業	92.5%
	7	小中一貫教育推進事業	98.0%
	8	教育研修・活動助成事業	46.4%
	9	学校給食施設整備事業	100.0%
	10	オリンピック・パラリンピック体験支援事業	-
② 子どもたちを育てる支援体制の充実	11	学力ステップアップ推進事業	100.0%
	12	教育調査研究事業	100.0%
	13	先生のための研修事業	99.2%
③ 安全な教育環境の整備	14	小中学校学校施設最適化推進事業	100.0%
	15	校舎・体育館改修事業	100.0%
	16	校庭整備事業	100.0%
	17	特別教室冷暖房設備設置事業	100.0%
	18	小中学校適正規模等推進事業	50.0%
	19	児童・生徒登下校等安全推進事業	94.3%
	20	インターナショナルセーフスクール推進事業	100.0%
	21	小中学校プール施設最適化推進事業	100.0%
	22	小・中学校LED化推進事業	100.0%
	23	小学校通学路安全点検ウェアラブルカメラ導入事業	100.0%
④ 安心して共に学べる教育の推進	24	就学支援事業	100.0%
	25	外国籍児童・生徒等支援事業	92.7%
	26	学校支援プロジェクト推進事業	77.8%
	27	特別支援教育推進事業	100.0%
	28	教育支援教室運営事業	100.0%
	29	青少年教育相談事業	100.0%
	30	登校支援推進事業	93.6%

実施計画事業指標 達成率平均
94.5%

実施計画事業指標 得点 ^㊹
18.9

施策の方向	
① 自立につながる生きる力の育成	
<p>本市独自の特色ある学校づくりを進めるとともに、個に応じたきめ細かな指導を充実させることにより、基礎的な知識、技能や学ぶ意欲の向上を図ります。</p>	

代表となる指標								
指標①								
全国学力・学習状況調査の全国の平均正答率に対する本市の達成度								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	96.0	97.0	98.0	99.0	100.0	101.0
実績値	%	95.8	95.5	97.1				
達成率		-	99.5	100.0				

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	30.0	30.0	30.0	35.0	35.0	35.0
実績値	%	26.8	34.7	33.2				
達成率		-	100.0	100.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ				

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 小・中学校ICT化推進事業	100.0%	A
② 小学校児童支援推進事業	100.0%	A
③ 中学校少人数学級実施事業	100.0%	A
④ 小・中学校保護者負担軽減事業	97.8%	A
⑤ SEL教育基金事業	99.2%	A
⑥ 英語教育推進事業	92.5%	A
⑦ 小中一貫教育推進事業	98.0%	A
⑧ 教育研修・活動助成事業	46.4%	D
⑨ 学校給食施設整備事業	100.0%	A
⑩ オリンピック・パラリンピック体験支援事業	-	-

実施計画事業 達成率平均
92.7%

施策の方向	
② 子どもたちを育てる支援体制の充実	
子ども一人一人の課題や教育的ニーズに応じた指導、支援を行うため、教職員の資質・能力を向上させることにより、質の高い教育環境の充実に努めます。	

代表となる指標								
指標①								
ICTを活用して授業を行った教員の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	%	70.4	91.7	91.7				
達成率		-	91.7	91.7				

代表となる指標 達成率
91.7%

市民実感度								
指標①								
教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	30.0	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0
実績値	%	29.7	36.6	29.1				
達成率		-	100.0	93.9				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ				

市民実感度 達成率
93.9%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 学カステップアップ推進事業	100.0%	A
② 教育調査研究事業	100.0%	A
③ 先生のための研修事業	99.2%	A

実施計画事業 達成率平均
99.7%

施策の方向	
③ 安全な教育環境の整備	
<p>適切で計画的な学校施設の維持管理と予防保全等を実施することにより、子どもたちが安心して安全に学校生活を送ることができる快適な教育環境を確保します。 また、市立小・中学校の適正規模・適正配置に係る検討を進めます。</p>	

代表となる指標								
指標①								
校舎の外壁、屋上などの長寿命化改修率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	61.3	62.8	64.4	65.9	67.5	69.0
実績値	%	58.5	58.2	60.1				
達成率		-	94.9	95.7				

代表となる指標 達成率
95.7%

市民実感度								
指標①								
安全な教育環境の整備が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	37.7	38.1	38.5	38.9	39.3	39.7
実績値	%	37.3	45.3	38.7				
達成率		-	100.0	100.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I				

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 小中学校学校施設最適化推進事業	100.0%	A
② 校舎・体育館改修事業	100.0%	A
③ 校庭整備事業	100.0%	A
④ 特別教室冷暖房設備設置事業	100.0%	A
⑤ 小中学校適正規模等推進事業	50.0%	D
⑥ 児童・生徒登下校等安全推進事業	94.3%	A
⑦ インターナショナルセーフスクール推進事業	100.0%	A
⑧ 小中学校プール施設最適化推進事業	100.0%	A
⑨ 小・中学校LED化推進事業	100.0%	A
⑩ 小学校通学路安全点検ウェアラブルカメラ導入事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
94.4%

施策の方向								
④ 安心して共に学べる教育の推進								
<p>学校生活を進める上で支援を必要とする子どもや、外国につながる子ども、学校に行きづらさを感じている子どもなどへの支援を推進します。</p> <p>また、子どもや保護者が学校生活に関する不安や悩みについて安心して相談でき、支援を受けられる体制を構築します。</p>								

代表となる指標								
指標①								
子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	63.0	63.0	72.8	74.4	76.0	77.6
実績値	%	61.1	69.8	67.4				
達成率		-	100.0	100.0				
指標②								
全国学力・学習状況調査の思いやりに関する設問に肯定的に回答した児童・生徒の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	87.5	88.0	88.5	89.0	89.5	90.0
実績値	%	86.3	88.6	88.2				
達成率		-	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率平均
100.0%

市民実感度								
指標①								
人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	30.0	30.0	30.0	35.0	35.0	35.0
実績値	%	28.3	39.2	33.1				
達成率		-	100.0	100.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		II	I	I				

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 就学支援事業	100.0%	A
② 外国籍児童・生徒等支援事業	92.7%	A
③ 学校支援プロジェクト推進事業	77.8%	C
④ 特別支援教育推進事業	100.0%	A
⑤ 教育支援教室運営事業	100.0%	A
⑥ 青少年教育相談事業	100.0%	A
⑦ 登校支援推進事業	93.6%	A

実施計画事業 達成率平均
94.9%

まちづくりのビジョン (基本政策)	3 夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	2 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に応じた学習機会の創出や地域の人材を活用した学習支援づくりが進んでいます。 ・家庭、地域、学校が連携し、家庭教育の充実が図られています。 ・生涯にわたって多様な学習機会が提供され、学びや交流、つながりの拠点が整備されています。 ・地域における子どもたちの健全育成に対する取組が進んでいます。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学習機会の提供、地域住民の出会いや交流、つながりの拠点である公民館活動を推進します。 ・教育の出発点である家庭の教育力を高めるため、家庭教育を推進します。 ・生涯にわたって自ら学び続けられる学習環境を提供します。 ・地域全体で青少年の健全な育成を図るため、関係団体の活動の支援や子どもの居場所づくりを進めます。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
92.9 /100	A 順調	<p>地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進に向け、充実した公民館活動を始め、家庭教育支援の充実や街頭指導等の青少年による非行防止対策などの取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小した事業の達成率が低いため、より多くの市民が参加できる開催方法を検討する必要がある。</p> <p>また、市民実感度については全項目で達成率が高かったが、いずれも実感度と重要度の関係性の分類がⅣとなっていることから、今後も取組の重要性を認知していただけるよう継続して情報発信するとともに、青少年関係団体と連携を図りながら青少年の育成支援、子どもの居場所づくりの充実に取り組む必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
公民館を利用している市民の割合	29.6%	31.8%	100.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
公民館での学級・講座参加者の満足度	71.1%	69.7%	98.0%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
地域や学校の行事に参加又は協力している市民の割合	36.0%	38.7%	100.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
家庭教育支援事業に参加した保護者の家庭教育への有効度	97.5%	97.1%	99.6%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
生涯学習活動を行っている市民の割合	43.0%	54.1%	100.0%
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
図書館を利用している市民の割合	24.0%	24.3%	100.0%
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
図書館の貸出者数	420000人	383050人	91.2%
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率
青少年健全育成団体が行った事業の参加率	55.0%	44.0%	80.0%

代表となる指標 達成率平均
96.1%

代表となる指標 得点④
48.0

◆市民実感度 【配点：30点】

（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進んでいると思う市民の割合	28.0%	28.2%	100.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
家庭・地域・学校の協働が推進されていると思う市民の割合	35.0%	32.0%	91.4%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進んでいると思う市民の割合	32.0%	29.9%	93.4%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が充実していると思う市民の割合	35.0%	32.3%	92.3%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
94.3%

市民実感度 得点 ^㊸
28.2

◆実施計画事業指標 【配点：20点】

（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 地域主体で取り組む社会教育の振興	1	公民館活動事業	98.0%
	2	公民館整備事業	100.0%
② 家庭・地域・学校の協働の推進	3	家庭教育支援事業	99.6%
	4	地域学校協働活動事業	100.0%
③ 生涯学習活動の推進	5	あつぎ協働大学開設事業	86.9%
	6	生涯学習振興事業	67.2%
	7	アミューあつぎ改修事業（中長期保全）	100.0%
	8	（仮称）未来館整備事業	100.0%
	9	図書館整備事業	20.0%
	10	電子図書館事業	64.9%
④ 青少年の健全育成に向けた取組の推進	11	青少年自然文化体験研修事業	93.8%
	12	青少年指導者育成事業	44.2%
	13	青少年非行防止活動事業	100.0%
	14	児童館整備事業	100.0%

実施計画事業指標 達成率平均
83.9%

実施計画事業指標 得点 ^㊹
16.7

施策の方向								
① 地域主体で取り組む社会教育の振興								
<p>公民館における各種学級・講座、事業の充実や必要な機能、施設の整備により、公民館の地域コミュニティ活動や地域教育の拠点性の向上を図ります。</p>								

代表となる指標								
指標①								
公民館を利用している市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	29.1	29.6	30.1	30.6	32.0	33.0
実績値	%	28.6	29.4	31.8				
達成率		－	100.0	100.0				
指標②								
公民館での学級・講座参加者の満足度								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	70.6	71.1	77.9	79.6	81.3	83.0
実績値	%	70.1	74.7	69.7				
達成率		－	100.0	98.0				

代表となる指標 達成率平均
99.0%

市民実感度								
指標①								
地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	27.0	28.0	29.0	30.0	31.0	32.0
実績値	%	26.0	33.2	28.2				
達成率		－	100.0	100.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 公民館活動事業	98.0%	A
② 公民館整備事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
99.0%

施策の方向								
② 家庭・地域・学校の協働の推進								
<p>家庭・地域・学校がそれぞれの役割を担い、相互に補完し、協力しながら、家庭の教育力向上等に向けた取組の充実を図るとともに、家庭教育の重要性について理解が深まるよう啓発を行います。</p>								

代表となる指標								
指標①								
地域や学校の行事に参加又は協力している市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0
実績値	%	34.0	35.2	38.7				
達成率		-	100.0	100.0				
指標②								
家庭教育支援事業に参加した保護者の家庭教育への有効度								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	97.4	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5
実績値	%	97.3	96.8	97.1				
達成率		-	99.4	99.6				

代表となる指標 達成率平均
99.8%

市民実感度								
指標①								
家庭・地域・学校の協働が推進されていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	34.0	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0
実績値	%	33.3	36.8	32.0				
達成率		-	100.0	91.4				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
91.4%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 家庭教育支援事業	99.6%	A
② 地域学校協働活動事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
99.8%

施策の方向

③ 生涯学習活動の推進

年代に応じた様々な学習機会の提供、読書環境の充実、誰もが生涯学習活動に参加しやすい環境の整備、地域人材の積極的な活用と指導者やボランティアの育成等により、生涯にわたり学ぶことができる環境づくりを推進します。

代表となる指標

指標①

生涯学習活動を行っている市民の割合

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	42.0	43.0	53.0	54.1	55.2	56.3
実績値	%	41.6	50.7	54.1				
達成率		-	100.0	100.0				

指標②

図書館を利用している市民の割合

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	23.0	24.0	25.0	26.0	27.0	30.0
実績値	%	22.0	23.7	24.3				
達成率		-	100.0	100.0				

指標③

図書館の貸出者数

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	410,000	420,000	430,000	440,000	450,000	490,000
実績値	人	408,233	369,389	383,050				
達成率	%	-	90.1	91.2				

代表となる指標
達成率平均

97.1%

市民実感度

指標①

生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0	36.0
実績値	%	30.3	33.3	29.9				
達成率		-	100.0	93.4				

市民実感度
達成率

93.4%

【参考】実感度と重要度の関係性

IV

IV

IV

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① あつぎ協働大学開設事業	86.9%	B
② 生涯学習振興事業	67.2%	C
③ アミューあつぎ改修事業（中長期保全）	100.0%	A
④ （仮称）未来館整備事業	100.0%	A
⑤ 図書館整備事業	20.0%	D
⑥ 電子図書館事業	64.9%	C

実施計画事業
達成率平均

73.2%

施策の方向

④ 青少年の健全育成に向けた取組の推進

青少年の主体性や社会性を育む多様な学習、活動、体験の機会及び場の提供並びに指導者、関係団体の支援に取り組めます。
また、青少年の悩み、薬物及び非行問題、有害環境などに対応するため、各関係機関・団体との連携を強化します。

代表となる指標

指標①

青少年健全育成団体が行った事業の参加率

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	50.0	55.0	58.0	59.0	59.5	60.0
実績値	%	45.7	25.3	44.0				
達成率		-	50.6	80.0				

代表となる指標
達成率

80.0%

市民実感度

指標①

青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が充実していると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	30.0	35.0	38.0	39.0	39.5	40.0
実績値	%	29.7	34.6	32.3				
達成率		-	100.0	92.3				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度
達成率

92.3%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 青少年自然文化体験研修事業	93.8%	A
② 青少年指導者育成事業	44.2%	D
③ 青少年非行防止活動事業	100.0%	A
④ 児童館整備事業	100.0%	A

実施計画事業
達成率平均

84.5%

まちづくりのビジョン (基本政策)	3 夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	3 文化芸術の振興
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・身近に本市の歴史や文化芸術に触れる機会が提供されています。 ・伝統文化・郷土芸能や文化財が、次の世代へ保存・継承されています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・文化、芸術に触れる機会を提供するとともに、文化芸術活動に取り組みやすい環境の整備に努めます。 ・郷土の文化や自然、文化財、伝承してきた伝統芸能を受け継ぎ、後世に伝えるため、活動の場の充実や後継者の育成を支援します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
83.4 /100	B おおむね順調	<p>文化芸術の振興に向け、展示会、講演会等の実施により文化芸術に触れる機会を提供するとともに、伝統芸能の後継者の育成のための取組などが成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染症対策により、イベントの人数制限を設けたことや中止したこと等の影響で、目標値を達成できない事業があった。今後は、多くの市民が親しみや関心を持ちながら文化芸術に触れてもらえるよう、オンラインを活用した事業開催など、文化芸術の発信強化に取り組む必要がある。</p> <p>また、あつぎ郷土博物館においては、博物館法の改正を受け、多様な主体との連携・協力による文化観光やその他の活動を図り、地域の活力向上に取り組むとともに、ホームページ、フェイスブック等で積極的な発信を行い、日頃の研究や活動を広く周知する必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
市内で文化芸術に親しんでいる市民の割合	20.0%	19.4%	97.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
文化芸術事業の参加者数	5000人	2720人	54.4%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
厚木の郷土文化に興味がある市民の割合	51.0%	52.5%	100.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
あつぎ郷土博物館の講座及び展示における満足度	92.0%	89.9%	97.7%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
郷土芸能の公演及び体験講座の参加者数	8650人	5172人	59.8%
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
81.8%

代表となる指標 得点①
40.9

施策の方向								
① 文化芸術活動の推進								
<p>様々な世代の多様なニーズを捉えた文化芸術事業を企画・実施し、文化芸術の振興に向けた環境づくりに取り組めます。</p>								

代表となる指標								
指標①								
市内で文化芸術に親しんでいる市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	19.0	20.0	21.0	22.0	23.0	24.0
実績値	%	18.9	16.4	19.4				
達成率		-	86.3	97.0				
指標②								
文化芸術事業の参加者数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	4,950	5,000	5,050	5,100	5,150	5,200
実績値	人	4,729	0	2,720				
達成率	%	-	0.0	54.4				

代表となる指標 達成率平均
75.7%

市民実感度								
指標①								
文化芸術に親しむ機会が提供されていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	41.5	42.0	43.0	44.0	45.0	46.0
実績値	%	41.1	41.3	42.9				
達成率		-	99.5	100.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ				

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① あつぎ市民芸術文化祭開催事業	54.4%	D
② 文化会館リニューアル事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
77.2%

施策の方向	
② 郷土文化の継承と発展	
市民協働により、伝統文化・芸能や文化財の保護及び活用を図ることで、市民の郷土文化に関する理解を深め、継承につなげます。	

代表となる指標								
指標①								
厚木の郷土文化に興味がある市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	49.5	51.0	59.4	60.7	62.0	63.3
実績値	%	49.2	57.0	52.5				
達成率		-	100.0	100.0				
指標②								
あつぎ郷土博物館の講座及び展示における満足度								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	92.0	92.0	94.0	96.0	98.0	100.0
実績値	%	90.2	90.2	89.9				
達成率		-	98.0	97.7				
指標③								
郷土芸能の公演及び体験講座の参加者数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	8,650	8,650	8,650	8,700	8,750	8,800
実績値	人	8,678	3,105	5,172				
達成率	%	-	35.9	59.8				

代表となる指標 達成率平均
85.8%

市民実感度								
指標①								
郷土文化の継承と発展の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	38.0	39.5	40.5	42.0	43.0	44.0
実績値	%	37.5	37.8	36.1				
達成率		-	99.5	91.4				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				
指標②								
あつぎ郷土博物館の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	39.1	40.0	41.0	42.0	43.0	44.0
実績値	%	38.1	43.8	37.4				
達成率		-	100.0	93.5				
【参考】実感度と重要度の関係性		III	III	IV				

市民実感度 達成率平均
92.5%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① あつぎ郷土博物館活動推進事業	59.3%	D
② 郷土芸能事業	86.6%	B
③ 市史編さん事業	50.0%	D

実施計画事業 達成率平均
65.3%

まちづくりのビジョン (基本政策)	3 夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	4 生涯スポーツの振興
目指す姿	いつでも、どこでも、誰でも、いつまでもスポーツを楽しみ、スポーツを通じて相互理解を深めることができる環境が整備されています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが、自発的に様々な形でスポーツ活動に取り組めるよう、スポーツイベントの拡充や施設の整備及び充実に取り組みます。 トップアスリートの育成及び指導者の育成を支援し、競技スポーツ活動を推進します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
88.5 /100	B おおむね順調	<p>生涯スポーツの振興に向け、スポーツイベントの開催により、スポーツに親しめる機会を提供するとともに、スポーツ施設の整備などの取組が成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。</p> <p>また、市民実感度「スポーツ施設が充実していると思う市民の割合」については、目標値を達成していないことから、市民が今後も安心・安全に荻野運動公園等のスポーツ施設を利用し続けていくことができるよう、計画的に整備・改修を進める必要がある。</p> <p>今後についても、引き続き、感染対策を講じたうえでスポーツイベント等を実施するとともに、計画的なスポーツ施設の整備・管理を行い、市民が安心して安全にスポーツに親しめる環境を整備していく必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
運動やスポーツを週3回以上行っている市民の割合	36.0%	29.3%	81.4%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
スポーツ指導者養成研修等参加者数	1,110人	901人	81.2%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
公共スポーツ施設の利用者数	1,620,000人	1,343,542人	82.9%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
81.8%

代表となる指標 得点④
40.9

施策の方向								
① 生涯スポーツ活動の推進								
<p>いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも興味や関心、目的に応じてスポーツに親しむことができるよう、スポーツイベントの開催等を通じて、様々なスポーツ活動の機会を提供します。</p>								

代表となる指標								
指標①								
運動やスポーツを週3回以上行っている市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0
実績値	%	34.5	27.1	29.3				
達成率		-	77.4	81.4				
指標②								
スポーツ指導者養成研修等参加者数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	1,100	1,110	1,120	1,130	1,140	1,150
実績値	人	1,083	147	901				
達成率	%	-	13.4	81.2				

代表となる指標 達成率平均
81.3%

市民実感度								
指標①								
運動・スポーツ活動の機会が提供されていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	51.0	52.0	53.0	54.0	55.0	56.0
実績値	%	50.2	51.2	51.0				
達成率		-	100.0	98.1				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ				

市民実感度 達成率
98.1%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 市民スポーツ推進事業（生涯スポーツ）	88.3%	B
② 社会体育指導者養成事業	81.2%	B

実施計画事業 達成率平均
84.8%

施策の方向
② 競技スポーツ活動の推進
<p>子どもたちの育成や競技団体の競技力の底上げを図るため、あつぎスポーツアカデミーを推進するとともに、スポーツ活動を支える団体、指導者、スポーツボランティアなどの育成及び活用を進めます。</p>

代表となる指標								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	—	—	—	—	—	—
実績値	—	—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—

代表となる指標 達成率
—

市民実感度								
指標①								
スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	32.0	33.0	34.0	35.0	36.0	37.0
実績値	%	31.5	32.7	33.8				
達成率		—	100.0	100.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 競技力向上支援事業	100.0%	A
② 市民スポーツ推進事業（競技スポーツ）	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

施策の方向	
③ スポーツ施設の整備・充実	
<p>身近な場所で、いつでも気軽にスポーツができるよう、既存スポーツ施設の整備及び充実、学校体育施設の開放など、多様なスポーツ活動の場を提供するとともに、公共スポーツ施設の特性に応じた効果的で効率的な施設運営を行います。</p>	

代表となる指標								
指標①								
公共スポーツ施設の利用者数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	1,575,000	1,620,000	1,665,000	1,710,000	1,755,000	1,800,000
実績値	人	1,529,937	1,207,361	1,343,542				
達成率	%	-	76.7	82.9				

代表となる指標 達成率
82.9%

市民実感度								
指標①								
スポーツ施設が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	43.0	44.0	45.0	46.0	47.0	48.0
実績値	%	42.7	41.2	39.9				
達成率		-	95.8	90.7				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ				

市民実感度 達成率
90.7%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 運動公園長寿命化事業	100.0%	A
② グラウンド・ゴルフ場整備事業	90.0%	A
③ 飯山グラウンド整備事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
96.7%

4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち (発展政策)

基本施策	総合得点	評価区分
1 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	85.9	B おおむね順調
2 魅力ある中心市街地等の形成	85.3	B おおむね順調
3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	97.9	A 順調
4 産業・商業の振興	91.3	A 順調
5 安心して働くことができるまちの実現	93.5	A 順調
6 観光の振興	90.3	A 順調
7 シティプロモーションと定住促進	86.5	B おおむね順調
8 農業・林業・水産業の振興	96.2	A 順調

総合評価

発展政策は、5つの基本施策で順調に進捗しているが、基本施策1『誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進』については、代表となる指標「管理不全であるため、助言等が必要な空き家数」が目標値を大幅に達成していることに対して、市民実感度「空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合」の目標値に対する達成率が56.6%と低くなっていることから、取組実績と市民の皆様の実感が大きく乖離しており、その差を埋めるべくより一層取組を周知する必要がある。

基本施策7『シティプロモーションと定住促進』については、市民実感度「親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいると思う市民の割合」の実績値が低くなっていることに加え、施策の方向「定住促進に向けた取組の推進」の目標値に対する達成率が低くなっていることから、バランスの取れた人口構成を確保するため、市内外へ効果的な周知を図り、定住促進に取り組む必要がある。

また、目標値を達成していない施策・事業については、課題の整理や現状分析等を行い、人が集い、交流し、新たな価値を生むまちの実現に向けて、より効果的な実施方法や新たな取組等を検討し、着実に取組を進めること。

総合計画審議会からの意見

5施策が総合評価A、3施策が総合評価Bとなり、おおむね計画どおりに進捗したことは評価するが、基本施策1「誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進」については、施策の方向「市民生活や産業活動を支える道路ネットワークづくりの推進」の実施計画事業指標の目標値に対する達成率が低くなっていることから、市民の皆様のご日常生活の利便性や安全性を高めるため、より円滑な道路交通環境の確保に向け、計画的な事業の推進に努められたい。

まちづくりのビジョン (基本政策)	4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	1 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが公共交通等を利用して快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができるまちが実現されています。 空き家の発生が抑制されるとともに、市営住宅については、安全で快適な状態が保たれ、暮らしやすい住環境が形成されています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 都市機能の維持・誘導や、バス路線沿線への居住及び生活利便施設の緩やかな誘導を図り、住み慣れた地域での生活利便性を高めます。 幹線道路の計画的な整備や、生活道路の効果的な整備を推進します。 コミュニティ交通導入の検討や、環境に優しい移動手段への転換を推進します。 新たな空き家等の状況把握に努め、管理不全な状況の改善・解消を図るとともに、空き家の有効活用を促進し、空き家に起因する様々な不安の解消に努めます。 市営住宅の長寿命化を計画的に実施し、安全で快適な生活環境を安定的に提供します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
85.9 /100	B おおむね順調	<p>誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進に向け、バス路線を補完するコミュニティ交通の運行を始め、様々な道路ネットワークの整備や空き家の適正管理に関する助言・指導を行う取組などが成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、コンパクトなまちづくりを推進するために実施しているハザードエリアからの住宅の移転については、制度の拡充及び周知を図ったものの、活用に至らなかったことから、引き続き防災意識向上の取組等と合わせて理解促進を図る必要がある。</p> <p>また、道路整備については、他部署や他機関と綿密な調整を行いながら、地権者や地元関係者の理解と協力を得て、計画的に事業進捗を図るとともに、住居表示整備事業では、住所変更の手続きなど、市民への負担が大きいため、方針の見直し等を検討する必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率	80.6%	80.4%	99.8%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
幹線道路（1・2級市道）等の整備延長（累計）	353m	219m	62.0%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
公共交通の徒歩圏人口カバー率	85.1%	85.5%	100.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
路線バスの利用者数（1日当たり）	70000人	46400人	66.3%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
管理不全であるため、助言等が必要な空き家数	90戸	28戸	100.0%
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
85.6%

代表となる指標 得点①
42.8

◆市民実感度 【配点：30点】

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にあると思う市民の割合	76.2%	75.4%	99.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合	41.0%	46.8%	100.0%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
通勤や買物など日常生活における移動がスムーズにできていると思う市民の割合	56.4%	59.3%	100.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合	29.0%	16.4%	56.6%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
88.9%

市民実感度 得点 [Ⓐ]
26.6

◆実施計画事業指標 【配点：20点】

(各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値)

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率	
① コンパクトなまちづくりの推進	1	コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業	66.6%	
	2	街路整備事業	75.0%	
	3	街路用地取得事業	100.0%	
	4	幹線市道新設改良事業	58.6%	
	5	交差点等改良事業	50.0%	
	6	生活道路整備事業	100.0%	
	7	厚木秦野道路用地取得事業（用地国債）【公共用地取得事業特別会計】	95.6%	
	② 市民生活や産業活動を支える道路ネットワークづくりの推進	8	中町第2-2地区周辺交通アクセス整備事業	100.0%
		9	道路整備用地取得事業	92.9%
		10	歩道整備事業	-
		11	橋りょう架替事業	100.0%
		12	通学路安全整備事業	100.0%
		13	通学路安全対策事業	100.0%
③ 移動しやすい公共交通環境の整備	14	地域公共交通対策事業	33.3%	
	15	コミュニティ交通推進事業	100.0%	
	16	次世代モビリティシステム検討事業	100.0%	
	17	自転車走行空間整備事業	55.0%	
	18	本厚木駅駅舎改装事業	100.0%	
④ 安全で快適な住環境の整備	19	空き家等対策推進事業	100.0%	
	20	住宅政策推進事業	30.0%	
	21	住居表示整備事業	100.0%	

実施計画事業指標 達成率平均
82.9%

実施計画事業指標 得点 [Ⓒ]
16.5

施策の方向	
① コンパクトなまちづくりの推進	
<p>公共交通等を利用して誰もが快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができる都市を実現するため、鉄道駅周辺の都市機能の維持又は誘導を図るとともに、バス路線沿線など公共交通の利便性の高い地域に、居住や生活利便施設を緩やかに誘導します。</p>	

代表となる指標								
指標①								
スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	79.4	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6
実績値	%	79.4	79.7	80.4				
達成率		-	100.0	99.8				

代表となる指標 達成率
99.8%

市民実感度								
指標①								
日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にあると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	76.2	76.2	80.6	80.6	80.6	80.6
実績値	%	76.2	75.1	75.4				
達成率		-	98.6	99.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I				

市民実感度 達成率
99.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業	66.6%	C

実施計画事業 達成率
66.6%

施策の方向	
② 市民生活や産業活動を支える道路ネットワークづくりの推進	
<p>市内の道路ネットワークの充実を図るため、都市計画道路を含む幹線道路を計画的に整備し、交通混雑の解消を進めます。</p> <p>また、日常生活の利便性、安全性を高めるため、生活道路の効果的な整備を推進します。</p>	

代表となる指標								
指標①								
幹線道路（1・2級市道）等の整備延長（累計）								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	208	353	403	453	503	553
実績値	m	103	134	219				
達成率	%	-	64.4	62.0				

代表となる指標 達成率
62.0%

市民実感度								
指標①								
安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	40.5	41.0	41.5	42.0	42.5	43.0
実績値	%	39.8	47.6	46.8				
達成率		-	100.0	100.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	I	I				

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 街路整備事業	75.0%	C
② 街路用地取得事業	100.0%	A
③ 幹線市道新設改良事業	58.6%	D
④ 交差点等改良事業	50.0%	D
⑤ 生活道路整備事業	100.0%	A
⑥ 厚木秦野道路用地取得事業（用地国債）【公共用地取得事業特別会計】	95.6%	A
⑦ 中町第2-2地区周辺交通アクセス整備事業	100.0%	A
⑧ 道路整備用地取得事業	92.9%	A
⑨ 歩道整備事業	-	-
⑩ 橋りょう架替事業	100.0%	A
⑪ 通学路安全整備事業	100.0%	A
⑫ 通学路安全対策事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
88.4%

施策の方向								
③ 移動しやすい公共交通環境の整備								
<p>更なる移動環境の向上を図るため、路線バスの利便性向上を図るとともに、路線バスを補完するコミュニティ交通導入を検討します。</p> <p>また、公共交通利用への転換を促進し、環境に優しい移動手段の普及啓発を推進します。</p>								

代表となる指標								
指標①								
公共交通の徒歩圏人口カバー率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	85.1	85.1	85.2	85.2	85.2	85.2
実績値	%	85.1	85.5	85.5				
達成率		-	100.0	100.0				
指標②								
路線バスの利用者数（1日当たり）								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
実績値	人	70,000	43,600	46,400				
達成率	%	-	62.3	66.3				

代表となる指標 達成率平均
83.2%

市民実感度								
指標①								
通勤や買物など日常生活における移動がスムーズにできていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	54.4	56.4	58.4	60.4	62.4	64.4
実績値	%	54.4	56.9	59.3				
達成率		-	100.0	100.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I				

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 地域公共交通対策事業	33.3%	D
② コミュニティ交通推進事業	100.0%	A
③ 次世代モビリティシステム検討事業	100.0%	A
④ 自転車走行空間整備事業	55.0%	D
⑤ 本厚木駅駅舎改装事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
77.7%

施策の方向								
④ 安全で快適な住環境の整備								
<p>空き家等の状況把握に努め、管理不全な状況の改善及び解消を図るとともに、利用可能な空き家については、空き家バンクを活用するなど、空き家に起因する犯罪や災害等の未然防止に努めます。</p> <p>また、市営住宅については、厚木市市営住宅等長寿命化計画などに基づき、予防保全的な修繕や改善等を適正かつ効率的に実施することにより、施設の長寿命化を図ります。</p>								

代表となる指標								
指標①								
管理不全であるため、助言等が必要な空き家数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	戸	-	100	90	28	28	28	28
実績値		63	46	28				
達成率		%	-	100.0	100.0			

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	24.0	29.0	34.0	39.0	44.0	60.0
実績値		14.1	18.5	16.4				
達成率		-	77.1	56.6				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	II				

市民実感度 達成率
56.6%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 空き家等対策推進事業	100.0%	A
② 住宅政策推進事業	30.0%	D
③ 住居表示整備事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
76.7%

まちづくりのビジョン (基本政策)	4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	2 魅力ある中心市街地等の形成
目指す姿	中心市街地等の再整備により、都市機能や交通利便性が向上し、魅力にあふれた街並みが形成され、誰もが訪れてみたい、歩いて楽しいまちが実現されています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・官民が連携して本厚木駅周辺及び愛甲石田駅周辺の再整備を進めることにより、中心市街地等の魅力向上とともに、都市機能の充実に取り組みます。 ・空き店舗の活用やイベントの開催により、中心市街地のにぎわいを創出します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
85.3 /100	B おおむね順調	<p>魅力ある中心市街地等の形成に向け、中町第2-2地区周辺における複合施設整備の取組や愛甲石田駅周辺まちづくり基本構想の策定を始め、空き店舗の活用やあつぎ国際大道芸等のイベント開催などの取組が成果指標の達成率につながっており、施策はおおむね順調に推進している。</p> <p>しかしながら、市民実感度「中心市街地の整備が進んでいると思う市民の割合」の実感度と重要度の関係性は分類Ⅱであり、市民ニーズが高いため、定期的なイベント開催やイメージアップ、快適な歩行空間づくりを進め、中心市街地のにぎわいの創出や回遊性の向上に向けた取組を推進する必要がある。</p> <p>また、縮小していたイベントについては、再開することができたものの、新型コロナウイルス感染症の影響で、外出の機運がコロナ禍前まで回復していないことから、今後は更なる魅力あるイベントの開催や商業支援を進める必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
中心市街地の歩行者数	110,500人	94,327人	85.4%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
中心市街地の活性化イベント数	44件	34件	77.3%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
81.4%

代表となる指標 得点④
40.7

施策の方向								
① 中心市街地等の都市機能の向上								
<p>本厚木駅周辺は、商業・業務、行政、文化などの多様な都市機能の集積や交通結節機能の充実を図るとともに、居心地が良く、歩いて楽しい市街地の創出による魅力ある拠点を形成します。</p> <p>愛甲石田駅周辺は、地域の生活を支える商業・業務等の都市機能の集積や交通結節機能の充実を図るとともに、駅へのアクセス性を高める周辺道路整備を進めます。</p>								

代表となる指標								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	—	—	—	—	—	—
実績値	—	—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—

代表となる指標 達成率
—

市民実感度								
指標①								
中心市街地の整備が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0	53.0
実績値	%	42.9	46.5	42.7				
達成率		—	100.0	90.9				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ				

市民実感度 達成率
90.9%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 本厚木駅北口周辺整備事業	50.0%	D
② 中町第2-2地区周辺整備事業	100.0%	A
③ 愛甲石田駅周辺整備事業	100.0%	A
④ 地下道活性化事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
87.5%

施策の方向	
② にぎわい創出に向けた取組の推進	
<p>商店街が実施するイベントや環境整備などにより、人でにぎわう市街地となるよう、空き店舗対策やイベント開催の支援を行います。</p>	

代表となる指標								
指標①								
中心市街地の歩行者数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	人	-	110,000	110,500	111,000	111,500	112,000	112,500
実績値		109,836	98,282	94,327				
達成率		%	-	89.3	85.4			
指標②								
中心市街地の活性化イベント数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	件	-	43	44	45	46	47	48
実績値		42	26	34				
達成率		%	-	60.5	77.3			

代表となる指標 達成率平均
81.4%

市民実感度								
指標①								
中心市街地のにぎわいを感じている市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	30.0	35.0	40.0	45.0	48.0	50.0
実績値		27.1	29.3	31.2				
達成率		-	97.7	89.1				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
89.1%

実施計画事業				
事業名			達成率	施策貢献度
①	市街地商業活性化事業		91.5%	A

実施計画事業 達成率
91.5%

まちづくりのビジョン (基本政策)	4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通利便性の高い新たな産業拠点が整備されることにより、雇用が拡大し、経済・産業が活性化したまちが実現されています。 ・ 自然景観が保全、継承されるとともに、都市機能と生活機能の両立が図られた地域特性をいかした魅力あるまちが実現されています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森の里東地区、酒井地区などの新たな産業拠点の整備を進めます。 ・ 景観に配慮したまちづくりを進めます。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
97.9 /100	A 順調	<p>地域の個性をいかした魅力あるまちの実現に向け、森の里東地区及び酒井地区の土地区画整理事業における新たな産業拠点の整備に向けた取組のほか、まちの景観の情報発信及び周知を行い、市民の景観意識の醸成を図る取組などが成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、市民実感度「新たな産業拠点の創出が進んでいると思う市民の割合」は目標値を達成したが、実感度・重要度ともに低い分類Ⅳとなっている。新たな産業拠点の整備や地域に合った計画的な土地利用の推進は、雇用拡大や経済・産業の活性化につながることから、取組の重要性について更なる周知を図る必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
森の里東土地区画整理事業の産業用地創出面積	15.2ha	15.2ha	100.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
酒井土地区画整理事業の産業用地創出面積	-	-	-
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
100.0%

代表となる指標 得点④
50.0

施策の方向								
① 地域に合った計画的な土地利用の推進								
<p>周辺の自然環境との調和を図りながら、山際地区及び山際北部地区を始め、各地区における特徴をいかした土地利用を進めます。</p>								

代表となる指標								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	—	—	—	—	—	—
実績値	—	—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—

代表となる指標 達成率
—

市民実感度								
指標①								
広域交通網の高い利便性をいかした土地利用が進められていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	56.3	57.0	57.7	58.4	59.2	60.0
実績値	%	55.6	52.8	48.4				
達成率		—	93.8	84.9				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ				

市民実感度 達成率
84.9%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 国土調査事業	100.0%	A
② 土地区画整理推進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

施策の方向
② 景観形成の推進
自然と都市が融合する本市の景観の形成を行うとともに、景観の魅力を周知します。

代表となる指標								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	—	—	—	—	—	—
実績値	—	—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—

代表となる指標 達成率
—

市民実感度								
指標①								
山地、河川、市街地などの景観が守られていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	47.0	47.3	47.6	47.9	48.2	48.5
実績値	%	46.7	48.1	44.5				
達成率		—	100.0	94.1				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ				

市民実感度 達成率
94.1%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 景観形成推進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率
100.0%

施策の方向
③ 新たな産業拠点の整備
森の里東地区及び酒井地区において、本市の交通利便性を活用した魅力ある拠点の整備を進めます。

代表となる指標								
指標①								
森の里東土地区画整理事業の産業用地創出面積								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	ha	-	15.2	15.2	26.8	26.8	26.8	26.8
実績値		6.9	15.2	15.2				
達成率		%	-	100.0	100.0			
指標②								
酒井土地区画整理事業の産業用地創出面積								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	ha	-	-	-	12.8	20.6	20.6	20.6
実績値		-	-	-				
達成率		%	-	-	-			

代表となる指標 達成率平均
100.0%

市民実感度								
指標①								
新たな産業拠点の創出が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	30.0	30.0	30.0	31.0	32.0	32.0
実績値		28.8	34.0	32.4				
達成率		-	100.0	100.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 森の里東土地区画整理推進事業	100.0%	A
② 酒井土地区画整理推進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

まちづくりのビジョン (基本政策)	4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	4 産業・商業の振興
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外からの買物客に親しまれ、活気ある商店街が広がっています。 ・創業支援と中小企業支援が充実し、多様な人材が活躍できるまちが実現されています。 ・産業が集積し、雇用が創出されています。 ・市内企業等において、先端技術が導入され、事業の継続が図られることにより、効率的で利便性の高い、活力あるまちが実現されています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や来訪者が立ち寄りたくなる、利便性が高く魅力ある商店街づくりを推進します。 ・創業希望者に対する支援を行い、地域経済の安定的な発展及び新たな雇用機会の創出を図ります。 ・中小企業に対し、企業の課題解決に向けた相談支援等を行い、経営の安定化を促進します。 ・企業立地支援策の充実を図り、誘致を促進します。 ・先端技術導入の促進を図るため、企業等の取組を支援します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
91.3 /100	A 順調	<p>産業・商業の振興に向け、魅力ある商店街づくりや創業希望者への支援、企業立地に対する奨励金の交付、先端技術の導入に対する補助金の交付の支援などの取組が、成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、市民実感度「創業支援や中小企業支援が充実していると思う市民の割合」「企業誘致が進んでいると思う市民の割合」及び「様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られていると思う市民の割合」については、実感度と重要度が低い分類Ⅳに該当しているため、地域経済の安定的な発展と新たな雇用機会の創出を図る取組について、より一層認知していただけるよう、効果的な情報発信を行う必要がある。</p> <p>また、設備投資を伴う中小企業支援については、コロナ禍や物価高騰などを背景に成果指標を達成することができなかったため、今後については、各支援制度の周知や立地を予定している企業との連携を密に取りながら継続した支援を実施する必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
主に利用する店舗が市内にあると回答した市民の割合	86.3%	86.3%	100.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
本市の支援策により創業した人数	3人	4人	100.0%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
中小企業資金融資利子補給金交付件数	1240件	811件	65.4%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
企業立地件数	9件	9件	100.0%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
91.4%

代表となる指標 得点①
45.7

施策の方向								
① 商業の活性化に向けた取組の推進								
市民や市外からの買物客に親しまれ魅力ある商店街づくりを地域一体となって推進します。								

代表となる指標								
指標①								
主に利用する店舗が市内にあると回答した市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	85.9	86.3	86.7	87.1	87.5	88.0
実績値	%	85.5	86.7	86.3				
達成率		-	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
商店街など、市内に利用したい店舗があると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	43.5	44.0	44.5	45.0	45.5	46.0
実績値	%	43.2	42.6	46.4				
達成率		-	97.9	100.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ				

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 商業活動振興事業	100.0%	A
② 商店街LED化促進事業	97.2%	A

実施計画事業 達成率平均
98.6%

施策の方向	
② 創業支援と中小企業支援の充実	
<p>商工団体等と連携しながら、創業や事業承継を行う方を支援します。また、中小企業のイノベーションを促進し、持続的な成長を図ります。</p>	

代表となる指標								
指標①								
本市の支援策により創業した人数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	人	-	2	3	4	4	4	4
実績値		0	0	4				
達成率		%	-	0.0	100.0			
指標②								
中小企業資金融資利子補給金交付件数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	件	-	1,220	1,240	1,260	1,260	1,260	1,260
実績値		1,200	756	811				
達成率		%	-	62.0	65.4			

代表となる指標 達成率平均
82.7%

市民実感度								
指標①								
創業支援や中小企業支援が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	20.0	21.0	22.0	23.0	24.0	25.0
実績値		18.2	22.8	19.2				
達成率		-	100.0	91.4				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
91.4%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 商工業振興事業	91.7%	A
② ビジネスチャレンジャー支援事業	93.8%	A
③ 中小企業活性化推進事業	66.7%	C
④ 中小企業イノベーション支援事業	52.0%	D
⑤ 中小企業事業資金融資事業	88.5%	B

実施計画事業 達成率平均
78.5%

施策の方向
③ 企業誘致の促進
<p>幹線道路整備による交通アクセスの優位性等をいかした企業誘致を促進し、雇用の創出や持続可能な財政基盤の構築を図ります。</p>

代表となる指標								
指標①								
企業立地件数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	件	-	7	9	11	11	11	11
実績値		5	2	9				
達成率		%	-	28.6	100.0			

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
企業誘致が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0	31.0
実績値		25.5	26.6	24.5				
達成率		-	100.0	90.7				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
90.7%

実施計画事業				
事業名			達成率	施策貢献度
①	企業立地元気アップサポート事業		100.0%	A

実施計画事業 達成率
100.0%

施策の方向
④ 先端技術産業の推進
先端技術の導入を促進するため、企業等における生産性向上に向けた取組等を支援します。

代表となる指標								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	—	—	—	—	—	—
実績値	—	—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—

代表となる指標 達成率
—

市民実感度								
指標①								
様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	22.0	22.5	23.0	23.5	24.0	25.0
実績値	%	21.5	22.0	20.9				
達成率		—	100.0	92.9				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
92.9%

実施計画事業				
事業名			達成率	施策貢献度
①	ロボット産業推進事業		100.0%	A

実施計画事業 達成率
100.0%

まちづくりのビジョン (基本政策)	4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	5 安心して働くことができるまちの実現
目指す姿	多様な人材が、その経験や能力を十分に発揮し、ワーク・ライフ・バランスを図りながら、安心して働くことのできる環境が整備されています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携しながら、求職者に対する就業相談、スキルアップの機会を提供します。 ・中小企業等で働く勤労者やその家族に対して福利厚生制度の充実など必要な支援を行います。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
93.5 /100	A 順調	<p>安心して働くことができるまちの実現に向け、様々な求職者に対する就労支援を始め、中小企業の勤労者を支援する関係団体や中小企業者への補助、勤労者の生活資金の融資などの取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、技能振興事業における技能教室では、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、参加人数を制限して開催したため、低い達成率となった。</p> <p>今後については、新型コロナウイルス感染症の法上の扱いが緩和されたことから、適正規模での教室開催などを通して、職人の優れた技能の魅力を発信していく必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
障害者雇用奨励交付金交付件数	41件	39件	95.1%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
勤労者生活資金融資件数	40件	63件	100.0%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
中小企業退職金等共済掛金補助金交付事業者数	100社	97社	97.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
97.4%

代表となる指標 得点(A)
48.7

施策の方向

① 勤労者支援の充実

勤労者に対して、関係機関と連携し、相談の場やスキルアップの機会などを提供します。
また、事業者に対して、多様な人材を確保するための支援や働き方改革を促進するため、ワーク・ライフ・バランスの推進を啓発するとともに、人材確保のためのマッチング支援等を推進します。

代表となる指標

指標①

障害者雇用奨励交付金交付件数

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	件	-	38	41	44	44	44	44
実績値		35	39	39				
達成率		%	-	100.0	95.1			

代表となる指標
達成率

95.1%

市民実感度

指標①

就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実していると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	25.0	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0
実績値		23.7	29.2	23.2				
達成率		-	100.0	89.2				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ				

市民実感度
達成率

89.2%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 就労対策事業	98.4%	A
② 技能振興事業	66.0%	C

実施計画事業
達成率平均

82.2%

施策の方向								
② 勤労者の福利厚生支援								
<p>勤労者が安心して働くことのできる環境を整えるため、勤労者のニーズを把握するとともに、関係機関と連携しながら、中小企業における福利厚生事業の充実など、必要な支援を行います。</p>								

代表となる指標								
指標①								
勤労者生活資金融資件数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	件	-	30	40	70	70	70	70
実績値		8	56	63				
達成率		%	-	100.0	100.0			
指標②								
中小企業退職金等共済掛金補助金交付事業者数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	社	-	100	100	110	110	110	110
実績値		100	109	97				
達成率		%	-	100.0	97.0			

代表となる指標 達成率平均
98.5%

市民実感度								
指標①								
-								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	-	-	-	-	-	-	-	-
実績値		-	-	-	-	-	-	-
達成率		-	-	-	-	-	-	-
【参考】実感度と重要度の関係性		-	-	-	-	-	-	-

市民実感度 達成率
-

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 中小企業勤労者助成事業	97.8%	A
② 勤労者貸付融資預託事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
98.9%

まちづくりのビジョン (基本政策)	4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	6 観光の振興
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺自治体との連携により、広域観光の推進が図られ、多くの周遊客が訪れています。 ・観光資源の効果的な発信により、国内外から多くの観光客が訪れています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村や交通機関との連携を通じて広域観光を推進します。 ・観光資源の発掘、磨き上げ、活用とともに、豊かな自然や交通利便性の高さをいかした魅力ある観光地づくりを推進します。 ・趣味・志向、客層に応じて適切な媒体を通じた情報発信を行います。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
90.3 /100	A 順調	<p>観光の振興に向け、鮎まつりやアウトドアイベントの開催を始め、新たな観光資源の創出やSNSによる情報発信などの取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。</p> <p>今後については、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少していた観光客を誘致するため、本市の魅力をPRするイベントや市内外への情報発信をより一層強化するとともに、他市町村との連携による誘客を促進する事業を展開する必要がある。</p> <p>また、飯山白山森林公園桜の広場周辺整備事業について、検討会を実施したが、整備内容が確定せず、事業の進捗が遅れていることから、整備スケジュールを見直すなど、計画的に整備を行う必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした市民の割合	32.0%	32.0%	100.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
観光消費額（年間）	182億円	145億円	79.7%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
厚木市観光協会ホームページのアクセス件数	32000件	101795件	100.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
93.2%

代表となる指標 得点①
46.6

施策の方向								
① 広域観光の推進								
近隣市町村と連携し、広域観光プロモーションを実施するなど、広域観光の取組を推進します。								

代表となる指標								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	—	—	—	—	—	—
実績値	—	—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—

代表となる指標 達成率
—

市民実感度								
指標①								
大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	45.0	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0
実績値	%	43.7	48.1	47.2				
達成率		—	100.0	100.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ				

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 広域連携観光推進事業	83.8%	B

実施計画事業 達成率
83.8%

施策の方向

② 観光資源の磨き上げの推進

旅行者のニーズやスタイルが多様化する中、選ばれる観光地を目指し、豊かな自然や温泉など既存の観光資源を活用した観光振興や新たな観光資源の発掘、磨き上げをするとともに、交通アクセスの良さなど、厚木らしさをいかした魅力ある観光地づくりを進めます。

代表となる指標

指標①

市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした市民の割合

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	30.0	32.0	34.0	36.0	38.0	40.0
実績値	%	23.8	22.1	32.0				
達成率		-	73.7	100.0				

指標②

観光消費額（年間）

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	177.5	182.0	186.5	191.0	195.5	200.0
実績値	億円	173.0	63.0	145.0				
達成率	%	-	35.5	79.7				

代表となる指標
達成率平均

89.9%

市民実感度

指標①

温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られていると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	43.0	44.0	45.5	47.0	48.5	50.0
実績値	%	42.6	43.6	42.2				
達成率		-	100.0	95.9				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ				

市民実感度
達成率

95.9%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 観光資源活性化事業	100.0%	A
② 受入環境整備事業	79.5%	C
③ 健康づくり村推進事業	97.4%	A
④ 観光行事推進事業	79.4%	C
⑤ 飯山白山森林公園桜の広場周辺整備事業	33.3%	D

実施計画事業
達成率平均

77.9%

施策の方向
③ 情報発信の充実
<p>必要な観光情報を的確に入手できるよう、SNSの活用による効果的な情報発信など、趣味・志向、客層に応じて適切な媒体を通じた情報発信を行うとともに、観光のブランドイメージづくりを推進します。</p>

代表となる指標								
指標①								
厚木市観光協会ホームページのアクセス件数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	件	-	31,000	32,000	130,000	135,000	140,000	145,000
実績値		30,889	121,087	101,795				
達成率		%	-	100.0	100.0			

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
観光情報の発信が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	40.0	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0
実績値		37.1	36.6	32.3				
達成率		-	91.5	78.8				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
78.8%

実施計画事業				
事業名			達成率	施策貢献度
①	観光プロモーション事業		100.0%	A

実施計画事業 達成率
100.0%

まちづくりのビジョン (基本政策)	4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	7 シティプロモーションと定住促進
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・住みたい、働きたい、訪れたいと思える魅力あるまちが実現されています。 ・市民が誇りや愛着を持てるまちが実現されています。 ・バランスの取れた人口構成を確保しています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・市外や海外に本市の魅力を発信するとともに、市民がまちの魅力を実感できるよう、効果的な情報発信を行います。 ・バランスの取れた人口構成を確保するため、定住促進策を推進します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
86.5 /100	B おおむね順調	<p>シティプロモーションと定住促進に向け、各種メディアやSNSを活用した本市の魅力発信や若年世帯の定住促進を図る取組などが成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、保育・幼児教育の提供体制の充実に必要な幼稚園教諭・保育士及び高齢化に伴う医療需要の対応に必要な看護師等の人材を確保しながら、転入を促進するための取組が進んでおらず、効果的なPRを含めた方策を検討する必要がある。</p> <p>また、二つの市民実感度については、いずれも実績値が低くなっている。まちの魅力創造・発信や住宅取得補助等は、定住促進や関係人口の創出に寄与する取組であることから、効果的に周知する必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じることができた」と思う事業参加者の割合	90.0%	98.4%	100.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
ホストタウン交流事業参加者数	380人	357人	93.9%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
転入者数（定住促進住宅取得支援事業等による転入者数）	356人	376人	100.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
98.0%

代表となる指標 得点①
49.0

施策の方向								
① シティプロモーションの推進								
<p>住みたい、働きたい、訪れたいと思える魅力あるまちづくりを、分野横断的に推進するとともに、本市の魅力を広く伝えるため、対象に応じた効果的な情報発信等の取組を進めます。</p> <p>また、ワーケーション等で訪れる人など、地域や地域の人々と多様に関わる関係人口を増やし、より多様な人材が地域づくりに参画できる取組を推進します。</p> <p>さらに、東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、ニュージーランドのホストタウンとして、歴史や文化、教育などを始めとした幅広い分野での交流により、将来につながるレガシーの創出を図ります。</p>								

代表となる指標								
指標①								
あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じることができた」と思う事業参加者の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	90.0	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	%	87.8	88.4	98.4				
達成率		-	98.2	100.0				
指標②								
ホストタウン交流事業参加者数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	6,250	380	410	440	470	500
実績値	人	8,500	4,000	357				
達成率	%	-	64.0	93.9				

代表となる指標 達成率平均
97.0%

市民実感度								
指標①								
本市の魅力が市内外に発信されていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	43.5	44.8	46.1	47.4	48.7	50.0
実績値	%	42.2	44.8	38.5				
達成率		-	100.0	85.9				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
85.9%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① あつぎの魅力創造・交流事業	92.2%	A
② オリンピック・パラリンピック支援推進事業	-	-

実施計画事業 達成率平均
92.2%

施策の方向	
② 定住促進に向けた取組の推進	
<p>親元近居・同居や子育て世帯の住宅取得支援により、市外からの若年世帯の定住や保育士、看護職、介護職等の有資格者の転入を促進するなど、定住促進の取組を推進し、バランスの取れた人口構成の確保を図ります。 また、これらの取組について、対象に応じた効果的な情報発信を行います。</p>	

代表となる指標								
指標①								
転入者数（定住促進住宅取得支援事業等による転入者数）								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	件	-	344	356	469	481	494	506
実績値		176	380	376				
達成率		%	-	100.0	100.0			

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	25.0	34.0	43.0	52.0	61.0	70.0
実績値		16.9	24.2	22.1				
達成率		-	96.8	65.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
65.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 定住促進住宅取得等支援事業	100.0%	A
② （再掲）介護職人材確保支援事業	100.0%	A
③ （再掲）幼稚園教諭確保助成事業	36.7%	D
④ （再掲）保育士確保助成事業	62.2%	C
⑤ （再掲）看護職等人材確保支援事業	57.3%	D

実施計画事業 達成率平均
71.2%

まちづくりのビジョン (基本政策)	4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	8 農業・林業・水産業の振興
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の担い手の育成や農地の有効活用が図られています。 ・市内で生産された新鮮で安心・安全な農畜水産物が提供され、地産地消が進んでいます。 ・農業者が生産から加工、販売までを手掛ける付加価値の高い農業経営が進んでいます。 ・鳥獣被害から農作物が守られています。 ・持続的な森林資源の循環が図られています。 ・アユ資源の安定確保が図られています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・農業後継者の育成支援等を通じた農業経営の安定化を図ります。 ・地産地消や6次産業化を推進します。 ・地域や関係団体と連携しながら、有害鳥獣による農作物被害を抑えます。 ・間伐材の有効活用等を促進し、林業支援を行います。 ・アユを活用した地域活性化を図ります。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
96.2 /100	A 順調	<p>農業・林業・水産業の振興に向け、新規就農者の営農定着を促進する支援を始め、林業振興に対する支援、耕作放棄地の再生や農地の有効利用などの取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、地産地消推進事業や園芸振興対策事業などの達成率が低いことから、持続可能な厚木の農業の実現のため、地場農産物の消費拡大や生産者の経営の安定、新鮮で安心・安全な農畜産物の提供を更に進める必要がある。</p> <p>また、市民実感度については、二項目とも重要度が低いⅢ・Ⅳに位置していることから、取組の重要性を周知するため、効果的な発信方法を検討する必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
認定新規就農者数（累計）	36人	38人	100.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
地元の農産物を購入した市民の割合	80.0%	78.8%	98.5%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
有害鳥獣による農産物被害額減少率（平成18年度の被害額を基準とする。）	80.0%	96.6%	100.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
間伐材の搬出量	800m ³	990m ³	100.0%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
99.6%

代表となる指標 得点①
49.8

施策の方向								
① 農地有効利用の推進								
<p>持続的で環境に配慮した農業経営を支援するため、新たな担い手や認定農業者の育成を図るとともに、市民農園の運営や体験型農園を推進し、憩いと安らぎの場を提供します。</p>								

代表となる指標								
指標①								
認定新規就農者数（累計）								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	34	36	38	40	42	44
実績値	人	25	34	38				
達成率	%	-	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
農地の貸し借りの奨励や新規就農者支援など、農地有効利用の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	22.0	23.0	24.0	25.0	26.0	27.0
実績値	%	21.2	29.1	23.7				
達成率		-	100.0	100.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 新規就農者支援事業	100.0%	A
② 農業担い手育成対策事業	85.0%	B
③ 農業経営基盤強化促進事業	73.3%	C
④ 農業体験型農園開設事業補助事業	100.0%	A
⑤ 耕作放棄地再生利用事業	100.0%	A
⑥ 農地有効利用促進事業	100.0%	A
⑦ 農業基盤整備事業	75.0%	C

実施計画事業 達成率平均
90.5%

施策の方向	
② 地産地消の推進・6次産業化の推進	
<p>農畜産物の地産地消と消費者の利便性向上を推進するため、直売所に関する情報発信を行うとともに、朝市、夕焼け市の内容の充実を図り、農業、生産者と触れ合うことができる場を提供します。</p> <p>また、農業者等からの相談に応じて、関係機関と連携しながら、農畜産物の生産、販売、流通を促進するとともに、農畜産物の更なる付加価値向上を目指します。</p>	

代表となる指標								
指標①								
地元の農産物を購入した市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	78.0	80.0	82.0	84.0	86.0	88.0
実績値	%	76.6	78.2	78.8				
達成率		-	100.0	98.5				

代表となる指標 達成率
98.5%

市民実感度								
指標①								
地産地消が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	40.0	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0
実績値	%	35.4	43.8	40.1				
達成率		-	100.0	95.5				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	III	III				

市民実感度 達成率
95.5%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 地産地消推進事業	43.5%	D
② 畜産経営支援対策事業	85.8%	B
③ 園芸振興対策事業	50.0%	D

実施計画事業 達成率平均
59.8%

施策の方向
③ 鳥獣被害対策の強化
<p>地域や関係団体と連携しながら、有害鳥獣による農作物被害を最小限に抑え、農業経営の安定化や生活被害を防止する対策を推進します。</p>

代表となる指標								
指標①								
有害鳥獣による農産物被害額減少率（平成18年度の被害額を基準とする。）								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	79.0	80.0	93.4	95.4	97.4	99.4
実績値	%	79.0	100.0	96.6				
達成率		－	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
－								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	－	－	－	－	－	－
実績値	－	－	－	－	－	－	－	－
達成率		－	－	－	－	－	－	－
【参考】実感度と重要度の関係性		－	－	－	－	－	－	－

市民実感度 達成率
－

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 鳥獣等被害対策事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率
100.0%

施策の方向
④ 林業への支援
人工林や林道等の計画的な整備や再生可能な森林資源である間伐材の有効活用や製品化等に関する取組を支援します。

代表となる指標								
指標①								
間伐材の搬出量								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	m ³	-	900	800	2,000	2,000	2,000	2,000
実績値		677	873	990				
達成率		%	-	97.0	100.0			

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
-								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	-	-	-	-	-	-	-	-
実績値		-	-	-	-	-	-	-
達成率		-	-	-	-	-	-	-
【参考】実感度と重要度の関係性		-	-	-	-	-	-	-

市民実感度 達成率
-

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 林業振興事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率
100.0%

施策の方向
⑤ 水産業の活性化
相模川、中津川における漁業の生産性向上を目的として、アユの安定的な供給とアユを活用した地域の活性化を図ります。

代表となる指標								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	—	—	—	—	—	—
実績値	—	—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—

代表となる指標 達成率
—

市民実感度								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	—	—	—	—	—	—
実績値	—	—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—
【参考】実感度と重要度の関係性		—	—	—	—	—	—	—

市民実感度 達成率
—

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 浜の活力再生プラン推進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率
100.0%

5 環境に優しく、自然と共生するまち (潤い政策)

基本施策	総合得点	評価区分
1 地球温暖化対策の推進	88.4	B おおむね順調
2 未来へつなげる循環型都市の実現	95.5	A 順調
3 自然との共生の推進	85.1	B おおむね順調
4 緑豊かで美しいまちの実現	92.5	A 順調
5 河川と共生するまちの実現	83.6	B おおむね順調

総合評価
<p>潤い政策は、2つの基本施策が総合評価Aで順調に進捗しており、3つの基本施策が総合評価Bでおおむね順調に進捗した。基本施策5『河川と共生するまちの実現』については、河川環境の整備に係る事業がやや遅れていることから、自然環境に配慮しながら安心して水と親しめる水辺ふれあい拠点等の整備を計画的に取り組む必要がある。</p> <p>基本施策1『地球温暖化対策の推進』及び基本施策2『未来につなげる循環型都市の実現』の市民実感度4項目全てにおいて実績値が前年度を下回ったことから、カーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギーの普及やごみの減量化・資源化の推進など、より一層取り組むとともに、市民の皆様に取り組むの重要性を再認識していただく必要がある。</p> <p>また、目標値を達成していない施策・事業については、課題の整理や現状分析等を行い、環境に優しく、自然と共生するまちの実現に向けて、着実に取組を進めること。</p>

総合計画審議会からの意見
<p>2施策が総合評価A、3施策が総合評価Bとなり、おおむね計画どおりに進捗したことは評価するが、基本施策5「河川と共生するまちの実現」については、代表となる指標「親水広場を活用した環境学習の実施回数」の目標値に対する達成率が低くなっている。多くの河川を有する本市にとって重要な取組であるため、今後も継続して親しみやすい河川環境づくりを進めていく必要がある。また、河川や豊かな緑などの恵まれた自然を市内外にPRするとともに、より一層本市の魅力をかきたた取組を進められたい。</p>

まちづくりのビジョン (基本政策)	5 環境に優しく、自然と共生するまち (潤い政策)
基本施策	1 地球温暖化対策の推進
目指す姿	地球温暖化防止に対する意識が高まり、家庭や学校、事業所等における省エネルギー化が図られ、地球環境への負荷が低減しています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境への負荷が少ない脱炭素社会の実現に向けて、家庭や学校、事業所などにおける省エネルギーの普及啓発を進めます。 地球温暖化対策の必要性への理解向上を促し、再生可能エネルギーの普及に向けた取組等を推進します。 温室効果ガスの排出抑制を進めます。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
88.4 /100	B おおむね順調	<p>地球温暖化対策の推進に向け、地球温暖化防止に関する普及や啓発を始め、再生可能エネルギーの普及のための奨励金を交付するなどの取組が成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、三つの市民実感度では、重要度と実感度が低い分類Ⅳに該当していることから、市の目指すところと市民の意識が乖離している状態であり、その差を埋めるべく、環境問題への意識啓発や周知が必要である。</p> <p>また、再生可能エネルギー導入促進事業の自家消費型太陽光発電設備の導入について、企業は大量の設備を導入するために初期費用が高額となり、導入のハードルが高いため、PPAやリースといった導入に対する補助について検討する必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある市民の割合	80.0%	78.8%	98.5%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
市内再生可能エネルギー出力量	38MW	48MW	100.0%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
市内温室効果ガス排出量推計削減率(平成25年度比)	12.8%	20.0%	100.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
99.5%

代表となる指標 得点④
49.7

施策の方向								
① 環境教育の推進と環境問題に対する意識啓発								
<p>環境学習講座や啓発イベントを積極的に実施することにより、地球温暖化を始めとした環境問題についての意識啓発を図り、ライフスタイルの変革を促します。</p>								

代表となる指標								
指標①								
地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	78.0	80.0	85.0	90.0	95.0	100.0
実績値	%	76.2	78.6	78.8				
達成率		-	100.0	98.5				

代表となる指標 達成率
98.5%

市民実感度								
指標①								
環境教育や環境学習の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	28.0	32.0	35.0	40.0	45.0	50.0
実績値	%	24.5	25.7	24.7				
達成率		-	91.8	77.2				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
77.2%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 環境フェア開催事業	-	-
② 環境基本計画推進事業	76.8%	C

実施計画事業 達成率平均
76.8%

施策の方向	
② 再生可能エネルギーの導入促進	
<p>市内における太陽光発電システム設置に対する支援等、再生可能エネルギーの導入を進め、創エネ、省エネ、蓄エネの推進を図ります。</p>	

代表となる指標								
指標①								
市内再生可能エネルギー出力量								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	MW	-	36.3	38.0	60.0	75.0	90.0	100.0
実績値		32.7	38.3	48.0				
達成率		%	-	100.0	100.0			

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
再生可能エネルギーの普及が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	24.0	25.0	30.0	33.0	36.0	40.0
実績値		22.6	23.3	20.8				
達成率		-	97.1	83.2				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	II	IV				

市民実感度 達成率
83.2%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① スマートハウス推進事業	98.7%	A
② 再生可能エネルギー導入促進事業	21.3%	D

実施計画事業 達成率平均
60.0%

施策の方向
③ 温室効果ガスの排出抑制
<p>スマートハウスの推進やEVごみ収集車の導入等により、温室効果ガスの排出量の削減を進めます。</p>

代表となる指標								
指標①								
市内温室効果ガス排出量推計削減率（平成25年度比）								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	11.5	12.8	21.0	25.0	29.0	33.0
実績値	%	10.2	17.0	20.0				
達成率		-	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
公共交通機関の利用啓発など、省エネの取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	26.0	30.0	36.0	42.0	50.0	60.0
実績値	%	23.8	24.6	24.0				
達成率		-	94.6	80.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
80.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 温暖化防止普及啓発事業	98.8%	A
② EVごみ収集車導入事業	-	-

実施計画事業 達成率平均
98.8%

まちづくりのビジョン (基本政策)	5 環境に優しく、自然と共生するまち (潤い政策)
基本施策	2 未来へつなげる循環型都市の実現
目指す姿	ごみの適正排出に対する市民や事業者の意識が高まり、3R (リデュース、リユース、リサイクル) の取組が進むことにより、ごみの減量化・資源化が進み、循環型都市が実現されています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭系ごみ及び事業系ごみの減量化・資源化を推進します。 ・将来へ向けた安定的なごみ処理体制の確立に取り組みます。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
95.5 /100	A 順調	<p>未来へつなげる循環型都市の実現に向け、家庭系及び事業系ごみの減量化・資源化の推進を始め、安定したごみ処理体制を確立するためのごみ中間処理施設の整備などの取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、代表となる指標「ごみの減量を意識している市民の割合」は70.9%にとどまるため、ごみ減量化・資源化への意識がより一層浸透するよう更に周知啓発を推進していく必要がある。</p> <p>また、市民実感度「ごみの減量化・資源化が進んでいると思う市民の割合」は、重要度と実感度はともに高い分類Ⅰに該当するが、達成率が低くなっていることから、ごみの減量化・資源化の達成状況を実感できるよう周知するとともに、引き続き取組を着実に推進していく必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
ごみの減量を意識している市民の割合	73.0%	70.9%	97.1%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
資源の分別を意識している市民の割合	98.2%	96.7%	98.5%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
一人1日当たりの家庭系ごみの排出量	410g	412g	99.5%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
事業系ごみの排出量	16797t	16290t	100.0%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
98.8%

代表となる指標 得点(A)
49.4

◆市民実感度 【配点：30点】

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
ごみの減量化・資源化が進んでいると思う市民の割合	65.0%	57.4%	88.3%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
88.3%

市民実感度 得点 [Ⓐ]
26.4

◆実施計画事業指標 【配点：20点】

(各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値)

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 3Rの推進による家庭系ごみの減量化・資源化	1	ごみ減量化・資源化推進事業	95.7%
	2	事業系ごみ対策事業	100.0%
② 事業系ごみの更なる減量化・資源化	3	ふれあいプラザ再整備事業	100.0%
	4	厚木愛甲環境施設組合負担事業	100.0%
③ 安定的なごみ処理体制の確立			

実施計画事業指標 達成率平均
98.9%

実施計画事業指標 得点 [Ⓑ]
19.7

施策の方向

① 3Rの推進による家庭系ごみの減量化・資源化

自治会等と協働し、ごみの排出抑制や分別の徹底など、3Rの取組を進め、ごみの減量化・資源化を推進します。

代表となる指標

指標①

ごみの減量を意識している市民の割合

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	70.0	73.0	76.0	80.0	85.0	90.0
実績値	%	66.9	70.5	70.9				
達成率		-	100.0	97.1				

指標②

資源の分別を意識している市民の割合

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	97.8	98.2	98.6	99.0	99.5	100.0
実績値	%	97.4	97.8	96.7				
達成率		-	100.0	98.5				

指標③

一人1日当たりの家庭系ごみの排出量

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	419	410	401	392	384	383
実績値	g	438	425	412				
達成率	%	-	98.6	99.5				

代表となる指標
達成率平均

98.4%

市民実感度

指標①

ごみの減量化・資源化が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	61.0	65.0	69.0	73.0	77.0	80.0
実績値	%	57.3	57.7	57.4				
達成率		-	94.6	88.3				

市民実感度
達成率

88.3%

【参考】実感度と重要度の関係性

I	I	I
---	---	---

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① ごみ減量化・資源化推進事業	95.7%	A

実施計画事業
達成率

95.7%

施策の方向

② 事業系ごみの更なる減量化・資源化

多量排出事業者や不適正排出事業者等に対し適正処理を求めるとともに、事業系ごみの排出抑制や資源化に取り組みます。
また、食品廃棄物排出事業者における食品ロス削減に取り組みます。

代表となる指標

指標①

事業系ごみの排出量

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	t	-	17,619	16,797	15,976	15,196	14,171
実績値	t	19,323	16,449	16,290				
達成率	%	-	100.0	100.0				

代表となる指標
達成率

100.0%

市民実感度

指標①

-

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	-	-	-	-	-	-	-
実績値	-	-	-	-	-	-	-	-
達成率	-	-	-	-	-	-	-	-
【参考】実感度と重要度の関係性		-	-	-	-	-	-	-

市民実感度
達成率

-

実施計画事業

事業名		達成率	施策貢献度
①	事業系ごみ対策事業	100.0%	A

実施計画事業
達成率

100.0%

施策の方向
③ 安定的なごみ処理体制の確立
<p>ごみの安定的かつ確実な広域処理を推進するため、新たなごみ中間処理施設の整備を支援するとともに、新施設稼働後の環境センター跡地等の有効利用など、地域の実情に即したまちづくりを進めます。 また、将来に向けたごみと資源の安定的な収集処理体制の確立に取り組みます。</p>

代表となる指標								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	—	—	—	—	—	—
実績値	—	—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—

代表となる指標 達成率
—

市民実感度								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	—	—	—	—	—	—
実績値	—	—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—
【参考】実感度と重要度の関係性		—	—	—	—	—	—	—

市民実感度 達成率
—

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① ふれあいプラザ再整備事業	100.0%	A
② 厚木愛甲環境施設組合負担事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

まちづくりのビジョン (基本政策)	5 環境に優しく、自然と共生するまち (潤い政策)
基本施策	3 自然との共生の推進
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・人と自然の共生に向け、生物多様性への配慮が進められています。 ・市民、事業者等との連携・協働により、生物の良好な生息環境の整備、森林や里地里山の保全・活用が行われています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の保全と持続可能なまちづくりを推進するため、市民、事業者、民間団体等と連携・協働し、豊かな自然の保全・活用を図ります。 ・森林の持つ多面的、公益的機能を維持するため、森林整備活動を行うとともに、里地里山の保全・活用を行います。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
85.1 /100	B おおむね順調	<p>自然との共生の推進に向け、森林整備活動や里地里山の保全活動団体への支援などの取組が成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、生物多様性あつぎ戦略推進事業及び市民実感度「生物多様性の普及や里地里山の保全等が進んでいると思う市民の割合」は低いことから、より市民が生物多様性について身近に感じられる取組を検討する必要がある。</p> <p>また、相続等により所有者が不明な森林が増えており、継続的に事業を推進するため、不明森林などの調査を進め、今後の整備に生かすとともに、森林ボランティア活動においては、若い世代が参加しやすい取組を検討する必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
里地里山活動認定の対象面積	6.2ha	6.7ha	100.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
森林ボランティア会員人数	31人	28人	90.3%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
95.2%

代表となる指標 得点①
47.6

施策の方向

① 多様な自然環境・生物多様性の保全と活用

生物多様性あつぎ戦略に基づき、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を計画的に推進するとともに、生物多様性の意味や重要性の普及及び配慮意識の浸透等の啓発を行います。

また、里地里山保全等促進計画に基づき、保全活動拠点のネットワーク化を推進し、重点地域における里地里山の継続的な保全活動を通じて、保全活動の全市的な展開につなげます。

代表となる指標

指標①

里地里山活動認定の対象面積

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	ha	-	6.1	6.2	6.7	6.7	6.7	6.7
実績値		6.0	6.7	6.7				
達成率		%	-	100.0	100.0			

代表となる指標
達成率

100.0%

市民実感度

指標①

生物多様性の普及や保全が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	23.0	27.0	32.0	36.0	41.0	45.0
実績値		18.7	23.6	22.0				
達成率		-	100.0	81.5				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

指標③

里地里山の保全や活用が進んでいると思う市民の割合

年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	28.0	32.0	37.0	42.0	46.0	50.0
実績値		23.4	28.1	25.6				
達成率		-	100.0	80.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度
達成率平均

80.8%

実施計画事業

事業名	達成率	施策貢献度
① 生物多様性あつぎ戦略推進事業	25.1%	D
② 里地里山保全等促進事業	90.0%	A

実施計画事業
達成率平均

57.6%

施策の方向
② 森林再生の推進
<p>枝打ちや徐間伐等、地域水源林エリアの森林整備を行うとともに、森林ボランティア活動への支援等を通じて、森林愛護意識の向上を図ります。</p>

代表となる指標								
指標①								
森林ボランティア会員人数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	28	31	34	37	40	43
実績値	人	26	28	28				
達成率	%	-	100.0	90.3				

代表となる指標 達成率
90.3%

市民実感度								
指標①								
森林整備など山林の再生が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	25.0	27.0	29.0	31.0	33.0	35.0
実績値	%	19.8	22.0	20.9				
達成率		-	88.0	77.4				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
77.4%

実施計画事業				
事業名			達成率	施策貢献度
①	森林再生事業		90.4%	A

実施計画事業 達成率
90.4%

まちづくりのビジョン (基本政策)	5 環境に優しく、自然と共生するまち (潤い政策)
基本施策	4 緑豊かで美しいまちの実現
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 憩いの場としての公園や緑地が整備され、良好な緑地空間の保全が図られています。 ・ 歩行喫煙や落書き、ごみのポイ捨てなどのない、緑豊かで美しい生活環境が整備されています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の憩いや安らぎの場となる公園及び緑地の整備、改修を行うとともに、緑地の確保を進め、緑豊かな生活環境づくりを推進します。 ・ 市民や事業者との協働により、環境の美化を進め、快適で美しい生活環境づくりを推進します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
92.5 /100	A 順調	<p>緑豊かで美しいまちの実現に向け、市民の憩いの場を提供するための公園整備のほか、自治会やボランティア団体等が行うまち美化活動などの取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、ポイ捨てや路上喫煙禁止エリアでの喫煙などの課題があり、快適な生活環境づくりのため、継続的な啓発活動やパトロールが必要である。</p> <p>また、市民実感度「身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っていると思う市民の割合」は実感度と重要度が高い分類Ⅰに該当しており、新規公園の整備や老朽化した公園施設の改修等について継続的かつ計画的に事業を進めるとともに、緑を豊かにする事業についても継続的に実施する必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
市民一人当たりの公園及び緑地面積	8.17㎡/人	8.19㎡/人	100.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
地域美化清掃の実施件数	252件	164件	65.1%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
不法投棄件数	525件	466件	100.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
88.4%

代表となる指標 得点①
44.2

施策の方向	
① 緑豊かな公園緑地の整備	
<p>新規公園を整備するとともに、利用者が安心して過ごすことができるよう、老朽化、機能低下している公園や樹木により見通しの悪い公園等を改修します。 また、健康増進やバリアフリー化等市民ニーズに対応した公園の整備を行います。</p>	

代表となる指標								
指標①								
市民一人当たりの公園及び緑地面積								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	㎡/人	-	8.16	8.17	8.17	9.61	9.65	9.65
実績値		8.15	8.19	8.19				
達成率		%	-	100.0	100.0			

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	63.1	63.8	64.5	65.2	65.9	66.6
実績値		62.4	62.6	61.1				
達成率		-	99.2	95.8				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I				

市民実感度 達成率
95.8%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 公園緑地整備事業	100.0%	A
② 緑を豊かにする事業	100.0%	A
③ (仮称) 北部地区公園整備事業	100.0%	A
④ (仮称) 睦合水辺公園整備事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

施策の方向	
② 環境美化の推進	
<p>環境美化やマナー向上を図るため、市民や事業者との協働により、ポイ捨て防止、路上喫煙禁止及びペットの適正な飼育等に関する啓発活動を実施します。</p> <p>また、不法投棄防止を図るため、パトロールの実施や看板の設置等、取組を強化します。</p>	

代表となる指標								
指標①								
地域美化清掃の実施件数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	件	-	250	252	254	256	258	260
実績値		243	173	164				
達成率		%	-	69.2	65.1			
指標②								
不法投棄件数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	件	-	550	525	500	475	450	425
実績値		574	611	466				
達成率		%	-	90.0	100.0			

代表となる指標 達成率平均
82.6%

市民実感度								
指標①								
地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	60.0	62.0	64.0	66.0	68.0	70.0
実績値		58.6	62.0	59.9				
達成率		-	100.0	96.6				
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I				

市民実感度 達成率
96.6%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① まち美化推進事業	82.6%	B
② 動物愛護管理推進事業	100.0%	A
③ 不法投棄防止対策事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
94.2%

まちづくりのビジョン (基本政策)	5 環境に優しく、自然と共生するまち (潤い政策)
基本施策	5 河川と共生するまちの実現
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の水質保全が図られ、良好な河川環境が保たれています。 ・安心して水と親しめる水辺空間が確保され、水辺と人との触れ合いが、より身近に感じられるようになっていきます。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境や河川環境を保全するため、引き続き、河川等の水質の保全に努めます。 ・貴重な自然資源である谷戸の水辺環境の保全や、市民に親しみやすい自然をいかした河川環境づくりを進めます。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
83.6 /100	B おおむね順調	<p>河川と共生するまちの実現に向け、河川の水質常時監視調査や市街化調整区域における污水管整備などの取組が成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、河川環境の整備に係る事業について、やや遅れが生じていることから、自然環境に配慮しながら市民が親しみやすい水辺ふれあい拠点等の整備を計画的に推進する必要がある。</p> <p>また、河川環境は、日常生活や事業活動に影響を受けやすいため、今後も継続的に水質調査を行うとともに、合併処理浄化槽への転換が進むよう、補助制度の周知をより一層行っていく必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
BOD (生物化学的酸素要求量) の環境基準達成率	92.0%	92.1%	100.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
親水広場を活用した環境学習の実施回数	3回	2回	66.7%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
83.4%

代表となる指標 得点①
41.7

施策の方向	
① 良好な河川環境の保全	
<p>生態系に配慮した河川環境の保全を行うとともに、事業効果を検証するため、水質調査や水生生物調査を実施します。</p> <p>また、河川の水質常時監視調査や地下水調査、市内河川や水路等の水質調査及び工場や事業場の排水調査を実施します。</p>	

代表となる指標								
指標①								
BOD（生物化学的酸素要求量）の環境基準達成率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
実績値	%	92.0	82.1	92.1				
達成率		-	89.2	100.0				

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
-								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	-	-	-	-	-	-
実績値	-	-	-	-	-	-	-	-
達成率		-	-	-	-	-	-	-
【参考】実感度と重要度の関係性		-	-	-	-	-	-	-

市民実感度 達成率
-

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 水質汚濁防止対策事業	100.0%	A
② 合併処理浄化槽普及促進事業	86.7%	B
③ 公共下水道整備事業（污水整備）【公共下水道事業会計】	100.0%	A
④ 河川美化推進事業	31.3%	D

実施計画事業 達成率平均
79.5%

施策の方向	
② 親しみやすい河川環境の整備	
<p>谷戸周辺の水辺環境の再生及び保全を図るとともに、親水広場の整備や河川を活用した環境学習を実施し、水辺と人が身近に触れ合うことができる、憩いと活動の場を提供します。</p>	

代表となる指標								
指標①								
親水広場を活用した環境学習の実施回数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	回	-	3	3	3	3	3	4
実績値		2	1	2				
達成率		%	-	33.3	66.7			

代表となる指標 達成率
66.7%

市民実感度								
指標①								
親しみやすい水辺空間が整っていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	44.4	45.1	45.8	46.5	47.2	48.0
実績値		43.7	45.8	44.2				
達成率		-	100.0	98.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	III	III				

市民実感度 達成率
98.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 谷戸水辺再生事業	-	-
② 水辺ふれあい創出事業	58.4%	D
③ 準用河川恩曾川改修事業	0.0%	D

実施計画事業 達成率平均
29.2%

6 市民と共に確かな成長を創り出すまち (共創政策)

基本施策	総合得点	評価区分
1 市民参加・市民協働の推進	96.6	A 順調
2 行財政改革の推進	93.8	A 順調
3 都市間連携の推進	75.7	C やや遅れ

総合評価

共創政策は、2つの基本施策で順調に進捗しているが、基本施策3『都市間連携の推進』については、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内友好都市との交流を行う市民団体の活動自粛などの要因から、総合評価Cのやや遅れとなった。友好親善をより一層深めるため、国内友好都市の魅力や市民団体への補助金制度の周知を積極的に図り、交流件数の増加へつなげる必要がある。

基本施策2『行財政改革の推進』については、代表となる指標「第7次行政改革の推進度」と市民実感度「社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われていると思う市民の割合」の実績値が前年度と比較して低くなっており、質の高い行政サービスを提供するため、第7次行政改革大綱第1期実施計画に位置付ける具体的な取組をより一層推進していく必要がある。

また、目標値を達成していない施策・事業については、課題の整理や現状分析等を行い、市民の皆様と共に確かな成長を創り出すまちの実現に向けて、着実に取組を進めること。

総合計画審議会からの意見

2施策が総合評価A、1施策が総合評価Cとなり、おおむね計画どおりに進捗したことは評価する。基本施策3「都市間連携の推進」については、新型コロナウイルス感染症の影響により国内友好都市との交流に関する指標の目標値に対する達成率が低くなっているほか、市民実感度の実績値が低く、総合評価がCとなった。都市間連携は今後ますます重要になってくることから、市民の皆様が取組の効果を実感していただける事業をより一層展開されたい。

まちづくりのビジョン (基本政策)	6 市民と共に確かな成長を創り出すまち (共創政策)
基本施策	1 市民参加・市民協働の推進
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 市民協働が一層進み、地域課題の解決に向けた取組が進んでいます。 必要な情報を必要なときに入手できるとともに、日常的にまちづくりへの市民参加の機会が得られることにより、市民同士での議論が活発化し、市民の意見が市政に反映されています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティ団体やボランティア団体等の活動を支援するとともに、多様な主体がまちづくりに関わる市民協働によるまちづくりを進めます。 市民公募によるワークショップやパブリックコメント等、市民参加の機会を増やすとともに、情報発信手段の多様化や情報のアクセシビリティを強化し、市政がより身近なものとなるよう取組を進めます。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
96.6 /100	A 順調	<p>市民参加・市民協働の推進に向け、自治会長と市長とのまちづくりフリートークを開催したほか、補助金制度による市民活動団体の支援や市政情報の発信力の強化等の取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。</p> <p>しかしながら、市の魅力や施策を多くの方に知っていただくためのアプローチが十分でないため、魅力あるコンテンツを作成し、広く効果的に周知を図る必要がある。</p> <p>また、市民参加・市民協働を更に推進するため、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により停滞していた市民活動が円滑に再開できるよう、相談体制や補助金制度を継続するとともに、市民活動団体数や市民協働提案事業の実施件数を増加させる方策を検討する必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
市民対話等要望対応率	82.0%	72.7%	88.7%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
自治会やボランティア・NPO等の活動に参加している市民の割合	36.3%	41.8%	100.0%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
市内で活動する市民活動団体数	217団体	204団体	94.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
必要な行政情報を入手できている市民の割合	73.5%	77.1%	100.0%
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
公式SNSの利用登録者数	45000人	64042人	100.0%
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
96.5%

代表となる指標 得点(A)
48.2

◆市民実感度 【配点：30点】

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいると思う市民の割合	42.9%	42.3%	98.6%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
市の情報媒体から必要な行政情報が発信されていると思う市民の割合	59.5%	63.1%	100.0%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
99.3%

市民実感度 得点 [Ⓐ]
29.7

◆実施計画事業指標 【配点：20点】

(各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値)

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 市民協働の推進	1	市民活動推進事業	100.0%
	2	市民対話事業	88.7%
	3	市民協働推進事業	83.3%
	4	SDGs推進事業	100.0%
② 地域コミュニティ活動の充実	5	コミュニティ推進事業	98.6%
	6	地域集会施設建設費等補助事業	95.6%
③ 情報発信力の強化	7	デジタルサイネージ設置事業	100.0%
	8	映像メディア活用事業	82.4%

実施計画事業指標 達成率平均
93.6%

実施計画事業指標 得点 [Ⓑ]
18.7

施策の方向	
① 市民協働の推進	
<p>多様化する地域課題の解決に向け、ボランティア団体等の活動支援や担い手の育成等に取り組み、市民協働によるまちづくりを一層推進します。</p> <p>また、パブリックコメント等の市民参加手続を実施し、積極的な情報提供と市民ニーズの把握及び意見聴取機会を設けることにより、まちづくりへの市民参加の促進を図ります。</p>	

代表となる指標								
指標①								
市民対話等要望対応率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	81.0	82.0	86.0	87.8	89.6	91.4
実績値	%	74.7	82.3	72.7				
達成率		-	100.0	88.7				

代表となる指標 達成率
88.7%

市民実感度								
指標①								
-								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	-	-	-	-	-	-
実績値	-	-	-	-	-	-	-	-
達成率		-	-	-	-	-	-	-
【参考】実感度と重要度の関係性		-	-	-	-	-	-	-

市民実感度 達成率
-

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 市民活動推進事業	100.0%	A
② 市民対話事業	88.7%	B
③ 市民協働推進事業	83.3%	B
④ SDGs推進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
93.0%

施策の方向								
② 地域コミュニティ活動の充実								
<p>地域のニーズに沿った活動支援、交流促進等を行います。 また、地域コミュニティ活動の拠点となる施設の維持管理及び整備を支援し、市民が安心して集い、活動できる環境を作ります。</p>								

代表となる指標								
指標①								
自治会やボランティア・NPO等の活動に参加している市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	35.3	36.3	37.3	38.3	39.3	40.3
実績値	%	34.3	38.5	41.8				
達成率		-	100.0	100.0				
指標②								
市内で活動する市民活動団体数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	214	217	220	223	226	229
実績値	団体	211	214	204				
達成率	%	-	100.0	94.0				

代表となる指標 達成率平均
97.0%

市民実感度								
指標①								
自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	41.9	42.9	43.9	44.9	45.9	46.9
実績値	%	40.9	46.4	42.3				
達成率		-	100.0	98.6				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ				

市民実感度 達成率
98.6%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① コミュニティ推進事業	98.6%	A
② 地域集会施設建設費等補助事業	95.6%	A

実施計画事業 達成率平均
97.1%

施策の方向	
③ 情報発信力の強化	
<p>広報紙、市ホームページ、デジタルサイネージ、SNSを活用し、必要な行政情報が届くよう、情報を発信します。 また、利用者の目線に立った情報整理やアクセシビリティの強化を図ります。</p>	

代表となる指標								
指標①								
必要な行政情報を入手できている市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	73.0	73.5	83.5	85.3	87.1	88.9
実績値	%	72.9	80.0	77.1				
達成率		-	100.0	100.0				
指標②								
公式SNSの利用登録者数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	44,000	45,000	73,000	78,000	83,000	88,000
実績値	人	43,000	58,172	64,042				
達成率	%	-	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率平均
100.0%

市民実感度								
指標①								
市の情報媒体から必要な行政情報が発信されていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	59.0	59.5	60.0	60.5	61.0	61.0
実績値	%	58.6	63.7	63.1				
達成率		-	100.0	100.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	I	I				

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① デジタルサイネージ設置事業	100.0%	A
② 映像メディア活用事業	82.4%	B

実施計画事業 達成率平均
91.2%

まちづくりのビジョン (基本政策)	6 市民と共に確かな成長を創り出すまち (共創政策)
基本施策	2 行財政改革の推進
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズの多様化や社会環境の変化に柔軟に対応した質の高い行政サービスの提供ができています。 安定的な財政基盤に基づく持続可能な財政運営が図られています。 市民共有の財産である公共施設が計画的に更新され、次世代へと引き継がれています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズに対応した質の高い行政サービスを提供するため、デジタル技術の活用による業務効率化などの行政改革に取り組みます。 安定した財政基盤を確立するため、更なる自主財源の確保を図ります。 公共施設の最適化を計画的に推進し、将来負担の軽減を図ります。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
93.8 /100	A 順調	<p>行財政改革の推進に向け、公共施設の長寿命化を図る予防保全の取組を始め、来庁者の利便性と業務の効率化を目指した総合窓口の整備に係る計画の策定やまちづくりの方針を踏まえた調査研究などの取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。</p> <p>今後、公共施設の適正配置がこれまでの検討段階から、実行段階となってくることから、市民への丁寧な説明を行うなど理解を深めながら、計画に基づいて取り組む必要がある。</p> <p>また、市民実感度「社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われていると思う市民の割合」については、実感度が低く、重要度が高い分類Ⅱに該当しており、質の高い行政サービスを提供するため、第7次行政改革大綱第1期実施計画に位置づける具体的な取組を更に推進していく必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
第7次行政改革の推進度	100.0%	83.6%	83.6%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
市税収納率	98.90%	98.95%	100.0%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
公共施設個別施設計画に基づく第1期短期再編プログラムの進捗率	31.8%	31.8%	100.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均	94.5%
代表となる指標 得点①	47.2

施策の方向								
① 行政改革の推進								
<p>行政改革大綱に基づき、行政手続等におけるデジタル技術の活用や根拠に基づく政策立案（EBPM）、官民連携を推進するなど、質の高い行政サービスの提供に向けた行政改革を推進します。</p>								

代表となる指標								
指標①								
第7次行政改革の推進度								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	%	－	87.3	83.6				
達成率		－	87.3	83.6				

代表となる指標 達成率
83.6%

市民実感度								
指標①								
社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	33.4	36.7	40.0	43.3	46.6	50.0
実績値	%	29.9	33.9	29.5				
達成率		－	100.0	80.4				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ				

市民実感度 達成率
80.4%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 行政改革推進事業	88.0%	B
② まちづくり方針検討事業	100.0%	A
③ 公衆無線LAN整備事業	100.0%	A
④ 総合窓口整備事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
97.0%

施策の方向
② 健全な財政運営
限られた財源を重点的かつ効果的に活用し、将来のまちづくりに向けた投資を行うため、自主財源の確保や事業の選択と集中による安定的な財政運営を図ります。

代表となる指標								
指標①								
市税収納率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	98.85	98.90	98.95	99.00	99.05	99.10
実績値	%	98.81	99.11	98.95				
達成率		-	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
-								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	-	-	-	-	-	-
実績値	-	-	-	-	-	-	-	-
達成率		-	-	-	-	-	-	-
【参考】実感度と重要度の関係性		-	-	-	-	-	-	-

市民実感度 達成率
-

実施計画事業				
事業名			達成率	施策貢献度
①	-		-	-

実施計画事業 達成率
-

施策の方向
③ 公共施設最適化の推進
<p>公共施設最適化基本計画に基づき、公共施設の老朽化対策として、計画的な長寿命化改修を行うとともに、公共施設の複合化などの適正配置を推進します。</p>

代表となる指標								
指標①								
公共施設個別施設計画に基づく第1期短期再編プログラムの進捗率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	18.2	31.8	45.5	63.6	81.8	100.0
実績値	%	-	18.2	31.8				
達成率		-	100.0	100.0				

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		-	33.4	36.7	40.0	43.3	46.6	50.0
実績値	%	30.1	39.7	36.5				
達成率		-	100.0	99.5				
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ				

市民実感度 達成率
99.5%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 公共施設最適化推進事業	100.0%	A
② 公共建築物長寿命化事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

まちづくりのビジョン (基本政策)	6 市民と共に確かな成長を創り出すまち (共創政策)
基本施策	3 都市間連携の推進
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 近隣市町村と共通する行政課題の解決に向け、適切に対応することができる都市間連携の体制を確立しています。 国内友好都市との都市間の交流が進み、友好親善が深まっています。
第1期 基本計画での 取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 近隣市町村と共通する行政課題の解決に向け、都市間連携を推進し、市民サービスの向上を図ります。 国内友好都市との交流を促進させるため、本市が主催する交流事業のほか、民間団体による交流活動を支援します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
75.7 /100	C やや遅れ	<p>都市間連携の推進に向け、周辺自治体と共通する行政課題に対応する広域連携の推進や国内友好都市との交流などの取組を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内友好都市との交流を行ってきた団体等が交流を自粛したことなどの要因からやや遅れている結果となった。</p> <p>今後については、市民団体による交流活動が減少傾向にあることから、国内友好都市の魅力や補助金制度をより一層周知するなど、交流件数の増加に向けて取り組む必要がある。</p> <p>また、二つの市民実感度については、いずれも実感度と重要度が低い分類Ⅳに該当しているため、都市間連携や国内友好都市との交流に係る取組を促進し、その重要性を更に周知する必要がある。</p>

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R4目標値	R4実績値	達成率
都市間連携の実施件数	51件	50件	98.0%
指標②	R4目標値	R4実績値	達成率
民間団体による国内友好都市との交流活動に対する補助金交付件数	2件	1件	50.0%
指標③	R4目標値	R4実績値	達成率
国内友好都市との交流活動件数	24件	18件	75.0%
指標④	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑤	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑥	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑦	R4目標値	R4実績値	達成率
指標⑧	R4目標値	R4実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
74.3%

代表となる指標 得点①
37.1

施策の方向	
① 広域連携の推進	
<p>災害対策や観光振興など様々な分野における広域的な行政課題の解決や事務の効率化に向けた取組を行うなど、市域を超えた都市間連携を推進することで、更なる市民サービス向上を目指します。</p>	

代表となる指標								
指標①								
都市間連携の実施件数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	件	-	50	51	52	53	54	55
実績値		49	50	50				
達成率		%	-	100.0	98.0			

代表となる指標 達成率
98.0%

市民実感度								
指標①								
防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	30.3	34.3	38.3	42.3	46.3	50.0
実績値		26.3	26.9	24.0				
達成率		-	88.8	70.0				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
70.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 広域都市連携推進事業	98.0%	A

実施計画事業 達成率
98.0%

施策の方向	
② 他都市との交流促進	
<p>国内友好都市との連携を深めていくため、様々な分野で友好都市との交流を促進します。 また、民間における交流を促進するため、本市が主催する交流事業の実施のほか、民間団体による交流活動を支援します。</p>	

代表となる指標								
指標①								
民間団体による国内友好都市との交流活動に対する補助金交付件数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	件	-	2	2	3	3	4	4
実績値		1	0	1				
達成率		%	-	0.0	50.0			
指標②								
国内友好都市との交流活動件数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	件	-	23	24	24	25	25	26
実績値		21	7	18				
達成率		%	-	30.4	75.0			

代表となる指標 達成率平均
62.5%

市民実感度								
指標①								
国内友好都市との交流が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	-	35.0	38.0	41.0	44.0	47.0	50.0
実績値		31.1	31.9	27.9				
達成率		-	91.1	73.4				
【参考】実感度と重要度の関係性		IV	IV	IV				

市民実感度 達成率
73.4%

実施計画事業				
事業名			達成率	施策貢献度
①	国内交流推進事業		73.1%	C

実施計画事業 達成率
73.1%

**令和5年度
施策評価結果報告書**

令和5年10月発行

発行 厚木市

編集 厚木市政策部企画政策課

〒243-8511

神奈川県厚木市中町3丁目17番17号

電話 (046) 225-2455 (直通)

ホームページ URL <https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/>

【別冊】実施計画取組実績（令和4年度実施事業）

1	命、財産を守り抜くまち（安心政策）	
	1 災害に強いまちの実現	P. 1
	2 消防力の充実・強化	P. 5
	3 セーフコミュニティの推進	P. 7
2	支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）	
	1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	P. 9
	2 子育て環境の充実	P. 15
	3 健康寿命延伸の推進	P. 19
	4 多様性の尊重と平和都市の推進	P. 23
3	夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）	
	1 学校教育の充実	P. 25
	2 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	P. 33
	3 文化芸術の振興	P. 37
	4 生涯スポーツの振興	P. 39
4	人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）	
	1 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	P. 41
	2 魅力ある中心市街地等の形成	P. 45
	3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	P. 47
	4 産業・商業の振興	P. 49
	5 安心して働くことができるまちの実現	P. 53
	6 観光の振興	P. 55
	7 シティプロモーションと定住促進	P. 57
	8 農業・林業・水産業の振興	P. 59
5	環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）	
	1 地球温暖化対策の推進	P. 63
	2 未来へつなげる循環型都市の実現	P. 65
	3 自然との共生の推進	P. 67
	4 緑豊かで美しいまちの実現	P. 69
	5 河川と共生するまちの実現	P. 71
6	市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）	
	1 市民参加・市民協働の推進	P. 73
	2 行財政改革の推進	P. 75
	3 都市間連携の推進	P. 77

(令和4年度実施事業)
1-1 災害に強いまちの実現

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	急傾斜地安全対策事業	急傾斜地の崩壊による被害を最小限にとどめ、市民の生命・財産を守る。	住居に隣接する傾斜30度以上、高さ2m以上の急傾斜地の崩壊防止対策工事費に対し、補助金を交付する(神奈川県が実施する急傾斜地崩壊対策工事の対象を除く)。	急傾斜地等の崩壊から市民の生命、財産を守るため、崩壊防止対策工事費の一部を助成した。 ・交付件数 4件	4,000	8,865	相談件数に対する崩壊防止対策工事実施率	%	50.0	50.0	100.0	55.0	55.0	100.0	危機管理課
2	①	準用河川安全対策事業	災害を未然に防ぐため、治水対策の強化を図るとともに、増水時に市民が的確に避難することができるよう、災害対策の充実を図る。	市民が的確な避難行動を選択することができる分かりやすい情報として、準用河川における氾濫危険水位等を設定する。 また、治水対策として、準用河川における流下能力等の機能を保全するために現地調査を実施し、維持管理計画を作成する。	治水対策として、準用河川恩曾川の一級河川玉川合流点において、堆積土砂の除去工事を行った。 また、厚木市河川等施設維持管理方針に基づき、準用河川善明川の維持管理計画策定に必要な現地調査を実施した。	44,500	43,833	氾濫危険水位設定箇所数	か所	3	4	100.0	2	0	0.0	河川ふれあい課
								維持管理計画作成河川数	河川	1	1	100.0	—	—	—	
3	①	公共下水道浸水対策事業【公共下水道事業会計】	厚木公共下水道事業計画区域内における雨水整備対象区域において、浸水被害が発生している箇所の雨水管整備を進め、浸水被害の解消を図る。	恩曾川左岸水系、相模川右岸水系、中津川右岸水系において、時間降雨51mm対応の雨水管整備を行う。	恩名3丁目、三田、上依知地内において4件の雨水管整備工事を実施した。	920,000	275,414	浸水対策工事件数	件	3	3	100.0	4	4	100.0	下水道施設課
4	①	公共下水道厚木排水区浸水被害軽減事業【公共下水道事業会計】	本厚木駅周辺の厚木排水区(約205ha)において、下水道の整備水準を超える局地的集中豪雨により、個人財産や都市機能に影響を及ぼす浸水被害が発生していることから、浸水被害の最小化を図る。	本市における既往最大降雨である時間当たり65mmの大雨に対し、厚木排水区内における浸水深をおおむね10cm以下とするため、雨水貯留施設を整備する。	厚木排水区浸水被害軽減総合計画に基づく貯留管整備を継続して実施し、令和5年3月に完了した。	1,380,000	1,143,116	雨水貯留施設(北地区)整備の進捗状況	—	工事	工事	100.0	工事・完成	工事・完成	100.0	下水道施設課
5	①	本厚木駅周辺地域都市再生安全確保計画改定事業	近年の各種災害発生状況や基礎データ等の変更から、本厚木駅周辺地域(約20ha)において、大規模地震が発生した場合に混乱が生じることが予想されるため、本厚木駅周辺地域都市再生安全確保計画の改定を行い、帰宅困難者対策の充実を図る。	本厚木駅周辺地域都市再生安全確保計画について、新たな感染症対策等における企業等の取組内容(テレワーク等)を反映するとともに、地震被害想定調査結果や水害被害想定調査結果、「厚木市複合施設等整備基本計画」等における中町第2-2地区の整備、本厚木駅前東口地下道の今後の在り方及び愛甲石田駅等を含む計画範囲の見直し等を考慮し、帰宅困難者対策等の更なる強化を目的に計画を改定する。	令和3年度事業完了	—	—	本厚木駅周辺地域都市再生安全確保計画の改定	—	改定	改定	100.0	—	—	—	危機管理課
6	①	無電柱化推進計画策定事業	防災性の向上、安全性・快適性の確保、良好な景観の3つの観点から無電柱化推進計画を策定し、無電柱化整備を推進する。	無電柱化整備を進めるため、緊急輸送道路、広域避難所及び中心市街地等の周辺道路を現況調査し、防災・減災対策を始め、安心・安全な歩行空間を整備するための計画を策定する。	令和3年度事業完了	—	—	無電柱化推進計画策定	—	調査・検討	策定	100.0	策定	—	—	道路管理課
7	①	防災都市づくり計画策定事業	自然災害が頻発化・激化する中、被害を最小限に抑えるための「減災対策」と「復興事前準備」を二本柱とした防災対策を行い、災害に強い都市づくりを推進する。	頻発・激化する風水害や切迫する巨大地震へ対応するため、防災都市づくり計画を策定する。	防災・減災対策や復興事前準備の取組等についての検討内容をまとめ、防災都市づくり計画の素案を作成し、市民参加手続を経て同計画を策定した。	4,290	4,290	防災都市づくり計画の策定	—	検討	検討	100.0	策定	策定	100.0	都市計画課

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度担当課
						当初予算額(千円)	決算額(千円)			令和3年度目標値	令和3年度実績値	令和3年度達成率(%)	令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度達成率(%)	
8	①	木造住宅耐震改修促進事業費補助事業	地震による住宅の倒壊の被害を軽減するため、木造住宅の耐震化を促進する。	昭和56(1981)年以前の旧耐震基準で建築された木造住宅を対象として、耐震診断及び耐震改修工事に要する費用に対し、補助金を交付する。	①木造住宅の耐震診断に対し、補助金を交付した。 ②木造住宅の耐震改修設計に係る費用に対し、補助金を交付した。 ③木造住宅の耐震改修工事に係る費用に対し、補助金を交付した。	14,500	10,539	木造住宅耐震診断助成件数	件	20	12	60.0	20	12	60.0	建築指導課
								木造住宅耐震改修設計助成件数	件	10	4	40.0	10	8	80.0	
								木造住宅耐震改修工事助成件数	件	10	6	60.0	10	7	70.0	
9	①	沿道建築物耐震促進事業費補助事業	大地震による建築物の倒壊によって緊急輸送路が閉塞され、市民の避難や緊急車両等の通行の障害とならないよう沿道建築物の耐震化を促進する。	緊急輸送路に接し、かつ一定の高さを超える旧耐震基準で建築された沿道建築物を対象として、耐震診断、耐震改修設計及び耐震改修工事に要する費用に対し、補助金を交付する。	対象建築物の所有者に対し耐震化に向け、耐震改修設計、耐震改修工事の実施を要請した。	0	0	耐震診断義務沿道建築物耐震改修設計助成件数	件	—	—	—	2	0	0.0	建築指導課
								耐震診断義務沿道建築物耐震改修工事・監理助成件数	件	—	—	—	—	—	—	
10	①	耐震改修促進計画改定事業	「耐震改修促進法」及び「神奈川県耐震改修促進計画」に基づき「厚木市耐震改修促進計画」を改定し、既存建築物の地震に対する安全性の向上を計画的に促進する。	建築物の耐震改修の促進に向け、耐震化の目標と施策等を定めた「厚木市耐震改修促進計画」を改定する。	耐震性が不十分な住宅を令和12年度までに解消することなどを目標として、令和4年9月に改定した。	0	0	耐震改修促進計画の改定	—	改定	改定	100.0	—	改定	100.0	建築指導課
11	①	宅地耐震化推進事業	大規模地震等が発生した際に、大きな被害が生じるおそれがある盛土造成地において変動予測調査等を行い、住民への情報提供を図る。	大規模盛土造成地71か所の現地調査等の結果を踏まえ、詳細データが必要となった造成地の調査を実施する。	大規模地震等における盛土造成地の滑动崩落を防止するために、変動予測調査により抽出された造成地において詳細調査を実施し、安全性の確認を行った。	4,200	3,960	第二次スクリーニングの実施	か所	2	2	100.0	—	2	100.0	開発審査課
12	①	災害拠点病院整備事業【病院事業会計】	災害拠点病院として、災害発生時においても、継続的に必要な医療を提供できる体制を整備する。	近年多発する台風、ゲリラ豪雨などの風水害等において、病院機能を守るための対策や、近隣河川の氾濫など浸水想定時における病院機能を維持するため、浸水対策を行う。	浸水防止対策実施設計業務委託の発注を行った。 ・契約締結日：7月28日 ・業務完了日：2月28日 ・完成検査日：3月9日	20,000	17,050	浸水対策工事等の進捗状況	—	基本設計・止水対策	基本設計・止水対策	100.0	実施設計	実施設計	100.0	施設用度課
13	①	建築確認台帳等電子化事業	建築物に係る事故や火災に伴う、国、県からの類似物件の調査依頼や各種統計データの抽出を迅速化し、建築物の安全対策や違反建築物対策を強化するため、過去の建築確認台帳を電子化し、建築行政共用データベースに一元化を図る。さらに、電子化された台帳データを地図情報と連動して建築計画概要書の発行等を行う窓口業務も電子化し、申請から交付までにかかる待ち時間の短縮と職員の負担軽減を図る。	建築確認台帳等の電子化では、紙や電子媒体が混在している過年度の建築確認台帳等を建築行政データベースに一元化を図る。また、窓口業務の電子化では、統一化された台帳データをもとに、地図情報と連動して、建築計画概要書及び台帳記載事項証明を発行する窓口システムを整備する。	①基礎システム構築として、次の業務を行った。 ・概要書等の分析と令和4年度作業手順書の作成 ・電子化支援システム設定及び提供 ・建築計画概要書PDFリネーム作業 ・中間ファイル作成及び検証用環境設定、提供 ・共用DBへの投入 ②データ入力・窓口電子化として、次の業務を行った。 ※H11.4.1からR3.3.31までの分 ・概要書PDFリネーム(ICBAが行う) ・概要書パンチ入力 ・建築基準法令による処分等の概要書パンチ入力 ・建築基準法令による処分等の概要書スキャンニング ・概要書PDF	59,435	59,345	台帳の電子化及び窓口システムの整備	—	—	—	—	構築	構築	100.0	建築指導課

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課	
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)		
14	②	総合防災訓練等事業	大規模な自然災害の発生に備え、市民一人一人の防災意識の高揚を図り、災害対応力を高める。	市や自主防災隊などが連携し、総合防災訓練を実施するとともに、防災講習会及び地震体験車による震度体験等を実施する。 また、啓発用パンフレット等を配布する。	①市及び自主防災隊において総合防災訓練を実施した。 ・参加人数 8,893人 ②起震車による震度体験を実施した。 ・実施件数 51件 ・体験者数 3,661人	1,590	1,451	防災訓練参加者数	人	16,000	3,358	21.0	17,000	8,893	52.3	危機管理課	
								防災講習会受講者数・震度体験者数	人	6,600	930	14.1	6,750	3,661	54.2		
15	②	地区別防災マップ作成事業	地震等の災害により想定される被害を軽減するとともに「災害に強いまちづくり」を実現するため、近年頻発する災害に対応する地区別防災マップを作成する。	地震被害想定調査結果等を基に、各地区の災害リスクを洗い出すとともに、その対応策をまとめた地区別防災マップを市民と協働で作成する。	令和3年度事業完了	—	—	地区別防災マップの作成	—	作成(完了)	作成(完了)	100.0	—	—	—	危機管理課	
16	②	オールハザードマップ等作成事業	全ての災害リスクを反映したオールハザードマップを作成することにより、市民一人一人の防災対策を推進する。	大規模災害発生時における被害を最小限に抑え、市民の生命、身体及び財産を保護することを目的に、平成30(2018)年度に実施した地震被害想定調査結果を基にした震度分布図、液状化分布図や最新の土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域を反映したオールハザードマップを作成し、全戸配布する。	令和3年度事業完了	—	—	オールハザードマップの作成・配布	—	作成・配布	作成・配布	100.0	—	—	—	危機管理課	
17	②	新型防災ラジオ整備事業	災害時における情報発信の充実・強化を図る。	防災行政無線を補完する防災ラジオを有償配布する。	防災ラジオを市民へ有償配布した。 ・R4市民有償配布 279台 ・2016-2022累計 3,841台	6,617	6,100	新型防災ラジオ配布台数 (2016-2023年度累計)	台	3,300	3,562	100.0	3,600	3,841	100.0	危機管理課	
18	②	地域防災計画改定事業	災害に強いまちづくりを推進するため、地震等の災害により想定される被害の軽減を図る。	本市における地震や風水害などの災害による被害を軽減するための防災行政の指針となる「厚木市地域防災計画」を改定する。	災害対策基本法改正による避難情報の変更、南海トラフ地震防災対策推進基本計画の改定、避難所における感染症対策等に対応するため必要な修正を行った。	7,573	6,544	地域防災計画の改定	—	—	—	—	改定	改定	100.0	危機管理課	
19	②	風水害等対策事業	近年大型化している台風等の風水害に対する防災対策の強化を図る。	風水害に対する防災対策の強化を図るため、気象観測装置を設置し、気象データの収集体制を強化する。	【避難所等の水害対策想定調査】 浸水が想定される避難所等について水害被害等の調査を行い、災害リスクを把握し、対応方針について検討を行うため、水害対策想定調査を実施した。 【浸水防止対策事業補助金】 市内で河川の氾濫等による水害のおそれがある地域において、対象建物等の浸水被害を防止し、又は軽減するため、浸水防止対策工事等を実施する者に対し、厚木市浸水防止対策事業補助金を交付した。 ・交付件数 1件	55,434	5,082	気象観測装置の設置数 ※カッコ内は総数	台	3 (8)	3 (8)	100.0	—	—	—	—	危機管理課
								避難所等の水害対策想定調査	—	—	—	—	調査実施	調査実施	100.0		
								浸水防止対策事業補助金交付件数	件	—	—	—	2	1	50.0		
20	②	風水害等対策事業 【公共下水道事業会計】	降雨による水害のおそれがある地域において、建物等の浸水被害の軽減を図る。	降雨による水害のおそれがある地域において、建物等の浸水被害を軽減するため、止水板を設置する対象建物等の所有者又は使用者に対し厚木市止水板設置補助金を交付する。	民間における浸水対策として、1件の止水板設置にかかる費用の一部を補助することにより、浸水被害の軽減に寄与した。	2,000	188	止水板設置補助金交付件数	件	—	—	—	4	1	25.0	下水道総務課	

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
21	③	地域防災力強化事業	「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に活動する自主防災隊及び避難所運営委員会の育成・強化及び避難体制の強化・充実を図る。	<p>防災資機材等取扱研修会及び市民防災研修会を開催するとともに、自主防災隊の防災資機材倉庫の修繕・移設を行う。</p> <p>また、各避難所運営委員会に対し、交付金を交付する。</p> <p>さらに、民間避難所開設及び宿泊施設利用者に対する補助金を交付し、避難体制の強化・充実を図る。</p>	<p>①防災指導員や防災推進員に対する資機材等の取扱研修会及び市民防災研修会を開催した。</p> <p>②自主防災隊の防災資機材倉庫の計画的な修繕・移設を行った。</p>	38,960	16,769	地域防災リーダー等の講習会参加者数	人	1,000	0	0.0	1,100	679	61.7	危機管理課

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）
1-2 消防力の充実・強化

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単 位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	消防庁舎整備事業	各種災害に迅速・的確に対応するため、消防・防災拠点である消防庁舎機能の充実を図る。	住居に隣接する傾斜30度以上、高さ2m以上の急傾斜地の崩壊防止対策工事費に対し、補助金を交付する（神奈川県が実施する急傾斜地崩壊対策工事の対象を除く）。	①旧相川分署の解体工事が完了した。 ②旧南毛利分署の解体工事が完了した。 ③睦合分署消防訓練場の再整備工事が完了し、新たな訓練施設として訓練用模擬家屋を整備した。	345,752	312,614	相川分署整備の進捗状況	—	建設・解体工事	建設・解体工事	100.0	解体工事	解体工事	100.0	消防総務課
								南毛利分署整備の進捗状況	—	建設・解体設計	建設・解体設計	100.0	解体工事	解体工事	100.0	
								睦合分署消防訓練場整備の進捗状況	—	測量業務・実施設計	測量業務・実施設計	100.0	解体改修工事・訓練施設設置	解体改修工事・訓練施設設置	100.0	
2	①	消防団施設整備事業	地域防災の拠点である消防団施設の充実・強化を図る。	老朽化した木造の消防団器具置場の建て替えを行う。	第2分団第1部器具置場（上依知）の更新整備をした。	26,477	26,474	消防団器具置場建替棟数	棟	1	1	100.0	1	1	100.0	警防課
3	①	高機能消防指令センター整備事業	各種災害に迅速・的確に対応するため、消防救急活動の拠点である消防指令センターの整備を図る。	消防指令センターの移転先である複合施設内に、高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線システムの整備に向けた取組を行う。	複合施設へ移転する消防指令センターについて、高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線システム等の現状や課題の検討を行った。	0	0	消防救急デジタル無線（活動波）整備の進捗状況	—	—	—	—	—	—	—	指令課
								高機能消防通信指令センター基地局（共通波）の整備の進捗状況	—	—	—	—	—	—		
4	①	消防車両整備事業	複雑・多様化、また、大規模化する災害に迅速・的確に対応するため、消防車両を整備し、消防力の充実・強化を図る。	使用状況及び経過年数により老朽化した消防車両を更新整備する。 また、高規格救急自動車整備事業については、感染症に対応した車両及び救急資機材を整備する。	①小型動力ポンプ付積載車の更新整備をした。 ・整備台数 3台 ②高規格救急自動車の更新整備をした。 ・整備台数 1台 ③指令車の更新整備をした。 ・整備台数 1台 ④化学消防ポンプ自動車の更新整備をした。 ・整備台数 1台 ⑤広報車の更新整備をした。 ・整備台数 1台	88,853	86,780	消防車両整備台数	台	5	5	100.0	10	7	70.0	警防課
5	①	消防水利整備事業	火災発生時における消防活動を効率的・効果的に行うため、消防水利の充足を図る。	国が示す消防水利の基準に基づき、40t以上の防火水槽を公園等の市有地に整備する。	耐震性防火水槽（三田）の設置に係る実施設計内容の精査を行った。	0	0	耐震性防火水槽整備基数	基	— (設計)	— (設計)	100.0	1	— (設計)	0.0	警防課

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
6	①	消防資器材整備事業	複雑・多様化、また、大規模化する災害に迅速・的確に対応するため、必要不可欠な消防資器材を計画的に整備し、消防力の充実・強化を図る。	火災や人命救助などの消防活動を効果的に遂行するための消防資器材、また、ウイルスやテロ災害などに対応するための特殊災害資器材を整備し、市民の安心・安全を確保する。	複雑多様化する災害で消防活動を迅速かつ効果的に展開するため、最新鋭の消防資器材やテロ災害などの特殊災害に対応する資器材を整備し、市民の安心・安全を確保した。	17,649	17,466	高圧容器（空気ボンベ）更新整備本数	本	25	25	100.0	20	20	100.0	管理課
								陽圧式化学防護服整備着数	着	4	4	100.0	4	4	100.0	
								消防用ホース更新整備本数	本	30	50	100.0	2	42	100.0	
7	①	消防団活性化事業	消防力の強化を図るため、地域防災の要である消防団員の過酷な災害現場での活動環境に対応する装備品の改善・充実を図るとともに、大規模災害時に消防団員を支援する体制を充実させる。	地域防災力の中核として活動する消防団員の安全装備品等を整備する。 また、消防団及び消防職退職者が有する知識や技能、経験をいかし、消防活動を後方から支援する「厚木市大規模災害サポート隊」の体制を充実させる。	①消防団員装備品の改善及び消防団安全装備品の整備を行った。 ・活動服 78着 ・防火衣 35着 ・ヘッドライト 520個 ②大規模災害サポート隊の体制の充実を図った。 ・隊員数 64人 (令和5年3月31日現在)	8,527	9,328	消防団員装備品改善率	%	18.0	18.0	100.0	77.0	81.8	100.0	消防総務課
								大規模災害サポート隊隊員数	人	76	61	80.3	76	64	84.2	
8	②	救急推進事業	高齢化の進展等を背景とする救急需要は増加傾向にあることから、限られた救急資源を有効に活用し、応急手当の普及啓発や救急車の適正利用を推進するとともに、医療機関と連携した高度な救急医療サービスの提供を行うなど、救急体制の充実を図る。	救命率の向上を図るため、応急手当普通救命講習会の実施や救急業務の高度化を推進するとともに、適切なAED設置の促進を図り、救急車の適正利用や事故を未然に防止する予防救急の普及啓発を推進する。	①普通救命講習会 ・実施回数 112回 ・受講者数 3,257人 ②気管挿管資格取得研修 ・養成者数 3人 ③救急救命士就業前病院実習 ・実習者数 6人 ④医療機関への派遣による研修 ・研修者数 66人（全救急隊員）	16,444	14,935	普通救命講習会受講者 ※カッコ内は令和3年度からの総数	人	2,500	2,398 (2,398)	95.9	2,500 (5,000)	3,257 (5,655)	100.0	救急救命課
9	③	防火意識啓発事業	市民等の防火意識の高揚を図り、火災による被害を低減させる。	市民や事業所等における防火意識の普及や啓発を図るため、火災予防運動を始め各種イベント等において、火災予防啓発を実施するとともに、消防訓練や研修会等を開催し防火対策の強化推進を図る。 また、市民等が利用する施設や危険物施設等の防火保安体制を確保するため、立入検査による実態把握と消防法令違反に対する是正指導に努めるとともに、住宅に必要な住宅用火災警報器の設置及び維持管理の重要性について啓発する。	【火災予防啓発イベント等参加者数】 ①予防課主催の行事を開催（新入社員防災体験研修会、消火指導会、防火教室等）2,765人 ②予防課職員立会いによる消防訓練2,428人 【立入検査の指摘事項に対する改善報告書提出率】 予防課予防査察係 84% (101/120) 危険物係 93% (56/60) 厚木消防署 71% (54/76) 北消防署 82% (93/114) (全体) 82% (304/370) 【住宅用火災警報器設置率】 住宅用火災警報器の設置推進及び維持管理の啓発を行った。	4,817	3,958	火災予防啓発イベント等参加者数	人	3,800	925	24.3	3,900	5,193	100.0	予防課
								立入検査の指摘事項に対する改善報告書提出率	%	90.0	78.0	86.7	90.0	82.1	91.2	
								住宅用火災警報器設置率	%	100.0	89.0	89.0	100.0	89.0	89.0	

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）

1-3 セーフコミュニティの推進

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	セーフコミュニティ推進事業	「事故やけがは、偶然の結果ではなく、予防できる」というセーフコミュニティの理念から、地域住民等との協働により、誰もがいつまでも健康で安心・安全に暮らせるまちづくりに取り組み、セーフコミュニティ認証都市として、世界に誇れる安心・安全なまちを目指す。	住居に隣接する傾斜30度以上、高さ2m以上の急傾斜地の崩壊防止対策工事費に対し、補助金を交付する（神奈川県が実施する急傾斜地崩壊対策工事の対象を除く）。	安心・安全に関する講習会等の実施により、セーフコミュニティの活動を周知するとともに、安心・安全に関する意識の高揚を図った。 ・参加者数 1,070人	5,809	4,410	セーフコミュニティに関する研修会参加者数	人	1,308	885	67.7	1,347	1,070	79.4	セーフコミュニティくらし安全課
								「事故やけがなどがなく健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されている」と思う市民の割合	%	43.9	41.6	94.8	46.0	37.0	80.4	
2	①	地域セーフコミュニティ活動推進事業	根拠に基づいた安心・安全の取組を推進するセーフコミュニティの手法を広く周知し、活動の活性化を図るとともに、地域の安心・安全に関する意識の高揚を図る。	地域におけるセーフコミュニティ活動の活性化に向けて、地域の安心・安全に関する課題抽出や対策などを行う研修会等に対する支援を行う。	セーフコミュニティの継続的な推進に向け、セーフコミュニティ総合指導員を地域に派遣して、講習会を実施し、啓発活動を行った。 ・参加者数 371人	364	334	研修会の参加者数	人	300	225	75.0	315	371	100.0	セーフコミュニティくらし安全課
								セーフコミュニティに関する研修会等参加者のセーフコミュニティに対する意識高揚度	%	92.7	94.0	100.0	93.6	92.0	98.3	
3	②	交通安全対策事業	市民総ぐるみで交通安全を推進し、交通安全意識の向上を図るとともに、交通事故の防止を図る。	交通安全の啓発や交通指導を実施するとともに、交通安全教育、交通安全指導者の育成及び子ども・高齢者等への交通安全に関する啓発活動を実施する。 また、交通関係団体が行う交通安全啓発活動等を支援する。	①市内各所で交通安全関係団体による立哨及び啓発活動を実施した。 ②交通安全教育を実施した。 ・保育園等 17園 1,197人 ・小学校 21校 5,045人 ・高校 5校 1,470人	25,665	25,018	交通事故発生件数（暦年）	件	777	711	100.0	742	617	100.0	交通安全課
4	②	自転車安全促進事業	自転車利用者の経済的負担の軽減及び交通安全の普及を図る。	幼児・児童や高齢者等を対象に、自転車ヘルメットの購入費用の一部を助成する。 また、6歳未満の幼児が2人以上いる養育者を対象に、幼児2人同乗用自転車の購入費用の一部を助成する。 さらに、市内中学生を対象に、教育効果の高いスクエアード・ストレイト教育技法による自転車安全教室を実施する。	①自転車ヘルメット購入費用の一部助成を行った。 ・1,684件 ②幼児2人同乗用自転車購入費用の一部助成を行った。 ・6件 ③スクエアード・ストレイト自転車安全教室を実施した。 ・実施校 東名中・南毛利中・相川中・藤塚中・森の里中	3,748	3,192	児童の自転車ヘルメット着用率	%	78.6	74.1	94.3	78.8	75.5	95.8	交通安全課
								スクエアード・ストレイト教育により交通安全に対する意識が向上した生徒の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
5	②	放置自転車対策事業	本厚木駅・愛甲石田駅周辺の放置自転車対策を強化し、良好な生活環境の保持及び安全で快適な市民生活を確保する。	放置自転車の指導啓発・整理業務、移動保管料の徴収及び移動作業業務を実施し、放置自転車の減少を目指すとともに、良好な生活環境の保持に努める。	駅周辺の良好な生活環境の保持及び安全で快適な市民生活を確保するため、放置自転車の回収を行った。 ・放置自転車の回収台数 657台 (内訳) 引取・警察引取 167台 リサイクル 161台 処分済 113台 保管中 216台	22,517	21,455	放置自転車年間移動台数	台	524	649	80.7	491	657	74.7	交通安全課

事業No.	単 位 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
6	③	防犯対策事業	市民の身近で発生している街頭犯罪の未然防止及び犯罪に対する抑止力の強化を図るとともに、地域の自主防犯活動を推進する。	市民安全指導員（防犯パトロール隊）によるパトロールを実施するとともに、地域において青色回転灯搭載車（青パト）を運用して自主防犯活動を実施する団体に対し、補助金を交付する。	①防犯意識の向上を図るため、番屋、移動番屋で防犯用啓発物品の配布をするとともにケータイSOSネットによる防犯情報の配信を行った。 ②防犯パトロール隊による市内巡回パトロールや移動番屋等を実施した。 ・防犯パトロール隊 7人 ③地域の自主防犯活動を強化するため、地域の青パト活動に対し、交付金を交付した。 ・交付団体数 14団体	25,572	25,603	刑法犯認知件数（暦年）	件	900	1,131	79.6	810	1,102	73.5	セーフコミュニティ づくり し安全課
								青色回転灯搭載車（青パト）台数	台	100	94	94.0	105	131	100.0	
								特殊詐欺被害件数（暦年）	件	30	10	100.0	27	38	71.1	
7	③	安心・安全対策整備事業	自主防犯活動団体（自治会等）が設置する防犯カメラの設置に係る経費の一部を補助することで地域の防犯力の強化を推進し、市民の体感治安の向上を図り、市民が安心して安全に暮らせるまちづくりを具現化する。	自主防犯活動団体（自治会等）が設置する防犯カメラの設置に係る経費の一部を補助する。	申請のあった自主防犯活動団体（自治会等）に対し、防犯カメラの設置費の一部を補助した。 ・交付団体数及び設置台数 4団体7台	2,160	1,449	刑法犯認知件数（暦年）	件	900	1,131	79.6	810	1,102	73.5	セーフコミュニティ づくり し安全課
								防犯カメラを設置する自主防犯活動団体（自治会等）数	団体	5	4	80.0	5	4	80.0	
8	③	本厚木駅周辺環境浄化対策事業	「厚木市客引き行為等防止条例」に基づき、「客引き行為ゼロ」を目指すとともに、犯罪の未然防止と中心市街地の体感治安の向上を図る。	客引き行為等指導員による本厚木駅周辺における駐留やパトロールを実施するとともに、自治会、商店街及び警察等との協働による環境浄化パトロール活動を実施する。	①あつぎセーフティステーション番屋において、防犯に関する様々な情報を発信し、防犯意識を高めた。 ②番屋配置の客引き行為等指導員10人（ローテーション）による本厚木駅周辺のパトロールを実施して客引き行為等を防止し、公共の場所を安心して安全に利用できる生活環境の確保に努めた。 ③年末年始における街頭犯罪防止特別パトロールを委託により実施した。（5日間） ④本厚木駅周辺環境浄化対策協議会による環境浄化パトロールを実施した。	51,581	49,848	「本厚木駅周辺の体感治安がよくなった」と回答したケータイSOSネット登録者の割合	%	78.0	71.9	92.2	81.0	44.0	54.3	セーフコミュニティ づくり し安全課
9	③	振り込め詐欺等防止装置購入費補助事業	年々増加傾向にある振り込め詐欺、悪徳セールス、架空請求、アポイント電話等の被害から、市民の財産を守り、「振り込め詐欺被害ゼロ」を目指す。	迷惑電話防止機能付き電話機等を購入された市民の方に購入費の一部補助を行う。	迷惑電話防止機能付き電話機等の購入費補助制度について、広報あつぎや自治会の回覧等で周知を図り、申請者に補助金を交付した。 ・交付件数 306件	2,400	2,353	特殊詐欺被害件数（暦年）	件	30	10	100.0	27	38	71.1	セーフコミュニティ づくり し安全課
10	③	消費生活相談・消費者意識啓発事業	消費者を取り巻く社会経済情勢が大きく変化している中、消費生活相談を実施することにより、消費者トラブルの早期解決を図るとともに、啓発活動を行うことにより、被害の未然防止を図る。	消費者トラブル等に関する相談を実施する。 また、消費者トラブルに遭わないよう、悪質商法等に関する啓発活動を実施する。	①専門知識を有する消費生活相談員による適切な相談を実施した。 ②成年年齢が引き下げられたことから特に若年層に対する消費者トラブル未然防止の意識啓発を行った。	12,124	10,095	消費生活苦情相談完結率	%	99.2	99.5	100.0	99.4	100.0	100.0	セーフコミュニティ づくり し安全課
								消費生活に関する講演会・講座参加者及び移動番屋等での啓発者数	人	7,918	21,044	100.0	8,076	7,497	92.8	

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）

2-1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	地域福祉推進事業	「厚木市地域福祉計画」に基づき、市、市民、団体及び事業者等が協働し、支援を必要とする人を支える地域福祉を推進する。	市内15地区の代表者等で構成される厚木市地域福祉推進協議会を開催し、地域間の連携と情報共有を図るとともに、市内15地区地域福祉推進委員会の活動を支援するため、交付金を交付する。 また、地域福祉の基本的な方向性や重点施策を定めた「地域福祉計画（第5期）」を推進する。	厚木市社会福祉協議会に対し、各地区地域福祉推進委員会の活動に係る経費を交付した。 ・交付件数 1件	23,100	23,100	「見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいる」と思う市民の割合	%	50.0	50.3	100.0	52.0	46.7	89.8	福祉総務課 地域包括ケア推進課
2	②	エイジレス・ライフ応援事業	高齢者の外出機会の拡大及び健康づくり等を支援することにより、仲間づくりや生きがいづくりを促進する。	指定の老人保養施設等の宿泊や入浴の利用料金等の一部を助成する。	65歳以上の方に市が指定した施設で利用できる老人保養施設等利用助成券（シルバーチケット）を交付した。 ・利用件数 17,242件	13,420	10,067	老人保養施設等利用助成券の利用件数	件	29,960	14,201	47.4	30,210	17,242	57.1	地域包括ケア推進課
3	②	老人クラブ指導育成事業	社会奉仕活動、生きがいを高めるための活動及び健康づくりの活動を支援することにより、高齢者の就労など生きがいづくりや健康づくりを推進する。	厚木市老人クラブ連合会に対し、補助金を交付する。	厚木市老人クラブ連合会に対し、運営事業補助金を交付した。	13,315	12,676	老人クラブ加入者	人	4,100	3,878	94.6	4,200	3,715	88.5	健康長寿推進課
4	②	高齢者生きがい就労事業	高齢者の就業機会を拡大し、高齢者の健康と生きがいの充実を図るとともに、社会参加を通じて活力ある地域社会を推進する。	厚木市シルバー人材センターに対し、補助金を交付する。 また、関係機関の連携を強化し、高齢者の多様な就労ニーズに対応した仕組みを構築する。	シルバー人材センターの運営費に対し、補助金を交付した。	44,660	44,660	シルバー人材センター会員数	人	1,180	1,015	86.0	1,200	998	83.2	介護福祉課
5	②	障がい者就労施設等共同受注窓口事業補助事業	障がい者の就労支援を行う関係団体、施設・事業所等の主体的な参加の下、そこで働く利用者の工賃・賃金の底上げのための受注の拡大に向けた共同受注窓口を支援することにより、障がい者の地域における自立した生活の実現を目指す。	市内障害者就労施設等が企業等からの製品等の発注を取りまとめるために設置する共同受注窓口に対し、補助金を交付する。	障がい者の就労支援を行う関係団体、施設、事業所等の主体的な参加のもと、そこで働く利用者の工賃・賃金の底上げのための受注の拡大に向けた共同受注窓口を実施した。 ・登録事業所件数 21件 ・相談件数 17件 ・契約件数 15件	500	500	月額平均工賃（就労継続支援B型事業所）	円	16,000	11,628	72.7	17,000	12,941	76.1	障がい福祉課
6	③	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期）策定事業	福祉分野の各個別計画と理念を共有しながら、本市における高齢者福祉及び介護保険事業の基本的な計画として、高齢者等が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるために必要な取組を推進する。	「老人福祉法」第20条の8に規定する市町村老人福祉計画であり、高齢者福祉の基本的な計画として位置づけられ、「介護保険法」第117条第1項に規定する介護保険事業計画（サービス量を定める計画）を包含した計画として策定する。	令和5年度の第9期事業計画策定に向け、ニーズ調査を実施した。	5,136	3,630	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定	—	—	—	—	ニーズ調査・検討	ニーズ調査・検討	100.0	介護福祉課

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度担当課
						当初予算額(千円)	決算額(千円)			令和3年度目標値	令和3年度実績値	令和3年度達成率(%)	令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度達成率(%)	
7	③	介護職人材確保支援事業	介護・障がいサービスの利用者に対し、継続して質の高いサービスを提供することができるよう、介護職(介護福祉士、社会福祉士等)の人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	市内介護サービス事業所及び障害福祉サービス事業所等の就職相談会を実施するとともに、介護職従事者の研修費用を助成する。 また、市内の事業所等に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を利用して介護職の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、介護職等有資格者の転入及び復職等に対し、奨励助成金を交付する。	① 事業所説明会(就職相談会)を実施した。 ② 市内の介護保険指定事業所等で働く介護職員等がキャリアアップを目指して受講した研修費を事業所が負担した場合、又は個人で負担した場合にその一部を助成した。 ③ 市内の介護保険指定事業所等に就職又は勤務する市民の方で、転入及び復職等する場合に助成金を、また、奨学金返済の一部を助成した。	34,000	14,576	介護職等に就職した人数	人	28	39	100.0	32	43	100.0	介護福祉課 障がい福祉課
								キャリアアップ支援事業補助金支給事業所の件数	件	90	106	100.0	100	105	100.0	
8	③	特別養護老人ホーム建設事業補助事業	団塊の世代が75歳以上の高齢者となる令和7(2025)年を見据え、高齢者が可能な限り住み慣れた地域において継続して日常生活を営むことを可能とするため、地域の実情に応じた介護サービス提供体制を整備する。	特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人が行う、既存施設の定員の増員を図るために要する工事費等に対し、補助金を交付する。	令和4年度実績なし	0	0	整備ベッド数	床	29	29	100.0	—	—	—	介護福祉課
								特別養護老人ホーム整備の進捗状況	—	整備・完成	整備・完成	100.0	—	—	—	
9	④	在宅福祉推進事業(在宅サービス事業)	高齢者ができる限り自立した生活を送ることができるよう、在宅支援サービスを提供する。	家族の疾病や事故等により、家庭で生活することが困難となった高齢者を一時的に施設で保護するほか、日常生活用具の給付、ひとり暮らし高齢者に対する緊急通報機器の貸与及びはり・きゅう・マッサージ施術費の助成等を行う。	① 高齢者緊急一時保護事業を行った。 ② 紙おむつ、家具転倒防止器具の設置、自立支援用具の購入費助成、セーフティ住宅支援事業、寝具乾燥消毒事業を行った。 ③ 緊急通報システム事業を行った。 ④ 理髪サービス事業、はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業を行った。 ⑤ 家族等支援事業、高齢者タクシー助成事業を行った。	36,567	未定	緊急通報システム機器の貸与件数	件	125	92	73.6	125	80	64.0	介護福祉課 地域包括ケア推進課
								徘徊SOSネットワーク登録者数	人	295	250	84.7	340	289	85.0	
10	④	介護支援事業(高齢者支援)【介護保険事業特別会計】	被保険者及び要介護被保険者を介護する方等に対し、地域の実情に応じた必要な支援を行うことにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりを推進する。	家族が在宅で安心して高齢者の介護ができるよう、家族介護支援事業及び住宅改修支援事業、地域自立生活支援事業として介護相談員派遣事業を実施する。	コロナ禍により、派遣先施設の受入に制限のある中ではあったが、一部の施設に対して相談員の派遣を再開することができ、施設利用者とサービス提供事業者の橋渡し役を担い、利用者の権利擁護とサービスの質の向上に貢献することができた。	900	102	介護相談員の派遣者数(延べ)	人	300	0	0.0	324	27	8.3	介護福祉課
								ケアプラン点検実施事業所数	事業所	50	50	100.0	50	50	100.0	
11	④	高齢者外出支援事業	高齢者の外出機会を拡大し社会参加や健康づくり・生きがいを推進するとともに、公共交通機関の利用促進による環境保全等に配慮する。	神奈川県中央交通(株)が販売する「かなちゃん手形」の購入費用の一部を助成、または、高齢者タクシー券を交付する。	年度内70歳上の方へかなちゃん手形への助成及び年度以内85歳以上の方に高齢者タクシー券を交付(選択制) ・かなちゃん手形助成申請者 7,617人 ・高齢者タクシー券交付者 1,612人 合計 9,229人	60,117	44,630	かなちゃん手形購入率	%	24.5	16.2	66.1	—	—	—	地域包括ケア推進課
								かなちゃん手形申請者数及び高齢者タクシー券交付人数	人	—	—	100.0	9,229	9,229	100.0	
12	④	敬老事業	長年にわたり、社会の発展に寄与されてきた高齢者を敬愛するとともに、長寿をお祝いし、高齢者の福祉の増進を図る。	敬老祝金や祝品を贈呈するとともに、老人ホームにおいて開催する敬老事業に対する支援を行う。	① 各対象年齢に該当する高齢者に敬老祝品・祝金を贈呈した。 ・敬老祝金給付者数 2,875人 ・敬老祝品給付件数 3,047件 ② 各老人ホームにおいて開催する敬老会に対し、交付金を交付した。 【交付先】 ・老人ホーム 15施設	18,201	14,379	敬老祝品等の支給者数	人	6,700	6,065	90.5	7,300	5,922	81.1	介護福祉課

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
13	④	要介護・高齢者等歯科診療事業	一般の診療所では治療が困難な要介護・高齢者に対する歯科診療を確保し、要介護・高齢者の健康と口腔保険の向上を図る。	要介護・高齢者等歯科診療を運営する厚木歯科医師会に対し、運営に必要な経費の一部を補助し、円滑な診療体制を確保する。	要介護・高齢者等の歯科診療を確保するため、歯科医師会に対し、診療運営に必要な経費の一部を補助した。	4,702	4,702	要介護・高齢者等歯科診療の患者数	人	—	—	—	200	261	100.0	健康長寿推進課
14	④	要介護・高齢者等歯科診療設備整備事業	一般の診療所では治療が困難な要介護・高齢者に対する歯科診療施設として、厚木市歯科保健センターの利用環境を整えるため、適切な設備整備を行う。	県の補助制度を活用し、要介護・高齢者等歯科外来での継続治療に必要な医療機器（デジタルレントゲン）を厚木市歯科保健センター内に整備する。	厚木市歯科保健センターの利用環境を整えるため、デジタルレントゲンを購入した。	12,122	11,913	デジタルレントゲンの整備	—	—	—	—	整備	整備	100.0	健康長寿推進課
15	⑤	障害者地域生活支援事業（福祉サービス）	「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」に定める地域生活支援事業として、障がい児・者が住み慣れた地域で安心して日常生活を送ることができるよう、障がいの特性に応じた様々なサービスを提供する。	障がい者基幹相談支援センター及び障がい者相談支援センターにおいて、障がい者の相談支援を行うほか、重度障がい者に対する日常生活用具の給付や屋外での移動が困難な障がい者へのガイドヘルパーの派遣及び在宅重度障がい者等に対するタクシー等の利用費用の助成等を行う。また、障がい者福祉の基本的な計画として、障害福祉計画及び障害児福祉計画を包含した、厚木市障がい者福祉計画（第7期）を策定する。	①厚木市障がい者基幹相談支援センター及び相談支援事業所8箇所において、成人及び児童から55,879件にも及び一般相談を受け、幅広い障がい者のニーズに対応した。②地域活動支援センターの運営に要する経費を補助すること等により、障がい者への創作活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流促進を図った。③厚木市障がい者福祉計画（第7期）策定に向けてアンケート調査を実施した。	244,222	239,981	障がい者基幹相談支援センター・障がい者相談センターにおける相談件数	件	32,000	43,214	100.0	33,000	55,879	100.0	障がい福祉課
								創作的活動や社会との交流促進のために地域活動支援センターを利用登録する人数	人	120	110	91.7	120	101	84.2	
								障がい者福祉計画の策定	—	—	—	—	アンケート調査の実施	アンケート調査の実施	100.0	
16	⑤	児童発達支援事業	児童福祉法に基づく児童発達支援センターを設置し、発達に心配や障害のある児童の成長を支援するとともに、地域の障がい児支援の中核となり、療育支援の充実を図る。	児童発達支援センター「ひよこ園」において、日常生活の基本的動作の指導などを行う児童発達支援、児童の集団生活適応のための保育所等訪問支援及び障害児相談支援を実施する。	①児童発達支援センター「ひよこ園」において、児童発達支援事業として、1日グループ指導、半日グループ指導及び居宅支援を実施した。②保育所等を訪問し、児童の集団生活適応のための支援を実施した。③障害児支援利用計画作成及びモニタリングを実施した。	68,062	66,871	児童発達支援事業延べ利用者数	人	7,400	7,899	100.0	7,400	7,570	100.0	福祉総務課
								保育所等訪問支援事業利用件数	件	70	97	100.0	70	97	100.0	
								相談支援事業利用件数	件	140	279	100.0	140	228	100.0	
17	⑤	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	「障害者総合支援法」に基づく補装具の支給を受けることができない軽度・中等度の難聴児の言語の習得及び生活能力・コミュニケーション能力等の向上を促進する。	身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児に対し、補聴器の購入費を助成する。	身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児に対し、補聴器の購入費及び修理費の助成を行ったことにより、言語の習得、コミュニケーション能力の向上等の支援を図った。 ・支給対象：13人 ・支給台数：25台	396	619	補聴器購入費助成台数	台	12	16	100.0	12	25	100.0	障がい福祉課
18	⑤	障害者医療費助成事業	心身障がい者の経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。	心身障がい者に対し、健康保険適用医療費の自己負担分を助成する。	令和5年3月末時点での医療費助成対象者数 3,205人	448,030	440,286	医療費助成対象者数	人	3,304	3,249	100.0	3,215	3,205	100.0	障がい福祉課

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課	
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率 (%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率 (%)		
19	⑤	障害者福祉手当等給付事業	福祉手当等を支給することにより、障がい者の生活を支援する。	日常生活において常時介護を必要とする在宅重度障がい者に対し、特別障害者手当を支給する。 また、心身障がい者に対する心身障害者福祉手当及び在宅重度障がい者を常時介護している方に対する介護手当等を支給する。	①日常生活において、常時介護を必要とする在宅重度障がい者に対し、特別障害者手当等を支給した。 ・特別障害者手当 148人 ・障害児福祉手当 132人 ・経過福祉手当 6人 ②障がい者の生活を援助し、福祉の増進を図るため、障害者福祉手当を支給した。 ・身体障がい者 3,027人 ・知的障がい者 1,147人 ・精神障がい者 1,386人 ③在宅の重度障がい者を常時介護している方に、障害者介護手当を支給した。 ・支給件数 49人	281,014	245,697	特別障害者等 手当支給者数	人	276	288	100.0	282	286	100.0	障がい福祉課	
								心身障害者福祉 手当支給者数	人	8,375	8,317	99.3	6,452	5,560	86.2		
								在宅重度障害 者介護手当 支給者数	人	59	58	100.0	57	49	100.0		
20	⑤	障害福祉サービス開設準備・運営経費補助事業	障がい者福祉計画（第6期）に基づき、市内で不足している障害福祉サービスの解消を図るため、福祉サービス提供体制の拡充を図る。	厚木市障害福祉サービス事業所開設準備・運営経費補助金交付要綱に基づき、事業者を公募し、事業に要する費用に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。	①重度の自閉症者を対象に専門的かつ適切に支援できる生活介護事業所を対象に補助した。（1事業所） ②短期入所のうち、医療的ケアを必要とする重症心身障がい児者を対象とした短期入所を市内で提供する事業所に対する補助した。（1事業所）	4,800	2,430	重度の自閉症 者を対象とした 生活介護事業 所への補助金 の交付件数	件	2	2	100.0	2	2	100.0	障がい福祉課	
21	⑤	障がい者歯科診療運営費補助事業	一般の診療所では治療が困難な障がい者に対する歯科診療体制を確保し、障がい者の健康と口腔保健の向上を図る。	障がい者歯科診療を運営する厚木歯科医師会に対し、補助金を交付する。	障がい者の歯科診療を確保するため、厚木歯科医師会に対し、診療運営に必要な経費の一部を補助した。	34,369	34,369	障がい者歯科 診療の患者数	人	2,200	2,027	92.1	2,300	2,128	92.5	健康長寿 推進課	
22	⑤	学校等訪問看護支援事業費	医療的ケアの必要な児童・生徒の学校及び保育所において、その特性に応じた環境の保持及び健康の増進のため、訪問看護ステーションから看護師を配置し、保護者の負担軽減を図るとともに、安全で質の高い教育活動及び保育環境の充実を図る。	導尿等の比較的短時間で、かつ、定時の対応により処置が可能である医療的ケア児について、訪問看護ステーションから学校等へ配置された看護師が医療的ケアを行う。	市立小学校児童3人及び幼稚園児童1人に対し、訪問看護ステーションから看護師を配置し、保護者の負担軽減を図るとともに、教育活動等の一層の充実を図ることができた。	12,204	4,361	医療的ケアの 実施率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	障がい福祉課	
23	⑥	在宅医療・介護・生活支援推進事業【介護保険事業特別会計】	重度な要介護状態であっても、障がいがあっても、一人暮らしでも、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる地域包括ケア社会の実現を目指す。	専門的な視点から研究・検討を行う厚木市地域包括ケア推進会議を開催する。 また、多職種への研修や市民への説明会を実施し、地域包括ケア社会の周知を図る。 さらに、地域包括ケア連携センターにおいて、在宅医療・介護連携及び生活支援に関する相談支援を行う。	①地域包括ケア連携センターを設置し、在宅医療・介護連携及び生活支援に関する相談業務を行った。 ②厚木市地域包括ケア推進会議を開催し、専門的な視点から各種取組の研究・検討を行った。 ・会議開催 3回 ③多職種研修会や市民講演会を行い、地域包括ケア社会の実現に向け啓発活動を行った。 ・多職種研修会 全8回 ・厚愛地区医療介護連携多職種研修会 ・地域包括ケア市民講演会・地域福祉推進大会	950	950	地域包括ケア 連携センター における相談 件数	件	150	191	100.0	150	163	100.0	地域包括 ケア推進 課	
								多職種研修会 参加者の満足 (理解)度	%	95.0	97.0	100.0	95.0	97.6	100.0		
24	⑥	地域包括支援センター運営事業【介護保険事業特別会計】	地域の高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定のため必要な支援を行うことにより、地域包括ケア社会の実現を目指す。	地域における相談窓口として、地域包括支援センターにおいて、地域の高齢者等の心身の状況や生活の実態、必要な支援などを幅広く把握し、適切な保健・医療・福祉サービスや関係機関、制度の利用につなげるなどの支援を行う。	市内10か所の地域包括支援センターに業務委託し、地域の高齢者の相談を受け、心身の状況や生活の実態を把握し、相談内容に応じた的確なサービス等に関する情報提供や関係機関の紹介等を行った。 ・相談件数 52,172件	358,400	358,336	地域包括支援 センターにお ける総合相談 件数	件	42,500	51,173	100.0	43,000	52,172	100.0	地域包括 ケア推進 課	

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
25	⑥	社会福祉団体等助成事業	社会福祉団体の活動を支援することにより、団体の運営を支援する。	厚木市社会福祉協議会、厚木地区保護司会及び厚木愛甲地区更生保護女性会に対し、補助金を交付する。 また、厚木市社会を明るくする運動推進委員会に対し、交付金を交付する。	各団体の活動状況等を把握するとともに、前年度実績に基づき交付金を交付した。	108,779	108,779	地域福祉コーディネーターの活動件数	件	1,800	1,532	85.1	2,100	1,422	67.7	福祉総務課
26	⑥	生活困窮者自立支援事業	生活保護に至る前段階の第2のセーフティネットとして、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方の自立を促進する。	生活困窮者に対する自立や就労に向けて総合的な相談支援を行う自立相談支援を実施するとともに、離職等により職を失った方に対し、住居確保給付金を支給するほか、就労準備支援及び学習支援を実施する。	①失業、傷病、長期ひきこもりなど、様々な理由で生活困窮に陥っている方々に就労に向けた相談を行った。 ②離職等により居住を失ったあるいは失う恐れの高い方に就労に向けた活動することなどを条件に家賃相当額を支給した。 ・支給決定者数 494人 ③雇用による就業が著しく困難な生活困窮に陥っている方々に対し、就労に向けた知識及び能力向上のために必要な訓練を行った。 ・参加者数 12人 ④生活困窮世帯の中学生に対し、社会的な居場所づくりや学び直しの機会の提供を行った。 ・参加生徒数 12人	96,808	46,928	自立相談支援プラン作成率	%	50.0	8.0	16.0	50.0	12.0	24.0	福祉総務課
								一般就労達成率	%	60.0	100.0	100.0	60.0	90.6	100.0	
27	⑥	高齢者の尊厳保持支援事業	高齢者がいつまでも尊厳を持ち、自分らしい生活を送ることができるよう支援する。	関係機関との連携により、高齢者虐待の早期発見・早期対応を行うとともに、成年後見制度の利用支援を行う。 また、権利擁護支援センターにおいて、成年後見制度の相談、高齢者や障がい者の虐待に関する相談及び市民後見人の養成等を行う。	①成年後見等に関する相談を実施した。 ・成年後見相談件数 2,139件 ②高齢者及び障がい者虐待等に関する相談を実施した。 ・権利侵害相談件数 319件 ③市民後見人候補者の選任促進を行った。 ・市民後見人選任数 4人 ④成年後見等の市長申立を行った。 ・市長申立件数 16人	25,501	25,060	権利擁護支援センターにおける相談件数	件	420	1,600	100.0	460	2,139	100.0	介護福祉課
								成年後見制度の利用が必要な人への専門的アセスメント、チーム支援方針の検討・決定件数	件	20	262	100.0	40	250	100.0	
								成年後見申立件数	件	11	22	100.0	12	16	100.0	
28	⑥	重層的支援体制整備事業	複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、様々な課題を抱え、支援を必要とする人を受け止める支援体制を強化し、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる地域包括ケア社会を目指す。	福祉総務課に相談支援包括化推進員を1人配置し、既存の相談支援の取組を活かしつつ、複数の支援機関が協働して課題を受け止める相談支援体制を強化する。	福祉総務課に相談支援包括化推進員を1人配置し、庁内関係各課及び支援機関と調整、連携を図り、支援体制の強化を行った。 ・相談件数 4件	4,266	1,311	職員研修の参加者数	人	—	—	—	650	114	17.5	福祉総務課

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）

2-2 子育て環境の充実

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	子育て支援事業	子育て家庭及びこれから子育てを始める家庭の保護者や児童に対する支援体制の充実を図り、児童の健やかな成長を支援する。	子育て支援センターにおいて、子育てサロンの運営及び育児相談等を実施し、子育て家庭に対する総合的な支援を行う。 また、ファミリー・サポート・センター事業、ほっとタイムサポーター事業及びこんには赤ちゃん訪問事業等、多様な子育て支援を実施する。	①子育てサロン室の運営を行い、子育て情報の提供や相談及び育児支援、子育て親子の交流の場の提供等を実施した。 ・子育てサロン室利用人数 61,492人 ・移動子育てサロン利用人数 3,676人 ・相談件数 896件 ・出張相談相談件数 10件 ・子育て講座参加人数 1,172人 ②育児の相互援助活動であるファミリー・サポート・センター事業を実施した。 ・援助件数 3,270件 ③産前産後の家庭にサポーターを派遣するほっとタイムサポーター事業を実施した。 ・利用登録者数 97人 ④生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問した。 ・訪問率 100% ⑤あつぎ市民交流プラザ託児室を実施した。 ・託児室わたくも利用件数 2,611件	101,227	84,047	子育て支援センター利用者数	人	80,000	51,266	64.1	85,000	61,492	72.3	子育て支援センター
								ファミリー・サポート・センター援助活動件数	件	2,400	3,609	100.0	3,000	3,270	100.0	
								託児室わたくも利用件数	件	3,100	2,053	66.2	3,400	2,611	76.8	
2	①	母子家庭等支援事業	母子家庭等の子育て、生活及び就業等を総合的に支援し、生活の安定と自立の促進を図る。	母子家庭等に対し、福祉手当、家賃助成、就学祝金の支給及び資格取得に対する給付金の支給等を行う。	母子家庭等に対し、福祉手当、家賃助成、就学祝金の支給及び資格取得に対する給付金の支給等を行った。	146,378	138,793	児童扶養手当受給者数	人	1,568	1,601	97.9	1,537	1,577	97.5	子育て給付課
3	①	コミュニティ保育推進事業補助事業	核家族化が進む中、子育て家庭及びこれから子育てを始める家庭の保護者が抱える育児不安等に対し、親同士や子ども同士の交流を深める場を提供することにより、子育てに対する不安の解消を図るとともに、児童の健やかな成長を支援する。	子育てに共通の意識を持ち合わせた保護者が、育児に対する知識や技術を高め合いながら共同保育を実施する自主保育グループに対し、補助金を交付する。	地域の保護者による自主的な共同保育を実施しているグループに対し、運営費の一部を補助した。 ・交付件数2件	1,836	1,613	コミュニティ保育グループ数	グループ	3	3	100.0	3	2	66.7	保育課
4	①	子育てリフレッシュ事業	日々の育児や家事で忙しい子育て中の保護者を対象に、一息つける時間や保護者同士が交流できる場を提供することにより、育児ストレスの解消や保護者の孤立を防ぐ。	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、一時的に子どもを預かり、料理教室などで保護者同士が交流し、リフレッシュできる場を提供する。	子育て中の忙しい保護者の方に、リフレッシュしてもらうための託児付きのリフレッシュ講座を全10回開催。 ・参加人数 101人 ・託児人数 95人	2,000	1,098	子育てリフレッシュ講座開催回数	回	5	1	20.0	5	10	100.0	子育て支援センター
5	①	あつぎ子ども未来プラン（第4期）策定事業	子育て環境日本一を目指し、子ども・子育て支援に関する需要や要望を把握することで、地域全体で安心して子育てできる環境づくりを推進する。	子ども・子育て支援に関する総合的な計画として、「次世代育成支援対策推進法」に基づく「市町村行動計画」及び「子ども・子育て支援法」に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」を一体とした「あつぎ子ども未来プラン（第4期）」を策定する。	取組なし	0	0	あつぎ子ども未来プラン（第4期）の策定	-	-	-	-	-	-	-	こども育成課
6	①	子育て日常生活支援事業	子どもを生み育てやすい環境づくりに向けて、紙おむつ等を支給することで経済的負担を軽減し、子どもたちの福祉の増進を図る。	子どもを養育している子育て世帯に対し、一定のポイントの範囲内で選択した紙おむつやおしりふきシート等の日常生活用品を毎月自宅に配送する。	児童を養育する世帯に対し、紙おむつ又はおしりふき等を支給した。 【支給延べ件数】 ・第1子 7,602件 ・第2子 5,787件 ・第3子以降 5,497件 ・合計 18,886件	89,100	85,062	紙おむつ等の支給件数	件	18,600	19,635	100.0	18,000	18,886	100.0	子育て給付課

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
7	②	保育内容充実事業	認可保育所等の入所児童に適切な保育が実施されるよう、事業に要する経費を補助することなどにより、保育サービスの向上を図る。	認可保育所等に対し、保育所等運営費及び保育に要する費用を交付する。 また、私設保育施設に入所する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、助成金を交付する。	①市内民間保育所及び市外保育所への入所児童に係る保育所運営費を委託費として支出した。 ②保育が必要な児童に対して適切な処遇を図るため、届出保育施設、民間保育所及び小規模保育施設を有する社会福祉法人等に運営費補助金を交付した。 ③私設保育施設等を利用する幼児教育・保育無償化対象保護者に対し、施設等利用費を支給した。 ④幼児教育・保育無償化の対象外であり、私設保育施設に保育を必要とする児童を4か月以上入所させている保護者に対し、年額3万円を助成した。 ⑤地域型保育事業（小規模保育事業・家庭的保育事業）を運営する事業者に対し、保育が必要な児童を受け入れるための経費を支給した。	5,047,963	4,971,587	認可保育所入所児童数	人	3,243	2,950	91.0	3,243	2,976	91.8	保育課
								小規模保育施設入所児童数	人	284	240	84.5	284	252	88.7	
8	②	民間保育施設整備事業	老朽化した認可保育所の建て替えや改修等の整備を行うことにより、施設の安全面、機能面を強化し、安心した保育環境を実現することで、保育の質を高める。	認可保育所及び小規模保育事業等の整備・運営法人の施設整備費に対し、補助金を交付する。	取組なし	0	0	認可保育所・小規模保育施設整備数	施設	-	-	-	-	-	-	保育課
9	②	市立保育所整備事業	保護者が生き生きと働きながら、安心して子どもを子育てられる環境の一層の充実を図るため、老朽化が進む市立保育所の建て替えを実施し、児童の安全性の向上と更なる質の高い保育の提供を目指す。	老朽化が進む市立保育所について、配慮が必要な児童の受入れを進めるための高度なバリアフリー化を取り入れるほか、災害時等における緊急的な保育の拠点となる施設として整備する。	小鮎保育所建て替えをリース方式で行うため、施工業者を決定し、地盤調査、基本設計等を実施した。	0	0	市立保育所再整備数	施設	-	-	-	-	-	-	保育課
10	②	子ども・子育て支援新制度事業	家庭や地域の子育てをめぐる環境の変化に対応し、子育て支援事業の総合的な推進及び良質かつ適切な教育・保育の提供を確保するため、全ての子どもに良質な成育環境を保障し、子ども・子育て家庭を社会全体で支援することを目的とした「子ども・子育て支援新制度」を実施し、幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援の充実を図る。	「子ども・子育て支援法」に基づき、国が定める子ども一人当たりの教育・保育に要する費用、在園児・非在園児の預かり保育に要する費用、低所得者等への副食費免除に要する費用を施設に対して支給する。 また、「子ども・子育て支援新制度」に移行した認定子ども園に対し、運営に必要な事務、保育認定子どもの処遇向上・保育内容充実、園の防犯対策整備に必要な経費の一部を補助する。	①新制度に移行した幼稚園及び認定子ども園に対し、施設型給付費を支給した。 ・支給施設数 市内9園、市外33園 ②新制度に移行した幼稚園及び認定子ども園に対し、一時預かり保育の園児数に応じて補助金を交付した。 ・交付施設数 市内9園、市外10園 ③新制度に移行した認定子ども園に対し、在籍園児以外の未就学児童の一時預かり保育児童数に応じて、補助金を交付した。 ・交付施設数 市内5園 ④認定子ども園に移行した幼稚園または2・3号定員を増やした認定子ども園に対し、事務に係る経費の一部を補助した。 ・交付施設数 市内7園 ⑤私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、就園に必要な物品等の費用や副食費の一部を補助した。	3,465	2,393	市内認定子ども園数	園	7	7	100.0	7	7	100.0	こども育成課
11	②	私立幼稚園就園奨励事業	子どもや保護者を取り巻く環境の変化に対応し、誰もが安心して子育てできる環境の整備を進めるため、私立幼稚園に就園する児童がいる世帯の経済的負担の軽減や施設の受入体制の整備を支援することで、幼児期の教育の振興及び教育・保育環境の充実を図る。	私立幼稚園に対し、教材費、特別支援教育費、預かり保育事業費、外国人児童受入支援事業費、ICT推進事業費等の教育・保育に係る経費の一部を補助する。 また、幼児教育・保育の無償化の実施に伴い、私学助成幼稚園に通う満3歳児から5歳児の保育料及び保育の必要性の認定を受けた園児の保護者が利用実績に応じて支払う預かり保育料の一部を給付する。	①教育環境の向上を図るため、市内私立幼稚園に対し、各種補助金を交付した。 ・交付件数 17件 ②私学助成幼稚園に通う満3歳児から5歳児の保育料及び保育の必要性の認定を受けた園児の保護者が利用実績に応じて支払う預かり保育料の一部を給付した。	1,599,401	1,558,258	在園児率	%	62.0	58.9	95.0	62.0	57.6	92.9	こども育成課
12	②	放課後子ども教室推進事業	児童の放課後対策として、子どもたちが安心・安全に過ごすことができる放課後の居場所づくりを推進する。	小学校の一時的余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、学習、様々な体験・交流活動及び地域住民との交流等を行う放課後子ども教室を運営する。	相川小学校・鷲尾小学校において、通年で教室を実施した。 また、モデル校3校（依知小学校・小鮎小学校・毛利台小学校）において、講座を実施した。	11,028	10,554	放課後子ども教室実施校数	校	2	2	100.0	5	5	100.0	こども育成課

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
13	②	放課後児童対策事業	保護者の就労や疾病等により、授業終了後に帰宅しても適切な保育を受けることができない児童に対し、適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成を図る。	市立放課後児童クラブ（市立小学校区23か所）を運営する。 また、放課後児童健全育成事業を行う民間放課後児童クラブ（地域児童クラブ）に対し、補助金を交付する。	①市立放課後児童クラブ（市立小学校区23か所）を運営した。 ②放課後児童健全育成事業を行う民間放課後児童クラブ（地域児童クラブ）に対し、補助金を交付した。	428,224	411,765	市立放課後児童クラブの入所率	%	100.0	91.1	91.1	100.0	92.6	92.6	こども育 成課
								地域児童クラブの入所率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
								待機児童対策放課後児童クラブの入所率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
14	②	幼稚園送迎ステーション事業	私立幼稚園の預かり保育を利用している方の利便性の向上を図る。	託児室わたぐもを利用し、園児を一時的に預かり、幼稚園へ送迎する幼稚園送迎ステーションを運営する。	働く子育て家庭への支援として、アミューあつき8階の託児室「わたぐも」を活用して幼稚園への送迎を行う幼稚園送迎ステーション事業を実施した。	13,967	13,697	幼稚園送迎ステーションの利用登録園児数	人	78	51	65.4	80	53	66.3	こども育 成課
15	②	幼稚園教諭確保助成事業	幼児教育・保育の無償化に伴う、教育・保育ニーズの増加・多様化に対応するため、幼児教育・保育に携わる人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、市内の私立幼稚園に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、幼稚園教諭有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付する。	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、市内の私立幼稚園に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を利用して幼稚園教諭の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに奨励助成金を交付した。	2,000	540	幼稚園教諭奨学金返済助成金支給者数	人	10	9	90.0	10	6	60.0	こども育 成課
								幼稚園教諭転入奨励助成金支給者数	人	4	2	50.0	4	2	50.0	
								幼稚園教諭復職等奨励助成金支給者数	人	4	1	25.0	4	0	0.0	
16	②	保育士確保助成事業	待機児童の解消を推進するため、保育人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、市内の私立保育施設に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を利用して保育士の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、保育士有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付する。	①奨学金返済助成金（14件） ・奨学金を使い保育士資格を取得し、市内私立保育所に就労した保育士に対し、返済費用の一部として助成金を交付した。 ②転入奨励助成金（7件） ・市外から転入し、市内私立保育所に就労した保育士に対し、転入費用の一部として助成金を交付した。 ③復職等奨励助成金（2件） ・復職等により、市内私立保育所に就労した保育士に対し、復職費用の一部として助成金を交付した。	3,000	2,507	奨学金返済助成金支給者数	人	30	15	50.0	30	14	46.7	保育課
								転入奨励助成金支給者数	人	5	0	0.0	5	7	100.0	
								復職等奨励助成金支給者数	人	5	5	100.0	5	2	40.0	
17	③	療育支援事業	発達上何らかの心配のある児童の特性を正しく理解し、生活上の困難さの軽減を図るとともに、適切な福祉や教育につなげる体制づくりをする。	療育相談センター「まめの木」において、療育相談、経過観察、親子サロン等を実施する。 また、地域支援として、関係機関に対する巡回相談や、研修会、出張講座を実施するほか、市民向けに障がい特性の理解促進を図るための講演会を開催する。	①発達上何らかの心配のある児童に対し、指導を行った。 ・個別 延べ3,008人 ・グループ 延べ2,001人 ②保護者からの来室・電話相談を受けた。 ・1,369件 ③地域の保育所、幼稚園、小学校及び事業所に向けて巡回相談や研修会等を実施した。 ・巡回件数151件、園訪問70件 ④発達に心配のある子とその保護者に遊びを通じた経験の場や気軽に相談できる場を親子サロンとして提供した。	78,483	74,040	出張講座、各種研修延べ参加者数	人	900	1,472	100.0	950	1,486	100.0	福祉総務課
								経過観察（個別・グループ）支援延べ提供者数	人	4,000	4,657	100.0	4,000	5,009	100.0	
								親子サロン延べ利用者数	人	3,200	2,706	84.6	3,200	2,730	85.3	

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率 (%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率 (%)	
18	③	子ども医療費助成事業	子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもたちの福祉の増進を図る。	0歳から中学校卒業までの入・通院の健康保険適用医療費の自己負担分を助成する。	0歳から中学校卒業までの入・通院の健康保険適用医療費の自己負担分を助成した。 【助成延べ件数】 ・県補助分 136,943件 ・市単独分 209,229件 ・合計 346,172件	749,342	747,211	医療費助成件数	件	334,400	335,570	99.7	334,400	346,172	96.6	子育て給付課
19	③	不妊治療費助成事業	医療保険の対象とならず、高額な医療費を要する不妊治療を行う夫婦の経済的負担の軽減を図る。	特定不妊治療費（顕微授精・体外受精）に要する費用の一部を助成する。	令和4年4月1日から保険適用になった特定不妊治療（体外受精又は顕微授精）について、保険適用前に治療を開始した等で保険対象にならなかった市内に在住する夫婦に対し、治療費の一部を助成した。 ・助成件数 160件	10,000	14,800	不妊治療費助成件数	件	160	219	100.0	150	160	100.0	子育て給付課
20	③	ひとり親家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減し、生活の安定と自立を支援する。	ひとり親家庭等に医療証を交付し、健康保険適用医療費の自己負担分を助成する。	ひとり親家庭等に医療証を交付し、健康保険適用医療費の自己負担分を助成した。 ・助成件数 51,483件	145,546	145,078	医療費助成件数	件	52,215	49,811	100.0	52,215	51,483	100.0	子育て給付課
21	③	予防接種事業	「予防接種法」及び市の実施要綱に基づき、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために公衆衛生の見地から予防接種を実施し、市民の健康の保持に寄与するとともに、予防接種による健康被害の迅速な救済を図る。	主に、集団予防及び重篤な疾病の予防を図る観点から「予防接種法」に定めるA類疾病（BCG、四種混合、麻しん風しん、ヒブ、小児用肺炎球菌等）に対する予防接種を実施する。 また、任意予防接種（大人の風しん、季節性インフルエンザ）の接種費用の一部を助成する。 さらに、定期予防接種を受けた後に、骨髄移植等に伴い免疫を失った方に対して、任意接種費用の一部を助成する。	①定期予防接種を実施した。（区域外接種分込み） ・37,012件 ②任意予防接種 ・風しん一部助成 146件 ・季節性インフルエンザ 13,951件 ③骨髄移植等に対する一部助成 3件	640,113	623,465	子ども定期予防接種率（子宮頸がんを除く）	%	90.0	89.8	99.8	90.5	96.1	100.0	健康づくり課
22	③	母子保健衛生事業	「母子保健法」及び「健康増進法」並びに「子ども・子育て支援法」等に基づき、母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図るとともに、乳児及び幼児に対する虐待の予防及び早期発見に資することを目的として、母性並びに乳児及び幼児に対する保健指導、健康診査を実施する。	母子健康手帳の交付のほか、妊婦健康診査、乳幼児健康診査、新生児や未熟児等の訪問指導及び保健指導等を実施する。 また、母子健康包括支援センターを設置し、母性並びに乳幼児の健康の保持及び増進に関する支援に必要な実情の把握を行い、母子保健に関する各種の相談に応ずるとともに、保健指導、母性及び児童の保健医療又は福祉に関する機関との連絡調整その他母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進に関し、必要な支援を行う。	①母子健康手帳の交付 ・交付件数 1,301件 ・妊娠届出者1,222件のうち妊娠11週以下で届け出した件数：1,037件 ②各種健康診査受診者数 ・妊婦歯科健康診査 464人 ・妊婦健康診査 14,806人 ・産婦健康診査 1,739人 ・新生児聴覚検査 1,081人 ・4か月児健康診査 1,247人 ・8～9か月児健康診査 1,260人 ・1歳6か月児健康診査 1,439人 ・2歳6か月児歯科健康診査 996人 ・3歳6か月児健康診査 1,449人 ③訪問指導を実施した。 ・産婦・新生児訪問指導件数 2,258人 ・訪問指導者数 3,256人 ④すくすく応援隊を実施した。 ・相談件数 530件	220,157	175,286	妊娠届出率（妊娠11週以下）	%	85.0	87.6	100.0	85.0	84.9	99.9	健康づくり課
								う蝕のない3歳児の割合	%	89.0	89.8	100.0	89.0	92.5	100.0	

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）
2-3 健康寿命延伸の推進

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単 位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	看護職等人材確保支援事業	更なる高齢化の進展に伴う医療需要に対応するため、看護職（保健師、看護師、助産師、准看護師）、歯科衛生士等の人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	市内の医療機関に勤務する方を対象に、奨学金を利用して看護職又は歯科衛生士の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、看護職有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付する。	①奨学金を返済している看護職等に対し、助成金を交付した。 ・支給者数 41人 ②市内に転入した看護職等に対し、助成金を交付した。 ・支給者数 86人 ③復職した看護職等に対し、助成金を交付した。 ・支給者数 4人	31,000	18,845	奨学金返済助成金支給者数	人	60	48	80.0	60	41	68.3	健康長寿 推進課
								転入奨励助成金支給者数	人	125	93	74.4	135	86	63.7	
								復職等奨励助成金支給者数	人	10	1	10.0	10	4	40.0	
2	①	救急医療事業	休日・夜間における救急医療体制の確保及び24時間体制での健康相談や医療機関情報の提供により、安心・安全な医療環境を整える。	休日夜間急患診療、病院群輪番制病院及び休日歯科診療の運営に対し、補助金を交付する。 また、年中無休で健康相談や医療機関情報等の提供を行う「あつぎ健康相談ダイヤル24」を実施する。	①休日夜間急患診療所、病院群輪番制病院及び休日歯科診療の開設等により、救急医療体制を確保した。 ②あつぎ健康相談ダイヤル24の実施により、安心・安全な医療環境を提供した。	148,197	153,597	休日夜間急患診療所開設日数	日	365	365	100.0	365	365	100.0	健康長寿 推進課
								休日歯科診療開設日数	日	72	72	100.0	72	24	33.3	
								「あつぎ健康相談ダイヤル24」による不要不急な救急医療の抑制割合	%	56.0	59	100.0	57.0	54.9	96.3	
3	①	市立病院運営事業	公立基幹病院として、救急及び小児・周産期並びに感染症医療等の役割を遂行するため、市立病院の円滑な運営を図る。	総務省の繰出基準による負担金、企業債償還に伴う負担金及び退職給付金の一部を一般会計が負担する。 また、市立病院へのふるさと納税寄附額を一般会計から病院事業会計へ繰り入れる。	総務省の繰出基準による負担金のほか、退職給付金の一部や市立病院へのふるさと納税寄附額を一般会計から病院事業会計へ繰り入れた。 また、脳卒中センターの開設や無痛分娩外来の開設などの重点施策に取り組んだ。	1,869,847	1,921,314	救急車受入台数	台	5,000	4,467	89.3	5,100	4,811	94.3	経営管理 課
								病床利用率	%	85.0	67.1	78.9	85.0	67.9	79.9	
								紹介率	%	75.0	77.8	100.0	77.5	85.9	100.0	

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
4	②	データヘルス計画推進事業 【国民健康保険事業特別会計】	国保加入者の医療データ等の分析やこれまでの保健事業の評価分析を行い、生活習慣病等の予防・早期発見と重症化予防及び医療費の適正化を図る。	特定健康診査及び特定保健指導の受診・利用勧奨を実施するとともに、糖尿病性腎症重症化予防事業等により、生活習慣病等の予防・早期発見、重症化を予防する。 また、ジェネリック医薬品の情報提供や重複頻回受診者等への指導により、医療費の適正化を図る。	<p>データヘルス計画に基づき、次の事業を実施した。</p> <p>①特定健康診査未受診者に対し、受診勧奨を実施した。 ・受診勧奨通知送付数 33,167通 ・電話勧奨件数(新規健診対象者) 509件(不通等含む)</p> <p>②特定保健指導未利用者に対し、利用勧奨を実施した。 ・利用勧奨通知送付件数 190通 ・電話利用勧奨 361件</p> <p>③健康教室を開催した。 ・なかやまきんに君講演会 参加者 164人 ・現役薬剤師が教える!くすりのはなし 参加者 20人</p> <p>④糖尿病性腎症Ⅱ期Ⅲ期の方に、医師との連携により保健指導を実施した。 ・参加者 25人</p> <p>⑤生活習慣病の治療を中断していると推測される方を対象に医療機関への受診勧奨を実施した。 ・勧奨通知送付数 184通 ・電話勧奨 174件(不通等含む)</p> <p>⑥健診結果の異常値を放置していると推測される方を対象に医療機関への受診勧奨を実施した。 ・勧奨通知送付数 690件 ・電話勧奨 678件(不通等含む)</p> <p>⑦ロコモティブシンドロームの測定会を開催した。 ・参加者 18人</p> <p>⑧重複服薬が疑われる方に対し、指導を行った。 ・対象者(向精神薬除く) 10人 ・向精神薬対象者 6人</p> <p>⑨差額通知により、ジェネリックへの切り替えを促した。 ・通知送付数 3,463通</p>	51,308	39,802	特定健康診査受診勧奨通知者の受診率	%	20.0	34.9	100.0	20.0	26.0	100.0	国保年金課
								糖尿病性腎症重症化予防に係る保健指導完了者の病期進行抑止率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
5	②	健康増進事業	各種保健事業を実施することにより、疾病の早期発見・早期治療につなげ、市民の健康増進を図る。	がん検診・健康診査・歯科健診・骨粗しょう症検診等の検診事業、健康教育・健康相談・訪問指導等の健康増進事業を実施する。 また、自殺予防対策として、こころの健康相談を実施するとともに、自殺対策計画を推進していく。	<p>①各種検診(健診)を実施した。 ・がん検診(施設)延べ65,082人 ・がん検診(集団)延べ8,320人 ・骨粗しょう症検診受診者数 183人 ・眼科健診受診者数 83人</p> <p>②健康増進事業として健康教育や健康相談を実施した。 ・健康教育参加者数 355人 ・健康相談者数 99人</p> <p>③自殺対策として相談事業を実施した。 ・メンタルヘルス相談者数 227人 ・いのちのサポート相談数 26人</p>	610,647	609,309	がん検診の受診率	%	26.0	22.8	87.7	26.5	21.7	81.9	健康づくり課
								がん集団検診の受診者数	人	13,100	8,561	65.4	13,200	8,320	63.0	
								歯科健康診査の受診者数	人	6,700	5,987	89.4	6,800	6,115	89.9	
6	②	(再掲) 予防接種事業	高齢者を対象に、肺炎球菌ワクチン予防接種及びインフルエンザ予防接種を実施することにより、感染症予防及び健康増進を図る。	高齢者を対象に、肺炎球菌ワクチン予防接種及びインフルエンザ予防接種費用の一部を助成する。	<p>①高齢者インフルエンザ予防接種を実施した。 ・接種者数 30,337人</p> <p>②高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種を実施した。 ・接種者数 823人</p>	112,967	131,326	高齢者インフルエンザ予防接種率	%	45.0	51.0	100.0	45.0	51.7	100.0	健康づくり課

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度担当課
						当初予算額(千円)	決算額(千円)			令和3年度目標値	令和3年度実績値	令和3年度達成率(%)	令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度達成率(%)	
7	②	長寿健康診査等事業【後期高齢者医療事業特別会計】	後期高齢者の健康の保持増進を図るとともに、生活習慣病の重症化を予防し、健康寿命の延伸を図る。	後期高齢者を対象として、市内の診療所等を始めとする「かかりつけ医」を中心とした医療機関において、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者及び予備群を早期発見するための特定健康診査を実施するとともに、人間ドックの受診費用の一部を助成する。	①健診実施医療機関75箇所において、長寿健康診査を実施した。 ・対象者数 28,425人（R4.4月1日現在） ・受診者数 10,039人 ②人間ドック受診希望者に対し費用の一部を助成した。 ・564人	149,403	124,296	長寿健康診査等の受診率	%	41.0	36.5	89.0	41.1	37.3	90.8	国保年金課
8	②	特定健康診査等事業【国民健康保険事業特別会計】	国保加入者の糖尿病、高脂血症及び高尿酸血症などの生活習慣病の発症や重症化を予防し、健康寿命の延伸を図る。	市内の診療所等を始めとする「かかりつけ医」を中心とした医療機関において、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者及び予備群を早期発見するための特定健康診査を実施するとともに、人間ドックの受診費用の一部を助成する。	①健診実施医療機関75箇所において、特定健康診査を実施した。 ・対象者数 29,680人（R5.5.22法定報告） ・受診者数 9,374人 ※受診率・R3年度実績値の最終確定値は32.7% ②人間ドック受診希望者に対し費用の一部を助成した。 ・20歳～39歳助成額25,000円 51人 ・40歳～74歳助成額20,000円 1,382人 ③健康診断等の情報提供者 84人	143,852	123,106	特定健康診査の受診率	%	38.0	32.7	86.1	39.0	30.6	78.5	国保年金課
9	②	未病施策事業	超高齢社会を迎える中、健康寿命の延伸に向け、二次保健医療圏域内の5市1町1村（厚木市、海老名市、座間市、綾瀬市、大和市、愛川町、清川村）で広域的な健康づくりに取り組む。	健康度見える化コーナー（未病センター）において、利用者自身による各種健康機器を使った継続的な健康度チェックを行うとともに、専門職による健康に関する相談又は助言を行う。	健康度見える化コーナー（未病センター）を運営した。 【実績】 ・未病センター利用者数 1,938人 ・未病運動講座 744人	5,077	4,419	未病センター利用者数	人	6,300	1,810	28.7	6,400	1,938	30.3	健康づくり課
10	②	健康スイミング事業	日常生活において運動する機会の少ない障がい児・者及び高齢者の健康の維持・増進を図る。	指導員による水泳指導を行う健康づくり教室のほか、団体貸切や開放を実施する。	新型コロナウイルス感染拡大防止とそれに伴うワクチン接種会場として施設を利用していたこと、及び同じ階のホールの天井改修工事の実施が確定していたことにより施設を利用できなかったため、事業を全面中止した。	0	0	健康スイミング事業参加者数	人	7,500	0	0.0	7,500	0	0.0	健康長寿推進課
11	②	健康づくり事業	「第3次健康食育あつぎプラン」に基づき、関係団体との協働により、健康づくりの普及・啓発事業を展開し、健康に対する意識を高め、市民の健康保持・増進を図る。	健康あつぎ推進リーダーを養成し、健康づくり事業の普及・啓発を図るとともに、新あつぎ市民健康体操（あゆこちゃん体操）の普及を行うほか、食生活改善推進員（食育アドバイザー）の養成・育成を行い、各地区において食育推進事業を実施する。 また、各種健診・検診の受診及び健康・食育関連事業への参加等によりポイントを付与し、抽選で特典が当たる「あゆこちゃんGENKIポイント事業」を実施する。	①各種健診・検診の受診、ウォーキング、市等主催の健康・食育関連事業への参加、健康・食育等に関する個人目標への取組等によりポイントを付与し、抽選で特典が当たる「あゆこちゃんGENKIポイント事業」を実施した。 ・参加延べ人数 23,569人 ②健康あつぎ推進リーダーによる講座を開催した。 ・17回 参加者数 380人 ③地区食育推進事業を開催した。 ・12回 参加者数 102人	5,053	4,087	健康あつぎ推進リーダーによる講座の参加者数	人	850	21	2.5	900	380	42.2	健康長寿推進課 健康づくり課
								地区食育推進事業参加者数	人	300	57	19.0	300	102	34.0	
								あゆこちゃんGENKIポイント参加者数	人	4,050	3,652	90.2	4,100	9,844	100.0	

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
12	③	介護予防・生活支援サービス事業【介護保険事業特別会計】	要支援者等に対し、要介護状態等になることを予防するとともに、要介護状態等の軽減や悪化防止、地域における自立した日常生活を支援することにより、活動的で生きがいのある生活を送ることができるよう支援する。	要支援者等の多様な生活支援のニーズに対応するため、訪問型サービスや通所型サービスを提供するとともに、要介護状態等になることを予防するため、介護予防ケアマネジメントを実施する。	要支援者等に対し、必要なサービスが提供できるよう、介護予防ケアマネジメントを実施した。	389,582	352,008	介護予防ケアマネジメント件数	件	6,500	6,919	100.0	6,600	7,253	100.0	介護福祉課
								訪問型サービスB及び通所型サービスBの利用人数	人	72	1	1.4	79	8	10.1	
13	③	一般介護予防事業【介護保険事業特別会計】	市町村の独自財源で行う事業や地域の互助、民間サービスとの役割分担を踏まえつつ、高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していく地域づくりを推進するとともに、地域においてリハビリテーション専門職等をいかした自立支援に資する取組を推進し、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できる地域の実現を目指す。	運動器の機能向上事業や認知症予防事業を実施するとともに、パンフレットの作成・配布などにより介護予防の普及・啓発を行い、地域における住民主体の介護予防活動を支援する。	介護予防教室を開催するとともに、パンフレットの配布等普及啓発を行った。	24,078	12,564	介護予防教室参加者の生活機能改善率	%	80.0	84.4	100.0	80.0	82.3	100.0	介護福祉課
14	③	介護支援事業（認知症サポーター養成）【介護保険事業特別会計】	誰もが住み慣れた地域で、人生の最期まで安心して暮らし続けることができる地域包括ケア社会を実現する。	認知症高齢者やその家族を支援する認知症サポーターを養成する。	令和4年度認知症サポーター養成講座 ・実施回数 44回 ・受講者数 949人	314	312	認知症サポーター数	人	15,800	17,076	100.0	16,000	18,025	100.0	地域包括ケア推進課
15	③	認知症総合支援事業【介護保険事業特別会計】	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりを推進する。	認知症やその家族に早期に関わる認知症初期集中支援チームや認知症の人の支援ニーズや認知症サポーター等をつなげるチームオレンジを各地域に設置し、認知症の早期診断、早期対応に向けた支援体制を構築する。	①認知症サポーターステップアップ講座 ・2回実施 ②認知症地域支援推進員会議 ・3回実施	925	400	地域版チームオレンジ設置数（累計）	か所	2	2	100.0	3	2	66.7	地域包括ケア推進課
								認知症ステップアップ研修受講者数	人	50	27	54.0	60	47	78.3	

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）
2-4 多様性の尊重と平和都市の推進

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	人権啓発推進事業	一人一人の人権が尊重され、誰もが個性豊かで活力に満ちた生活を送ることができるよう、人権意識の高揚を図る。	人権について理解を深めるヒューマンライツフェスタを開催するとともに、啓発ポスターの掲出及び啓発冊子の配布等を行う。 また、人権団体が実施する人権啓発活動等の事業費の一部を助成する。	①公民館まつりでの啓発物品を布置した。 ・布置数 3,000双(軍手) ②ヒューマンライツフェスタを開催した。 ・参加者 70人 ③こども人権教室を開催した。 ・参加者数 173人	3,933	3,529	人権啓発事業参加者数	人	3,950	2,434	61.6	4,000	3,243	81.1	市民協働推進課
2	①	人権教育・啓発推進事業	全ての市民が人権尊重意識を持ち、互いの人権を尊重し合う明るく住みよい地域づくりを目指し、人権教育を推進する。	人権講座「ヒューマンカレッジ」等を開催するとともに、人権についての積極的な啓発活動を実施する。	ヒューマンカレッジを3回実施し、人権に関する啓発活動を実施した。 ・参加者数 96人	967	683	人権講座参加者の人権意識高揚度	%	86.3	92.9	100.0	86.4	86.2	99.8	社会教育課
3	①	男女共同参画推進事業	男女が互いにその人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を図る。	厚木市男女共同参画推進委員会を開催するとともに、講座の開催及び情報誌の発行等による啓発活動を行う。 また、更なる男女共同参画の推進を図るため、第4次厚木市男女共同参画計画を策定する。	①男女共同参画推進委員会を開催した。 ・開催回数 4回 ②男女共同参画庁内推進会議を開催した。 ・開催回数 3回 ③各種講座等を開催した。 ・開催回数 5回 ④情報誌を発行した。 ・発行回数 1回 ⑤その他啓発活動(男女共同参画週間等に合わせ啓発物品等の布置)を実施した。 ⑥第4次厚木市男女共同参画計画を策定した。	4,095	2,108	男女共同参画推進講座等参加者数	人	440	244	55.5	450	298	66.2	市民協働推進課
								第4次男女共同参画計画の策定	—	調査・分析	調査・分析	100.0	策定	策定	100.0	
4	①	障害者地域生活支援事業(障がい者理解促進)	「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」に定める地域生活支援事業として、障がいのある人が住み慣れた地域で生き生きと生活することができるよう、地域住民の障がいに対する理解を促進する。	地域での障がいに対する理解を深めるため、啓発事業を行い、体育大会を開催し、障がい者相互の親睦やボランティアとの交流を図る。 また、市が開催する講演会及びイベント等における手話通訳や要約筆記等を通じ、聴覚障がいに対する理解を深める。	①精神保健福祉地域交流事業 ・教育機関に対し児童及び保護者向け啓発冊子の作成・配布 2,870冊 ②障害者差別解消法啓発事業 ・啓発冊子の作成・配布 1,000冊 ③体育大会中止 ④障がい者理解促進映画上映	1,397	969	精神保健福祉地域交流事業・差別解消法啓発事業冊子配布数	冊	3,900	5,200	100.0	3,900	3,870	99.2	障がい福祉課
								障がい者体育大会参加者数	人	650	0	0.0	655	0	0.0	
								通訳者派遣延べ人数	人	470	276	58.7	480	343	71.5	
5	②	多文化共生交流事業	外国籍市民が、地域の構成員として共に暮らす社会の実現を目指し、多文化共生の推進を図る。	厚木市外国籍市民交流委員会会議の開催、日本語教室の開催、災害時通訳ボランティアの育成及びインターナショナルティーサロンの開催等を支援する。	①厚木市外国籍市民交流委員会会議を開催した。 ・開催回数 3回 ②日本語教室を開催した。 ・開催回数 194回 ・参加者数 2,479人(延べ人数) ③日本語講師養成講座を開催した。 ・開催回数 全4回 ・参加者数 126人(延べ人数) ④日本語講師ブラッシュアップ講座を開催した。 ・開催回数 全2回 ・参加者数 47人(延べ人数) ⑤インターナショナルティーサロンを開催した。 ・参加者数 85人 ⑥スペイン語の通訳ボランティアを設置した。 ・毎週1回2時間	1,580	1,286	日本語教室参加者数	人	5,500	208	3.8	5,500	2,479	45.1	市民協働推進課

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
6	②	国際交流推進事業	海外友好都市等と各分野での交流を行うことにより、市民文化の向上を図るとともに、市民の国際交流を促進する。	海外友好都市等との訪問団の受入れ及び派遣を行うとともに、海外友好都市のPR活動を行う。 また、海外友好都市等との国際交流事業を行う市民団体及び市内大学に補助金を交付し、民間交流の活性化を図るほか、海外学生等のホームステイを受け入れる。	①NZ男子バスケットボールチームのキャンプを受入れた。 ・選手等 25人 ②NZとのオンライン交流を実施した。 ・市内保育園 3回 ③韓国軍浦市へ代表訪問団を派遣した。 ・職員 3人 ④韓国軍浦市から代表訪問団を受入れた。 ・軍浦市職員 4人 ⑤アメリカニュープリテン市へ代表訪問団を派遣した。 ・友好交流委員会 1人、職員等 3人 ⑥NZ短期留学プログラムを実施した。 ・公募高校生 10人、職員 3人 ⑦揚州市とのオンライン交流を実施した。 ・本市高校生13人、揚州市高校生30人	11,547	7,970	海外友好都市等との交流活動件数	件	22	2	9.1	24	13	54.2	企画政策課
7	③	女性のための相談事業	女性の様々な悩みに対応することにより、個性と能力を発揮し、主体的な生き方を選択できるよう支援する。	女性の様々な悩みに対応するため、面接や電話による相談（一般相談・法律相談）を実施する。	面接や電話による女性相談を実施した。 ・一般相談 693件 ・法律相談 46件	3,184	2,938	相談件数	件	720	666	92.5	720	739	100.0	家庭相談課
8	③	市民相談事業	市民生活における様々な悩みや問題を解決に導き、市民生活の安定化を図る。	市民相談員や市職員が相談に応じる一般相談のほか、弁護士や税理士等の専門家による特別相談を実施する。	①一般相談を実施した。 相談件数 2,457件 ②11項目の特別相談を実施した。 相談件数 947件	11,077	10,269	市民相談受理件数	件	3,000	2,908	96.9	3,000	3,404	100.0	市民協働推進課
9	③	児童虐待・DV対策事業	虐待を受けている子どもの早期発見及び適切な保護対策を実施する。 また、DV相談及びDV被害者の安全を確保するとともに、自立を支援する。	児童虐待対策として、通報や相談に基づき、子どもの保護対策を行うとともに、要保護児童対策地域協議会を中心として関係機関との連携を図り、ケースに応じた適切な支援を行う。 なお、児童相談システム導入により、支援に向き合う時間の十分な確保とともに、全国情報共有システムを介しての児童相談所や他市町村との迅速かつ綿密な情報共有により、児童虐待の早期発見、早期対応並びに重篤化防止を図る。 また、DV対策として、DV被害者の相談を実施するとともに、緊急避難が必要な場合は、一時保護及び自立支援を行う。	①児童虐待対策として、要保護児童対策地域協議会を開催した。 ・代表者会議 2回 ・実務者会議 8回 ・個別ケース検討会議 262回 ・児童虐待相談件数 372件 ・家庭訪問件数 735件 ②DV対策として、DV被害者の相談を実施した。 ・DV相談件数 189件	42,966	41,279	児童虐待等防止のための周知啓発	回	2	6	100.0	2	14	100.0	家庭相談課
								児童相談システムの導入状況	—	業者選定・構築・運用開始	業者選定・構築・運用開始	100.0	運用・保守	運用・保守	100.0	
10	④	平和都市推進事業	「国際平和と核兵器廃絶を求める都市宣言あつぎ」を広く市民に周知し、平和への理解を深め、平和意識の普及・啓発を図る。	平和について考える「平和パネル展」や「ピースリングバスツアー」等を実施する。	市民の皆様が平和への思いを綴った絵やメッセージを掲載したパネルを、15地区の公民館及びあつぎロードギャラリーを巡回し展示する「ピースメッセージ展示公民館リレー」、平和のための展示会、平和について学ぶ映画の上映、あつぎキッズゲルニカプロジェクトを実施した。	545	536	平和推進事業に参加したことにより、平和への意識が向上した人の割合	%	95.0	0	0.0	95.0	95.0	100.0	福祉総務課

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）

3-1 学校教育の充実

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	小・中学校ICT化推進事業	情報化の進展による社会環境の変化に対応するため、児童・生徒が主体的にICT（情報通信技術）を活用できるよう環境整備を行うことにより、学習意欲の向上や学力の育成に資する。	指導者用デジタル教材及び学習支援システム（eライブラリ）の利用契約を行う。 また、児童・生徒及び教職員がICTを効果的に活用するための環境整備を行う。	視覚的に分かりやすい指導を行うため、小学校全学年に国語及び算数、中学校の全学年に英語の指導用デジタル教材を導入した。	7,753	5,458	eライブラリアドバンスの1か月当たりの平均利用回数（校内学習）	回/月	4,725	40,416	100.0	—	—	—	教育総務課
								授業でGIGAスクール端末を週に3回以上利用する教員の割合	%	—	—	—	40.0	42.0	100.0	
2	①	小学校児童支援推進事業	不登校やいじめ、問題行動などに対してきめ細かな対応ができるよう、児童支援体制の確立を図る。	児童指導担当教員等が「チーム支援」の核となり、不登校やいじめ、問題行動等を未然に防止し、早期発見することができるよう、授業を受け持つ非常勤講師を小学校に派遣する。	不登校やいじめ、問題行動などに対してきめ細かな対応ができるように、小学校に非常勤講師を派遣した。 ・派遣者数 19人	34,019	36,646	「児童の学習意欲が向上した」と感じる学校の割合	%	92.0	97.5	100.0	92.0	92.6	100.0	教職員課
								「児童の生活態度が向上した」と感じる学校の割合	%	98.5	96.4	97.9	98.5	100.0	100.0	
3	①	中学校少人数学級実施事業	生徒が落ち着いた学校生活を送ることができるよう、学校の実態に応じて35人以下の学級編制を行うことにより、学力の向上や問題行動と不登校の減少を図る。	いわゆる中1ギャップの未然防止のため、また、学校の実態に応じて少人数の学級編制を行い、生徒一人一人に対してきめ細かな指導を行うことができるよう、非常勤講師を派遣する。	生徒一人一人に対してきめ細かな指導を行うことができるように、中学校に非常勤講師を派遣した。 ・派遣者数 3人	9,270	6,860	「生徒の学習意欲が向上した」と感じる学校の割合	%	92.0	98.1	100.0	92.0	98.2	100.0	教職員課
								「生徒の生活態度が向上した」と感じる学校の割合	%	98.5	100.0	100.0	98.5	98.6	100.0	
4	①	小・中学校保護者負担軽減事業	教育に係る保護者の経済的負担の軽減を図る。	図工科、音楽科、美術科、技術・家庭科、理科、生活科を中心とした実習材料及びクラブ活動に係る消耗品・備品、部活動に係る備品、学級活動費の一部を公費で負担する。	保護者の経済的負担を軽減するため、教育活動に必要な教材教具に係る経費の一部を公費で負担した。 【公費負担率】 ・小学校 14.2% ・中学校 20.9%	43,183	43,042	保護者負担軽減割合	%	18.0	18.4	100.0	18.0	17.6	97.8	学務課
5	①	SEL教育基金事業	科学への興味・関心を高め、理科好きな児童・生徒の育成を図る。	「厚木市SEL教育基金」を活用し、こども科学賞及び企業・大学と連携したおもしろ理科教室等を実施する。	①こども科学賞の作品展示及び授賞式を実施した。 ②市立小学校において、「おもしろ理科教室」を大学及び企業の協力を得て実施した。 ・実施回数 27回 ・協力大学数 3校 ・協力企業数 6社 ③SEL会社見学を実施した。 ・参加者数 市立中学生 20人	1,436	1,205	こども科学賞展示会の満足度	%	100.0	99.3	99.3	100.0	99.2	99.2	教育指導課

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
6	①	英語教育推進事業	英語教育を通して、言語や文化の多様性への理解を深め、国際社会に役立つコミュニケーション能力の育成を図る。	日頃の授業を通して、児童・生徒の英語に対する興味、関心を育てる。 また、市立全小・中学校に外国語指導助手(ALT)を配置し、英語によるコミュニケーション活動を充実させるとともに、他国の文化を学ぶ機会とする。 さらに、ニュージーランドや海外の友好都市等の児童・生徒・教員及び学校間との交流を活性化し、国際理解の促進を図る。	①市立全小・中学校に、英語を母語とする、または、それと同等の英語力をもつ外国語指導助手を配置した。 【配置人数】12人 【配置日数】 ・小学校 1,553日 ・中学校 344日 ②市立小学校においてニュージーランドの学校とのオンライン交流を実施した。 【期間】9月～3月 【実施回数】小学校7校、18学級で実施(全て6年生)	56,905	51,101	「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答えた児童・生徒の割合	%	90.0	91.7	100.0	90.0	95.1	100.0	教育指導課
								「ALTとの授業は楽しい」と答えた児童・生徒の割合	%	80.0	93.3	100.0	80.0	95.2	100.0	
								「英語でコミュニケーションをとるのは楽しい」と答えた児童の割合	%	95.0	79.6	83.8	95.0	73.7	77.6	
7	①	小中一貫教育推進事業	小・中学校9年間を見通した教育課程編成及び指導方法の工夫改善の在り方の研究を通して、学力向上に向けた取組を推進する。	中学校区において、小・中学校間の効果的なカリキュラム編成等についての実践研究や学力向上につながる研修を実施する。 また、児童の中学校に対する不安を和らげるために行う教員の小・中学校での授業の兼務を円滑に行うため、中学校に非常勤講師を派遣する。	①小・中学校間の円滑な接続及び児童・生徒の学力向上に向け、市立全小・中学校を対象に、同一中学校区にある小・中学校を研究グループとして、研究を行った。 ②中学校教員の小・中学校での授業の兼務を円滑に行うため、中学校に非常勤講師を配置した。 【配置人数】2人	4,849	4,423	「児童の中学校に対する不安を和らげることができた」という学校の割合	%	85.0	83.3	98.0	85.0	94.4	100.0	教育指導課
								全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との比較ポイントの伸び	ポイント	2.5	2.8	100.0	2.5	2.4	96.0	
8	①	教育研修・活動支援事業	児童・生徒の学習活動による特色ある学校づくりの推進及び教職員の教育活動や教育の向上を目指す。	「確かな学力」の確立や豊かな心・健やかな体の育成、魅力ある学校づくりの推進などに係る重要課題や新たな課題等を解決するための事業及び特色ある学校づくりや教育の資質向上に資する研究活動に対し、交付金を交付する。 また、カーボンニュートラルに関する取組を実施するに当たり、基礎的な事項を学ぶ機会を設け、意識付けを図る。	より良い教育活動の実践や特色ある学校づくりを推進するための必要経費や研究活動費に対し、市立全小・中学校に交付金を交付した。 また、市立小・中学校36校でカーボンニュートラルの講座を実施した。	36,459	36,164	地域人材や講師などが児童・生徒1人に対して関わる人数	人	2.7	1.1	40.7	2.8	1.3	46.4	教育指導課
9	①	学校給食施設整備事業	老朽化が進んでいる既存の共同調理場の建て替えを最優先に行うとともに、将来の児童・生徒数の減少を見据え、「厚木市学校給食施設の整備方針」に基づき、段階的に整備を進め、安心して安全な給食を提供する。	老朽化した学校給食センターを文部科学省の「学校給食衛生管理基準」に基づき建て替える。	6月施設整備完了、試運転等の準備期間を経て、9月に開設するとともに供用開始した。	2,727,163	2,736,427	(仮称)厚木市学校給食センター整備の進捗状況	—	設計・建設	設計・建設	100.0	竣工・開設	竣工・開設	100.0	学校給食課
10	①	オリンピック・パラリンピック体験支援事業	オリンピック・パラリンピック教育をより充実させる観点から、市立小・中学生に東京オリンピック・パラリンピック競技大会を観戦する機会を設ける。	組織委員会より、県を通じて学校連携観戦チケットを購入し、学校単位で参加希望の児童・生徒にチケットを配布する。	令和3年度事業完了	0	0	チケット申込率	%	100.0	94.0	94.0	—	—	—	教育指導課

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
11	②	学力ステップアップ推進事業	教員がより充実した教科指導に当たることができるよう支援することにより、児童・生徒一人一人へのきめ細かい学習指導を実施し、「確かな学力」の向上を図る。	市立全小・中学校に学力ステップアップ支援員を配置し、児童・生徒の学習活動の支援を行う。	充実した教育活動を推進するため、支援員を配置して学習支援を行った。 【配置人数】 ・小学校 42人(延べ人数43人) ・中学校 30人	73,309	69,541	「学力ステップアップ支援員との協働により、基礎的・基本的な学習の定着や学力向上につながるような授業展開ができた」と思う教員の割合	%	90.0	98.9	100.0	90.0	93.8	100.0	教職員課
								「先生と支援員がいることで、学習が分かりやすく、意欲的に取り組める」と思う児童・生徒の割合	%	90.0	95.3	100.0	90.0	93.4	100.0	
12	②	教育調査研究事業	教育現場における様々な課題及び新たな教育の動向を把握するとともに、望ましい教育の在り方について追求し、具体的な方策を提起する。	分野別・テーマ別に設置した調査研究部会を月1回程度開催し、教育に関する調査研究を行う。 また、研究成果の刊行及び児童・生徒向け学習教材の作成・提供を行うとともに、教育に関する情報を収集し、データベース化する。	①教育調査研究部会(3部会)を開催した。 ②各種教育資料や小学校及び中学校社会科副読本の発行等を行った。 【発行部数】(令和4年度) ・小学校社会科副読本 2,000部 ・中学校社会科副読本 2,100部 ・小学校学習用地図 2,000部 ・中学校学習用地形図 2,100部 ・研究紀要第101、102集 各850部 ・教育実践記録集第49集 270部	3,846	3,553	研究成果や教育情報の実用度	%	95.0	87.6	92.2	95.0	95.6	100.0	教育研究所
13	②	先生のための研修事業	各種研修講座や教育相談を通して、教職員の指導力や実践意欲の向上を図る。	教育に関する国や県の動向及び今日的課題を踏まえた希望制研修や各学校の担当者等の専門性の向上を図るための指定研修、初任者研修及び教育研究発表会・教育講演会を実施し、教職員研修の充実に努める。	教育研究発表会・教育講演会1回、指定研修5講座、寺子屋講座(希望制研修)23講座、初任者研修5回、新規臨任的任用職員(教員)研修2回、計36回の講座を実施し、教職員の指導力向上を支援した。	1,100	1,025	受講内容を実践に役立てることができる教職員の割合	%	100.0	99.4	99.4	100.0	99.2	99.2	教育研究所
14	③	小中学校学校施設最適化推進事業	市立小・中学校は施設の老朽化が進んでおり、今後、「厚木市公共施設最適化基本計画」における目標耐用年数を迎える校舎があることから、将来にわたって児童・生徒の学校生活における安全を確保するとともに、これからの教育活動に対応できる教育環境を整えるため、必要となる施設整備を行う。	市立小・中学校の学校施設整備の在り方や整備手法等を検討し、学校ごとに整備計画を策定した上で整備を実施する。	依知南小学校他1校学校施設整備基本計画策定支援及び民間活力導入可能性調査業務委託を行った。	15,000	13,750	依知南小学校整備の進捗状況	—	整備手法等検討	整備手法等の検討、前提条件の整理等	100.0	整備基本計画策定	整備基本計画策定	100.0	教育施設課
								緑ヶ丘小学校整備の進捗状況	—	整備手法等検討	整備手法等の検討、前提条件の整理等	100.0	整備基本計画策定	整備基本計画策定	100.0	
								北小学校整備の進捗状況	—	—	—	—	整備手法等検討	整備手法等検討	100.0	

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
15	③	校舎・体育館改修事業	「厚木市公共建築物の長期維持管理計画」基本方針に基づき、施設の長寿命化を図り、安心・安全で快適な教育環境を確保する。	校舎・体育館の外壁、屋上、給水設備等の実施設計及び改修工事を実施する。	①小学校外壁・屋上改修工事 1校 (毛利台小) ②中学校外壁・屋上改修工事 1校 (睦合中) ③小学校受変電設備改修工事 1校 (南毛利小) ④中学校受変電設備改修工事 1校 (厚木中) ※上記2件の受変電設備改修工事は、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、受変電設備の納期が長期化し、年度内に工事を完成することが困難であることから、繰越明許設定した上で、工事期限を令和5年10月末に契約変更した。 ⑤小学校外壁・屋上改修設計委託 1校 (愛甲小) ⑥中学校外壁・屋上改修設計委託 1校 (藤塚中) ⑦小学校受変電設備改修設計委託 1校 (愛甲小)	204,950	365,758	外壁改修校数	校	2	0	0.0	2	2	100.0	教育施設課
16	③	校庭整備事業	安心・安全で快適な屋外教育環境を確保する。	グラウンド改修工事並びに次年度の工事に向けた測量及び実施設計を行う。	①中学校グラウンド改修工事 1校 (厚木中) ②小学校グラウンド改修測量委託 1校 (愛甲小) ③小学校グラウンド改修実施設計委託 1校 (愛甲小)	9,438	127,660	校庭改修校数	校	1	1	100.0	1	1	100.0	教育施設課
17	③	特別教室冷暖房設備設置事業	安心・安全で快適な教育環境の確保を図るとともに、災害時の指定避難所としての防災機能強化を図る。	効率的に特別教室への冷暖房設備の設置を進める。	特別教室等に冷暖房を設置した。 8校 (三田小、清水小、妻田小、毛利台小、 鷹尾小、上荻野小、依知小、上依知小)	7,290	6,149	設置校数	校	—	—	—	8	8	100.0	教育施設課
18	③	小中学校適正規模等推進事業	市立小・中学校の適正規模・適正配置を推進することにより、市立小・中学校における教育の公平性の確保や教育水準の維持向上を図る。	市立小・中学校の適正規模・適正配置に係る市の考え方や方向性を「厚木市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」として定める。 また、基本方針策定後、各地域等における適正規模・適正配置を推進するため、通学区域の再編成を含めた学校規模等適正化の取組を進める。	「厚木市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」に基づき、学校の統廃合を含めた方策を検討する学校・地域について、児童・生徒の保護者や地域の皆様を対象に10月～11月に掛けて説明会を実施し、その後、令和5年1月～2月に掛けてアンケート調査を実施した。 【説明会】 11校で開催。計536人参加 【アンケート調査】 7,360人に送付し、2,774人から回答	5,883	1,460	「厚木市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」の策定	—	策定	策定	100.0	—	—	—	教育総務課
19	③	児童・生徒登下校等安全推進事業	児童・生徒の登下校時における安全の確保を図る。	学校と地域が連携し、児童・生徒が安心して登下校できるように、防犯ブザーの配布及び学童通学誘導員の配置等を行うとともに、交通関係部署と連携し、安全教室などへの参加を促進する。	①市立各小学校新1年生及び市立各中学校希望者用に防犯ブザーの購入、配布を行った。 ②通学路の安全確保のため、学童通学誘導員の配置等を行った。	7,681	7,412	児童の防犯ブザー携帯率	%	95.0	88.3	92.9	95.0	89.6	94.3	学務課

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課	
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)		
20	③	インターナショナルセーフスクール推進事業	インターナショナルセーフスクールの考え方や手法を用い、児童・生徒がより安心・安全に過ごせる学校づくりを目指す。	インターナショナルセーフスクール認証校である清水小学校、妻田小学校及び睦合東中学校における取組を支援する。	①清水小、妻田小、睦合東中学校それぞれにおいて、現地審査を現地及びオンラインのハイブリット形式で実施した。 ②3校合同による認証式をあつぎ市民交流プラザにて実施した。	3,092	2,337	インターナショナルセーフスクール認証取得回数(累計)	回	清水小 4 妻田小 1 睦合東中 2	清水小 4 妻田小 1 睦合東中 2	100.0	清水小 5 妻田小 2 睦合東中 3	清水小 5 妻田小 2 睦合東中 3	100.0	教育指導課	
21	③	小中学校プール施設最適化推進事業	小・中学校プール施設の老朽化に対応しながら、児童・生徒により安全で質の高い水泳指導を提供するため、プール施設の最適化の取組を進める。	水泳指導や部活動での使用状況、夏季期間のプール開放での利用状況などのソフト面、施設の老朽化などのハード面の現状と課題を把握し、今後の水泳指導と学校プールの方向性を整理した上で、プール施設最適化の取組を進める。	モデル校(小学校2校)による屋内市民プール等の活用及び水泳指導・監視の一部委託を実施したほか、水泳授業の継続的な実施を前提とした学校プールの再編方針や実現可能性の検証等を行う調査委託を実施した。	20,593	11,371	水泳指導とプール施設の最適化の方向性の検討	-	-	-	-	モデル校での実証・委託調査の実施	モデル校での実証・委託調査の実施	100.0	教育総務課	
22	③	小・中学校LED化推進事業	2050年カーボンニュートラルの実現に向け、市立小・中学校におけるCO2排出量の削減を図るとともに、安心・安全で快適な教育環境を確保する。	厚木市地球温暖化対策実行計画に基づく取組の一環として、学校施設における大きなエネルギー負荷となっている照明器具を高効率なLED器具に更新することで、施設の省エネルギー化(CO2排出量削減)を図るとともに、児童・生徒が安心して安全に学校生活を送ることができる快適な教育環境を確保する。	①小学校LED照明改修修繕 1校(戸田小) ②中学校LED照明改修修繕 1校(睦合東中)	111,100	60,694	LED器具更新校数 ※カッコ内は累計総数	校	-	-	-	2 (2)	2 (2)	100.0	教育施設課	
23	③	小学校通学路安全点検ウェアラブルカメラ導入事業	通学路における事故を未然に防ぐため、登下校時に児童のランドセルなどに装着できるウェアラブルカメラを導入し、児童の目線で見えなかった場所などを点検することで、教育委員会、警察及び道路管理者等の関係部署と情報共有を図り、各種交通安全施策に役立てる。	市立小学校に登下校時の児童が装着できるウェアラブルカメラを導入し、撮影された映像をもとに、学校現場における児童への安全指導に活用できるとともに、通学路安全対策協議会で関係部署と共有し、通学路の安全対策に役立てる。市立小学校23校に各校2台導入する。	市立小学校23校に2台ずつウェアラブルカメラを導入し、登下校時の児童のランドセルに装着して児童目線で通学路の撮影をした。 撮影した映像は、学校現場において児童への安全指導に活用するとともに、通学路の安全対策協議会において関係部署等と共有して改善を図った。	2,530	1,524	ウェアラブルカメラの導入	-	-	-	-	導入	導入	100.0	学務課	
24	④	就学支援事業	経済的な理由により就学が困難な児童・生徒及び特別支援学級等に就学する児童・生徒の教育の機会均等を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減する。	認定された児童・生徒の保護者に対し、学用品などの経費の一部を支給する。	経済的な理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学用品などの経費の一部を支給した。 ・就学援助費支給者数 2,839人 ・特別支援教育就学奨励費支給者数 391人	166,076	125,090	就学援助者の就学率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	学務課	
								特別支援学級等援助者の就学率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
25	④	外国籍児童・生徒等支援事業	日本語の理解が不十分な外国につながる児童・生徒が、安心して日本で生活できるよう、教育的支援の充実を図る。	該当児童・生徒に対して、日本語指導協力を派遣し、母語による言語的支援や、日本で生活するために必要な最低限の日本語の習得を目指すとともに、国際教室運営の充実を図る。 日本語指導教室設置校に支援員を派遣し、該当児童・生徒の学習支援、日本語指導等を行う。	①国際教室を開催した。 ・小学校13校 218人 ・中学校6校 67人 計286人 ②日本語指導協力者(14言語 35人) 日本語指導を必要とした児童・生徒及び日本語指導協力者の支援を受けた児童・生徒数 ・必要人数 363人 ・申請人数 262人 ・派遣数 261人 ③日本語指導教室(小学校6校 中学校1校)を開催した。 ・通級人数 69人 ・支援員 13人 ・開催回数 141回	20,225	19,922	日本語指導が必要な児童・生徒支援のための人材派遣の割合	%	100.0	96.1	96.1	100.0	99.6	99.6	教育指導課	
								日本語指導教室の支援体制の充実度	%	100.0	94.4	94.4	100.0	85.7	85.7		

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
26	④	学校支援プロジェクト推進事業	いじめや暴力行為等の問題行動及び学校を取り巻く課題に適切に対応するため、プロジェクトチームを組織し、学校への効果的かつ機能的な支援の充実を図る。	児童・生徒の問題行動に対し、関係機関と連携してプロジェクトチームを組織し、各機関及び学校の役割とその連携について確認し、指導・実践へとつなげる。 また、定期的な学校訪問により必要な情報を収集し、問題行動の未然防止の観点から、管理職や児童・生徒指導担当教員に対して組織的かつ効果的な児童・生徒指導について指導・助言を行う。	①児童・生徒の問題行動を解決するため、市立小・中学校への定期訪問を行った。 【訪問回数】 ・小学校 74回 ・中学校 37回 ②プロジェクトチームによる会議を開催した。 【開催回数】 ・小学校 1校 3回 ・中学校 1校 1回	3,113	2,993	プロジェクトチームにより問題行動等が解消・改善した割合	%	90.0	60.0	66.7	90.0	50.0	55.6	教育指導課
								定期的な学校訪問が、問題行動の未然防止に向けた児童・生徒指導の充実に効果があつたと評価する学校の割合	%	90.0	97.2	100.0	90.0	97.2	100.0	
27	④	特別支援教育推進事業	特別な支援を必要とする児童・生徒に対する総合的な支援体制を整備し、誰もが安心して自分の可能性や個性を伸ばせる教育の充実を図る。	障がいのある子どもが適切な教育の場において、ニーズに応じた教育を受けることができるよう、適切な就学相談及び就学指導を行うとともに、各学校の支援体制の充実に向けた指導・助言を行う。 また、小・中学校に特別支援教育介助員等を配置し、支援が必要な児童・生徒に対して総合的な支援を行う。 さらに、校内の支援体制を整備し、インクルーシブ教育を推進する。	①特別な支援を必要とする子どもへの就学相談を開催した。 ・開催回数 7回 ②適切な就学相談・就学指導を行うための教育支援委員会を開催した。 ・開催回数 5回 ③特別支援学級の指導や、校内支援体制の充実のために、指導・助言を行う学校教育指導員を派遣した。 ・派遣回数 72回 ④特別支援教育介助員を市立小・中学校に配置した。 ・配置校数 32校 ・配置人数 156人(延べ) ⑤インクルーシブ教育を推進するため、モデル校ヘリソールーム支援員を派遣した。 ・派遣回数 小学校 59回 中学校 39回	122,264	115,740	校内支援体制が整っている学校の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	教育指導課
								特別な支援を必要とする児童・生徒に対する特別支援教育介助員の配置の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
28	④	教育支援教室運営事業	教育支援教室に通う児童・生徒の自主性の育成及び人間関係の改善を図り、社会的自立を目指す。	不登校児童・生徒を対象に、教育支援教室において生活指導、学習指導及び集団体験指導等を組織的・計画的に行う。	①なかま教室を開設した。 ・開設日数 207日 ②なかまルームを開設した。 ・開設日数 206日	11,087	11,094	教育支援教室での指導により登校できるようになった、又は好ましい変化が見られるようになった通室生の割合	%	93.0	100.0	100.0	93.0	95.8	100.0	青少年教育相談センター

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
29	④	青少年教育相談事業	青少年が抱える課題に対し、相談を通して子どもの心に寄り添い、一人一人の自立を支援する。	学校生活等において悩みを抱える青少年やその保護者に対し、青少年心理相談員、家庭訪問相談員及び教育ネットワークコーディネーターが教育相談活動を行う。 また、市立全小・中学校に元気アップアシスタントを配置し、児童・生徒が気軽に話せる環境をつくとともに、個別支援を行う。	①青少年心理相談員、家庭訪問相談員、教育ネットワークコーディネーターによる教育相談を実施した。 ・来所面接 4,125件 (心理相談員：3,834 家庭訪問相談員：0 教育ネットワークコーディネーター：66 指導主事：225) ・家庭訪問相談 477件(家庭訪問相談員：134 教育ネットワークコーディネーター：343) ・電話相談 661件 (心理相談員：144 家庭訪問相談員：0 教育ネットワークコーディネーター：199 ケース以外：318) ・メール相談 8件 ・同行支援 18件 ・教育ネットワークコーディネーターによる間接的支援 745件 ②学校コンサルテーションを実施した。 ・実施ケース数 延べ129ケース ③小学校スクールカウンセラーを派遣した。 ・派遣回数 324回 ・相談件数 3,449件 ④小学校ネットワークコーディネーターを派遣した。 ・派遣回数 18回 ・相談件数 130件 ⑤市立小・中学校に元気アップアシスタントを配置した。 ・配置回数 3,375回	64,997	62,453	青少年心理相談員との教育相談を通して好ましい変化が見られるようになった割合	%	90.0	90.1	100.0	90.0	92.9	100.0	青少年教育相談センター
30	④	登校支援推進事業	児童・生徒の不登校を未然に防止するとともに、初期段階での支援を充実し、社会的自立に向けた取組を推進する。	児童・生徒の不登校の状態を改善させるため、学校教育指導員が計画的に学校を訪問し、不登校の状況を把握するとともに、課題解決に向けた指導・助言を行う。 また、児童・生徒やその保護者からの相談に対する教職員の対応の向上を図るため、不登校対策推進実践連絡会議や各種研修会を開催する。	①不登校対策推進連絡会議を開催した。 ・開催回数 2回 ②不登校対策推進実践連絡会議を開催した。 ・開催回数 2回 ③課題改善ケース研究会を開催した。 ・参加校数 18校 ④教育相談コーディネーター連絡会議を開催した。 ・開催回数 3回 ⑤児童・生徒支援推進アドバイザーを派遣した。 ・市立小・中学校で実施する事例研究会や研修会へ派遣 30回 ・教育委員会で開催する不登校対策に関する会議・研修等への招へい 6回 ⑥学校教育指導員による学校計画訪問を実施した。 ・実施回数 360回、ケース会議等への参加 11回	10,002	9,386	初期段階の不登校の児童・生徒が登校支援によって改善した割合	%	90.0	82.3	91.4	90.0	84.2	93.6	青少年教育相談センター

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）

3-2 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	公民館活動事業	「社会教育法」第20条・第22条に基づき、教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図り、生活文化の振興及び社会福祉の増進に寄与する。 また、地域の実情に応じた学習機会の提供や地域の人材を活用した学習支援体制を整え、地域の教育力向上を図る。	各公民館において、各種学級・講座の開設、文化振興事業、公民館まつり事業、コミュニティ事業及びスポーツ・レクリエーション推進事業を実施する。	各公民館において、社会教育法第20条及び第22条の規定に基づく各種学級・講座を開設するとともに、文化振興事業、公民館まつり事業、コミュニティ事業、スポーツ及びレクリエーション推進事業を実施した。	24,049	21,364	学級・講座の満足度	%	70.6	74.7	100.0	71.1	69.7	98.0	社会教育課
2	①	公民館整備事業	学習ニーズの多様化への対応及び地域コミュニティの活性化のため、生涯学習や地域コミュニティ活動の拠点施設として、公民館の機能の充実を図る。	厚木北公民館は、市内公民館で最も古く、前面道路が都市計画道路として拡幅される予定であるため、隣接地を取得し、新築整備する。 また、睦合南公民館は昭和56（1981）年3月に建設され、市内公民館では厚木北公民館に次いで古い公民館であり、エレベーターの設置がなく、バリアフリー上の支障が生じている状況であり、地域コミュニティづくりの核となるように再整備の方向性を検討する。	厚木北公民館の新築工事に向けて基本・実施設計を行った。また、睦合南公民館の整備に向けて検討・協議を行った。	67,705	63,580	厚木北公民館整備の進捗状況	—	事務所移転解体工事	事務所移転解体工事	100.0	基本実施設計	基本実施設計	100.0	社会教育課
								睦合南公民館整備の進捗状況	—	検討・協議	検討・協議	100.0	検討・協議	検討・協議	100.0	
3	②	家庭教育支援事業	保護者が教育の原点である家庭教育の大切さを再認識し、安心して子育てできるよう、家庭、地域及び学校の連携により、家庭教育の充実を図る。	幼稚園保護者会や小・中学校PTA等の家庭教育学級の開設に対し、交付金を交付する。 また、家庭教育に必要な情報を提供する講演会や「早寝早起き朝ごはん」等の基本的な生活習慣を身に付けるための啓発活動を実施するほか、地域自らが主体となって地域の特性をいかしながら地域ぐるみで家庭教育を支援する取組を実施する。	①家庭教育学級の開設に対し交付金を交付した。 【交付団体数】 ・私立保育園 1団体 ・私立幼稚園 9団体 ・市立小・中学校 21団体 ・私立初等学校 1団体 ②家庭教育情報提供講演会を開催した。 ・参加者数 329人 ③「早寝早起き朝ごはん」を啓発するため、公民館だより及び広報あつぎなどに啓発記事を掲載した。	4,370	2,357	家庭教育支援事業に参加した保護者の家庭教育への有効度	%	97.4	96.8	99.4	97.5	97.1	99.6	社会教育課
4	②	地域学校協働活動事業	地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、各種団体等の幅広い地域住民等の参画を得ることにより、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動のそれぞれの役割を機能させ、「学校を核とした地域づくり」を進める。	多くの幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制を確立させる。 また、地域と学校との連絡調整、情報の共有、地域学校協働活動の企画、調整、運営、地域住民への呼び掛けなどの役割を担う地域学校協働活動推進員を委嘱する。	2地区内5校に加え、更に2地区内4校に各1名の推進員を委嘱した。 ・依知北地区（依知北公民館） 上依知小学校、北小学校、藤塚中学校 ・南毛利地区の一部（南毛利公民館） 毛利台小学校 ※社会教育委員会議運営費から委嘱に係る費用を支出	592	388	地域学校協働活動推進員を委嘱した地区数	地区	2	2	100.0	4	4	100.0	社会教育課

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
5	③	あつぎ協働大学開設事業	大学や企業との協働により、生涯学習の推進を図る。	市内5大学（神奈川工科大学、東京工芸大学、松蔭大学、湘北短期大学、東京農業大学）及び市内企業との協働・連携により、大学の特色をいかした講座及び企業の技術や取組を学ぶ講座等を実施する。	①教養科目（オンライン講座）を5月～12月に開催した。 ・5大学×5講座 全25講座 受講者数518人（延べ人数） ②特別講座（対面講座）を開催した。 ・羊の毛はなぜモコモコなのか？（東京農業大学）7月開催 受講者数11人 ・手の技を使って絵本を作ろう！（松蔭大学）8月開催 受講者数5人 ・日本の伝統芸能・講談から学ぶ歴史と文化（湘北短期大学）1月開催 受講者数19人 ・自分に似合う色を探しましょう（湘北短期大学）2月開催 受講者数15人 ・ウマとモルモットと友達になろう（東京農業大学）2月2回開催 受講者数12人 ③カーボンニュートラル講座（オンライン講座）を開催した。 ・天気の達人と考える“カーボンニュートラル”（YouTubeによるオンライン配信）9/20～9/30配信 視聴回数412回 ・SDGs フェスティバル（9/25開催）会場内において動画公開	2,777	1,426	あつぎ協働大学受講者のうち、講義全体の評価として「とても満足」、「満足」と答えた人の割合	%	94.0	89.4	95.1	94.5	82.1	86.9	文化生涯学習課
6	③	生涯学習振興事業	市民の誰もが生涯学習活動を通じて自己実現をするために、様々な学習機会を提供し、生涯学習活動を充実させる。	市民が講師となって様々な講座を自主企画、自主運営する生涯学習スタイルの「輝き厚木塾」、市内高校と連携しパソコン教室など各高校での学び直しができる「リカレント学習事業」、市職員が研修会や学習の場などに出向いて行政の取組などを説明する「生涯学習出前講座」を実施し、生涯学習活動の充実を図る。	①輝き厚木塾を開催した。 ・前期講座（5月～8月開催）77講座 受講者数 664人 ・後期講座（10月～1月開催）79講座 受講者数 638人 ②リカレント学習事業を実施した。 ・厚木東高校:いけばな講座 3月開催 受講者数 9人 ③出前講座（4月～3月開催）を実施した。 ・申請時に感染対策を確認した上で講師を派遣した。 ・講座実施数 65件 ・受講者数 1,532人	3,254	3,199	輝き厚木塾及びリカレント学習講座の受講者数	人	1,900	549	28.9	1,950	1,311	67.2	文化生涯学習課
7	③	アミューあつぎ改修事業（中長期保全）	子どもから高齢者まであらゆる世代が交流できる大規模な官民複合施設として、安全で安心できるサービスを提供する。	中長期修繕計画に基づき、老朽化した施設等の計画的な修繕を実施し、施設の長寿命化を図る。	中長期修繕計画に基づき、老朽化した施設の修繕を実施した。（電気設備、空調換気設備、昇降機設備、給排水設備、防災保全設備）	194,986	167,838	修繕箇所	か所	5	5	100.0	5	5	100.0	文化生涯学習課
8	③	（仮称）未来館整備事業	未来を担う子どもたちに科学を始めとした学びや体験の機会を提供し、創造性豊かな人材の育成を図る。	誰もが気軽に立ち寄ることができ、交流の場としての機能を備えた施設を目指すとともに、現在の子ども科学館の機能向上を図り、科学を始めとした学びや体験機能が充実した（仮称）未来館を整備する。	①（仮称）未来館機能の内装・展示基本設計を実施した。 ②複合施設交流機能基本設計に係るアドバイザー業務委託において、図書館、市庁舎との連携機能について検討し、建物本体の基本設計に反映させた。	30,277	29,459	（仮称）未来館整備に向けた進捗状況	—	基本設計業者選定	基本設計業者選定	100.0	基本設計	基本設計	100.0	青少年課
9	③	図書館整備事業	「中心市街地の公共施設再配置計画」に基づき、中央図書館を中町第2-2地区に新築移転し、魅力ある図書館としてリニューアルするとともに、市内全域における図書館サービスの充実を図る。	利便性・経済性を考慮した市民に愛される新中央図書館を整備する。	複合施設交流機能基本設計に係るアドバイザー業務委託において、図書館の書架配架計画や各施設の連携サービス導入の検討、ICタグ調達検討等を実施した。	5,440	8,704	新たな図書館整備に向けた進捗状況	—	基本設計	基本設計	100.0	実施設計	実施設計準備	20.0	中央図書館
					ICタグ導入に向けた進捗状況			—	調達検討	調達検討	100.0	業者選定	調達検討	20.0		

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度担当課
						当初予算額(千円)	決算額(千円)			令和3年度目標値	令和3年度実績値	令和3年度達成率(%)	令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度達成率(%)	
10	③	電子図書館事業	読書活動推進のため、スマートフォン等でいつでもどこからでも検索・閲覧・貸出・返却が可能な電子図書館を運営する。 非来館サービスを提供することにより、身体的要因等から図書館利用が困難な利用者へのサービス向上や、新型コロナウイルス感染拡大防止を図る。	電子図書館システムを導入し、デジタルデータで刊行されている出版物について、著作権者の利用許諾を得た上で、スマートフォン等で検索・貸出・返却・閲覧を可能とする。 また、郷土・行政資料等を電子アーカイブ化することにより、行政情報の発信及び提供の推進を図る。	いつでもどこでも、365日24時間、電子書籍の貸出、返却、閲覧が可能な電子図書館を運営し、読書活動の推進を図った。 また、PR活動や様々なテーマで特集をし、電子図書館の普及を図った。 ・タイトル数 10,290点 (R5.3.31現在)	6,600	6,599	電子書籍貸出者数	人	6,000	3,314	55.2	10,000	6,486	64.9	中央図書館
11	④	青少年自然文化体験研修事業	友好都市の子どもたちとの交流や学習を通して、相互理解と友情を深めるとともに、自然体験等の機会を提供することにより、子どもたちの視野を広げ、豊かな心の成長を育む。	小学生が友好都市である北海道網走市及び秋田県横手市を訪問し、自然・文化体験活動等を実施する。	横手市については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、事業を中止した。 また、網走市については、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、参加者の規模を縮小して実施した。参加した子どもたちの協調性や自主性を養うことができ、網走市の子どもたちと交流を深めることができた。	7,798	5,706	事業参加者の満足度	%	88.0	86.1	97.8	88.5	83.0	93.8	青少年課
12	④	青少年指導者育成事業	地域において心豊かな青少年を育成するため、青少年指導者の養成及び自主的な活動を支援する。	青少年指導者の資質向上のための研修会を実施するとともに、育成活動を支援する。 また、ジュニアリーダーが知識や技術を習得できる研修を実施する。	①青少年指導員と地域における育成活動の推進と資質向上のために研修会を開催した。 ・開催回数 2回 ②ジュニアリーダーが知識や技術を習得するとともに、子どもたちへの対応方法を学ぶ研修会を開催した。 ・開催回数 4回	5,156	4,864	研修会出席率	%	67.7	37.8	55.8	67.8	30.0	44.2	青少年課
13	④	青少年非行防止活動事業	地域、家庭、学校及び関係機関と協力し、青少年の非行防止を図る。	青少年非行の早期発見と未然防止のため、青少年相談員及び社会教育指導員等が市街地等を巡回し、怠学、喫煙、飲酒、不良交友などの不良行為について、積極的に声掛け指導を行う。 また、青少年の健全育成に向け、環境浄化活動及び啓発活動を実施する。	①街頭指導を実施した。 ・実施回数 460回 ・従事者数 1,014人 ・指導人数 300人 ②啓発活動を実施した。 ・心と街のクリーン作戦 啓発ポスター・動画の作成及び啓発物品・チラシの配布をした。	10,861	9,603	街頭指導において声を掛けた青少年の人数	人	6,800	8,649	100.0	6,800	7,353	100.0	青少年教育相談センター
								街頭指導従事者1人当たりの街頭指導における指導した青少年の人数	人	0.8	0.5	100.0	0.8	0.3	100.0	
14	④	児童館整備事業	児童の健康を増進し、情操を豊かにするための施設である児童館の適正配置及び計画的な建て替えを進め、利用者の安全性及び利便性の向上を図る。	子どもたちの居場所づくりの拡充を図るため、児童館の適正配置及び再整備を実施する。	①令和4年3月に供用開始をした厚木北児童館について、賃借料の支払い等を実施した。 ②三田児童館については、引き続き移転候補地の選定を行っている。 ③依知南小学校、緑ヶ丘小学校校舎の更新に伴う中依知、王子、緑ヶ丘児童館の複合化について整備方針を策定した。	0	0	厚木北児童館整備の進捗状況	—	建設工事・完成・供用開始	建設工事・完成・供用開始	100.0	—	—	—	青少年課
								三田児童館整備の進捗状況	—	建設予定地の決定	建設予定地の選定	100.0	基本方針の調整	基本方針の調整	100.0	

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）
3-3 文化芸術の振興

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	あつぎ市民芸術文化祭開催事業	文化芸術の発表及び鑑賞の機会を提供することにより、市民による多様な文化芸術活動を推進し、文化芸術の振興を図る。	市民文化祭（芸能音楽発表、文化作品展等）、市民芸術祭（市民参加型の舞台公演）、野外彫刻造形展（彫刻や造形作品の野外展示、体験教室等）、ミュージックフェスティバル（青少年を対象としたオーディションとコンサート）を開催する。	①市民文化祭を開催した。 ・参加者数 2,348人 ②野外彫刻造形展を開催した。 ・参加者数（作品出展者数） 305人 ③市民芸術祭を開催した。 ・参加者数（出演者数） 28人 ④あつぎミュージックフェスティバルを開催した。 ・オーディション参加者数 39人	6,009	6,004	文化芸術事業の参加者数	人	4,950	0	0.0	5,000	2,720	54.4	文化生涯学習課
2	①	文化会館リニューアル事業	建物や設備等の更新が必要となっている文化会館を今後も継続して利用するため、「厚木市公共建築物の長期維持管理計画」基本方針に基づき、建物の耐震化・長寿命化を図る改修を行う。	改修工事の実施に当たり、民間活力の導入による財政支出の縮減や平準化、改修実施後の効率的、効果的な施設運営を図るため、PFI（RO方式）により実施する。	総合評価一般競争入札により事業者選定を行うため、入札説明書、要求水準書等を作成し、入札公告により公表した。 また、事業者選定委員会を開催し、事業者からの提案を審査、最優秀提案者の選定を経て、事業契約を締結した。	14,469	14,441	リニューアル事業の進捗状況	—	実施方針公表	実施方針公表	100.0	事業者選定	事業者選定	100.0	文化生涯学習課
3	②	あつぎ郷土博物館活動推進事業	地域の歴史や風土、自然について学芸員が行っている研究や調査、展示会、講座などを市民に有用な情報として提供するとともに、その成果を後世まで郷土の文化として伝え残すことにより、市民にとって「郷土あつぎ」を構築、創造していくための一助とする。	歴史、民俗、自然に関する調査及び研究の結果、成果について、資料として後世に残すとともに、各種講座や展示会を通して市民に公開し、還元する。	①特別展示「有孔鍔付土器と人体装飾文の世界」を実施した。 ・7月23日～9月19日 5,806人 ②企画展示「バッターはねる、飛ぶだけじゃないバッタの魅力」を実施した。 ・10月8日～12月4日 3,817人 ③企画展示「人形とともにー相模人形芝居の50年ー」を実施した。 ・1月14日～3月5日 3,625人	2,085	2,012	あつぎ郷土博物館の入館者数	人	38,000	19,228	50.6	39,000	23,115	59.3	文化財保護課
4	②	郷土芸能事業	市内に伝わるかけがえのない伝統文化や伝統芸能を保存・伝承するとともに、後継者の育成を図る。	郷土芸能を児童・生徒を始めとする市民に広く周知するため、郷土芸能まつりや郷土芸能普及公演等、鑑賞の場を数多く提供するとともに、後継者育成のための体験講座や郷土芸能学校を開催する。	①第20回厚木市郷土芸能まつりを実施した。 ・鑑賞人数 308人 ②郷土芸能普及公演(小中学校、公民館等)を実施した。 ・鑑賞人数 1,667人 ③あつぎ郷土博物館公演を実施した。 ・鑑賞人数 33人 ④郷土芸能学校を開催した。 ・受講人数 69人 ⑤郷土芸能出前体験教室を開催した。 ・体験人数 815人 ⑥その他、各団体自主公演等を開催した。	3,709	3,023	普及公演鑑賞者数	人	8,650	3,105	35.9	8,650	5,172	59.8	文化財保護課
								体験講座参加者数	人	440	0	0.0	440	815	100.0	
								郷土芸能団体新規加入者数	人	20	4	20.0	20	21	100.0	

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
5	②	市史編さん事業	本市の歴史の変遷を解明するため、歴史資料等の系統的な調査・研究及び資料の収集・保存を行い、史実に基づいた市史等を発刊することにより、市民の郷土を愛する心を育む。	古文書等歴史資料の調査、収集、分類及び整理を行い、資料の目録作成、マイクロフィルム化を実施し、その成果に基づき、本市の歴史の変遷を後世に継承するため『厚木市史』を発刊するとともに、市民に広く周知するため、講演会等を開催する。	『厚木市史』の編集に係る調査・研究を行い、古代通史編を発行するとともに、古文書等歴史資料の調査・収集・分類・整理・保存や、廃棄公文書の収集・保存を行った。また、『市史たより』第27・28号を発行しましたが、市史の発刊が3月末になったこと、新型コロナウイルス感染対策等により歴史講座は開催できなかった。	14,864	12,867	『厚木市史』 発刊数 ※カッコ内は 総数	冊	1 (15)	0 (14)	0.0	1 (16)	1 (15)	100.0	文化財保 護課
								市史関係講座 参加者数	人	200	0	0.0	200	0	0.0	

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）
3-4 生涯スポーツの振興

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	市民スポーツ推進事業（生涯スポーツ）	スポーツ活動の普及により、健康・体力づくりの増進を図る。	誰でも気軽に参加でき、ニュースポーツを体験できる「スポーツなじみDAY」等を開催する。 また、（公財）厚木市スポーツ協会に補助金を交付し、スポーツ教室、スポーツ大会等を開催する。 さらに、日本体育大学との連携により、体力向上や健康増進に係る事業を実施する。	①スポーツなじみDAY 【参加者数】 ・スポーツなじみDAY 508人 ②（公財）厚木市スポーツ協会が行うスポーツ推進事業に対し、補助金を交付した。 ・競技別市民選手権大会 5,043人 ・スポーツ大会（8大会）3,953人 ・キッズスポーツチャレンジ 36人 ・スポーツチャレンジデー 340人 ・あつぎウォーク 291人 ・スポーツ教室等（37教室）1,272人 ・指導者養成支援事業 258人 ・指導者養成事業 943人 ・選手育成強化事業 1,151人 ・スポーツ人のつどい 231人 ③市民体力向上推進事業「ニュージーランド代表選手によるバスケットボールクリニック with 日体大」を開催した。 【参加者数】 59人 ④市民体力向上推進事業「アテネパラリンピック金メダリスト 高橋勇市選手小中学校巡回講演」を開催した。 【参加者数】 830人（6校8回）	14,988	14,300	スポーツ行事の参加者数	人	18,300	6,258	34.2	18,300	14,026	76.6	スポーツ推進課
2	①	社会体育指導者養成事業	地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の普及振興を図る。	地域のスポーツ・レクリエーションのリーダーであるスポーツ推進委員の研修会等を行う。	① スポーツ推進委員会議等を開催した。 ・開催回数 13回 ・参加者数 270人 ② セストシューター練習会を開催した。 ・開催回数 5回 ・参加者数 112人 ③ 各種研修会・大会へ参加した。 ・研修会・大会実施回数 7回 ・参加者数 167人 ④ 事業協力を行った。 ・事業回数 8回 ・参加者数 352人 ・スポーツなじみDAY 1回目 ・厚木市民体育祭 ・あつぎウォーク ・あつぎマラソン ・あつぎスポーツレクリエーションフェスティバル（スポーツなじみDAY 2回目） ・あつぎ駅伝競走大会 ・ちびっこマラソン・駅伝競走大会 ・スポーツなじみDAY 3回目	4,057	3,430	スポーツ指導者養成研修等参加者数	人	1,100	147	13.4	1,110	901	81.2	スポーツ推進課
3	②	競技力向上支援事業	国際大会や全国大会等への参加を支援することにより、競技力の向上を図る。	国際大会及び全国大会等に出場する市民に対し、奨励金を交付するとともに、競技団体が全国大会や県大会等に選手を派遣する際に実施する強化合宿及び強化練習会等に対し、交付金を交付する。	全国大会等出場者に対し、奨励金を交付した。 ・交付件数 197件（508人）	1,785	1,770	全国大会出場者数	人	500	305	61.0	500	508	100.0	スポーツ推進課
4	②	市民スポーツ推進事業（競技スポーツ）	トップアスリートの育成及び指導者の育成を支援することにより、競技力の向上を図る。	（公財）厚木市スポーツ協会が行うあつぎスポーツアカデミー事業に対し、補助金を交付する。	（公財）厚木市スポーツ協会が行う、あつぎスポーツアカデミー事業に対し補助金を交付した。 【参加者数】 ・スポーツアカデミー 688人	4,780	4,780	あつぎスポーツアカデミー参加者アンケートの総合的な満足度において「とても満足」及び「やや満足」と回答した人の割合	%	90.0	98.0	100.0	90.0	94.5	100.0	スポーツ推進課

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
5	③	運動公園長寿命化事業	市民が今後も安心・安全に運動公園施設を利用し続けていくことができるよう、計画的に改修を進めていく。	荻野運動公園の大規模施設（プール棟及び体育館棟）の長寿命化に向け、計画的に安全性、機能性に配慮しながら改修を行う。	①体育館外階段及び2階外広場のタイルの張替えを実施した。 ②体育館内の時計、テレビ受信設備等の交換を実施した。	36,000	35,936	プール棟及び体育館棟の修繕箇所数	か所	2	2	100.0	2	2	100.0	公園緑地課
6	③	グラウンド・ゴルフ場整備事業	子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめるグラウンド・ゴルフ場の整備を通じて、市民のスポーツ活動促進を始め、健康長寿社会や多世代交流の実現の一助とする。	睦合南地区ふれあい公園をグラウンド・ゴルフ場として再整備する。	①駐車場及び進入路用地買収を実施した。 ②グラウンド面及び駐車場整備工事を実施した。	60,000	116,946	グラウンド・ゴルフ場整備の進捗状況	—	グラウンド面整備、用地買収	進入路測量・実施設計委託 土地鑑定評価	40.0	進入路、駐車場整備	用地買収 グラウンド面・駐車場整備工事	90.0	スポーツ推進課
7	③	飯山グラウンド整備事業	スポーツ・レクリエーション活動の普及を促進するため、新たな市営体育施設として、飯山グラウンドを整備する。	既存のグラウンド、テニスコート、駐車場等施設を改修し、新たな市営体育施設として整備する。	①A面防球ネット等修繕をした。 ②伐根処理をした。	48,300	95,188	飯山グラウンド整備の進捗状況	—	付帯設備等修繕	付帯設備等修繕	70.0	付帯設備等修繕	付帯設備等修繕	100.0	スポーツ推進課

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）

4-1 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業	居住と生活利便施設をバス路線沿線に緩やかに誘導し、居住と生活利便施設の距離を短縮するとともに、バスの定時性、速達性を確保することにより、誰もが快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができる都市を目指す。	生活利便施設が不足している地域における生活利便施設の立地誘導、災害リスクの高いハザードエリアからの住宅の移転促進及び路線バスの利便性向上を図る。	①「厚木市生活利便施設立地促進事業補助金」の補助内容を拡充し、周知を図るとともに、スーパー1件及び診療所2件に対する交付決定を行った。 ②「厚木市居住誘導区域(がけ地近接等危険住宅)移転事業補助金」の補助金額を増額し、チラシの配布や広報紙への掲載等により周知を図った。 ③国道246号水引交差点付近におけるバス路線の交通混雑の解消に向けて、厚木高校付近から相模大橋付近までの区間において道路の整頓を図るため、交通管理者等との協議を行い、中央公園西交差点の信号現示の調整を実施した。 ④身近な移動手段として広く利用されている自転車の活用に関する総合的な計画を策定した。	46,543	11,823	危険住宅移転件数	件	1	0	0.0	1	0	0.0	都市計画課
								スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率	%	79.4	79.7	100.0	80.6	80.4	99.8	
								路線バス定時性確保対策	—	調査検討	調査検討	74.0	協議検討	協議検討	100.0	
2	②	街路整備事業	交通混雑の解消や安心・安全なみちづくりを進め、市民の快適な日常生活や効率的な経済活動を支える生活空間の向上を図る。	都市計画道路厚木環状3号線及び本厚木下津古久線等を整備する。	①都市計画道路厚木環状3号線において、13件の設計・測量等委託を実施するとともに、9件の整備工事を実施した。また、2件の継続工事の進捗を図った。 ②都市計画道路本厚木下津古久線において1件の委託を実施するとともに、3件の地盤改良工事及び1件の早期整備工事を実施した。 ③都市計画道路上今泉岡津古久線において1件の予備設計を実施した。	1,807,000	1,242,409	厚木環状3号線整備延長(L=1,700m) (2018-2023年度累計)	m	1,235	1,202	97.3	1,573	1,504	95.6	道路整備課
								本厚木下津古久線整備延長(L=1,700m) (2018-2024年度累計)	m	140	161	100.0	660	358	54.3	
3	②	街路用地取得事業	交通混雑の解消や安心・安全なみちづくりを進め、市民の快適な日常生活や効率的な経済活動を支える生活空間の向上を図ることができるよう、工事着手に向けた環境を整える。	都市計画道路の整備に必要な街路用地の取得及び支障物件の移転補償を行う。	酒井長谷線等都市計画道路の整備事業に必要な用地の取得及び支障物件の移転補償を行った。	316,221	270,193	都市計画道路の用地買収着手路線数	路線	3	3	100.0	3	3	100.0	道路整備課
4	②	幹線市道新設改良事業	地域の主要道路として、地域間の連続性、通行の円滑性及び安全性等の観点から、計画的に拡幅改良を実施し、地域交通環境の有効な改善を図る。	1・2級市道及びこれらに準ずる幹線道路（一般生活道路を除く。）の新設・改良を実施する。	①金田妻田線において1件の道路改良工事を実施した。 ②白根才戸線において1件の設計委託を実施した。	29,000	3,289	整備延長	m	105	31	29.5	145	85	58.6	道路整備課
5	②	交差点等改良事業	交通の円滑化及び交通混雑の緩和を図るとともに、市民生活の安全性と快適性の向上を図る。	交通支障となっている交差点等の改良を行う。	(仮称)戸田バス停北側交差点において改良工事を実施した。	35,000	13,792	整備箇所数	か所	2	2	100.0	2	1	50.0	道路整備課
6	②	生活道路整備事業	市民が安全で安心して快適な日常生活を営むことができるよう、狭い生活道路の整備を計画的に進めるとともに、地域間の主要交通及び幹線路線等の主要市道のネットワークを補完する路線の拡幅整備を推進する。	地元自治会からの生活道路整備要望を基に、生活道路としての市道（都市計画道路、1・2級市道及びこれらに準ずる幹線市道を除く。）の拡幅改良や舗装等を実施する。	21路線の工事（市道I-129号線ほか）及び20路線の委託（市道J-422・1070号線ほか）を実施した。	512,300	484,913	整備・委託（測量・設計）路線数	路線	35	40	100.0	35	41	100.0	道路整備課

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
7	②	厚木秦野道路用地取得事業 (用地国債)【公共用地取得事業特別会計】	国道246号のバイパスとして、東名高速道路、新東名高速道路及び圏央道と連結し、高速ネットワークへのアクセス向上や経済・社会活動を支える道路となる厚木秦野道路の早期整備を実現する。	厚木秦野道路の市内事業化区間において、平成27(2015)年度から国による事業用地取得が行われているが、国予算の制約という状況において、平成30(2018)年度から「用地国債先行取得制度」を活用して早期整備を図り、国の事業推進に協力する。	厚木秦野道路の建設事業を強力に促進するため、国の用地国債先行取得制度を活用し、道路整備に必要な用地を国に代わって先行取得した。 ・取得筆数及び面積 18筆 6,032.15㎡	500,400	478,278	用地取得執行率	%	100.0	91.3	91.3	100.0	95.6	95.6	道路管理課
8	②	中町第2-2地区周辺交通アクセス整備事業	中町第2-2地区の整備に伴い、歩行者、自動車等が安全かつ円滑に移動できる交通動線を確保する。	中町第2-2地区の整備に伴う新たな交通需要に対応するため、周辺アクセス道路の整備に向けた取組を行う。	市道A-358号線の測量委託及び設計委託及び複合施設周辺無電柱化整備検討委託を行った。	9,000	7,976	中町第2-2地区周辺アクセス道路の整備	—	測量・設計委託	測量・設計委託	100.0	測量・設計委託	測量・設計委託	100.0	道路整備課
9	②	道路整備用地取得事業	交通混雑の解消や安心・安全なみちづくりを進め、市民の快適な日常生活や効率的な経済活動を支える生活空間の向上を図ることができるよう、工事着手に向けた環境を整える。	幹線市道、1・2級市道の新設・拡幅などの道路改良事業に必要な道路用地の取得及び支障物件の移転補償を行う。 また、一般生活道路の新設・拡幅などの道路改良事業に必要な道路用地の取得及び支障物件の移転補償を行う。	1・2級市道及び一般生活道路の新設、拡幅等道路改良事業に必要な用地の取得及び支障物件の移転補償を行った。	455,024	267,227	生活道路用地取得着手路線数	路線	28	19	67.9	28	26	92.9	道路整備課
								幹線道路等用地買収着手路線数	路線	2	3	100.0	—	—	—	
10	②	歩道整備事業	1・2級市道の計画的な歩道整備を行うことにより、通学路や公共施設周辺における歩行者の通行の安全性の向上を図る。 特に、バリアフリーの視点から、安全かつ円滑な歩道空間を確保する。	1・2級市道及びこれらに準ずる幹線道路(一般生活道路を除く。)への歩道整備を行う。	※令和4年度から事業合併により通学路安全整備事業の一部となったため、歩道整備事業としての実績はなし。	0	0	整備延長	m	430	305	70.9	—	—	—	道路整備課
11	②	橋りょう架替事業	老朽化した橋りょうの架替えを行い、安全に通行できる道路機能の確保を図る。 また、河川改修計画に合わせ、橋りょうの架替整備を推進する。	老朽化等により架替えが必要と判断された橋りょうについて、橋りょう架替事業を実施する。	①川久保橋架替えに向けた用地交渉を行った。 ②榎学橋架替えに向けた測量及び予備設計を行った。	15,000	9,498	川久保橋架替整備に向けた進捗状況	—	用地交渉	用地交渉	100.0	用地交渉	用地交渉	100.0	道路整備課
								榎学橋架替整備に向けた進捗状況	—	—	—	—	測量・土地調査・予備設計	測量・予備設計	100.0	
12	②	通学路安全整備事業	通学路に指定されている市道について、歩道整備及び生活道路の拡幅等を行い、児童・生徒の安全確保を行うことで、交通事故の発生を未然に防ぐ道づくりを目指す。	通学路における児童・生徒の安全を確保するため、歩道整備、生活道路の拡幅及び道路環境の整備を実施する。	5箇所の工事(市道D-493号線ほか)及び10箇所の委託(市道愛甲高坪線ほか)を実施した。	239,200	207,324	工事及び委託(調査・測量・設計)を実施する箇所数	か所	—	—	—	10	15	100.0	道路整備課
13	②	通学路安全対策事業	近年、通学路で児童や生徒が巻き込まれる痛ましい事故が発生していることから、道路管理者として、通学路において、ガードレールなどの交通安全施設を設置し、歩行者の安全確保を図る。	道路管理者の視点で小中学校36校の実情を踏まえ交差点内のカラー化、路側グリーン化、横断防止柵・ガードレールの設置、街路灯の設置などの対策を行う。	道路管理者の視点及び通学路要道を踏まえ、小中学校36校の周辺を中心として、交差点カラー化、路側グリーン化、横断防止柵、車止め設置などの対策を行った。	130,000	129,737	交通安全施設を設置する箇所数	か所	—	—	—	144	183	100.0	道路維持課

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
14	③	地域公共交通対策事業	円滑に移動できる交通環境づくりを推進するため、路線バス等の公共交通の更なる充実を図る。	バス停留所の上屋及びベンチ等の施設整備を行う。 また、ノンステップバス、ユニバーサルデザインタクシーの導入や、バス停留所の上屋等設置について、交通事業者に対し補助金を交付する。	①バス事業者が行うバス停上屋及びベンチの設置における事業費に対し、補助金を交付した。 ②SDGsやカーボンニュートラルの達成に向け、モビリティ・マネジメントの取組として「あつぎノーマイカーデー」を実施した。	12,000	5,242	バス停上屋又はベンチ設置箇所数	か所	2	1	50.0	2	2	100.0	都市計画課
								ノンステップバス導入台数	台	3	0	0.0	3	0	0.0	
								ユニバーサルデザインタクシー導入台数	台	4	0	0.0	4	0	0.0	
15	③	コミュニティ交通推進事業	今後増加する高齢者等の移動手段の確保や地域包括ケア社会の実現、また、コンパクト・プラス・ネットワーク型都市構造の更なる充実に向け、路線バスを補完する日常生活に必要な移動手段を確保する。	コミュニティ交通の運行を実施するとともに、地域の運行管理団体に補助金を交付する。 また、コミュニティ交通導入への意識が高い地域についてアンケート調査等を行い、地域特性に合ったコミュニティ交通の運行方法について検討する。	①鳶尾、まつかけ台、みはる野地区で、継続運行を実施するとともに、毛利台地域ではアンケート調査の結果を基に、実証実験を実施した。 ②導入検討地域であるアメニティヒル本厚木にお住まいの住民を対象に日常の移動に関するアンケートを実施した。	14,398	5,913	コミュニティ交通利用者数	人	2,000	2,905	100.0	2,200	4,053	100.0	都市計画課
								コミュニティ交通運行管理事業補助金交付	—	実施	実施	100.0	実施	実施	100.0	
								コミュニティ交通導入検討地区数(累計)	地区	2	2	100.0	3	3	100.0	
16	③	次世代モビリティシステム検討事業	地域住民や来訪者一人一人の移動ニーズに対応するため、交通事業者が行う次世代モビリティシステムの導入を支援し、地域公共交通の確保、維持を図る。	MaaS等の技術の活用による無人走行を行う自動運転車両、グリーンスローモビリティ(電動で時速20km未満で公道を走る4人乗り以上のパブリックモビリティ)、デマンド交通(予約や呼び出しに応じて目的地に輸送する交通)等の導入を研究する。	次世代モビリティに関する研修会等に参加し、導入についての調査研究を行った。	0	0	次世代モビリティシステムに関するセミナー等への参加回数	回	4	8	100.0	4	8	100.0	都市計画課
17	③	自転車走行空間整備事業	自転車利用者と歩行者の整序化により、安全で快適な自転車走行空間の創出を図る。	自転車ネットワークを構成する路線を対象に、安全で快適な自転車走行空間を創出することやセーフコミュニティの取組として、計画的な整備を実施する。	市道辻戸室線において、自転車の走行位置を明示する車道混在型の路面標示等を実施した。	9,000	7,647	自転車走行空間整備延長	km	2.0	1.2	60.0	2.0	1.1	55.0	道路整備課
18	③	本厚木駅駅舎改装事業	ホームからの転落や列車との接触事故を防止し、利用者の安全かつ円滑な移動を確保するとともに、朝夕のラッシュ時の混雑緩和と乗降客の駅西側方面への利便性の向上を図る。	鉄道事業者が行うホームドアの設置に対し、補助金を交付する。 また、本厚木駅西口の開設について、鉄道事業者に対し、要望を行う。	①鉄道事業者が行うホームドアの設置の補助金について、本厚木駅1.2番線の完了検査を行った。また、本厚木駅3.4番線のホームドアの交付決定(令和4~5年度債務負担)を行った。 ②本厚木駅西口の開設について、鉄道事業者に対し、要望を行った。	120,333	120,333	本厚木駅へのホームドアの設置に向けた取組状況	—	—	—	—	設置補助	設置補助	100.0	都市計画課
								西口開設に向けた取組状況	—	要望	要望	100.0	要望	要望	100.0	

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
19	④	空き家等対策推進事業	「厚木市空家等対策計画」に基づき、人口減少や住宅の老朽化等により地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている空き家の予防・解消・活用を促進する。	空き家の解体費や購入費の一部を補助するとともに、所有者不存在により管理不全となり近隣に迷惑を及ぼしている空き家について、財産管理人選任の申立てを行い、売却等の処分を行う。 また、市内全域の空き家の実態調査を実施するとともに、「厚木市空家等対策計画」の改定を行う。	①老朽化した空き家を解体する空き家所有者等に対し、解体工事補助金の交付を行った。 ・交付件数 24件 ②所有者不存在により、近隣に悪影響を及ぼしている空き家について、相続財産管理人選任の申立てを行い、処分の手続きを進めた。 ・申立て件数 2件	13,511	15,140	管理不全であるため、助言等が必要な空き家数(空き家評価B区分の空き家数)	戸	100 (実態調査後)	46	100.0	90	28	100.0	住宅課
								空家等対策計画の改定	—	市内全域実態調査・改定	市内全域実態調査・改定	100.0	—	—	—	
20	④	住宅政策推進事業	「厚木市住生活基本計画」の基本理念「だれもが暮らしやすい魅力あるまちを目指して」の実現に向け、少子・高齢社会、人口減少社会に対応した快適な住まいづくりや安心・安全な暮らしを支える住まいづくりを推進する。	住宅確保要配慮者が民間賃貸住宅に円滑に入居できる環境を整備するため、庁内関係部署、不動産事業者、福祉事業者と連携し、居住支援の取組を実施する。 また、管理不全に陥る恐れのあるマンションに対し専門家を派遣するなどマンション管理の適正化を図る。	①「神奈川あんしんすまい保証制度」を利用する単身高齢者に対し、初回登録料の補助を行った。 ・交付件数 6件 ②あんしん賃貸住宅支援事業として関係者連絡会(4回)、研修会(2回)、住まい探し相談会(5回)を実施した。 ③マンション管理の適正化に向け、マンション管理組合に対し専門家の派遣を行った。 ・アドバイザー派遣 6件 ④住環境に関する社会情勢の変化及び本市における住まいの状況に応じた住宅政策について、総合的かつ計画的に進めるため、「厚木市住生活基本計画」を改定した。	6,277	5,557	あんしん住まい見守りサービスの利用者数	人	20	6	30.0	20	6	30.0	住宅課
21	④	住居表示整備事業	「住居表示に関する法律」に基づき、住居表示を実施することにより、住所の混乱や不便を解消し、分かりやすいまちづくりを推進する。	実施計画地区の住民や事業者等を対象に、合意形成を図るとともに意見をお聴きしながら計画的かつ継続的に事業を推進する。 なお、令和4(2022)年度には飯山地区の住居表示を実施し、次期候補地の策定に取り組む。	検討委員会の開催や関係条例の一部改正、住民説明会などを経て、令和4年10月11日に飯山地区の住居表示を実施した。	39,722	36,719	住居表示整備の進捗状況	—	飯山地区の実施決定	飯山地区の実施決定	100.0	飯山地区の実施、次期候補地の基礎調査	飯山地区の実施、次期候補地の基礎調査	100.0	まちづくり指導課
								住居表示整備率	%	56.47	56.47	100.0	60.90	60.90	100.0	
								街区表示板及び住所番号表示板設置区域	ha	1,807.7	1,807.7	100.0	1,950.5	1,950.5	100.0	

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）
4-2 魅力ある中心市街地等の形成

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	本厚木駅北口周辺整備事業	県央地域の自立をけん引する広域拠点都市として、本厚木駅北口周辺地区において、商業・業務、行政及び文化などの多様な都市機能の集積や交通結節機能の充実を図るとともに、居心地が良く、歩いて楽しい市街地の創出による魅力ある拠点の形成を目指す。	本厚木駅北口広場に面する街区と駅北口広場の一体的な再整備を目指した取組を行う。	令和3年度設立された再開発準備組合の運営支援をするとともに、複数回の会議及び先進事例視察を開催し、今後の整備方針等をまとめたまちづくり方針（案）の検討を実施した。	15,353	15,008	本厚木駅北口周辺整備に向けた進捗状況	—	準備組合設立	準備組合設立	100.0	施設計画素案作成	整備方針案作成	50.0	市街地整備課
2	①	中町第2-2地区周辺整備事業	中町第2-2地区周辺において、利便性の高い地域として複合施設とその周辺環境の整備を進め、魅力とにぎわいあふれる拠点都市を目指す。	家（第1の場所）と職場や学校（第2の場所）との間にある第3の場所「サードプレイス」の創出をコンセプトに、あらゆる世代の方々にとって居場所となる、図書館、（仮称）未来館、市庁舎等からなる複合施設の整備及び厚木バスセンターの再整備を進める。	令和3年度から実施していた複合施設基本設計業務を令和4年9月に完了し、複合施設整備事業設計施工一括型業務の事業者選定を公募型プロポーザル方式により実施し、受注候補者を決定した。	283,312	145,890	複合施設整備の進捗状況	—	基本設計	基本設計	100.0	実施設計	実施設計	100.0	市街地整備課
								厚木バスセンター再整備の進捗状況	—	—	—	—	—	—		
3	①	愛甲石田駅周辺整備事業	愛甲石田駅周辺地区において、駅利用者の増加による交通環境などの課題を改善するため、駅北口広場及び周辺地区の計画的な整備を行い、交通結節点としての機能を強化するとともに、地域の生活を支える商業・業務等の都市機能の充実を目指す。	愛甲石田駅北口広場の拡張を基本とした駅周辺整備に向けた取組を行う。	市の附属機関である愛甲石田駅周辺まちづくり検討委員会からの提言書や、パブリックコメントの意見を踏まえて、今後のまちづくりの方針となる愛甲石田駅周辺まちづくり基本構想を策定した。	5,260	5,143	愛甲石田駅周辺整備の進捗状況	—	(仮)まちづくり検討会運営	まちづくり検討委員会運営	100.0	整備構想策定	基本構想策定	100.0	市街地整備課
4	①	地下道活性化事業	本厚木駅前東口地下道の活性化を推進することにより、中心市街地のにぎわいと快適な歩行空間の創出を図る。	本厚木駅やアミューあつぎ、バスセンターなど、市街地の主要施設を結ぶ導線となる地下道の活性化につながる取組を行う。	①本厚木駅前東口地下道活性化実行委員会に事業を委託し、次の内容を実施した ②CHiKaフェス2022を開催した ・参加者数 2日間延べ2万人 ③市民提案事業を実施した ・8団体8事業延べ26日 ④イメージアップ事業を実施した ・柱巻き1か所	2,000	1,267	事業実施時の地下道の通行量	人/日	9,500	0	0.0	9,500	9,942	100.0	企画政策課
5	②	市街地商業活性化事業	中心市街地商店街空店舗対策事業を始めとする補助金の交付や「にぎわい爆発あつぎ国際大道芸」など、各種イベントを開催することにより、中心市街地のにぎわい創出と活性化を図る。	空き店舗を活用し、開業する事業者や商業者等で構成する「厚木市まちなか活性化プロジェクト」が企画するイベントに対し、補助金を交付する。 また、あつぎ国際大道芸及びあつぎジャズナイト等の魅力あるイベントを開催する。	①中心市街地において、空き店舗を活用し、開業する事業者に対し、改装費と家賃の一部を補助した。 ・認定件数 10件 ②にぎわい爆発あつぎ国際大道芸を開催した。 ・参加者数 約35,000人 ③あつぎジャズナイトを開催した。 ・参加者数 約4,000人 ④本厚木駅前北口広場及び南口駅前広場にイルミネーションを設置した。 ・電球数 37,932球 ⑤市内商業団体が中心市街地の商業活性化を推進する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	49,251	38,071	厚木市中心市街地商店街空店舗対策事業補助金交付申請店舗数	店	8	18	100.0	8	12	100.0	商業にぎわい課
								中心市街地の歩行者数	人	110,000	98,282	89.3	110,500	94,327	85.4	
								中心市街地のにぎわいを感じている市民の割合	%	30.0	29.3	97.7	35.0	31.2	89.1	

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）

4-3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課		
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)	指標名	単位	令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値		令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)
1	①	国土調査事業	土地に関するトラブルを防ぎ、個人の権利や財産を守るとともに、課税の適正化や公共事業・災害復旧の円滑化を図る。	「国土調査法」に基づき、土地境界及び地籍に関する測量を行い、一筆ごとに地籍を明確化する。	第08計画区（旭町一丁目及び五丁目の各一部）7haにおける地籍図・地籍簿の作成及び新規調査地区として第09計画区（旭町五丁目の一部）7haにおける一筆地調査を実施した。	16,000	15,697	地籍調査実施面積（累計） 【都市再生緊急整備地域周辺地区の隣接区域73ha】	ha	13.0	13.0	100.0	20.0	20.0	100.0	道路管理課
2	①	土地区画整理推進事業	産業系土地利用を図るため、土地区画整理事業の事業化に向けた検討に対する指導、助言及び支援を行い、計画的かつ充実した都市基盤整備を推進する。	山際地区及び山際北部地区の土地区画整理事業の実現に向けた各種調査、設計及び地権者組織に対する支援を実施する。	地権者組織に対して支援を行った。	9,417	5,144	山際地区（約22ha）の土地区画整理事業の進捗状況	—	支援業務	支援業務	100.0	支援業務	支援業務	100.0	まちづくり推進課
								山際北部地区（約17ha）の土地区画整理事業の進捗状況	—	支援業務	支援業務	100.0	支援業務	支援業務	100.0	
3	②	景観形成推進事業	「景観法」に基づき、自然景観と都市景観が融合した個性ある景観の形成を図り、緑豊かな美しいあつぎの街並みを目指す。	「厚木市景観計画」における建築物の景観誘導を推進するとともに、市民の景観意識を醸成するため、市内における景観の魅力発信を行う。	市内の景観資源を発掘し、ソーシャルネットワークにより情報発信することができた。 また、厚木の魅力（まちの景観）について、厚木市民情報提供システム「スマ報」からの投稿が数多く寄せられた。	81	0	厚木市民情報提供システム「スマ報」による厚木の魅力（まちの景観）投稿件数	件	125	126	100.0	125	127	100.0	都市計画課
4	③	森の里東土地区画整理推進事業	新たな産業拠点の創出に向け、森の里東地区の計画的かつ充実した都市基盤整備を図る。	組合に対して、施行地区内の都市計画道路2路線に対する社会資本整備総合交付金の市負担金を、県を経由して交付する。 また、組合への指導・助言を適切かつ迅速に行うほか、組合の事業進捗に合わせて施行地区外の関連する道路や排水路（雨水・汚水）を整備する。	①組合に対して、社会資本整備総合交付金の市負担金を県を経由して交付した。 ②組合の事業進捗に合わせて施行地区外の関連する排水路を整備した。	201,301	179,073	森の里東土地区画整理事業の進捗状況（C工区）	—	工事	工事	100.0	工事	工事	100.0	まちづくり推進課
								産業用地創出面積 ※カッコ内は総面積	ha	— (15.2)	— (15.2)	—	— (15.2)	— (15.2)	—	
5	③	酒井土地区画整理推進事業	産業系土地利用を図るため、土地区画整理事業による計画的かつ充実した都市基盤整備を推進する。	施行者である組合に対して、適切な指導・助言を行うとともに、事業費の一部を補助する。 また、事業の進捗に合わせて、関連する施行地区外の排水路を整備する。	①組合に対して、事業費の一部を補助した。 ②組合の事業進捗に合わせて施行地区外の関連する排水路を整備した。	789,542	786,660	酒井土地区画整理事業の進捗状況	—	工事	工事	100.0	工事	工事	100.0	まちづくり推進課
								産業用地創出面積	ha	—	—	—	—	—	—	

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）

4-4 産業・商業の振興

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	商業活動振興事業	商店会等が実施する消費拡大のための事業を支援することにより、商業の活性化を図る。	子育てパスポート事業において、従来の紙のAYUCOカードを電子化することにより、カード提示や店舗検索などの利便性を高め、子育てを応援しているサポーター店舗の利用を促進し、商業活性化を図る。 また、各商店会、商店会連合会及び商工会議所が実施する販路拡大や商業活性化に係る事業に対し、補助金を交付する。	①子育てパスポートAYUCO電子システムを改修し、利用者の利便性向上及びサポーター店舗の利用の促進を図った。 ②商店会が協力して行う販路拡大のための共同売出し、宣伝及び装飾等の事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 ・補助対象 8商店会9事業 ③商店会連合会が実施する商業振興事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 ④商店会や個人商店を効果的にPRするために係る経費に対し、補助金を交付した。 ・補助対象 2商店会3事業	17,648	19,059	子育てパスポートAYUCOカード取得率	%	78.0	85.2	100.0	—	—	—	商業にぎわい課
								子育てパスポートAYUCOカード取得者数	人	—	—	—	10,000	10,178	100.0	
								商店街活性化事業数	事業	12	6	50.0	14	16	100.0	
2	①	商店街LED化促進事業	商店街の街路灯のLED化を促進することにより、環境にやさしいまちづくりを推進するとともに、商業の活性化を図る。	商店街の街路灯のLED化に係る経費に対し、補助金を交付する。	商店街の街路灯のLED化に係る経費に対し、補助金を交付した。	1,050	980	商店会の街路灯総数に対するLED照明の割合	%	56.0	55.3	98.8	58.0	56.4	97.2	商業にぎわい課
3	②	商工業振興事業	商工業の振興及び地域経済の活性化を図る。	地域の総合経済団体である厚木商工会議所が実施する商工業団体等組織の強化、後継者育成、経営相談及び指導などの諸事業に対し、補助金を交付する。	厚木商工会議所が行う商工業団体等組織の強化、後継者育成、経営相談及び指導などの諸事業に係る費用に対し、補助金を交付した。	17,570	17,570	合同入社式・研修会参加者数	人	30	39	100.0	60	50	83.3	産業振興課
								中小企業相談件数	件	1,600	3,350	100.0	1,700	3,437	100.0	
4	②	ビジネスチャレンジャー支援事業	創業支援事業計画に基づき、創業の段階に応じて各機関と連携しながら創業者を支援することにより、地域経済の安定的な発展及び新たな雇用機会の創出を図る。	新規開業のために必要な資金の融資を受けた市内創業者に対し、利子補給金を交付する。 また、開業手続の実務や事業計画の作成について学ぶ「あつぎ起業スクール」を開催する。	①日本政策金融公庫から創業融資を受けた市内創業者に対し、利子補給金を交付した。 ・交付件数 7件 ②あつぎ起業スクールを開催した。 ・開催日数 6日 ・修了者数 50人	2,000	1,983	創業者支援利子補給金交付件数	件	5	3	60.0	8	7	87.5	産業振興課
								あつぎ起業スクール修了者の起業数	人	2	0	0.0	3	4	100.0	
5	②	中小企業活性化推進事業	中小企業の経営基盤の安定化・強化及び受発注機会の拡大を図る。	中小企業診断士が企業を巡回訪問し、経営、技術及び販路拡大等の企業の課題解決に向けた相談を実施するとともに、潜在力の発揮と経営基盤の強化のため、同行した中小企業診断士による市内企業等データベースのコーディネートを行う。 また、中小企業が県内・都内の大学と共同で行う研究事業及び見本市等に出席する経費や、中小企業の事業承継に係る経費について、経済的な支援のため補助金を交付する。	①市内中小企業の巡回訪問を実施した。 ・訪問件数 50件 ②市内中小企業者等が販路拡大のため、見本市、フェア及び展示会などに出席した際の費用に対し、補助金を交付した。 ・交付件数 37件	20,360	17,667	企業巡回訪問件数	件	50	50	100.0	50	50	100.0	産業振興課
								見本市等出展事業補助金交付件数	件	24	27	100.0	30	37	100.0	
								事業承継補助金交付件数	件	3	0	0.0	3	0	0.0	

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
6	②	中小企業イノベーション支援事業	中小企業等の市場競争力の強化及び経営基盤の安定化・強化を図る。	製造業を営む市内中小企業及び小規模企業が行う設備投資に対し、補助金を交付する。 また、中小企業の特許等の取得に対し、補助金を交付する。	①製造業を営む市内中小企業者が、生産の拡大及び生産の効率化を図るための設備に投資した経費に対し、補助金を交付した。 ・交付件数 6件 ②市内中小企業者の新技術、新製品の保護及び研究開発を奨励するため、国内の産業財産権（特許、実用新案等）の取得に要する費用に対し、補助金を交付した。 ・交付件数 7件 ③製造業を営む市内中小企業が、環境負荷を軽減させる機器等を導入した費用に対し、補助金を交付した。 ・交付件数 3件	25,350	7,331	中小企業設備投資額	千円	130,000	269,307	100.0	182,000	105,954	58.2	産業振興課
								特許等出願支援補助金交付件数	件	8	7	87.5	9	7	77.8	
								中小企業カーボンニュートラル推進事業補助金交付件数	件	—	—	—	15	3	20.0	
7	②	中小企業事業資金融資事業	中小企業等の経営の安定化を図る。	中小企業等が低利な融資を受けることができるよう、特定金融機関に一定の資金を無利子で預託する。 また、融資制度を活用した中小企業に対し、利子補給金を交付するとともに、神奈川県信用保証協会に支払った保証料に対し、補助金を交付する。	①特定金融機関に一定の資金を無利子で預託し、中小企業者に低利な融資を行った。 ・融資件数 274件 ②厚木市中小企業融資制度（事業資金（運転・一時）、経営近代化資金（運転）を除く）、神奈川県中小企業制度融資の創業支援融資、日本政策金融公庫取扱いの小規模事業者経営改善資金（マル経資金）を利用した市内中小企業が、金融機関へ支払った利子に対し、利子補給金を交付した。 ・交付件数 811件 ③厚木市中小企業融資制度、神奈川県創業支援融資を利用した市内の中小企業者が、神奈川県信用保証協会へ支払った保証料に対し、補助金を交付した。 ・交付件数 244件	1,803,500	1,770,839	中小企業融資件数	件	120	303	100.0	140	274	100.0	産業振興課
								中小企業資金融資利子補給金交付件数	件	1,220	777	63.7	1,240	811	65.4	
								中小企業信用保証料補助件数	件	120	240	100.0	140	244	100.0	
8	③	企業立地元気アップサポート事業	企業立地の促進及び産業用地の創出により、市民の雇用機会の拡大及び地域経済の活性化を図る。	効果的な企業立地活動を展開するとともに、奨励措置の適否の審査を行い、立地企業及び立地企業への用地創出者に対し、一定要件の下、奨励金を交付する。	①奨励措置を適用した。 ・適用件数 4件（ほか雇用奨励金2件） ②各種奨励金を交付した。 ・企業立地奨励金 10件 ・戦略産業奨励金 1件 ・雇用奨励金 2件 ③新たに本市への立地意向を有する企業の情報を収集し、企業訪問やPR用パンフレットを配布した。 ・企業訪問 37社 ・市内及び市外企業へパンフレット送付 2,000社	164,367	122,609	企業立地制度適用件数	件	5	2	40.0	5	9	100.0	産業振興課

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
9	④	ロボット産業推進事業	「さがみロボット産業特区」を活用し、産学公連携及び企業間連携を図るとともに、ロボット関連企業等の研究開発の促進や技術力の向上を支援することにより、本市におけるロボット関連産業の振興と集積を図る。	先端技術産業である、ロボット本体及び周辺機器・部品の試作開発を目的とした事業に対し、補助金を交付するとともに、市民がロボットに関する知識や関心を深めることができるよう、イベントを開催する。	①ロボット関連産業等促進事業補助金を交付した。 ・交付件数 3件 ②ロボットの動作の実演や講義を通じて、ロボットに親しむ機会を提供し、ロボットの動く仕組みや扱い方について、正しい知識を身に付けるため、ロボットリテラシー事業を実施した。 ・参加人数 605人 ③市におけるロボット関連事業への支援、企業及び大学の取組を他市町村や企業等に広く周知し、本市のロボット関連事業を含めた魅力をPRするため、あつぎ生まれのロボット発信事業を実施した。 ④ ロボットを始めとした先進技術に関する講演会に外部講師を招いて、市民を対象に実施した。 ⑤厚木市青少年発明コンクール入賞作品を具体化した試作品を製作・発表し、子どもたちにもものづくりの楽しさを実感していただき、理科や科学への興味や関心を向上させるため、A T S U M O 発明実現プロジェクトを実施した。	4,940	2,999	ロボット関連補助金交付件数	件	3	1	33.3	3	3	100.0	産業振興課
								ロボットリテラシー事業への参加者数	人	200	658	100.0	250	605	100.0	

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）
4-5 安心して働くことができるまちの実現

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単 位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率 (%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率 (%)	
1	①	就労対策事業	様々な求職者の状況に対応する相談や講座を実施することにより、就労に必要な知識や雇用・労働関連情報を提供し、就労機会の拡大及び勤労者の労働環境の改善を図る。	就労のための情報やスキルを提供するセミナー等を実施するとともに、就職支援や勤労者等相談を実施する。 また、障がい者又は高齢者を1年以上常用雇用している中小企業者に対し、奨励金を交付する。 さらに、令和3（2021）年度から奨学金返還に係る支援を実施する。 なお、令和3（2021）年度のみ、テレワーク導入に係る支援を実施する。	①障がい者又は高齢者を1年以上常用雇用している中小企業者に対し、奨励金を交付した。 ・障がい者雇用交付件数 39件 ・高齢者雇用交付件数 64件 ②市内在住かつ在勤の奨学金返還者に対し、奨学金返還の一部を補助する助成金を交付した。 ・交付件数 120件	19,189	22,848	障害者雇用奨励交付金交付件数	件	38	39	100.0	41	39	95.1	産業振興課
								高齢者継続雇用奨励補助金交付件数	件	43	67	100.0	46	64	100.0	
								勤労者奨学金返済助成金交付件数	件	50	58	100.0	60	120	100.0	
2	①	技能振興事業	技能職の技術や文化を普及させるとともに、後継者の育成や優れた技能の継承を促進する。	技能職団体の連携・地位向上を図るための活動及び職業訓練校に対し、補助金を交付する。 また、職人の技と伝統を伝え、若年者の職業選択の機会を拡大するため、市内外への広報活動を実施する。	①職業訓練校に対し、補助金を交付した。 ・交付件数 1件 ②職人の技と伝統を伝え若年者の職業選択の機会を拡大するため、技能教室を開催した。 ・参加者数 33人	672	629	技能教室参加者数	人	45	0	0.0	50	33	66.0	産業振興課
3	②	中小企業勤労者助成事業	中小企業勤労者及びその家族のための福利厚生事業を推進するとともに、安定した労働力の確保を図る。	（公財）厚木市勤労者福祉サービスセンターに対し、補助金を交付する。 また、（独法）勤労者退職金共済機構が実施する中小企業退職金共済又は厚木商工会議所が実施する特定退職金共済と共済契約を締結している中小企業者に対し、掛金の一部を補助する。	①（公財）厚木市勤労者福祉サービスセンターに対し、補助金を交付した。 ②中小企業退職金共済及び特定退職金共済と共済契約を締結している中小企業者に対し、掛金の一部を補助した。 ・交付件数 中小企業退職金共済 89件 特定退職金共済 8件	37,061	30,747	厚木市勤労者福祉サービスセンター会員数	人	5,075	5,096	100.0	5,100	5,022	98.5	産業振興課
								中小企業退職金等共済掛金補助金交付事業者数	社	100	109	100.0	100	97	97.0	
4	①	勤労者貸付融資預託事業	市内在住勤労者の教育、生活及び住宅資金等臨時的資金需要への低利かつ円滑な貸付けを行い、勤労者の負担を軽減することで、生活の安定と向上を図る。 また、住宅資金を借り入れた場合の金利負担を軽減し、定住を促進する。	勤労者のための福祉金融機関である中央労働金庫に対し、行政として支援するため、貸付金の原資を預託する。 また、中央労働金庫から、市内に自己居住用の住宅を購入するために資金を借り入れた勤労者に対し、利子補給金を交付する。	勤労者の教育、生活及び住宅資金等臨時的資金需要への低利な融資を行った。 【融資件数】 ・勤労者生活資金 63件 ・勤労者住宅資金利子補給金 210件	133,520	132,958	勤労者生活資金融資件数	件	30	56	100.0	40	63	100.0	産業振興課

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）
4-6 観光の振興

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	広域連携観光推進事業	点在する観光資源を束ね、広域連携による観光プロモーションを行うことにより、回遊性や情報発信力を高め、観光地としての魅力を向上させ誘客の促進を図る。	近隣の自治体や観光協会、その他関係団体等と協働で該当エリア内の回遊性を高める事業を展開する。	広域行政連絡会観光推進専門部会（厚木市、伊勢原市、秦野市、愛川町、清川村及び関係団体）において連携を強化し、厚木市観光協会のホームページにコンテンツを設け、エリアとしての観光PRを推進した。 また、丹沢大山観光キャンペーン推進協議会において、PR動画（秦野市、伊勢原市、小田急電鉄）を作成し、インターネット上で公開した。	163	163	大山エリア （厚木市・伊勢原市・秦野市）の観光消費額（年間）	千円	25,800,000	13,092,965	50.7	25,810,000	21,792,730	84.4	観光振興課
								宮ヶ瀬エリア （厚木市・愛川町・清川村）の観光消費額（年間）	千円	18,390,000	6,834,488	37.2	18,400,000	15,311,490	83.2	
2	②	観光資源活性化事業	豊かな自然や温泉等の既存の観光資源を活用するとともに、新たな地域資源を創出することにより、地域の活性化を図る。	地域団体や事業者との協働により、地域資源を整備するとともに、新たな観光資源を創出する。	①森林など豊かな自然環境を有効に活用するために作成したサイクリングのモデルルートを活用し、デジタルスタンプラリーを実施した。 ・参加者 370人 ②本市のアウトドアフィールドの優位性を広く周知するため、アウトドアイベントを開催した。 ・参加者 約3,000人 ③地域と共同で地域資源を活用した花の里づくりを推進するため、花の育成に必要な消耗品を購入した。 ④地域の観光資源活性化を図るために、活動する団体に対し、費用の一部を補助した。 ・交付団体 2件	34,977	33,997	飯山・七沢地区の延べ観光客数（年間）	人	1,106,000	933,324	84.4	1,122,000	1,239,525	100.0	観光振興課
3	②	受入環境整備事業	市内の観光施設や飲食店などの受入環境を整備することで、訪れた観光客の満足度向上を図り、リピーターを含む観光客拡大につなげる。	本市を訪れた観光客の満足度を向上させるため、受入環境整備に係る費用の一部を補助するほか、受入者のおもてなし意識の向上やスキルアップを図る事業を展開する。 また、観光客のニーズを調査し、求められているサービスを提供することで観光客の増加につなげる。	旅行客の受入環境を向上させるため、一般社団法人厚木市観光協会が実施する「講演会及びバスセミナー」に対し、費用の一部を補助した。 また、新たな観光資源となりうる「不動産の滝」周辺地域について、新たな観光ルートとしての可能性を調査・研究し、商品化に繋げるために必要な事項をまとめた。	800	361	市内の延べ観光客数（年間）	人	3,035,000	1,081,007	35.6	3,128,000	2,487,409	79.5	観光振興課
4	②	健康づくり村推進事業	地域における自然的特徴や文化、多様な人材の想像力などをいかした、市民協働による取組として「健康づくり大学推進事業」を展開し、地域の活性化を図る。	本市の自然、文化、歴史等の観光資源を活用し、市民等の健康増進を目的とした事業を実施する団体等に対し補助金を交付する。 また、3年に一度、森林セラピー基地案内人の養成講座及び更新講座を実施し、森林セラピーツアーの新たな展開や案内人のスキルアップを図る。	厚木市観光協会が実施する事業に対し、費用の一部を補助した。 ・森林セラピーツアー開催回数 4回 ・健康づくり大学開催回数 7回	800	550	健康づくり大学参加者のうち、満足した人の割合	%	73.0	100.0	100.0	74.0	90.0	100.0	観光振興課
								森林セラピーツアー参加者のうち、満足した人の割合	%	95.0	100.0	100.0	95.0	90.0	94.7	
5	②	観光行事推進事業	魅力ある観光イベントを開催することで、市内への集客向上を促し、地域経済の活性化を図る。	あつぎ鮎まつりやあつぎ飯山桜まつり等、魅力ある観光イベントを開催するほか、活力ある地域づくりを担う地域観光まつり事業に対して補助金を交付する。	①第76回あつぎ鮎まつりを開催した。 ・開催日 令和4年11月5日(土) ・開催場所 相模川河川敷三川合流点、厚木中央公園、なかちよう大通り・厚木一番街 ・来場者数 18万人 ②あつぎ飯山桜まつりは雨天のため中止した。 ・開催日 令和5年3月	124,092	117,677	観光消費額（年間）	千円	17,750,000	6,290,170	35.4	18,200,000	14,454,002	79.4	観光振興課

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
6	②	飯山白山森林公園桜の広場 周辺整備事業	本市の観光拠点である飯山 白山森林公園桜の広場及びそ の周辺の機能を充実し、観光 地としての魅力向上を図る。	桜の広場を中心とするエリ アについて、観光拠点として の機能強化に資する基本構想 に基づき整備を進める。	庫裡橋から白山山頂までの現況測量を実 施した。 また、飯山白山森林公園桜の広場周辺整 備検討委員会を2回開催し、整備内容につ いて検討を行った。	4,525	4,525	飯山白山森林 公園桜の広場 周辺整備の進 捗状況	—	工事・測量・ 実施設計	桜の広場工 事、階段測 量・設計	90.0	工事	現況測量を実 施	0.0	観光振興 課
								庫裡橋から飯 山白山森林公 園桜の広場ま での整備の進 捗状況	—	整備内容検討	検討会未実施	0.0	設計	検討会を開催	50.0	
								白山ハイキン グコース及び 白山展望台周 辺整備の進捗 状況	—	整備内容検討	検討課未実施	0.0	設計	検討会を開催	50.0	
7	③	観光プロモーション事業	本市の魅力となる地域資源 や特性などを市内外へ広く紹 介するほか、ターゲットを 絞った効果的なプロモーション を展開することで、観光客 の誘致拡大を図り、地域経済 の活性化につなげる。	パンフレットの作成や各種 メディア、SNSを活用した情報 発信を展開するほか、マス コットキャラクターや本市の 魅力ある食を認定したOECフ ードを積極的に活用すること で、観光客の誘致拡大を図 り、地域経済の活性化につな げる。 さらに、大山・宮ヶ瀬を核 とする本市の観光資源の良 さを体験してもらうため、プロ モーションを展開するなど、 市内外に向け広く紹介する。	①観光PR動画を作成し、ツイッター、フェイスブック及びインスタグラムで配信した。 ・リーチ数 ツイッター 4,571 フェイスブック 2,024 インスタグラム 1,182 ②ハイカー向け観光マップをリニューアルし、観光施設に配架した。 ・作成部数 10,000部 ③大山ケーブル駅構内にPR電飾看板を設置し、大山からの誘客促進を図った。 ④交通事業者と連携した事業を実施する、厚木市観光協会に対し、費用の一部を補助した。 ⑤タクシー事業者と連携し、周遊型観光の促進を図った。 ⑥小田急電鉄(株)と連携しPR動画の放映やB1サイズのポスターを作成した。 ⑦観光プロモーションのツールとしてマスクットキャラクター「あゆコロちゃん」を活用した、啓発物品を作成した。 ⑧本市の魅力となる優れた食を「あつぎ食ブランド」として認定した。 ・新規認定件数 4件	7,078	4,524	厚木市観光協 会ホームペ ージのアクセ ス件数	回	31,000	121,087	100.0	32,000	101,795	100.0	観光振興 課

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）
4-7 シティプロモーションと定住促進

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	あつぎの魅力創造・交流事業	第2期まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略に掲げる将来の目標人口の実現を目指し、20・30歳代を中心とした若い世代の転入・定住促進と合計特殊出生率の上昇を図る。	若い世代で構成する組織において、住みたい、働きたい、訪れたいと思える魅力あるまちづくりに向けた事業を検討・実施し、あつぎの魅力を全国に発信するとともに、結婚への第一歩である新たな出会いの場や交流の場を創出するための事業を検討・実施する。	①雑誌やInstagramにおける広告掲載、小田急電車内におけるドアステッカー広告掲載を行い、広く厚木の魅力をPRした。 ②市内において、CHiKaフェス2022開催時に対面でのあつぎの魅力を感じるイベントとして#niceatsugiパーティを実施し、シックプライドの醸成及び定住促進を図った。 ③婚活ツアーを実施し、結婚を希望する市民の皆様に対し、出会いの場を提供した。	7,000	6,363	あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じることができた」と思う事業参加者の割合	%	90.0	88.4	98.2	90.0	98.4	100.0	企画政策課
								事業（出会いの場・交流の場）参加者の満足度	%	90.0	100.0	100.0	90.0	76.0	84.4	
2	①	オリンピック・パラリンピック支援推進事業	東京2020大会の開催に当たり、国際ビジョン「Discover Tomorrow-未来（あした）をつかもう」の下、本市のスポーツ文化の振興、国際交流の推進及び観光振興など、将来につながるレガシーを創出するとともに、子どもたちの夢と希望を育む。	東京2020大会のホストタウン相手国であるニュージーランドの代表チームの事前又は事後キャンプを市民協働により実施するとともに、大会以後を見据えた歴史や文化、教育、共生社会実現に向けた取組など、幅広い分野での交流事業を行い、レガシーを創出する。	令和3年度事業完了	—	—	ホストタウン交流事業件数	件	15	29	100.0	—	—	—	企画政策課
3	②	定住促進住宅取得等支援事業	定住人口の増加を図り、バランスの取れた人口構成による若年世代から高齢者までが互いに支え合うまちづくりを実現する。 また、20・30歳代の転出超過に歯止めをかけるため、若年世帯の転入促進及び転出抑制の二つの視点から効果的に若年世帯の定住促進を図る。	市内に居住する親世帯と同居又は同居するために市外から転入し、住宅を取得又は増改築する世帯及び市外から転入又は市内に居住し、新たに住宅を取得する子育て中の若年世帯に対し、住宅の取得費用等の一部を補助する。	①親元近居・同居住宅取得等支援事業により、住宅の取得に係る費用の一部を補助した。 ・申請件数 32件 ・転入者 104人 ②若年世帯住宅取得支援事業により、住宅の取得に係る費用の一部を補助した。 ・申請件数 230件(831人) ・転入者 54件(184人) ・転居者 176件(647人) (内建替え 5件(22人))	57,000	91,300	親元近居・同居住宅取得等支援事業等による転入者数	人	100	132	100.0	100	104	100.0	住宅課
								若年世帯住宅取得支援事業による転入者数	人	120	143	100.0	120	184	100.0	
4	②	(再掲) 介護職人材確保支援事業	介護・障がいサービスの利用者に対し、継続して質の高いサービスを提供することができるよう、介護職（介護福祉士、社会福祉士等）の人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	市内介護サービス事業所及び障害福祉サービス事業所等の就職相談会を実施するとともに、介護職従事者の研修費用を助成する。 また、市内の事業所等に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を利用して介護職の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、介護職等有資格者の転入及び復職等に対し、奨励助成金を交付する。	①事業所説明会（就職相談会）を実施した。 ②市内の介護保険指定事業所等で働く介護職員等がキャリアアップを目指して受講した研修費を事業所が負担した場合、又は個人で負担した場合にその一部を助成した。 ③市内の介護保険指定事業所等に就職又は勤務する市民の方で、転入及び復職等する場合に助成金を、また、奨学金返済の一部を助成した。	34,000	14,576	介護職等に就職した人数	人	28	39	100.0	32	42	100.0	介護福祉課 障がい福祉課
								キャリアアップ支援事業補助金支給事業所の件数	件	90	106	100.0	100	105	100.0	
5	②	(再掲) 幼稚園教諭確保助成事業	幼児教育・保育の無償化に伴う、教育・保育ニーズの増加・多様化に対応するため、幼児教育・保育に携わる人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、市内の私立幼稚園に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を利用して幼稚園教諭の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、幼稚園教諭有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付する。	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、市内の私立幼稚園に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を利用して幼稚園教諭の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに奨励助成金を交付した。	2,000	540	幼稚園教諭奨学金返済助成金支給者数	人	10	9	90.0	10	6	60.0	こども育成課
								幼稚園教諭転入奨励助成金支給者数	人	4	2	50.0	4	2	50.0	
								幼稚園教諭復職等奨励助成金支給者数	人	4	1	25.0	4	0	0.0	

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
6	②	(再掲) 保育士確保助成事業	待機児童の解消を推進するため、保育人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、市内の私立保育施設に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を利用して保育士の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、保育士有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付する。	市内の私立保育所等に就労した潜在保育士等に対し、助成金を交付した。 ① 奨学金返済助成金 14件 ② 転入奨励助成金 7件 ③ 復職等奨励助成金 2件	4,500	2,507	奨学金返済助成金支給者数	人	30	15	50.0	30	14	46.7	保育課
								転入奨励助成金支給者数	人	5	0	0.0	5	7	100.0	
								復職等奨励助成金支給者数	人	5	5	100.0	5	2	40.0	
7	②	(再掲) 看護職等人材確保支援事業	更なる高齢化の進展に伴う医療需要に対応するため、看護職(保健師、看護師、助産師、准看護師)、歯科衛生士等の人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	市内の医療機関に勤務する方を対象に、奨学金を利用して看護職又は歯科衛生士の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、看護職有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付する。	① 奨学金を返済している看護職等に対し、助成金を交付した。 ・支給者数 42件 ② 市内に転入した看護職等に対し、助成金を交付した。 ・支給者数 86件 ③ 復職した看護職等に対し、助成金を交付した。 ・支給者数 4件	31,000	18,845	奨学金返済助成金支給者数	人	60	49	81.7	60	41	68.3	健康長寿 推進課
								転入奨励助成金支給者数	人	125	92	73.6	135	86	63.7	
								復職等奨励助成金支給者数	人	10	1	10.0	10	4	40.0	

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）
4-8 農業・林業・水産業の振興

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	新規就農者支援事業	農業従事者の高齢化や後継者不足等の課題解決及び都市農業の持続的な発展に向け、新規就農者の創出及び育成を図る。	認定新規就農者数を増やし、必要に応じて新規就農者の生活の安定を図るため、資金を交付するとともに、就農後の営農定着を促進するため、新規就農者支援金を交付する。	国の農業次世代人材投資資金を19人、新規就農者支援金を3人に支給した。前年度からの継続者16人、新規3人。 青年等就農計画認定者数は、累計で29人となった。	29,550	23,204	認定新規就農者数(累計)	人	34	34	100.0	36	38	100.0	農業政策課
2	①	農業担い手育成対策事業	各種農業団体が実施する事業を支援し、農業の担い手である後継者の育成を図る。	農業青年活動及び中核的指導者活動への支援を行うとともに、後継者育成のための事業を実施する。 また、総合的な都市農業振興策の調査研究等を行うとともに、市民に対する農業理解を深めるため、市民農園を運営する。	農業後継者育成のため、農業青年や中核的農業者の集団的な活動の支援を行った。 また、市民の都市農業に対する理解や関心を深めるため、農業に触れる機会を提供する市民農園を運営するとともに、農地へのごみ捨て防止啓発看板を作成した。	785	785	農業後継者団体会員数	人	19	17	89.5	20	14	70.0	農業政策課
								市民農園利用率	%	99.0	99.0	100.0	99.0	99.0	100.0	
3	①	農業経営基盤強化促進事業	農業者及び農業関係団体等を支援することにより、農業の担い手の経営改善を図る。	厚木市農業協同組合が実施する各種営農相談事業に対し、補助金を交付するとともに、農業者の高齢化や担い手不足を支援するため、農業機械の導入に対し、補助金を交付する。 また、市と厚木市農業協同組合が原資を負担し、農業経営に要する資金を融資する。	①営農集団の農業機械導入を支援した。 ②厚木市農業協同組合生産組合長会の運営を支援した。 ③営農相談及び作目別講習会等の開催を支援した。 ④経営所得安定対策等の申請受付及びデータの取りまとめ等を行った。	7,294	6,364	営農指導・相談件数	件	4,000	2,990	74.8	4,000	2,933	73.3	農業政策課
4	①	農業体験型農園開設事業補助事業	農地の有効利用と営農継続を推進するとともに、手軽に農業に触れ合うことができる機会を提供することにより、食育や農業理解、コミュニティづくり等を促進する。	農業者自らが経営する体験型農園の開設を支援する。	令和4年度は新規融資なし	0	0	農業体験型市民農園数(総数)	園	3	3	100.0	3	3	100.0	農業政策課
5	①	耕作放棄地再生利用事業	手の入らなくなった耕作放棄地を農地に再生し、戦略作物等の作付けを行うことにより、農地の保全及び農業経営の安定化を図る。	耕作放棄地の再生対策として、草刈り、深耕、整地及び土づくりを実施する。 また、再生した耕作放棄地においては、主に戦略的作物(小麦や大豆等)の作付けを推進し、生産面積、収穫量の増加を図るため、出荷調整用機械等の導入を支援する。	耕作放棄地の再生及び再生した農地で使用する農業用機械を導入し、0.9haの再生利用を実施した。	990	963	耕作放棄地再生利用面積 ※カッコ内は総数	ha	0.50 (6.04)	0.9 (6.94)	100.0	0.50 (6.54)	0.9 (7.84)	100.0	農業政策課
6	①	農地有効利用促進事業	遊休農地を解消するとともに、発生を予防することにより、食料生産及び景観形成等の多面的な機能を持つ農地を保全する。	「農業経営基盤強化促進法」に基づく利用権設定者に対し、奨励金を交付するとともに、関係機関と連携し、経営規模拡大志向の認定農業者等に、利用権設定を斡旋することにより、担い手への農地の集積及び農地の有効利用を促進する。	利用権設定者に対し、奨励金を交付した。 【奨励金交付実績】 ・貸し手 341人 ・借り手 345人 ・合計 686人	14,763	11,926	利用権設定面積(総数)	ha	135.0	147.1	100.0	140.0	156.1	100.0	農業政策課
7	①	農業基盤整備事業	農道や農業水利施設を整備することにより、農耕の効率化、遊休農地の抑制、農業生産性の向上及び地産地消の推進を図る。	農業生産の基盤である、農道、かんがい排水路及び取水堰の改修・工事を実施する。	農道・農業水利施設の工事及び委託を実施した。 ・農道・農業水利施設工事 8か所 ・農道・農業水利施設委託 7か所	158,388	141,728	農道整備・改修路線数	路線	2	3	100.0	2	1	50.0	農業政策課
								農業水利施設整備・改修路線(箇所)数	路線(か所)	4	7	100.0	4	7	100.0	

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度担当課
						当初予算額(千円)	決算額(千円)			令和3年度目標値	令和3年度実績値	令和3年度達成率(%)	令和4年度目標値	令和4年度実績値	令和4年度達成率(%)	
8	②	地産地消推進事業	市内で生産された新鮮で安心・安全な農畜産物や加工食品等の直接販売を通して、消費者に生産者の顔が見える関係を築くとともに、地場消費の拡大及び生産者の経営の安定化を図る。 また、地域の条件に適した大豆等の推奨作物の生産を奨励し、安定供給、生産量の確保及び食料自給の向上を図る。	各農産物直売所における直売所まつりの開催等に交付金を交付するほか、市民朝市や夕焼け市の開催及び農業まつりの開催支援等を行う。 また、大豆等推奨作物の生産を奨励する。	①市民朝市の開催した。 ・52回 ②夕焼け市の開催した。 ・30回	2,650	2,550	朝市・夕焼け市の来場者数	人	71,000	9,920	14.0	71,500	30,000	42.0	農業政策課
								朝市・夕焼け市出店者数	店	42	41	97.6	43	38	88.4	
								大豆生産量	kg	6,500	4,500	69.2	7,000	0	0.0	
9	②	畜産経営支援対策事業	畜産経営者の労働力軽減と畜産管理技術の向上を期するとともに、経営の安定を図る。	悪臭等を防止するための環境対策を支援する。 また、家畜排せつ処理施設の整備導入を補助するほか、優良牛・優良種豚等の導入や家畜伝染病等の予防に対する補助及び労働力の軽減を図るための酪農ヘルパーの活用を支援する。	①畜産会の運営費に対して、補助金を交付した。 ②畜産環境対策事業に交付金を交付した。 ③畜産振興対策事業に補助金を交付した。	6,449	6,449	畜産農家数	戸	18	17	94.4	18	16	88.9	農業政策課
								酪農ヘルパー利用回数	回	300	246	82.0	300	248	82.7	
10	②	園芸振興対策事業	都市近郊としての有利性をいかした都市農業の確立を図るとともに、新鮮で安全な農産物を生産するため、機械や最新技術等の導入による経営の合理化と省力化を推進することにより、園芸作物の振興を図る。	高品質な花きを生産するための園芸施設・機械及び消費者ニーズに合った新品種・優良品種の導入を補助するとともに、フラワーアレンジ教室の開催及び市内公共施設へのフラワーポット植栽事業等に交付金を交付する。 また、野菜生産の省力化・品質向上・価格の安定化及び果樹の品質向上のための施設整備等に対し、補助金を交付する。	①グリーンセンターにおいて、花苗、野菜苗の販売をした。 ・売上 164,397個 ②新型コロナウイルス感染拡大のため、フラワーアレンジ教室を中止にしたが、市内公民館へフラワーアレンジの展示や、公共施設へのフラワーアレンジ展示、フラワーポット植栽事業を通じ、市内産の花きを市民に紹介し、花のある生活を提供した。	2,365	2,365	花苗・野菜苗売上個数	個	158,000	176,919	100.0	159,000	164,397	100.0	農業政策課
								フラワーアレンジ教室参加者数	人	85	54	63.5	85	0	0.0	
11	③	鳥獣等被害対策事業	有害鳥獣の捕獲及び追い払い等により、野生動物の農耕地への侵入を防止、被害を減少させ、農業経営の安定化を図る。	ニホンザルの追い払い、ニホンザル、ニホンジカの管理捕獲及び有害鳥獣の捕獲を実施するとともに、個人防護柵を設置する農業者等への補助金の交付等を行う。 また、ヤマビルが生息しにくい環境を整備するため、地域住民との協働により、草刈りや落ち葉かき等を実施する。	①「追い払い員」等によるニホンザルの監視を実施した。(出没時：煙火、エアガンによる群れの追い払い対応) ・監視日数：359日 ②人里側に生息するニホンジカ、イノシシの捕獲に対し「捕獲報奨金」を交付し、捕獲の推進に努めた。 ・捕獲頭数：161頭 ③捕獲ワナの貸出による小動物(アライグマ、ハクビシン、タヌキ、アナグマ等)の捕獲を実施した。 ・捕獲頭数：145頭 ④個人防護柵設置者に対し、補助金を交付した。 ・交付件数：24件 ⑤ヤマビル被害防除対策として、地域住民により「草刈り」「落ち葉かき」を実施した。また、希望する市民に対して「忌避剤」(木酢液)を配布した。 ・忌避剤配布件数：182本(1本500ml)	49,164	48,739	有害鳥獣による農作物被害額減少率	%	79.0	89.5	100.0	80.0	96.6	100.0	農業政策課
								ヤマビル対策事業参加者数	人	1,200	1,771	100.0	1,200	1,733	100.0	

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
12	④	林業振興事業	材木の健全な育成を促進し、森林の持つ公益的な機能を効率的に発揮させるとともに、林業の振興を図る。	枝打ちや除間伐を行う厚木市森林組合に対し、補助金を交付するとともに、高性能林業機械の導入及び間伐材搬出を支援する。 また、地元産木材の活用をPRする。	①材木の健全な成長を促進するため、人工林を対象に、枝打・除伐・間伐を行う方に対し、補助金を交付した。 ②元気な森づくり整備計画に基づく森林整備の円滑な実施に向け、高性能林業機械（バックホーグラップル等）のレンタルや間伐材の搬出を行った。	13,434	12,531	枝打ち・除間伐対象面積	ha	3.0	2.8	93.3	3.0	8.0	100.0	農業政策課
								間伐材の搬出量	m3	900	873	97.0	800	990	100.0	
13	⑤	浜の活力再生プラン推進事業	相模川・中津川の水産業等の活性化を図ることを目的とする「浜の活力再生プラン」に位置付けたアユの保護やアユを活用した6次産業化等の取組を、関係行政機関や関係漁業団体等と連携を図る。	水産業の活性化に向け、相模川の流域市町村及び内水面漁業関係者と連携し、漁業の生産性向上を支援していく。	浜の活力再生プラン（第2期）に基づき、漁業収入の向上や天然アユの保護及び漁場の環境整備に取り組んだ。	0	0	天然アユ遡上数	尾	1,585,000	2,039,700	100.0	1,590,000	8,027,000	100.0	農業政策課

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）
5-1 地球温暖化対策の推進

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	環境フェア開催事業	地球温暖化を始めとする今日の環境問題の重要性についての認識を深める。	市民や事業者との協働により、環境問題について啓発を行う「あつぎ環境フェア」を隔年実施する。	隔年開催のためなし	0	0	環境フェア来場者数	人	9,000	0	0.0	—	—	—	環境政策課
2	①	環境基本計画推進事業	「厚木市環境基本計画」に掲げる望ましい環境像の実現を目指し、市民、事業者及び民間団体・組織との協働により、環境問題への意識啓発を図る。	環境教育や環境学習講座、情報誌の発行などを通じて、市民の環境に対する関心をより高めるとともに、環境にやさしい行動ができる人材育成を図り、持続可能な社会につなげていく。	①バスで行くエコツアーを開催した。 ・開催時期 令和4年8月 ・参加者 15人 ②環境学習講座「生ごみを肥料として有効活用しよう！」を開催した。 ・開催時期 令和5年1月 ・参加者 28人 ③環境写真展を開催した。 ・応募者 22人 ・応募作品 27作品(うち組写真2作品) ④13名のジュニアエコリーダーに講座を4回実施した。	704	445	環境基本計画推進事業として行う講座等の参加者数	人	120	70	58.3	125	78	62.4	環境政策課
								あつぎメールマガジン「エコマガ」の登録者数	人	2,200	2,105	95.7	2,350	2,141	91.1	
3	②	スマートハウス推進事業	「厚木市地球温暖化対策実行計画」に掲げる地球温暖化への負荷の少ない脱炭素社会の実現に向け、日常生活における再生可能エネルギーの導入を推進する。	住宅用太陽光発電システムや住宅用蓄電池システム等のスマートエネルギー設備の設置及びゼロ・エネルギー・ハウスの導入に対し、奨励金を交付する。	スマートエネルギー設備及びゼロ・エネルギー・ハウスの導入に対し、奨励金を交付した。 【補助件数】 ・太陽光発電システム：122件 ・住宅用蓄電池システム：125件 ・HEMS：58件 ・家庭用燃料電池システム：7件 ・スマートハウス加算：23件 ・大容量加算：48件 ・居住誘導加算：4件 ・既存住宅設置加算：20件 ・ゼロ・エネルギー・ハウス10件	20,050	18,591	住宅における太陽光発電出力値	kW	16,200	16,117	99.5	16,900	16,674	98.7	環境政策課
4	②	再生可能エネルギー導入促進事業	市内の再生可能エネルギーの導入を促進し、温室効果ガスを排出しない電力等の拡大を図る。	農地に太陽光パネルを設置し、発電と営農を両立させるソーラーシェアリングを広める。	自家消費型太陽光発電設備の導入に対し、補助金を交付した。 【補助件数】 太陽光発電設備 2件 容量合計 64kW 蓄電池システム 1件	15,500	3,970	市内ソーラーシェアリングの設置件数	件	3	3	100.0	—	—	—	環境政策課
								自家消費型太陽光発電等導入補助金により導入された太陽光発電容量	kW	—	—	—	300	64	21.3	
5	③	温暖化防止普及啓発事業	「厚木市地球温暖化対策実行計画」に掲げる令和12(2030)年度に温室効果ガス27%削減(平成25(2013)年度比)の目標達成に向け、市民の意識向上を図る。	環境学習講座の開催、COOL CHOICEの推進及びエコスクールの取組など、地球温暖化防止に関する普及・啓発を行う。 また、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの普及など、温室効果ガス排出削減に向けた具体的な施策を推進するための「厚木市地球温暖化対策実行計画」の進捗管理を行う。	①神奈川県工科大学での地球温暖化防止講座を動画によるオンデマンド授業として60人を対象に6月に実施した。 ②職員により小学校において、1校50人に対して地球温暖化防止講座を実施した。 ③市民協働提案事業として宇宙キッチンと協働で小学校での地球温暖化防止講座を合計4校286人に対して実施した。 ④市民向け地球温暖化防止講座(親子でエコな調理を体験!)を小学4~6年生と保護者合計15人を対象に実施した。 ⑤電気自動車の購入に対し、39件の奨励金を交付した。	33,107	29,768	地球温暖化防止に関する学習講座等への参加者数	人	290	799	100.0	295	411	100.0	環境政策課
								電気自動車購入奨励金の交付件数	件	—	—	—	40	39	97.5	

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
6	③	EVごみ収集車導入事業	「第5次厚木市環境基本計画」及び「厚木市地球温暖化対策実行計画」で掲げる脱炭素社会の推進のため、ごみの焼却により発電した電力を使用するEVごみ収集車を導入し、脱炭素社会の象徴として市内を走行することで市民への「2050年カーボンニュートラル」の浸透を図る。	「2050年カーボンニュートラル」を目指す市の立場を明確にするための先進的な取組として、ごみの焼却により発電した電力を使用するEVごみ収集車を順次導入する。	令和3年度に導入したEVごみ収集車を活用し、戸別モデル地区ほかの収集業務を行った。また、令和5年度に追加で導入予定の新規EVごみ収集車の仕様等の検討を行った。	5,292	5,292	EVごみ収集車 導入台数	台	1	1	100.0	—	—	—	環境事業課

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）
5-2 未来へつなげる循環型都市の実現

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	ごみ減量化・資源化推進事業	循環型社会の形成を図るため、ごみの減量化・資源化を推進する。	新たなごみ中間処理施設の施設規模を見据え、もえるごみの減量や資源物の適正な収集及び処理を行うほか、適正な分別の周知・啓発活動を実施するとともに、ごみの減量に寄与する施策として排出量に応じた応分の負担を求める有料化を検討するとともに、併せて、もえるごみの戸別収集の拡大により更なる減量化・資源化を推進する。	①資源物の適正な収集及び処理を行い、ごみの減量化・資源化の推進に努めた。 ②自治会及び地域団体等に、ごみの減量化・資源化の推進に向けて広報あつぎ等で、広報啓発活動を実施した。 ③市内全戸にごみ分別周知リーフレットを配布し、ごみの減量化・資源化の推進に向け、周知啓発を行った。 ④家庭から出る生ごみの減量を推進するため、家庭用生ごみ処理機の購入に対し、補助金の交付を実施した。	1,223,990	1,188,982	一人1日当たりの家庭系ごみの排出量	g	419	425	98.6	410	412	99.5	環境事業課
								家庭から出るごみの資源化率	%	36.1	33.7	93.4	37.0	34.0	91.9	
2	②	事業系ごみ対策事業	事業活動に伴って排出される事業系ごみの排出事業者の自己処理責任の徹底を図るとともに、事業系ごみの適正処理及び減量化・資源化を推進する。	事業系ごみの排出事業者に対し、内容物検査の実施に基づく、啓発活動や適正処理の指導を行う。 また、食品廃棄物排出事業者に対する啓発活動を含め、食品リサイクルシステムを構築する。	①事業系ごみの適正排出を促すため、多量排出事業者への指導や、不適正排出事業者への戸別訪問指導を実施した。 ②事業系ごみの分別徹底を図るため環境センターへ搬入する事業系ごみの内容物検査を実施した。	17,352	15,581	事業系ごみの排出量	t	17,619	16,449	100.0	16,797	16,290	100.0	環境事業課
								事業系ごみの減量化率	%	36.4	40.7	100.0	39.4	41.2	100.0	
3	③	ふれあいプラザ再整備事業	利用者の安心・安全及び市民の健康増進に寄与するため、ふれあいプラザを再整備する。	環境センターの余熱利用施設であるふれあいプラザを、災害時にも対応できる施設として、PFI手法により再整備する。	建築工事に着手するとともにPFI事業者と定期的に協議会を開催し、適切な進捗管理を行っていたが、地盤の影響で基礎杭の仕様変更や建設資材の納期遅延等による施設整備期間の変更契約を締結した。	6,675	6,842	ふれあいプラザ再整備の進捗状況	—	設計・解体	設計・解体	100.0	建設	建設	100.0	環境事業課
4	③	厚木愛甲環境施設組合負担事業	厚木市、愛川町及び清川村の3市町村で構成する、ごみ処理広域化の実施主体である厚木愛甲環境施設組合の円滑な運営及び事業推進を図る。	厚木愛甲環境施設組合の運営に係る経費や施設建設に係る経費について、構成市町村が応分の負担割合で負担金を支出する。	①厚木愛甲環境施設組合の運営及び事業に係る経費等を負担した。 ②厚木愛甲環境施設組合や関係部署と連携を図り、建築工事等の業務支援を行った。	202,271	200,622	ごみ中間処理施設整備の進捗状況	—	特定事業契約締結・実施設計・附帯工事	特定事業契約締結・実施設計・附帯工事	100.0	実施設計・本体工事・附帯工事	実施設計・本体工事・附帯工事	100.0	環境事業課

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）
5-3 自然との共生の推進

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	生物多様性あつぎ戦略推進事業	「生物多様性あつぎ戦略」に基づき、本市における生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を計画的に推進し、豊かな生物の多様性を保全する。	本市における生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を計画的に推進するため、普及・啓発事業を行うとともに、本市の生物多様性の実態や推移を調査するため、オオタカ観測調査等を実施する。 また、生物多様性国家戦略の改定等から、国家的な新たな目標や方針、考え方などを取り入れ、より充実した生物多様性の保全の推進を図る必要があるため、生物多様性あつぎ戦略の改定を行う。	①市内の小学生とその保護者を対象に環境エコツアーを開催した。 ・農大で生きものさがしをしてみよう 参加者数 13人 ・カブトムシの落ち葉プールをつくろう 参加者数 17人 ②第22回さがみ自然フォーラムを、令和元年度以来となる対面で開催した。 参加者数 612人 ③オオタカ及び厚木市レッドデータブックで絶滅危惧Ⅰ類に分類されている希少鳥類について、モニタリング調査を実施した。 ・実施回数 16回	919	900	啓発事業への参加者数	人	1,260	10	0.8	1,280	642	50.2	環境政策課
								生物多様性あつぎ戦略の改定	-	-	-	-	改定	-	0.0	
2	①	里地里山保全等促進事業	「厚木市里地里山保全等促進条例」に基づき、里地里山の保全・活用を図る。	里地里山の保全等に向けて、活動団体や活動協定の認定及び活動支援を行う。	活動団体との意見交換会を8月に開催し、現状や課題の把握に取り組んだ。また、市が認定する8団体に対して、補助金の交付や定期的なヒアリングなど活動支援を実施した。	3,110	2,862	里地里山保全等活動協定地の総面積	ha	6.1	6.7	100.0	6.2	6.7	100.0	環境政策課
								里地里山の保全や活用が進んでいると思う市民の割合	%	28.0	28.1	100.0	32.0	25.6	80.0	
3	②	森林再生事業	水源のかん養、地球温暖化防止及び山地災害の防止など、森林の持つ公益的な機能を効率的に発揮させる。 また、森林への愛護意識の向上を促進する。	枝打ちや除間伐等、地域水源林エリアの森林整備を行う。 また、森林ボランティア活動への支援及び森林づくり実技等体験教室を実施する。	①地域水源林エリア内の森林整備を実施した。 ・整備面積 7.21ha ②森林ボランティアによる広葉樹林等の手入れ、除草作業などの活動に対し、交付金を交付した。 ③森林づくり実技等体験教室を開催した。 ・開催回数 10回 ・参加者数 121人	21,612	20,743	地域水源林整備面積 (2021-2023年度累計)	ha	16.0	25.0	100.0	27.0	32.0	100.0	農業政策課
								森林づくり実技等参加者数	人	150	135	90.0	150	121	80.7	

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）
5-4 緑豊かで美しいまちの実現

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	公園緑地整備事業	市民の憩いと安らぎの場として、公園緑地の整備を推進する。	老朽化・機能低下している公園及び樹木により見通しの悪い公園等を安心して過ごすことができる公園として改修するとともに、健康増進やバリアフリー化等の市民ニーズに対応しながら整備を行う。 また、住宅密集地の公園や高層集合住宅に近接した公園等に、トイレ・かまど・収納機能を有する防災用ベンチを整備する。	①公園の整備等工事を実施した。 ・整備等公園数 33公園 ②防災ベンチを整備した。 ・設置公園数 12公園	334,945	309,444	新規・既存公園整備箇所数	か所	18	19	100.0	28	33	100.0	公園緑地課
								防災用ベンチ整備公園数 ※カッコ内は総数	公園	1 (78)	1 (78)	100.0	1 (79)	12 (90)	100.0	
2	①	緑を豊かにする事業	花と緑あふれる住みよいまちとしての発展を図るとともに、緑がもたらす潤いと安らぎへの意識の向上を図る。	緑に触れ合い、親しみながら緑の大切さについての認識を深めることができるよう、緑のまつり等のイベントを開催する。	緑のまつりの代替事業として、花壇装飾、さつき盆栽や山野草の展示会、緑を豊かにする講演会等を実施した。	5,084	3,500	緑を大切に する必要がある と思うイベント 参加者の割合	%	100.0	0	0.0	100.0	100.0	100.0	公園緑地課
3	①	(仮称)北部地区公園整備事業	平常時には、レクリエーション等を通じて市民のコミュニティや安らぎの場を提供し、災害時には、市民生活や都市機能の早期回復を図る一時避難場所や救援施設等防災拠点としての機能を担う公園を整備する。	北部地区における市民の憩いと安らぎの場、レクリエーションの拠点及び災害時における一時避難場所等の地域の防災拠点としての機能を担う地区公園を整備する。	関連部署と調整を図りながら位置・規模及び整備手法を決定した。	0	0	(仮称)北部地区公園整備の進捗状況	—	事業手法検討	事業手法検討	100.0	事業手法検討	事業手法検討	100.0	公園緑地課
4	①	(仮称)睦合水辺公園整備事業	レクリエーション等を通じて市民のコミュニティや安らぎの場を提供するため、恵まれた河川環境をいかした公園を整備する。	睦合地域における市民の憩いと安らぎの場及びレクリエーションの拠点として、河川環境をいかした公園を整備する。	「厚木市緑の基本計画」に基づき、公園の配置、用途及び規模について確認した。	0	0	(仮称)睦合水辺公園整備の進捗状況	—	事業手法検討	基礎資料の収集	100.0	事業手法検討	事業手法検討	100.0	公園緑地課
5	②	まち美化推進事業	まちの環境美化の向上を図るとともに、良好な生活環境を確保する。	自治会やボランティアが行う美化清掃及び落書き消去の取組を支援する。 また、環境美化やマナー向上を図るため、市民や事業者との協働により、ポイ捨て防止や路上喫煙禁止に関する啓発活動を実施する。	①各地域の自治会やボランティア団体が行う地域美化清掃のごみ収集運搬を行った。 ・参加者数 18,873人(延べ164団体) ②年末に市内一斉の美化清掃を実施した。 ・参加者数 35,710人(216自治会) ③落書き消去・壁画制作については、依知南地区地域づくり推進委員会主催で、長坂の側道に壁画を制作した。 ・参加者数 70人(依知中学校美術部等) ④路上喫煙・ポイ捨てキャンペーンによる啓発活動を行った。 ・参加者数 123人(環境保全指導員)	10,603	9,248	地域美化清掃の実施件数	件	250	173	69.2	252	164	65.1	生活環境課
								落書き消去・壁画制作活動の参加者数	人	65	90	100.0	70	70	100.0	

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
6	②	動物愛護管理推進事業	動物愛護精神の普及・啓発及び適正飼養を推進することにより、公衆衛生の向上を図る。	「狂犬病予防法」に基づき、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施するほか、猫不妊去勢手術費用の一部を助成する。 また、関係機関と連携し、動物愛護精神の普及・啓発を図るキャンペーン等を実施する。	①動物愛護及び適正な飼養を図るため、猫の不妊・去勢手術費の一部を助成した。 ・助成件数 オス332匹、メス372匹 ②狂犬病の発生を予防するため、狂犬病予防法に基づき集合注射を実施した。 ・延べ登録頭数 11,783頭 ・注射頭数 9,275頭 ③小学生獣医師体験を8月18日に実施した。 ・参加者数19人(見学者15人) ④犬のしつけ教室を11月12日に開催した。 ・参加者数 46人(犬29頭) ⑤ペット適正飼養講演会を1月15日に実施した。 ・参加者数 18人 ⑥しっぽ村による展示会を8月18日、1月15日に実施した。 ・来場者数8月18日 50人 1月15日 45人	9,249	7,391	動物愛護精神及び適正飼養の普及・啓発を図るイベントの参加者数	人	140	82	58.6	140	178	100.0	生活環境課
7	②	不法投棄防止対策事業	ごみの不法投棄を防止するとともに、不法投棄をされにくい環境を整備し、良好な生活環境を確保することを目的とする。	不法投棄を未然に防ぐ必要があることから、監視(防止)パトロールの実施や、不法投棄看板の設置を進める。 また、不法投棄が多発する場所については、監視カメラの設置を行う。 なお、不法投棄物に関しては、適正かつ速やかな処理を行う。	不法投棄を防止するため、パトロールを実施するとともに、不法投棄防止看板を集積所等に設置した。 また、公共用地内の不法投棄物については、関係各課等と連携し、迅速かつ適正に処理した。	6,047	6,021	不法投棄物の処理量	t	20.00	20.00	100.0	19.00	10.48	100.0	環境事業課
								不法投棄件数	件	550	611	90.0	525	466	100.0	

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）
5-5 河川と共生するまちの実現

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	水質汚濁防止対策事業	「水質汚濁防止法」に基づき、河川等の公共用水域を監視し、事業所からの排水を調査することにより、市民の健康を保護するとともに、生活環境を保全する。	相模川ほか3河川の水質常時監視調査を行う。 また、市内河川や水路等の水質調査、事業所の排水調査を行う。	相模川ほか3河川の水質常時監視調査及び地下水調査を行った。 また、常時監視調査の対象地点以外の河川水質を把握するため、市内河川や水路等の水質調査を実施した。 河川等へ排水を排出している工場や事業場について、排水調査を行った。	24,231	14,766	BOD（生物化学的酸素要求量）の環境基準達成率	%	92.0	82.1	89.2	92.0	92.1	100.0	生活環境課
2	①	合併処理浄化槽普及促進事業	生活排水による水道原水の汚濁を防止し、水質の保全を図る。	公共下水道の整備予定区域外において、単独処理浄化槽又はくみ取り式便所から合併処理浄化槽への転換に対し、補助金を交付する。	単独処理浄化槽又はくみ取り便所から合併処理浄化槽へ転換した方に対し、補助金を交付した。 【補助金交付基数】 ・5人槽 27基（設置替26基・建替1基） ・7人槽 27基（設置替27基） ・10人槽 1基（設置替1基）	77,573	60,505	合併処理浄化槽の補助金交付基数	基	75	70	93.3	75	55	73.3	生活環境課
								生活排水処理率	%	94.0	94.2	100.0	94.1	94.4	100.0	
3	①	公共下水道整備事業（汚水整備）【公共下水道事業会計】	生活排水の処理を適切に行うため、市街化調整区域における効率的な下水道整備を促進し、河川環境の保全及び生活環境の改善を図る。	市街化調整区域の下水道整備については、人口減少や社会情勢等の変化に応じ、安定した経営の範囲内において汚水処理整備計画を策定しており、この計画に基づき、令和3（2021）年度から効率的かつ計画的に整備を進める。	三田地区において汚水管整備工事を1件実施した。	25,000	27,105	未普及地区の汚水処理整備の進捗状況	—	工事	工事	100.0	工事	工事	100.0	下水道施設課
4	①	河川美化推進事業	河川美化意識の高揚を図り、良好な河川環境を保全する。	市民協働により、「相模川クリーンキャンペーン」を実施する。	新型コロナウイルス感染症対策により、規模を縮小して、クリーンキャンペーンを実施した。	486	335	クリーンキャンペーン参加者数	人	2,750	0	0.0	2,800	876	31.3	河川ふれあい課
5	②	谷戸水辺再生事業	市民との協働により、豊かな谷戸周辺の水辺環境を保全するとともに、自然に親しむことができる環境を整備する。	谷戸や水辺を再生し、多様な動植物の生育環境の再生・保全を図り、市民が自然観察や散歩など、水辺と親しむことができる環境を整備する。	令和3年度事業完了	—	—	谷戸水辺再生箇所数（累計）	か所	4	4	100.0	—	—	—	河川ふれあい課
6	②	水辺ふれあい創出事業	市全体の水辺を対象に、水辺と人とのふれあいをより身近にするため、憩いと活動の場の再生・創出を図る。 また、一級河川相模川を対象として、水辺の利活用と観光の活性化を図るため、「相模川厚木市水辺拠点創出基本計画」に基づく水辺交流拠点の具現化を図る。	恩曾川に整備された親水広場や善明川を活用し、近隣小学校の児童による環境学習を実施する。 また、相模川三川合流点地区において、市民や来訪者が集い、水辺と人とのふれあいをより身近にできる憩いと活動の場を整備する。	①恩曾川及び善明川において、水辺ふれあい事業を実施した。 ・6月22日（恩曾川・地蔵橋親水広場）増水のため中止 ・6月29日（恩曾川・高坪橋親水広場） ・8月31日（善明川・長坂山ノ根水辺の広場） ②相模川水辺ふれあい拠点創出事業については、地元と商業・観光等関係団体の代表者により構成された「相模川三川合流点地区利用調整協議会」を設置し、都市・地域再生等利用区域の指定を受けた。 ③相模川水辺ふれあい拠点の実施設計を担う業者を公募プロポーザル方式で選定をした。	35,194	135	親水広場を活用した環境学習の実施回数	回	3	1	33.3	3	2	66.7	河川ふれあい課
								相模川三川合流点地区における水辺交流拠点整備の推進状況	—	民間活力導入調査、事業手法選定	民間活力導入調査、事業手法選定	100.0	実施設計関係機関協議	関係機関協議	50.0	
7	②	準用河川恩曾川改修事業	親水性や動植物の生息環境に配慮した多自然川づくりの河川改修により、自然と調和した河川環境の創出及び治水安全度の向上を図る。	準用河川恩曾川を5年確率降雨強度に対応できる流下能力に改修する。	継続的に用地交渉を実施した。 また、準用河川安全対策事業において、流下能力を確保するための効果・効率的な維持管理の手法について検討をした。	0	0	準用河川恩曾川改修の進捗状況	—	用地交渉（下流） 測量作業（上流）	用地交渉（下流）	50.0	用地物件調査（下流） 用地取得（下流） 実施設計（上流）	未実施	0.0	河川ふれあい課

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）

6-1 市民参加・市民協働の推進

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	市民活動推進事業	市民活動団体等を支援することにより、市民活動の充実及び活性化を図る。	市民活動団体等に対し、活動拠点や交流の場を提供するとともに、活動支援や人材育成を行う。	①ボランティア相談を実施した。 ・相談件数 14件 ② ボランティア講座を開催した。 ・講座開催回数 3回 ③ 市民活動補償制度を運用した。 ・対象事故件数 3件 ④ ボランティア団体及び市民活動団体に対し、補助金を交付した。 ・交付団体数 9団体	4,109	3,628	ボランティアや市民活動への参加の意欲が高まった人の割合	%	89.0	100.0	100.0	91.0	100.0	100.0	市民協働推進課
2	①	市民対話事業	幅広い市民との対話を実施することにより、市民ニーズを的確に把握する。	自治会長と市長とのまちづくりフリートーク、子育てコミュニティトーク及び市長の移動談話室等を実施する。	①自治会長と市長とのまちづくりフリートークを開催した。 ・出席者数 216人 ・意見数 55件 ②市長の移動談話室を開催した。 ・出席者数 17人 ・テーマ数 3件 ③子育てコミュニティトークは中止した。	57	14	市民対話等要望対応率	%	81.0	82.3	100.0	82.0	72.7	88.7	広報課
3	①	市民協働推進事業	「厚木市市民協働推進条例」に基づき、市民協働によるまちづくりを推進し、地域課題等の効果的な解決を図る。	「厚木市市民協働推進条例」に基づく施策及び取組を行うとともに、市民活動団体との協働により、地域課題の解決を目指す市民協働提案事業を実施する。	市民協働提案事業を実施した。 ・市民提案型事業実施件数 4事業 ・行政提案型事業実施件数 1事業 ・令和5年度実施事業採択件数 3事業	4,088	3,458	市民協働提案事業の実施件数	件	6	5	83.3	6	5	83.3	市民協働推進課
4	①	SDGs推進事業	市民や事業者に対して、持続可能な開発目標（SDGs）を普及・啓発する。	県が開発したスマートフォンアプリを活用し、SDGsつながりポイント事業として「まちのコイン」を実施するなど、市民がSDGsの取組を身近に感じられる事業を展開する。	①SDGsつながりポイント事業「まちのコイン」を実施した。 ・登録ユーザー数 2,328人 目標を300人以上上回る登録者数を達成した。 ・一部利用者に対して実施したアンケート結果として、SDGsの理解が進んだと回答された方が85%以上に上るなど、本事業により、市民がSDGsの取組を身近に感じられるようになった。 ②あつぎSDGsフェスティバルを実施した。 ・参加者数1,200人 ③あつぎSDGsパートナーを登録した。 ・登録者数65者	4,718	4,613	「まちのコイン」ユーザー登録者数（総数）	人	1,500	1,720	100.0	2,000	2,328	100.0	企画政策課
								「まちのコイン」スポット登録数（総数）	か所	50	54	100.0	60	61	100.0	
								「まちのコイン」ユーザーアンケートで「SDGsがよく理解できた」と答えた人の割合	%	80.0	90.7	100.0	85.0	85.3	100.0	
5	②	コミュニティ推進事業	地域の特性をいかし、活力ある地域づくりを目指した諸事業を展開する15地区地域づくり推進委員会を支援することにより、地域コミュニティ活動の充実を図る。 また、市民相互のふれあいや交流を深めるため、平成27（2015）年2月1日に宣言した「あつぎ市民ふれあい都市宣言」の周知・啓発を推進し、市民自治の確立を図る。	15地区地域づくり推進委員会に補助金を交付し、地域活動を支援する。 また、「あつぎ市民ふれあい都市宣言」を啓発するために、啓発物品の配布や各種事業に都市宣言の趣旨を反映させる活動等を行う。	地域の特性を生かし、活力ある地域づくりを目指した諸事業を展開する15地区の地域づくり推進委員会に対し、補助金を交付した。 また、あつぎ市民ふれあい都市宣言の啓発物品としてウェットティッシュを作成し、窓口等で配布した。	18,192	16,276	自治会やボランティア等との協働により、よりよいまちづくりが進んでいると思う市民の割合	%	41.9	46.4	100.0	42.9	42.3	98.6	市民協働推進課

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
6	②	地域集会施設建設費等補助事業	地域住民の福祉の向上の場となる地域集会施設の整備を支援することにより、自治会活動及び地域コミュニティ活動の充実を図る。	地域集会施設の新築、増改築及び修繕等に対し、補助金を交付する。	地域住民によるコミュニティ活動の拠点である地域集会施設の新築及び修繕等に係る費用に対し、補助金を交付した。 【交付件数】 ・修繕 15件 ・借地 13件 ・借家 3件 ・冷暖房 6件 ・LED 6件	24,425	10,128	地縁団体として認可された自治会数	自治会	44	43	97.7	45	43	95.6	市民協働推進課
7	③	デジタルサイネージ設置事業	市政情報等の発信力を強化するとともに、中心市街地の魅力や利便性の向上を図る。	既設の本厚木駅や愛甲石田駅のデジタルサイネージに加え、バスセンターや本厚木駅東口を含めた中町第2-2地区周辺に新たに増設することで、更なる情報発信力の強化を図る。	中町第2-2地区などへの設置に向けた検討を進めた。	0	0	デジタルサイネージの中町第2-2地区等への整備の進捗状況	—	調査・研究	調査・研究	100.0	調査・研究	調査・研究	100.0	広報課
8	③	映像メディア活用事業	広報あつぎと連動し、市政や市民活動に関する情報について、映像を中心とした多様なメディアで発信することにより、市内外に向けて、分かりやすく、効果的な情報提供を行う。	ケーブルテレビ（厚木伊勢原ケーブルネットワーク）で市の広報番組「あつぎ元気Wave」を制作し、毎日放映する。 また、テレビ神奈川やFMヨコハマの情報番組で市政やイベント情報などを市内外に広くPRする。	①ケーブルテレビで市の広報番組を作成、放映した。 ・1日3回（各15分）、月2回、年間24回放映、65番組を作成 ②tvk情報番組「猫のひたいほどワイド」（毎週月曜～木曜、12:00～13:30、生放送）の自治体情報提供コーナー「猫ひたいインフォ」でPRを行った。 ・1日2回（各3分）、月2回、年間24回放映 ③FMヨコハマ「ラプリーデー」（毎週月曜～金曜、9時～12時）の自治体情報コーナー「エリアナビ」でPRを行った。 ・1回3分（毎月第1・3火曜）、月2回、年間24回放映	18,322	18,189	映像メディアによる広報が効果的と感じた人の割合	%	81.0	80.0	98.8	82.0	67.6	82.4	広報課

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）
6-2 行財政改革の推進

事業No.	単位施策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年度 担当課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	行政改革推進事業	市民サービスの向上を目指し、「第7次厚木市行政改革大綱」に掲げる三つの重点目標「強くなやかな組織づくり」、「強い財政基盤の確立」、「市民協働による公共サービスの向上」を着実に推進する。 また、市の業務等の現状把握と見直しを行い、効果的・効率的な行政運営を推進する。	「第7次厚木市行政改革大綱」実施計画を着実に推進するとともに、市民の声を取り入れた効果的・効率的な行政運営を行うため、市民参加型外部評価を実施する。 また、更なる業務の効率化や生産性の向上を図るため、RPA等の新技術を導入する。	①市民参加型外部評価を実施し、事業の見直しを行った。 ・対象事業 7事業 ②業務の効率化及び生産性の向上を図るため、RPA及びAI-OCRの対象業務を拡大した。 ・RPA導入 20業務 ・AI-OCR導入 23業務	6,804	5,209	「社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われている」と思う市民の割合	%	33.4	33.9	100.0	36.7	29.5	80.4	行政経営課
								第7次行政改革の推進度	%	100.0	87.3	87.3	100.0	83.6	83.6	
								RPA導入業務数(累計)	件	4	9	100.0	5	20	100.0	
2	①	まちづくり方針検討事業	少子高齢、人口減少等の社会情勢の変化に対応できる持続可能なまちづくりを実現する。	本市の将来都市構造を踏まえ、持続可能な経営基盤を確立するための方策を検討する。	合計特殊出生率上昇及び共働き子育て環境向上を図るため、市民及び企業に対し、アンケートを実施し、本市が取り組むべき内容や先進事例を研究した。	3,781	2,398	調査研究	—	実施	実施	100.0	実施	実施	100.0	企画政策課
3	①	公衆無線LAN整備事業	市民や本市を訪れる方々が、気軽にインターネットに接続できる公衆無線LANサービス「Atsugi Free Wi-Fi」を広げ、更なる利便性の向上を図る。	災害時における避難者等への情報収集支援、公共施設を利用する市民等の利便性の向上の観点から、公衆無線LANサービス「Atsugi Free Wi-Fi」を全公民館に拡充し、市内のインターネット利用環境の更なる充実を図る。	公衆無線LAN環境の新規整備検討と既存箇所の管理運用を行った。 サービス提供エリア：28か所 Atsugi Free Wi-Fi利用実績(※令和5年3月31日現在) ・登録者数 : 149,670人 ・利用者数(累計) : 1,739,846人	2,939	1,933	無線LAN(Wi-Fi)整備箇所数 ※カッコ内は総数	か所	14 (28)	14 (28)	100.0	検討	検討	100.0	情報政策課
4	①	総合窓口整備事業	来庁者の利便性向上と業務の効率化を両立するため、各種の申請、届出の受付業務を集約し、原則ワンストップで受付処理する「総合窓口」を設置する。	将来的な総合窓口の開設及び運用を見据えて、関連手続を所管する担当課相互の連携強化や、各種申請書の作成支援による来庁者の負担軽減につながる窓口支援システムを活用し、誰でも利用しやすく、少ない手順で目的が達成できる窓口を実現する。	令和3年度に策定した「厚木市総合窓口整備の基本方針」に基づき、窓口所管課長等で組織する「総合窓口整備推進チーム」における検討(5回開催)や「現状手続の調査に対するヒアリング調査」を経て、令和5年3月に「厚木市総合窓口整備計画」を策定した。	7,051	7,164	市民窓口支援システムの構築の進捗状況	—	検討	検討	100.0	設計	設計	100.0	市民課
5	③	公共施設最適化推進事業	「厚木市公共施設最適化基本計画」及び「公共施設個別施設計画」に基づき、公共施設の維持管理等費用の軽減・平準化を図るため、施設の設置目的及び利用状況等を考慮しながら、公共施設のより効果的かつ効果的な適正配置を推進する。	公共施設のより効果的かつ効果的な維持管理・運営方法及び適正配置について検討し、適正な規模での更新・複合化、特定財源の確保等の取組を推進する。	厚木市公共施設最適化基本計画及び公共施設個別施設計画に基づき、対象となる事業の計画的な取組を推進した。また、計画に基づく取組の進行管理を行った。 ・対象施設数 3施設	1,231	831	第1期短期再編プログラムの進捗率	%	45.5	45.5	100.0	63.6	63.6	100.0	行政経営課
6	③	公共建築物長寿命化事業	「厚木市公共施設最適化基本計画」との整合を図りながら、予防保全工事を実施し、各施設の長寿命化を図ることにより、今後の財政負担の軽減及び建築物の機能向上を図る。	平成26(2014)年度から4期20年間にわたる予防保全事業を計画的に実施する。	厚木市公共施設最適化基本計画及び公共施設個別施設計画に基づき、予算化された公共施設の長寿命化改修工事等を実施した。 ・対象施設類型 小・中学校、公民館、児童館、老人憩の家、消防署所、生涯学習施設、市営住宅、庁舎等施設	462,950	265,292	予防保全事業の実施件数	件	10	10	100.0	10	10	100.0	行政経営課

実施計画取組実績（令和4年度実施事業）
6-3 都市間連携の推進

事業No.	単 位 施 策	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和4年度 主な実績内容	令和4年度事業費		指標名	単位	令和3年度事業指標			令和4年度事業指標			令和4年 度 担 当 課
						当初予算額 (千円)	決算額 (千円)			令和3年度 目標値	令和3年度 実績値	令和3年度 達成率(%)	令和4年度 目標値	令和4年度 実績値	令和4年度 達成率(%)	
1	①	広域都市連携推進事業	周辺の自治体と共通する行政課題の多様化・専門化・広域化に対応するため、市域を越えた都市間の広域連携を推進する。	自治体相互が連携し、より一層の市民サービスの向上につながる取組を行う。 また、近隣市町村と共通する行政課題等の解決に向けた調査研究を行う。	①厚木・愛甲まちづくり研究会を開催し、パートナーシップ宣誓制度自治体間連携協定を締結した。 ②県央相模川サミットを開催し、カーボンニュートラル推進に向けた共同宣言を行った。	0	0	都市間連携の実施件数	件	50	50	100.0	51	50	98.0	行政経営課
2	②	国内交流推進事業	国内友好都市と各分野での交流を行うことにより、市民文化の向上を図るとともに、民間交流を促進する。	国内友好都市との訪問団の受入れ及び派遣を行うとともに、国内友好都市のPR活動を行う。 また、国内友好都市との交流事業を行う市民団体に補助金を交付する。	①糸満市平和教育（語り部）訪問団を受入れた。 ・語り部1人、随員1人 ②あばしり七福神まつりへ経済交流訪問団を派遣した。 ・観光協会1人、職員2人 ③糸満市バスケットボール交流訪問団を受入れた。 ・小学生40人、監督、保護者等10人 ④あばしりオホーツク流氷まつりへ市民訪問団を派遣した。 ・公募市民11人、職員2人 ⑤横手の雪まつりへ代表訪問団を派遣した。 ・友好交流委員会2人、職員等3人	7,024	4,056	国内友好都市との交流活動件数	件	25	7	28.0	26	19	73.1	企画政策課

令和5年度
事務事業評価結果報告書

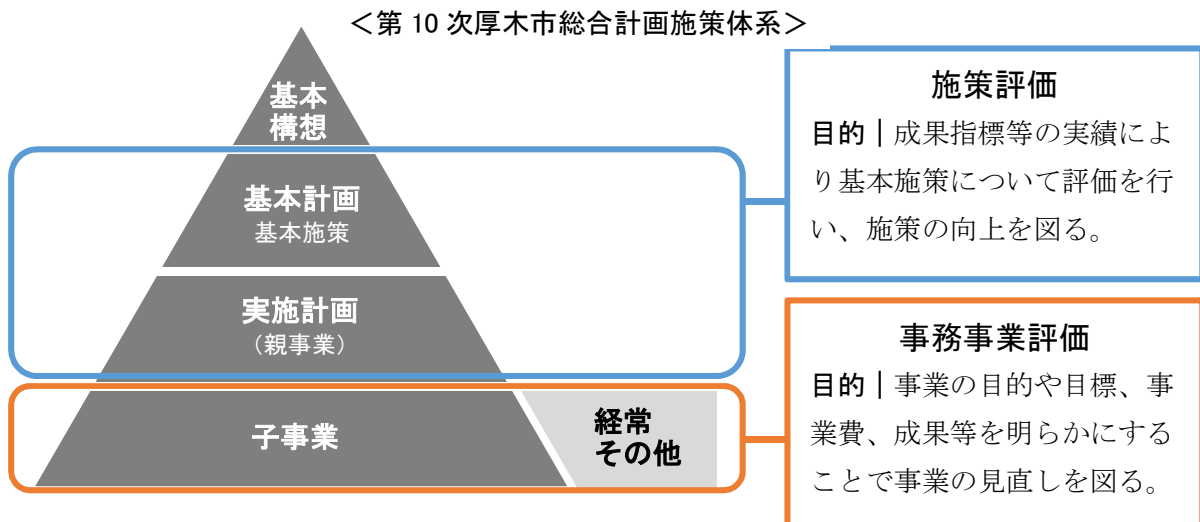
令和5年10月
厚木市

令和5年度事務事業評価の結果について

1 行政評価について

厚木市自治基本条例に基づき、行政運営を一定の基準に従い評価し、その結果を改善に結びつける行政評価を実施することで、効果的かつ効率的な行政運営を推進することを目的として、行政評価を実施しています。

本市の行政評価は、次のような体系となっています。



2 事務事業評価の実施について

人口減少や超高齢社会の進展などにより、今後の財政運営への影響が懸念される中、限られた財源をいかし、市長が掲げる「8つの政策」を始めとした新たな政策の実現及び質の高い行政サービスの提供を持続的に行っていくためには、各事業をゼロベースで点検・評価する必要があります。

そこで、令和5年度から全事業（約1,400事業）を対象とした「事務事業評価」を開始しました。

(1) 目的

次の5つの事項を目的として実施したものです。

- ア 質の高い行政サービスの提供
- イ 証拠（エビデンス）に基づく評価の導入
- ウ 効果的・効率的な行政運営の推進（総合計画や予算との連動）
- エ 職員の意識改革と能力向上
- オ 透明性と説明責任の確保

(2) 対象

令和6年度から第10次厚木市総合計画第2期実施計画がスタートすることから、令和5年度については、総合計画事業を優先して評価を実施しました。

対象事業：第10次厚木市総合計画第1期実施計画事業 489事業

(3) 評価の視点

4つの視点（「必要性」、「有効性」、「効率性」、「公平性」）、11の評価項目から、事業の見直しを図るものです。

視点	評価項目		
必要性	① 社会的な要請	<input type="checkbox"/> 必要性がある <input type="checkbox"/> 必要性が薄れている	事業の適合率
	② 対象者のニーズ	<input type="checkbox"/> 横ばい・増加する見込み <input type="checkbox"/> 減少する見込み	
	③ 行政関与の必要性	<input type="checkbox"/> 民間等に移譲可能ではない <input type="checkbox"/> 民間等に移譲可能	
	④ 廃止した場合の影響	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	
有効性	⑤ 指標の達成度・EBPMの考え方	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	手法の適正率
	⑥ 目的への貢献（具体的な成果）	<input type="checkbox"/> 貢献できた <input type="checkbox"/> 貢献できなかった	
	⑦ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 可能性がない <input type="checkbox"/> 可能性がある	
効率性	⑧ 事業費（コスト）の削減	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある	手法の適正率
	⑨ 人件費（業務時間・業務量）の改善	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある	
公平性	⑩ 受益者負担の適正化	<input type="checkbox"/> なっている・対象外 <input type="checkbox"/> なっていない	手法の適正率
	⑪ 制度の周知	<input type="checkbox"/> できている・対象外 <input type="checkbox"/> できていない	

- ・事業の適合率…事業の必要性及び有効性の視点から、事業が社会環境やニーズに適合し、かつ目的に対し効果的であるかどうかを表すもの
- ・手法の適正率…事業の効率性及び公平性の視点から、事業の実施手法が最適化されているかどうかを表すもの

(4) 評価の流れ

ア 一次評価（評価者：所管課等長）

所管課等長は、所管係長及び担当職員が行った評価結果を踏まえ、事業の必要性と有効性の視点（事業の適合率）から、事業の方向性について、4つの区分（拡大・継続・縮小・廃止）で評価の上、効率性と公平性の視点（手法の適正率）から、事業の改善や見直し（現行どおりを含む。）を判定しました。

また、事業の適合率（必要性及び有効性）に基づき事業一覧表を作成し、所管事業の優先順位を付けました。

イ 二次評価（評価者：所管部等長）

所管部等長は、一次評価の結果を踏まえ、二次評価を実施しました。

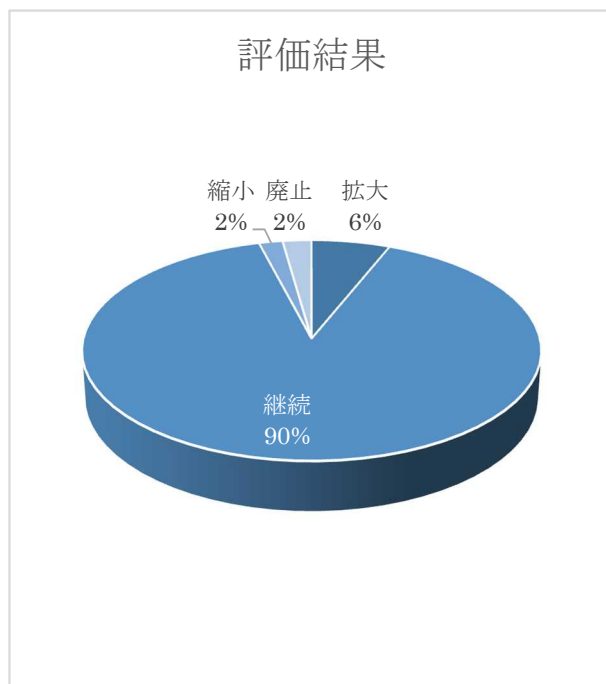
3 事務事業評価の結果について

(1) 評価結果

一次評価として、事業の所管課等長が事業の必要性と有効性の視点（事業の適合率）から、事業の方向性について、4つの区分（拡大・継続・縮小・廃止）で評価を実施しました。

また、一次評価の結果を踏まえ、所管部等長が二次評価を実施しました。

評価区分	事業数
拡大	30
継続	439
縮小	9
廃止	11
合計	489



- 全事業の90%に当たる439事業が、「継続」と評価されました。
- 「拡大」、「縮小」、「廃止」と評価された事業は、令和6年度予算編成において今後の方向性を検討します。
- なお、「拡大」、「継続」と評価された事業であっても、予算を担保するものではありません。

評価の基準

拡大	実施内容・実施方法はおおむね現行のとおりとし、対象者や対象エリア、事業期間の拡大、翌年度予算の増額等の見直しが必要な事業等
継続	実施内容・実施方法は変更せずに実施することが適当な事業等
縮小	実施内容・実施方法は現行のとおりとし、対象者や対象エリア、事業期間の縮小、翌年度予算の減額等の見直しが必要な事業等
廃止 (統合・完了)	事業完了により終了する事業、他の事業と統合する事業、既に目的が達成されたと考えられる事業、目的が社会的情勢や対象者のニーズに合致していない事業等

評価の判定基準

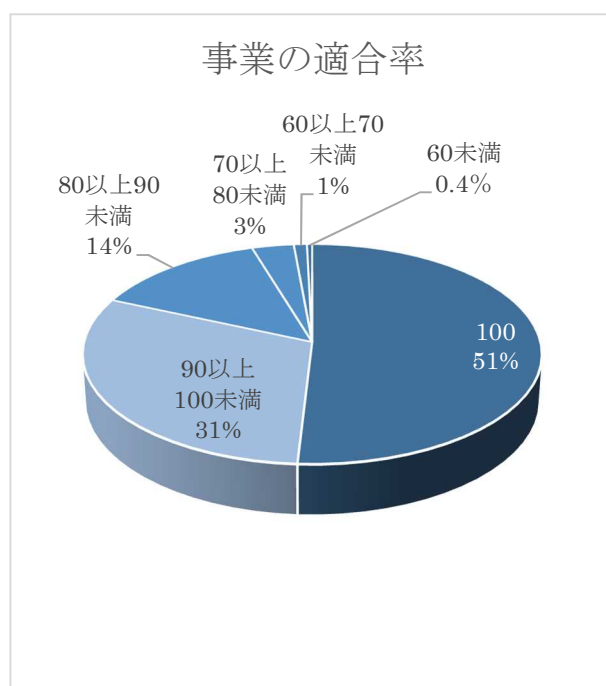
事業の適合率(%)	評価の判定基準
80以上	継続又は拡大
70以上 80未満	継続
60以上 70未満	継続又は縮小
60未満	縮小又は廃止

(2) 事業の適合率

事業の「必要性」及び「有効性」に係る7つの評価項目により、事業の適合率を評価しました。

視点	評価項目	
必要性	① 社会的な要請	<input type="checkbox"/> 必要性がある <input type="checkbox"/> 必要性が薄れている
	② 対象者のニーズ	<input type="checkbox"/> 横ばい・増加する見込み <input type="checkbox"/> 減少する見込み
	③ 行政関与の必要性	<input type="checkbox"/> 民間等に移譲可能ではない <input type="checkbox"/> 民間等に移譲可能
	④ 廃止した場合の影響	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
有効性	⑤ 指標の達成度・EBPMの考え方	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成
	⑥ 目的への貢献(具体的な成果)	<input type="checkbox"/> 貢献できた <input type="checkbox"/> 貢献できなかった
	⑦ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 可能性がない <input type="checkbox"/> 可能性がある

適合率(%)	事業数	判定基準
100	249	継続/拡大
90以上100未満	150	
80以上90未満	67	
70以上80未満	16	継続
60以上70未満	5	継続/縮小
60未満	2	縮小/廃止
合計	489	



- 全事業の98.6%に当たる482事業が適合率70%以上と評価されました。
- 適合率が70%未満となった事業については、今後の方向性を検討します。

(3) 手法の適正率

事業の「効率性」及び「公平性」に係る4つの評価項目により、事業実施手法の適正率を評価しました。

視点	評価項目	
効率性	⑧ 事業費（コスト）の削減	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある
	⑨ 人件費（業務時間・業務量）の改善	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある
公平性	⑩ 受益者負担の適正化	<input type="checkbox"/> なっている・対象外 <input type="checkbox"/> なっていない
	⑪ 制度の周知	<input type="checkbox"/> できている・対象外 <input type="checkbox"/> できていない

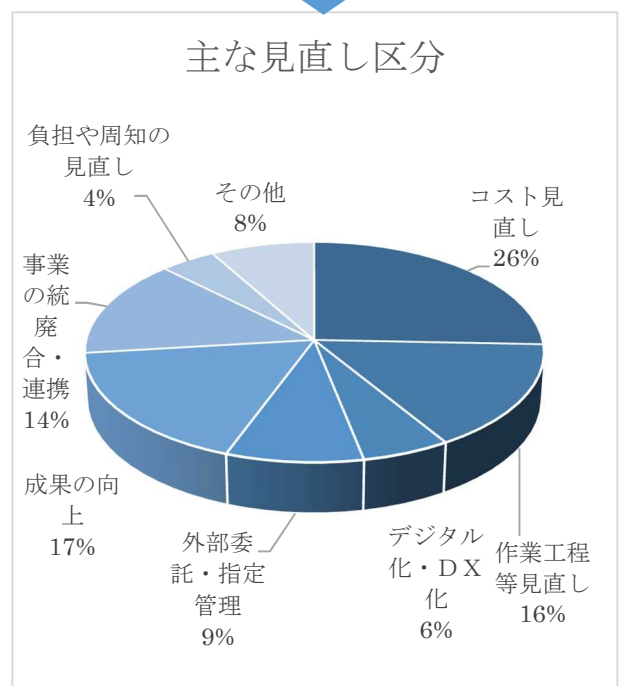
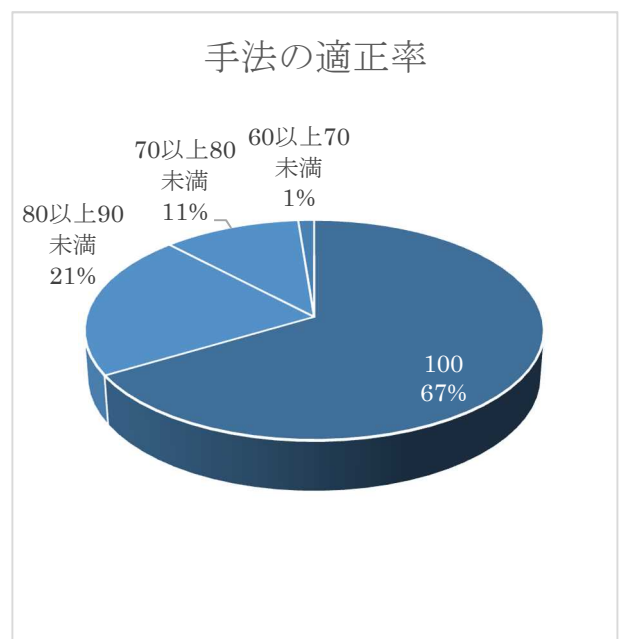
適正率 (%)	事業数
100	318
90 以上 100 未満	0
80 以上 90 未満	102
70 以上 80 未満	52
60 以上 70 未満	6
60 未満	0
合計	478

※一次評価結果が「廃止」の11事業は対象外。

- 全事業の67%に当たる318事業が適正率100%と評価されました。
- 適正率が100%とならなかった事業については、より効率的で公平な行政サービスの実現に向け、各課等において実施方法等の見直しを図ります。

見直し区分	事業数
コスト見直し	41
作業工程等見直し	25
デジタル化・DX化	9
外部委託・指定管理	14
成果の向上	28
事業の統廃合・連携	23
負担や周知の見直し	7
その他	13
合計	160

※手法の適正率が100%の318事業は対象外。

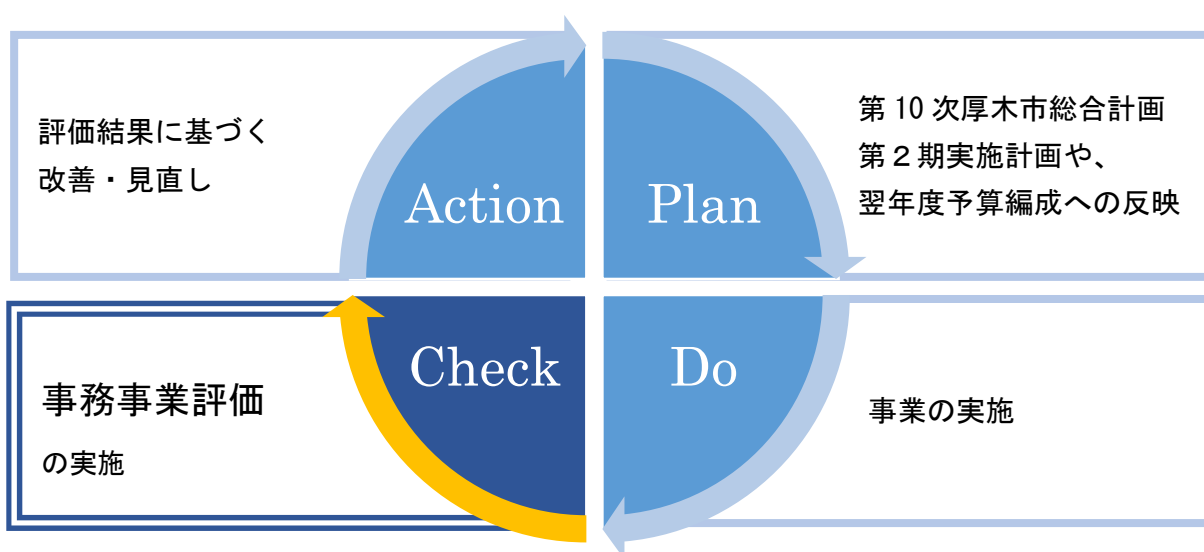


4 評価結果の活用

(1) 評価結果の活用

評価結果は、第 10 次厚木市総合計画第 2 期実施計画及び各個別計画策定の際の参考資料や部内での予算編成の基礎資料とするほか、課内での業務の見直しや改善に活用することで、行政サービスの質の向上を図ります。

なお、事務事業評価は、事業見直しのためのツールであり、評価結果が「拡大」や「継続」であった事業についても、計画策定や予算編成に直結するものではありません。今後、事業の適合率が低い事業に係る継続の可否や、事業の適正率が 100%にならなかつた事業に係る実施手法の見直しをはじめ、企画政策課や財政課と連携し、評価結果を踏まえた事業の見直しを図ります。



(2) 見直し状況の確認

令和 6 年度予算編成時のヒアリングにおいて、評価結果に基づく見直しの実施状況を確認します。

(3) 結果の公表

評価結果は市ホームページで公表し、透明性と説明責任の確保に努めます。

令和5年度 事務事業評価結果一覧

事業番号	部等名	課等名	事業名（子事業）	適合率（%）	1次評価	適正率（%）	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
1	市長室	広報課	市民対話事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
12	市長室	広報課	映像メディア活用事業費	100	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
553	市長室	危機管理課	風水害等対策事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
415	市長室	危機管理課	新型防災ラジオ整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
407	市長室	危機管理課	自主防災隊育成・強化事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
413	市長室	危機管理課	総合防災訓練実施事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
550	市長室	危機管理課	指定避難所等強化事業費	100	継続	88	要改善	コスト見直し	継続
410	市長室	危機管理課	避難所運営強化事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
414	市長室	危機管理課	急傾斜地安全対策工事補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
412	市長室	危機管理課	要配慮者等宿泊施設利用補助金	88	継続	100	現行どおり		継続
408	市長室	危機管理課	自主防災隊連絡協議会補助金	85	継続	100	現行どおり		継続
409	市長室	危機管理課	避難所運営委員会運営費交付金	100	継続	100	現行どおり		継続
411	市長室	危機管理課	民間避難所開設補助金	93	継続	100	現行どおり		継続
14	政策部	企画政策課	SDGs推進事業費	100	継続	88	要改善	その他	継続
19	政策部	企画政策課	まちづくり方針検討事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
35	政策部	企画政策課	海外友好都市等受入派遣事業費	93	継続	75	要改善	作業工程等見直し	継続
43	政策部	企画政策課	国内友好都市受入派遣事業費	93	継続	75	要改善	作業工程等見直し	継続
36	政策部	企画政策課	国際交流事業補助金	85	継続	88	要改善	成果の向上	継続
44	政策部	企画政策課	国内友好都市交流事業補助金	93	継続	88	要改善	成果の向上	継続
18	政策部	企画政策課	地下道活性化事業費	88	継続	88	要改善	事業の統廃合・連携	継続
15	政策部	企画政策課	あつぎの魅力創造・交流事業費	95	継続	100	現行どおり		縮小
37	政策部	企画政策課	海外学生交流事業費	80	廃止	-	-	-	廃止
20	政策部	行政経営課	公共施設最適化推進事業費	100	拡大	100	現行どおり		拡大
16	政策部	行政経営課	行政改革推進事業費	93	継続	75	要改善	その他	継続
17	政策部	行政経営課	RPA等推進事業費	95	継続	63	要改善	コスト見直し	拡大
494	政策部	情報政策課	公衆無線LAN整備事業費	100	継続	100	現行どおり		縮小
42	福祉部	福祉総務課	平和都市推進事業費	80	継続	100	現行どおり		継続
56	福祉部	福祉総務課	社会福祉協議会補助金	93	継続	88	要改善	コスト見直し	継続
57	福祉部	福祉総務課	厚木地区保護司会補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
58	福祉部	福祉総務課	社会を明るくする運動事業費交付金	93	継続	100	現行どおり		継続
59	福祉部	福祉総務課	厚木愛甲地区更生保護女性会補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
62	福祉部	福祉総務課	地域福祉計画改定事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
63	福祉部	福祉総務課	多機関協働による相談支援強化事業費	100	拡大	88	要改善	負担や周知の見直し	拡大
64	福祉部	福祉総務課	自立相談支援事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
65	福祉部	福祉総務課	住居確保給付金支給事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
66	福祉部	福祉総務課	就労準備支援事業費	93	縮小	100	現行どおり		継続
67	福祉部	福祉総務課	学習支援事業費	93	拡大	100	現行どおり		継続
68	福祉部	福祉総務課	生活支援事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
81	福祉部	福祉総務課	療育相談センター運営事業費	100	拡大	100	現行どおり		継続
82	福祉部	福祉総務課	地域支援事業費	100	拡大	100	現行どおり		継続
83	福祉部	福祉総務課	児童発達支援事業費	78	拡大	75	要改善	外部委託・指定管理	継続
61	福祉部	地域包括ケア推進課	地区地域福祉推進委員会交付金	93	継続	100	現行どおり		継続
60	福祉部	地域包括ケア推進課	地域福祉推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
120	福祉部	地域包括ケア推進課	高齢者外出支援事業費	88	拡大	100	現行どおり		拡大
123	福祉部	地域包括ケア推進課	老人保養施設等利用助成金	93	継続	100	現行どおり		継続
84	福祉部	障がい福祉課	障害者相談支援事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
85	福祉部	障がい福祉課	成年後見等利用支援事業費	95	継続	88	要改善	事業の統廃合・連携	継続
86	福祉部	障がい福祉課	地域生活支援拠点機能強化補助金	100	拡大	100	現行どおり		継続
87	福祉部	障がい福祉課	障害者日常生活用具給付事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
88	福祉部	障がい福祉課	障害者移動支援事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
89	福祉部	障がい福祉課	障害者地域活動支援センター等事業費	93	継続	100	現行どおり		継続

令和5年度 事務事業評価結果一覧

事業番号	部等名	課等名	事業名(子事業)	適合率(%)	1次評価	適正率(%)	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
90	福祉部	障がい福祉課	障害者意思疎通支援事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
91	福祉部	障がい福祉課	障害者日中一時支援事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
92	福祉部	障がい福祉課	障害者理解促進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
93	福祉部	障がい福祉課	障害者住宅設備等改善助成事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
94	福祉部	障がい福祉課	重度障害者緊急通報システム事業費	95	継続	75	要改善	事業の統廃合・連携	継続
95	福祉部	障がい福祉課	重度障害者理髪サービス事業費	95	継続	88	要改善	事業の統廃合・連携	継続
96	福祉部	障がい福祉課	重度身体障害者寝具乾燥消毒事業費	95	継続	88	要改善	事業の統廃合・連携	継続
97	福祉部	障がい福祉課	重度身体障害者家具転倒防止器具設置事業費	70	継続	100	現行どおり		継続
98	福祉部	障がい福祉課	重度身体障害者入浴サービス事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
99	福祉部	障がい福祉課	身体障害者自動車改造等助成事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
100	福祉部	障がい福祉課	障害者福祉タクシー等助成事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
101	福祉部	障がい福祉課	障がい者福祉計画策定事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
102	福祉部	障がい福祉課	障害者施設通所交通費助成事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
103	福祉部	障がい福祉課	障害者グループホーム家賃助成事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
104	福祉部	障がい福祉課	重度障害児メディカルショートステイ事業費	95	継続	100	現行どおり		継続
106	福祉部	障がい福祉課	障害者医療費助成事業費	93	継続	75	要改善	事業の統廃合・連携	継続
107	福祉部	障がい福祉課	特別障害者手当等給付事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
108	福祉部	障がい福祉課	障害者福祉手当給付事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
109	福祉部	障がい福祉課	在宅重度障害者介護手当給付事業費	73	廃止	-	-	-	廃止
110	福祉部	障がい福祉課	外国籍障害者等福祉給付金支給事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
111	福祉部	障がい福祉課	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
112	福祉部	障がい福祉課	障害福祉サービス開設準備・運営経費補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
113	福祉部	障がい福祉課	障がい者就労施設等共同受注窓口事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
114	福祉部	障がい福祉課	医療的ケア児学校訪問看護支援事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
115	福祉部	障がい福祉課	医療的ケア児保育所等訪問看護支援事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
69	福祉部	介護福祉課	高齢者の尊厳保持支援事業費	100	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
71	福祉部	介護福祉課	高齢者緊急一時保護事業費	95	継続	100	現行どおり		継続
73	福祉部	介護福祉課	ひとり暮らし高齢者等支援事業費	88	継続	88	要改善	その他	継続
75	福祉部	介護福祉課	家族等支援事業費	85	継続	100	現行どおり		継続
118	福祉部	介護福祉課	敬老祝品・祝金等給付事業費	73	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
119	福祉部	介護福祉課	敬老事業運営費交付金	93	継続	100	現行どおり		継続
72	福祉部	介護福祉課	日常生活用具貸与給付等事業費	80	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
74	福祉部	介護福祉課	理髪、はり・きゅう・マッサージ助成事業費	95	継続	88	要改善	コスト見直し	継続
76	福祉部	介護福祉課	事業所説明会等実施事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
77	福祉部	介護福祉課	介護職員キャリアアップ等支援事業補助金	100	継続	88	要改善	その他	継続
78	福祉部	介護福祉課	介護職転入奨励助成金	100	継続	88	要改善	その他	継続
79	福祉部	介護福祉課	介護福祉士等奨学金返済助成金	65	廃止	-	-	-	廃止
80	福祉部	介護福祉課	介護職復職等奨励助成金	100	継続	88	要改善	その他	継続
121	福祉部	介護福祉課	シルバー人材センター運営費補助金	93	継続	100	現行どおり		継続
70	福祉部	介護福祉課	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画改定事業費	85	継続	75	要改善	作業工程等見直し	継続
55	市民健康部	市民課	総合窓口整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
198	市民健康部	健康長寿推進課	休日・夜間急患診療補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
199	市民健康部	健康長寿推進課	病院群輪番制病院補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
200	市民健康部	健康長寿推進課	休日歯科診療補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
206	市民健康部	健康長寿推進課	障がい者歯科診療運営費補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
207	市民健康部	健康長寿推進課	要介護・高齢者等歯科診療補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
202	市民健康部	健康長寿推進課	看護職・歯科衛生士等奨学金返済助成金	93	継続	100	現行どおり		継続
203	市民健康部	健康長寿推進課	看護職・歯科衛生士等転入奨励助成金	85	継続	100	現行どおり		継続
204	市民健康部	健康長寿推進課	看護職・歯科衛生士等復職等奨励助成金	93	継続	100	現行どおり		継続
205	市民健康部	健康長寿推進課	看護職人材確保事業交付金	85	継続	100	現行どおり		継続
201	市民健康部	健康長寿推進課	あつぎ健康相談ダイヤル24事業費	85	継続	88	要改善	コスト見直し	継続

令和5年度 事務事業評価結果一覧

事業番号	部等名	課等名	事業名(子事業)	適合率(%)	1次評価	適正率(%)	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
189	市民健康部	健康長寿推進課	あゆこちゃんGENKIポイント事業費	70	継続	88	要改善	デジタル化・DX化	継続
122	市民健康部	健康長寿推進課	老人クラブ連合会補助金	85	継続	88	要改善	事業の統廃合・連携	継続
124	市民健康部	健康長寿推進課	健康スイミング事業費	80	縮小	88	要改善	事業の統廃合・連携	縮小
188	市民健康部	健康づくり課	健康あつぎ推進事業費	80	継続	100	現行どおり		継続
190	市民健康部	健康づくり課	がん検診事業費	93	継続	75	要改善	作業工程等見直し	継続
191	市民健康部	健康づくり課	健康診査事業費	95	継続	100	現行どおり		継続
192	市民健康部	健康づくり課	成人歯科健康診査事業費	100	継続	88	要改善	負担や周知の見直し	継続
193	市民健康部	健康づくり課	成人眼科健康診査事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
194	市民健康部	健康づくり課	骨粗しょう症検診事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
195	市民健康部	健康づくり課	健康増進事務費	100	継続	100	現行どおり		継続
196	市民健康部	健康づくり課	自殺予防対策事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
197	市民健康部	健康づくり課	がん検診精度管理費補助金	93	継続	100	現行どおり		継続
187	市民健康部	健康づくり課	食生活改善推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
208	市民健康部	健康づくり課	母子保健衛生事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
209	市民健康部	健康づくり課	母子支援事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
213	市民健康部	健康づくり課	未病施策事業費	88	継続	75	要改善	外部委託・指定管理	継続
210	市民健康部	健康づくり課	定期予防接種事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
212	市民健康部	健康づくり課	予防接種健康被害救済事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
211	市民健康部	健康づくり課	任意予防接種事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
139	子ども未来部	こども育成課	子ども・子育て支援新制度給付金	100	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
140	子ども未来部	こども育成課	幼稚園型一時預かり事業補助金	100	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
141	子ども未来部	こども育成課	認定こども園一時預かり事業補助金	100	継続	88	要改善	コスト見直し	継続
142	子ども未来部	こども育成課	認定こども園新制度補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
143	子ども未来部	こども育成課	就園児実費徴収補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
144	子ども未来部	こども育成課	幼稚園型認定こども園防犯対策整備事業費補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
145	子ども未来部	こども育成課	幼稚園型認定こども園施設整備事業費補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
148	子ども未来部	こども育成課	幼稚園教諭奨学金返済助成金	88	継続	88	要改善	成果の向上	継続
149	子ども未来部	こども育成課	幼稚園教諭転入奨励助成金	88	継続	88	要改善	成果の向上	継続
150	子ども未来部	こども育成課	幼稚園教諭復職等奨励助成金	88	継続	88	要改善	成果の向上	継続
151	子ども未来部	こども育成課	厚木地区私立幼稚園協会研究・研修事業補助金	93	継続	100	現行どおり		継続
152	子ども未来部	こども育成課	幼児教育支援事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
153	子ども未来部	こども育成課	幼稚園等施設等利用給付金	93	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
154	子ども未来部	こども育成課	幼稚園送迎ステーション事業費	100	継続	63	要改善	コスト見直し	継続
159	子ども未来部	こども育成課	あつぎ子ども未来プラン第4期策定事業費	70	継続	100	現行どおり		継続
135	子ども未来部	こども育成課	放課後児童クラブ運営事業費	93	拡大	100	現行どおり		拡大
136	子ども未来部	こども育成課	地域児童クラブ育成支援事業補助金	100	拡大	100	現行どおり		拡大
137	子ども未来部	こども育成課	待機児童対策放課後児童クラブ施設運営費補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
138	子ども未来部	こども育成課	放課後子ども教室推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
155	子ども未来部	保育課	保育士奨学金返済助成金	95	継続	100	現行どおり		継続
156	子ども未来部	保育課	保育士転入奨励助成金	95	継続	100	現行どおり		継続
157	子ども未来部	保育課	保育士復職等奨励助成金	88	継続	100	現行どおり		継続
160	子ども未来部	保育課	届出保育施設利用者支援事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
161	子ども未来部	保育課	私設保育施設入所見助成事業費	100	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
162	子ども未来部	保育課	施設等利用給付事業費	100	継続	88	要改善	外部委託・指定管理	継続
163	子ども未来部	保育課	民間保育所運営費補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
164	子ども未来部	保育課	地域型保育施設運営費補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
165	子ども未来部	保育課	入所児童保育委託費	93	継続	88	要改善	外部委託・指定管理	継続
166	子ども未来部	保育課	子ども・子育て支援制度地域型保育給付費	100	継続	88	要改善	外部委託・指定管理	継続
167	子ども未来部	保育課	保育士等就労応援給付金	100	拡大	100	現行どおり		拡大
168	子ども未来部	保育課	保育士等雇用サポート事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
169	子ども未来部	保育課	コミュニティ保育推進事業補助金	95	継続	100	現行どおり		継続

令和5年度 事務事業評価結果一覧

事業番号	部等名	課等名	事業名(子事業)	適合率(%)	1次評価	適正率(%)	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
181	子ども未来部	保育課	小鮎保育所整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
125	子ども未来部	子育て給付課	子ども医療費助成事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
126	子ども未来部	子育て給付課	不妊治療費助成事業費	73	廃止	-	-	-	廃止
147	子ども未来部	子育て給付課	子育て日常生活支援事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
170	子ども未来部	子育て給付課	母子等福祉手当給付事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
171	子ども未来部	子育て給付課	母子家庭等家賃助成事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
172	子ども未来部	子育て給付課	母子家庭等児童就学給付事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
173	子ども未来部	子育て給付課	母子家庭等日常生活支援事業費	58	廃止	-	-	-	廃止
174	子ども未来部	子育て給付課	自立支援教育訓練促進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
175	子ども未来部	子育て給付課	高等職業訓練促進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
176	子ども未来部	子育て給付課	高等学校卒業程度認定試験合格支援事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
177	子ども未来部	子育て給付課	ひとり親家庭等医療費助成事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
127	子ども未来部	子育て支援センター	子育て支援センター運営事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
128	子ども未来部	子育て支援センター	ファミリー・サポート・センター事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
129	子ども未来部	子育て支援センター	ほっとタイムサポーター事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
130	子ども未来部	子育て支援センター	ほっとタイムクーポン配布事業費	100	継続	88	要改善	成果の向上	継続
131	子ども未来部	子育て支援センター	こんにはは赤ちゃん訪問事業費	95	継続	100	現行どおり		継続
132	子ども未来部	子育て支援センター	子育て支援託児サービス事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
133	子ども未来部	子育て支援センター	子育てショートステイ事業費	85	継続	88	要改善	コスト見直し	継続
158	子ども未来部	子育て支援センター	子育てリフレッシュ事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
134	子ども未来部	子育て支援センター	子育てリフレッシュクーポン配布事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
23	子ども未来部	家庭相談課	女性のための相談事業費	95	継続	100	現行どおり		継続
178	子ども未来部	家庭相談課	児童虐待対策事業費	100	継続	100	現行どおり		拡大
179	子ども未来部	家庭相談課	DV対策事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
186	子ども未来部	青少年課	(仮称)未来館整備事業費	95	拡大	88	要改善	事業の統廃合・連携	拡大
182	子ども未来部	青少年課	厚木北児童館整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
183	子ども未来部	青少年課	青少年指導員活動事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
184	子ども未来部	青少年課	ジュニアリーダー育成事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
185	子ども未来部	青少年課	青少年自然文化体験研修事業費	100	拡大	100	現行どおり		拡大
26	協働安全部	市民協働推進課	地域集会施設建設費等補助金	93	継続	100	現行どおり		継続
27	協働安全部	市民協働推進課	市民活動サポート推進費	93	継続	88	要改善	外部委託・指定管理	継続
30	協働安全部	市民協働推進課	市民協働推進事業費	93	継続	88	要改善	事業の統廃合・連携	継続
28	協働安全部	市民協働推進課	市民活動推進補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
24	協働安全部	市民協働推進課	地域づくり推進事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
25	協働安全部	市民協働推進課	あつぎ市民ふれあい都市宣言推進事業費	93	縮小	88	要改善	コスト見直し	縮小
22	協働安全部	市民協働推進課(人権男女相談担当)	男女共同参画推進事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
116	協働安全部	市民協働推進課(人権男女相談担当)	人権啓発推進事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
32	協働安全部	市民協働推進課(人権男女相談担当)	市民相談事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
34	協働安全部	市民協働推進課(人権男女相談担当)	多文化共生交流事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
117	協働安全部	市民協働推進課(人権男女相談担当)	人権啓発等事業補助金	93	継続	100	現行どおり		継続
33	協働安全部	文化生涯学習課	文化会館リニューアル事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
314	協働安全部	文化生涯学習課	アミューあつぎ改修事業費(中長期保全)	100	継続	100	現行どおり		継続
45	協働安全部	文化生涯学習課	生涯学習推進事業費	88	継続	75	要改善	事業の統廃合・連携	継続
41	協働安全部	文化生涯学習課	あつぎミュージックフェスティバル開催事業補助金	93	拡大	88	要改善	その他	拡大
46	協働安全部	文化生涯学習課	輝き厚木塾開設事業費	93	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
39	協働安全部	文化生涯学習課	市民文化祭開催事業費	85	継続	88	要改善	外部委託・指定管理	継続
40	協働安全部	文化生涯学習課	市民芸術祭開催事業費	85	継続	88	要改善	外部委託・指定管理	継続
38	協働安全部	文化生涯学習課	野外彫刻造形展開催事業費	93	継続	88	要改善	外部委託・指定管理	継続
47	協働安全部	文化生涯学習課	あつぎ協働大学開設事業費	93	継続	75	要改善	作業工程等見直し	継続
48	協働安全部	文化生涯学習課	あつぎ協働大学カーボンニュートラル講座開設事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
49	協働安全部	セーフコミュニティくらし安全課	街頭犯罪対策事業費	93	継続	100	現行どおり		継続

令和5年度 事務事業評価結果一覧

事業番号	部等名	課等名	事業名(子事業)	適合率(%)	1次評価	適正率(%)	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
50	協働安全部	セーフコミュニティくらし安全課	地域青バト推進事業補助金	93	継続	100	現行どおり		継続
51	協働安全部	セーフコミュニティくらし安全課	防犯カメラ設置費補助金	100	継続	88	要改善	コスト見直し	継続
52	協働安全部	セーフコミュニティくらし安全課	本厚木駅周辺環境浄化対策事業費	93	継続	88	要改善	コスト見直し	継続
502	協働安全部	セーフコミュニティくらし安全課	振り込め詐欺等防止装置購入費補助金	85	継続	88	要改善	コスト見直し	継続
53	協働安全部	セーフコミュニティくらし安全課	セーフコミュニティ推進事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
54	協働安全部	セーフコミュニティくらし安全課	地域セーフコミュニティ活動推進事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
330	協働安全部	セーフコミュニティくらし安全課	消費生活相談事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
331	協働安全部	セーフコミュニティくらし安全課	消費者意識啓発事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
3	協働安全部	交通安全課	交通安全対策協議会補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
7	協働安全部	交通安全課	「市内交通死亡事故」ゼロ対策事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
2	協働安全部	交通安全課	交通安全指導事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
9	協働安全部	交通安全課	自転車ヘルメット購入助成事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
11	協働安全部	交通安全課	スクエアード・ストレイト推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
8	協働安全部	交通安全課	放置自転車対策事業費	100	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
4	協働安全部	交通安全課	交通安全指導員協議会補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
5	協働安全部	交通安全課	交通安全母の会連絡協議会補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
6	協働安全部	交通安全課	交通安全協会負担金	100	継続	100	現行どおり		継続
10	協働安全部	交通安全課	幼児2人同乗用自転車購入助成事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
226	環境農政部	環境政策課	生物多様性あつぎ戦略改定事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
221	環境農政部	環境政策課	自家消費型太陽光発電等導入費補助金	88	継続	88	要改善	成果の向上	継続
510	環境農政部	環境政策課	電気自動車推進事業費補助金	88	拡大	100	現行どおり		拡大
224	環境農政部	環境政策課	里地里山保全等促進事業費	93	継続	75	要改善	負担や周知の見直し	継続
223	環境農政部	環境政策課	カーボンニュートラル推進事業費	85	継続	75	要改善	外部委託・指定管理	継続
222	環境農政部	環境政策課	温暖化防止普及啓発事業費	80	継続	75	要改善	事業の統廃合・連携	継続
225	環境農政部	環境政策課	生物多様性あつぎ戦略推進事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
227	環境農政部	環境政策課	環境フェア開催事業費	88	継続	100	現行どおり		継続
214	環境農政部	環境政策課	環境基本計画推進活動事業費	80	拡大	88	要改善	コスト見直し	拡大
229	環境農政部	生活環境課	水質汚濁調査事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
228	環境農政部	生活環境課	合併処理浄化槽整備事業補助金	100	継続	88	要改善	その他	継続
218	環境農政部	生活環境課	動物愛護管理推進事業費	88	継続	75	要改善	その他	継続
215	環境農政部	生活環境課	まち美化推進事業費	85	継続	88	要改善	コスト見直し	継続
216	環境農政部	生活環境課	マナーアップ推進事業費	95	継続	88	要改善	事業の統廃合・連携	継続
219	環境農政部	生活環境課	公衆衛生推進事業補助金	88	継続	100	現行どおり		継続
220	環境農政部	生活環境課	猫適正飼養推進事業補助金	93	継続	100	現行どおり		継続
231	環境農政部	環境事業課	生ごみ処理機購入補助金	93	継続	100	現行どおり		継続
232	環境農政部	環境事業課	戸別収集モデル地区事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
233	環境農政部	環境事業課	事業系ごみ対策事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
234	環境農政部	環境事業課	事業系ごみ資源化事業費	100	拡大	100	現行どおり		継続
235	環境農政部	環境事業課	事業系生ごみ処理機設置補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
236	環境農政部	環境事業課	ふれあいプラザ再整備事業費	95	継続	100	現行どおり		縮小
230	環境農政部	環境事業課	ごみ減量化・資源化推進事業費	93	継続	75	要改善	成果の向上	継続
238	環境農政部	環境事業課	不法投棄防止対策事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
272	環境農政部	農業政策課	園芸協会運営費補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
277	環境農政部	農業政策課	畜産会運営費補助金	93	継続	88	要改善	成果の向上	継続
259	環境農政部	農業政策課	青年就農支援事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
263	環境農政部	農業政策課	鳥獣保護管理対策事業費	80	継続	75	要改善	成果の向上	継続
256	環境農政部	農業政策課	農福連携推進事業費	93	継続	88	要改善	成果の向上	継続
268	環境農政部	農業政策課	市民朝市開催事業費	73	継続	63	要改善	コスト見直し	継続
269	環境農政部	農業政策課	夕焼け市開催事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
262	環境農政部	農業政策課	鳥獣等被害対策事業補助金	93	継続	88	要改善	デジタル化・DX化	継続
260	環境農政部	農業政策課	農地流動化奨励金	100	継続	100	現行どおり		継続

令和5年度 事務事業評価結果一覧

事業番号	部等名	課等名	事業名(子事業)	適合率(%)	1次評価	適正率(%)	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
254	環境農政部	農業政策課	認定農業者確保・育成事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
257	環境農政部	農業政策課	耕作放棄地再生利用事業費補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
258	環境農政部	農業政策課	地産地消対策事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
252	環境農政部	農業政策課	農業後継者育成対策事業交付金	93	継続	100	現行どおり		継続
273	環境農政部	農業政策課	花き振興対策事業補助金	95	継続	100	現行どおり		継続
278	環境農政部	農業政策課	畜産環境対策事業交付金	93	継続	88	要改善	成果の向上	継続
253	環境農政部	農業政策課	都市農業対策経費	93	拡大	100	現行どおり		継続
265	環境農政部	農業政策課	農作物鳥獣害防護対策事業補助金	100	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
275	環境農政部	農業政策課	野菜振興対策事業補助金	93	継続	75	要改善	デジタル化・DX化	継続
261	環境農政部	農業政策課	農業経営基盤強化促進事業補助金	88	継続	100	現行どおり		継続
279	環境農政部	農業政策課	畜産振興対策事業補助金	93	継続	88	要改善	成果の向上	拡大
255	環境農政部	農業政策課	経営継承・発展等支援事業補助金	85	継続	88	要改善	成果の向上	継続
276	環境農政部	農業政策課	農業環境対策事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
274	環境農政部	農業政策課	花き消費拡大推進事業交付金	88	継続	100	現行どおり		継続
266	環境農政部	農業政策課	有害鳥獣防除団体育成交付金	100	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
281	環境農政部	農業政策課	農業水利施設改修事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
280	環境農政部	農業政策課	農道整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
288	環境農政部	農業政策課	間伐材利用促進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
267	環境農政部	農業政策課	農産物直売所推進事業交付金	93	継続	88	要改善	コスト見直し	継続
271	環境農政部	農業政策課	農畜産物等移動販売車運行事業費補助金	70	継続	63	要改善	負担や周知の見直し	廃止
270	環境農政部	農業政策課	農業まつり事業補助金	100	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
284	環境農政部	農業政策課	搬出促進事業費補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
287	環境農政部	農業政策課	地域水源林整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
283	環境農政部	農業政策課	除間伐促進事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
282	環境農政部	農業政策課	枝打促進事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
286	環境農政部	農業政策課	森林づくり実技等体験事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
285	環境農政部	農業政策課	森林づくりボランティア協会交付金	100	継続	100	現行どおり		継続
264	環境農政部	農業政策課	ヤマビル対策事業費	93	継続	75	要改善	成果の向上	継続
239	産業振興部	産業振興課	勤労者生活資金預託金	100	拡大	100	現行どおり		拡大
240	産業振興部	産業振興課	勤労者住宅資金利子補給金	65	縮小	100	現行どおり		縮小
241	産業振興部	産業振興課	(公財)厚木市勤労者福祉サービスセンター補助金	93	継続	88	要改善	事業の統廃合・連携	継続
242	産業振興部	産業振興課	中小企業退職金等共済掛金補助金	100	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
243	産業振興部	産業振興課	勤労相談事業費	88	継続	100	現行どおり		継続
244	産業振興部	産業振興課	障害者雇用奨励交付金	100	継続	88	要改善	デジタル化・DX化	継続
245	産業振興部	産業振興課	(一財)神奈川県駐労福祉センター職業紹介事業補助金	70	継続	88	要改善	その他	継続
246	産業振興部	産業振興課	若者・女性雇用拡大事業費	73	継続	88	要改善	コスト見直し	継続
247	産業振興部	産業振興課	高年齢者継続雇用奨励補助金	95	拡大	88	要改善	デジタル化・DX化	拡大
248	産業振興部	産業振興課	勤労者奨学金返済助成金	100	拡大	88	要改善	デジタル化・DX化	拡大
249	産業振興部	産業振興課	技能職団体連絡協議会補助金	93	継続	88	要改善	外部委託・指定管理	継続
250	産業振興部	産業振興課	湘北建築高等職業訓練校補助金	93	継続	100	現行どおり		継続
251	産業振興部	産業振興課	技能振興経費	93	継続	88	要改善	コスト見直し	継続
293	産業振興部	産業振興課	商工業振興事業補助金	93	継続	100	現行どおり		継続
294	産業振興部	産業振興課	中小企業相談所事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
295	産業振興部	産業振興課	中小企業設備投資促進事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
296	産業振興部	産業振興課	特許等出願支援補助金	100	継続	88	要改善	デジタル化・DX化	継続
297	産業振興部	産業振興課	中小企業カーボンニュートラル推進事業補助金	100	継続	88	要改善	デジタル化・DX化	継続
298	産業振興部	産業振興課	中小企業融資制度預託金	100	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
299	産業振興部	産業振興課	中小企業融資事業補助金	100	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
300	産業振興部	産業振興課	創業者支援利子補給金	65	縮小	100	現行どおり		縮小
301	産業振興部	産業振興課	あつぎ起業スクール開催事業費	100	継続	88	要改善	成果の向上	継続
302	産業振興部	産業振興課	中小企業活性化事業費	100	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続

令和5年度 事務事業評価結果一覧

事業番号	部等名	課等名	事業名(子事業)	適合率(%)	1次評価	適正率(%)	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
303	産業振興部	産業振興課	見本市等出展事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
310	産業振興部	産業振興課	企業立地促進事務費	93	継続	75	要改善	事業の統廃合・連携	継続
311	産業振興部	産業振興課	企業立地元気アップサポート事業奨励金	88	継続	88	要改善	事業の統廃合・連携	継続
312	産業振興部	産業振興課	ロボット普及促進事業費	100	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
313	産業振興部	産業振興課	ロボット関連産業促進補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
289	産業振興部	商業にぎわい課	商店会連合会振興費補助金	65	縮小	88	要改善	その他	継続
290	産業振興部	商業にぎわい課	子育てパスポートAYUCO運営事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
291	産業振興部	商業にぎわい課	商業活性化セミナー事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
292	産業振興部	商業にぎわい課	販売促進・PR事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
304	産業振興部	商業にぎわい課	中心市街地商店街空店舗対策事業補助金	93	拡大	100	現行どおり		拡大
305	産業振興部	商業にぎわい課	にぎわい爆発あつぎ国際大道芸開催事業費	88	継続	100	現行どおり		継続
306	産業振興部	商業にぎわい課	にぎわいまちの魅力創造事業費	85	継続	100	現行どおり		継続
307	産業振興部	商業にぎわい課	まちなか活性化事業補助金	85	継続	100	現行どおり		継続
308	産業振興部	商業にぎわい課	大規模小売店舗ネットワーク事業補助金	73	継続	100	現行どおり		継続
309	産業振興部	商業にぎわい課	商店街LED化事業補助金	93	拡大	100	現行どおり		拡大
315	産業振興部	観光振興課	あつぎ鮎まつり開催事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
316	産業振興部	観光振興課	あつぎ飯山桜まつり開催事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
317	産業振興部	観光振興課	地域観光まつり事業補助金	70	継続	100	現行どおり		継続
319	産業振興部	観光振興課	交通事業者連携プロモーション事業補助金	93	継続	75	要改善	成果の向上	継続
320	産業振興部	観光振興課	マスコットキャラクター事業費	93	継続	75	要改善	成果の向上	縮小
321	産業振興部	観光振興課	食ブランド推進事業費	93	継続	75	要改善	成果の向上	継続
322	産業振興部	観光振興課	受入環境整備事業補助金	100	継続	63	要改善	成果の向上	拡大
323	産業振興部	観光振興課	飯山白山森林公園桜の広場周辺整備事業費	78	継続	75	要改善	作業工程等見直し	継続
324	産業振興部	観光振興課	健康づくり村推進事業補助金	88	継続	75	要改善	成果の向上	継続
325	産業振興部	観光振興課	花の里創出事業費	100	継続	88	要改善	その他	継続
326	産業振興部	観光振興課	地域活性化推進事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
327	産業振興部	観光振興課	アウトドアツーリズム推進事業費	100	継続	75	要改善	成果の向上	継続
329	産業振興部	観光振興課	広域連携観光推進事業費	85	継続	88	要改善	成果の向上	拡大
524	産業振興部	観光振興課	魅力あふれる観光地形成事業費	80	継続	100	現行どおり		継続
318	産業振興部	観光振興課	観光プロモーション事業費	100	継続	75	要改善	成果の向上	継続
328	産業振興部	観光振興課	観光資源創出事業補助金	58	廃止	-	-	-	縮小
526	産業振興部	観光振興課	観光地の魅力づくり促進事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
355	まちづくり計画部	都市計画課	コミュニティ交通導入検討事業費	95	継続	100	現行どおり		継続
348	まちづくり計画部	都市計画課	生活利便施設立地促進事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
347	まちづくり計画部	都市計画課	居住誘導区域(がけ地近接等危険住宅)移転事業補助金	85	継続	100	現行どおり		継続
351	まちづくり計画部	都市計画課	バス利用環境改善事業補助金	80	継続	100	現行どおり		継続
350	まちづくり計画部	都市計画課	ユニバーサルデザインタクシー導入促進事業補助金	80	継続	100	現行どおり		継続
354	まちづくり計画部	都市計画課	コミュニティ交通運行管理事業補助金	95	継続	88	要改善	事業の統廃合・連携	継続
542	まちづくり計画部	都市計画課	公共交通利便性向上事業費	88	継続	88	要改善	事業の統廃合・連携	継続
352	まちづくり計画部	都市計画課	モビリティマネジメント事業費	88	継続	88	要改善	事業の統廃合・連携	継続
349	まちづくり計画部	都市計画課	景観形成推進事業費	100	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
353	まちづくり計画部	都市計画課	コミュニティ交通運行事業費	95	継続	75	要改善	事業の統廃合・連携	継続
356	まちづくり計画部	都市計画課	本厚木駅ホームドア設置事業補助金	100	廃止	-	-	-	廃止
390	まちづくり計画部	住宅課	若年世帯住宅取得支援事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
389	まちづくり計画部	住宅課	親元近居・同居住宅取得等支援事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
384	まちづくり計画部	住宅課	空き家等対策推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
385	まちづくり計画部	住宅課	空き家等対策推進事業費補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
388	まちづくり計画部	住宅課	マンション管理推進事業費	93	継続	88	要改善	成果の向上	継続
386	まちづくり計画部	住宅課	賃貸住宅保証制度補助金	88	継続	88	要改善	成果の向上	継続
387	まちづくり計画部	住宅課	あんしん賃貸住宅支援事業費	80	継続	88	要改善	事業の統廃合・連携	継続
380	まちづくり計画部	建築指導課	木造住宅耐震改修促進事業費補助金	100	継続	100	現行どおり		継続

令和5年度 事務事業評価結果一覧

事業番号	部等名	課等名	事業名(子事業)	適合率(%)	1次評価	適正率(%)	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
381	まちづくり計画部	建築指導課	建築確認台帳等電子化事業費	100	廃止	-	-	-	廃止
382	まちづくり計画部	開発審査課	大規模盛土調査事業費	100	廃止	-	-	-	廃止
343	都市整備部	河川ふれあい課	準用河川環境学習事業費	65	継続	88	要改善	負担や周知の見直し	継続
344	都市整備部	河川ふれあい課	相模川水辺ふれあい拠点創出事業費(継続費)	93	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
541	都市整備部	河川ふれあい課	相模川水辺ふれあい拠点創出事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
217	都市整備部	河川ふれあい課	河川美化推進事業費	78	継続	100	現行どおり		継続
345	都市整備部	河川ふれあい課	準用河川安全対策事業費	95	廃止	-	-	-	廃止
372	都市整備部	公園緑地課	公園緑地整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
373	都市整備部	公園緑地課	緑のまつり開催事業費	100	継続	88	要改善	外部委託・指定管理	継続
383	都市整備部	公園緑地課	運動公園長寿命化事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
357	都市整備部	市街地整備課	中町第2-2地区周辺整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
358	都市整備部	市街地整備課	複合施設建設事業費(継続費)	100	継続	100	現行どおり		継続
359	都市整備部	市街地整備課	複合施設周辺整備事業費(継続費)	100	継続	100	現行どおり		継続
360	都市整備部	市街地整備課	愛甲石田駅周辺整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
361	都市整備部	市街地整備課	本厚木駅北口周辺整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
362	都市整備部	市街地整備課	本厚木駅北口地区市街地再開発組合設立促進事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
365	都市整備部	まちづくり推進課	森の里東土地区画整理推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
366	都市整備部	まちづくり推進課	森の里東土地区画整理関連道路整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
367	都市整備部	まちづくり推進課	森の里東土地区画整理関連排水路整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
369	都市整備部	まちづくり推進課	酒井土地区画整理事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
370	都市整備部	まちづくり推進課	酒井土地区画整理関連道路整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
364	都市整備部	まちづくり推進課	山際北部土地区画整理推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
368	都市整備部	まちづくり推進課	森の里東地区運営事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
371	都市整備部	まちづくり推進課	酒井地区運営事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
363	都市整備部	まちづくり推進課	山際土地区画整理推進事業費	93	継続	88	要改善	コスト見直し	継続
332	道路部	道路管理課	国土調査事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
540	道路部	道路維持課	通学路安全対策事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
333	道路部	道路整備課	交差点等改良事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
335	道路部	道路整備課	生活道路整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
336	道路部	道路整備課	自転車走行空間整備事業費	100	拡大	88	要改善	負担や周知の見直し	拡大
338	道路部	道路整備課	中町第2-2地区周辺交通アクセス整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
339	道路部	道路整備課	通学路橋りょう架替事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
334	道路部	道路整備課	金田妻田線道路改良事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
342	道路部	道路整備課	通学路安全整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
374	道路部	道路整備課	厚木環状3号線街路整備事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
375	道路部	道路整備課	厚木環状3号線(第4工区)街路整備事業費(継続費)	100	継続	100	現行どおり		継続
376	道路部	道路整備課	厚木環状3号線交差点整備事業費(継続費)	100	継続	100	現行どおり		継続
377	道路部	道路整備課	本厚木下津古久線街路整備事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
378	道路部	道路整備課	酒井長谷線街路整備事業費(継続費)	100	継続	100	現行どおり		継続
533	道路部	道路整備課	白根才戸線道路改良事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
545	道路部	道路整備課	厚木環状2号線街路整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
546	道路部	道路整備課	中町北停車場線街路整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
547	道路部	道路整備課	上今岡津古久線街路整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
337	道路部	道路整備課	道路整備用地取得事業費	100	継続	88	要改善	外部委託・指定管理	継続
379	道路部	道路整備課	街路用地取得事業費	100	継続	88	要改善	外部委託・指定管理	継続
397	消防本部	消防総務課	消防団活性化事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
398	消防本部	警防課	消防団施設整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
399	消防本部	警防課	小型動力ポンプ付積載車整備事業費	85	継続	100	現行どおり		継続
404	消防本部	警防課	高規格救急自動車整備事業費	85	継続	100	現行どおり		継続
402	消防本部	警防課	水槽付消防ポンプ自動車整備事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
405	消防本部	警防課	EV消防車両整備事業費	93	継続	100	現行どおり		継続

令和5年度 事務事業評価結果一覧

事業番号	部等名	課等名	事業名(子事業)	適合率(%)	1次評価	適正率(%)	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
403	消防本部	警防課	化学消防ポンプ自動車整備事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
401	消防本部	警防課	消防ポンプ自動車整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
400	消防本部	警防課	広報車等整備事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
406	消防本部	警防課	防火水槽設置費	100	継続	100	現行どおり		継続
392	消防本部	予防課	火災予防啓発事業費	100	継続	88	要改善	デジタル化・DX化	継続
393	消防本部	救急救命課	応急手当普及啓発活動事業費	100	継続	88	要改善	その他	継続
394	消防本部	救急救命課	救急高度化事業費	95	継続	100	現行どおり		継続
395	消防本部	救急救命課	派遣型救急ワークステーション設置事業費	95	継続	100	現行どおり		継続
396	消防本部	救急救命課	自動体外式除細動器(AED)設置事業費	95	継続	88	要改善	コスト見直し	継続
391	消防本部	管理課	消防資器材整備事業費	100	継続	88	要改善	負担や周知の見直し	継続
417	教育総務部	教育総務課	小中学校通学区区域再編委員会運営費	93	継続	100	現行どおり		継続
441	教育総務部	教育総務課	小学校ICT化推進事業費	85	継続	100	現行どおり		継続
450	教育総務部	教育総務課	中学校ICT化推進事業費	85	継続	100	現行どおり		継続
437	教育総務部	教育施設課	特別教室冷暖房設備設置事業費(小学校特別教室冷暖房設置事業費・中学校特	100	継続	100	現行どおり		継続
418	教育総務部	教育施設課	小中学校学校施設最適化推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
448	教育総務部	教育施設課	校庭整備事業費(小学校校庭整備事業費・中学校校庭整備事業	100	継続	100	現行どおり		継続
426	学校教育部	学務課	児童・生徒登下校等安全推進事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
446	学校教育部	学務課	小学校特別支援学級等就学奨励事業費	100	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
455	学校教育部	学務課	中学校特別支援学級等就学奨励事業費	100	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
445	学校教育部	学務課	要保護及び準要保護児童就学援助事業費	100	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
454	学校教育部	学務課	要保護及び準要保護生徒就学援助事業費	100	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
440	学校教育部	学務課	小学校保護者負担軽減事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
449	学校教育部	学務課	中学校保護者負担軽減事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
421	学校教育部	教育指導課	特別支援教育推進事業費	95	拡大	100	現行どおり		拡大
423	学校教育部	教育指導課	外国籍児童・生徒等支援事業費	85	拡大	100	現行どおり		拡大
420	学校教育部	教育指導課	グローバル教育交流事業費	100	拡大	100	現行どおり		拡大
422	学校教育部	教育指導課	インクルーシブ教育推進事業費	93	拡大	100	現行どおり		拡大
425	学校教育部	教育指導課	小中一貫教育推進事業費	100	拡大	100	現行どおり		拡大
419	学校教育部	教育指導課	英語教育推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
427	学校教育部	教育指導課	学校支援プロジェクト推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
429	学校教育部	教育指導課	SEL教育基金事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
428	学校教育部	教育指導課	インターナショナルセーフスクール推進事業費	85	継続	63	要改善	コスト見直し	継続
442	学校教育部	教育指導課	元気アップスクール推進事業交付金(小・中学校)	93	継続	75	要改善	作業工程等見直し	継続
443	学校教育部	教育指導課	教育活動充実交付金(小・中学校)	100	継続	75	要改善	作業工程等見直し	継続
444	学校教育部	教育指導課	カーボンニュートラル教育推進事業費(小・中学校)	73	継続	88	要改善	成果の向上	継続
447	学校教育部	教職員課	小学校児童支援推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
456	学校教育部	教職員課	中学校少人数学級実施事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
424	学校教育部	教職員課	学力ステップアップ支援員配置事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
430	学校教育部	教育研究所	教育調査研究会運営費	100	継続	100	現行どおり		継続
431	学校教育部	教育研究所	教育資料提供事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
432	学校教育部	教育研究所	先生のための研修事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
435	学校教育部	青少年教育相談センター	登校支援推進事業費	93	拡大	100	現行どおり		拡大
434	学校教育部	青少年教育相談センター	青少年教育相談事業費	100	拡大	100	現行どおり		継続
436	学校教育部	青少年教育相談センター	教育支援教室運営事業費	100	拡大	100	現行どおり		拡大
433	学校教育部	青少年教育相談センター	青少年非行防止活動事業費	100	継続	88	要改善	コスト見直し	継続
457	社会教育部	社会教育課	人権教育・啓発推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
458	社会教育部	社会教育課	家庭教育学級交付金	100	継続	100	現行どおり		継続
459	社会教育部	社会教育課	家庭教育情報提供事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
461	社会教育部	社会教育課	地域学校協働活動事業費	95	拡大	88	要改善	作業工程等見直し	拡大
464	社会教育部	社会教育課	公民館活動事業費(厚木北公民館)	100	継続	100	現行どおり		継続
465	社会教育部	社会教育課	公民館活動事業費(厚木南公民館)	95	継続	75	要改善	コスト見直し	継続

令和5年度 事務事業評価結果一覧

事業番号	部等名	課等名	事業名（子事業）	適合率（%）	1次評価	適正率（%）	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
466	社会教育部	社会教育課	公民館活動事業費（依知北公民館）	88	継続	75	要改善	事業の統廃合・連携	継続
467	社会教育部	社会教育課	公民館活動事業費（依知南公民館）	95	継続	100	現行どおり		継続
468	社会教育部	社会教育課	公民館活動事業費（睦合北公民館）	95	継続	75	要改善	成果の向上	継続
469	社会教育部	社会教育課	公民館活動事業費（睦合南公民館）	88	継続	75	要改善	事業の統廃合・連携	継続
470	社会教育部	社会教育課	公民館活動事業費（睦合西公民館）	88	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
471	社会教育部	社会教育課	公民館活動事業費（荻野公民館）	95	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
472	社会教育部	社会教育課	公民館活動事業費（上荻野分館）	95	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
473	社会教育部	社会教育課	公民館活動事業費（小鮎公民館）	95	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
474	社会教育部	社会教育課	公民館活動事業費（玉川公民館）	95	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
475	社会教育部	社会教育課	公民館活動事業費（南毛利公民館）	95	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
476	社会教育部	社会教育課	公民館活動事業費（愛甲公民館）	88	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
477	社会教育部	社会教育課	公民館活動事業費（相川公民館）	80	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
478	社会教育部	社会教育課	公民館活動事業費（緑ヶ丘公民館）	95	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
479	社会教育部	社会教育課	公民館活動事業費（森の里公民館）	100	継続	100	現行どおり		継続
462	社会教育部	社会教育課	厚木北公民館整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
460	社会教育部	社会教育課	地域ぐるみ家庭教育支援事業交付金	95	廃止	-	-	-	廃止
557	社会教育部	スポーツ推進課	飯山グラウンド整備事業費	95	継続	100	現行どおり		継続
491	社会教育部	スポーツ推進課	全国大会等出場奨励事業費	100	拡大	100	現行どおり		継続
486	社会教育部	スポーツ推進課	スポーツ推進事業補助金	93	継続	100	現行どおり		継続
487	社会教育部	スポーツ推進課	あつぎスポーツアカデミー推進事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
488	社会教育部	スポーツ推進課	市民体力向上推進事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
485	社会教育部	スポーツ推進課	市民スポーツ活動推進事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
492	社会教育部	スポーツ推進課	グラウンド・ゴルフ場整備事業費	95	継続	100	現行どおり		継続
489	社会教育部	スポーツ推進課	スポーツ推進委員養成事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
490	社会教育部	スポーツ推進課	競技団体選手強化事業交付金	100	継続	100	現行どおり		継続
481	社会教育部	文化財保護課	郷土博物館活動推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
482	社会教育部	文化財保護課	郷土博物館特別展示事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
483	社会教育部	文化財保護課	市史編さん事業費	93	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
484	社会教育部	文化財保護課	郷土芸能事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
480	社会教育部	中央図書館	電子図書館事業費	85	継続	100	現行どおり		継続

工事請負契約の締結について

番号	1
契約の目的 (工事名)	厚木消防署玉川分署・七沢観光案内所長寿命化(機能回復)改修工事(その3)
工事場所	厚木市七沢751番地1
契約の相手方 (請負人)	厚木市上荻野3513-2 (株)弘陽電設 代表取締役 井上 拓紀 様
契約金額	56,735,470 円
契約日	令和5年9月13日
履行期限	令和6年5月15日

番号	2
契約の目的 (工事名)	都市計画道路厚木環状3号線街路整備工事(その1)
工事場所	厚木市愛名地内
契約の相手方 (請負人)	厚木市岡田5-10-2 (株)孝松工務店 代表取締役 天倉 剛一 様
契約金額	131,307,000 円
契約日	令和5年9月28日
履行期限	令和6年3月15日

番号：1

1 契約の目的（工事名）

厚木消防署玉川分署・七沢観光案内所長寿命化（機能回復）改修工事（その3）

2 工事概要

(1) 電気設備工事

ア 発電機設備工事

イ 幹線設備工事

(2) 建築工事

3 契約方法

条件付一般競争入札

4 開札結果（開札日：令和5年8月31日）

番号	業者名	入札価格（単位：円）		備考
		第1回目	第2回目	
1	(株)弘陽電設	51,577,700		落札 56,735,470

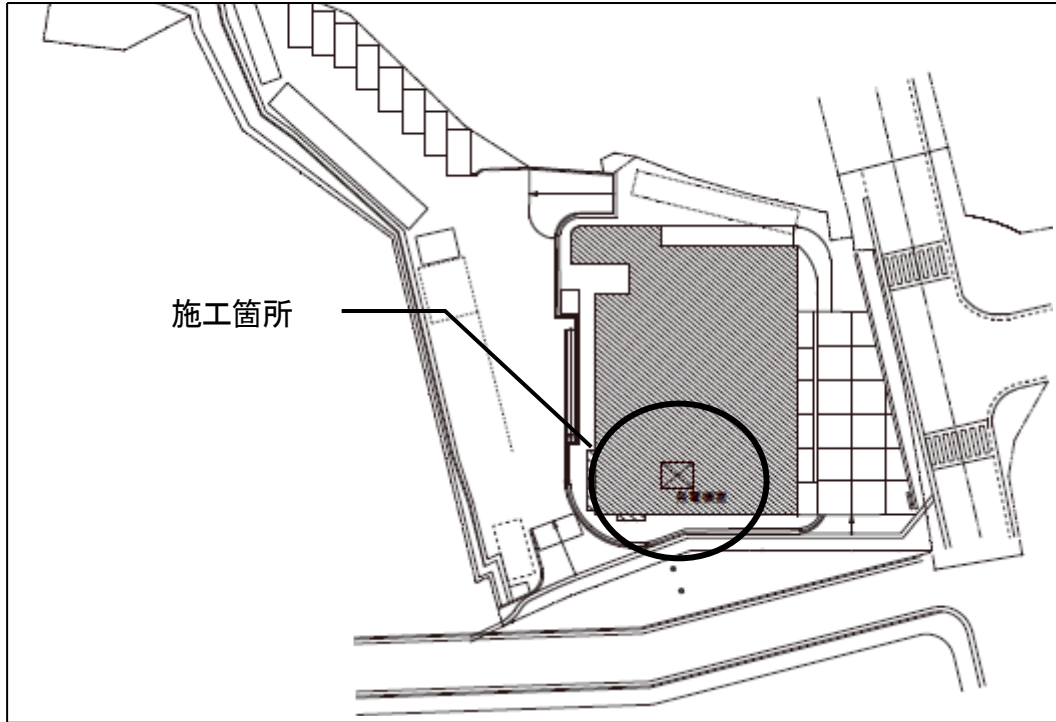
※ 予定価格（消費税抜き）は、55,210,000円。最低制限価格（消費税抜き）は、50,793,200円。落札価格（56,735,470円）は、入札価格（51,577,700円）に消費税額（5,157,770円）を加算した金額です。

厚木消防署玉川分署・七沢観光案内所長寿命化（機能回復）改修工事（その3）

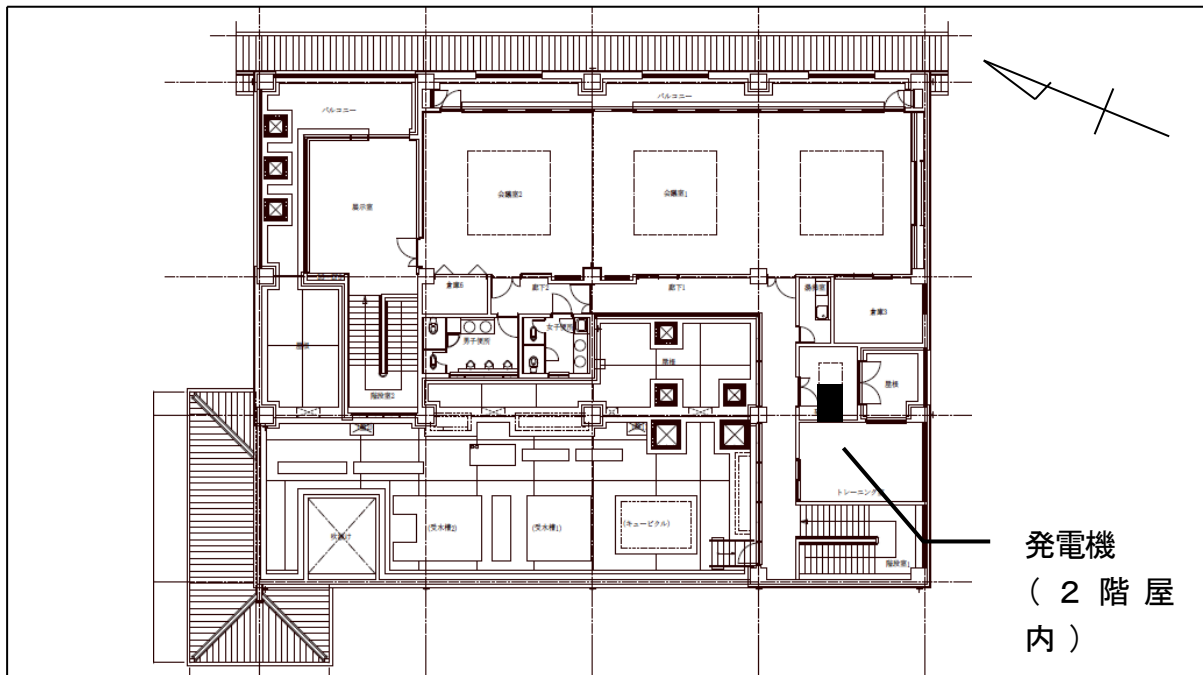
位置図



配置図



平面図



番号：2

1 契約の目的（工事名）

都市計画道路厚木環状3号線街路整備工事（その1）

2 工事概要

工事延長	L=151.1m
(1) 土工	一式
(2) 舗装工（車道舗装）	A=1,354m ²
(3) 舗装工（歩道舗装）	A=605m ²
(4) 擁壁工	L=67.8m
(5) 排水工	一式
(6) 縁石工	一式
(7) 付帯工	一式

3 契約方法

条件付一般競争入札

4 開札結果（開札日：令和5年9月14日）

番号	業者名	入札価格（単位：円）		備考
		第1回目	第2回目	
1	(株) 孝松工務店	119,370,000		落札 131,307,000
2	(株) 安藤組	119,370,000		
3	(株) 塩川興業	119,370,000		
4	(株) 大勝建設	119,370,000		
5	西進開発(株)	120,940,000		
6	(株) 清川産業	135,000,000		
7	(株) 山光建設	辞退		
8	常盤産業(株)	辞退		
9	(有) 頼住建設	辞退		

※ 予定価格（消費税抜き）は、129,280,000円。最低制限価格（消費税抜き）は、118,937,600円。落札価格（131,307,000円）は、入札価格（119,370,000円）に消費税額（11,937,000円）を加算した金額です。

※ 入札価格が4者同額のため、くじ引きにより決定しました。

都市計画道路厚木環状3号線街路整備工事（その1）

位置図

